

第二二九圖



*Pilumnus dehaani.*

頭胸甲ハ稍々高キ扇形ニシテ、前側縁ニハ眼窩外縁、棘共ニ四鋸齒ヲ有シ、脚ハ左右不同ニシテ短ク黒シ。頭胸甲面、脚各部ノ殆ド全背面ニ長短ノ毛ヲ密生ス。甲長二〇耗、甲幅二五耗内外ニ達ス。東京灣、相模灣等ニ分布セリ。

キサント科

第二二八圖



*Xantho superbus.*

頭胸甲ハ略々横楕圓形ヲ呈シ、前側縁ニハ大形ナル四鋸齒アリ。鉗脚ハ大形ニシテ、ソノ腕節及ビ前節ニハ毛ナク、指部ハ黒シ。歩脚ノ背縁ニハ長軟毛密生セリ。甲長二〇耗、甲幅三〇耗内外ニ達ス。暖海ニ棲息セリ。

キサント科

ケブカアフギガニ (毛深扇蟹)

リウキウアフギガニ (琉球扇蟹)

第二二五圖



*Leptodius exaratus.*

頭胸甲ハ額及ビ前側縁各弧狀ニシテ、後方ニ狭マリ、恰モ扇ヲ擴ゲタル如キ形ヲナシ、後縁ハ直線ナリ。前側縁ニハ眼窩ノ外縁ト合セテ五鋸齒ヲ有シ、甲面ノ後半ハ略々平滑ナルモ、前半ニハ隆起アリ。鉗脚ハヨク發達シ、平滑ニシテ、指部ハ彎曲シ、ソノ先端ニ合シ黒色ナリ。歩脚ハソノ背縁ニミ長毛ヲ有シ、他ハ平滑ナリ。甲長二〇耗、甲幅三〇耗内外ニ達シ、色ハ蒼黒色乃至褐色ナリ。南日本ノ暖海沿岸ニ棲息ス。

アフギガニ (扇蟹)

キサント科

第二二四圖



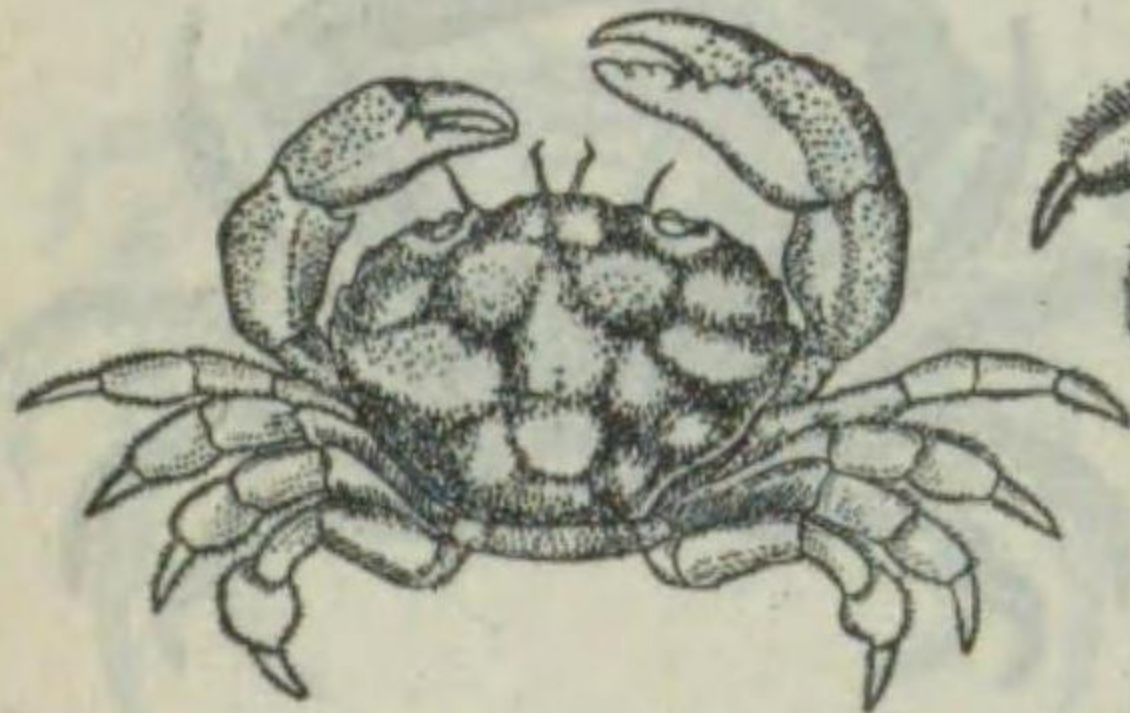
*Acteodes speciosus.*

頭胸甲ハ略々六角形ニシテ、隆起著シク、全面ニ疣狀突起密在シ、鉗脚ノ外面モ亦鉗脚ノ外面ニシテ、指部ハ短ク黒シ。歩脚モノノ外面鉗脚ノ外面ニシテ、棘列生セルモ、毛ハ殆ド有セズ。甲長二〇耗、甲幅二五耗内外ニ達ス。暖海産ナリ。

サメハダイテフガニ (鉗肌銀杏蟹)

キサント科

第二三一圖

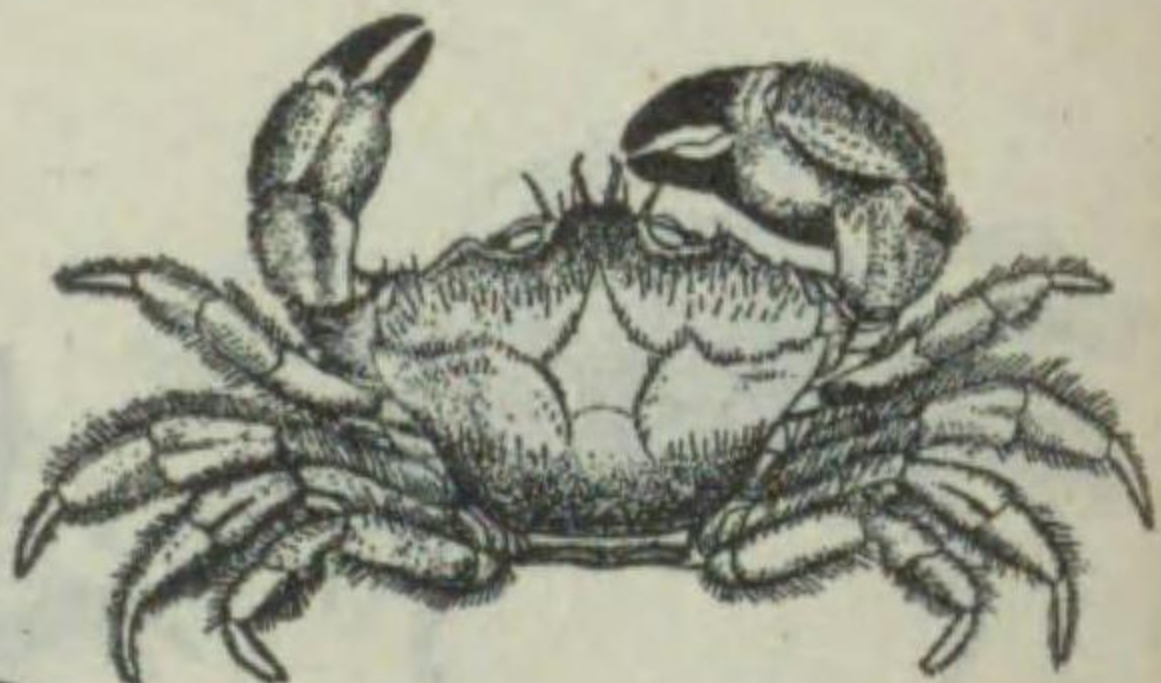


*Pilumnus setifer.*

頭胸甲ハ圓形ニ近キ扇形ヲ呈シ、前側縁ノ棘ハ不明ナリ。背面ニハ隆起稍々著シク、短毛密生セリ。鉗脚ハ大形ニシテ、左右稍々不同、腕節及ビ前節ノ外面ニハ粟粒密在シ、歩脚ニハ絨毛密生ス、又ソノ背腹兩縁ニハ長毛アリ。甲長一五耗、甲幅二〇耗内外ニ達ス。各地ノ沿岸ニ見出サル。

キサント科

第二三〇圖



*Pilumnus major.*

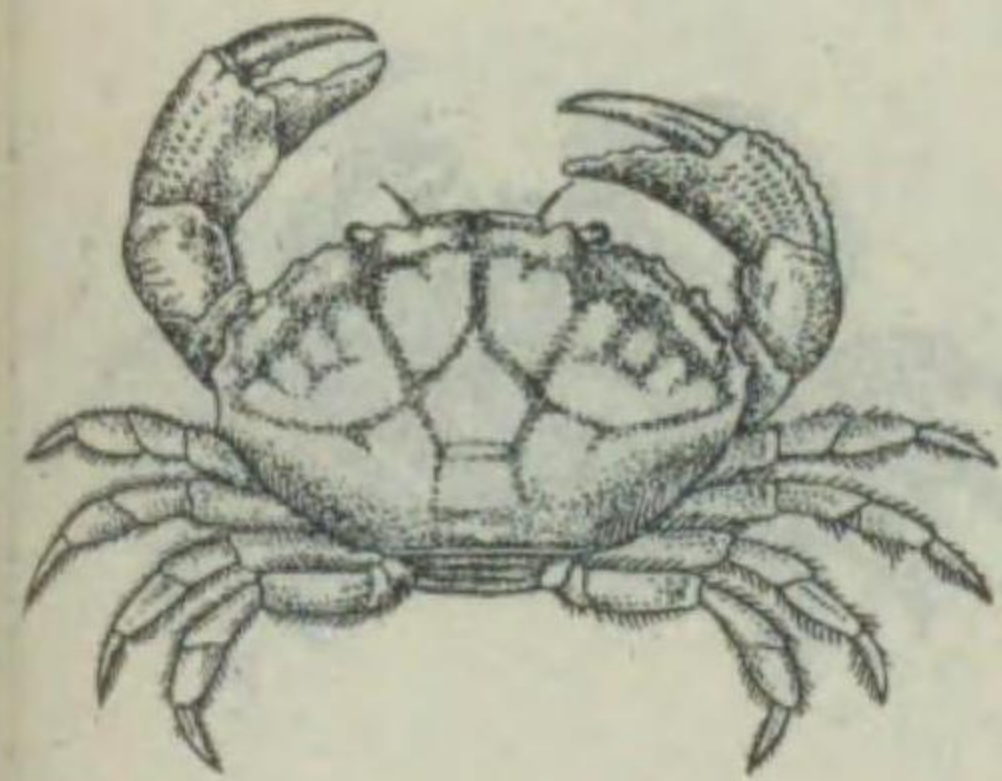
頭胸甲ハ扇形ニシテ、前側縁ニハ三鋸齒ヲ有シ、背面ニハ褐色ノ長毛疎生セリ。鉗脚ハ左右不同ニシテ、右常ニ大キク、腕節及ビ前節ノ外面ニハ多數ノ疣狀突起ヲ有シ、粗毛ヲ生ズ。指部ハ短クシテ、黒ク、歩脚ニハ褐色ノ長毛密生セリ。暖海ニ分布ス。

オキケガニ (大毛蟹)

キサント科

ツマグロガニ (棲黑蟹)

第二二七圖



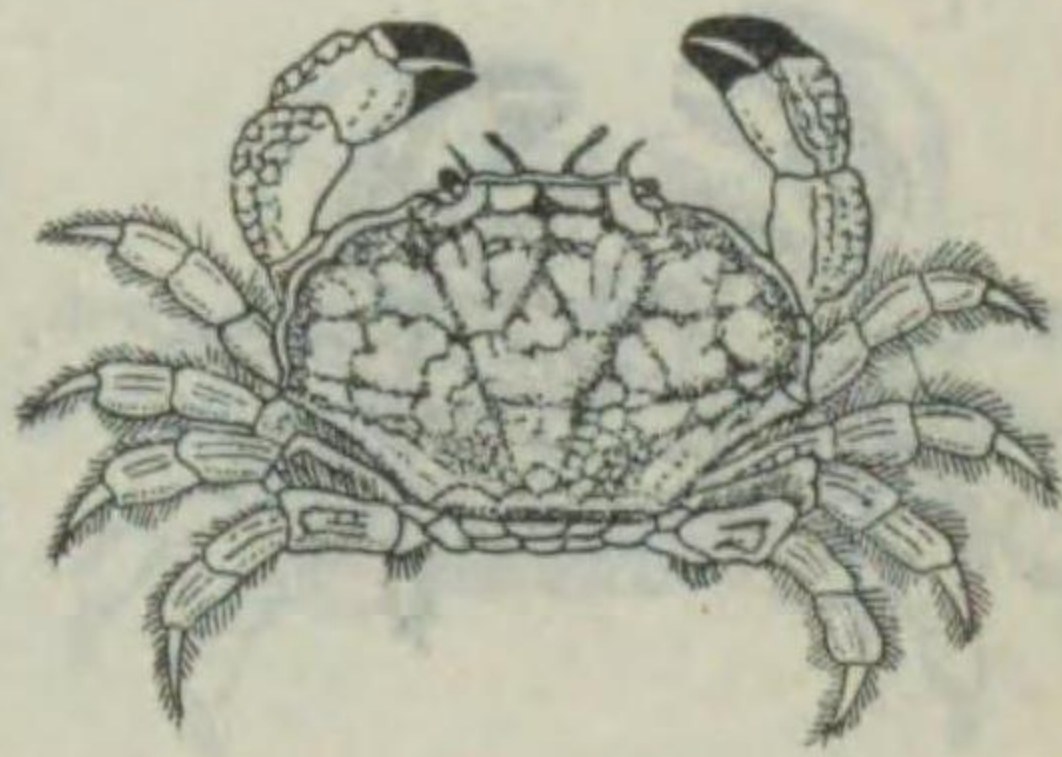
*Xantho truncata.*

頭胸甲ハあぶぎガニニ似タルモ、鉗脚ノ外面ニハ棘狀突起ヲ有シ、歩脚ノ長節背面ニハ長毛ヲ生ズ。甲長一八耗、甲幅二五耗内外ニ達ス。暖海ニ棲息セリ。

キサント科

トガリアフギガニ (尖扇蟹)

第二二六圖



*Zozyms aeneus.*

頭胸甲ハ扇形ニシテ、前側縁ハ波狀突起ヲナシ、背面ニハ小隆起多シ。鉗脚ノ腕節及ビ前節ノ背面ニハ瘤狀突起多ク、指部ハ短クシテ黒色ナリ。歩脚ハ厚ク縁取ラレ、背面ニハ羊齒葉狀紋アリテ長毛列生ス。甲長三五耗、甲幅五〇耗内外ニ達ス。暖海ニ棲息セリ。

キサント科

ウモレアフギガニ (埋扇蟹)

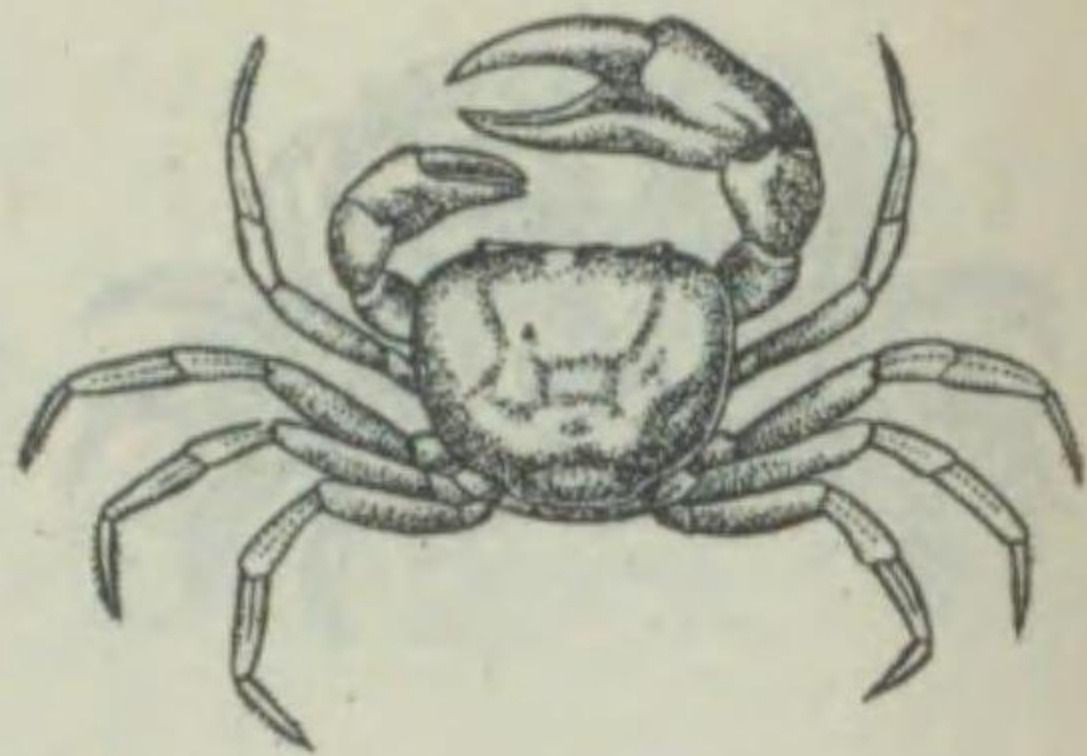
第二一三七圖



Pinnothera sp.

頭胸甲ハ圓形ニシテ、背面ハ丸ク隆起セリ。頸部ハ前方ニ突出スルコトナク、下方ニ位シ、眼ハ小形ニシテ、眼柄モ亦短小ナリ。鉗脚ハ前節膨大、他ノ歩脚ハ四對共ニ略々同型ニシテ、長毛ヲ生ズ。二枚貝ノ外套腔内ニ寄居セルモノニシテ、貝ノ種類ニヨリ多少ノ相異アリ。例ヘバカキニ寄居スルモノニアリテハ、甲軟ク脚ニ毛ナシ、又たいらぎニ寄居セルモノハ著シク異レリ。甲長一〇耗内外ナリ。

第二一三六圖



Geotelphusa dehaani.

頭胸甲ハ前方ニ廣キ扁圓形ニシテ額ハ幅廣シ。鉗脚ハ雄ニテハ大形ニシテ、左右不同ナルモ、雌ニテハ概ネ同大ナリ。歩脚ニハ毛少キモ、ソノ前節ハ長クシテ、毛多シ。甲長二〇耗、甲幅二五耗内外ニ達ス。色ハ環境ニヨリテ異レルモ、概ネ灰褐色ナリ。淡水ニ普通ナルモノニシテ、肺臟「ヂストマ」ノ媒介ヲナス。

カヒガクレ (貝隠) ピンノテラ科

サハガニ (澤蟹) ホターモン科

第二一三九圖



Plagusia dentipes.

頭胸甲ハ略々四角形ニシテ、各部ノ溝稍々明瞭ナリ。第一觸角ノ彎入顯著ニシテ、前側縁ニ鋸齒アリ。鉗脚ノ腕節及ビ前節ハ膨大シ、數條ノ疣列ヲ有シ、歩脚ノ長節ハ稍々明瞭ナリ。體色ハ灰綠色ヲ呈シ、甲長四〇耗、甲幅四五耗内外ニ達ス。太平洋岸ノ淺海岩礁上ニ棲息セリ。

クラブスス科

第二一三八圖



Pinnothera pholadis.

頭胸甲ハ圓形ヲ呈シ、ソノ中央ニ圓心溝ヲ有シ、平滑ナリ。鉗脚ハ指部ノ先端尖リ、脚ハ第三脚最モ長ク、第二脚ハ無毛、第三脚ハ前節ノ指部ニ、第四脚ハ腕節以下各節ニ、第五脚ハ腕節以下ニ長毛ヲ密生ス。甲長二〇耗内外ナリ。沿岸ノ岩礁上ノ穴ニ棲息ス。

ショウジンガニ (精進蟹)

カクレイソガニ (隠蟹) クラブスス科

第二一三三圖

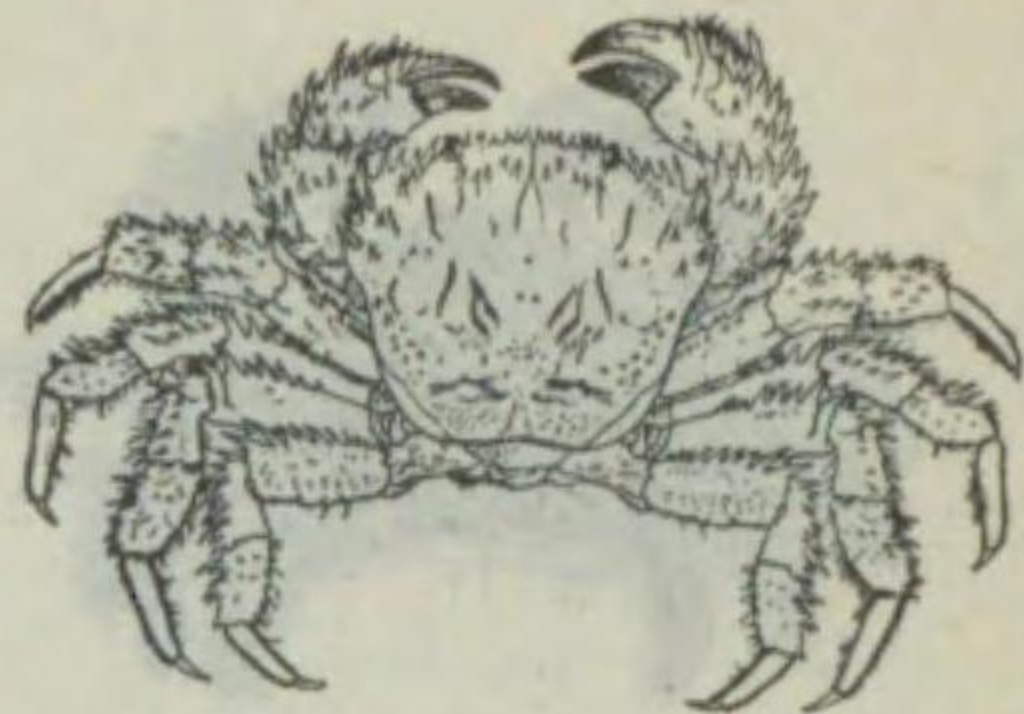


Liagore rubromaculatus.

頭胸甲ハ略々扁タキ五角形ヲ呈シ、側方ハ圓ク、背面ハ平滑ナリ。鉗脚ハ強大ナルモ稜ナク、歩脚ハ細シ。甲面及ビ脚ニハ赤色ノ圓紋散在セリ。甲長三五耗、甲幅四五耗内外ニ達ス。南日本太平洋岸ニ棲息セリ。

(紅星饅頭蟹) キサント科

第二一三二圖



Acaninodes armatus.

頭胸甲ハ略々五角形ヲ呈シ、中央ハ穹隆シテ棘多シ。鉗脚ハ左右稍々不同ニシテ、指部ハ短ク黒色ヲ呈シ、他ノ歩脚ト共ニ棘多シ。本科中最大ナルモノニシテ、甲長七〇耗、甲幅八〇耗ハ普通ノ大サナリ。體色ハ橙赤色ニシテ、棘ノ尖端ハ黒色ナリ。相模灣ニ棲息ス。

ベニホシマンチユウガニ

マツバガニ (松葉蟹) キサント科

第二一三五圖



pilmunoplax vestita.

頭胸甲ハ略々五角形ニシテ、前側縁ニ細小ナル二棘アリ。鉗脚ハ少シク扁タク、指部ノ咬合面ニ細鋸齒ヲ有シ、殆ド全背面ニ絨毛ヲ密生セリ。甲長二〇耗、甲幅三〇耗内外。南日本沿岸ニ棲息ス。

キサント科

第二一三四圖



Carcinoplax longimanus.

頭胸甲ハ略々圓形ヲ呈シ、眼窩内縁及ビ外縁ハ稍々突出セルノミニシテ、背面モ亦平滑ナリ。鉗脚ハ甚ダシク大形ニシテ、甲長ノ三、五倍ニモ達シ、長節ノ背面ニ小棘アリ。指部ハ少シク彎曲シ、咬合面ニ大小ノ鋸齒アリ。歩脚ハ細長クソノ腕節以下ハ扁平ニシテ、兩縁ニ長毛ヲ有セルモ、ソノ外ハ無毛ナリ。體ハ鮮カナル紅色ヲ呈ス。甲長三五耗、甲幅四五耗内外ニ達ス。南日本太平洋岸ノ稍々深所ニ棲息セリ。

ドロアシガニ (泥脚蟹)

エンコウガニ (猿猴蟹) キサント科

第二一四五圖



*Eriocheir japonica.*

頭胸甲ハ略々方形ヲナシ、隅角ハ稍々圓味ヲ帶ベリ。鉗脚ノ外面ノ大部分ハ長キ毛叢ニテ被ハル、特徴トナシ、歩脚ハ稍々扁平ニシテ、腕節及ビ前節ノ背縁ニ長毛ヲ有シ、又短毛列生セリ。體ハ灰色又ハ褐色ニシテ細小ナル白斑散在ス。甲長一〇〇耗、甲幅八〇耗内外ナリ。河口附近ノ汽水ノ砂泥底ニ棲息シ、分布極メテ廣ク、千島ヨリ臺灣ニ亙ル。

第二一四四圖



*Brachyonotus sanguineus.*

頭胸甲ハ略々方形ニシテ、後方稍々狭ク、うみもくづニ酷似セルモ、頭胸甲及ビ脚ニ赤褐色縞狀ヲナセルコト、鉗脚ニハ毛叢ヲ缺キ、赤褐色ノ點斑ヲ有セルコト等異レリ。

イツガニ (磯蟹) グラブスス科

モクツガニ (澤蟹) グラブスス科

(異名) モクツガニ

第二一四七圖



*Sesarma dehaani.*

頭胸甲ハ略々正方形ヲ呈シ、稍々扁平ニシテ、凹凸多シ。額ニハ横溝ヲ有シ、鉗脚ハ大形ニシテ指部ハ細長ク彎曲セリ。歩脚ノ長節ノ背縁ハ鋭キ稜ヲ形成シ、棘ニ終リ腕節以下各節ノ背腹兩縁ニハ長毛叢生セリ。甲長三八耗、甲幅四〇耗内外ニ達ス。太平洋岸ノ沼澤地ニ棲息ス。

第二一四六圖



*Goetice depressus.*

頭胸甲ハ扁平ニシテ、背面ニハ殆ド隆起部ヲ有セズ。前側縁ニハ眼窩外縁棘共ニ二棘アルノミナリ。鉗脚ハ左右同大ニシテ、腕節及ビ前節ハ膨大セルモ、指部ハ比較的短シ。歩脚ノ指節モ亦短シ。體色ハ白色又ハ種々ノ斑紋ヲ現ハス。甲長二〇耗、甲幅二五耗内外ニ達ス。太平洋岸ニ分布セリ。

ヒライソガニ (平磯蟹) グラブスス科

カクレガニ (隠蟹) グラブスス科

第二一四一圖



*Cardisoma hirtipes.*

頭胸甲ハ鈍梯形ヲ呈シ、前側縁ハ弧狀ニ膨出シ、前後モ亦穹狀ヲナシ、額ハ殆ド垂直ニシテ、甲面ハ略々平滑ナリ。鉗脚ハ頗ル大形ニシテ、腕節内縁ニ鈍棘列アリ。甲長五〇耗、甲幅六五耗内外ニ達ス。熱帶性ニシテ、九州以南ノ海岸ニ棲息セリ。

ワカガニ (陸蟹) グラブスス科

第二一四〇圖



*Plagusia depressa tuberculata.*

體形シヨウジンガニニ酷似セルモ、頭胸甲上ニ多數ノ丸キ疣散在シ、歩脚ノ長節ノ一面ニ羊齒狀ノ斑紋ヲ有セリ。鉗脚ノ掌部ニハ數條ノ隆起線ヲ有シ、第二脚以下ノ長節背縁ノ末端ニ一棘ヲ有シ、平滑ニシテ、背縁及ビ腹面ニハ長毛列ヲナス。南日本暖海産ナリ。

イボシヨウジンガニ (疣精進蟹) グラブスス科

イボシヨウジンガニ (疣精進蟹) グラブスス科

第二一四三圖



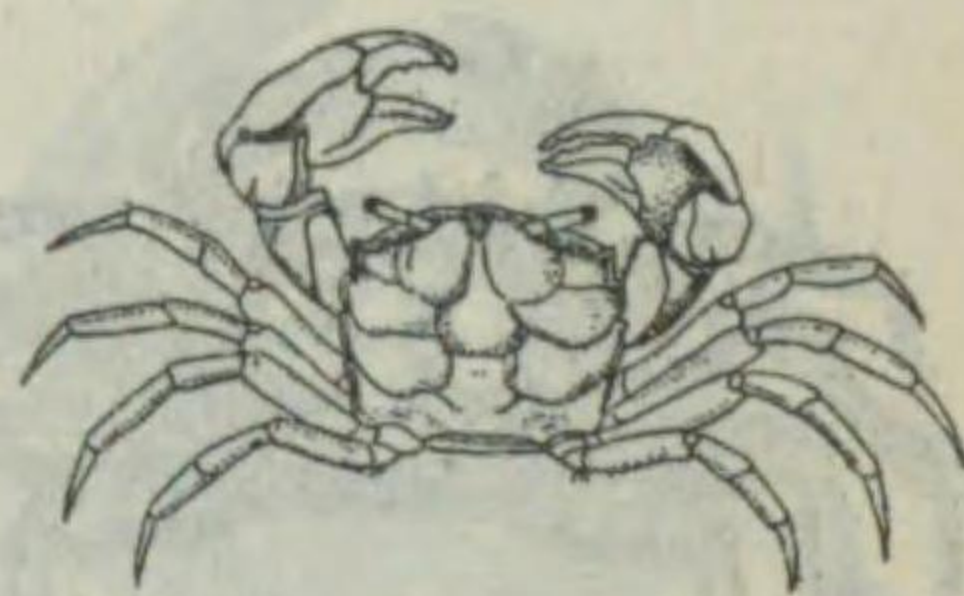
*Brachyonotus penicillatus.*

頭胸甲ハ略々方形ニシテ、後方ハ稍々狭ク、表面ニハ稍々凹凸アリ。額ハ殆ド直線狀ヲナシ、前側縁ハ弧狀ニシテ、眼窩ノ外縁棘ト共ニ三鋸齒アリ。鉗脚ハ左右同大ニシテ、雄ニテハ大キク、指部ノ内縁ニ長毛叢アリ。體色ニハ變異多キモ概ネ、濃赤褐色ヲ呈ス。甲長及ビ甲幅共約三〇耗内外ニ達ス。北海道南部ヨリ九州ニ亙リテ分布セルモ、南方ニ多シ。

ウミモクツガニ (海藻層蟹) グラブスス科

ウミモクツガニ (海藻層蟹) グラブスス科

第二一四二圖



*Helice tridens.*

頭胸甲ハ略々方形ニシテ、中央ニ二對、左右ニ三對ノ隆起ヲ有シ、額ノ背面前縁ハ富士山形ヲナセリ。鉗脚ハ頗ル大形ナルモ、歩脚ハ略々同形ニシテ殆ド無毛ナリ。體色ハ灰綠色ニシテ、鉗ハ赤色ヲ呈ス。甲長三〇耗、甲幅三五耗内外ニ達ス。海岸ノ淡水ノ流入セル草叢間ニ棲息セリ。

アシハラガニ (葦原蟹) グラブスス科

アシハラガニ (葦原蟹) グラブスス科

第二一四八圖



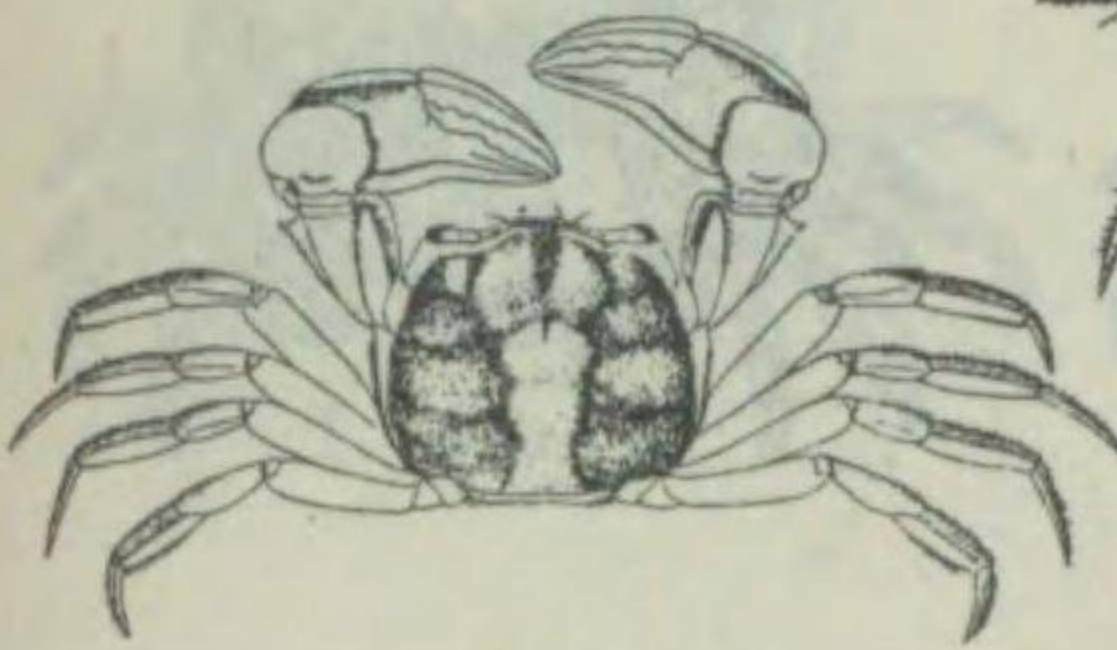
Sesarma intermedius.

頭胸甲ハ略々正方形ヲ呈シ、中央ニII溝明瞭ニシテ、側縁ヨリ斜後方ニ隆起アリ。脚部ハ體ニ比シ長大ニシテ、殊ニ鉗脚及ビ歩脚ノ長節ハ長大ナリ。體色ハ暗赤色ヲ呈ス。甲長二〇耗、甲幅二五耗内外ナリ。磯ニ普通ナルモノニシテ、群ヲナシテ岩礁間ニ棲息ス。肺臟「ヂストマル」ノ媒介ヲナス。

ベンケイガニ (辨慶蟹)

グラブスス科

第二一四九圖



Chasmagnathus convexus.

頭胸甲ハ略々四角形ヲ呈シ、兩側ハ圓ク張出セリ。背水線ノ溝ハ深ク、II溝明瞭ナルモ、全面ニ短毛ヲ密生ス。鉗脚ハ頗ル大形ナリ。甲長三五耗、甲幅四五耗内外ニ達ス。海濱ノ池沼泥地ニ棲息シ、青森ヨリ臺灣ニ互リテ分布セリ。

ハマガニ (濱蟹) グラブスス科

第二一五〇圖



Macrophthalmus depressus.

頭胸甲ハ略々四角形ニシテ、側縁及ビ鉗脚ノ長節ニ長キ軟毛密生セリ。鉗脚ハ雄、雌ヨリ長大ニシテ左右同大ナリ、ソノ長節ニハ毛多シ。體色ハ灰綠色ヲ呈ス。暖海ノ砂泥ニ穴ヲ掘リテ棲息シ、南日本ニ普通ニ見出サル。

ヒラスナガニ (平砂蟹)

オキボータ科

第二一五一圖



Scopimera globosa.

頭胸甲ハ巾着形ヲ呈シ、圓形ニシテ、額ハ幅狭ク尖出シ、兩側ニ長キ眼柄ヲ有スル眼ト之ヲ納ムベキ眼窩トヲ有ス。背面ヨリ側甲ノ大部分ヲ見ラレ、全面ニ粟粒散在セリ。鉗脚ハ中等大ニシテ長節ノ背面ニ小列形ノ紋アリ。甲長及ビ甲幅共二一〇耗内外ナリ。海濱ニ穴ヲ掘リテ棲息ス。

オキボータ科

コメツキガニ (米搗蟹)

第二一五二圖



Uca arcuata.

頭胸甲ハ前方廣キ梯形ヲナシ、前側角ハ尖レリ。鉗脚ハ左右著シク不同ナルヲ特徴トナシ、大鉗脚頗ル大形ナルニ反シ、小鉗脚ハ歩脚ヨリモ小形ナリ。甲ハ濃褐色ニシテ、脚ハ赤色ナリ。甲長二五耗、甲幅四〇耗内外ニシテ、大鉗脚ハ一〇〇耗ヲ超ユ。海濱ニ棲ミ、干潮時ニ穴ヲ出デ、大鉗脚ヲ露スヲ以テコノ名アリ。暖海ニ多産ス。

シホマネギ (招潮・望潮)

オキボータ科

第二一五三圖



Uca lactea.

體形シほまねぎニ似タルモ、頭胸甲ハ幅廣ク、大鉗脚ハ體ニ比シ更ニ大形トナル。甲長一〇耗、甲幅二〇耗内外ニシテ、大鉗脚ハ六〇耗ニ達シ白色ナリ。暖海ノ海濱ニ棲息ス。

オキボータ科

ハクセンシホマネギ (白扇招潮)

第二一五四圖



Ocypoda ceratophthalma.

頭胸甲ハ略々方形ニシテ、表面ニハ粟粒密布セリ。眼柄ハ太ク、ソノ先端ハ眼珠ノ背端ヨリ細ク、桿狀突起ヲ有セルヲ以テ特徴トス。然シ雌ニテハ顯著ナラズ。鉗脚ハ左右不同ニシテ、大鉗脚ハ太ク、棘狀及ビ疣狀突起散在セリ。第二脚ハ細ク、脚ニハ毛少シ。甲長及ビ甲幅共二二四〇耗内外ナリ。熱帯海ニ棲息シ、琉球及ビ臺灣ニ分布セリ。

ツノメガニ (角眼蟹)

オキボータ科

ミツガニ (水蟹)

オキボータ科

第二一五五圖



Ocypoda cordimana.

頭胸甲ハ略々方形ニシテ、前側角ハ鋭ク、眼柄ハ太クシテ、眼珠ノ背面ハ腹レ、全形稍々棍棒狀ヲナセリ。鉗脚ハ左右不同ニシテ、大鉗脚ノ長節ハ著シク太シ。脚ノ前節及ビ指節ニハ短毛ヲ疎生セリ。甲長一八耗、甲幅二〇耗内外ニ達ス。暖海産ニシテ、太平洋岸ニ分布セリ。

第二一六一圖



Lysiosquilla multifasciata.

吻ハ稍々方形ヲナシ、額角ハ鋭  
棘ヲナセリ。頭胸甲ハ短ク、兩側  
ハ斜前方ニ截斷狀ヲナセリ。捕脚  
ノ指部ニハ六棘ヲ有シ、尾節ハ短  
ク、銳棘多シ。體色ハ白色ニ暗黒  
色斑アリ。體長四五耗内外ニ達ス。  
南日本産ニシテ、餘リ多カラズ。

第二一六〇圖



Lysiosquilla maculata.

頭胸甲ノ兩側ハ膜狀ヲ呈シ、後方  
ニ突出シ、第五胸節ノ部分最モ細  
ク、以下漸次幅廣ク、腹部最モ幅廣  
ク扁平ナリ。背面ハ隆起ヲ缺キ、平  
滑ナリ。捕脚ノ指節ニハ約一〇棘  
ヲ有シ、尾節ハ稍々短ク、半圓形  
ヲ呈セリ。體色ハ淡黄色ニ暗紫色  
ノ横縞アリ。體長一五〇耗ニ達ス。  
南日本産ナルモ多カラズ。

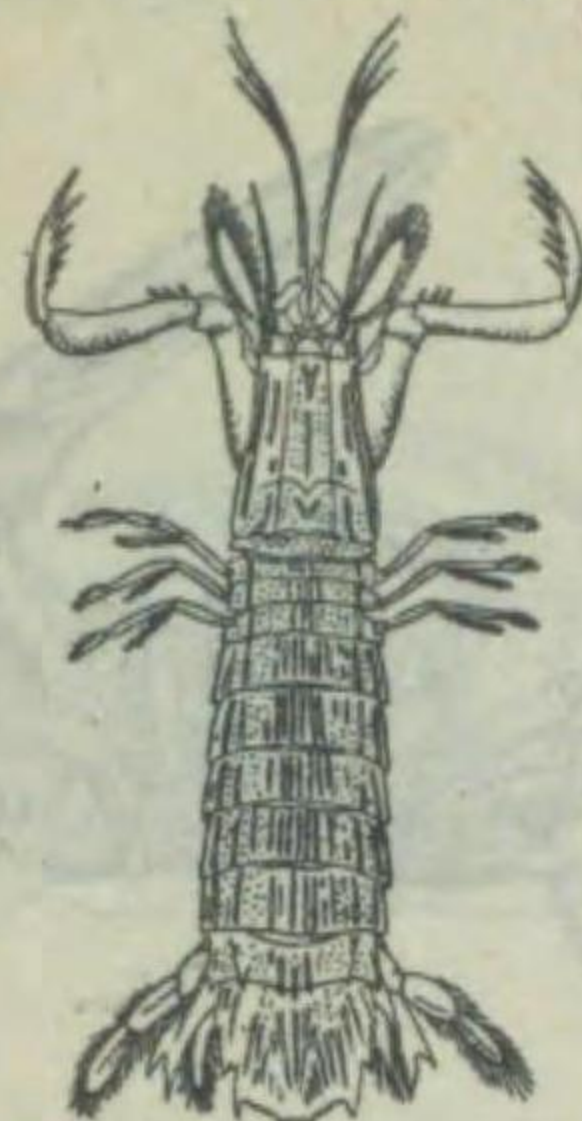
ヒメトラフシヤコ (姫斑蝦蛄)

シヤコ科

トラフシヤコ (虎斑蝦蛄)

シヤコ科

第二一五七圖



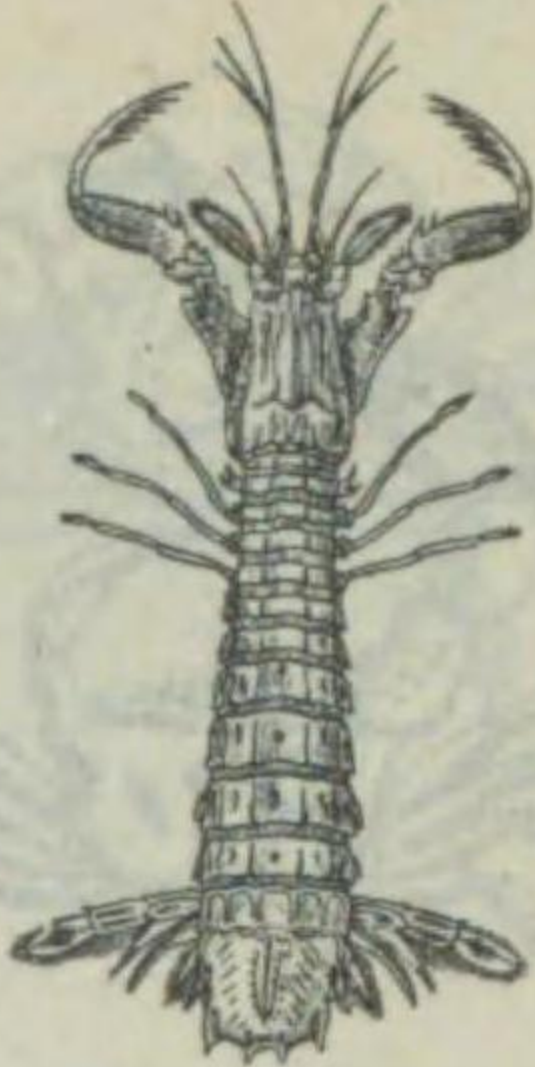
Squilla costata.

形シヤコニ似タレドモ、腹節並ニ  
尾節ノ背面ニ縱隆起線及ビ粟粒多  
シ。大サ彼ヨリ小ニシテ、七〇耗  
内外ニ過ギズ。本邦沿岸ニ採集セ  
ラル、モ、シヤコヨリ稀ナリ。

セスヂシヤコ (背條蝦蛄)

シヤコ科

第二一五六圖



Squilla oratoria.

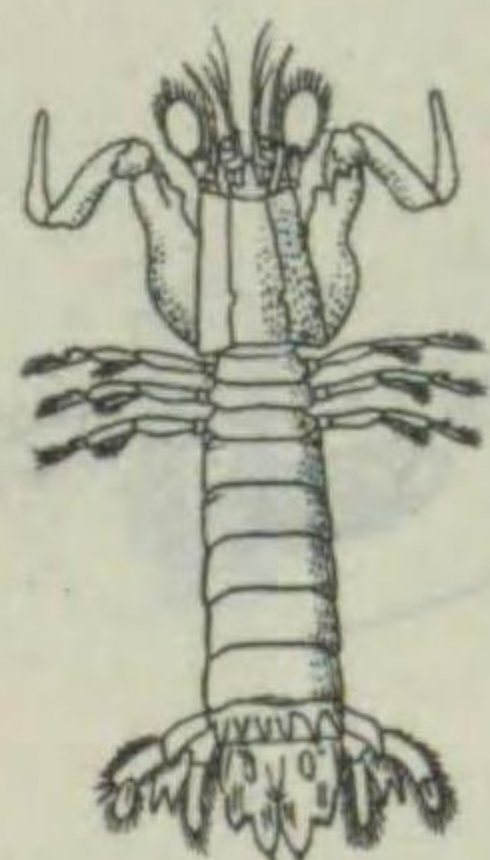
體ハ壓扁シ、露出セル胸節ハ腹節  
ヨリ幅狭ク、背面ハ腹面ト共ニ二  
對乃至四對ノ隆起線アリテ、中央  
近クヨリ前後ノモノハ一直線ニ通  
ヘリ。捕脚ノ指節ニハ六棘ヲ有ス。  
體色ハ灰青色ヲ呈シ、肢ハ黄色ニ  
シテ、尾節ハ紅色ヲ帶ベリ。體長  
一五〇耗内外ニ達ス。近海ノ砂泥  
底ニ棲息シ、分布廣ク、北海道ヨ  
リ臺灣ニ互レリ。食用トナシ又食  
餌用ニ供ス。

シヤコ (蝦蛄)

シヤコ科

(異名) シヤコ、シヤコナグサ、青蝦蛄

第二一六三圖



Gonodactylus chiragra.

外形はなしヤコニ似タルモ、吻ハ  
三棘狀ヲナシ、捕脚ノ指節ニハ棘  
齒ヲ有セズ。背面ハ平滑ナルモ、  
第六腹節ニハ左右ニ各三縱隆起ア  
リテ、末端ハ棘トナリ、尾節ニハ  
「小」字形ノ縱隆起ヲ有シ、ソノ  
邊縁ハ二對ノ大棘トナレリ。體ハ  
黄褐色、時ニ黑色斑ヲ有ス。體長  
五〇耗内外ニ達ス。暖海性ニシテ  
海岸ノ岩礁間ニ棲息セリ。南日本  
ニ比較的多ク分布ス。

シヤコ科

第二一六二圖



Odontodactylus japonicus.

頭胸甲ハ後方廣キ梯形ヲナシ、吻  
ハ略々三角形ヲ呈シ、眼ハ頗ル大  
形ナリ。捕脚ノ指節ノ棘ハ六乃至  
八箇アリ。第五胸節乃至第五腹節  
ハ略々長方形ニ近シ。背面ハ平滑  
ナルモ、第六腹節及ビ尾節ニハ縱  
隆起線アリ。體色ハ雌雄ニヨリテ  
異リ、雌ハ前半褐色ニシテ、後半  
ハ藍綠色ヲ呈シ、雄ハ背面褐色  
ナリ。體長一五〇耗内外ニ達ス。  
南日本産ニシテ、多カラズ。

フトユビシヤコ (太指蝦蛄)

ハナシヤコ (花蝦蛄)

シヤコ科

第二一五九圖



Squilla fasciata.

體節ノ背面ニハ縱隆起線少ク、中  
央部ハ滑カナルモ、尾節ニハ數對  
ノ隆起線アリ。捕脚ハ比較的太ク  
指節ノ棘ハ六箇ナリ。小形ナルモ  
ノニシテ、體長六〇耗内外ナリ。  
本邦沿岸ニ往々見出サル。

スヂラシヤコ (條尾蝦蛄)

シヤコ科

第二一五八圖



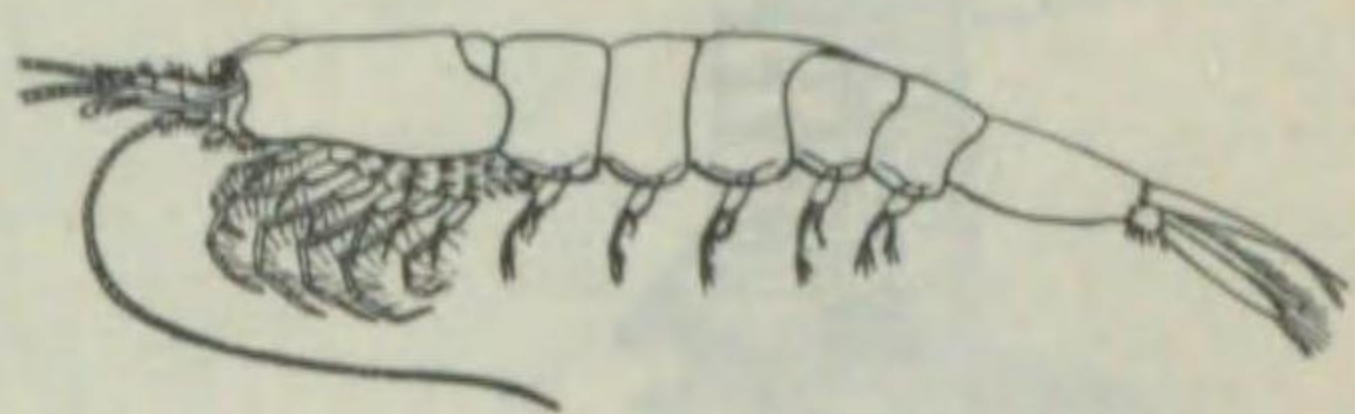
Squilla raphidea.

頭胸甲ハ比較的長ク、ソノ兩側縁  
ニ長三角狀隆起線アリ。第五胸節  
以下ハ後方ニ向ヒ漸次幅廣ク、稍  
々細長キ尾節ト共ニ幅廣キ披針形  
ヲナセリ。第六乃至第八胸節ノ後  
側縁ハ銳キ棘ヲナセリ。捕脚ハ大  
形ニシテ、指節ニハ大小八棘ヲ有シ、  
手節ノ縁ニモ大小多クノ棘アリ。  
尾部ノ中央隆起線ノ兩側ニ暗色斑  
ヲ有シ。體長二〇〇耗内外ニ達ス。  
暖海性ニシテ、南日本産ナルモ、  
多カラズ。食用ニ供セラル。

トゲシヤコ (棘蝦蛄)

シヤコ科

第二一六四圖



Euphausia gibba.

エウファウシア・ギッパ  
エウファウシア科  
體ハ極メテ細長シ。嘴狀突起ハ長クソノ先端ハ尖リ、第三胸節ノ背部後縁ハ棘狀ノ顯著ナル棘狀突起トナリテ延長ス。最後ノ腹部ハ最も長シ。眼ハ小形ニシテ、後觸角ノ鱗片稍大キク、外角ニハ棘狀突起ナシ。暖海産ニシテ大ナルハ體長一五耗ニ達ス。本州太平洋岸ニ棲息セリ。

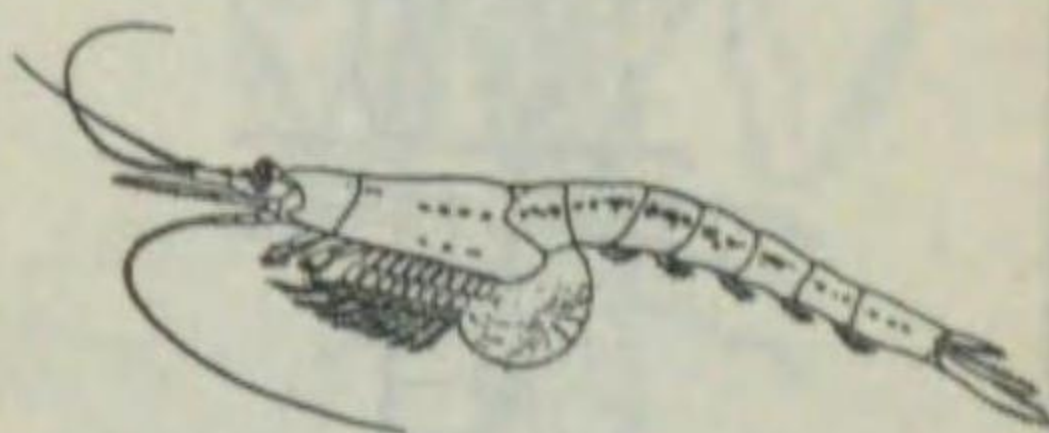
第二一六五圖



Euphausia pellucida.

ス井シャウアミ (水晶海賊)  
エウファウシア科  
背甲ノ先端ハ尖リ、ソノ兩側ノ下縁ニ各二箇ノ小棘ヲ有ス。尾節ハ頗ル細長ク、兩背側ニ二小棘ヲ有シ、大ナル副棘ノ内縁ニハ細齒列生セリ。體長一〇乃至一五耗ニ達ス。温帯、熱帯性ニシテ、太平洋岸及ビ日本海岸ニ分布セリ。鯨、鰹、鮪及ビ鯖等ノ好天然餌料トシテ、頗ル重要ナルモノナリ。

第二一六六圖



Neomysis isaza.

ネオミシス・イサザ ミシス科  
背甲ノ前縁ハ鈍ク尖リ、第二觸角ノ鱗片ハ長クシテ尖リ、側縁ニ刺毛列生セリ。尾部ハ舌狀ニシテ二以上ノ小棘列生シ、末端ニ四棘アリ。體色ハ半透明ニシテ、淡褐色ヲ呈シ、黒色色素點散在ス。體長八乃至一四耗ナリ。淡水及ビ汽水ニ棲息ス。霞ヶ浦、兒島灣ニ産シ、佃煮用、鹽辛用、魚餌用等ニ供セラル。

第二一六七圖



Metamysis sagamiensis.

メタミシス・サガミエンシス ミシス科  
背甲ノ前縁ハ鋭ク尖リ、腹部ニハ棘ヲ有セザルモ、尾部ハ稍々長三角形ヲ呈シ、ソノ先端ハ截斷狀ニシテ、四長棘ヲ有シ、側縁ニ細齒アリ。雄第四腹肢ノ外葉ハ長ク延ブ。體色ハ淡赤褐色ニシテ透明ナリ。體長一二耗内外ニ達ス。相模灣、駿河灣ノ沿海汽水ニ産ス。相模灣、駿河灣ノ沿海汽水ニ産ス。相模灣、駿河灣ノ沿海汽水ニ産ス。

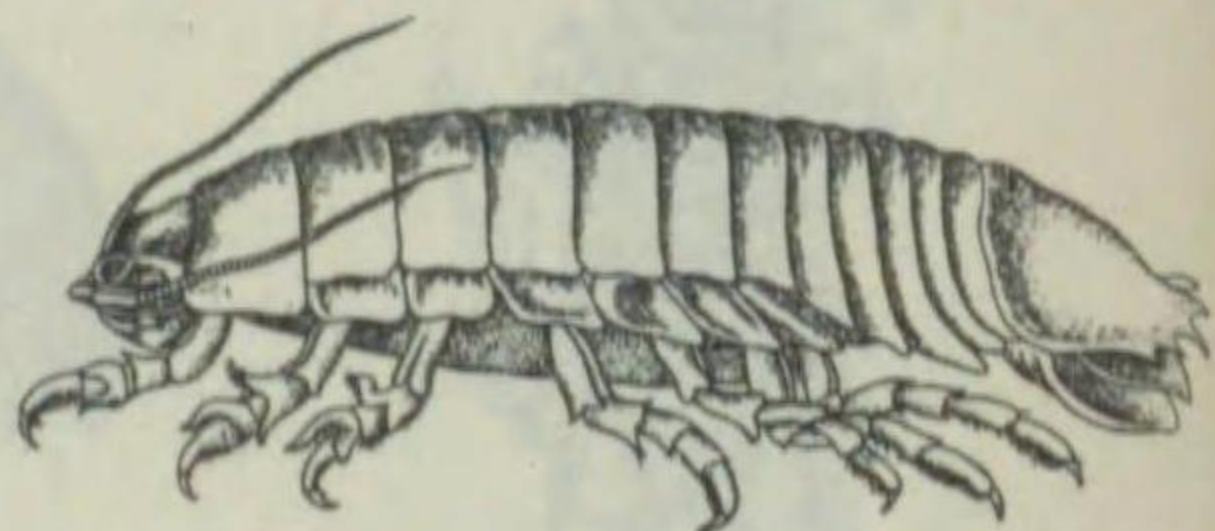
第二一六八圖



Nebalia bipes.

コノハエビ (木葉蝦) ネバリア科  
頭胸甲ハ大形ニシテ側扁シ、吻板ハ大形ニシテ、頭胸甲トノ間ニ可動關節ヲ有ス。尾節ニ一對ノ尾叉ヲ有シ、體長一〇耗内外ニ達ス。本種ニ酷似シ、大西洋、地中海ニ廣ク分布セルモノニ「ゲオフロイ種」(N. geoffroyi)アリ、本邦ニ産スルハこのはえびナラン。

第二一七〇圖



Bathymonus doederleini.

オキグソクムシ (大貝足蟲) タソクムシ科  
體ハ上面長楕圓形ニシテ、胸部ハ半圓形ナルモ、腹部著シク壓扁セリ。眼ハ腹面ニ位シ、第一觸角ハ短ク、第二觸角ハ鞭狀ヲナス。尾部ノ後縁ハ鋸齒狀ノ棘狀突起ヲ有セリ。相模灣ノ深所ニ棲息ス。

第二一六九圖



Paranthura sp.

ウミナ、フシ (海七節蟲) ウミナ、フシ科  
頭ハ細長ク、略々圓錐形ヲ呈シ、觸角及ビ腹部ハ短小ナリ。口ハ延長シテ吸收ニ適シ、第一胸脚ハ大形ナリ。體長一五耗内外ニ達ス。之ニ類スルモノニ「カラトウラ」(Calathura) 及ビ「アントウラ」(Anthurus) ナリ。

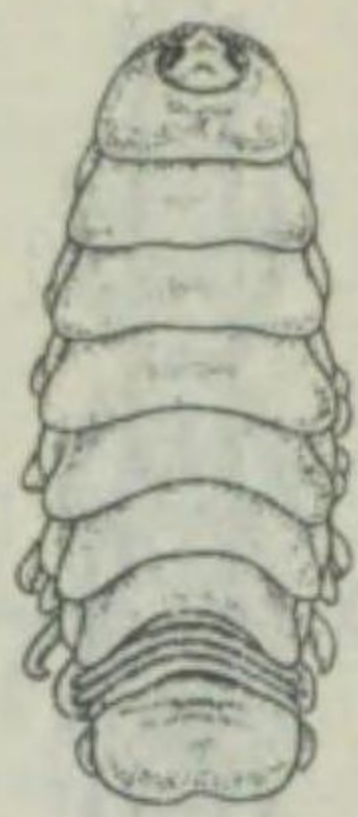
第二一七一圖



Tachea chinensis.

エビノコバン (蝦ノ小判) タヒノエ科  
體ハ後方ニ至ルニ從ヒ漸次ニ細マリ壓扁シ、第二觸角ハ鞭狀ニシテ第一觸角ヨリ長シ。頭ノ前縁ハ圓ク突出シ、尾部ノ後縁モ亦突出シ、棘及ビ短毛ヲ生ズ。全面ニ毛狀突起散在シ、又暗色小點散在セリ。體長一〇耗内外ニ達ス。淡水ニ産スルエビノ外面ニ着生ス。

第二一七二圖



*Meinertia oxyrhynchaena.*

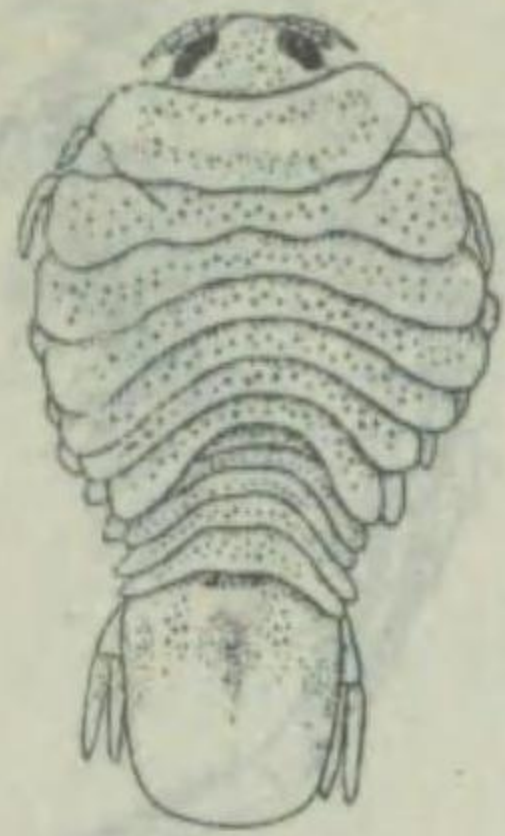
體ハ長楕圓形ニシテ壓扁ス。頭ハ第一胸節ノ前端凹窪中ニアリテ、口ハ吻狀ニ突出セリ。觸角ハ二對共ニ扁平ニシテ短小ナリ。尾部ハ大形ニシテ、後縁ハ圓ク、中央ハ僅ニ凹メリ。胸脚ハ同形ニシテ鉤狀ヲナセリ。雌雄異體ニシテ、雄ハ雌ヨリ遙ニ小サク、體長雌三〇耗、雄一五耗内外ニ達ス。魚ノ口腔及ヒ鰓等ニ外部寄生ス。

タヒノエ (綱ノ餌) タヒノエ科

タナゴヤドリムシ (鰓寄生蟲)

タヒノエ科

第二一七三圖



*Ichthyoxenus japonensis.*

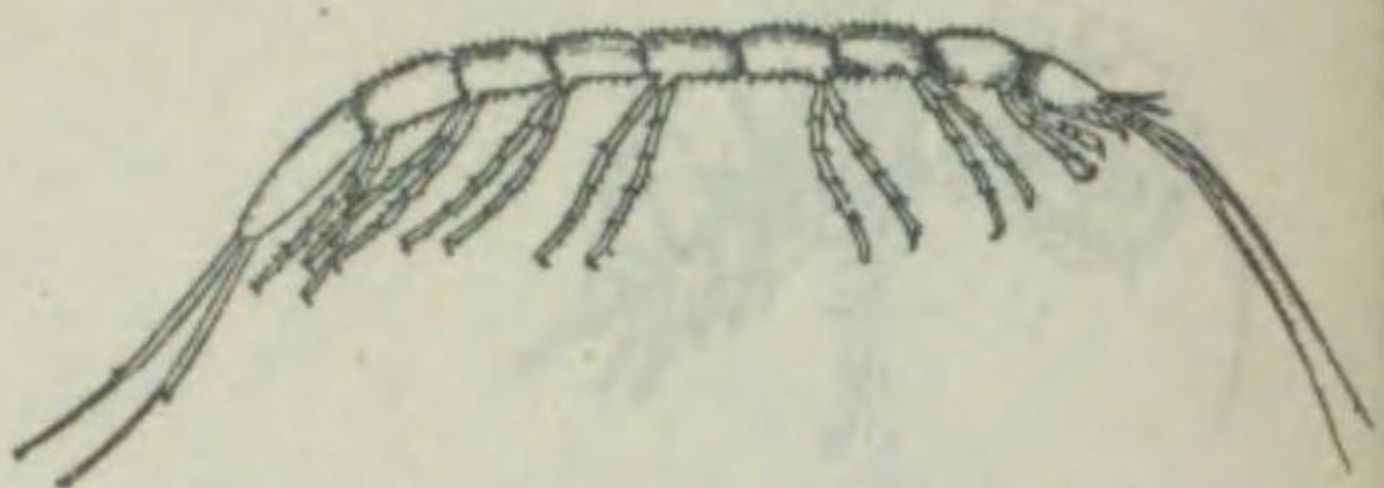
體ハ雌ニテハ横ニ彎曲シ、多少左右不相稱ナリ。眼ハ大形ニシテ、觸手ハ短シ。尾部ハ半圓形ニシテ大キク、胸脚ハ鉤狀ヲ呈シ、體長一五耗内外ニ達ス。雄ハ相稱のニシテ、觸角ハ稍々長ク、體ハ小形ニシテ一〇耗内外ニ達ス。淡水魚ノ胸鰓直後ニ穿孔シ、腹腔ニ入りテ寄生ス。

ナガミツムシ (長水蟲)

ミツムシ科

(異名) ノクラミツムシ

第二一七六圖



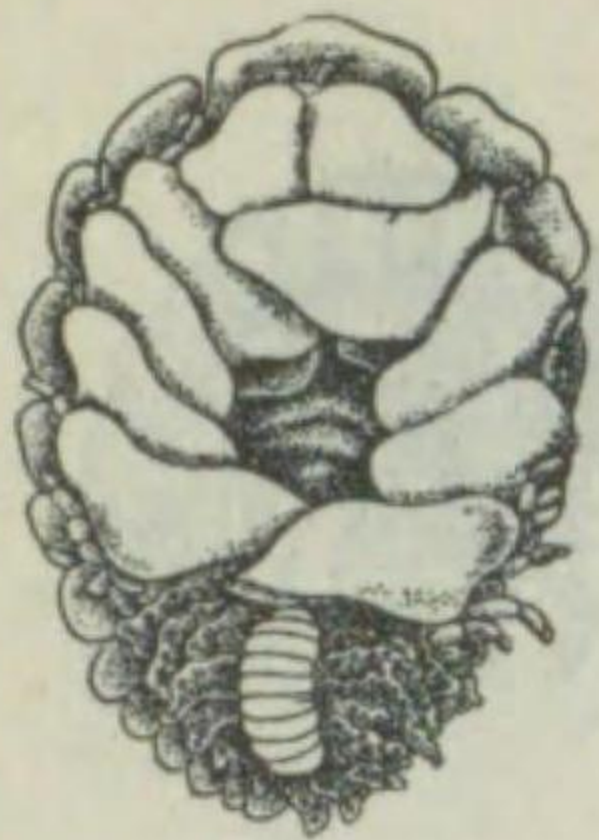
*Caecidotea kawamurai.*

體ハ頗ル細長ク、眼ハ甚シク退化シ、殆ド痕跡的ナリ。第二觸角ハ鞭狀ニシテ長ク、各胸節ノ間ハ緊縮セリ。腹部ハ退化シテ、短小ナル二節ノミナリ。尾部ハ楕圓形ニシテ長キ尾脚ヲ有ス。井水中ニ棲息セリ。

エビヤドリムシ (蝦寄生蟲)

エビヤドリムシ科

第二一七七圖



*Epipenaeon sp.*

體形雌雄ニヨリテ異リ、雌ハ一般ニ短楕圓形ヲ呈シ、扁平ニシテ左右不相稱ナリ。眼ハ全ク退化シ、頭ノ前方ハ葉狀ニ擴リ、腹面ニハ顯著ナル五對ノ覆卵葉アリ。雄ハ雌ヨリ頗ル小形ニシテ、長楕圓形ヲナシ、左右相稱ナリ。小眼ヲ有シ、常ニ雌ノ腹部ニ寄生セリ。體長雌一〇乃至二五耗、雄二乃至五耗内外ナリ。えびノ鰓孔ニ寄生ス。本邦産ノくるまえばしノ類ニ寄生スルモノ (*E. japonica*) ハ大形ナル種類ナリ。

第二一七四圖



キクヒムシ (木喰蟲) キクヒムシ科

*Limnoria lignorum.*

體ハ長楕圓形ヲ呈シ、半圓壩狀ニシテ、屈メバ球狀ヲナス。第一及第二觸角ハ共ニ短小ニシテ、略々同長、腹部ハ五節、尾部ノ後縁ハ殆ド圓形ナリ。胸脚ハ步行ニ、腹脚ハ游泳ニ適ス。體長三乃至四耗ナリ。海中ニ沈漬セル木材ヲ喰ヒ、又防波、棧橋工事等ニ大害ヲナス。分布極メテ廣シ。

ミツムシ (水蟲) ミツムシ科

第二一七五圖



*Asellus aquaticus.*

體ハ長楕圓形ヲ呈シ、壓扁セリ。第二觸角ハ鞭狀ニシテ、腹部ハ頗ル退化シ、極メテ短キ二節ヨリナル。尾部ハ頗ル大キク、後縁ノ中央ハ少シク突出セリ。體長八耗内外ニ達シ、淡水ニ最も普通ナルモノナリ。

カニヤドリムシ (蟹寄生蟲)

カニヤドリムシ科

第二一七八圖



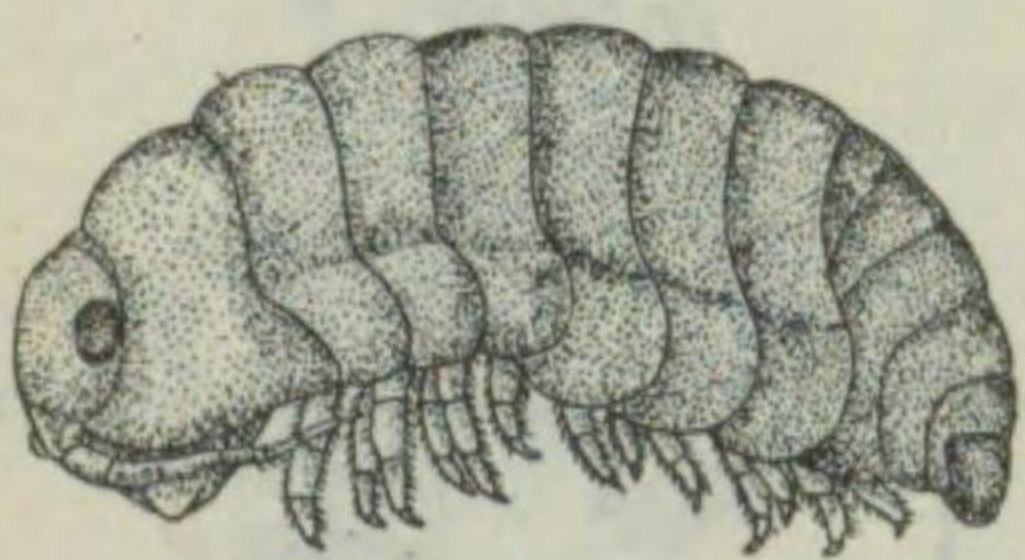
*Portunium sp.*

かにノ體内ニ寄生シ、殊ニ雌ニテハ甚シ。即チ、環節ハ不明瞭ニシテ脚ハ退化シ、胸部ニハ不規則ナル大形ノ覆卵葉發達シ、一見全ク甲殼類トハ認メ難シ。雄ハ等脚類固有ノ形ヲナシ、雌トハ全然異レリ。幼生期ニ宿主ノ體腔ヨリ侵入スルモノナリ。

ダンゴムシ (團子蟲)

ダンゴムシ科

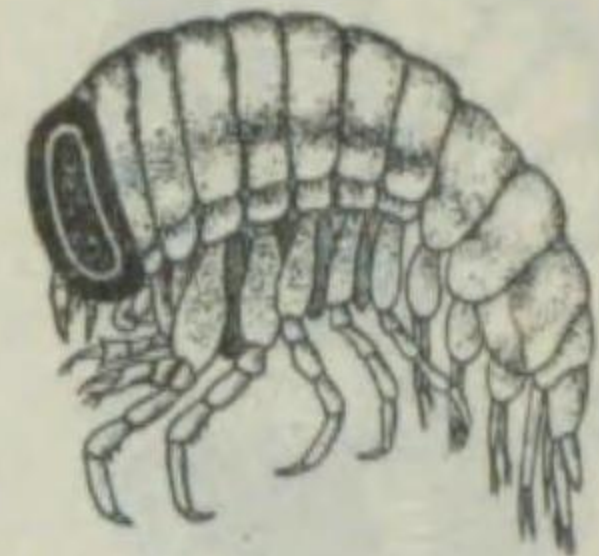
第二一七九圖



*Tylos granulatus.*

體ハ半圓壩形ヲ呈シ、背全面ニ粟粒突起ヲ有ス。第一觸角ハ頗ル短ク、第二觸角ハ發達セリ。胸脚ハ步行ニ適シ、多クノ毛ヲ有ス。尾部ハ横ニ廣シ。體長二〇耗、體幅八耗内外ニシテ、物ニ驚キタル時ハ體ヲ屈シテ、殆ド球形ヲ呈ス。海濱ノ砂中ニ棲息セリ。

第二一八〇圖



クラゲノミ (水母蚤)

ヒベリア科

Hyperia sp.

大形ナル水母類ニ附着シテ、之ヲ喰フ寄生蟲ナリ。眼ハ頗ル大形ニシテ、頭ノ大部分ヲ占メ、雌ノ觸角ハ短クシテ、殆ド同長ナリ。頭脚ハ簡單ニシテ稍大キク、胸脚ハ略同長ナリ。體ハ淡褐色ニシテ、眼ハ綠色ヲ呈シ、體長一〇〇耗内外ニ達ス。

トビムシ (飛蟲)

トビムシ科

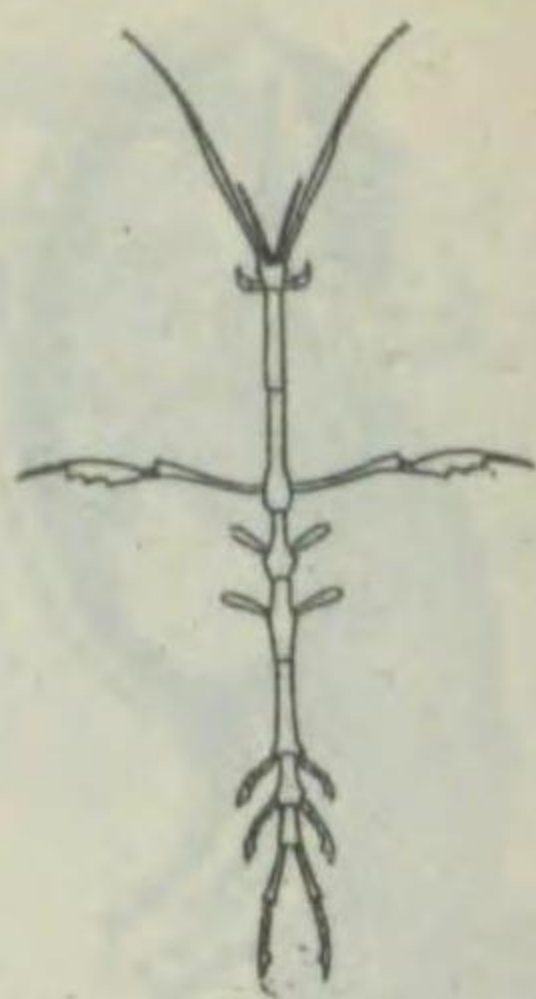
第二一八一圖



Gammarus sp.

淡水又ハ半鹹水中ニ普通ニ棲息セルモノニシテ、體ハ側扁シ、觸角ハ二對共長シ。頭脚ハ鉗狀ヲ呈シ、胸脚ハ細長シ。尾脚ハ三對ヲ有ス。

第二一八四圖



Caprella kröyeri.

ワレカラ (刺波・首刺) ワレカラ科  
體制稍々くぢらじらみニ似タレ共著シク細長ナリ。ほんだわらソノ他ノ海藻ニ多數附着シ、後部ヲ固着シ、前部ヲ屈伸セシムルモ、保護色ノ爲メ發見シ難シ。體長四〇耗内外ナルモ、時ニ八〇耗内外ニ達スルモノアリ。

クチラジラミ (鯨虱)

クチラジラミ科

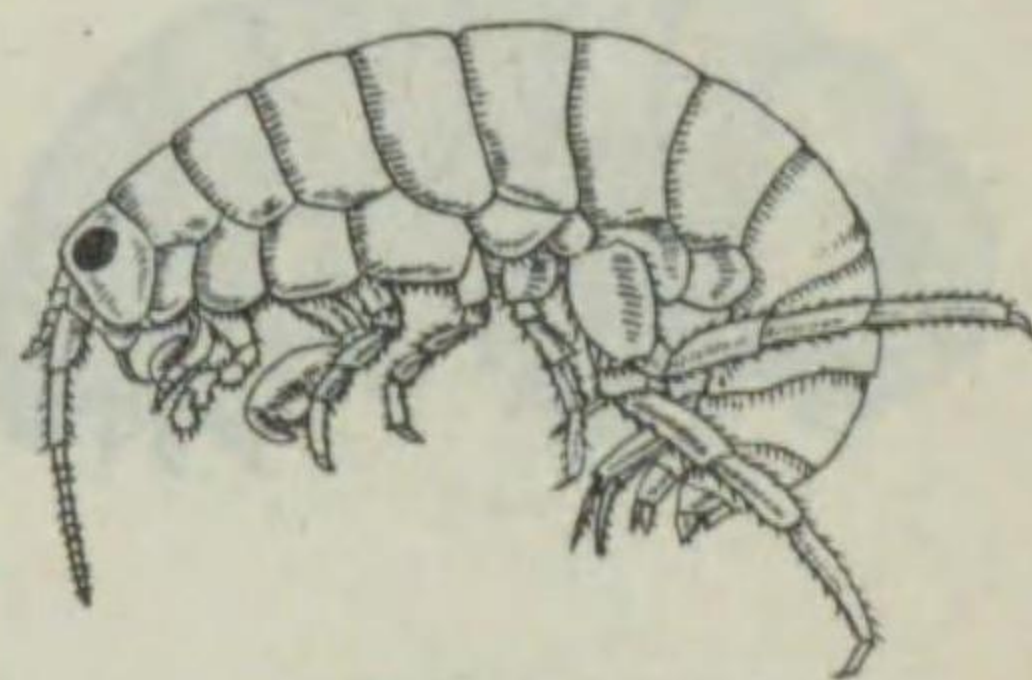
第二一八五圖



Cyamus ceti.

體ハ廣ク、腰扁シ、腹部ノ著シク退化セルコト等ハ他ノ類ト全ク異レリ。第二觸角ハ著シク退化シ、第二頭脚ハ頗ル顯著ニシテ、次ノ二節ニハ棒狀ノ鰓アリテ脚ナシ。ソノ後方三對ノ脚ハ短大ニシテ鉤爪ヲ有シ、鯨ノ皮膚ニ懸垂寄生スルニ適ス。體長五耗内外ナリ。

第二一八二圖



ハマトビムシ (濱飛蟲)

ハマトビムシ科

Orchestia sp.

海濱ノ砂上ニ棲息シヨク跳躍ス。第一觸角頗ル小サク、ソノ先端ハ第二觸角柄部ノ終ヨリ二節目ノ先端ニ達セズ。第二頭脚ハ第一頭脚ヨリ大キク、ソノ形雌雄ニヨリテ異レルモ、兩者共ニソノ終ヨリ葉狀突起アリ。

キクヒモドキ (擬木喰蟲)

キクヒモドキ科

第二一八三圖



Chelura terebrans.

體ハ略々圓筒形ヲ呈シ、第二觸角ノ先端ハ扁平ナリ。第三腹部ノ背中央線上ニ扁平ナル突起ヲ有シ第四腹部ハ三箇ガ相癒合セルモノニシテ大形ナリ。體長六耗内外ニ達ス。海水中ニ沈下セル木材ヲ喰害ス。

エボシガヒ (烏帽子貝)

エボシガヒ科

第二一八六圖



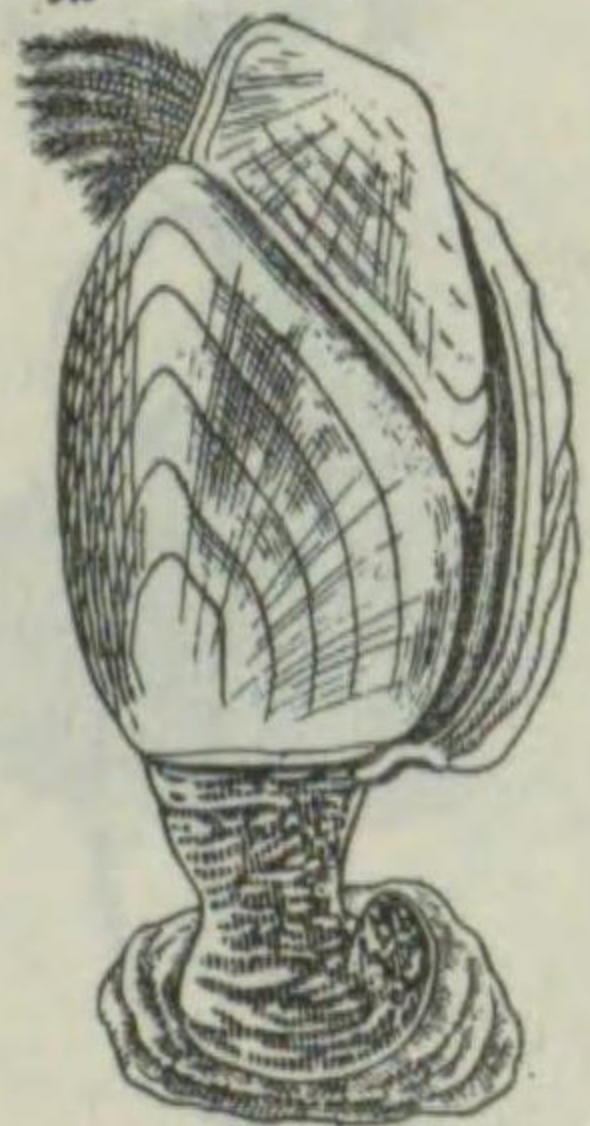
Lepas anatifera.

頭胸甲ハ三角形ニシテ灰白色、一對ノ背板、楯板及ビ背側癒合線ノ一板ノ峯板ニヨリテ被ハレ、各板ハ生長線ヲ有シ、ソノ外縁ハ橙紅色ニシテ橙褐色ノ膜狀部ニテ連結セラル。柄部ハ比較的長ク、多數ノ横皺ヲ有シ、紫褐色ナリ。莖脚ハ六對ニシテ密毛ヲ生ジ、二又シ、多數ノ小節ヨリ成ル。體長五〇乃至七〇耗内外ナリ。海中ノ浮木、杭等ニ固着生活ヲナス。各地沿岸ニ普通ニ見出サル。

エボシガヒモドキ (擬烏帽子貝)

エボシガヒ科

第二一八七圖



Lepas anserifera.

五ぼしがひニ酷似セルモ、背板不正ナル四邊形ヲ呈シ、殻頂ノ突起稍々著シク、膜狀部狭ク、體ハ小形ニシテ、體長三〇耗(柄部一〇耗)内外ナリ。浮木、杭等ニ固着シ、各地ノ沿岸ニ棲息ス。



第二一九三圖



Balanus tintinnabulum.

殻ハ圓錐形ヲ呈シ、數多ノ縱隆起ヲ有シ、開口ハ略々全縁ナリ。殼色ハ種々ノ變異アレドモ、概ネ淡紅色乃至黒紫色ヲ呈ス。大形ナルモノニテハ高サ約五〇耗内外ニ達ス。各地ニ廣ク分布シ、岩礁、浮木、船底等ニ附着生活ヲナシ、殊ニ船艙ニ附着シテ有害ナリ。

第二一九二圖



Scalpellum stearnsii.

ツノカメノテ (角龜手) エボシガヒ科

體部ハ一四箇ノ灰白色石灰板ニテ被ハレ、五角形ノ下中側板及ビ下方ニ角狀ニ突出セル峯側板顯著ナリ。柄部ハ扁平ニシテ石灰質ノ鱗片螺旋狀ニ排列セリ。長サ約五〇耗内外ニ達ス。多カラズ。

第二一九五圖



Balanus amphitrita niveus.

しろすぢぶぢつばニ似タレドモ、殻ハ殆ド白色又ハ灰紫色ニシテ灰白色ノ縱條ヲ有シ平滑ナリ。開口ハ略々五角形ニシテ鋸齒狀ヲ呈ス。本種モ亦岩礁ノ表面ニ附着シ、稍々深キ所ニ迄棲息ス。

第二一九四圖



Balanus amphitrita albicostatus.

シロスチフチツボ (白條藻)

殻ハ圓錐形ヲナシ、開口ハ稍々斜傾ニテ廣シ。殼色ハ色彩ニ種々ノ變化アルモ、暗赤色乃至暗灰紫色ヲ呈シ、表面ニハ白色ノ縱隆起アリ。各地ノ沿岸岩礁上ニ普通ニ見出サル。又船艙ニ附着シ速力ヲ殺ギ有害ナリ。

フチツボ科

第二一八九圖



Conchoderma virgatum.

體部及ビ柄部ノ境不明ニシテ、體部ハ略々橢圓形ヲ呈シ、扁平ナリ。體ハ帶青灰白色ニシテ暗褐色ノ六縱帶ヲ有ス。稍々大形ナル種類ニシテ、體長五〇耗(柄部二五耗)内外ニ達ス。船底、浮標、龜、鯨等ニ附着シテ生活ヲナス。

第二一八八圖



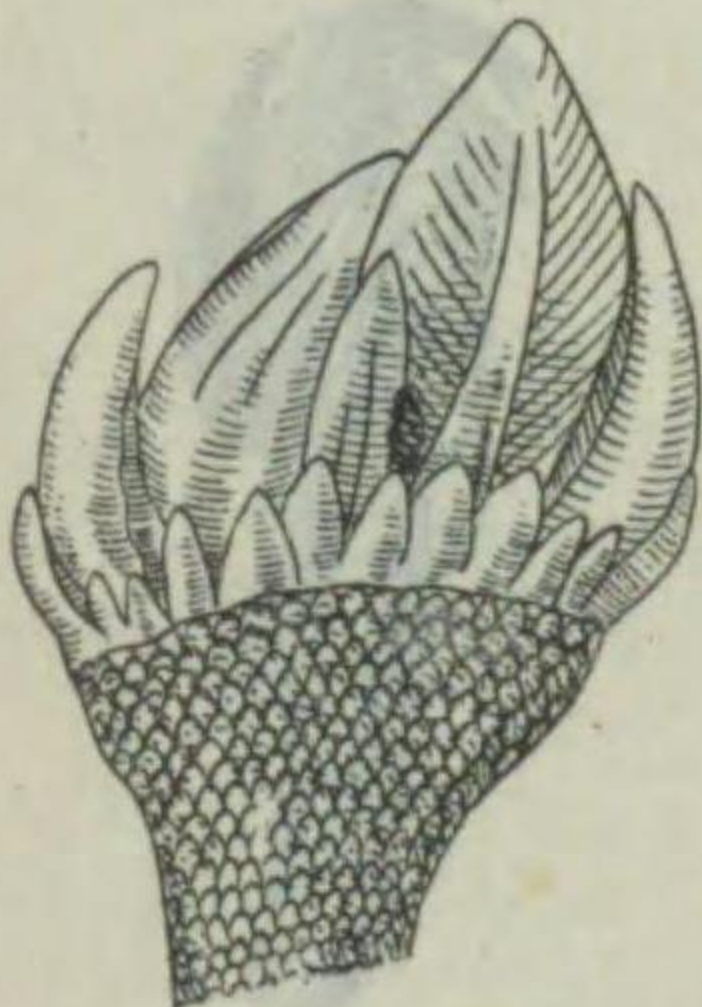
Alepas minuta.

エボシガヒ科

小形ノ美シキ種類ニシテ、體部ハ略々卵圓形ヲ呈シ、暗紫色ニシテ側扁シ、ソノ上部稍々斜ニ直線狀ノ開口ヲ有シ、蔓脚ヲ出入セシム、ソノ縁邊ハ波狀ニシテ、橙黄色ナリ。ソノ直下ニ黄白色角質ノ薄板ヨリ成レル楯板ヲ有シ、全ク石灰質板ヲ缺如セリ。柄部ハ著シク彎曲ス。體長七耗(柄部ハ三耗)内外ナリ。いせえびニ固着生活ヲナス。

エボシガヒ科

第二一九一圖



Mitella mitella.

體部ハ三角形ノ楯板、四角形ノ背板、三角形ノ嘴板、峯板及ビ小形ノ側板等多クノ石灰板ヨリ成リ、ソノ數ハ三ニ乃至三四箇ニ達シ、表面ハ何レモ、明瞭ナル生長線アリ。體色ハ黄灰色ニシテ、柄部ノ表面ハ石灰質ニテ被ハレ暗褐色ヲ呈ス。長サ四〇耗、幅五〇耗内外ニ達ス。汀線ノ岩石ノ裂目ニ群棲シ、稀ニ食用ニ供セラル。

第二一九〇圖



Conchoderma auritum.

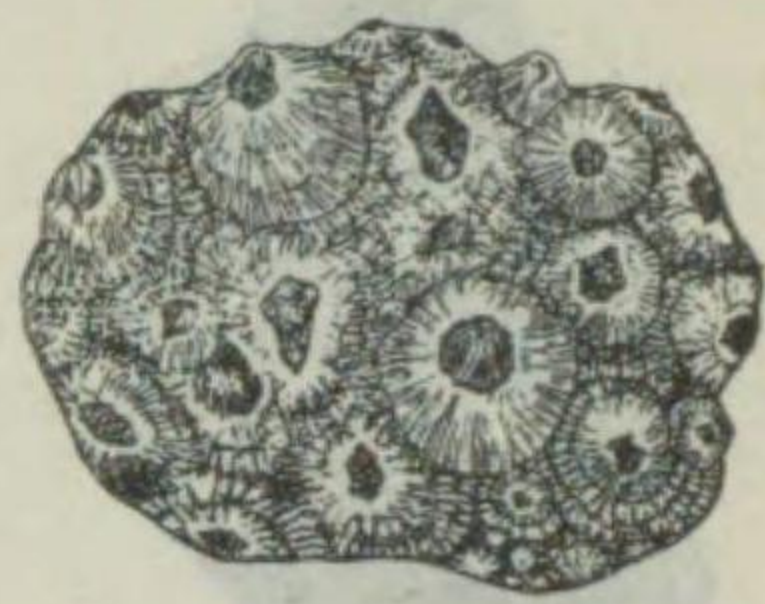
カメノテ (龜ノ手) エボシガヒ科

體部ハ略々楯管ノ雁首形ヲ呈シ、上部ニ耳狀ノ附屬突起ヲ有ス。色ニハ種々ノ變化アレドモ、概ネ褐色ニシテ濃色斑アリ。背板ハ概ネ發達セルモ、他板ハ多クハ退化セリ。全長ハ耳狀附屬物共ニ七〇耗内外ニシテ、柄部三五耗、耳狀部二〇耗内外ナリ。香美鯨、船底、浮標等ニ附着シテ棲息セリ。

ミミエボシ (耳鳥帽子)

エボシガヒ科

第二一九六圖



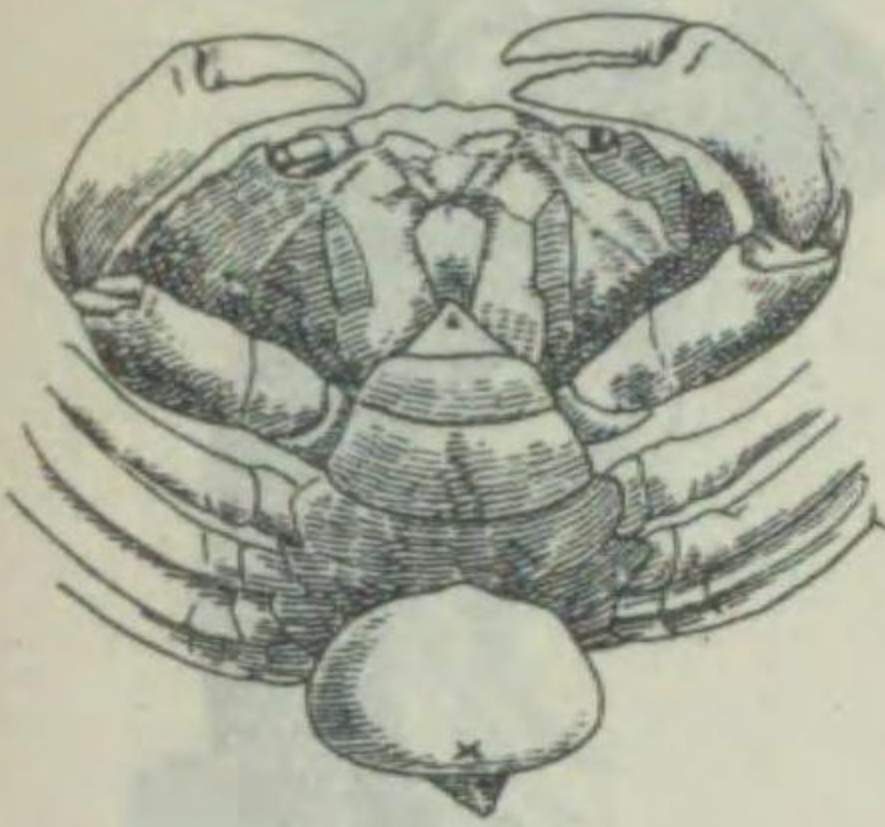
Balanus trigonus.

殻形さらさふちつぼニ似タルモ、小サク、開口ハ比較的大形ニシテ鋸齒状ヲ呈セリ。殻色ハ紫紅色ニシテ、白色ノ縦隆起ヲ有セリ。廣ク各地ニ分布シ、貝殻、木片ニ多ク附着ス。

サンカクフチツボ (三角藤壺)

フチツボ科

第二一九七圖



Sacculina sp.

海ニ棲息セル蟹類ノ腹部ニ寄生シ巾着形ヲ呈セリ。蔓脚、消化管ヲ有セザルモ、之ニ反シ生殖器官ヨリ發達シ、一端ニ有セル小開口ヨリ幼蟲ヲ産出ス。雌雄同體ナルモ別ニ小形ナル雄アリト云フ。キブリスニ期ニ宿主ノ体内ニ入り、頭部ニ囊狀物ヲ生ジ、次ニ絲狀物ヲ生ジ、專ラ内部寄生ヲナスモ、後腹壁ヲ破リテ外部寄生ノ形ヲトルモノナリ。

フクロムシ (囊蟲) フクロムシ科

(異名) カニノキンチャク

第二一九八圖



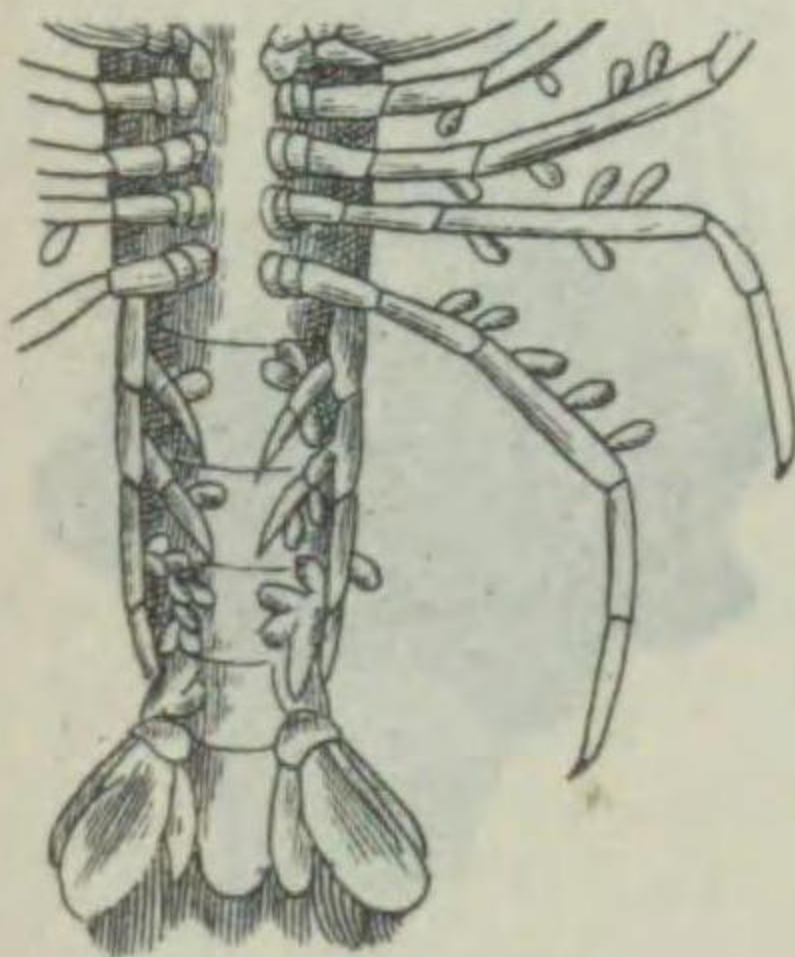
Peltogaster sp.

やどかりノ腹部柔軟部ニ寄生スルモノニシテ、體制ハ全クふくろむしニ相同ジ。「バナナ」形ニシテ、褐色又ハ紫褐色ヲ呈ス。體長七乃至一二耗内外ニ達ス。

ナガフクロムシ (長囊蟲)

ナガフクロムシ科

第二一九九圖



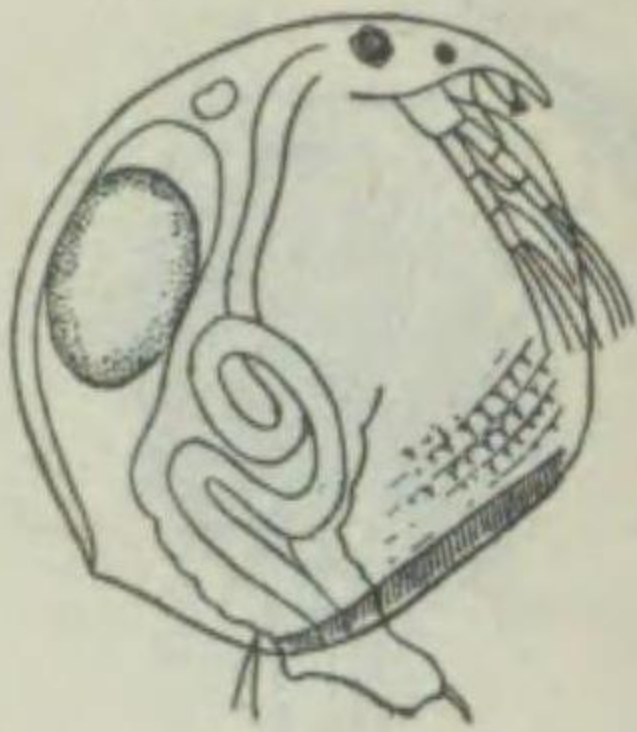
Thompsonia sp.

小形ナル蝦、蟹其他ノ甲殻類ニ寄生シ、絲狀部ノ發達著シク、ソノ處々ヨリ黄白色ノ小囊狀體ヲ生ズ、コレニハ開口ナク、卵及ビ幼生ヲ生ズ。囊體ノ長サハ約二耗内外ナリ。

ツブフクロムシ (粒囊蟲)

ツブフクロムシ科

第二二〇〇圖



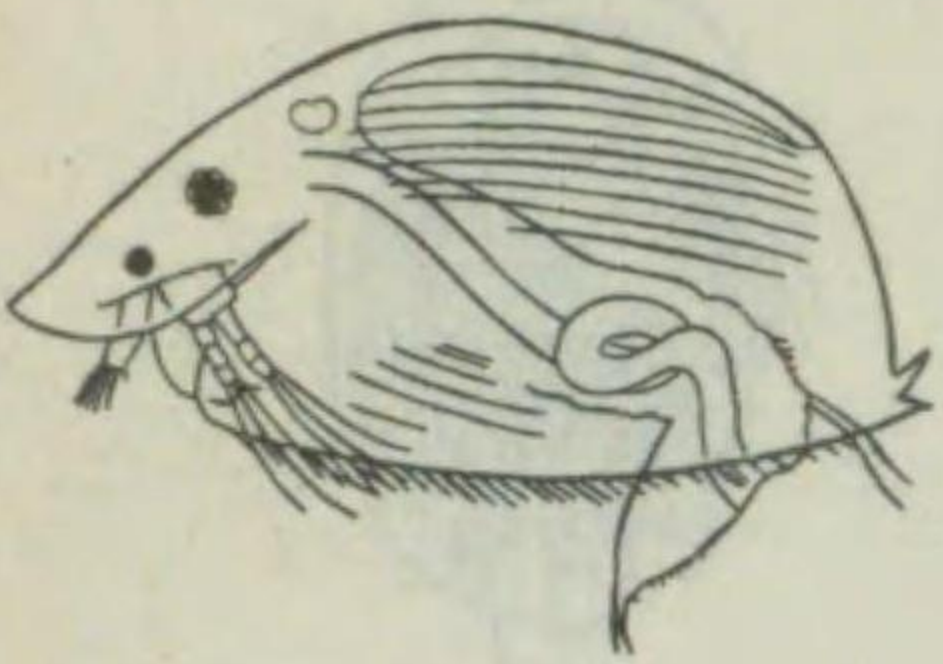
Chydorus sphaericus.

形體ニ種々ナル變異ヲ有スル種類ナルモ、一般ニ體ハ球形ニ近ク、稍々側扁シ、殻形ハ卵形ナリ。頭部ハ低ク、吻ハ長クシテ尖レリ。殻面ニハ多数ノ網目區別ヲ有シ、第一觸角ハ短シ。體色ハ黄色乃至黄褐色ヲ呈ス。體長雌〇・三—〇・五耗、雄〇・二—〇・四耗ニ達ス。多輪性ニ生殖ス。水澤地ノ水草間ニ棲息シ、青森縣恐山湖ニ多産ス。

マルミチンコ (丸微塵子) マルミチンコ科

シカクミチンコモドキ

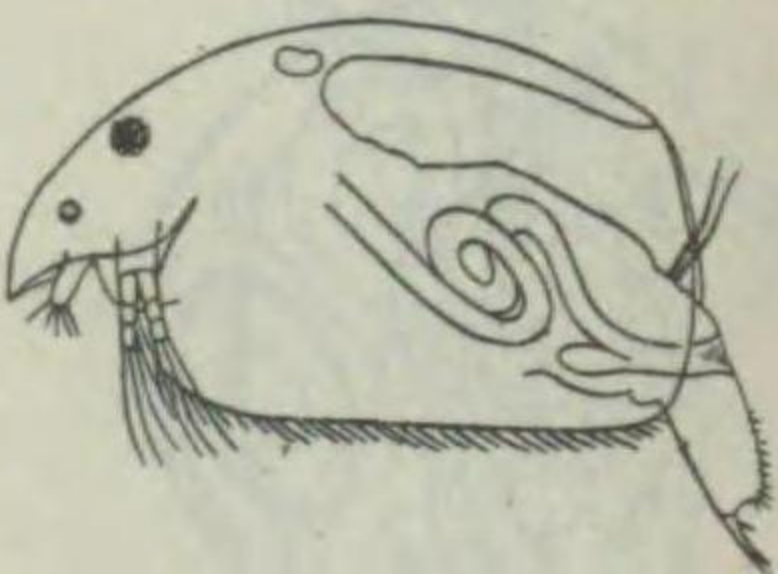
第二二〇一圖



Graptoleberis testudinaria.

(擬四角微塵子) マルミチンコ科 側觀ハ略々半圓形ヲ呈シ、腹縁ハ殆ド眞直ニシテ、細毛列生シ、二箇ノ太キ齒狀突起ヲ有ス。頭ハ大形ニシテ鈍ク、幅廣ク、稍上向セリ。體色ハ雌雄ニヨリテ異リ、雌ハ灰白色ニシテ、雄ハ黄色ナリ。體長雌〇・五—〇・七耗、雄〇・五耗内外ナリ。池沼又ハ湖水ノ沿岸部ニ棲息シ、分布極メテ廣シ。

第二二〇二圖



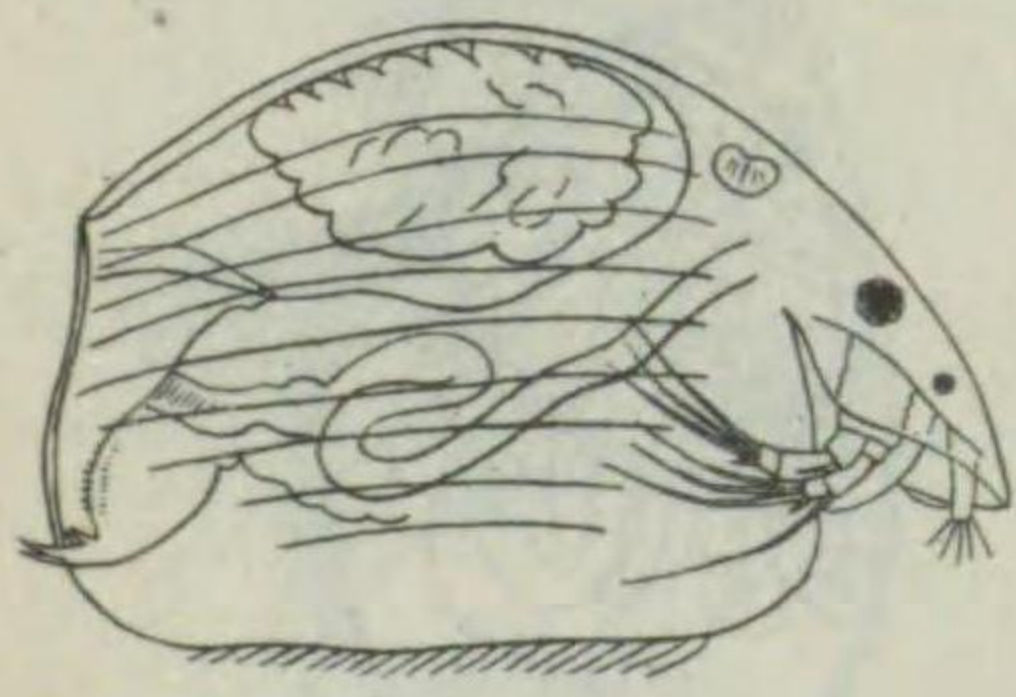
Alona guttata.

楕形シカクみぢんこニ似タルモ、殻面ハ平滑ナルカ又ハ點紋ヲ有シ吻ハ尖レリ。體色ハ雌雄異リ、雌ハ綠色ヲ呈シ、雄ハ黄色ナリ。體長〇・三—〇・四耗内外ニ達ス。分布モ亦彼ニ準ズ。

シカクミチンコ (四角微塵子) マルミチンコ科

スヂシカクミチンコ

第二二〇三圖



Alona rectangula.

(條四角微塵子) マルミチンコ科 體ハ側扁シ、殻ハ稍方形ニシテ背縁ハ圓シ。殻面ニハ明瞭ナル縦線ヲ有シ、前縁ニ細毛ヲ有ス。吻ハ短ク、鈍ク、眼ハ比較的小形ニシテ、第二觸角ノ刺毛ハ八本ナリ。體長〇・三—〇・五耗ニ達シ、體色ハ帶黄褐色乃至綠褐色ヲ呈ス。湖沼ニ棲息ス。本種ニ酷似シ大形ナルモノニおほすちしかくみぢんこ (A. quadrangularisアリ。)

第二二〇四圖



Acroperus harpae.

體形すぢしかくみぢんこニ似タルモ、變化多シ。後體部ニハ棘列ヲ缺除ス。殻面ニハ多クノ縦線アリ。頭部ハ大形ニシテ圓ク、背縁ニハ龍骨ヲ有ス。眼點ハ大形ナリ。後腹部ハ長方形ヲ呈シ、細長シ。體色ハ帶黃色ヲ呈シ、體長〇・五耗内外ニ達ス。信州霧ヶ峰鎌ヶ池ニ棲息ス。

フナゾコミチンコ (船底微塵子)

マルミチンコ科

ヒラタミチンコ (扁微塵子)

マルミチンコ科

第二二〇五圖



Camptocercus rectirostris.

體ハ著シク側扁シ、背縁ハ龍骨狀ヲ呈セリ。吻端ハ鈍ク尖リ、眼ハ小形ニシテ、殻面ニハ明瞭ナル縦線多數ニ存在シ、腹縁ニモアリ。雄ニテハ吻端鈍ク、第一觸角ハ太クシテ曲レリ。體色ハ淡黃色ニシテ透明ナリ。體長雌一・四耗、雄一耗内外ニ達ス。底心性ニシテ、大湖ノ沿岸部、池沼等ニ多シ。

タマミチンコ (珠微塵子)

ミチンコ科

第二二〇八圖



Moina macrocopa.

側觀ハ遠磨形ニシテ、頭部ハ圓ク、頸溝ハ明瞭ナリ。吻ハ之ヲ缺キ、眼ハ大形ナリ。第一觸角ハ可動性ニシテ長ク、ソノ前側方ノ略々中央ニ一短觸毛アリ。腹縁ニハ細毛列生シ、雄ノ頭部ハ細シ。體色ハ淡黃色乃至黃綠色ヲ呈シ、體長雌一耗、雄〇・五—〇・六耗内外ニ達ス。池沼ニ多ク棲息シ、稚魚殊ニ金魚ノ餌料トシテ好適ナルモノナリ。

ネコゼミチンコ (猫脊微塵子)

ミチンコ科

第二二〇九圖



Ceriodaphnia quadrangula.

殻ハ卵圓形ニシテ、背縁ハ稍々弧狀ヲ呈シ、腹縁ハ圓ク突出セリ。頭ハ低ク、長ク、深キ刻溝ニヨリテ體部ト區分セラル。眼ハ大形ニシテ、吻ヲ缺キ、殼縁ハ短キモ尖レリ。殻面ニ龜甲紋ヲ有シ、體色ハ灰色乃至帶黃色ニシテ透明ナリ。體長雌〇・六—〇・八耗、雄〇・六耗内外ニ達ス。大小ノ湖沼ニ見出サル。

第二二〇六圖



Macrothrix rosea.

殻ハ廣クシテ卵圓形ヲ呈シ側扁シ、背縁ハ龍骨狀ヲ呈セリ。頭ハ大形ニシテ、吻ハ下向シ、第一觸角ハ長クシテ可動性ナリ。殻面ニハ彫刻ヲ有シ、體色ハ帶黃色ヲ呈ス。體長雌〇・六耗、雄〇・四耗内外ニ達ス。各地ニ廣ク分布セリ。

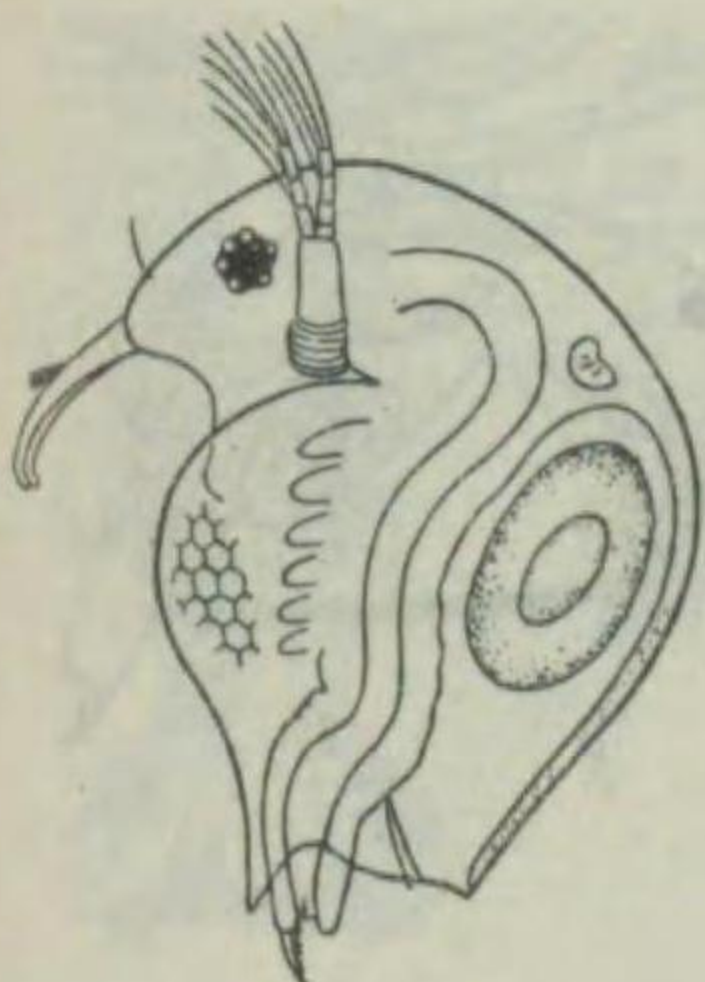
ケブカミチンコ (毛深微塵子)

ケブカミチンコ科

ザウミチンコ (象微塵子)

ザウミチンコ科

第二二〇七圖



Bosmina longirostris.

體形ニハ變異多キモ、一般ニ殻ハ幅廣ク、高サ低ク、背縁ハ著シク隆起シ、頭部トノ區劃ヲ有セズ。第一觸角ハ象鼻狀ヲナセリ。雄ハ背縁平坦ニシテ第一觸角ハ著シク長ク、可動性ナリ。體色ハ無色透明ナリ。體長雌〇・四—〇・六耗、雄〇・四耗内外ニ達ス。各地ノ湖水ニ棲息セリ。

オカメミチンコ (阿龜微塵子)

ミチンコ科

第二二一〇圖



Simocephalus vetulus.

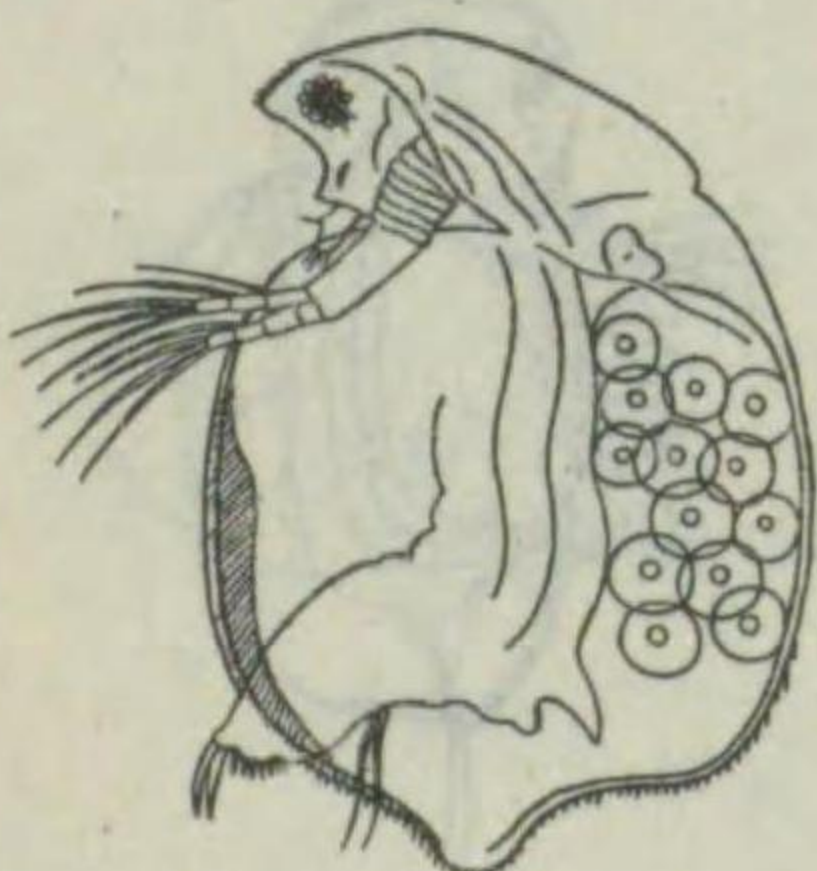
殻ハ大形ニシテ、略々圓形ヲ呈シ頭ノ前縁ハ眞直ニシテ、稍々凹入シ、眼ハ稍々小形ナリ。雄ニテハ殻ノ幅狭ク、前縁ノ上部ハ眞直ニシテ、眼ハ大キク、第一觸角ハ稍々太シ。體色ハ淡黃色ヲ呈ス。體長雌二—三耗、雄一耗内外ナリ。春ヨリ秋ノ頃湖水或ハ小池ノ藻間ニ見出サル。

トゲオカメミチンコ

(刺阿龜微塵子)

ミチンコ科

第二二一一圖



Simocephalus serrulatus.

概形略々おかめみぢんこニ似テ、稍々圓ク、頭ハ三角形ニ突出シ、ソノ前額部ハ尖リ、之ニ小棘密生セリ。殻ノ下縁ニモ亦小棘ヲ列生ス。雄ニテハ殻ノ下縁後方ニ突出シ棘ヲ生ズ。體長二耗ニ達ス。小池ニ棲息セリ。

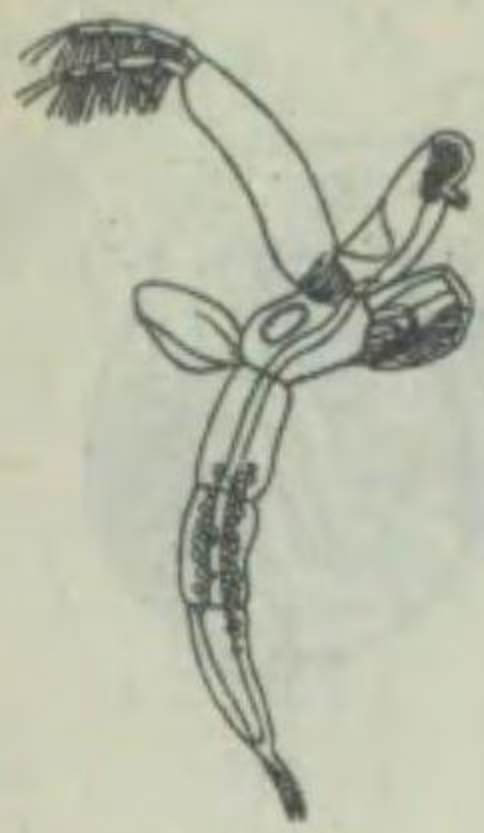
第二二二圖



*Daphnia pulex.*

ミチンコ科  
殼形ニハ頗ル變異多キモ、概ネ卵圓形ニシテ側扁シ、後方ニハ顯著ナル一棘ヲ有ス。吻ハ尖リ、背面ニハ頭部ト體部ノ區別ヲ有セズ。第一觸角ハ短ク、吻ノ下部ニ位セリ。第二觸角ハ大形ニシテ、内葉ハ三節、外葉ハ四節、肢ハ五對、尾爪ノ基部ニ櫛狀刺列アリ。體色ハ帶綠色、帶黃色等種々アリテ稍透明ナリ。體長雌三—四耗、雄一—一・五耗ナリ。各地ノ淡水ニ普通ニ見出サレ、稚魚ノ餌料トナル。

第二二一三圖



*Leptodora kindti.*

カフトエビ科  
體ハ圓筒狀ヲ呈シ、頭部モ長ク、體部ト區分セラレ、眼ハ前端ニ位シ、大形ナリ。體節ハ四節ニシテ明瞭、殼ハ極メテ小形ナリ。第二觸角ハ頗ル強大ニシテ游泳ニ適ス。體色ハ無色透明ナリ。體長雄七乃至一〇耗内外ニ達ス。湖ノ沖部ニ棲息シ、霞ヶ浦ニ見出サル。

第二二一六圖



*Apus aequalis.*

カフトエビ科  
第一觸節ハ頭部ト癒合シ、扁平ニシテ楕圓形ナル一大背甲ヲ有シ、外觀カブトガニニ似タリ。背甲ノ前端ニ接シ一對ノ眼ヲ有シ、ソノ前方ニ一腺點存在ス。胸部ハ一節ニシテ、各節ニ一對ノ肢ヲ有シ、雌ノ第一肢ハ圓形ノ育囊ヲ形成セリ。背甲ヨリ露出セル體節數ハ二—三—二五ナリ。尾節ノ尾鞭ハ二〇—二七耗ナリ。體長(尾鞭ヲ除ク)二〇—二七耗ナリ。黃綠色乃至暗綠色ヲ呈ス。初夏ノ候水田ニ見出サレ、南日本ニ棲息ス。

第二二一七圖



*Branchinella kugenumaensis.*

ホウネンウヲ科  
體ハ細長ク、一一對ノ游泳肢ヲ具フ。腹部ハ九節ニシテ肢ヲ缺キ又楕圓形ヲ有セズ。第一觸角ハ絲狀ヲ呈シ、第二觸角ハ雄ニテハ把握器、雌ニテハ葉狀ヲナセリ。尙ホ雄ノ前額部ニハ丁字形ノ顯著ナル附屬器ヲ有ス。體長一五耗内外ナリ。體色ハ綠色ニシテ、肢及ビ尾ハ朱色半透明ヲナシ、美麗ナリ。池沼水田ニ産スルモノニシテ、本種ノ多ク發生スル時ハ豊年ナリト云フヨツテ豊年魚ト稱セラル。

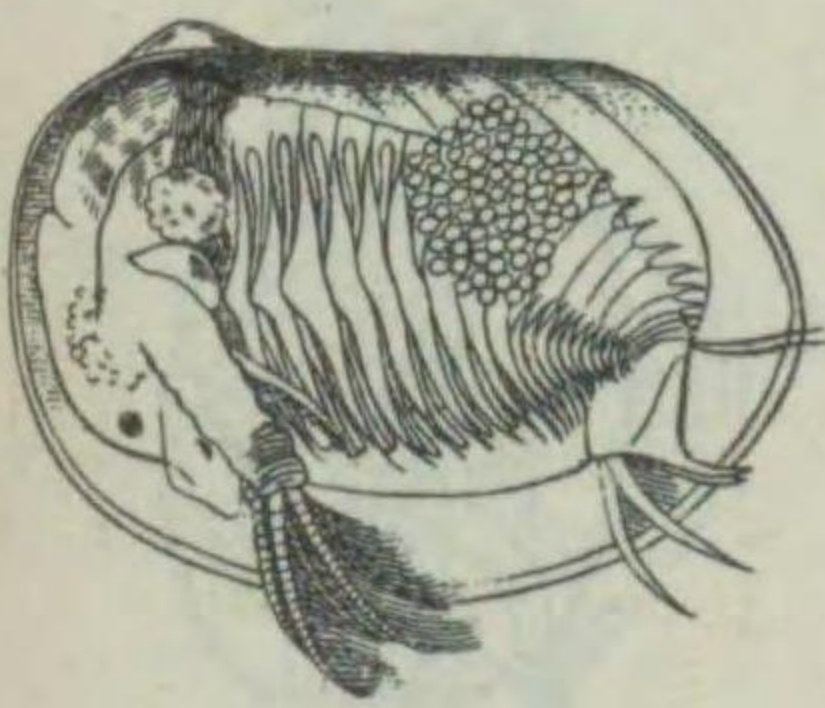
第二二一四圖



*Sida crystallina.*

シダ科  
殼ハ長楕圓形ヲ呈シ、頭部ハ頗ル大形ニシテ、頸溝ニヨリ體ト區分セラレ、眼モ亦大形ナリ。吻ハ稍々尖リ、背器ヲ有ス。體色ハ無色又ハ淡黃色透明ナリ。第一觸角ハ雌ニテハ小サク、雄ニテハ稍々大形ナリ。第二觸角ハ二分岐シ、内葉ハ二節、外葉ハ三節アリ、肢ハ六對ナリ。體長雌三—四耗、雄二耗内外ニ達ス。湖ノ沿岸部ノ水草間ニ棲息シ、霞ヶ浦ニ見出サル。

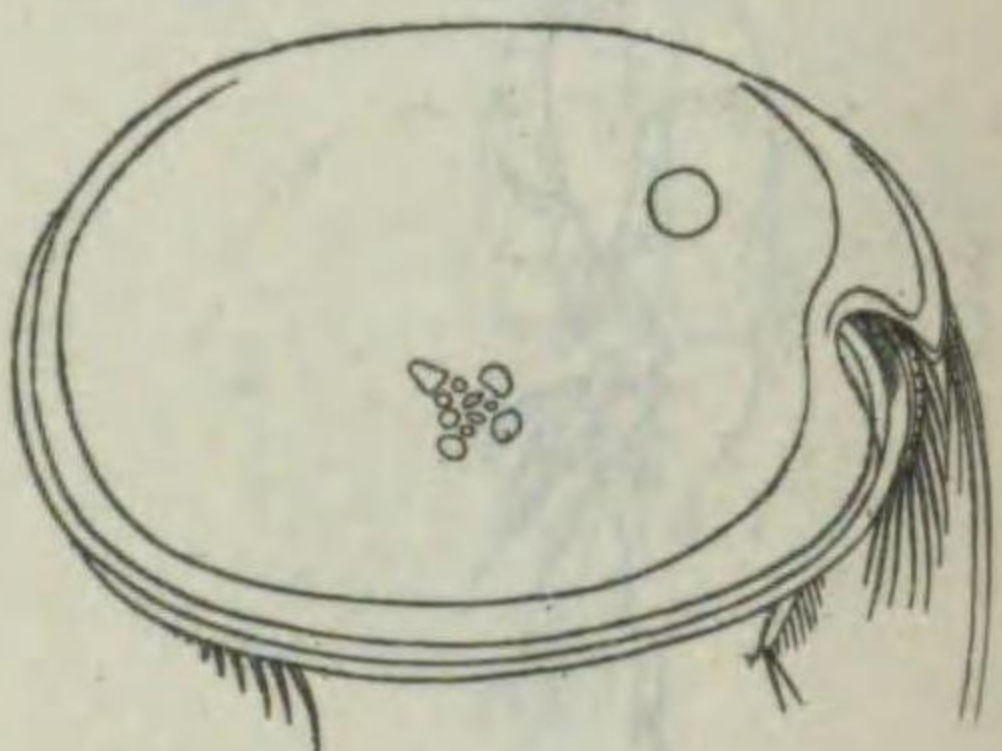
第二二一五圖



*Caenestheriella gifuensis.*

カヒエビ科  
介殼ハ楕圓形ヲ呈シ、明瞭ナル殼頂アリ。體ハソノ中ニアリテ稍々側扁シ、多クノ體節ヨリナル。頭ハ大キク、吻ハ雄ヨリモ雌ノモノハ尖リ第一觸角ハ鞭狀ヲ呈シ、第二觸角内外枝各一八節内外、肢ハ二四對アリ。殼色ハ黃褐色ニシテ半透明ナリ。殼長一五耗、殼高一二耗ニ達ス。池沼、水田ニ普通ニ見出サル。

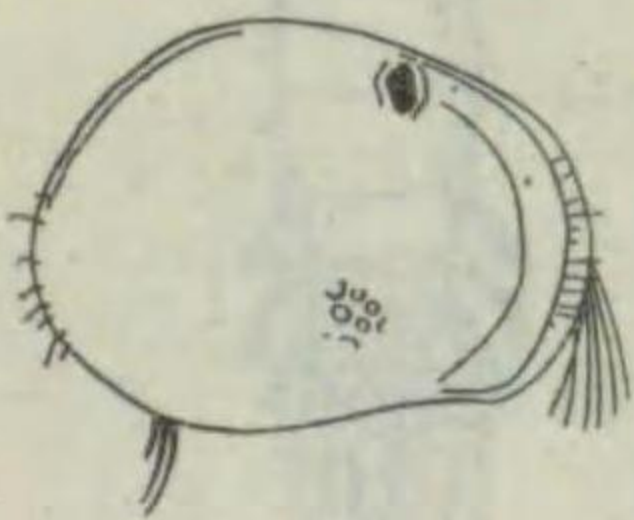
第二二一八圖



*Cypridina hilgendorffii.*

ウミホタル科  
殼ハ側觀略々短楕圓形ヲ呈シ、前方ニ觸角刻ト云ヘル深キ凹入部ヲ具ヘ、剛毛ヲ列生ス。尾叉ニハ一二本ノ剛刺ヲ有シ、第一觸角ノ先端ニ長キ刺毛ヲ生ズ。體色灰白色ヲ呈ス。體長三耗内外ナリ。晝間ハ砂中ニ潜ミ、夜間游泳ス。上唇ノ一部ニ發光物質ヲ分泌スル數孔ヲ有シ、青色光ヲ放ツ。太平洋岸ニ見出サル。

第二二一九圖



*Notodromas monacha.*

マルカヒミチンコ科  
殼ハ略々圓形ニシテ、前方ニ稍々長ク、觸角刻ヲ缺ケリ。前後兩縁ニ剛毛疎生シ、眼ハ兩側ノ背面附近ニ存ス。第一觸角ニハ長キ游泳肢ヲ有シ、尾叉ハ細長ク、ソノ先端ニ一本ノ短剛毛ト二本ノ長棘ヲ具フ。體色ハ灰黃綠色ヲ呈ス。體長雌〇・七耗、雄〇・八耗、高サ〇・六耗内外ナリ。淡水産ニシテ、各地ニ普通ニ見出サル。

第二二二〇圖



Monstrilla longicornis.

雌ノ第一觸角ハ三節ニシテ太ク、第二觸角ヲ有セズ、後體部ハ三節ニシテ、生殖節ノ腹面ニ刺毛突起ヲ有シ、コノ上ニ卵囊ヲ附ク。雄ノ第一觸角ハ六節ニシテ、生殖節ニ二嘴頭突起ヲ有シ、體長二〇—三〇耗ナリ。成體ニ至ル迄環形動物ニ寄生ス。

モンストリッラ・ロンギコルニス

モンストリッラ科

第二二二一圖



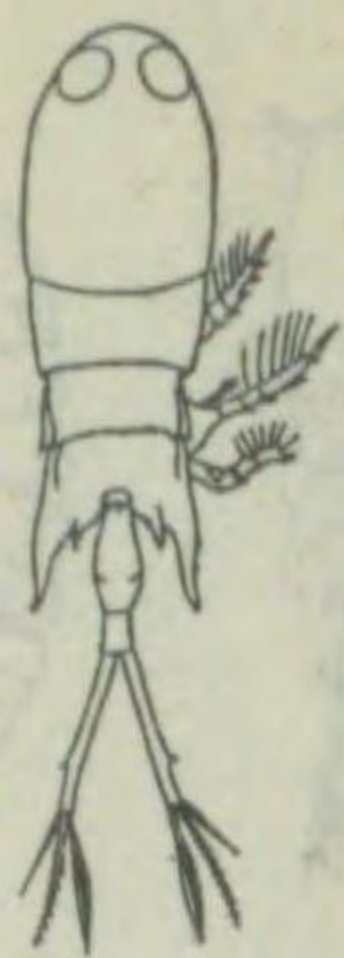
Ergasilus sieboldi.

雌ハ「キクロブス」屬ニ類似ス。前體部ハ五節ニシテ、橢圓形ヲナシ、前頭ノ中央ニ一眼ヲ有シ、第一觸角ハ六節ヨリナル。鯉科ノ淡水魚ニ寄生ス。

エルガシルス・ジーボルディ

エルガシルス科

第二二二四圖



Corycaeus speciosus

雌ノ前體部ハ幅狭ク、最後ノ胸部ノ兩浮角頗ル長ク突出シ、尾又ハ後體部ヨリ長シ。雄ノ尾又ハ後體部ト同長ナリ。體長雌ハ一・九—二・一耗ニシテ、雄ハ一・八耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

コリケウス・スベキオス

コリケウス科

コリケウス・ヴェヌストゥス

コリケウス科

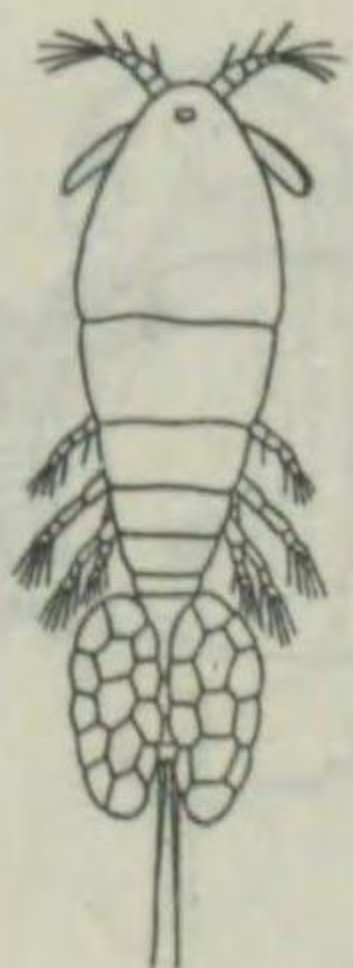
第二二二五圖



Corycaeus venustus.

雌ノ前體部ハ四節ニシテ幅廣ク、先端ハ圓ク、最後ノ胸部ノ兩後角ハ太キ棘トナレリ。第一觸角ハ六節ヨリ成リ、後體部ハ二節ナリ。生殖節ノ開口部ニ一刺ヲ有ス。雄ノ體ハ幅狭ク、第一體節ハ稍々四角形ニシテ、最後ノ胸部ニハ二棘ヲ有ス。暖海外洋性ニシテ、南日本ニ産ス。

第二二二二圖



Limnoncaea genuina.

體ハ前種ニ類似セルモ、第一體節ハ大形ニシテ、ソノ後縁最モ幅廣シ。體長〇・七—〇・八耗ニシテ、無色透明ナリ。淡水性ニシテ、札幌附近、霞ヶ浦等ニ産ス。

リムノンケア・ゲヌイナ

エルガシルス科

第二二二三圖



Corycaeus rostratus.

雌ハ體形棍棒狀ニシテ、第一體節ノ前部ニ向ヒテ太シ。眼「レンズ」ハ大形ニシテ接近シ、前體節ハ二節アリテ、第二節ノ後角ハ棘狀ニ突出ス。第一節ノ下面ニ嘴狀ノ突起ヲ有シ、後體節ハ二節ニシテ第四節ヲ有セズ。雄ニアリテハ、下面ノ突起ハ先端圓ク、尾又ハ雌ヨリ長ク、體長〇・七—〇・八耗ナリ。無色透明ナリ。暖海外洋性ニシテ、南日本ニ産ス。

コリケウス・ロストラトゥス

コリケウス科

第二二二六圖



Corycaeus danae.

雌ノ前體部ハ三節ニシテ、最後ノ胸部ノ後側縁ハ尖リテ後方ニ突出ス。後體部ハ二節ヲ有シ、第一觸角ハ短小ニシテ六節ナリ。尾又長ク、體長一・二—一・八耗内外、透明ニシテ、赤色素、青緑色素ヲ有ス。暖海性ニシテ、南日本ニ分布ス。

コリケウス・ダナエ

コリケウス科

コリケウス・アングリクス

コリケウス科

第二二二七圖



Corycaeus anglicus.

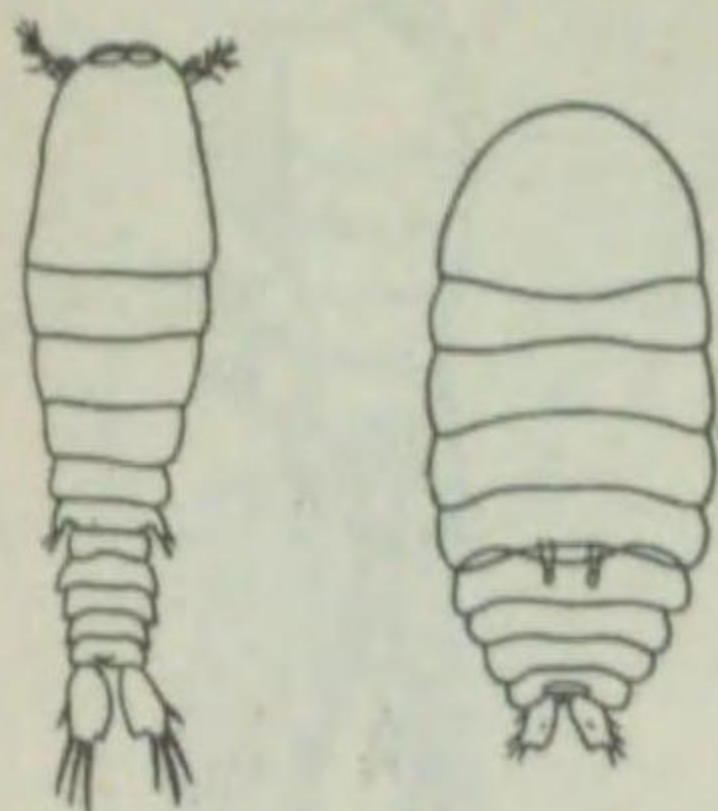
雌ハ第一體節ノ前部僅ニ突出シ、最後ノ二胸部ノ後角ハ棘狀ニ突出ス。後體部ハ二節ヲ有シ、腹面突起ハ尖レリ。體長一耗内外。寒海性ニシテ、北日本ニ發見セラル。

第二二二八圖



**Corycaeus obtusa.**  
 コリケウス科  
 雌ノ前體部ハ四節ニシテ、胸節ノ後側縁ハ棘狀ヲ呈ス。後體部ハ二節ヲナシ、生殖孔部ニ一棘ヲ有シ尾叉ハ長シ。雄ハ生殖節ノ前方中央ノ腹面ニ突起ヲ有シ、體長〇・八一一耗ナリ。透明ナルモ赤色又ハ黄赤色素分在ス。太平洋ニ廣ク分布シ、南日本ニ多シ。

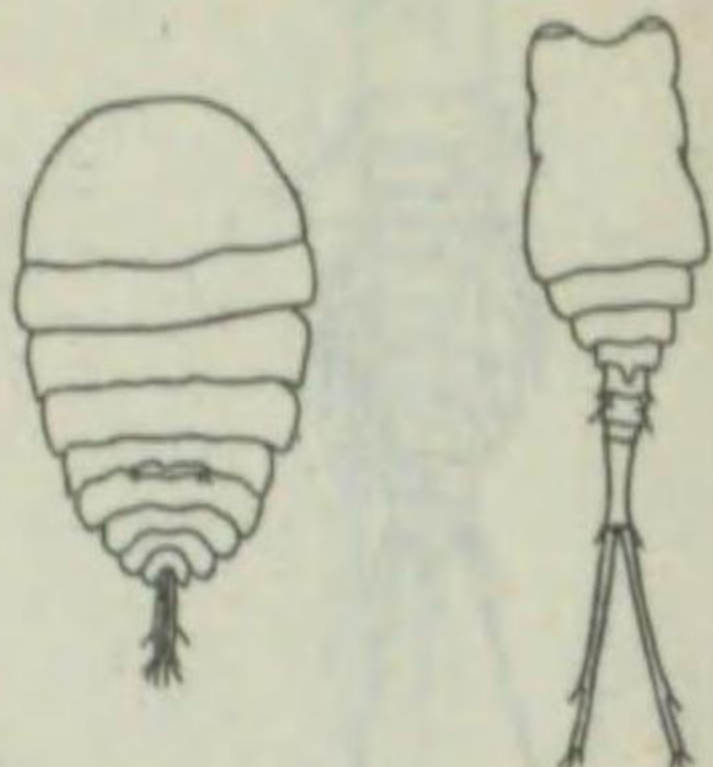
サツピリナ・アングスタ



**Sapphirina angusta.**  
 コリケウス科  
 雌ノ體ハ著シク壓扁セラレ、前體部ハ五節ヨリナル。頭端ハ鈍圓ニシテ、前縁一對ノ眼「レンズ」ニ接近セリ。第一觸角ハ短小ニシテ五節ヨリナリ、後體部モ亦五節ナリ。卵ハ青色ヲ呈ス。雄ハ體著シク幅廣ク、板狀ヲ呈シ、眼「レンズ」ハ腹面ニ位セリ。體長二・二五耗内外ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ見出サレ。

オトメカヒガライナシ

第二二三二圖



**Copilia mirabilis.**  
 コピリア・ミラビリス コリケウス科  
 雌ハ「サツピリナ」屬ニ類似セリ。雌ハ前方ニ擴大シ、四節ニシテ、眼「レンズ」ハ稍々隔離シ、第一觸角ハ五節ナリ。雄ハ、第一體節略々四角形ニシテ、體長雌ハ五・五五耗、雄ハ三・三三・五耗ナリ。分布前種ニ準ズ。

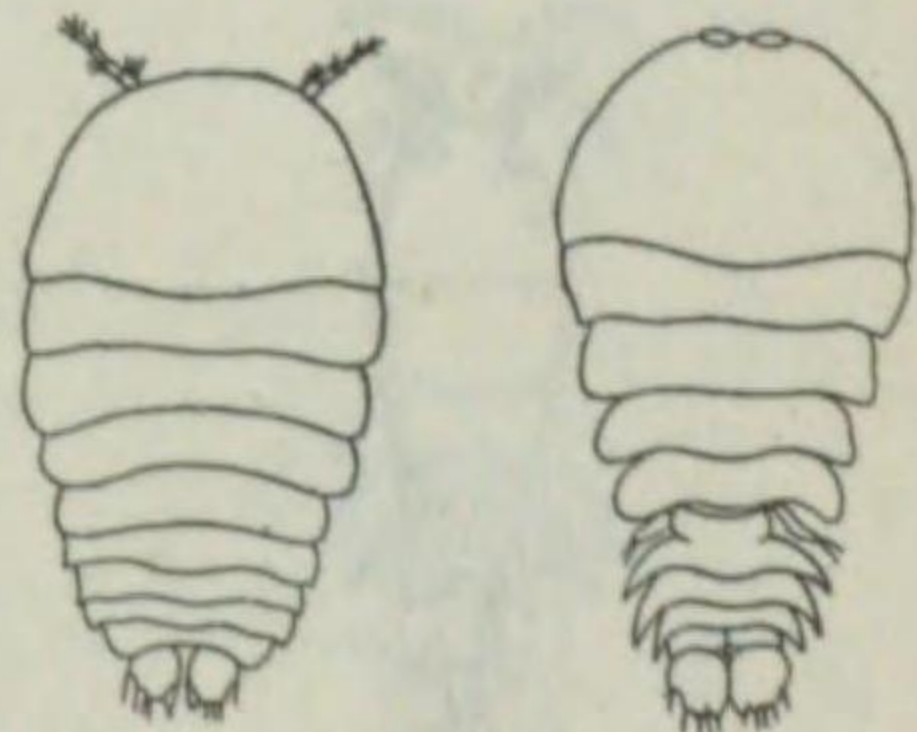
ルボッキア・ミヌタ

**Subbockia minuta.**  
 オンケア科  
 雌ハ體細長ク、前體部ハ五節ニシテ紡錘形ヲナス。第一觸角ハ短小ニシテ六節、後體部ハ五節ヲ有シ、各部ハ長ク後縁ハ細齒狀ヲナシ、顎脚ハ頗ル大形ニシテ鎌狀ヲナセリ。體長一・三耗内外ニシテ、無色透明ナリ。暖海性ニシテ、南日本ニ分布ス。

第二二三三圖



第二二三〇圖

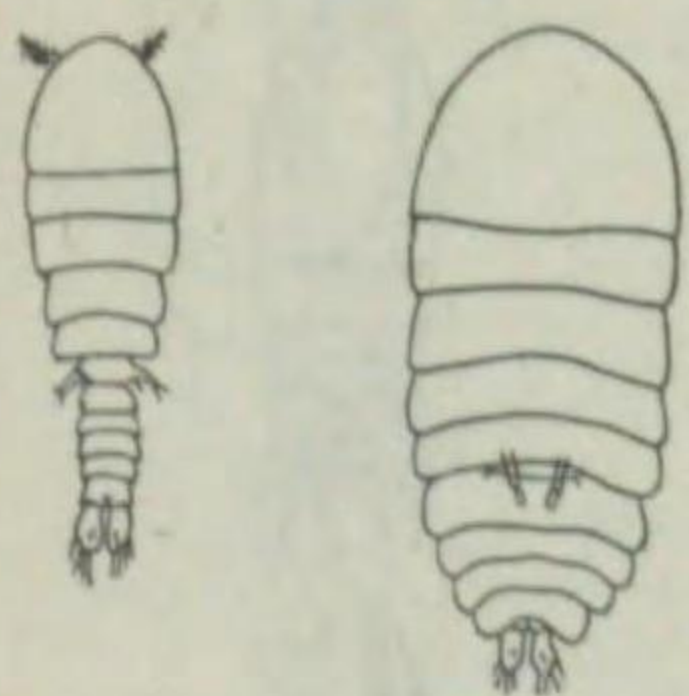


**Sapphirina opalina.**  
 サツピリナ・オパリナ コリケウス科  
 雌ハ前種ニ類似セルモ、前體部ハ擴張シ、第一體節ハ最モ廣シ。眼部「レンズ」ハ接近セズ。第一觸角ハ短小ニシテ三節ナリ。雄ハ幅廣ニシテ、前方ニ廣ク、體長三・三三・五耗ヲ有シ、赤色素散在シテ透明ナリ。分布前種ニ準ズ。

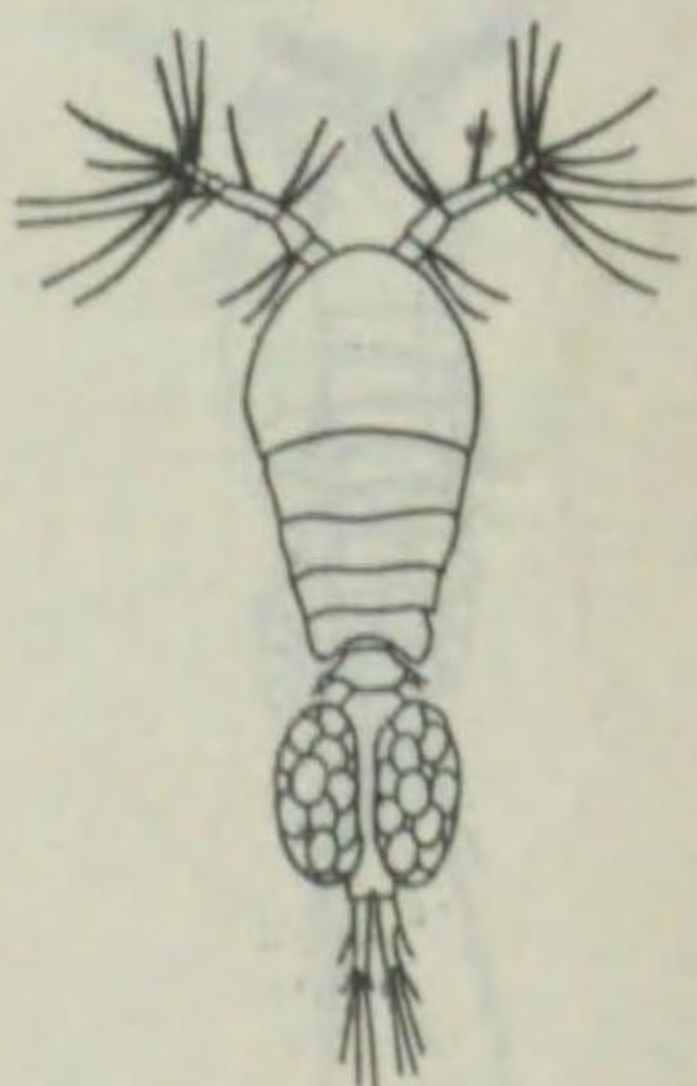
サツピリナ・ゲムマ

**Sapphirina gemma.**  
 コリケウス科  
 雌ハ體比較的細ク、後體部ハ細クシテ區分明瞭ナリ、第一觸角ハ五節ヨリナル。雄ハ扁平ニシテ、長筒圓形ヲナシ、眼「レンズ」ハ腹面ニ位シ、體長一・九一三・一耗ナリ。透明ニシテ青綠色ノ虹彩ヲ發ス。分布前種ニ準ズ。

第二二三一圖



第二二三四圖



**Oncaea venusta.**  
 オンケア・ヴェヌスタ オンケア科  
 雌ハ前體部五節ニシテ、洋梨狀ヲ呈シ、第一觸角ハ頗ル短小ニシテ六節ナリ。後體部ハ五節ニシテ生殖節著シク膨大セリ。雄ハ、第一觸角ノ短キ三末節癒合シテ一個トナリ、體長〇・七一三・一耗内外、淡赤色ニシテ透明ナリ。暖海性ニシテ、南日本ニ多シ。

オンケア・メディテラネア

**Oncaea mediterranea.**  
 オンケア科  
 前種ニ類似セルモ、前體部ノ幅狭ク、生殖節ハ雄ニテハ比較的細長ク、ソノ背部ノ中央ニ左右相隔離テ生殖孔ヲ開ケリ。雄ノ第三乃至第五脚節ハ著シク短縮セリ。體長體色、分布等略々前種ニ似タリ。

第二二三五圖



第二二三六圖



*Oncaea media.*

前體部ハ略々長橢圓形ニシテ、雌ノ生殖節ハ膨大シ、ソノ生殖孔ハ稍々背面ノ上方ニ位シ、兩孔ハ比較的接近セリ。雄ノ後體節ハ六關節ニシテ、後部ノ三節ハ癒合ス。體長雌ハ〇・五五—〇・八二耗ニシテ、雄ハ〇・六一〇—〇・六三内外ナリ。體色、分布等略々前種ニ同ジ。

オンケア・メディア

オンケア科

第二二三七圖



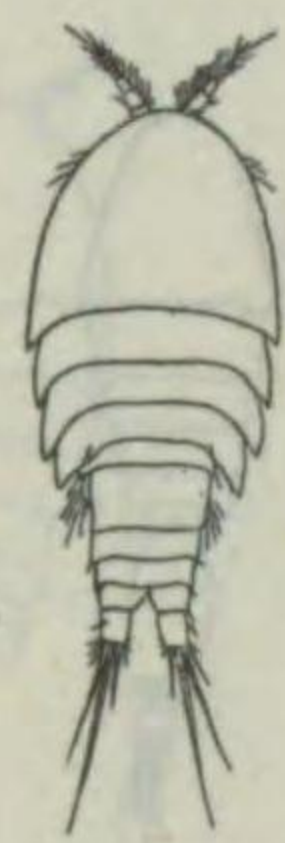
*Canthocamptus staphylinus.*

體ハ圓筒形ヲナシ、前體部ト後體部トノ區別不明ニシテ共ニ五節ヨリナル。後體部ニハ棘ヲ有シ、第一觸角ハ八節ナリ。體長〇・六一〇—〇・九耗。淡水産ニシテ、廣ク世界ニ分布ス。

カントカムプトゥス・スタフィリヌス

ハルバクテイクス科

第二二三八圖



*Idomene forcicata.*

雌ハ第一體節大キク、頭端ハ鈍角ニシテ、吻及ビ眼ヲ有セズ。第一觸角ハ七節ニシテ頗ル短シ。後體部ハ五節ヲ有シ、生殖節ハ大形ニシテ、不完全ナル二節ヲナセリ。雄ノ第一觸角ハ把握器トナリ頗ル太ク、鋸齒狀突起ヲ有シ、體長〇・五—〇・六耗内外ナリ。淡黄色乃至褐色ヲ呈ス。沿岸性ニシテ、東京灣ニ産ス。

イドメネ・フォルキカータ

ハルバクテイクス科

第二二二九圖



*Laophonte brevirostris.*

雌ハ體稍々細長ク、前後兩體部ノ區別不明ナリ。第一體節ハ長ク吻短シ。第一觸角ハ短クシテ六節ヲナシ、後體部ハ稍々側方ニ擴ガレリ。雄ハ第五脚雌ヨリ小形ニシテ體長〇・七耗内外ナリ。汽水性ニシテ、厚岸灣(北海道)ニ産ス。

ラオフォンテ・ブレヴィロストゥリス

ハルバクテイクス科

第二二四〇圖



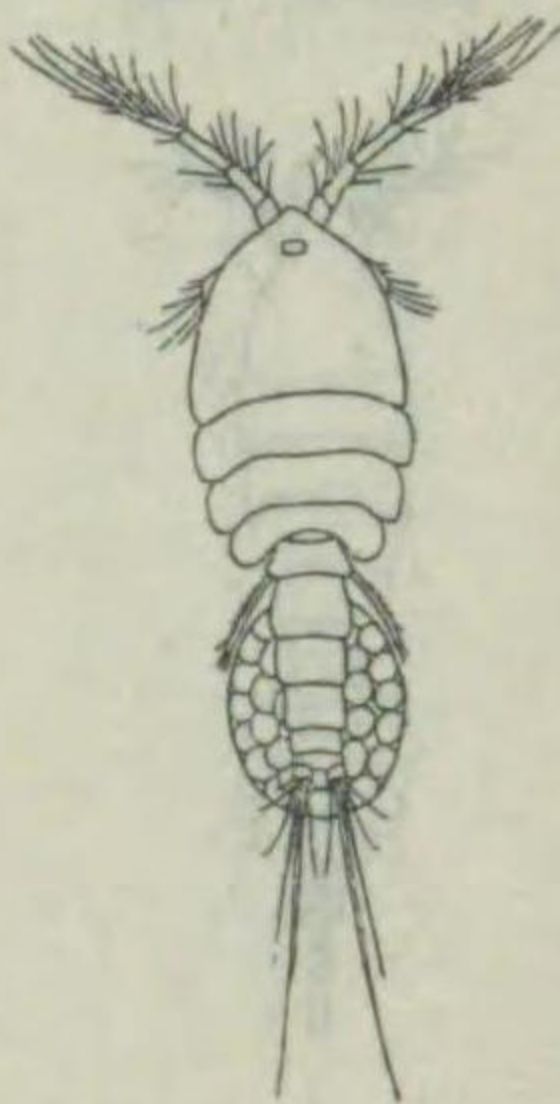
*Dactylopusia brevicornis.*

雌ハ第一體節大形ニシテ、前部ハ圓ク、吻ヨク發達シ、前方ニ突出セリ、吻端ハ鈍ク、第一觸角ハ短小ニシテ五節ナリ。雄ハ第五脚雌ヨリ短カク、末端ニ三刺毛ヲ有ス。體長〇・五一〇—〇・六五耗ニシテ、淡黄色ヲナシ、後體部ニハ橙色ノ部分ヲ有ス。三陸沿岸及ビ東京灣ノ淺海ニ分布ス。

ダクティロプシア・ブレヴィコルニス

ハルバクテイクス科

第二二四二圖



*Idya ensifera.*

雌ハ體稍々細長ク、腰扁セラレ、頭端ハ稍々尖リ、前後兩體部ノ區別稍々明瞭ナリ。第一觸角ハ細長ク、多クノ刺毛ヲ有ス。第二觸角ハ四節ヨリナリ、第二ヨリ外葉ハ分岐ス。雄ハ雌ヨリ小形ニシテ、第一觸角太ク、把握器ヲ呈ス。體色ハ稍々帯赤灰色ニシテ、體長〇・七一耗ニ達ス。北日本ノ淺海ニ見出サル。

イディア・エンシフェラ

ハルバクテイクス科

第二二四一圖



*Idya furcata.*

雌ハ體稍々細長ク、腰扁シ、前後兩體部ノ區別明瞭ナリ。前體部ハ四節ニシテ、前二節ノ後角ハ稍々尖リ、第一觸角ハ八節ナリ。雄ハ第一觸角太ク、把握器ヲ呈ス。體長〇・六五—一耗ナリ。寒海性ニシテ、時ニ汽水ニモ産ス。北海道沿岸ニ分布ス。

イディア・フルカータ

ハルバクテイクス科

第二二四三圖

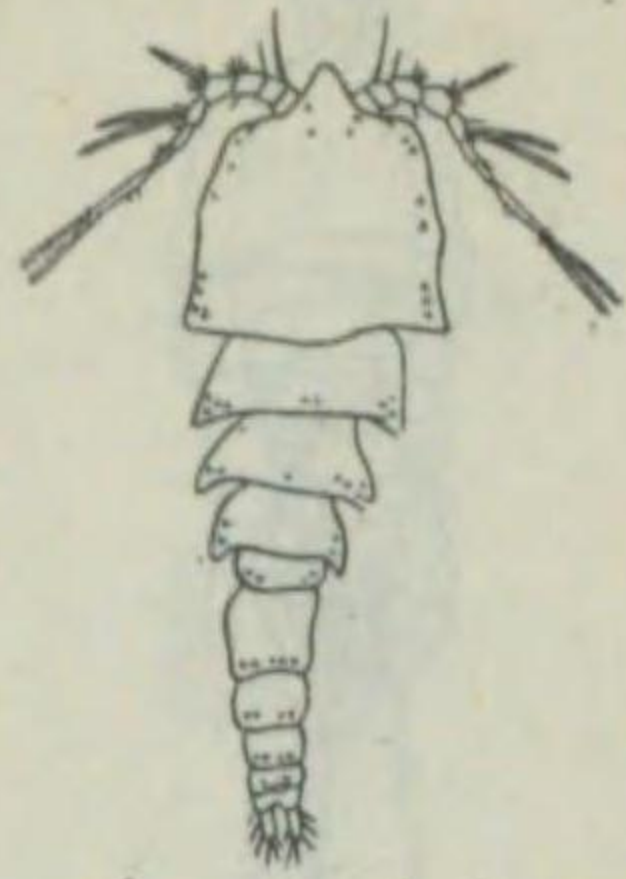


*Harpacticus uniremis.*

雌ノ體ハ細長クシテ腰扁セリ。頭端ハ鈍圓ニシテ、吻ハ廣ク、下方ニ曲リテソノ末端ハ鈍シ。第一觸角ハ九節ヨリ成ル。前體部ハ四節ニシテ、各節ノ後角ハ棘ヲ呈ス。尾又ハ極メテ短小ナリ。雄ノ第一觸角ハ著シク把握器狀ヲ呈シ、第五脚ハ頗ル小形ナリ。體長一・二乃至一・三五耗ニ達ス。體色ハ淡黄綠色ヲ呈セリ。寒海沿岸性ニシテ、北日本ニ見出サル。

ハルバクテイクス・ウニレミス

ハルバクテイクス科



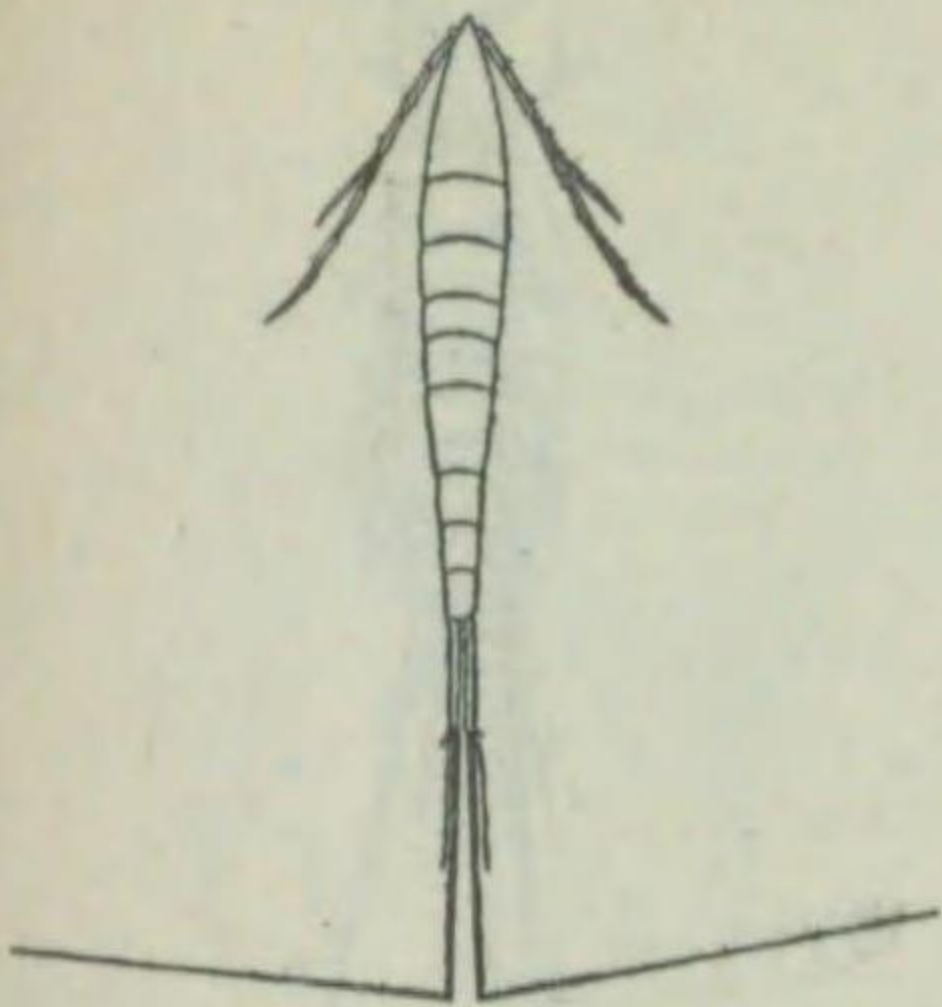
第二二四四圖

*Clytemnestra scutellata*.

雌ハ前體部四節ヨリ成リテ扁平ナリ。各節ノ後側縁ハ角狀ニ突出シ小短棘ヲ有ス。第一觸角ハ八節ニシテ、後體部ハ五節ヲ有シ、背面ニ小短棘ヲ有ス。雄ハ第一觸角ノ左右共ニ把握器トナリ、後體部ハ六節ニシテ、體長一・一・三耗ナリ。淡紅色ヲ呈シ透明ナリ。暖海外洋性ニシテ南日本ニ分布ス。

セテラ・グラキリス

ハルバクティクス科



第二二四五圖

*Setella gracilis*.

雌ハ體頗ル細長ク、前體部ハ四節ナリ。第一觸角ハ八節ニシテ、第三節ニ附層板ヲ有ス。後體部ハ五節ニシテ、第五脚ハ二節ナリ。雄ハ第一觸角ノ第四節著シク長大シ末節ハ稍々鉤狀ヲナシ、後體部ハ六節ナリ。體長雌ハ一・四一・五耗、雄ハ一・二一・三耗ナリ。暖海性ニシテ、南日本ニ多シ。

クリテムネストゥラ・スクテラーク

ハルバクティクス科

ミラキア・エフェラータ

ハルバクティクス科

第二二四六圖



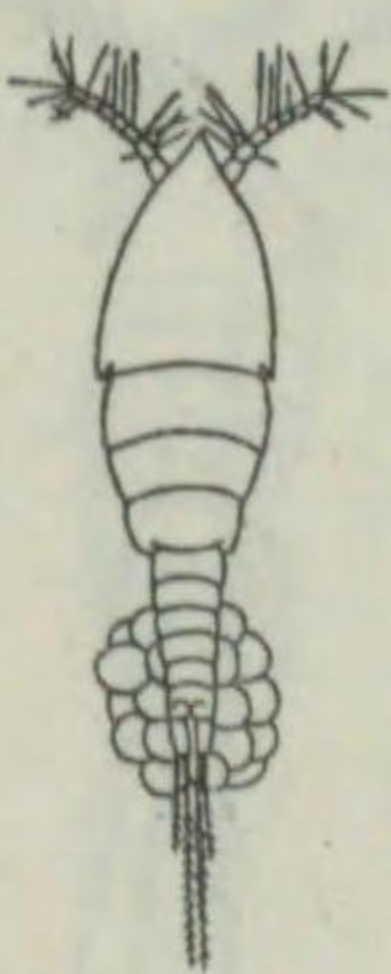
*Miracia efferata*.

雌ハ體細長ク、頭端ハ鈍圓ニシテ前方ニ大形ノ水晶狀眼球一個ヲ有シ、前體部ハ四節ナリ。第一觸角ハ八節ニシテ、後體部ハ五節ナリ。雄ハ第一觸角八節ニシテ、構造前種ニ類似ス。體長一・五—二・〇耗内外ヲ算ス。青藍色ニシテ透明ナリ。熱帯ニ産ス。

エウテルベ・アクティフロンス

ハルバクティクス科

第二二四七圖



*Euterpe acutifrons*.

雌ハ頭端嘴狀ニ突出シ、前體部ハ四節ナリ。第一觸角ハ七節ニシテ短シ。後體部ハ五節ニシテ、卵囊ハ一個ヲ有ス。雄ハ第一觸角膨大シ、左右共ニ把握器ヲナシ、後體部ハ六節ナリ。體長雌ハ〇・五—〇・七五耗、雄ハ〇・五—〇・五五耗ナリ。無色透明ニシテ、暖海沿岸性ナリ。南日本ニ分布ス。

ミクロセテラ・ノルヴェギカ

ハルバクティクス科

第二二四八圖



*Microsetella norvegica*.

雌ハ體細長ク、前後ニ尖レリ。前體部ハ四節ニシテ、第一觸角ハ五節ヲ有シ、後體部ハ五節ナリ。尾又ノ四刺毛ノ兩側ノモノハ短シ。雄ノ第一觸角ハ左右共ニ把握器ヲナシ、後體部ハ六節ナリ。體長〇・三三—〇・五五耗ニシテ、淡褐色透明ナリ。各太平洋ニ廣ク分布ス。

ミクロセテラ・ロゼア

ハルバクティクス科

第二二四九圖



*Microsetella rosea*.

雌ハ體圓筒形ニシテ細長ク、前體部ハ四節ヲナシ、後體部ハ五節ナリ。尾又ニハ三刺毛ヲ有シ、ソノ外方ナルモノハ微小ナリ。體長〇・六五—〇・八五耗、淡褐色ニシテ透明ナリ。雄ハ未發見ナリ。各太平洋ニ廣ク分布ス。

第二二五〇圖



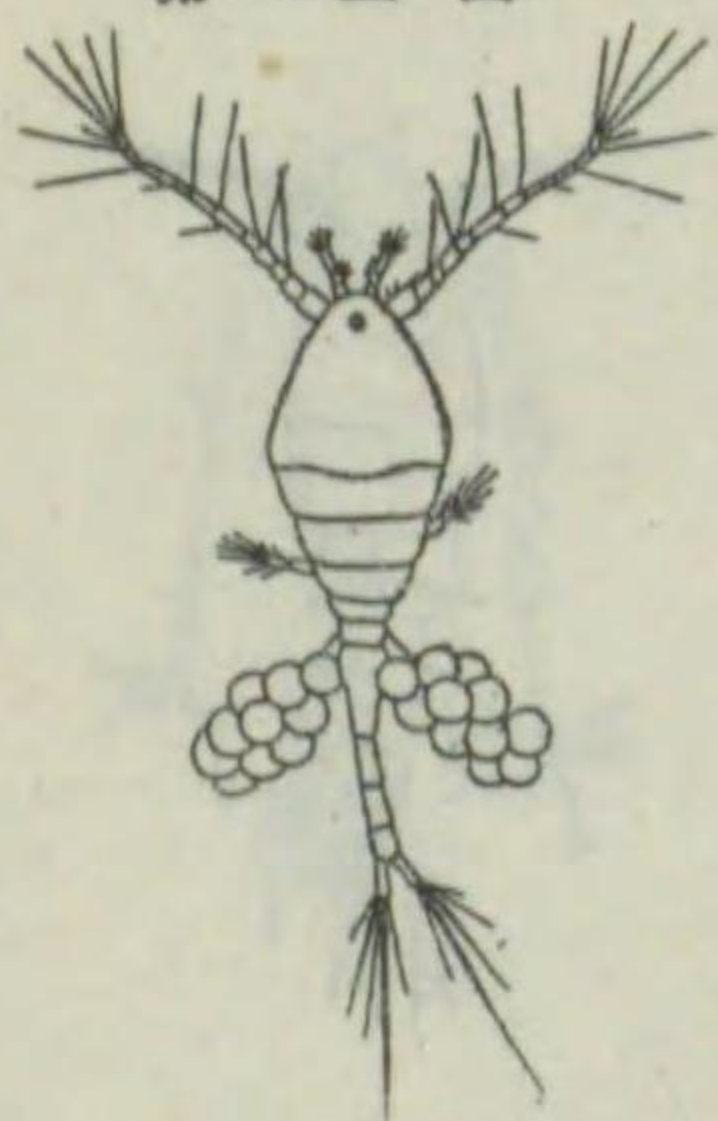
*Cyclopina litoralis*.

雌ハ頭端鈍圓ニシテ、前體部ハ五節ナリ。第一觸角ハ一八節ニシテ後體部ハ五節ナリ。體長〇・五五—〇・八耗、雄ハ未發見ナリ。北歐ノ沿岸ニ分布シ、本邦ニ於テハ春探湖(北海道)ニ産ス。

オイトナ・ナナ

キクロプス科

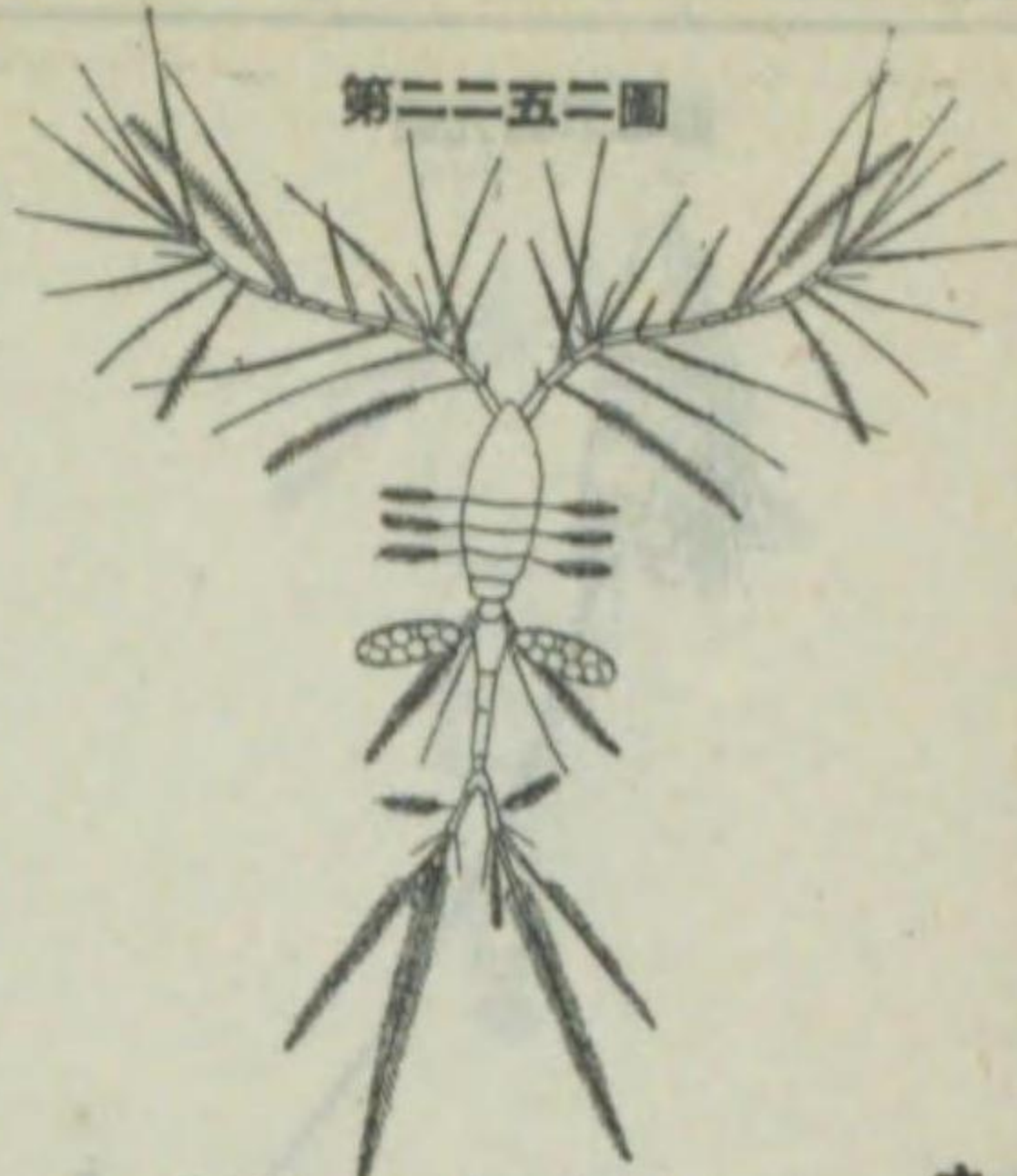
第二二五一圖



*Oithona nana*.

雌ノ前頭部鈍圓ニシテ嘴狀ヲ呈セズ。第一觸角ハ第三脚節ヲ超ルコトナク、後體部ハ五節ヨリ成ル。尾又ノ外縁ノ刺毛ハ前方ニ位セリ雄ノ頭端ハ雌ニ同ジク、第一觸角ハ左右共ニ把握器ヲ形成セリ。後體部ハ六節ヨリ成ル。體長雌〇・五—〇・七耗、雄〇・四—〇・六耗内外ナリ。體色ハ無色透明。分布廣ク、我國沿岸ニ普通ニ見出サル。魚類ノ好天然餌料タリ。





第二二五二圖

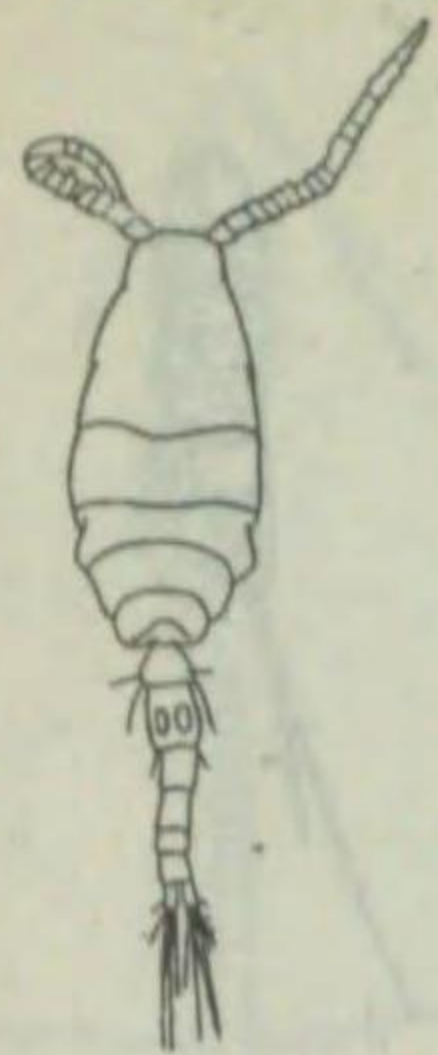
*Oithona plumifera.*

雌ノ頭端ハ棘狀ニシテ突出シ、少シク腹面ニ曲レリ。第一觸角ニハ長キ刺毛ヲ多ク生ジ、尾又ノ刺毛長シ。雄ノ頭端ニハ刺毛突起ヲ缺ケリ。體長雌一・一・五耗、雄〇・八一耗ナリ。體色ハ無色透明。各地ノ沿岸ニ普通ニ分布シ、蜻、鰻等ノ好天然餌料タリ。

オイトナ・ブルミフェラ

キクロプス科

第二二五三圖



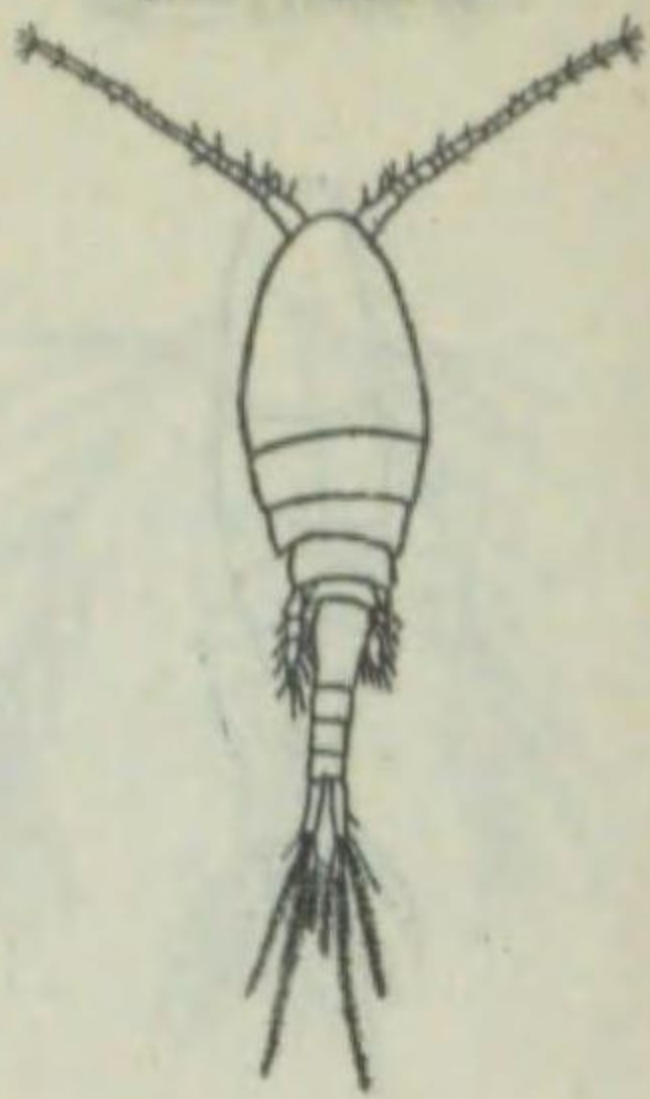
*Oithona similis.*

雌ハ頭端下方ニ彎曲セル嘴狀突起ヲナセルモ、背面ヨリ見エズ。後體部ハ五節ニシテ、尾又ノ外縁ノ刺毛ハ前方ニ位ス。雄ハ嘴狀突起ナク、第一觸角ハ左右共ニ把握器トナレリ。後體部ハ六節ニシテ、體長雌ハ〇・七一耗、雄ハ〇・六一〇・七耗内外ナリ。無色透明ニシテ、分布頗ル廣ク、各地ノ沿岸ニ普通ニ棲息シ、稍々北方ニ互ル。鰻、蜻、鱒、秋刀魚等ノ好餌料ナリ。

オイトナ・シミリス

キクロプス科

第二二五六圖



*Cyclops leuckartii.*

雌ノ後胸節ハ突出スルコトナク、第一觸角ハ一七節ヨリ成リ、末端ノ二節ニハ、透明ナル膜ヲ有ス、第五脚ハ二節ヨリ成リ、尾又ハ細長ク、末端ニ四刺毛ヲ有セルモ、細毛ハ之ヲ缺ク、體ハ小形ニシテ體長一・三耗内外。體色ハ無色ニシテ透明ナリ。湖水性ナルモ、池沼ニモ見出サレ、廣ク世界ニ分布シ淡水魚ノ好餌料タリ。

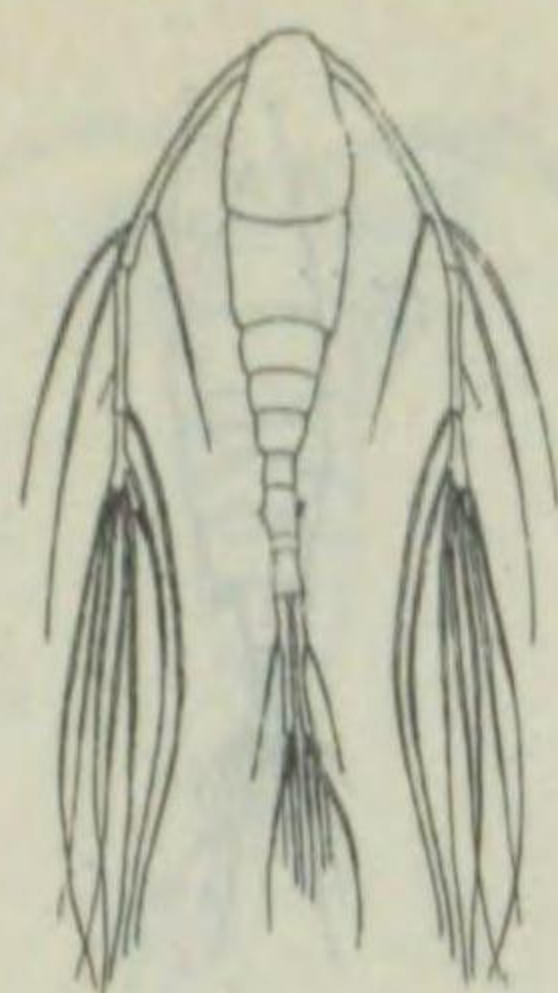
キクロプス・ロイカルテ

キクロプス科

モルモニッラ・ファスマ

モルモニッラ科

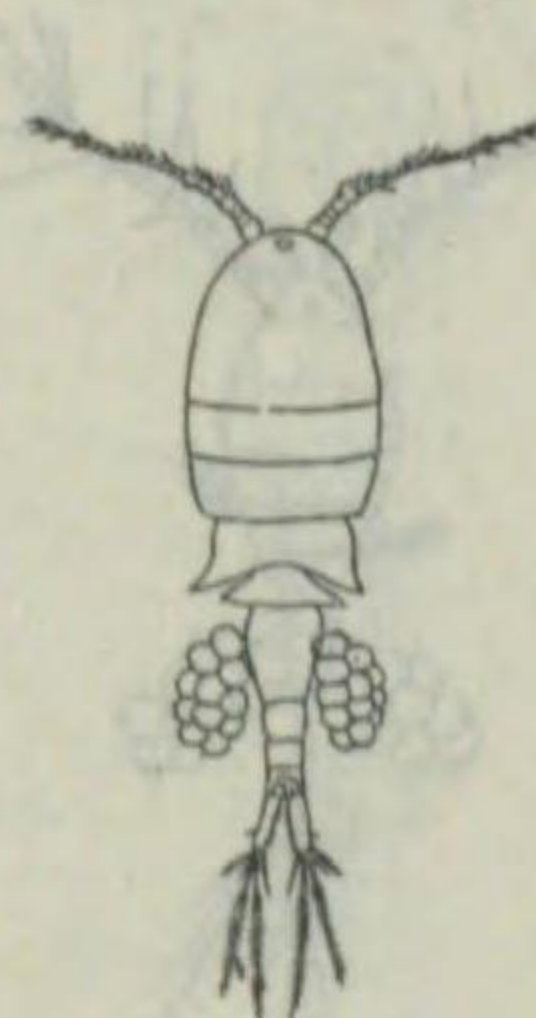
第二二五七圖



*Mormonilla phasma.*

雌ハ體細長ク、前體部ハ五節ニシテ、後體部ハ四節ヨリ成ル。第一觸角ハ三節ニシテ頗ル長ク、長キ刺毛ヲ有ス。雄ハ未發見ナリ。體長一・六耗内外、太平洋ニ産ス。

第二二五四圖



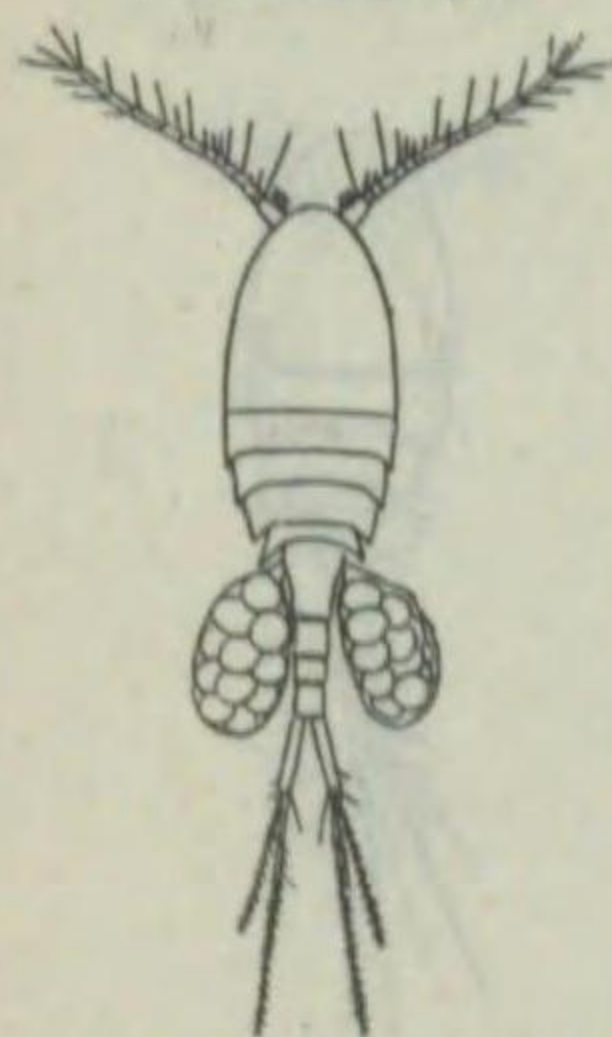
*Cyclops strenuus.*

雌ハ前體部五節ニシテ、最後ノ二胸節ハ側方ニ突出ス。第一觸角ハ一七節ニシテ短カク、後體部ハ四節ヲナシ、尾又ハ長シ。卵囊ハ二個ニシテ大形ナリ。雄ノ觸角ハ左右共ニ把握器トナリ、後體部ハ五節ニシテ、第五脚ハ二節ナリ。體長雌ハ一・五―三耗、雄ハ一・六耗内外ニシテ、無色、黄褐色、赤褐色等變化多シ。湖沼ノ「アランクトン」トシテ世界ニ廣ク分布ス。淡水魚ノ好餌料ナリ。

キクロプス・ストレヌウス

キクロプス科

第二二五五圖



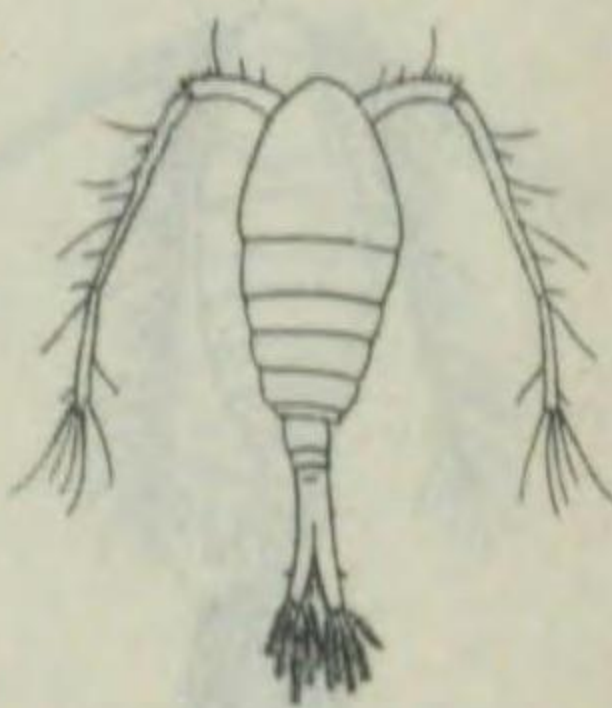
*Cyclops serrulatus.*

前體部ハ五節ニシテ、最後ノ胸節ハ側方ニ突出セリ。第一觸角ハ二節ヨリ成リ、第五脚ハ一節ヨリナル。雌ニテハ又肢ノ外縁ニ一列ノ小棘ヲ有セルモ、雄ニテハ之ヲ缺ケリ。體色ハ變異多ク、概シテ淡茶褐色ニシテ透明ナリ。體長一・〇―一・六耗。各地ノ淡水ニ普通ニ見出サル、モノニシテ、魚類ノ好天然餌料ナリ。

キクロプス・セルラトウス

キクロプス科

第二二五八圖



*Tortanus forcipata.*

雌ハ前種ヨリ短小ニシテ、最後ノ二胸節ハ分離ス。第一觸角ノ節ハ不明ニシテ、後體部ハ三節ヨリ成リ、第二節及ビ尾又ハ不相稱ニシテ、尾又ハ極メテ長シ。雄ノ第五脚ハ左右相稱ニシテ、尾又ハ更ニ長ク、體長一・一―一・五耗ナリ。暖海ニ産ス。

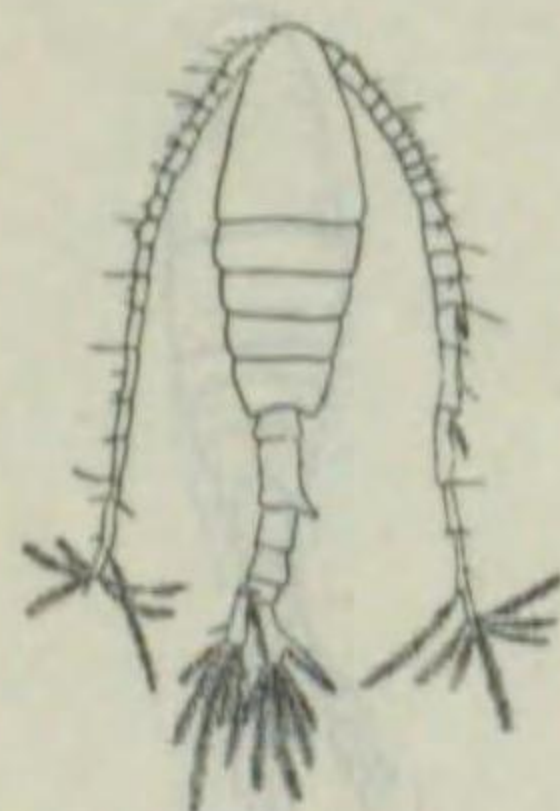
トルタヌス・フォルキパータ

ポントテラ科

トルタヌス・デイスカウダータ

ポントテラ科

第二二五九圖



*Tortanus discaudata.*

雌ハ頭端鈍圓ニシテ、吻ナク最後胸節ノ後側縁圓シ。後體部ハ三節ニシテ、第二節ノ後縁ニハ纖毛ヲ有ス。尾又ハ不相稱ニシテ、右葉及ビ外方ノ刺毛ハ著シク肥大ス。雄ハ後體部五節ヨリ成リ、不相稱ニシテ、第二節ノ右側ニ鋭キ突起アリ。體長二・二―三・一耗ナリ。寒海性ニシテ、北日本ニ分布ス。

第二二六〇圖



*Acartia centrura.*

アカルティア・セントゥラ  
ホンテッラ科  
雌ハ吻絲ヲ有シ、最後胸節ノ状態ハ前種ニ類似セルモ、後方ニ向フ棘ニ對アリ。後體節ハ三節ニシテ背面兩側ニ一棘ヲ有ス。雄ハ後體部ノ第二節背面ニ三對ヲ有シ、第三、第四節ニ一對ノ小棘ヲ有ス。體長一・一・二五耗、無色透明ナリ。暖海性ニシテ、南日本ニ分布ス。

アカルティア・クラウシー

ホンテッラ科

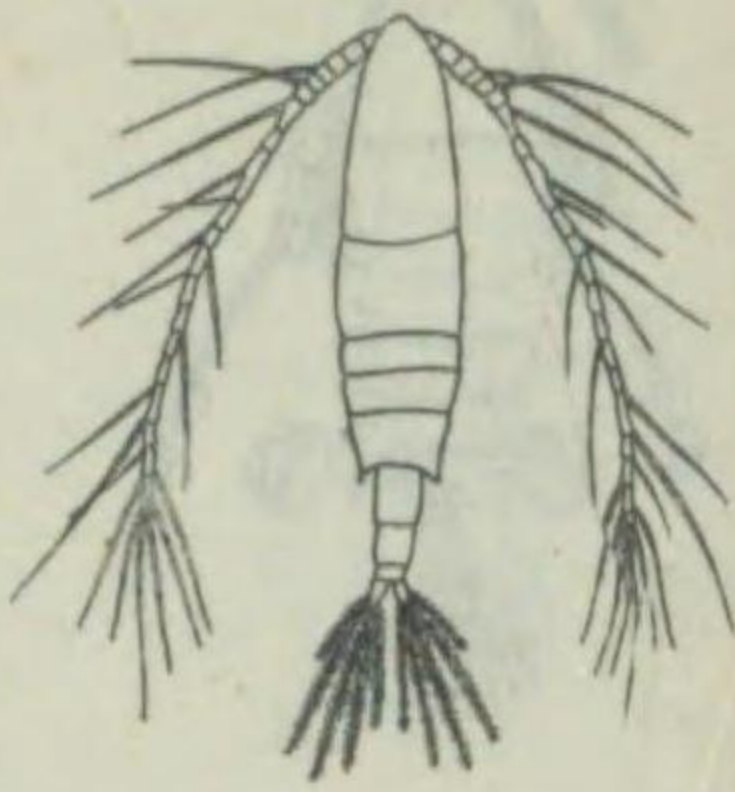
第二二六一圖



*Acartia clausi*

雌ハ頭端鈍圓ニシテ、吻糸ナク、最後ノ胸節ノ側縁ハ側面ニ圓ク膨レ、後邊近クニ小棘ヲ有ス。後體節ハ三節ニシテ、二節ノ後縁ニハ商狀棘ヲ有ス。第五脚ハ二節ナリ。雄ハ後體節四節ヨリ成リ、第五脚ハ右四節ニシテ、左三節ナリ。體長雌ハ一・二耗、雄ハ一耗内外ニシテ、無色透明ナリ。暖海沿岸性ニシテ、南日本沿岸ニ産ス。

第二二六四圖



*Acartia longirens.*

アカルティア・ロンギミレス  
ホンテッラ科  
雌ハ體比較的細長ク、最後胸節ノ後側縁ニ棘狀突起アリテ、別ニ細棘ヲ有ス。生殖節及ビ次節ノ後縁ニ小剛毛アリテ、第一觸角ハ略々體ノ後端ニ達シ、各節上ノ刺毛長シ。雄ノ第五脚ハ左右不相稱ニシテ、體長一・一・三耗、無色透明ナリ。寒海性ニシテ、北日本沿岸ニ分布シ、時ニ大群ヲナス。

アノマロケラ・パテルソニ

ホンテッラ科

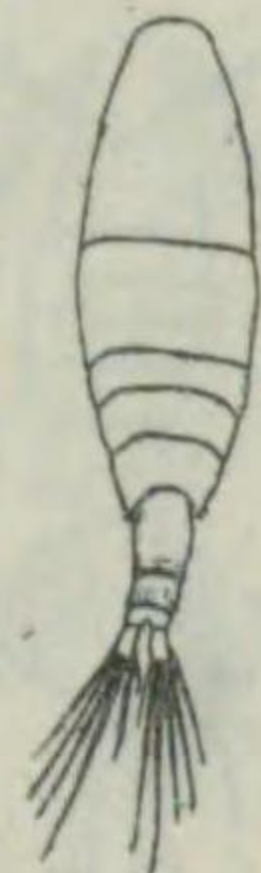
第二二六五圖



*Anomalocera patersoni.*

雌ハ吻「レンズ」ナク、最後ノ胸節ノ後側縁ハ突出シ、左右相稱ナリ。雄ハ生殖節ノ右側ニ銳刺ヲ有シ、體長三・五—四・一耗内外。青綠色透明ナリ。暖海ニ産ス。

第二二六二圖



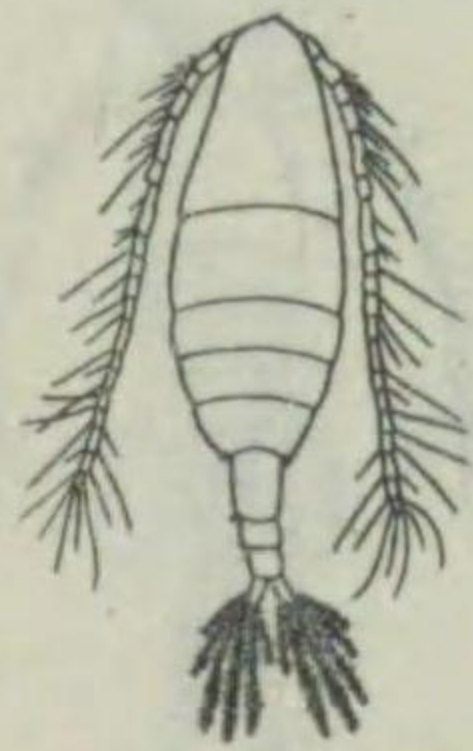
*Acartia bifilosa.*

アカルティア・ビフィローサ  
ホンテッラ科  
雌ハ吻糸ヲ有シ、最後ノ胸節ノ後側縁ハ圓シ。生殖節及ビ次節ノ背面ニハ細棘ヲ有ス。雄ハ第五脚ノ末端ニ小ナル附屬突起アリテ、體長〇・八一—二耗ナリ。寒海性ニシテ、北日本ニ産ス。

アカルティア・ダナエ

ホンテッラ科

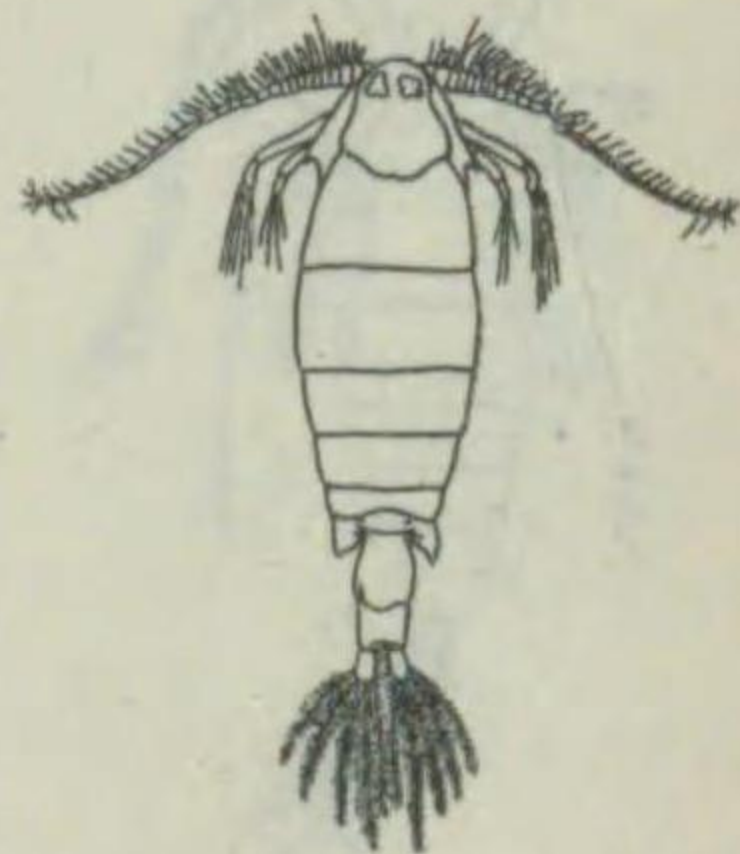
第二二六三圖



*Acartia danae.*

雌ハ頭端稍々尖リ、最後ノ腹部ノ後側縁ハ圓ク、細小棘ヲ有ス。第一觸角ハ比較的長ク、太キ棘ヲ有ス。雄ハ未ダ發見セラレズ。體長一・二—一・四耗ニシテ無色透明ナリ。暖海性ナルモ、北海道ノ沿岸ニモ分布ス。多カラズ。

第二二六六圖



*Pontella lobiancoi.*

ホンテッラ・ロビアンコイ  
ホンテッラ科  
頭部ニ側棘ヲ有スルコト、背面ニ一對ノ水晶狀ノ眼ヲ有スルコト、眼ノ前方腹面ニ一個ノ吻「レンズ」ヲ有セルコト等ハ本屬ノ特徴ナリ。雌ハ頭端鈍圓ニシテ、胸節ノ後側縁ハ突出シ、左右相稱ナリ。後體部ハ三節ナリ。雄第五脚ハ鉗ノ掌部廣シ。體長雌ハ三・八一—四・二耗、雄ハ三・三—三・八耗ニシテ、青色ナリ。暖海ニ産ス。

ホンテッラ・キエルキアエ

ホンテッラ科

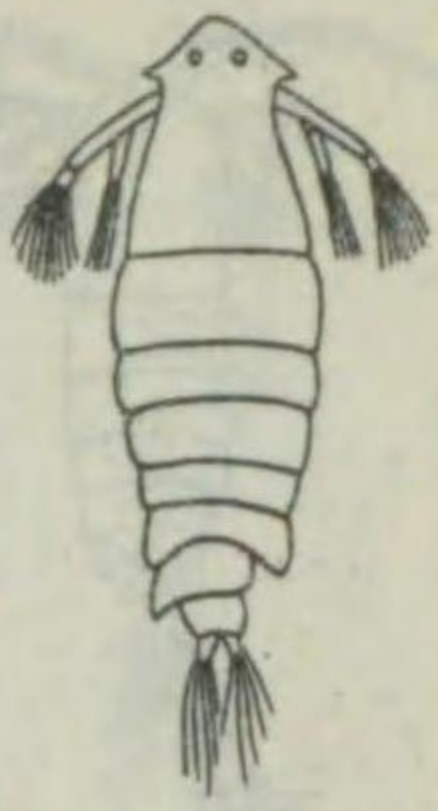
第二二六七圖



*Pontella chierchiai.*

雌ハソノ前縁三角形ヲ呈シ、最後ノ胸節ハ左右不相稱ナリ。ソノ後側縁ヨリ二分シタル棘出デ、後體部ハ二節ニシテ、生殖節モ亦稍々不相稱ナリ。雄ハソノ第五脚ノ右側ノ鉗ノ末端著シク彎曲セリ。體色ハ透明ニシテ、淡青綠色ヲ呈シ、體長三乃至三・三耗ナリ。暖海性ニシテ、南日本ニ産ス。

第二二六八圖



ポンテッラ・ロンギペデータ  
ポンテッラ科  
雌ノ吻糸ハ分岐シテ短ク、最後ノ胸節ハ幅廣ク左右不相稱ナリ。後體節ハ二節ニシテ、生殖節ハ不相稱ナリ。雄ノ最後ノ胸節、後側縁ノ突起ハ右側長ク、後體節ハ五節ニシテ、體長三・三・三・三・三・三・三。

Pontella longipedata.

寒海性ニシテ、北日本ニ産ス。

ラビドケラ・クレイエリ

ポンテッラ科

第二二六九圖



ラビドケラ・バウエ  
ポンテッラ科  
雌ハ頭端鈍圓ニシテ、兩側ニ棘狀突起ヲ有シ、胸節ノ後側縁ハ尖リテ左右相稱ヲナシ、後體節ハ三節ナリ。雄ノ胸節ノ後側縁ハ不相稱ニシテ、體長雌二・五・五・五、雄二・五。青綠色ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ産ス。

Labidocera kröyeri.

第二二七二圖



ラビドケラ・バウエ  
ポンテッラ科  
雌ハ頭端圓ク、側角ヲ缺キ、最後ノ胸節ノ後角ハ尖リ左右相稱ナリ。後體節ハ二節ニシテ、生殖節ハ右方ニ著シク隆起突出セリ。雄ハ未発見ナリ。體長二・一・一。暖海性ニシテ南日本ニ分布ス。

Labidocera pavo

ニシテ南日本ニ分布ス。

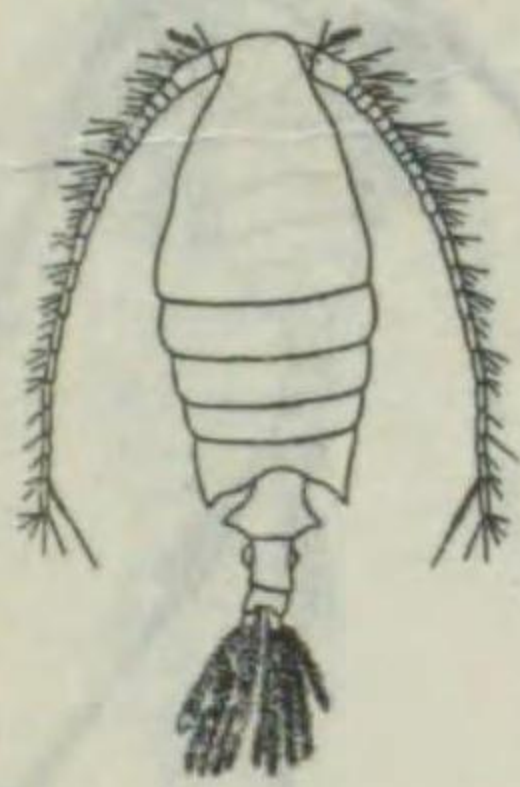
ラビドケラ・テトルンカータ

ポンテッラ科

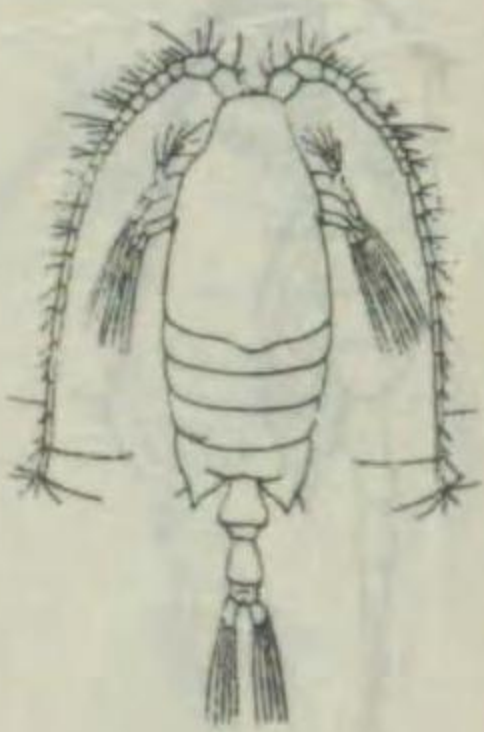
Labidocera detruncata.

雌ハ頭端鈍圓ニシテ、最後胸節ノ後角ハ翼狀ヲナシ、末端ハ小突起ヲナセリ。後體節ハ三節ニシテ、生殖節ハ長ク左右不相稱ナリ。雄ノ第五脚ノ右脚ハ大鉗狀ヲ呈ス。暖海性ニシテ南日本ニ分布セリ。

第二二七五圖



第二二七四圖



カンダキア・アルマータ  
カンダキア科  
雌ハ頭端稍々截斷狀ニシテ、最後ノ胸節ハ大形ナリ。後縁ハ翼狀ヲ呈シ、鋭ク尖レリ。後體節ハ三節ニシテ不相稱ナリ。第一觸角ハ二三節ニシテ第五脚ハ三節ナリ。雄ノ右第一觸角ハ把握器トナリ、二節ハ青色ニシテ鋸齒ヲ有ス。後體節ハ五節ニシテ生殖節ノ右方ニ突起ヲ有ス。第五脚ハ不相稱ナリ。體長雌ハ二・二・七・七・七ニシテ、雄ハ一・七・二・七・七ナリ。暖海外洋性ニシテ南日本ニ多キモ、北方ニモ亦少ナカラズ。

Candacia armata.

カンダキア・ビピンナータ

カンダキア科

Candacia bipinnata.

雌ハ稍々大形ニシテ、肥厚セリ。雌ハ幅廣ク、生殖節ハ扁平ニシテ、兩側ハ翼狀ニ突出シ、第二節ハ左右不相稱ヲナシ、第五脚ハ二節ヲ有セリ。雄ハ略々前者ニ準ジ、第五脚ノ左脚ハ長クシテ外縁ニ細毛ヲ生ズ。體色ハ無色透明ナリ。體長一・九乃至二・六・六内外ニ達ス。暖海外洋性ニシテ、南日本ニ見出サル。

第二二七〇圖



ラビドケラ・アクタ  
ポンテッラ科  
雌ハ頭端圓ク、側縁ヲ有セズ。冠狀突起アリテ後方ノ二胸節ハ癒合シ、その後側縁ハ鋭ク棘狀突起トナリ、一對ノ水晶狀眼球ヲ有ス。後體節ハ三節ニシテ、生殖節ハ不相稱ナリ。雄ノ胸節ノ突起ハ右方稍々螺旋狀ヲ呈シ、右第一觸角ハ把握器トナル。體長二・七・三・四・三・三・三。暖海性ニシテ南日本ニ分布ス。

Labidocera acuta.

把握器トナル。體長二・七・三・四・三・三・三。

ラビドケラ・ウォルラストニ

ポンテッラ科

第二二七一圖

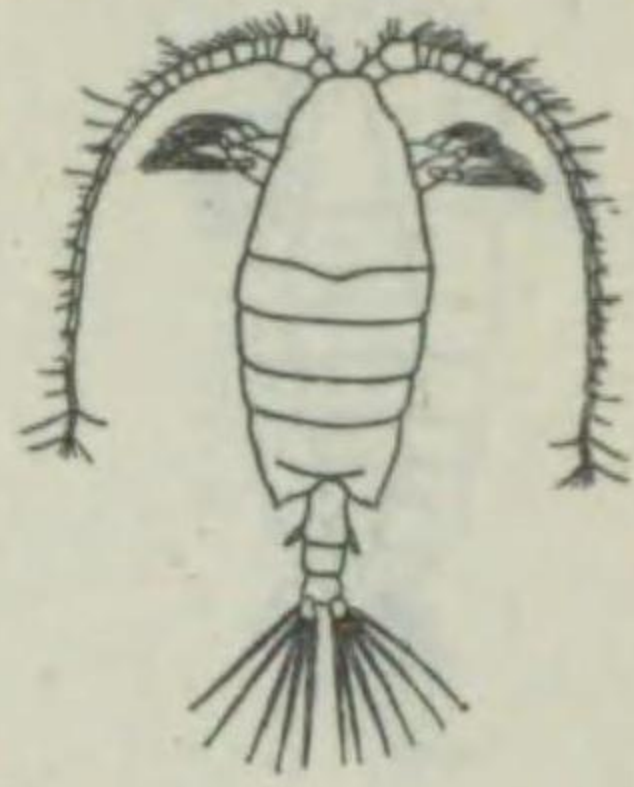


ラビドケラ・ウォルラストニ  
ポンテッラ科  
雌ハ頭部稍々三角形ニシテ側縁ヲ有シ、最後胸節ノ後角ハ突出シ、左右相稱ナリ。雄ノ第五脚ノ右脚ハ鉗ヲ形成シ、體長二・二・二・四・三・三・三。青綠色ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ分布ス。

Labidocera wollastoni

青綠色ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ分布ス。

第二二七六圖



*Candacia pachydactyla.*

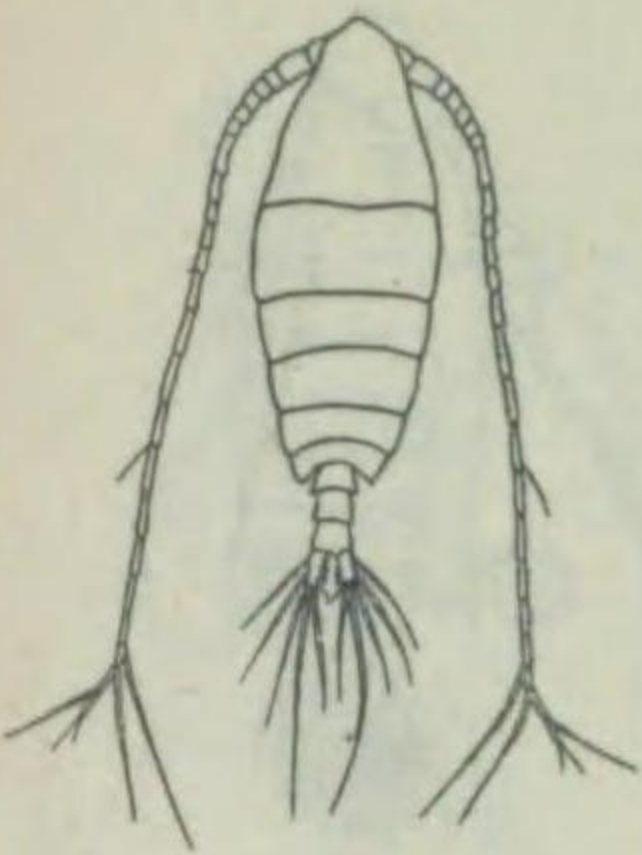
胸節ノ後角ハ前種程鋭カラズ。生殖節ノ兩側ニ角狀突起ヲ有ス。雄ノ最後ノ胸節、生殖節ハ不相稱ナリ。體長二・三—二・八耗。分布ハ前種同様ナリ。

カンダキア・バキダクテイラ  
カンダキア科

フセウドロヴェヌラ・マゲナ

ケントウロバゲス科

第二二七七圖



*Psadolovenula magna.*

雌ハ頭端稍々突出シ、第一觸角ハ二四節ニシテ體ヲ超ユ。第五脚ハ一節ニシテ、後體部ハ三節ナリ。雄ハ未發見ナリ。寒海外洋性ニシテ北日本ニ分布ス。

第二二七八圖



*Lucicutia flavicornis.*

雌ハ頭端鈍圓ニシテ、頭部ハ胸節ト分離ス。最後ノ二胸節ハ癒合シ第一觸角ハ二四節ナリ。後體部ハ四節ニシテ、第五脚ハ三節ヨリナリ尾又ノ第二刺毛ハ著シク長シ。雄ノ左第一觸角ハ把握器トナリ、第五脚ハ左右不相稱ナリ。右ノ外葉ハ大形ノ鈎狀ヲナシ、體長一・四—一・六耗ニシテ暖海性ナリ。南日本ニ多シ。

ルキクテイア・フラヴィコルニス  
ケントウロバゲス科

メトリティア・ロンガ

ケントウロバゲス科

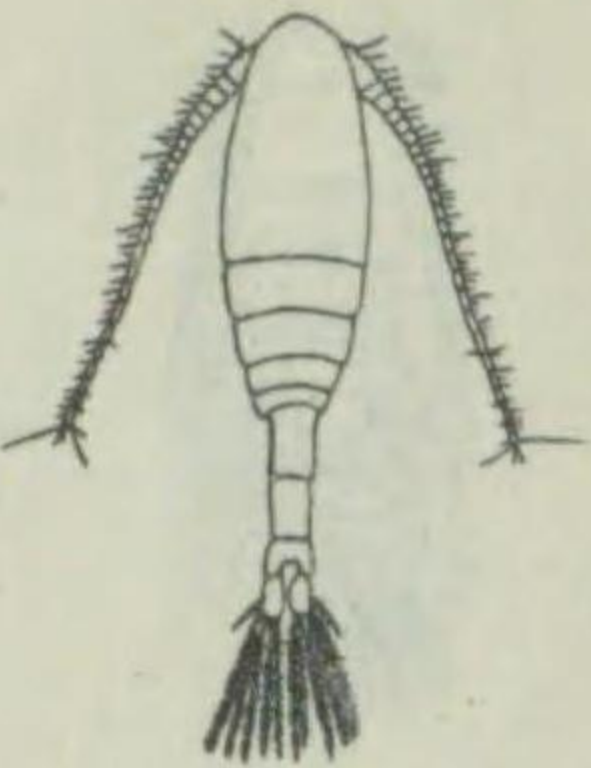
第二二七九圖



*Metridia longa.*

雌ノ最後ノ二胸節ハ癒合シ、生殖節ハ長ク、第五脚ハ四節ニシテ、色素點ヲ有セズ。雄ノ右第一觸角ハ把握器トナリ、第五脚ノ右脚ハ長キ棘ヲ有シ、體長三・五—四耗ナリ。夜間著シク發光ス。寒海外洋性ニシテ、「オーリック」海、日本海ニ多産ス。鹹ノ好餌料ナリ。

第二二八〇圖



*Metridia lucens.*

雌ハ前種ニ類似ス。胸節ノ後側縁ハ稍々尖リ、第五脚ハ三節ナリ。雄ノ右第一觸角ハ把握器ニシテ、第五脚ノ右脚長シ。體長ハ雌三耗ニシテ、雄二耗内外ニ達ス。無色透明ナリ。夜間發光ス。分布前種ニ準ズ。

メトリティア・ルケンス

ケントウロバゲス科

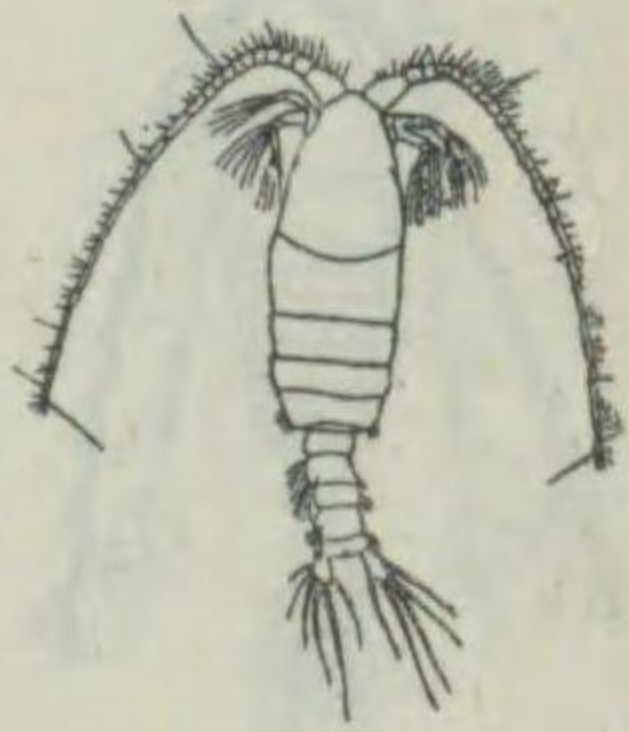
プレウロママ・グラキリス

ケントウロバゲス科

*Pleuromamma gracilis.*

雌ハ頭端稍々突出シ、最後ノ二胸節ハ癒合ス。第一胸節ノ右方ニ著シキ黒色素點ヲ有ス。第五脚ハ二節ナリ。雄ノ後體部ハ左右不相稱ニシテ、左第一觸角ハ把握器トナリ、第五脚ノ右方ハ末節廣ク、扁平ナリ。體長雌一・九—二・三耗雄一・八耗ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ分布スルモ、北方ニモ互レ

第二二八二圖



*Pleuromamma abdominalis.*

雌ノ色素點ハ左右何レカ一方ニ之ヲ有ス。雄ノ色素點ハ左方ニアリ後體部ハ不相稱ナリ。左第五脚末端ハ扁平ニシテ、體長三耗内外ナリ。暖海性ニシテ、南日本ニ分布スルモ、北方ニモ互レリ。

プレウロママ・アブドミナリス

ケントウロバゲス科

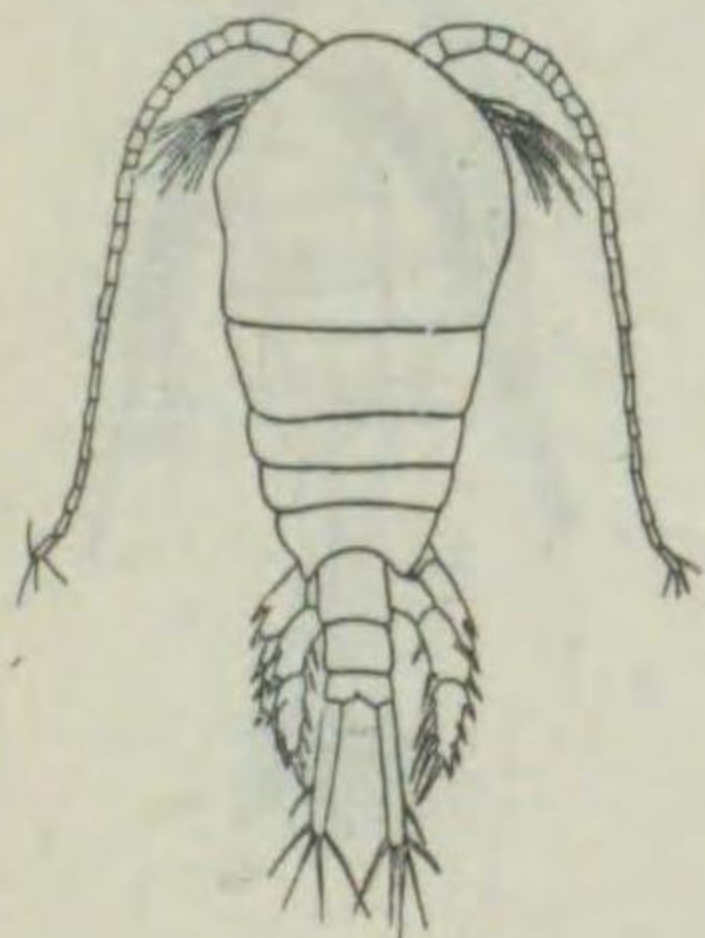
テモラ・トルビナータ

ケントウロバゲス科

*Temora turlinata.*

雌ハ前體部幅廣ク、最後ノ二胸節ハ癒合シ(時ニ割線ヲ現ハス)、最後ノ胸節ノ後側縁ハ鈍圓ナリ。尾又ハ長クソノ第二刺毛ハ著シク太シ。第五脚ハ三節ニシテ小形ナリ。雄ノ第五脚ノ末端ハ比較的長ク、尾又ノ刺毛ハ一様ナラズ。體長一・四—一・七耗ナリ。暖海外洋性ニシテ南日本ニ分布ス。

第二二八三圖



第二二八四圖



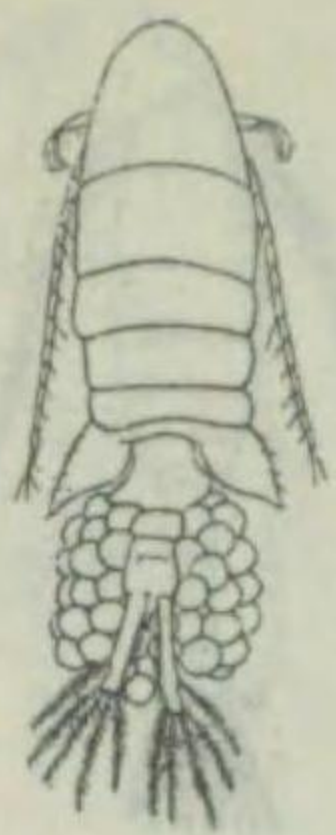
Temora stylifera.

雌ハ頭部肥大シ、前部稍々平坦ニシテ、最後ノ胸節ノ後側縁ハ稍々彎曲セル棘トナレリ。尾又ノ刺毛ハ左右不相稱ナリ。雄ノ左方第五脚ノ末節ハ葉狀ニシテ、體長一・四一。九耗ナリ。暖海外洋性ニシテ、南日本ニ分布ス。

テモラ・ステイリフェラ

ケントウロバゲス科

第二二八五圖



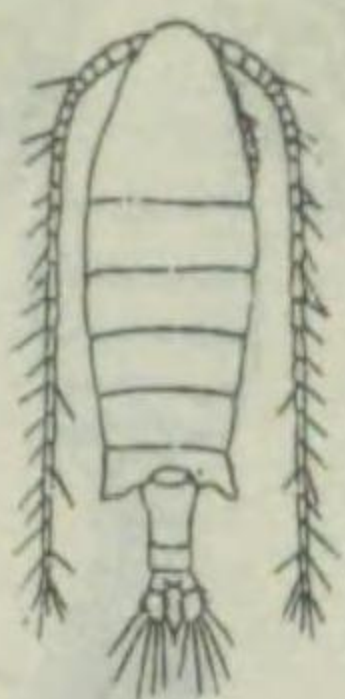
Eurytemora herdmani.

雌ハ頭端鈍圓ニシテ、最後ノ二胸節ハ癒合セズ。ソノ後側縁ハ翼狀ニ側方ニ突出ス。生殖節ノ兩側ニ後方ニ向テ著シキ隆起アリ。雄前體部ハ橢圓形ヲナシ、翼狀ニ擴大セズ。第五脚ハ左右不相稱ナリ。體長一・六耗内外、寒海性ニシテ北海道東海岸ニ産ス。

エウリテモラ・ヘルドマニ

ケントウロバゲス科

第二二八八圖



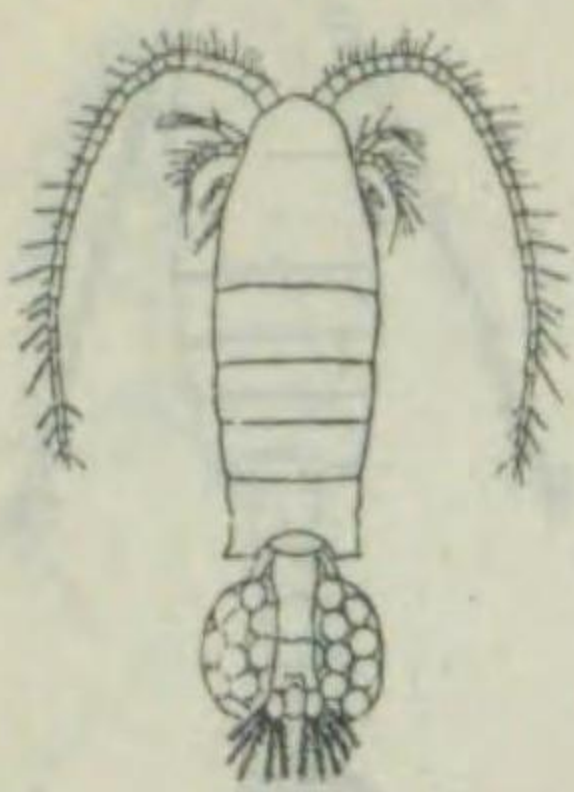
Diaptomus pacificus.

雌ハ頭端鈍圓ニシテ、最後ノ胸節ノ後側縁稍々不相稱ニ擴張シ、鋭角ヲナシ、生殖節ハ長シ。第一觸角ハ二五節ニシテ體ノ後端ヲ越エ末節ニ鈎狀突起ヲ有ス。雄ハ第五脚ノ右方大キク末節ニ鈎狀棘アリ。體長一・三一。五耗ナリ。淡赤色乃至綠白色ヲ呈ス。高山ノ湖ニ多ク、支笏湖、中禪寺湖ニ産ス。

ディアプトムス・パキフィクス

ケントウロバゲス科

第二二八九圖



Diaptomus denticornis.

雌ハ前種ニ類似セルモ、頭端稍々三角形ニ突出シ、最後ノ二胸節ハ癒合シ、ソノ後側縁ハ翼狀ニ擴大シ、側方ニ鋭角ヲナス。雄ノ第五脚ハ右方大ニシテ、末節ニ鈎狀棘ヲ有ス。體長二・三一。三耗、赤褐色ナリ。中禪寺湖、赤城沼ニ産ス。

ディアプトムス、デンティコルニス

ケントウロバゲス科

第二二八六圖



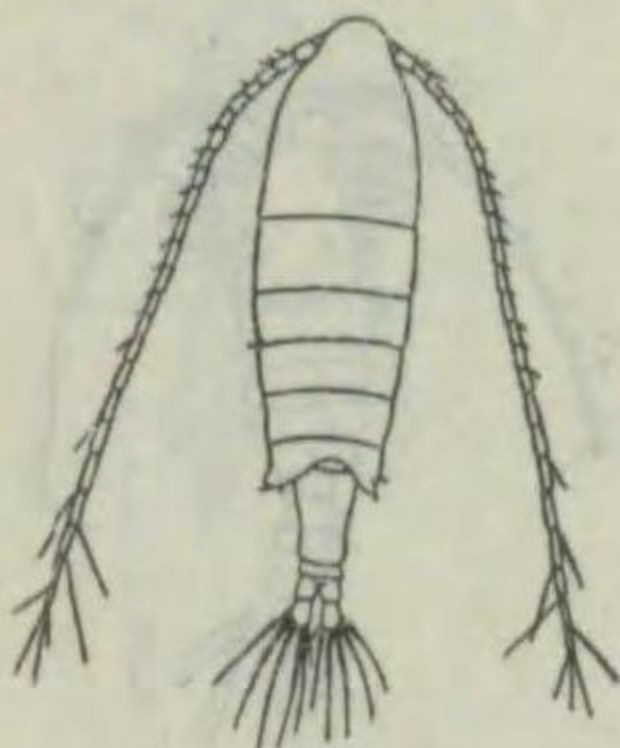
Eurytemora pacifica.

雌ハ前種ノ雄ニ酷似セルモ、右第一觸角(把握器)ノ第二〇節ニハ突起ヲ有セズ。第五脚ハ左右不相稱ニシテ、雌ハ未發見ナリ。體長二耗内外。寒海性ニシテ北海道東海岸ニ産ス。

エウリテモラ・パキフィカ

ケントウロバゲス科

第二二八七圖



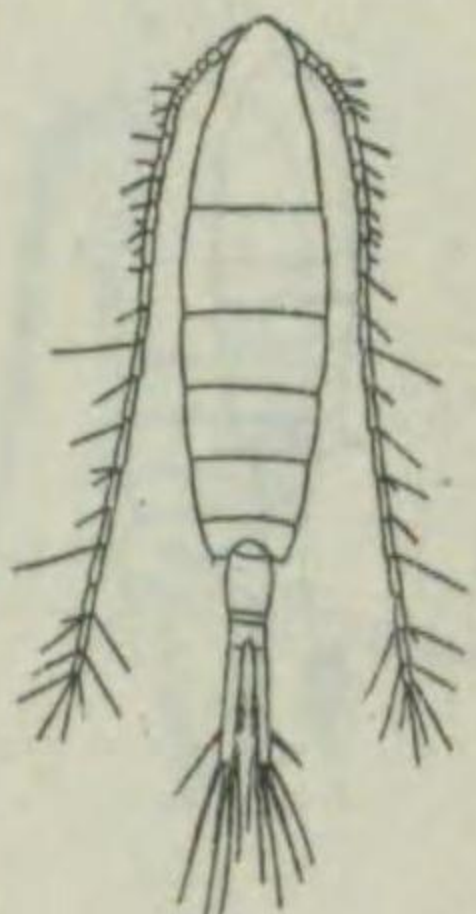
Diaptomus japonicus.

雌ハ細長ク、胸節ノ後側縁ニ二小棘狀突起ヲ有ス。生殖節ハ著シク長シ。體色ハ帯緑色乃至青白色ヲ呈シ、透明ナリ。體長一・一。四耗ニ達ス。琵琶湖、霞ヶ浦ニ分布セリ。

ディアプトムス・ヤボニクス

ケントウロバゲス科

第二二九〇圖



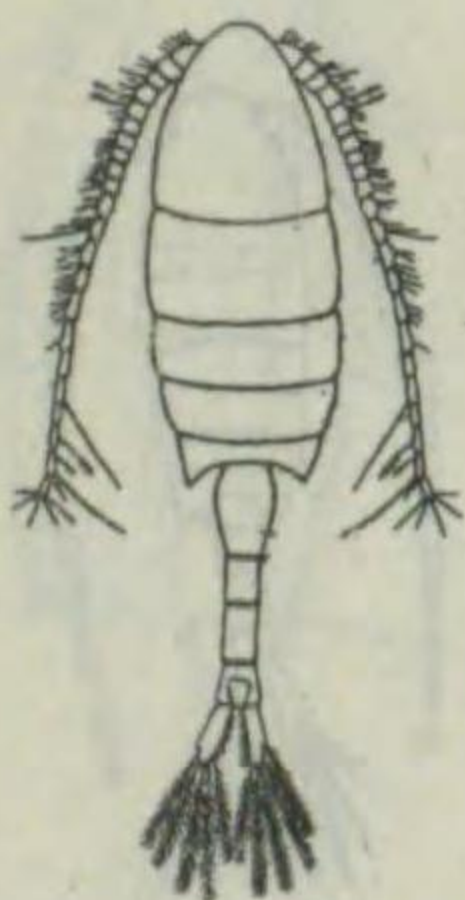
Limnocalanus sinensis var. tenellus.

雌ハ體甚ダ細長ク、胸節ノ後側縁ニ棘狀突起ヲ有ス。第一觸角ハ二五節ヨリナリ、略々體ト同長ニシテ尾又ハ細長シ。雄ノ第五脚ハ左右不相稱ナリ。體長一・六一。七耗内外ニ達ス。無色透明ナリ。南日本ノ沿岸ノ淡水ニ分布ス。

リムノカラヌス・シネンシス

ケントウロバゲス科

第二二九一圖



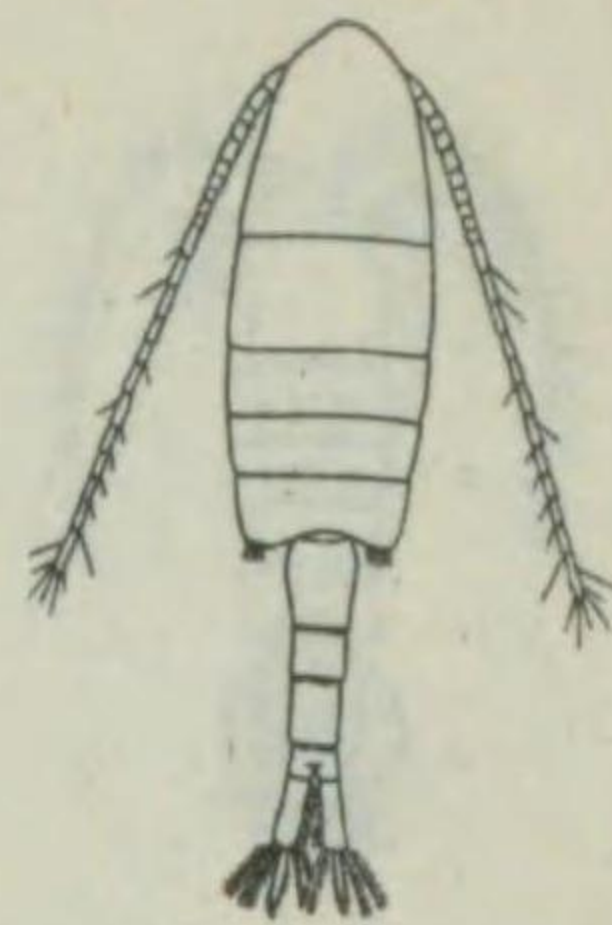
Pseudodiaptomus marinus.

雌ハ形稍々前種ニ類似セルモ、前體部ハ短カク、吻ハ分岐延長セリ。最後ノ二胸節ハ癒合シ、ソノ後側縁ハ喙狀突起ヲナス。後體部ハ四節ニシテ、後縁ニ鋸齒ヲ有シ、第五脚ハ四節ヨリ成リ、第二節外縁ニ棘ヲ有ス。雄ノ頭端ハ稍々尖リ、第五脚ハ左右不相稱ナリ。體長一・二。一。三耗、黄赤色不透明ナリ。北海道沿岸以南相模灣ニ互リテ分布ス。

プセウドディアプトムス・マリヌス

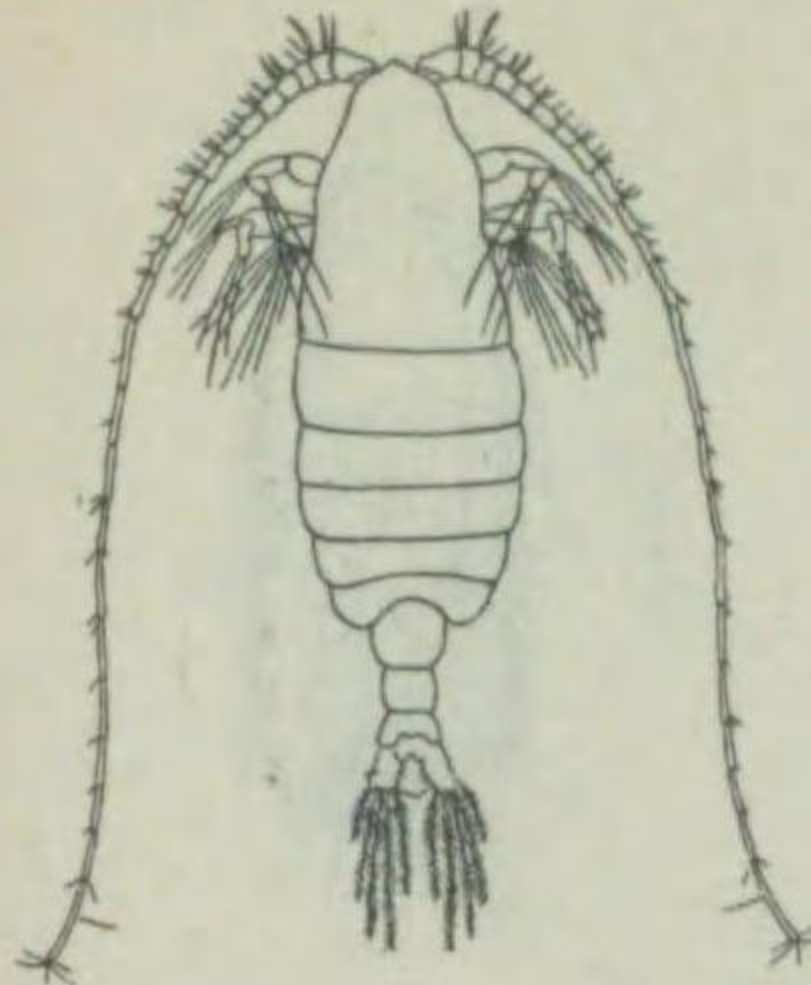
ケントウロバゲス科

第二二九二圖



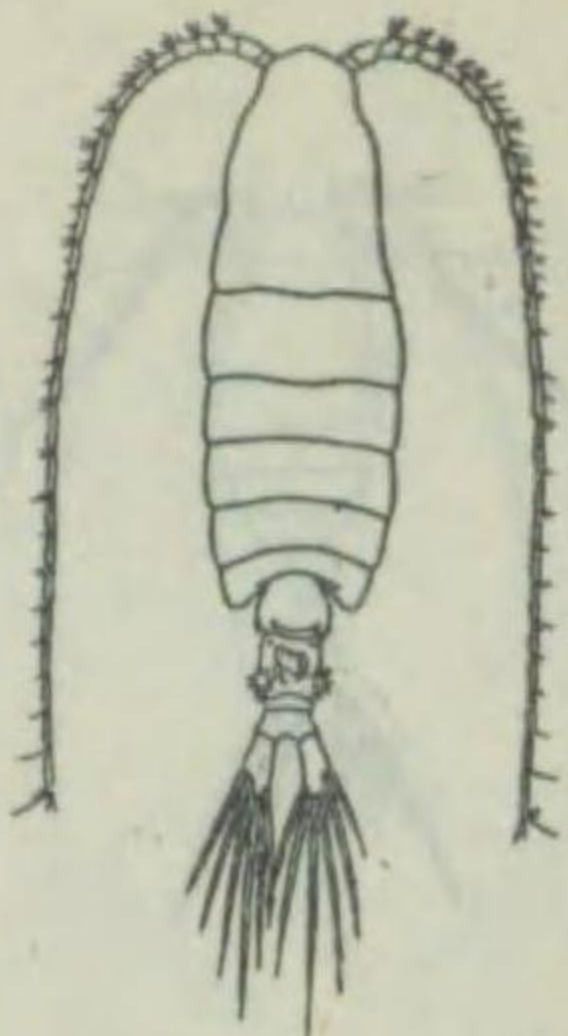
**Pseudodiaptomus inopsis.**  
フセウドティアプトムス・イノブシス  
ケントウロバゲス科  
頭端ハ鈍圓形ニシテ、最後ノ二胸節ハ癒合シ、最後ノ胸節ノ後縁ハ比較的幅廣ク、兩側縁ニ三—四棘ヲ有ス。體長ハ一・二—一・四耗ニシテ、無色透明ナリ。本邦各地沿岸ノ汽水ニ棲息シ、殊ニ霞ヶ浦ノ厚岸湖(北海道)等ニ多シ。

第二二九三圖



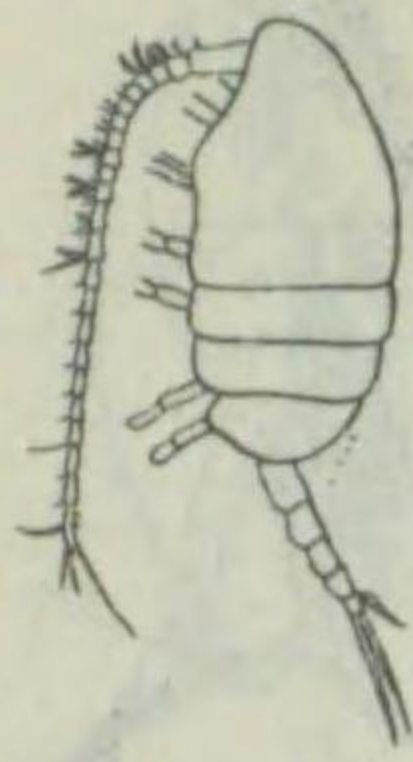
**Centropages bradyi.**  
ケントウロバゲス・ブラディ  
ケントウロバゲス科  
雌ハ體肥大シ、頭端ハ三角形ニシテ、稍々突出シ、吻ハ小形ニシテ分岐ス。胸節ハ五節ヨリ成リ、頭部トノ關節ハ明瞭ニシテ後體部ハ三節ナリ。生殖節ハ球狀ヲ呈セリ。第一觸角ハ二四節ニシテ長ク、ソノ後端ハ遙カニ體ヲ越ユ。第五脚ノ右脚外葉中間節ノ内側ニ棘狀突起ヲ有ス。雄ノ後體部ハ五節ニシテ、第五脚ノ右脚外葉ハ著シキ鉗ヲ形成ス。體長一・五耗内外ナリ。寒海性ニシテ北日本沿岸ニ分布ス。

第二二九六圖



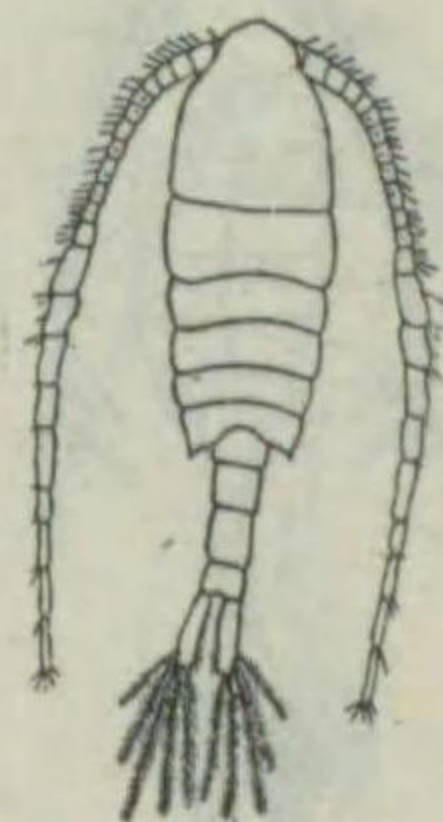
**Centropages gracilis.**  
ケントウロバゲス・グラキリス  
ケントウロバゲス科  
雌ハ、後體部ノ中間節ニハ兩側ニ一箇宛ノ突起ヲ有シ、小鉤珠生ス。雄ノ右方第五脚ハ鉗狀ニシテ、體長一・八耗内外ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ分布ス。

第二二九七圖



**Scolecithrix dentata.**  
スコレキトリックス・デンタータ  
カラヌス科  
雌ハ前體部橢圓形ニシテ、頭部ハ第一胸節ト癒合シ、最後ノ胸節モ亦癒合セリ。第一觸角ハ二三節ニシテ、第五脚ハ一節ヨリ成リ、扁平ナリ。雄ハ未發見ナリ。體長一・三—一・六耗、分布廣キモ、本邦ニ於テハ北海道近海ニ發見セララル。

第二二九四圖



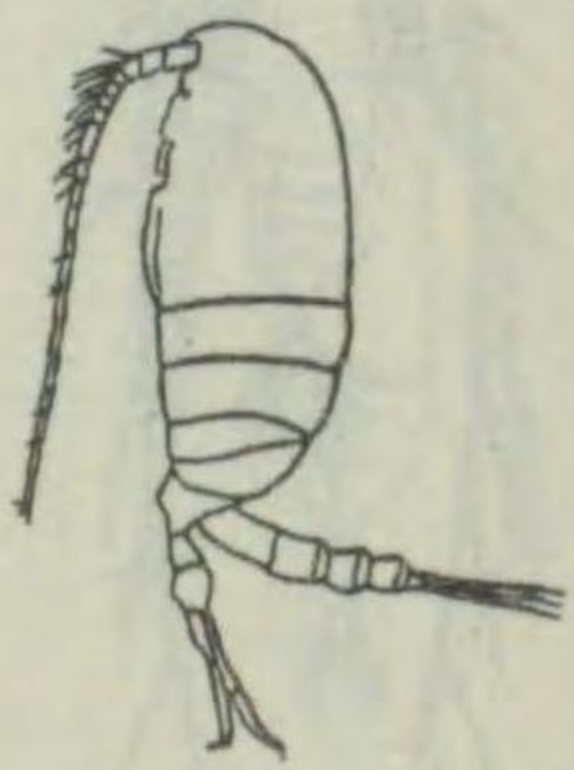
**Centropages abdominalis.**  
ケントウロバゲス・アブドミナリス  
ケントウロバゲス科  
雌ハ頭端鈍圓ニシテ、胸節ハ五節ヨリ成リ、最後ノ胸節ノ後側縁ハ嘴狀突起ヲナシ不相稱ナリ。右側ノモノハ外方ニ屈曲ス。生殖節ハ肥大シ、左右不相稱ニシテ、微細ナル棘ヲ簇生ス。第一觸角ハ二四節ニシテ、體ヨリ長シ。雄ノ胸節ノ後側縁ハ相稱シ、第一觸角ノ右方ハ二二節ニシテ、把握器トナレリ。第五脚ノ右脚外葉ハ鉤狀ニシテ、體長一・八—一・一耗ナリ。寒海性ニシテ北日本ニ分布ス。

第二二九五圖



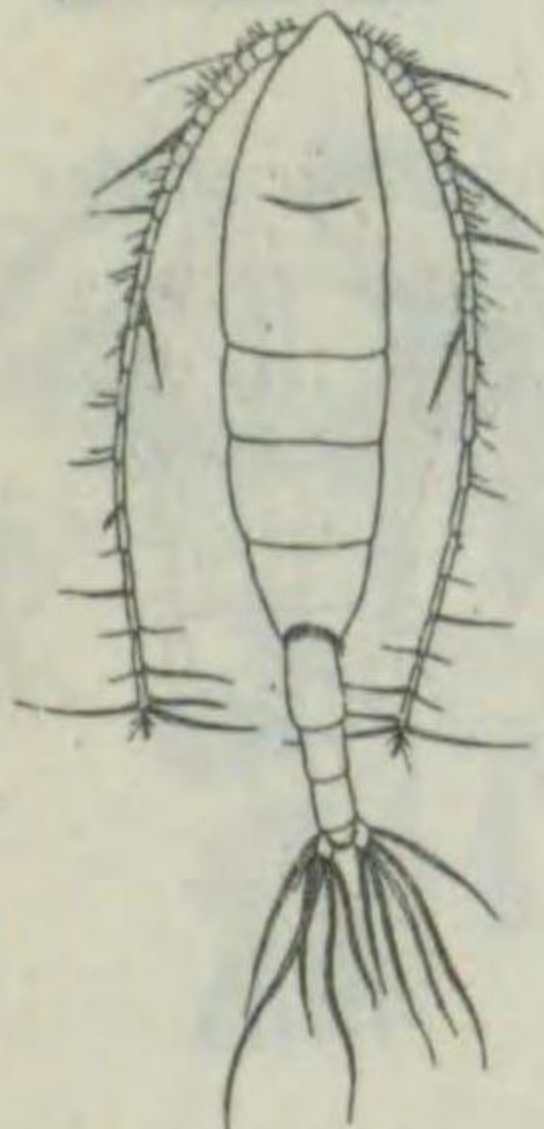
**Centropages krøyeri.**  
ケントウロバゲス・クレイエリ  
ケントウロバゲス科  
雌ハ頭部稍々三角形ニシテ、胸節ノ後側縁ハ兩側ニ棘狀ニ突出ス。雄ノ右方第五脚ハ鉗狀ニシテ、體長一・二—一・四耗ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ分布ス。

第二二九八圖



**Scolecithrix danae.**  
スコレキトリックス・ダナエ  
カラヌス科  
前種ニ酷似セルモ、最後ノ二胸節ハ分離シ、第一觸角ハ一九節ヨリ成ル。後體部ハ雌ニテハ四節、雄ニテハ五節ニシテ雌二・二耗、雄二・二—二耗内外ナリ。暖流々域ニ分布ス。

第二二九九圖



**Euchaeta japonica.**  
エウケータ・ヤポニカ  
カラヌス科  
雌ハ吻僅カニ突出シ、頭部ハ第一胸節トノ關節不明ナリ。最後ノ胸節ノ後縁ニハ細毛叢生ス。第一觸角ハ二三節ニシテ第五脚ナク、後體部ハ四節ニシテ生殖節ハ不相稱ナリ。雄ノ第五脚ハ右ニ分岐シ、左ハ退化セリ。體長雌八耗、雄五—六耗内外ニ達ス。淡黄色ニシテ透明ナリ。日本海ノ稍々深所ニ發見セララル。

第二三〇〇圖

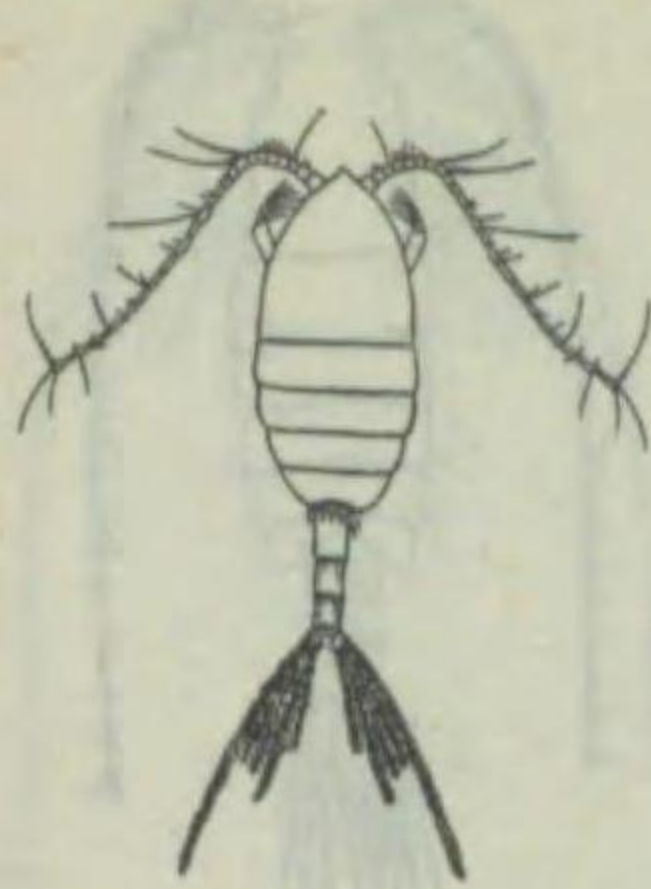


Euchaeta marina.

雌ハ頭端鈍形ニシテ、頭部ハ第一胸節ト明瞭ニ隔シ、第四、第五胸節ハ癒合ス。吻ハ分叉セズ棘状ヲ呈シ、第一觸角ハ二三節ヨリ成ル。第五脚ヲ缺キ、後體部ハ四節ナリ。雄ノ第五脚ハ右ハ分岐シテ鉗状ヲナスモ、左ハ小形ナリ。體長雌二・九—三・一耗、雄二・五耗内外ナリ。暖海外洋性ニシテ、暖流々域ニ分布ス。

エウケータ・マリナ カラスコ科

第二三〇一圖



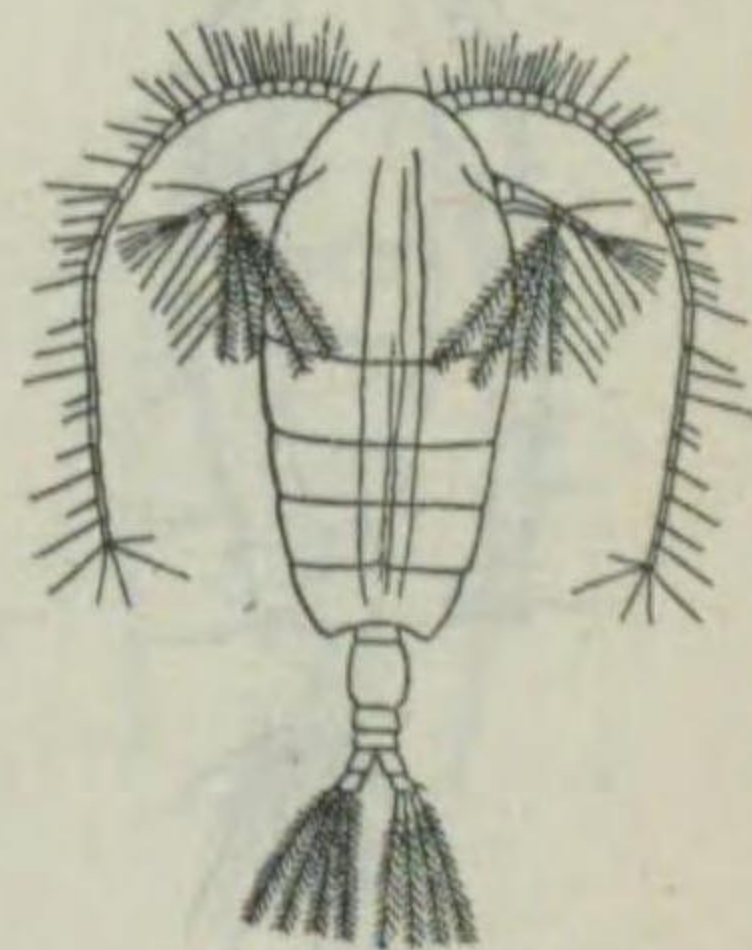
Euchaeta ovala.

雌ハ前體部稍々楕圓形ヲ呈シ、頭端ハ尖リ、吻ハ單一ナリ。最後ノ胸節ノ末端ハ尖リ刺毛ヲ簇生セリ。後體部ハ四節ニシテ、生殖節ハ最モ長ク、左右相稱ナリ。第一觸角ハ二三節ニシテ、絲状毛ヲ有ス。雄ノ第一觸角ハ二三節ニシテ、第五脚ハ左右不相稱ヲナシ、左方ハ鉗ヲ形成ス。體長雌二・四耗、雄二・九耗内外ナリ。暖海性ニシテ、南日本ニ産ス。

エウケータ・オヴァータ

カラスコ科

第二三〇二圖



Euchirella rostrata.

雌ハ頭端鈍圓形ニシテ、頭部ハ第一胸節ト明瞭ニ隔シ、第四、第五胸節ハ癒合ス。吻ハ分叉セズ棘状ヲ呈シ、第一觸角ハ二三節ヨリ成ル。第五脚ヲ缺キ、後體部ハ四節ナリ。雄ノ第五脚ハ右ハ分岐シテ鉗状ヲナスモ、左ハ小形ナリ。體長雌二・九—三・一耗、雄二・五耗内外ナリ。暖海外洋性ニシテ、暖流々域ニ分布ス。

エウキレラ・ロストツラータ

カラスコ科

第二三〇三圖



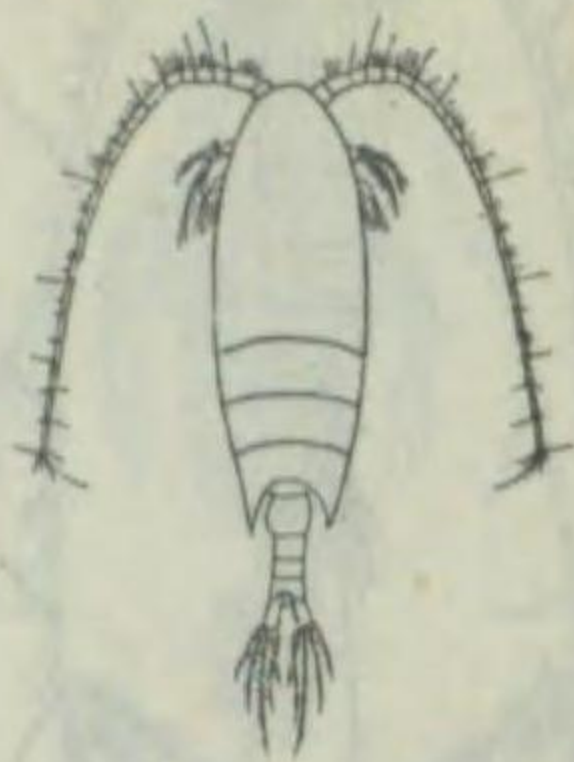
Gaetanus miles.

雌ハ中等大ニシテ、頭端ニハ強キ棘状突起ヲ有シ、吻ハ分岐セズ。第一觸角ハ體長ノ約二倍ニ達ス。雄ハ未ダ發見セラレズ。體長三・五耗内外ニ達ス。暖海性ニシテ、南日本ニ産シ、稀ナリ。

ゲタヌ・ミレス

カラスコ科

第二三〇四圖



Aetideus armatus.

雌ハ頭端鈍圓形ニシテ吻、ハ二又シ棘状ナリ。最後ノ胸節ノ後角ハ著シク後方ニ突出シ、第五脚ヲ缺キ、第一觸角ハ略々體ノ後端ニ達ス。後體部ハ四節ナリ。雄ハ吻ナク、第五脚ハ左脚ノミニシテ五節ナリ。體長雌一・八耗、雄一・五耗内外。無色透明ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ分布ス。

エティテウス・アルマトゥス

カラスコ科

フセウドカラス・エロンガートゥス

カラスコ科

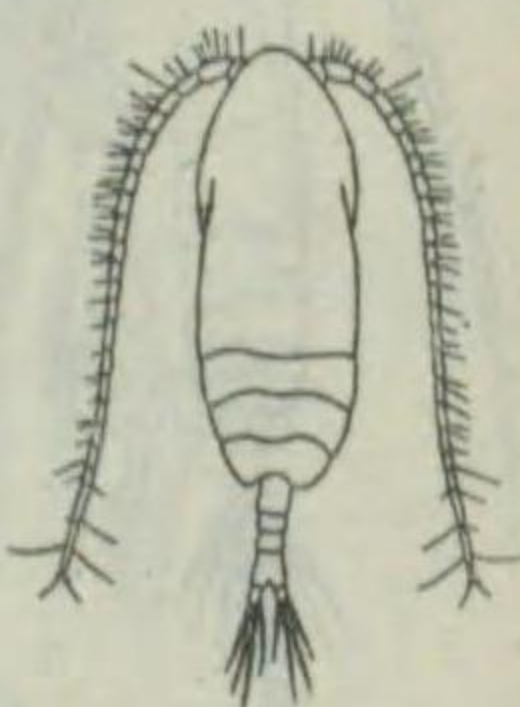
第二三〇五圖



Pseudocalanus elongatus.

雌ハ頭端鈍圓形ニシテ、頭部ハ第一胸節ト癒合ス。第四胸節ト第五胸節ト癒合シ、後體部ハ四節ナリ。第一觸角ハ二四節ニシテ、略々體ノ後端ニ達シ、第五脚ハ缺如スルカ或ハ著シク退化ス。雄ハ胸節有シ、第一觸角ハ一九節ヨリ成リ、第五脚ハ左右不相稱ニシテ、右ハ四節左ハ五節ナリ。體長雌一・二—一・六耗、雄一・三耗内外。概ネ無色透明ナルモ赤色色素散在シ、稍々帯綠色ヲ呈ス。各地沿岸ニ分布ス。

第二三〇六圖



Paracalanus parvus.

雌ハ頭端鈍圓形ニシテ、吻ハ二又ノ軟弱ナル絲状突起ヨリ成ル。頭部ハ第一胸節ト癒合シ、第四、第五胸節亦癒合セリ。第五脚ハ左右相稱ニシテ、左脚ハ頗ル長ク、五節ヨリ成リ、後體部ハ五節ナリ。體長〇・七—一耗内外。無色透明ニシテ赤色素散在シ、中央線ニ淡綠色ヲ帶ブ。廣ク世界ノ海洋ニ分布シ、本邦各地ノ沿岸ニ普通ニ棲息ス。

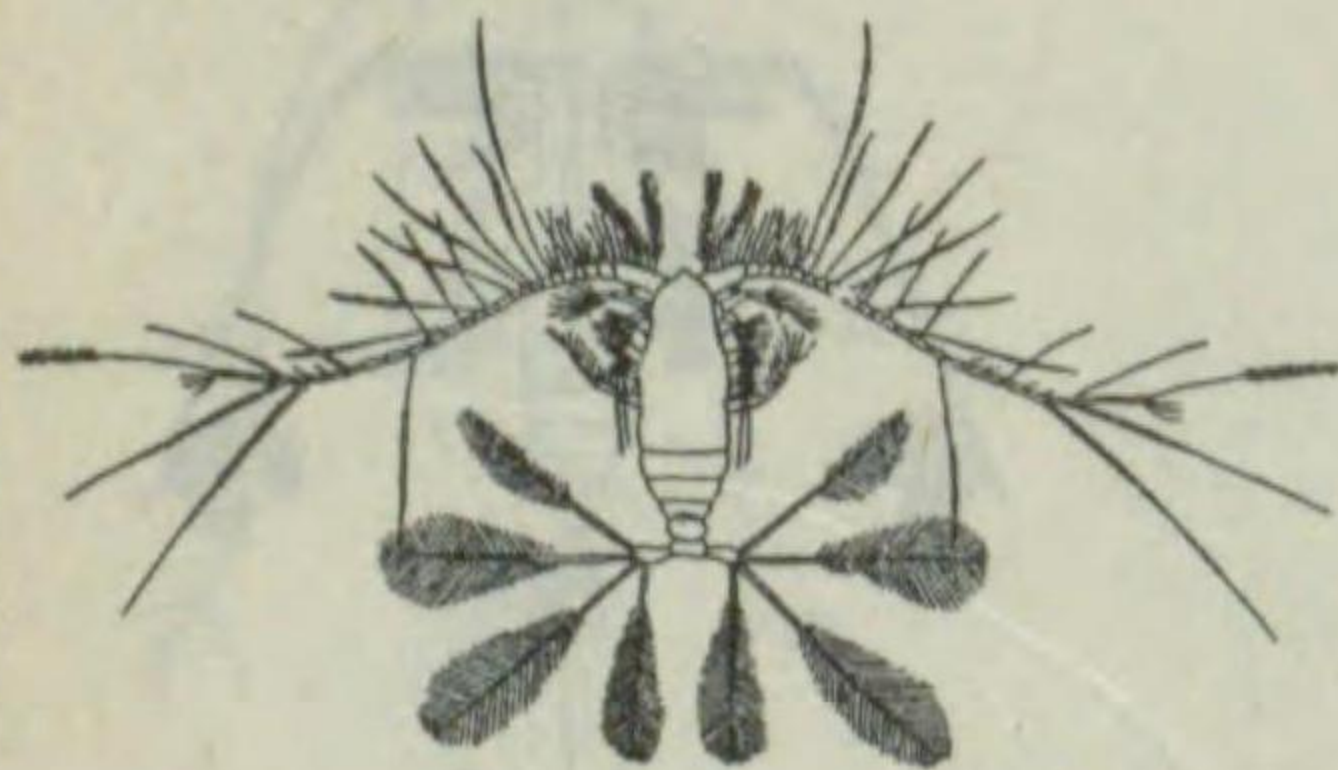
パラカラス・バルヴス カラスコ科

(原色) ヒノバラカライザン

カロカラス・パヴォ

カラスコ科

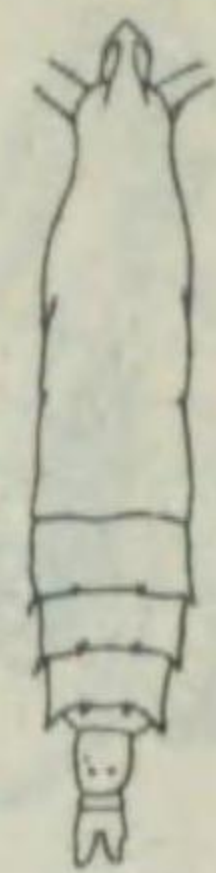
第二三〇七圖



Calocalanus pavo.

雌ハ前種ニ類似セルモ、頭部ハ突出シ、又各胸節ハ癒合セザルコトアリ。第一觸角ハ長ク、多數ノ刺毛ヲ有シ、尾又ハ側方ニ開キ、羽状刺ハ放射状ニ分散ス。第五脚ハ四節ヨリ成リ左右相稱ニシテ、後體部ハ二節ナリ。雄ノ第五脚ハ左右不相稱ニシテ、左脚ハ長ク五節ヨリ成ル。體長〇・八五—一・二耗、暖海外洋性ニシテ、琉球、臺灣ノ各地ニ分布ス。

第二三〇八圖



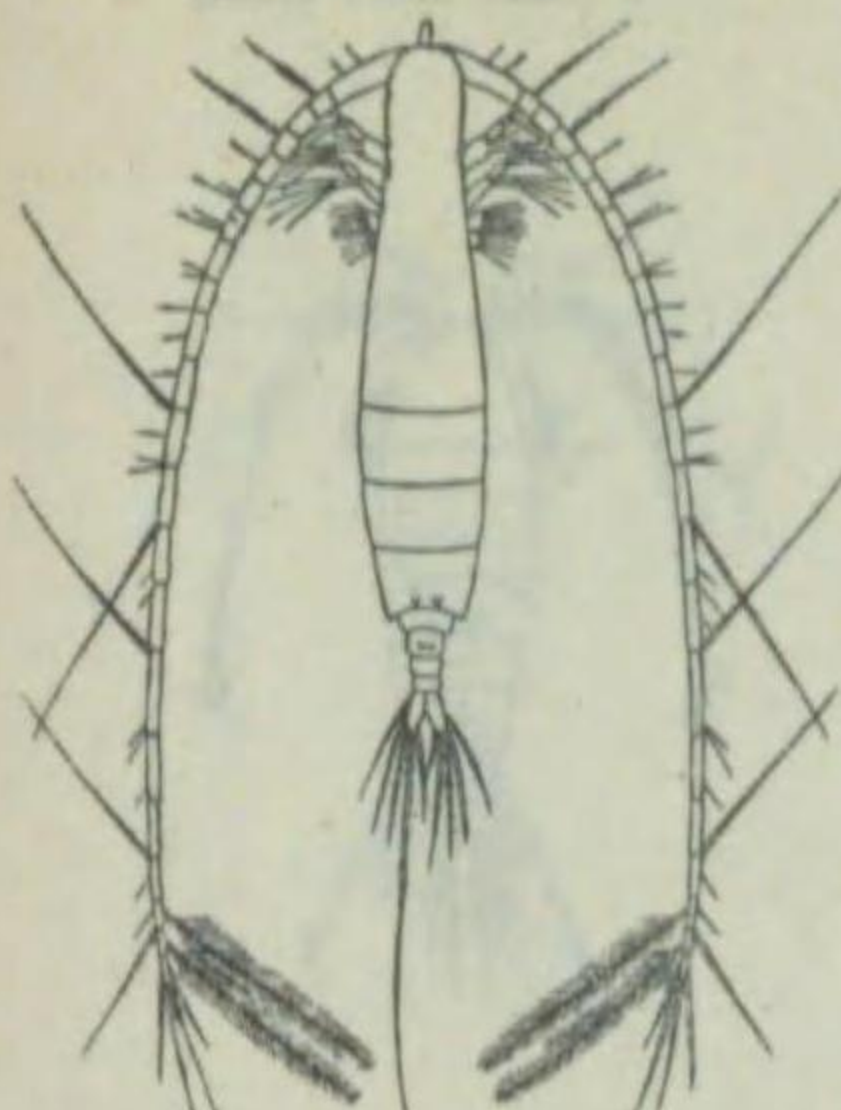
Rhincalanus cornutus.

前體部ハ頗ル大形ニシテ、頭端著シク突出シ、末端前側部ヨリ吻絲ヲ出ス。第五脚ハ雌ニテハ左右相稱ナルモ雄ニ於テハ不相稱ナリ。體長雌三・六耗、雄二・七耗内外。無色透明ナリ。暖海性ニシテ南日本ニ産ス。

リンカラヌス・コルヌトゥス

カラヌス科

第二三〇九圖



Rhincalanus nasutus.

前體部ハ頗ル大形ニシテ、頭端ハ鈎狀ニ突出シ、腹面ニ吻絲ヲ出ス。第五脚ハ雌ニテハ第二節ニ一、第三節ニ三箇ノ刺毛ヲ生ズ、雄ニテハソノ右方ノ末端ノ刺毛ヲ著シク彎曲シテ鈎狀ヲナシ、ソノ左方ハ二葉ヨリナリ、外葉ハ長シ。體色ハ無色透明ナレドモ時ニ淡紅色ノ色素ヲ現スコトアリ。體長雌三・六—五耗、雄三・四—四耗内外ナリ。暖海性ニシテ、南日本ニ産ス。

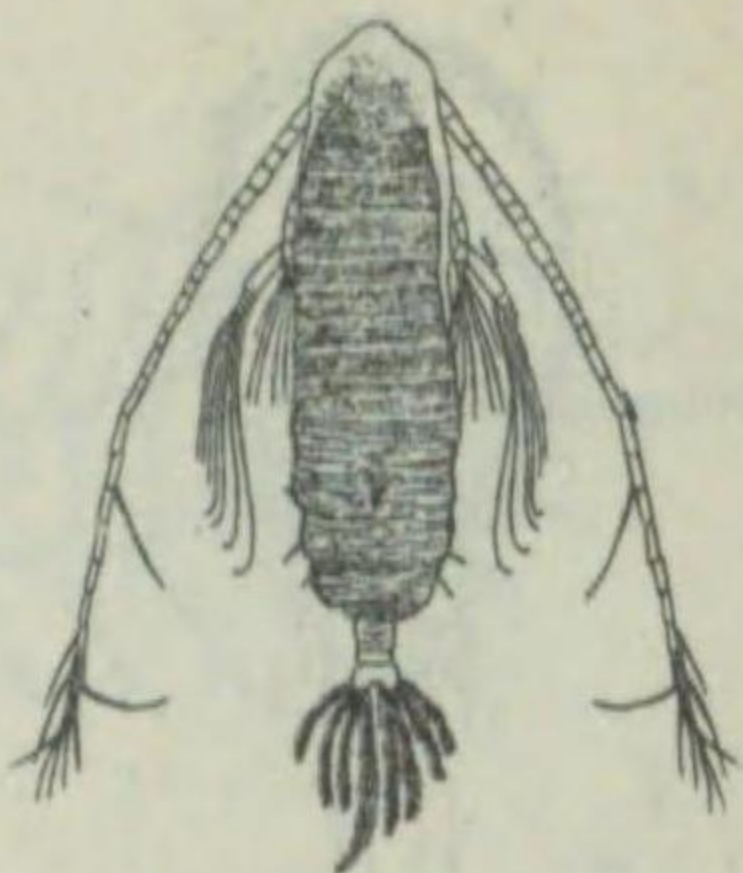
リンカラヌス・ナストゥス

カラヌス科

エウカラヌス・オクラヌス

カラヌス科

第二三一—二圖



Eucalanus oculus.

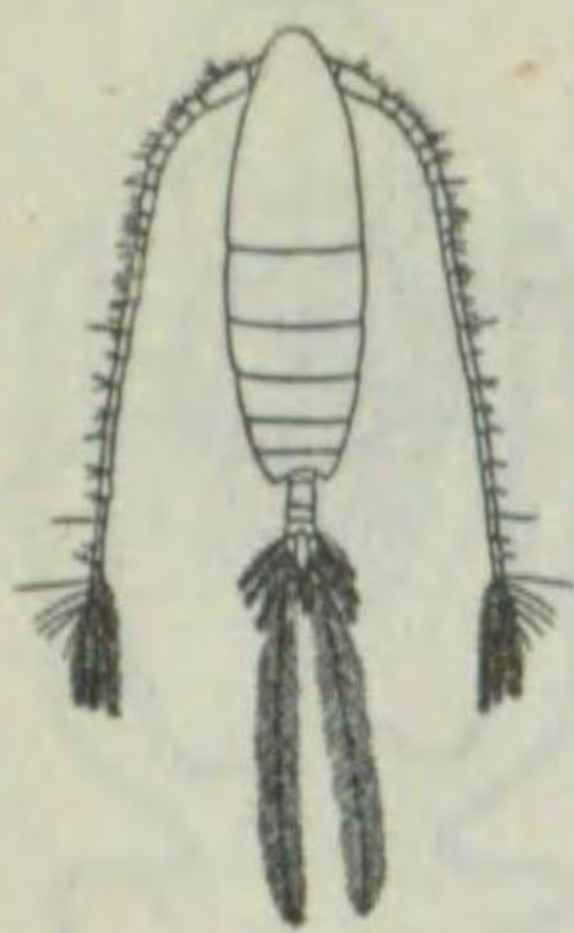
雌ハ前頭部三角形ニシテ、一對ノ水晶様ノ眼ヲ有シ、第一胸節ト頭部トハ完全ニ癒合ス。第一觸角ハ體ヲ越ユ。最後ノ胸節ノ後側縁ハ鈍圓形ニシテ、表面ニハ細毛密生セリ。第五脚ナク後體部ハ二節ナリ。雄ハ四節ヨリナル第五脚ヲ有シ、後體部ハ三節ナリ。體長雌三二耗、雄二・八—三耗ナリ。暖海性ニシテ暖流域ニ分布ス。

アカヒゲ (赤鬚)

カラヌス科

(異毛) イヤク

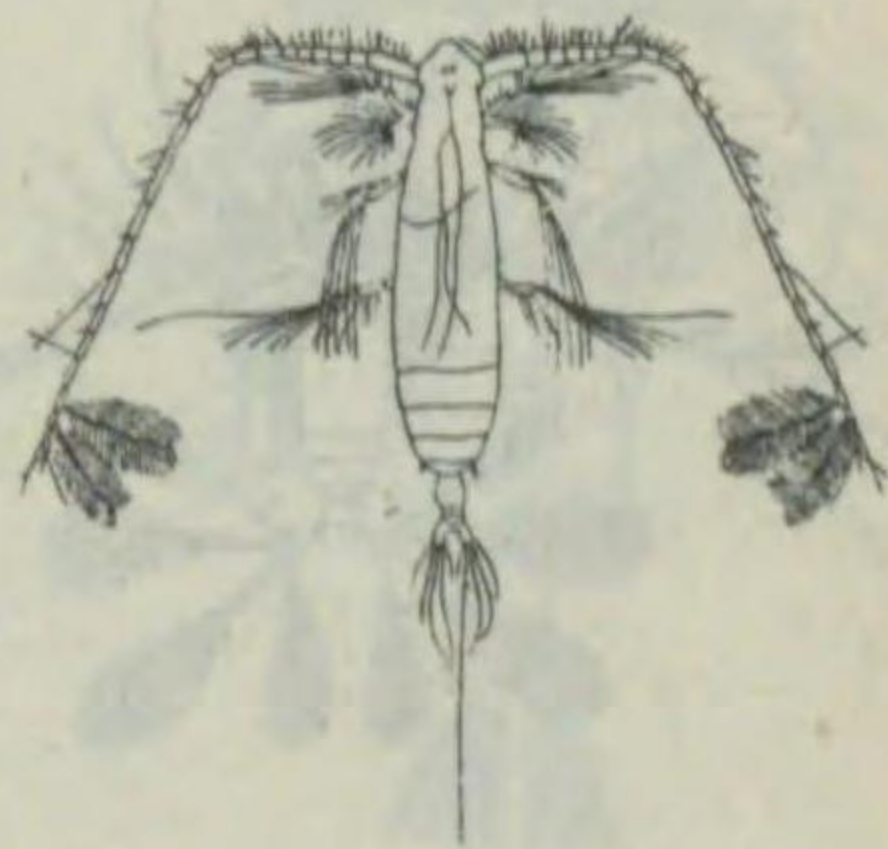
第二三一—三圖



Calanus plumchrus.

前體部ハ長楕圓形ヲ呈シ、頭部ノ前部ハ鈍圓ニシテ、頭部及ビ第一胸節ハ明瞭ニ關節セリ。第一觸角ハ頗ル長ク、體長ヲ超エ、尾又第二刺毛ハ頗ル長ク、垂直、水平ノ羽毛ヲ生ズ。體色ハ帶赤色透明ニシテ、體長四—四・五耗ニ達ス。寒海性ニシテ、北日本ニ棲息セリ。鯨、鯖等ノ好天然餌料ナリ。

第二三一—〇圖



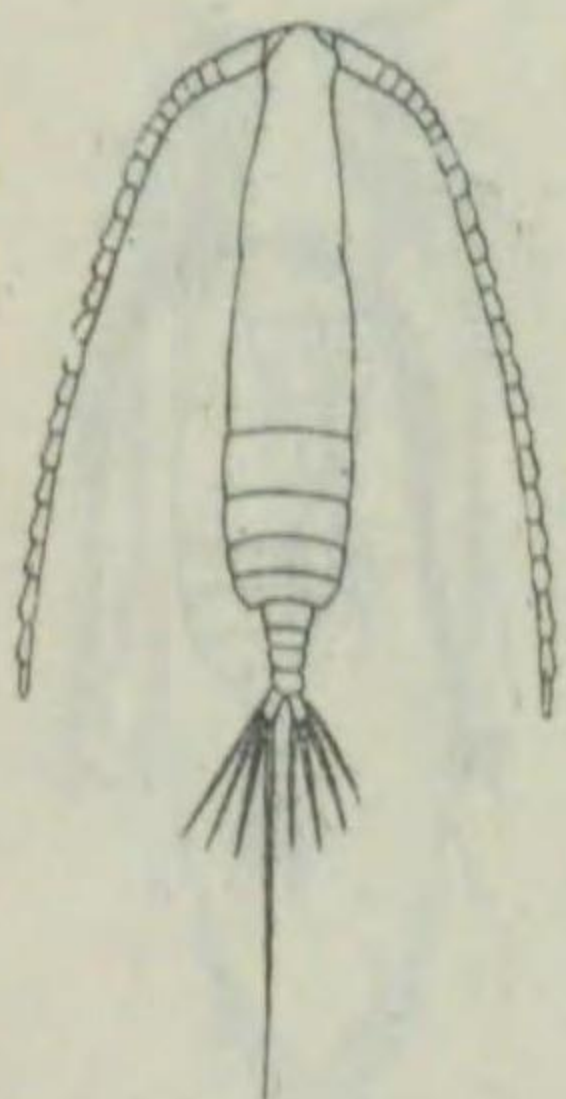
Eucalanus elongatus.

雌ハ體細長ク、前頭部ハ三角形ニシテ、後體部ハ小形ナリ。第一觸角ハ頗ル長ク、第五脚ヲ有セズ。雄ノ觸角ハ雌ヨリ短ク、第五脚ハ左右共存シ、左脚ハ第四脚ト同長ナリ。雌四・四—八・三耗、雄三・九—四・八耗内外。暖海性ニシテ、南日本ニ分布ス。

エウカラヌス・エロンガートゥス

カラヌス科

第二三一—一圖



Eucalanus attenuatus.

雌ハ體大形ニシテ細長ク、前頭部ハ三角形ヲナシ、後體部ハ小形ナリ。第五脚ヲ有セズ。雄ノ第五脚ハ左葉短ク、體長雌四・二—四・九耗、雄三—三・三耗内外ナリ。暖海外洋性ニシテ南日本ニ産シ、地中海、印度洋ニモ分布ス。

エウカラヌス・アッテヌアートゥス

カラヌス科

カラヌス・フィンマルキクス

カラヌス科

第二三一—四圖



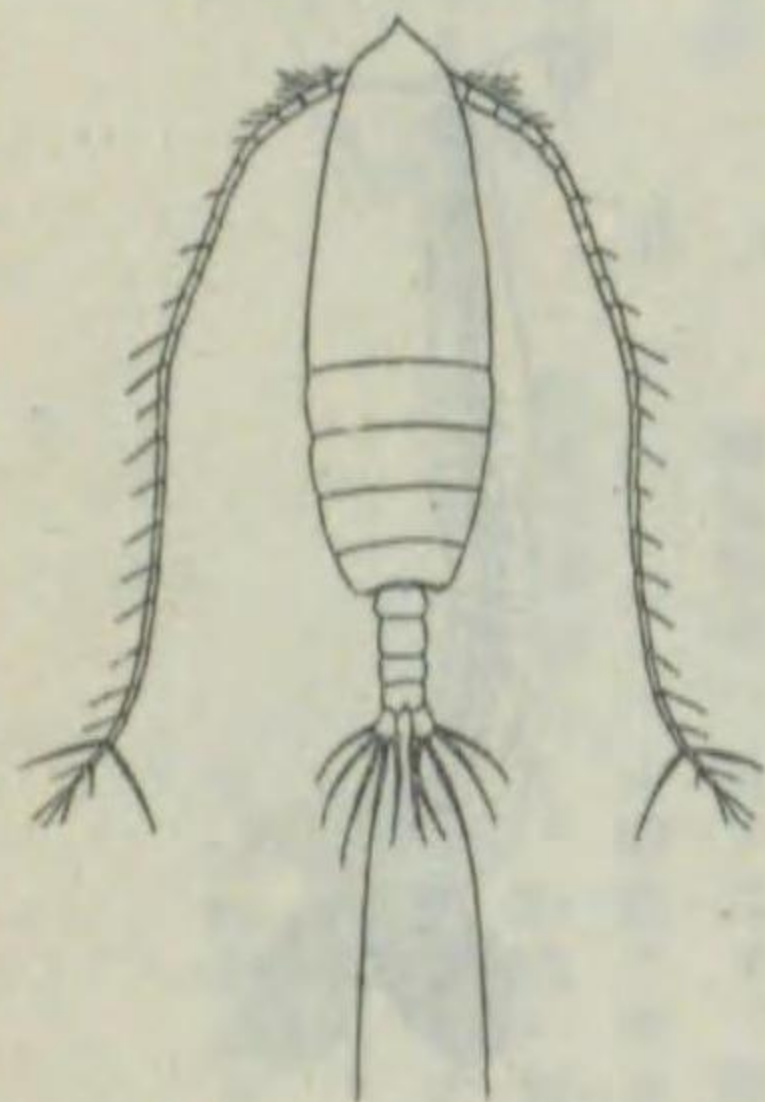
Calanus finmarchicus.

體ハ大形ニシテ、あかひげニ似タルモ太ク、頭部ト第一胸節トハ明カニ關節セリ。雄ノ第一觸角ハ眞直ニシテ、ソノ第一節及ビ第二節ハ癒合セリ。雌ニテハ長クシテ體ヲ超ユ。體色ハ無色透明ニシテ時ニ淡赤色ヲ呈ス。體長雌二・七乃至五・四耗、雄二・四—三・六耗ニ達ス。寒海性ナルモ、相模灣、東京灣ニ迄及ベリ。

カラヌス・クリスタトゥス

カラヌス科

第二三一—五圖

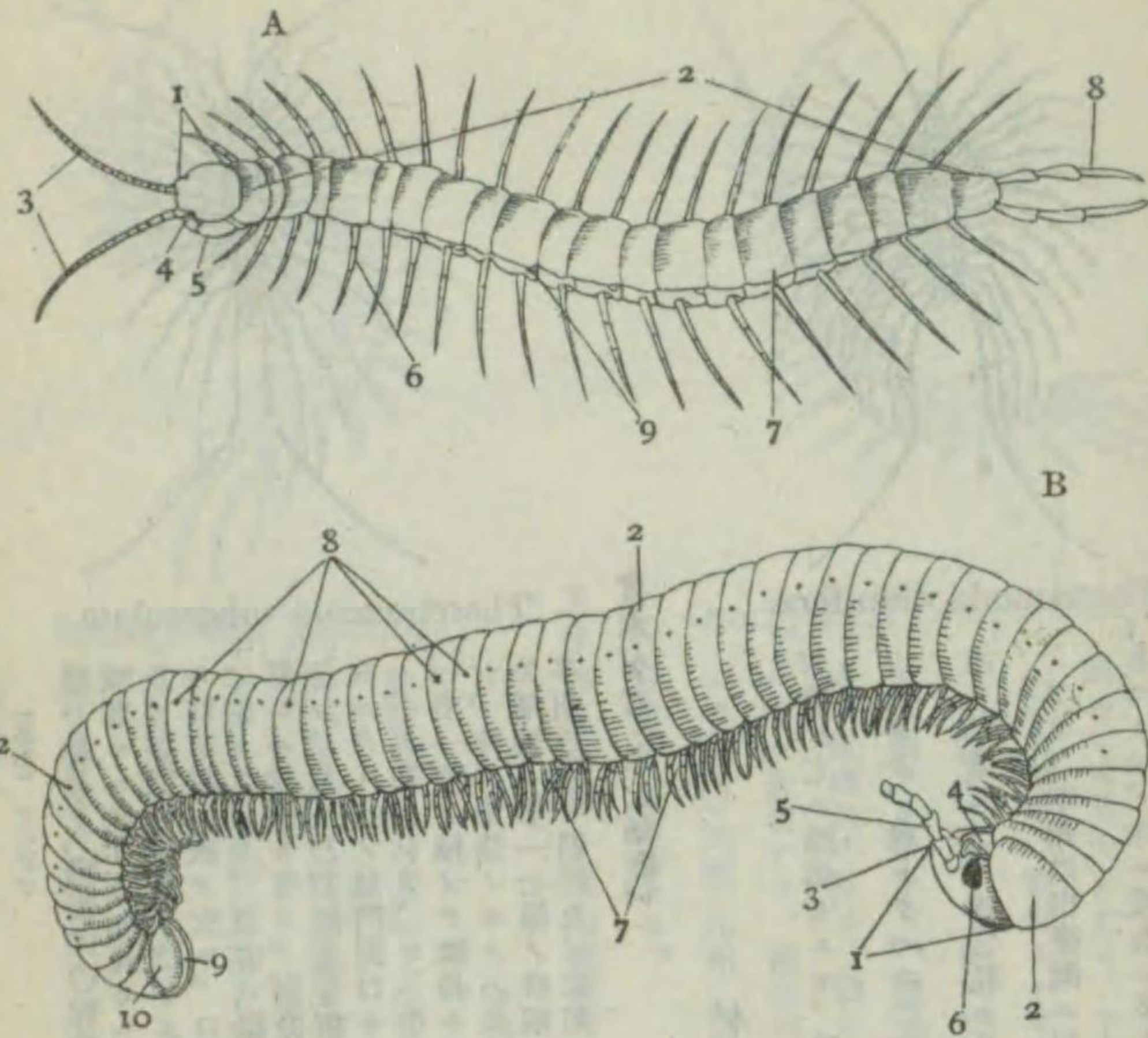


Calanus cristatus.

頭端ハ冠狀ニ突出シ、第一觸角ハ長ク、尾又ハ第二刺毛延長セリ。未成熟ノ雌發見セラル、ノミナリ。橈脚類中最大ナリ。體長八—九耗ニ達ス。無色透明ニシテ所々ニ美麗ナル赤色素ヲ有ス。寒海性ニシテ北太平洋、北大西洋、「オホーソク」海、「ベリリング」海等ニ産シ、本邦ニ於テハ東北、北海道近海ニ發見セラル。



第二三二〇圖



A むかで類ノ體制

1	頭胸觸單毒	6	歩背肛氣	脚板脚門
2	角	7	8	
3	眼	9		
4	頭			
5	頸			

B やすで類ノ體制

1	頭背下上觸	6	眼歩臭肛肛	脚腺門板
2	板頸頸角	7	8	
3		9		
4				
5		10		

多足類概説

節足動物ノ一綱ニシテ、むかで及やすで類ノ總稱ナリ。體ハ延長形ヲナシ、前後略相齊シキ環節ヨリ成リ、各環節ニハ一對宛ノ肢ヲ具ヘ、以テ匍匐ス。往々二個ノ環節結合セルヲ以テ、外觀上一環節ヨリ二對ノ肢ヲ出セル如キモノアリ。やすで類ニ見ル所ナリ。頭部ヲ區別シ得レドモ胸部及腹部ヲ別ツテ得ズ。體表ハ硬キ「クチン」質ノ膜ニテ被ハレ、所謂外骨格ヲナセリ。頭部ハ昆蟲ニ類似シ、一對ノ觸角並ニ數箇ノ單眼ヲ有シ、口器ニハ一對ノ大顎一又ハ二對ノ小顎ヲ具フ。呼吸ハ氣管ヲ以テシ、消化器ノ始部ニ唾腺ヲ有シ、排泄器ハ「マルピギ」氏管ニヨリ、心臓ハ管狀ヲナセル等昆蟲類ニ似タリ。雌雄異體ニシテ、雌ハ自己ノ産ミタル卵ヲ保護スル性ヲ有ス。多ク動物性ノ食餌ヲ取ルヲ以テ、間接的利益ヲ與フルモノナリ。

第二三一七圖

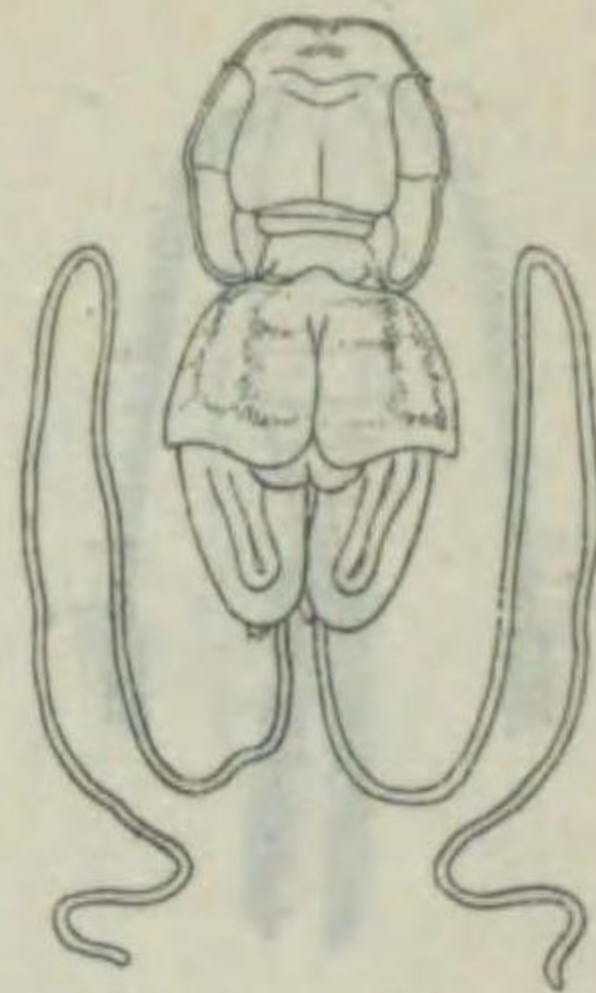


Caligus longicaudatus.

ウラジラミ科

雌ノ體ハ壓扁セラレ、頭胸部ハ團扇狀ニ扁タク、第三胸節ハ分離シ腹部ト共ニ後方ニ延ビ、全背面ニ數對ノ短棘ヲ有セリ。生殖節ハ大形ニシテ、後角ノ兩側ニ肢狀附屬物アリ。尾又ハ細長ク、末端ニハ小刺毛ヲ有ス。體長一—一四耗ニシテ、淡褐色ヲ呈ス。かぢき、めかぢき等ノ體面ニ寄生ス。

第二三一六圖



Echthrogaleus coleopteratus.

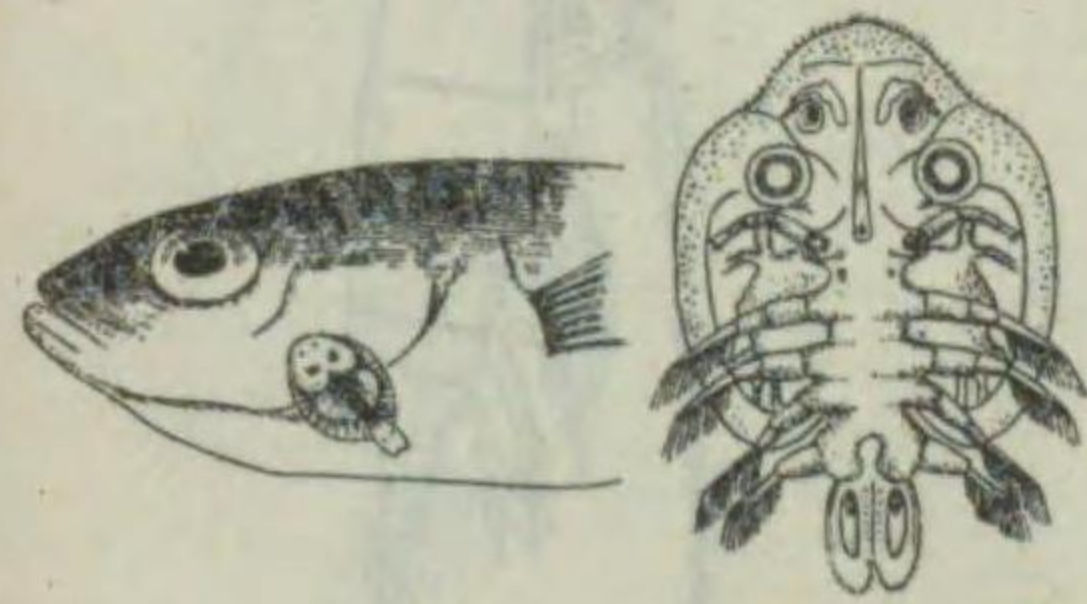
ウラジラミ科

雌ノ前體部ハ扁平ナル圓形ニシテ濃褐色ヲ呈シ、第一觸角ハ短小ニシテ二節ヨリナリ、小棘ヲ有ス。後體部ハ短楕圓形ニシテ胸部ノ背殻ハ後方ニ擴大シ、翼狀ヲ呈シ、白色小點散在セリ。卵囊ハ頗ル細長ク、絲狀ヲ呈ス。體長一二耗内外ナリ。雄ハ小形ニシテテラをじらみニ似タリ。分布頗ル廣ク、鯨類ニ寄生ス。本邦ニテハよしきりぞめノ體面ニ寄生セリ。

ヨシキリジラミ (葦切虱)

ウラジラミ科

第二三一八圖

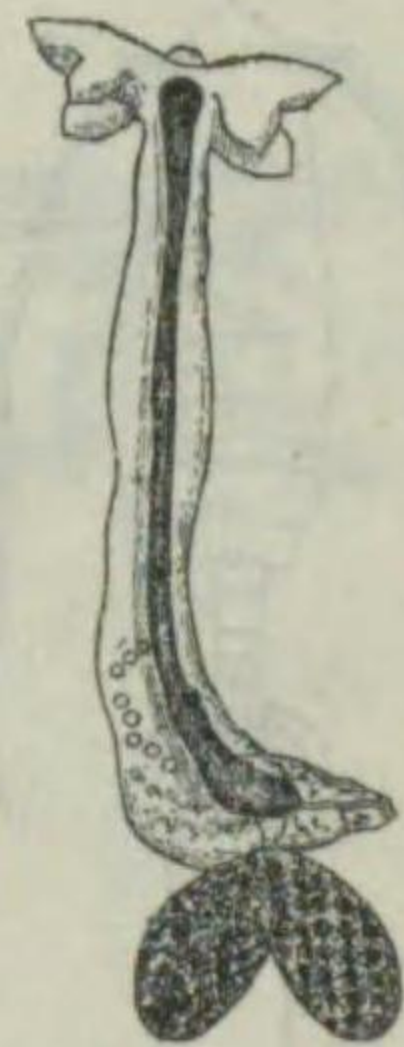


Argulus japonicus.

ウラテフ科

第一胸節ハ頭部ト癒合シ、第一觸角ハ二節ヨリナリ、胸部ニ四對ノ游泳肢ヲ有ス。複眼ハ之ヲ有セルモ、皮下ニ埋合セリ。第一頸脚ハ吸盤ヲナセリ。體色ハ淡黃褐色ヲ呈シ、透明ナリ。體長三乃至五耗ナリ。淡水魚ノ皮膚ニ寄生シ、血液ヲ吸收シ、斃死セシム。鯉魚場ニ大害ヲナスモノナリ。

第二三一九圖



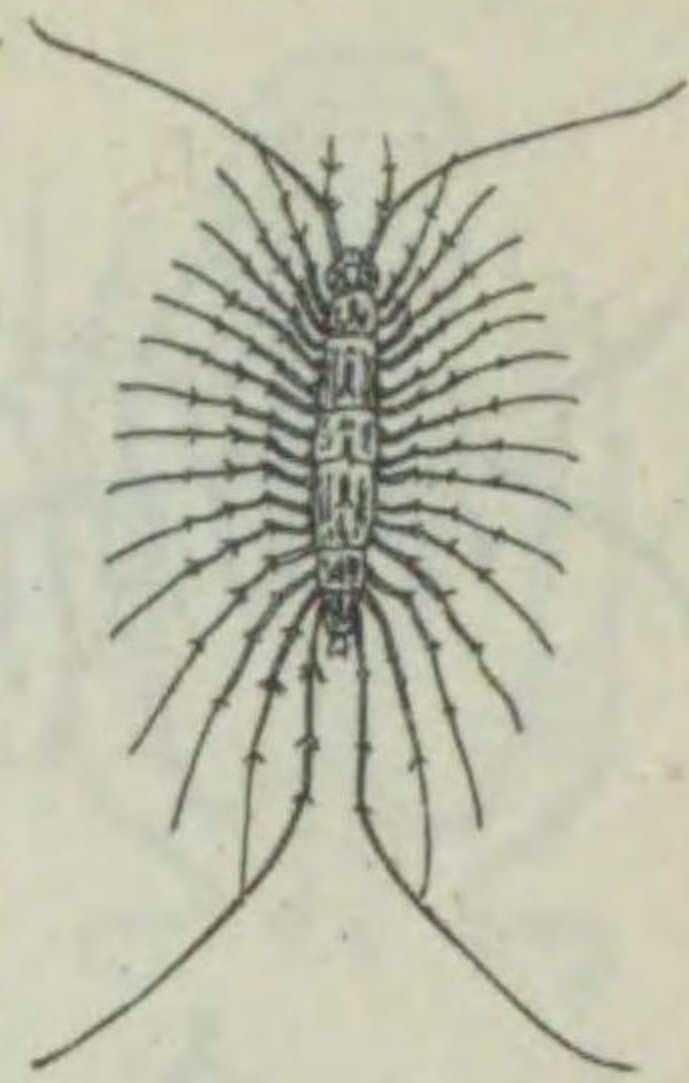
Lernaea elegans.

イカリムシ科

體ハ細長ク、頭胸部ハ棍棒狀ニ膨レ、ソノ背腹兩面ヨリハ翼狀ノ一對ノ頭角突出セリ。附屬肢ハ頭端近クニ存シ、短小ナリ。腹部ハ後端ニ位シ、膨大ニシテ、卵囊ハ一對ナリ。淡水魚ノ口腔、鰓等ニ寄生シテ棲息ス。鯉魚ニ有害ナルモノナリ。

イカリムシ (鰓蟲) イカリムシ科

第二三二一圖



Therononema tuberculata.

體ハ細長ク、體長三〇耗内外ナリ。頭部ニハ極メテ細長キ一対ノ觸角、及ビ多數相集リテ成レル昆蟲ノ如キ複眼ノ眼ヲ有ス。口部ハ大顎二對ヨリ成リ、頭部ニ續ク第一體節ニハ毒顎ヲ有ス。胸節ハ五ニ近接シ、第一乃至第七背板後縁ノ中央ニ各一箇ノ氣門開口セリ。體節ハ一九節ニシテ、コノ中一五節ニハ各一対ノ極メテ細長キ步脚ヲ有シ、殊ニ最後ノモノハ長大ナリ。生殖器ハ第一七節ノ後端ニアリ。本州以南、朝鮮及ビ支那ニ産ス。

ゲ

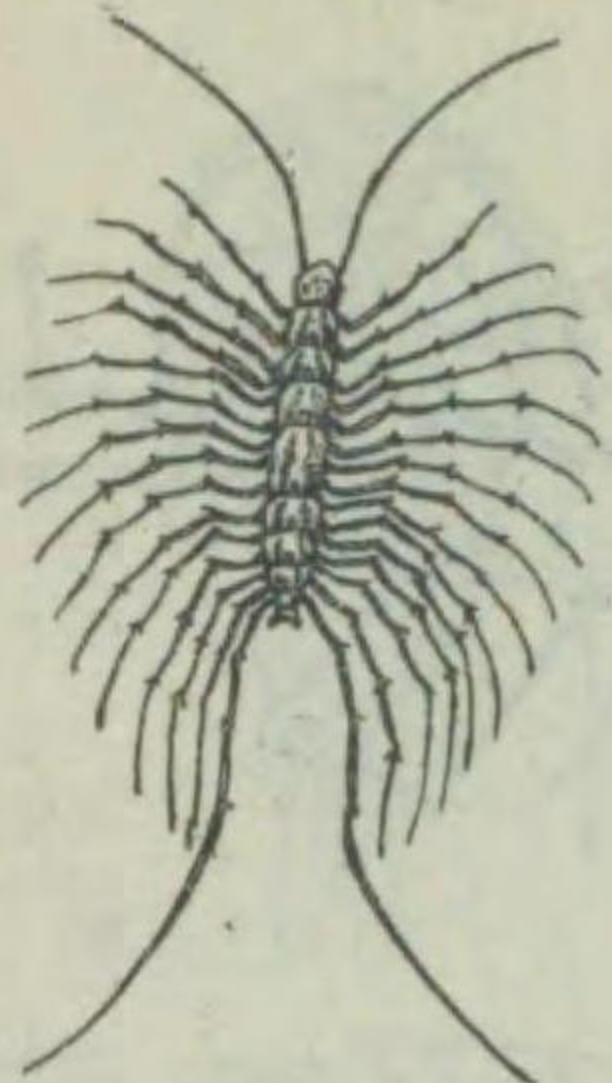
ジ (蝨蟻)

ゲジ科

オホゲジ (大蝨蟻)

ゲジ科

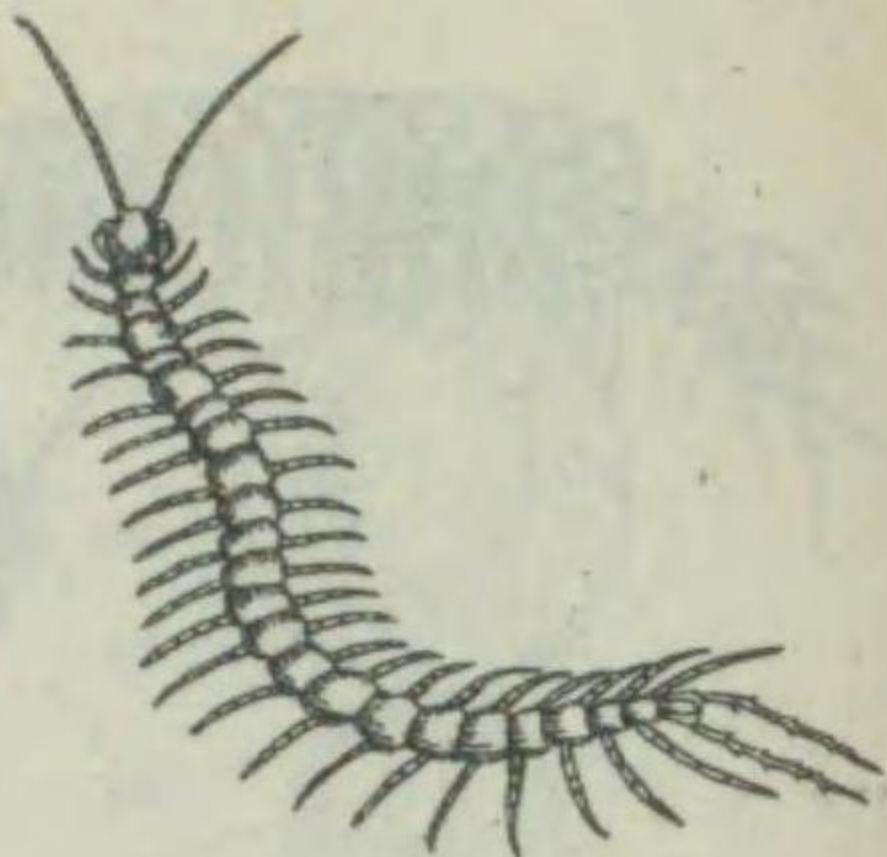
第二三二二圖



Theruopoda clunifera.

形態げじニ酷似セルモ、體長彼ヨリ大キク、雌ニテハ六〇耗内外ニ達シ、雄ニテモ四〇耗ニ及ベルモノアリ。本州以南臺灣ニ互リテ分布セルモ、殊ニ暖地ニ多ク、人家附近、洞窟等ニ棲息セリ。

第二三二五圖



Otocryptops rubiginosus.

胸ハ二三節ヨリナリ、步脚モ亦二三節ヲ數フ。觸角ニハ毛ヲ生ジ、一七節ヨリ成リ、眼ハ全ク之ヲ缺キ、齒ヲモ缺ケリ。體色ハ赤褐色或ハ黄褐色ヲ呈シ、觸角及ビ步脚ハ稍々淡色ナリ。體長四〇耗ニ達ス。本州・四國・九州・對馬・琉球・朝鮮等ニ分布セリ。

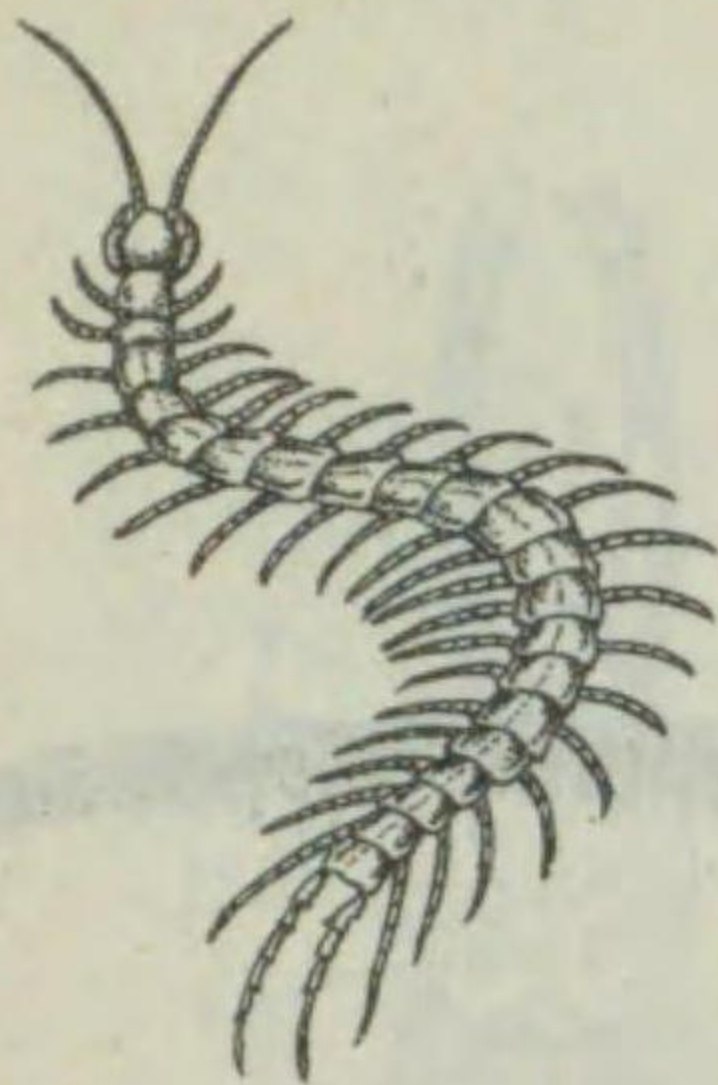
アカムカデ (赤頭蜈蚣) アカムカデ科

(異名) ムクラムカデ

アラツムカデ (青頭蜈蚣)

オホムカデ科

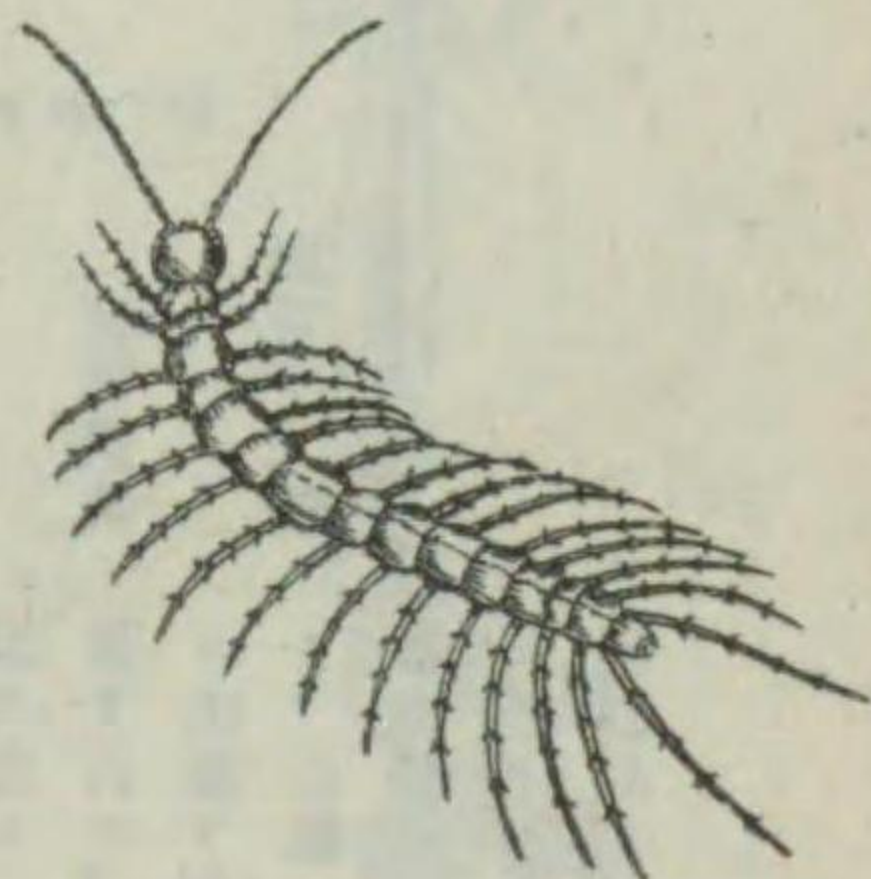
第二三二六圖



Scolopendra japonica.

概形とびづむかでニ酷似ス。全長六〇耗ニ達シ、觸角及ビ頭部、體ノ背面ハ緑褐色ヲ呈スルモ、下面ハ淡褐色ヲナセルヲ以テ容易ニ彼ト區別シ得。本州以南琉球ニ分布セリ。

第二三二三圖



Monotarsobius holstii.

胸ハ比較的幅廣ク、一五枚ノ背板ヲ有シ、中八枚ハ大形ナルモ、他ハ小形ナリ。步脚ハ太クシテ長ク一五對ニシテ、最前方ノモノ最モ短ク、最後方ノモノ最モ長シ。觸角ハ一八乃至二一節ヨリナリ、眼ハ多數相集マレリ。體色ハ黄灰褐色ニシテ、頭ハ濃色ナリ。本州以南ニ分布シ、山地等ノ樹皮下ニ棲息シ、昆蟲ヲ捕食ス。

クロツイツスンムカデ

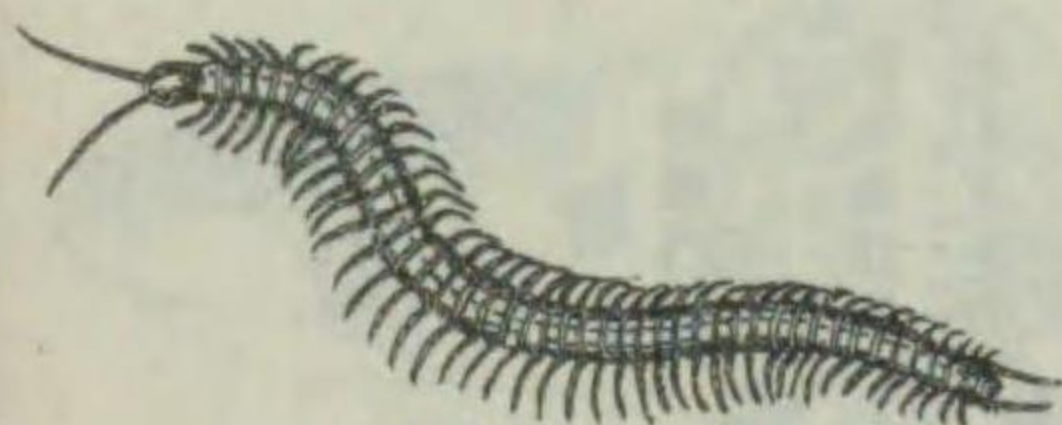
(黒頭一寸蜈蚣) イシムカデ科

(異名) ホルトイシムカデ

チムカデ (地蜈蚣)

チムカデ科

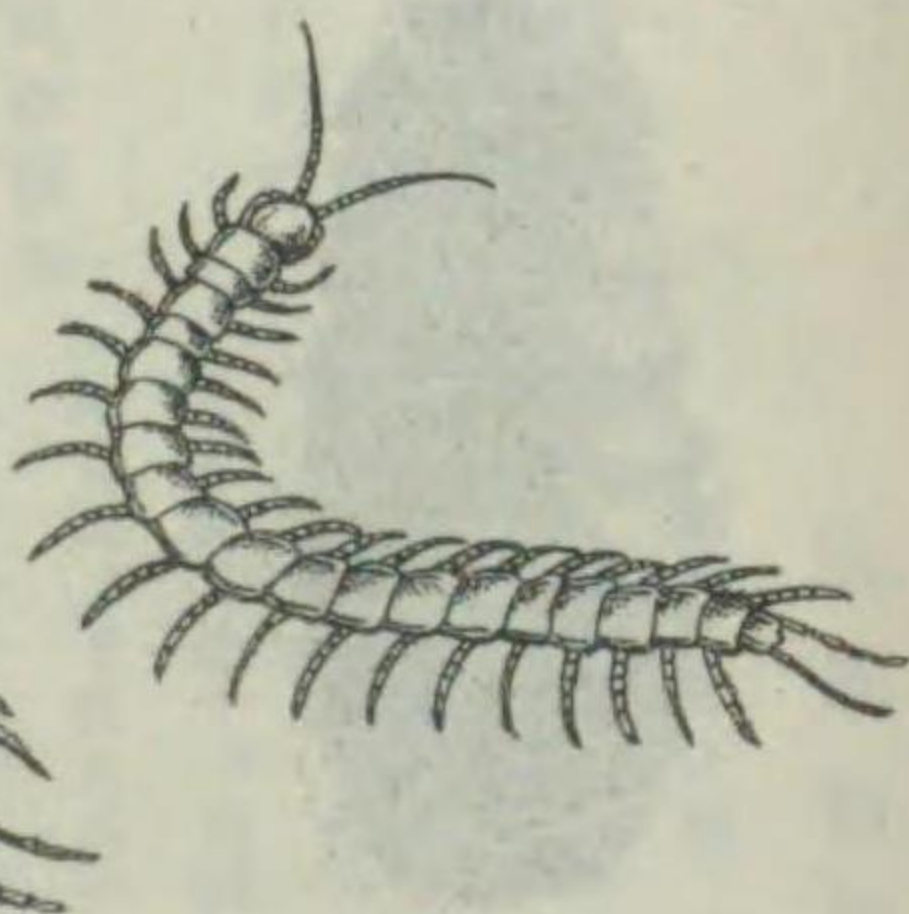
第二三二四圖



Mecistocephalus sp.

頭部ハ長ク、頭板ハ眼ヲ缺ケリ、步脚ハ四一對ヲ算シ、體色ハ頭部赤褐色ヲ呈シ、體及ビ脚ハ淡黄色ヲ呈セリ。體ハ比較的細長ク、體長三〇耗内外ナリ。多ク地中ニ棲息シ、小形ナルみみずヲ捕食ス。本州ニ棲息セリ。

第二三二七圖



Scolopendra mutilans.

概形あかづむかでニ酷似セルモ、頭及ビ頸ハ褐色ヲ呈シ、體ノ背面ハ暗綠色ニシテ、腹面ハ淡緑褐色ヲナセリ。體長八〇耗内外ニ達ス。本州以南、臺灣並ニ支那ニ互リテ分布セリ。

トビツムカデ (赤頭蜈蚣)

オホムカデ科

アカツムカデ (赤頭蜈蚣)

オホムカデ科

(異名) アカガシラ

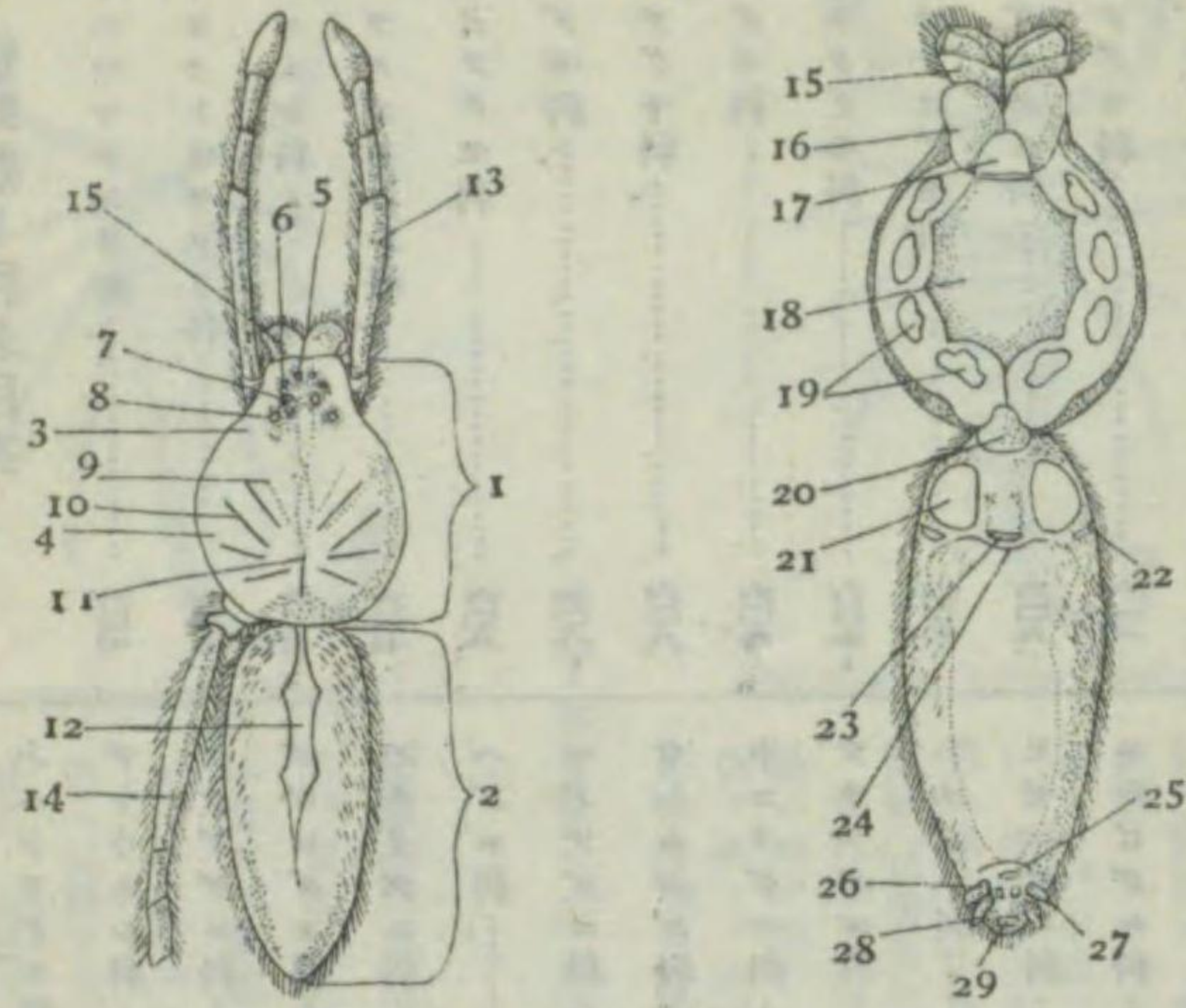
第二三二八圖



Scolopendra damnosa.

全長八〇耗内外ニ達シ、觸角ハ一八節ナリ。步脚ハ二一對アリテ、ソノ最後ノモノハ尾端ニアリ。眼ハ各側ニ四箇ヲ有シ、最後方ノ一箇ハ卵形ヲ呈ス。第一胸脚毒顎トナリ、毒腺ノ開口アリ。毒性ノ強キヲ以テ知ラル。本州・四國・九州ニ普通ニ見出サル、モノナリ。

第二三三三圖



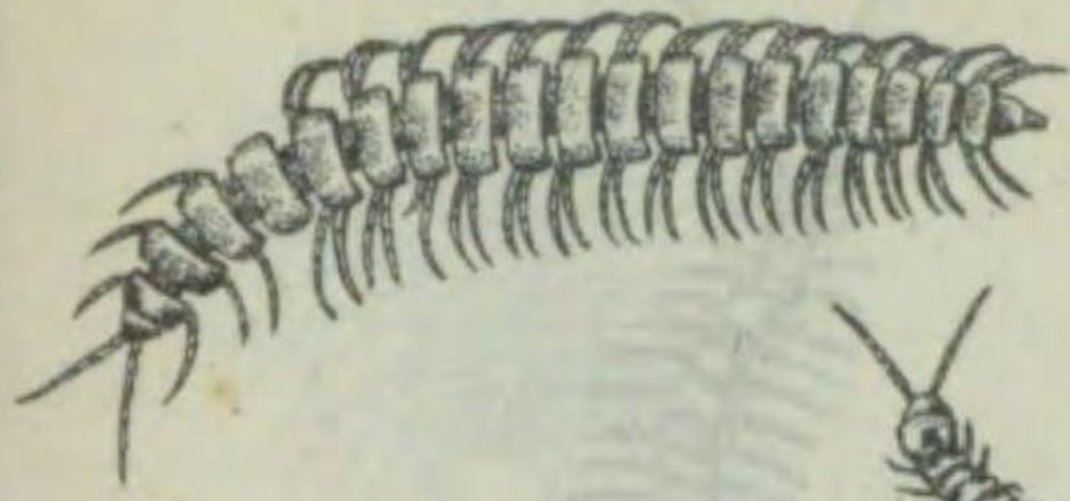
くも類ノ體制

1 頭胸部	11 中心高	21 書肺
2 腹部	12 心臓斑	22 書肺氣門
3 頭部	13 觸鬚鬚	23 胃外域
4 胸部	14 歩脚	24 胃外溝
5 前列中眼	15 上下顎	25 氣管氣門
6 前列側眼	16 下顎唇	26 前疣
7 後列側眼	17 胸板	27 中疣
8 後列側眼	18 胸板	28 後疣
9 頸溝	19 歩脚	29 肛門
10 放射溝	20 腹柄	

蜘蛛類概説

本類ハくもノ他、だに、さそり等ヲモ含ミ、體制ハ昆蟲類ト甲殻類トノ中間ニ位ス。頭部及胸部ハ癒合シテ所謂頭胸部ヲ構成シ、腹部ハ環節ヲ有スルモノ、又ハ全ク癒着シテ環節ヲ表ハサザルモノアリ。種々ノ形狀ヲ呈シ、常ニ肢ヲ缺ク。頭胸部ハ六對ノ肢ヲ具ヘ、四對ノ歩肢並ニ上顎、下顎ニ各一對宛ヲ有ス。上顎ハ鉤狀又ハ鉗狀ヲ呈シ、往々毒腺ヲ有ス。下顎ハ小形ニシテ有節ノ觸鬚ヲ具ヘ、觸覺ノ作用ヲ代理ス。頭上ニハ複眼ヲ缺キ、二乃至一二箇ノ單眼ヲ有ス。呼吸ハ氣管又ハ肺囊ニヨリテ營マル。肺囊ハ腹部ノ下面前方ニ位シ、體壁ノ一部陷没シテ生ゼシ腔所ナレドモ、内部ニハ多數ノ扁平ナル皺襞ヲ有ス。消化器中、胃ハ數多ノ盲囊ヲ具ヘ、排泄器ハ昆蟲類ト同ジク「マルピギー」氏管ナリ。心臟ハ腹部ノ背面ヲ縱走セル管ニシテ、靜脈及毛細管ヲ缺ク。外骨格ヲ有シ、成長ニハ脱皮ヲ行フ。雌雄異體ヲナシ、幼蟲時代ニハ三對ノ歩肢ヲ有スルモノアリ。

第二三三〇圖



Strongylosoma tambanum.

體長約三〇耗内外ニ達シ、胸ノ横斷面ハ略々圓形ヲ呈シ、胸體節ニハ側底ヲ有セリ。雄ニテハ第七節ニ性脚ヲ有シ、ソノ末端ニ剛毛ヲ具フ。體色ハ背板ノ中央及ビ前半ハ濃褐色又ハ赤褐色ヲ呈セリ。本邦ニ普通ニ棲息ス。

第二三二九圖



Nipponoiulus truncatus.

體ハ細長ク、全長三五耗ニ達ス。頭部ニ七節ヨリ成レル觸角ヲ有シ小形ナル眼ヲ具ヘ、顔面ニハ毛ヲ生ズ。上顎ハ強剛ナリ。胸ハ五〇節ヨリ成リ、歩脚ハ一節ニ二對ヲ有ス。全體黃褐色ヲ呈シ、背面ニハ不明瞭ナル黒褐縱條アリ。本州及ビ四國ノ山地ニ見出サル。

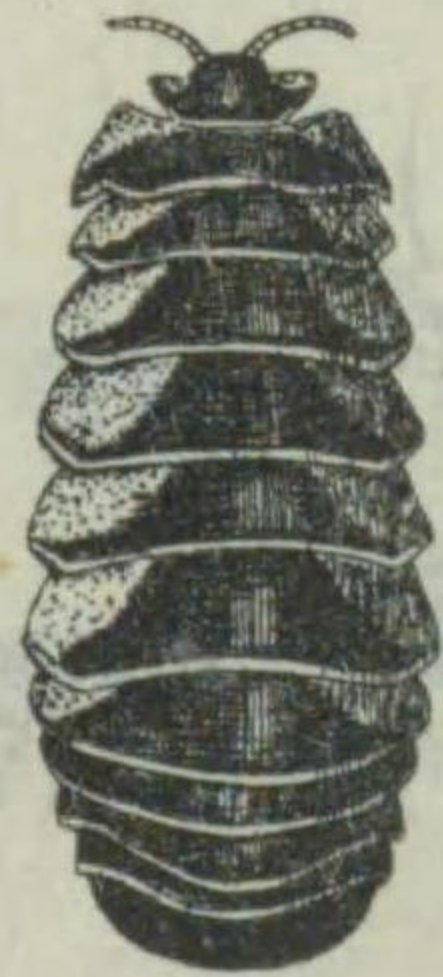
アカヤステ (赤馬陸)

オビヤステ科

シリキレヒメヤステ

(尻切姫馬陸) ヒメヤステ科

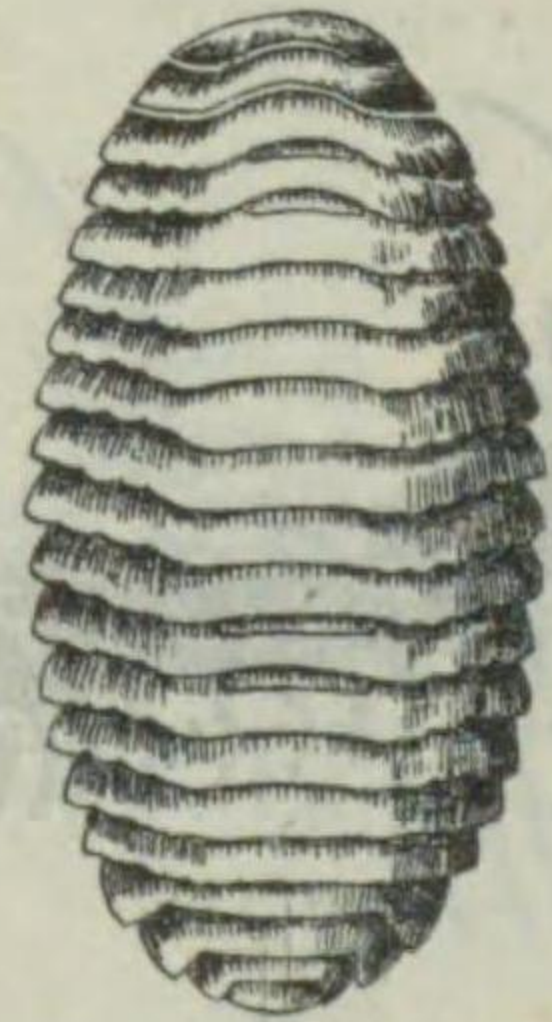
第二三三二圖



Glomeris nipponica.

體ハ幅廣ク、最大幅四耗内外ナリ。胸ハ一二板ノ背板ヨリ成リ、中凸ハ滑澤ニシテ毛ヲ有セズ。頭ハ不正ナル六角形ヲナシ、眼ハソノ兩側ニ二列ニ五箇排列シ、觸角ハ七節ナリ。體長九耗内外ニ達ス。頭部ハ帶褐色ニシテ、背面ハ帶緑黑色ヲ呈シ、下面ハ淡褐色ナリ。落葉下等ニ見出サル、本州ニ産ス。

第二三三一圖



Osa nivea.

體ハ幅廣ク、最大幅四耗内外ナリ。胸ハ一二板ノ背板ヨリ成リ、中凸ハ滑澤ニシテ毛ヲ有セズ。頭ハ不正ナル六角形ヲナシ、眼ハソノ兩側ニ二列ニ五箇排列シ、觸角ハ七節ナリ。體長九耗内外ニ達ス。頭部ハ帶褐色ニシテ、背面ハ帶緑黑色ヲ呈シ、下面ハ淡褐色ナリ。落葉下等ニ見出サル、本州ニ産ス。

タマヤステ (球馬陸) タマヤステ科

シロラサヤステ (白箴馬陸)

オビヤステ科

蜘蛛類—科名目次

ヤハマサソリ科	六〇七
キョクトウサソリ科	六〇七
カニムシ科	六〇七
ヨツメカニムシ科	六〇七
トタテグモ科	六〇八
チグモ科	六〇八
ウブグモ科	六〇八
ハグモ科	六〇九
ヒラタグモ科	六〇九
ヤマシログモ科	六〇九
コガネグモ科	六〇九
タナグモ科	六一一
ドクグモ科	六一一
キンダグモ科	六一二

カニグモ科	六一二
ハヘトリグモ科	六一二
ザトウムシ科	六一三
テングダニ科	六一三
ヨロビダニ科	六一三
ハモリダニ科	六一一
ハダニ科	六一四
マミツダニ科	六一四
ウシホダニ科	六一四
ホコリダニ科	六一五
ササラダニ科	六一五
コナダニ科	六一五
ヒゼンダニ科	六一五
ニキビダニ科	六一六
ワクモ科	六一六
マダニ科	六一六

ヒメダニ科	六一六
クマムシ科	六一七
ユメムシ科	六一七
オホユメムシ科	六一七
カプトガニ科	六一七

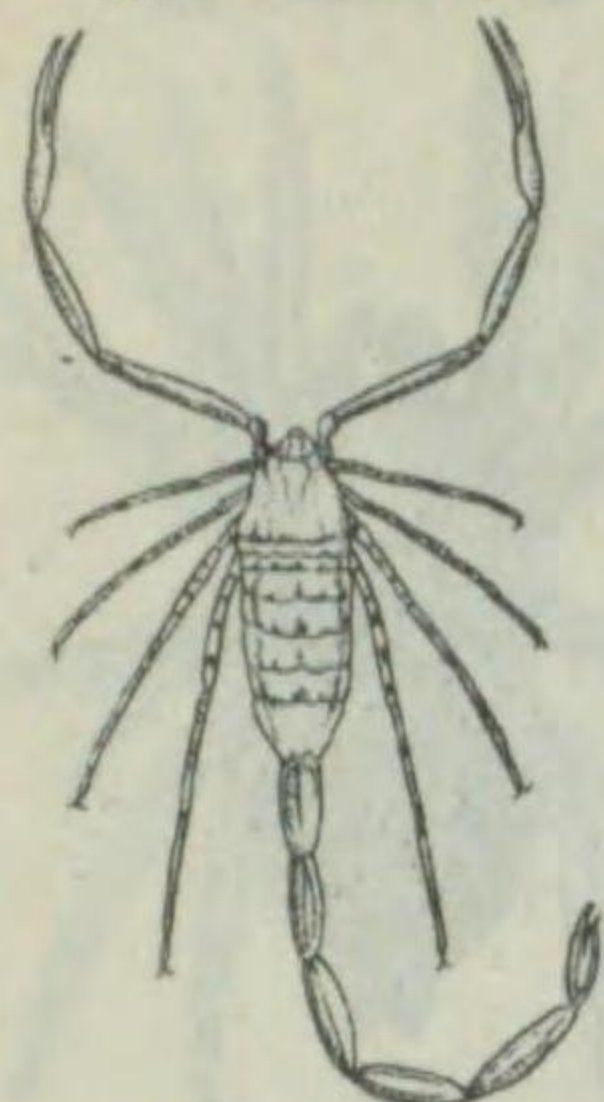
第二三三四圖



Liocheles australasiae.

ヤハマサソリ (八重山全蠍)  
ヤハマサソリ科  
體ハ肥厚シ、觸鬚ハ巨大ニシテ、鉗狀ヲナシ、ソレニ二條ノ顆粒並列セリ。中眼二箇ハ殆ド中央ニ位シ、側眼ハ三對ヲ具フ。後腹部末節ノ毒鉤ニハ數箇ノ剛毛ヲ有ス。胸板(頭胸部)ノ腹面ニ位セル胸甲ハ五角形ヲ呈シ、先端尖リ、兩側縁ハ殆ド並行セリ。赤黄乃至赤褐色ヲ呈ス。八重山群島、臺灣及ヒ南洋方面ニ分布シ、猛毒ヲ有ス。

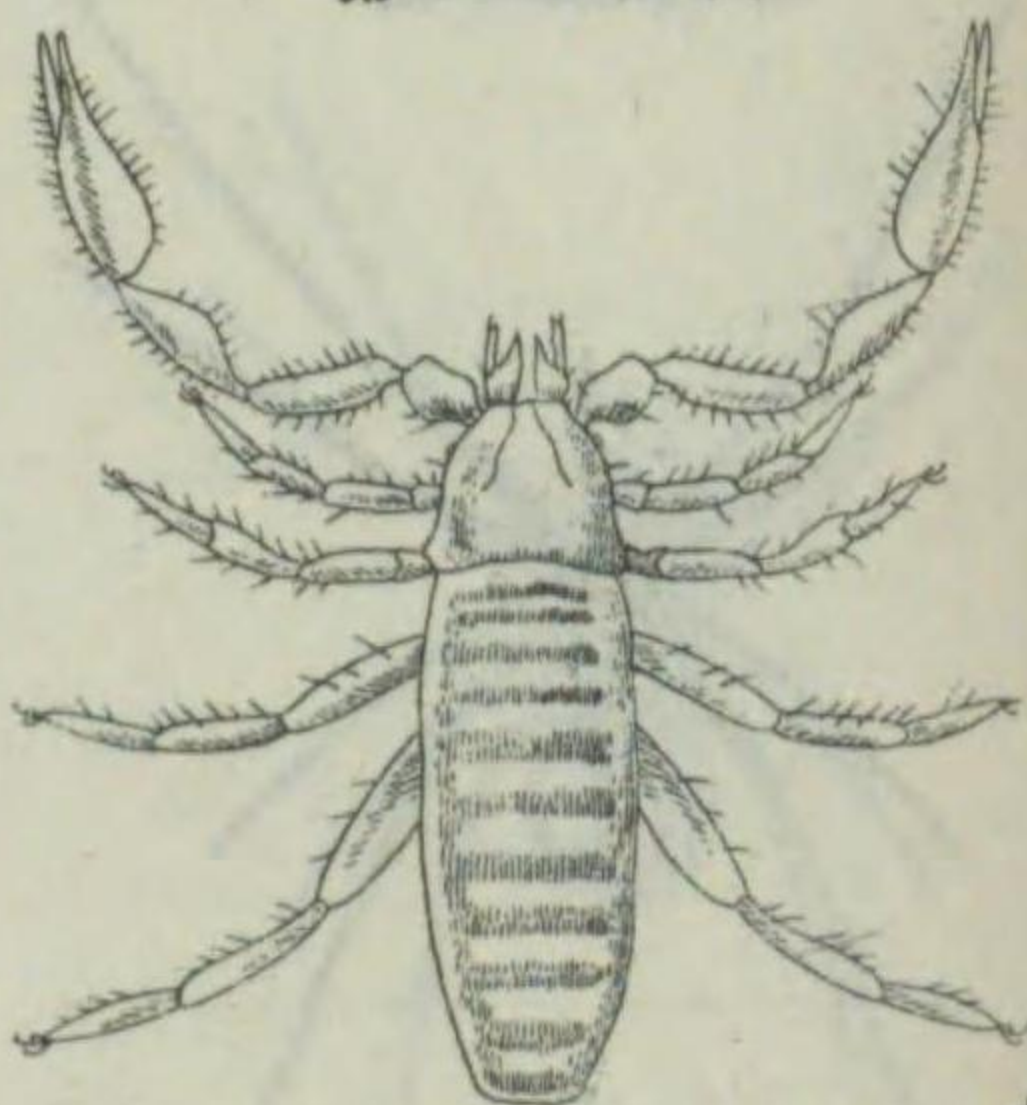
第二三三五圖



Isometrus europaeus.

マダラサソリ (斑全蠍)  
キョクトウサソリ科  
體長雌四五耗、雄七〇耗内外ニ達ス。後腹部ハ狭長ニシテ、毒刺モ亦長シ。觸鬚ノ鉗ハ狭長ニシテ手ヨリモ長シ。單眼ハ中央ニ二箇兩側ニ三對アリ。體ハ粘土黄色ニ暗褐色ノ斑紋ヲ有シ、腹面ハ淡シ。八重山群島、臺灣ニ分布シ、オーストラリア、歐洲ニモ産ス。

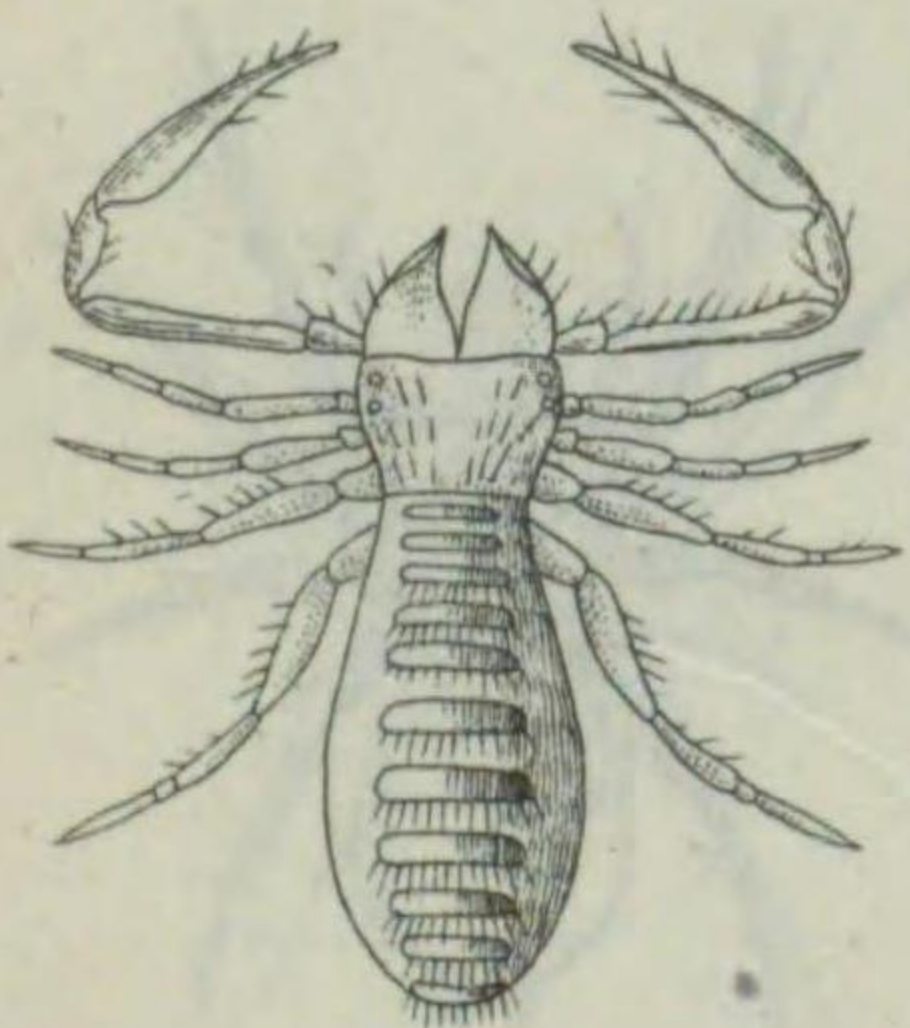
第二三三六圖



Chelifer nipponicus.

カニムシ (蟹蠍)  
カニムシ科  
體ハ紡錘形ヲ呈シ、腹部ハ細長ニシテ、頭胸部ノ横溝ハ不明瞭ナリ。觸鬚ハ長大ニシテ、略々體ト同長ナリ。眼ハ單眼二箇ヲ有シ、腹部ニ一枚ノ腹背板ヲ明示セリ。體長四耗内外ニ達ス。體ハ茶褐色ナリ。推其他喬木ノ樹皮下ニ棲息シ本州ニテハ普通ニ見出サル。

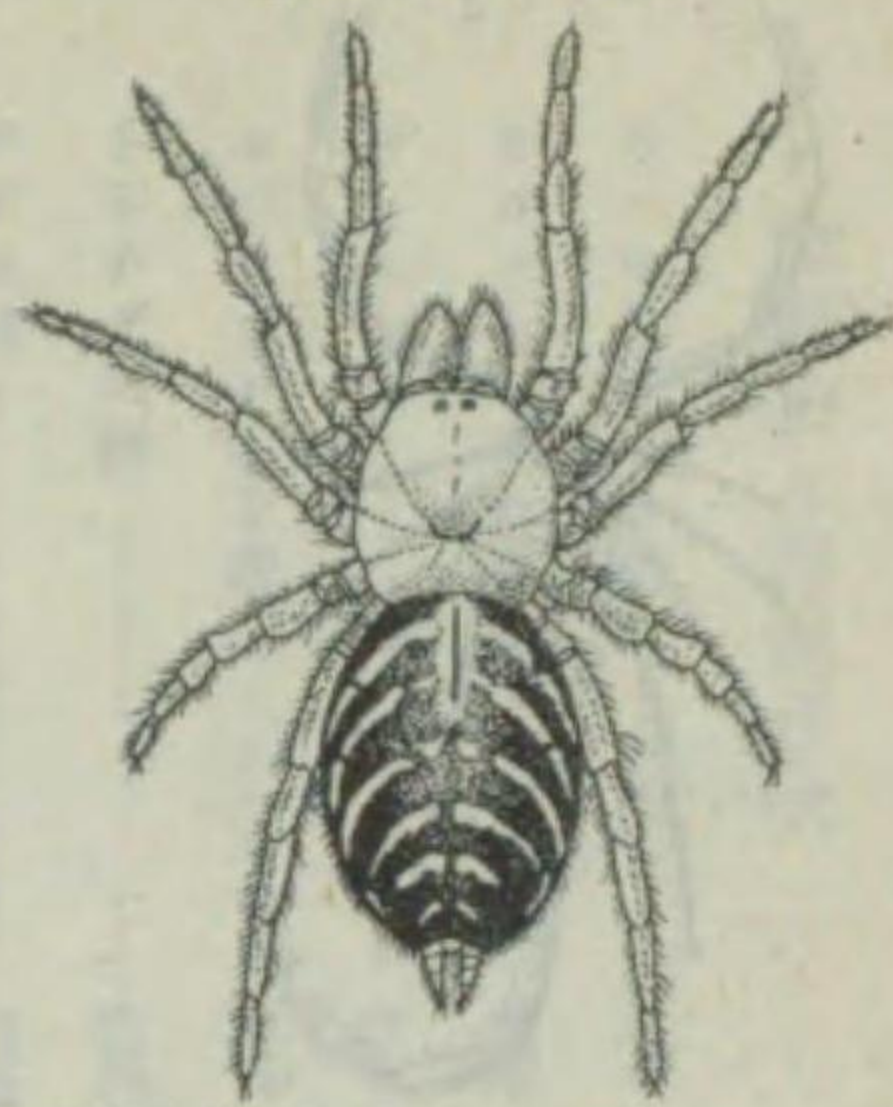
第二三三七圖



Chthonius japonicus.

ヨツメカニムシ (四目蟹蠍)  
ヨツメカニムシ科  
(異名) ツチカニムシ、ギトカニムシ  
體ハ極メテ小形ニシテ一五耗以内ナリ。鉗角ニハ柄ヲ缺キ、單眼ハ二對アリ。觸鬚ハ長大ニシテ體長ト略々同長、綠褐色ヲ呈ス。頭胸及ビ背ノ前縁ニハ二本ノ刺ヲ有ス。體ハ淡赤褐色ナリ。本州以南各地ニ分布シ、山地ノ朽葉下及ビ地中ニ棲息ス。

第二三三八圖



Kishinouyeus typicus.

體長一五耗ニ達ス。背甲ハ滑澤ニシテ丸ク七耗、腹部ハ九耗内外ナリ。單眼ハ八箇ヲ有シ、前方ニ群在ス。下顎ハ小サク、齒多ク、下唇ハ剛毛ノミニテ齒ヲ有セズ。頭胸甲ハ黒褐色、腹部背面ハ紫褐色ニ七對ノ白帶アリ。草地ニ穴ヲ穿チ、内面ヲ絲ニテ覆ヒ、入口ニ蓋ヲ作り、ソノ中ニ蟄レ、主トシテ小昆虫ヲ捕食ス。本州中部以南、四國及ビ九州等ニ分布ス。

トタテグモ (蟷螂) トタテグモ科

第二三三九圖



Pachylomerus granulatus.

體形ハとたてぐもニ似タリ。大形ナルモノニテハ體長一〇耗ニ達ス。腹部ノ背面ニ後曲性棘ヲ多數ニ生ジ、帶狀斑紋ヲ有セズ。頭部中線ニ三本ノ剛毛ヲ有シ、腹部背面前方ニハ多數ノ顆粒ヲ生ズ。體ハ濃暗褐色ニシテ、光澤強シ。本州中部ニ見出サル。

イハノヘトタテグモ (岩上蟷螂) トタテグモ科

第二三四二圖

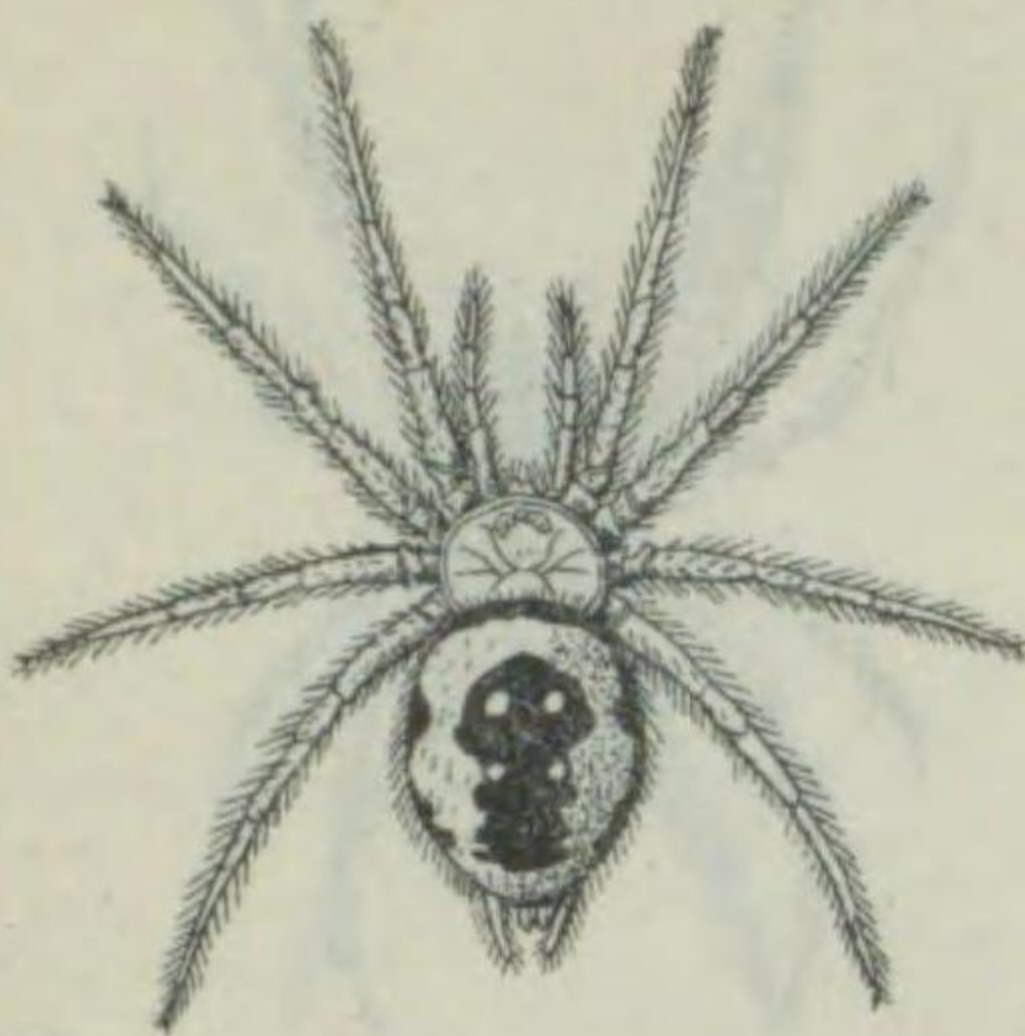


Dictyna maculosa.

全長三耗内外ニシテ、背甲ハ稍々丸味ヲ帯ビ、鱗狀鋸齒ヲ有ス。頭部ハ大形ニシテ、眼ハ八箇ヲ數フ。第四步脚ノ趾節ニハ毛ヲ生ズ。背甲ハ黄褐色ヲ呈シ、兩側稍々黒ク腹部背面ハ灰褐色地ニ暗色ノ斑紋ヲ現セリ。植物葉上等ニ日覆様ノ膜ヲ張り、ソノ下ニ棲息ス。本州産ナリ。

ヒラタグモ (扁蛛) ヒラタグモ科

第二三四三圖

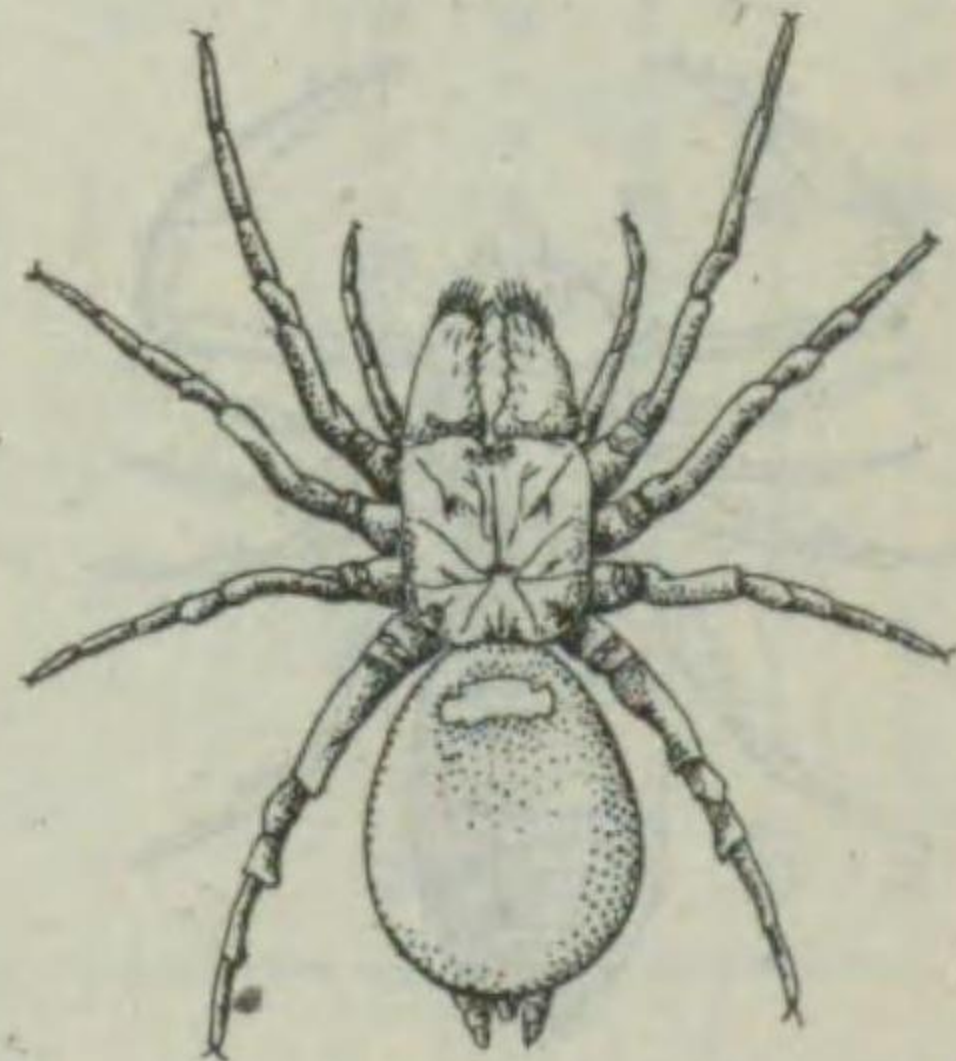


Uroctea compactilis.

雌ハ全長一〇耗、雄ハ八耗内外ニ達ス。背甲ハ扁タク、前端ハ圓ク心臟形ヲ呈シ、腹部ハ卵形ニシテ紡績突起長シ。眼ハ八箇ヲ有シ、中列ノ二箇最モ小サク、後列ノ二箇最モ大形ナリ。歩脚ハ太ク、短ク、末端ニ三爪アリ。背甲ハ暗褐色ヲ呈シ、腹部背面ハ灰白色ニ黒點ヲ有ス。壁間等ニ圓キ扁平ナル巢ヲ作り、夜間出テ小動物ヲ捕食ス。

節足動物—蜘蛛類—真正蜘蛛目

第二三四〇圖

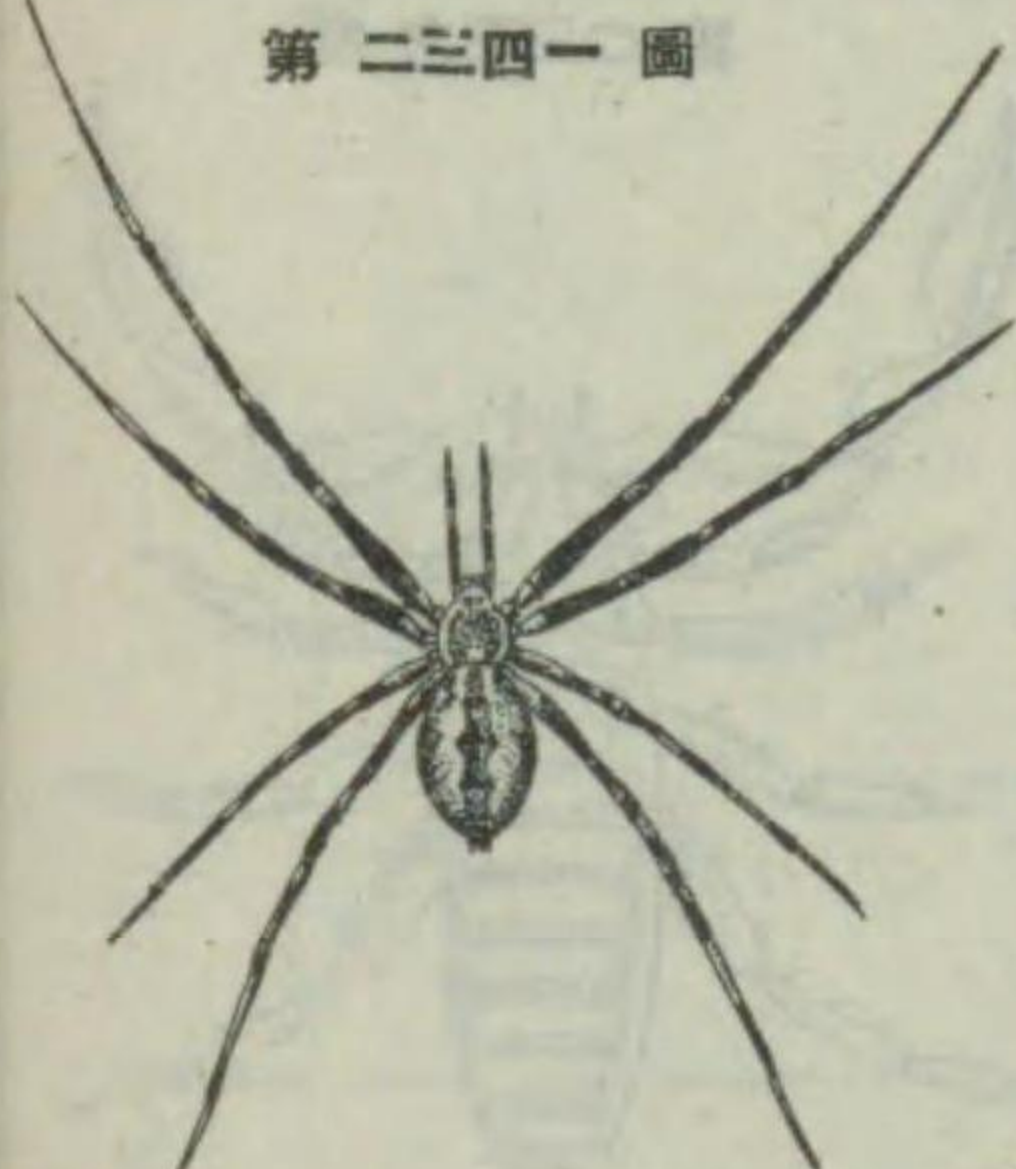


Atypus Karschi.

體長一六耗内外ニ達ス。上顎ハ大形ニシテ、齒ヲ列生ス。背甲前方ニハ單眼八箇ヲ有シ、中央ニ二箇、兩側ニ三對ニ並ベリ。石、樹木等ノ下等ニ穿孔シ、管囊狀ノ無蓋ノ巢ヲ作りテ棲息ス。本州・四國・九州ニ分布セリ。

チグモ (地蛛) チグモ科

第二三四一圖



Uloborus tokyoensis.

全長五耗内外ニシテ、背甲丸ク、腹部ハ楕圓形ナリ。歩脚ハ最前方ノ一對最モ長ク、第四脚ノ趾節ニハ剛毛アリ。腹部背面ニハ心臟狀斑ヲ有ス。體ハ暗茶褐色ヲ呈シ、觸鬚及ビ歩脚ニハ輪紋ヲ有ス。腹面ハ淡色ナリ。本州ニ見出サル。

トウキヤウツグモ (東京渦蛛) ウツグモ科

第二三四四圖

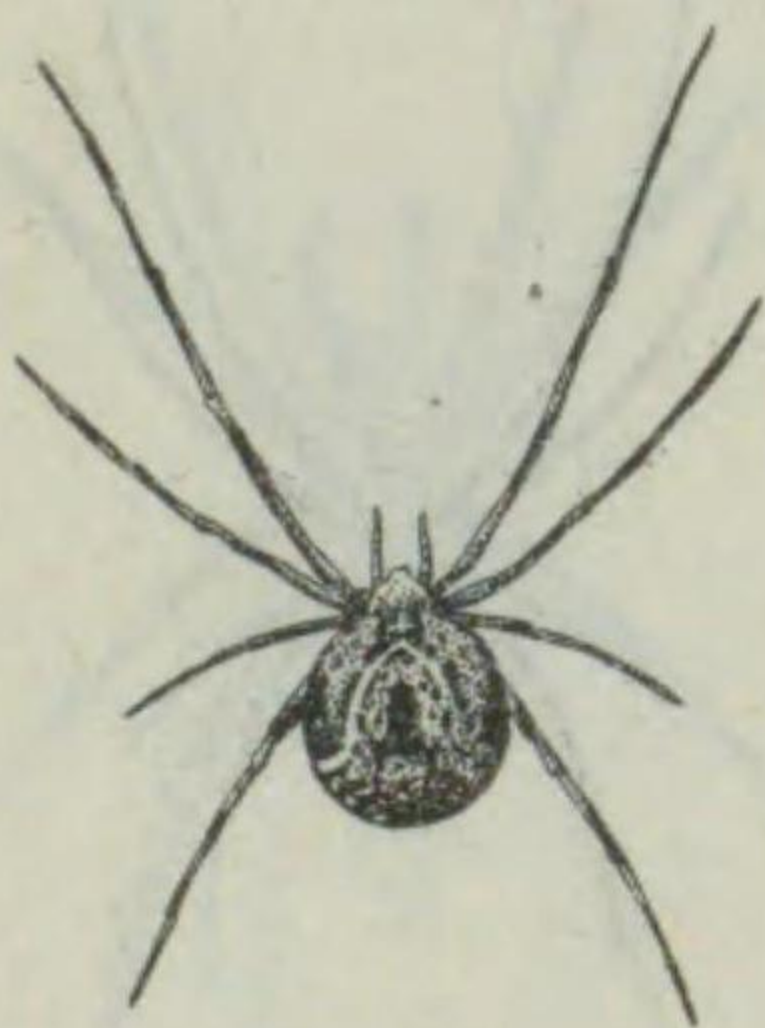


Scytodes thoracica.

體長六耗内外ニ達ス。背甲ハ心臟形ヲナシ、後方ニ隆起シ、腹部ハ正楕圓形ヲ呈ス。觸鬚及ビ歩脚ハ細シ。眼ハ六箇ヲ有ス。背甲ハ褐色地ニ黒褐色ノ特色アル斑紋ヲ散布セリ。腹部ハ黄白色地ニ黒褐色ノ斑紋ヲ有ス。壁間ハ丸ク扁平キ巢ヲ作りテ棲息シ、夜間テ昆虫ヲ捕食ス。本州・四國・九州等ニ産ス。

オホヒメグモ (大姬蛛) コガネムシ科

第二三四五圖



Theridion tepidariorum.

雌ハ體長九耗ニ達シ、雄ハ五耗内外ナリ。背甲ハ心臟形ヲ呈シ、眼ハ頭部ノ全面ヲ占ム。雌ハ卵ノ發達ニツレテ腹部膨大シ、球形ヲ呈ス。第四步脚末節ニ齒ヲ有セル剛毛ヲ生ズ。雌ハ背甲濃褐色ヲ呈シ、腹部ハ乳白色乃至乳黄白色地ニ黒斑ヲ有ス。雄ハ頭胸部赤褐色ヲ呈シ、腹部ハ褐色ヲ呈セリ。屋内ニ多ク棲息シ、廣ク世界ニ分布ス。

節足動物—蜘蛛類—真正蜘蛛目

第二三四六圖



Araneus ventricosus.

雌ハ體長三〇耗ニ達シ、雄ハ一五耗内外ナリ。體質強剛ニシテ、歩脚ノ棘モ亦著シ。背甲ハ滑カニシテ、中央ハ凸起ス。歩脚ハ強大ニシテ、雄成體ノ第二步脚脛節ニハ大刺ヲ生ズ。背甲及ビ歩脚ハ赤褐色ニシテ、往々淡黒色ヲ帯ベリ。腹部ハ褐色ヲ呈シ、背面ニハ葉狀斑ヲ現ハセリ。北海道ヨリ臺灣、朝鮮ニ分布ス。

オニグモ (鬼蛛) コガネグモ科

サツマノミダマシ (偽薩摩實)

コガネグモ科

第二三四七圖



Aranea scylloides.

體長八耗内外ニ達シ、背甲ハ小サク中凸ニシテ淡黄褐色ヲナシ、歩脚ハ帶褐色ナリ。腹部背面ハ黄緑色乃至深緑色ヲナセリ。さつま(植物、一名はぜのき)ニ多ク、ソノ果實ニ酷似セル色ヲ呈セルヲ以テ、本名ヲ得タルナラン。本州・四國・九州ニ分布ス。

ナガコガネグモ (長黄金蛛) コガネグモ科

第二三五〇圖



Argiope bruennichi.

雌ハ大形ニシテ體長二五耗ニ達スルモ、雄ハ一〇耗内外ニ過ギズ。背甲ハ低平ニシテ、腹部ハ長大ナリ。雌ノ背面ニハ多クノ黒褐色帶狀斑ヲ有シ、雄ニテハ帶狀斑ハ通常不明ナリ。草間、樹林等ニ丸キ網ヲ張リテ棲息ス。本州・四國・九州・朝鮮ニ普通ニ見出サル。本種ヲぢよらうぐもト呼ブハ誤リナリ。

タナグモ (店蛛) タナグモ科

第二三五二圖

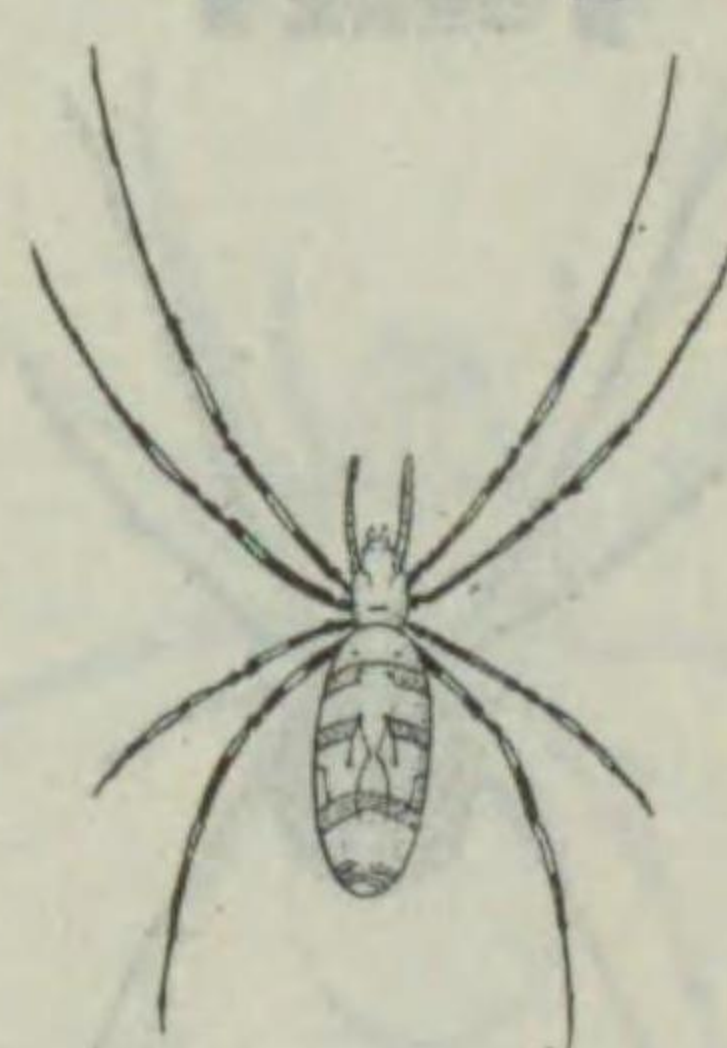


Lycosa T-insignita.

雌ハ全長一二耗、雄九耗内外ニシテ、頭胸部ハ前長ク、後端ハ稍々廣ク、腹部ハ楕圓形ヲナセリ。背甲及ビ歩脚ハ灰白色ニシテ、稍々褐色ヲ帯ビ、青黒色ノ條ヲ有ス。腹部背面ハ灰白色地ニ青黒色斑紋多少アリ。最モ普通ナルモノニシテ、家屋ノ隅ニ大ナル網ヲ張リテ棲息ス。本州・四國・九州・朝鮮等ニ分布セリ。

節足動物—蜘蛛類—真正蜘蛛目

第二三四八圖



Nephila clavata.

最モ普通ナルクモニシテ、雌雄ソノ大サヲ異ニシ、雌三〇耗、雄一〇耗内外ナリ。背甲ハ銀白色ニシテ、黄色横帯及ビ黒色部ヲ具ヘ、眼ハ八箇ヲ有ス。腹部ハ稍々圓筒形ニシテ、背面ニ黄色地ニ青黒帶ヲ有シ、末端ノ側面ニ眞紅色ノ大斑アリ。歩脚ハ黒色ヲ呈シ長ク、所々ニ黄輪アリ。樹間ニ高ク、規則正シク網ヲ張リテ昆蟲ヲ捕フ。本州・四國・九州・朝鮮ニ分布ス。

チヨラウグモ (女郎蛛) コガネグモ科

第二三四九圖



Argiope amoena.

雌ハ全長二五耗ニ達シ、雄ハ八耗内外ニシテ、背甲ハ低平ナリ。腹部ノ背面前縁ハ截形ヲナシ、他ハ稍々丸シ。背甲ハ暗褐色ナルモ銀白色ノ短毛ニテ被ハレ、觸手ハ淡黄褐色、歩脚ハ黄褐色地ニ黒輪ヲ現ハシ、腹面ニハ三箇ノ黄帯及ビ黒褐色帶ヲ交叉セリ。田圃草葉間ニ丸キ網ヲ張リテ昆蟲ヲ捕フ。本州・四國及ビ九州ノ特産ナリ。

クサグモ (草蛛) タナグモ科

第二三五二圖



Agelena limbata.

雌ハ全長一六耗、雄一四耗内外ニ達シ、體形たなぐもニ酷似ス。全體褐色ヲ呈シ、背甲ニハ黒褐色ノ二條ノ側線ヲ有シ、腹部ハ卵形ニシテ、背甲ト同ジク黒褐色斑ニ條ヲ現ハセリ。野外ノ草木間ニ不規則ナル網ヲ張リテ、昆蟲ヲ捕フ。本州・四國・九州ニ分布セリ。

ウツキドクグモ (卵月毒蛛) ドクグモ科

第二三五三圖

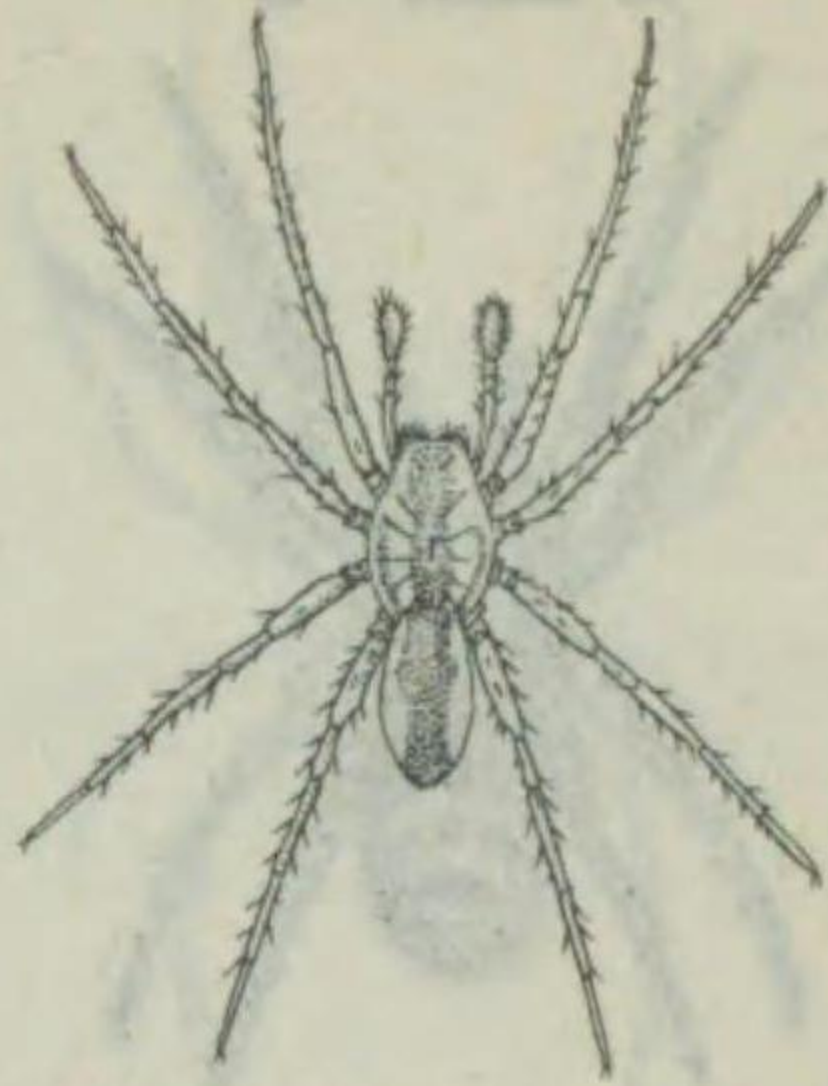


Lycosa T-insignita.

雌ハ小形ニシテ、大ナルモノニテモ八耗以内ナリ。背甲ハ卵形ヲ呈シ、腹部モ亦卵形ヲナセリ。眼ハ八箇ヲ有シ、三列ニ並ベリ。背面ハ暗褐色地ニ淡黒色ノ斑紋ヲ有シ、歩脚ノモノト共ニ特色ヲ有ス。腹部背面ノ後方正中線上ノ模様ニヨリテ本名ヲ得タリ。本州・四國・九州ニ普通ニ見出サル。

節足動物—蜘蛛類—真正蜘蛛目

第二三五四圖



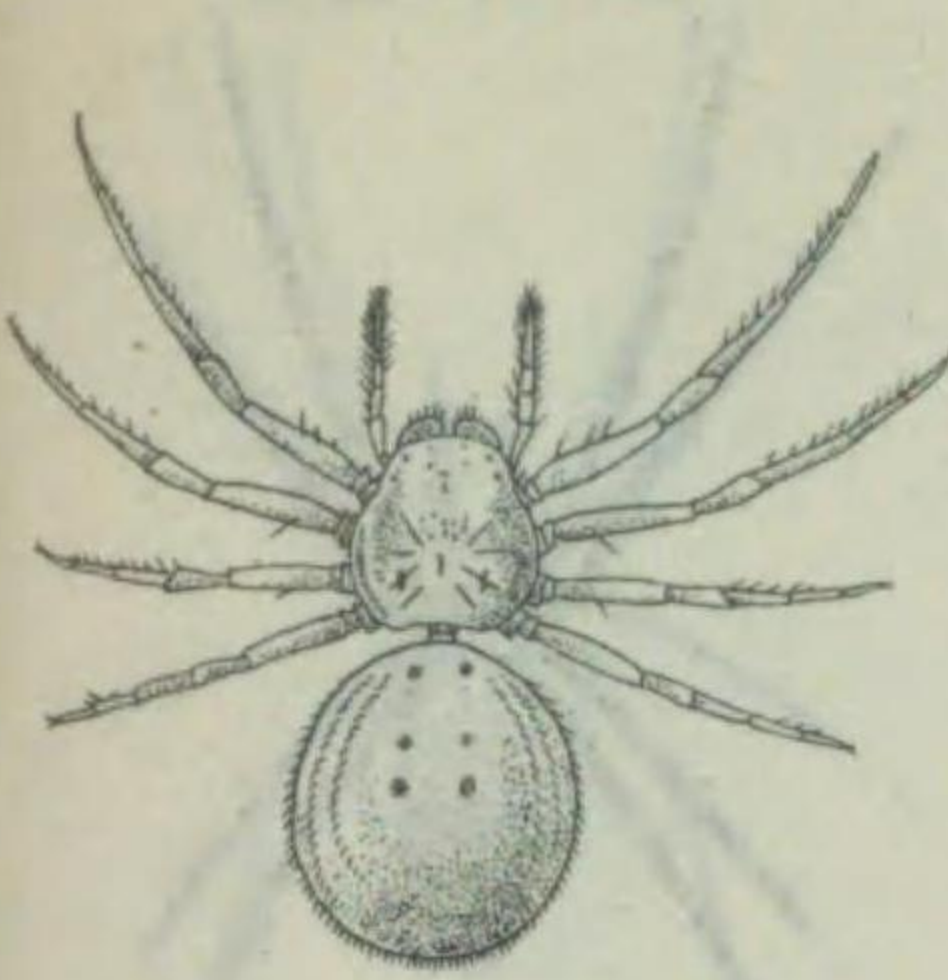
Dolomedes pallitarsis.

體長普通一八耗内外ナリ。背甲ハ稍々洋梨形ヲ呈シ、腹部ハ披針狀楕圓形ナリ。背甲ハ白色地ニ深綠色ノ斑紋ヲ有シ、腹部背面ハ卵白色地ニ灰色ノ小點散在シ、中央ニ廣キ條ヲ有セリ。歩脚ハ褐色ヲ呈シ、棘及ビ斑ハ黑色ナリ。草間及ビ水邊ニ多ク棲息シ、幼時棚狀ノ網ヲ張ルモ、成長後ハ徘徊性トナル。本州・四國・九州ニ普通ニ見出サル。

スチプトハシリゲモ (條太走蛛)

キシダグモ科

第二三五五圖



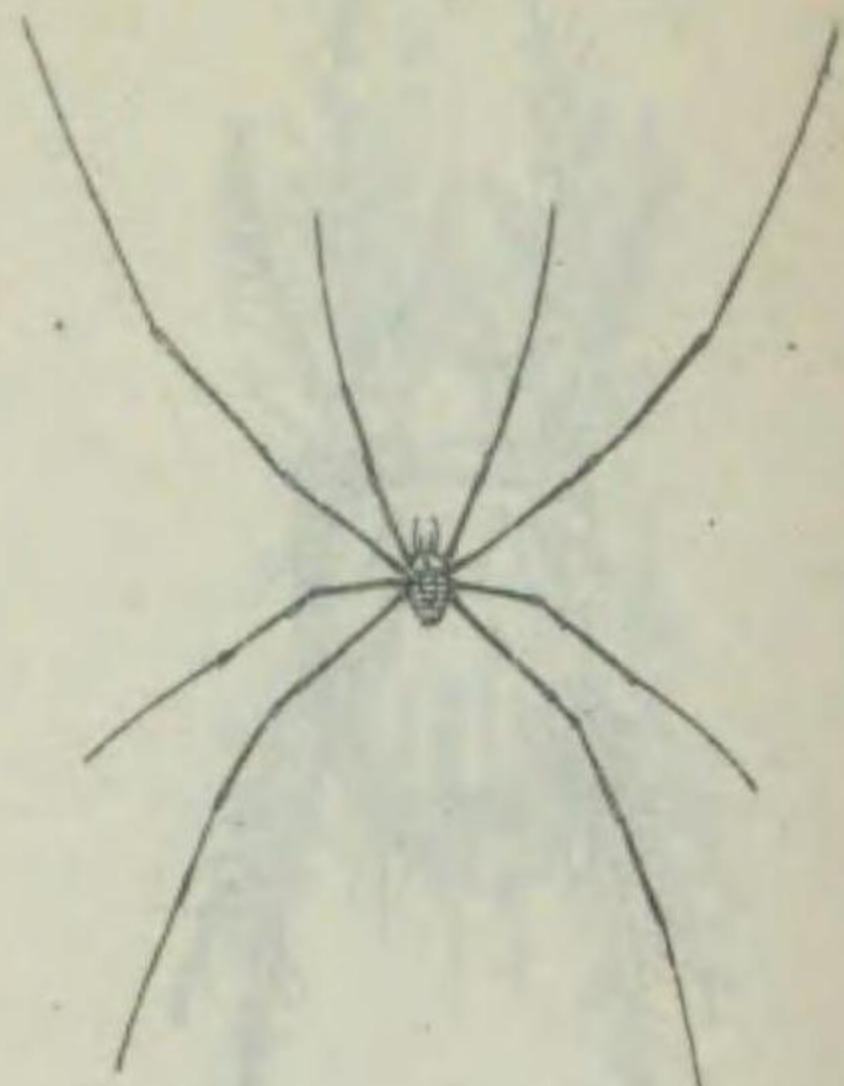
Xysticus insulicola.

體長一〇耗ニ達シ、背甲及ビ、腹部略々同長ナルモ、稍々腹部長シ。歩脚ハ各一〇耗ニ達ス。背甲ハ褐色ニ赤褐色縦線二列ニ走り、腹部ハ黄褐色地ニ淡黒褐色斑紋ヲ現ハシ、下面ハ淡灰黄色ヲ呈シ、四對ノ小形ナル褐斑ヲ有ス。歩脚ハ褐色ヲ呈シ、棘ヲ有セリ。本州各地ニ分布シ、到ル處ノ山野ヲ徘徊ス。

アツマカニゲモ (吾妻蟹蛛)

カニグモ科

第二三五八圖



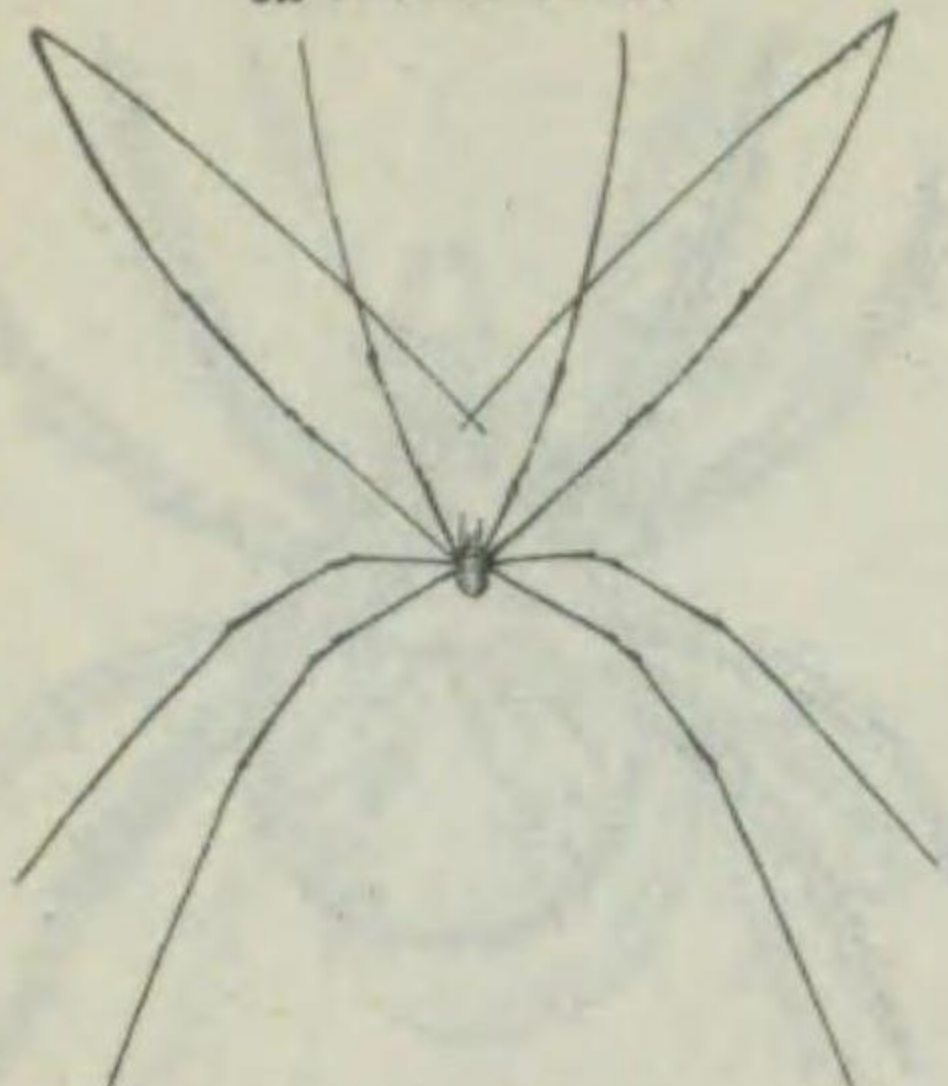
Liobunum luteum.

體長五耗許ニシテ、幅三耗内外ナリ。背甲ハ半圓形ヲ呈シ、腹部背面ノ前方五節ハ合一シテ楕圓形ヲナセリ。歩脚ハ最モ長ク、第二對ハ七〇—八〇耗内外ニ達ス。體ハ灰白色ニ萌黄色ヲ呈シ、綠褐色ノ斑紋ヲ有ス。本州ノ山野ニ見出サル。

モエギマメザトウムシ

(萌黄豆蟹蛛) ザトウムシ科

第二三五九圖



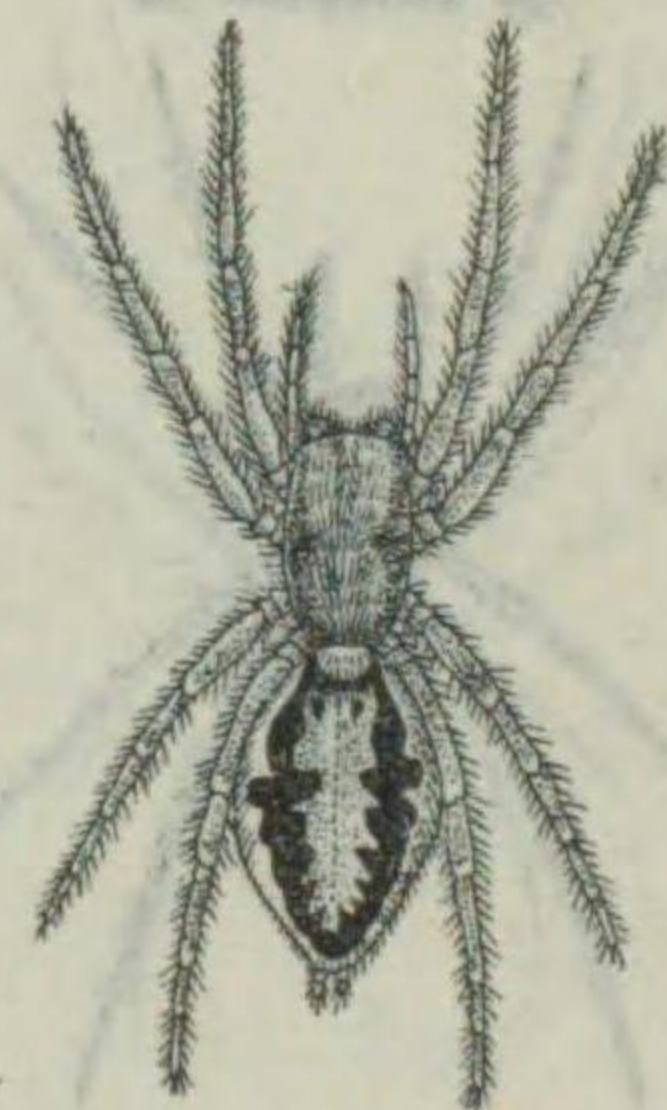
Nelima valida.

體長七耗内外、幅四耗ニ達ス。背甲ハ中央ニ眼丘ヲ具フ。腹部背面ハ後方四枚ノミ背板ヲ形成ス。歩脚ハ最モ長ク、第二對ハ最長ナリ。背甲及ビ歩脚ハ褐色ヲ呈シ、下面及ビ觸鬚ハ黄白色ナリ。本州ノ山地ニ多ク見出サル。

コハザトウムシ (こは蟹蛛)

ザトウムシ科

第二三五六圖



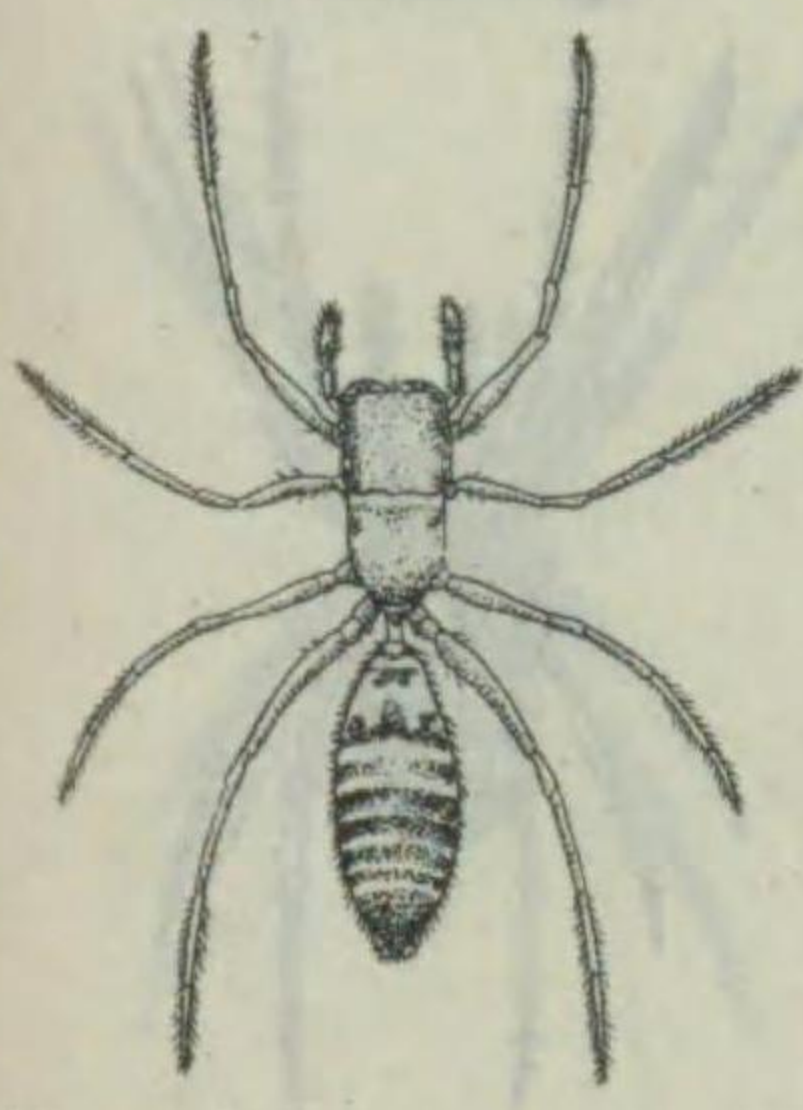
Menemerus confusus.

雌ハ全長一〇耗、雄七耗ニ達シ、背甲ハ平坦ナリ。眼ハ三列ニ並ビ前列ノ四箇ハ大キク、中央ノモノハ小サク、第三列ハ中大ナリ。體ハ黑色ニシテ、正中線ニ白色條ヲ有シ、銀白色ノ毛及ビ鱗片多ク、又黒褐色ノ鱗片及ビ毛ヲ生ジ、獨特ノ模様ヲ現ハセリ。歩脚ノ末端ニ二爪及ビ粘毛ヨリナル毛束ヲ有シ、之ニ依リテ垂直面ヲ登リ得。人家ニ多ク、昆蟲ニ近ヅキ巧ニ之ヲ捕フ。本州・四國・九州ニ産ス。

ハヘトリゲモ (蠅取蛛)

ハヘトリゲモ科

第二三五七圖



Myrmarachne japonicum.

全長六耗内外ニシテ、一見くらあリノ如キ觀アリ。體ハ頗ル狭長ニシテ、背甲ハ四角形ヲ呈シ、胸部ハ舌狀ヲナセリ。歩脚ハ狭長ニシテ第一歩脚ヲ前方ニ出シ、恰モ蟻ノ觸鬚ノ如キ觀ヲ呈ス。樹葉狀ヲ徘徊シ、昆蟲ヲ捕食ス。本州・四國・九州ニ分布セリ。

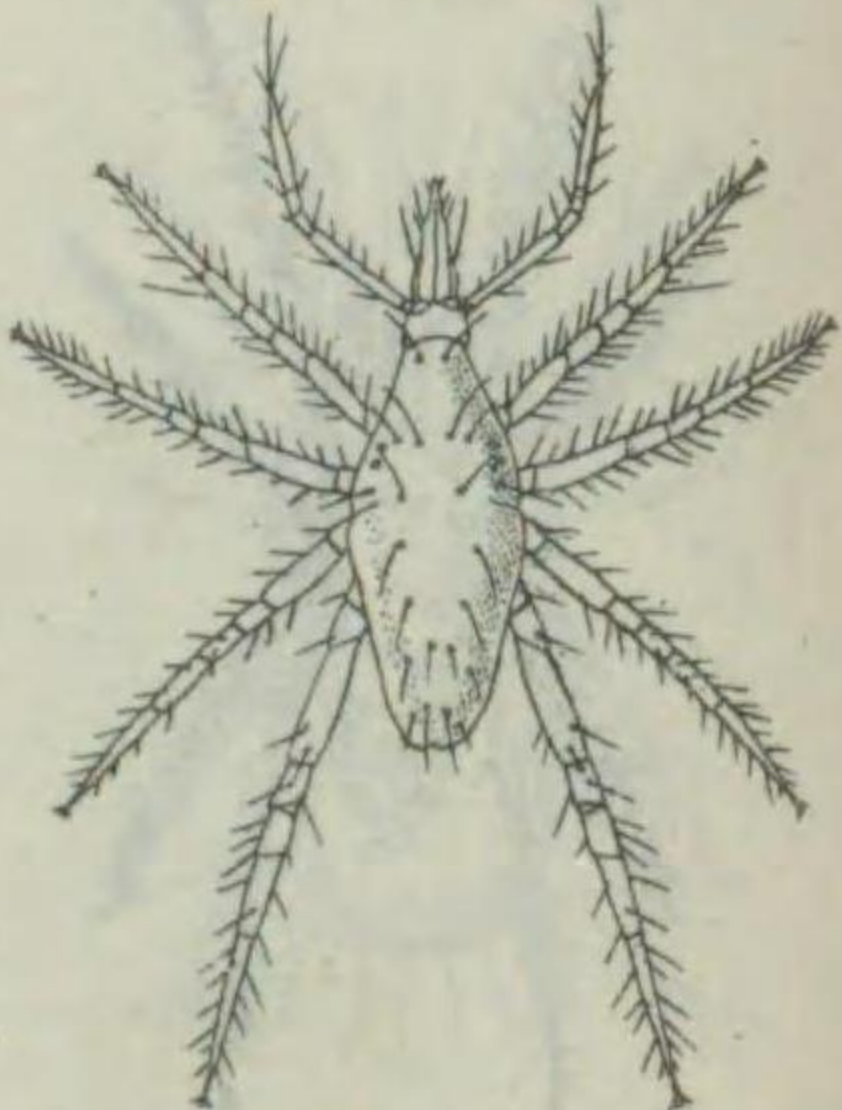
アリゲモ (蟻蛛) ハヘトリゲモ科

(異名) アリモドキグモ

オホテングダニ (大天狗蟎)

テングダニ科

第二三六〇圖

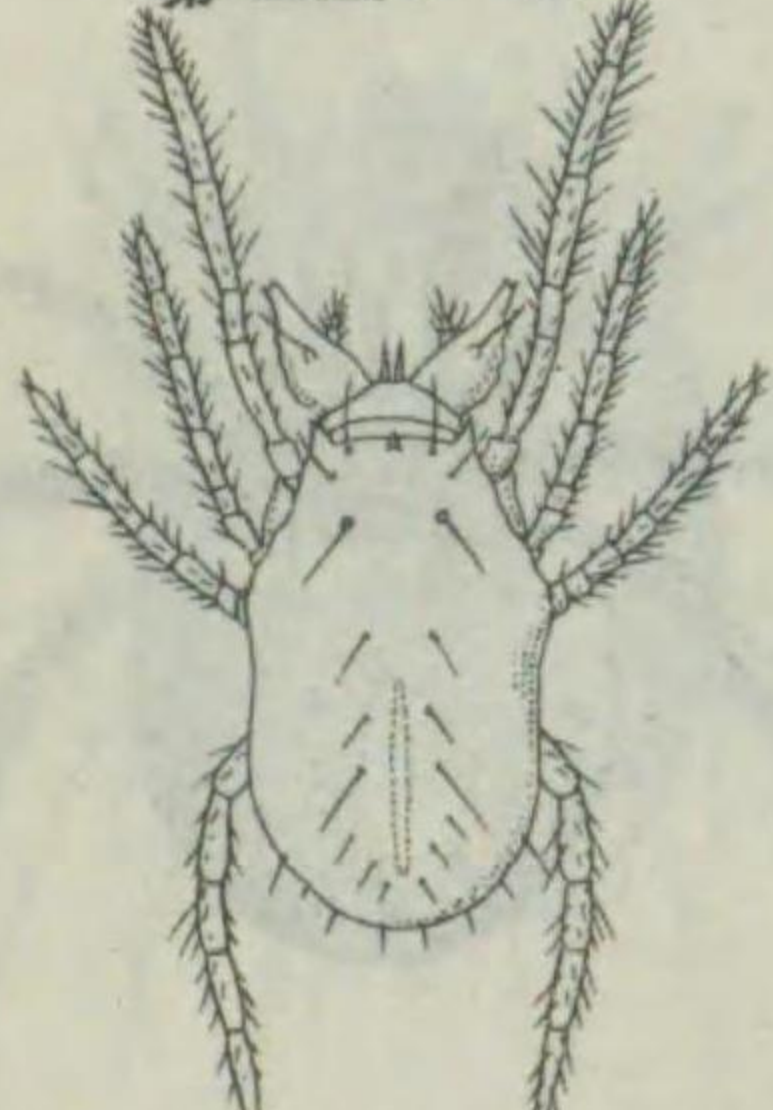


Scirus longitarsa.

胴ハ長ク、略々洋梨形ヲ呈シ、背面ニハ二對ノ眼及ビ長毛ヲ有ス。吻ハ長ク突出シ、觸鬚ハ肢狀ヲ呈セリ。歩脚ハ長大ニシテ、多クノ短毛ヲ生ズ。胴長(吻ヲ含ム)二・四耗内外ニ達ス。體色ハ黄褐色ヲ呈ス。本州・四國・九州ニ産シ、有害ナラズ、敏速ナル運動ヲナス。

ヨロヒダニ (鎧蟎) ヨロヒダニ科

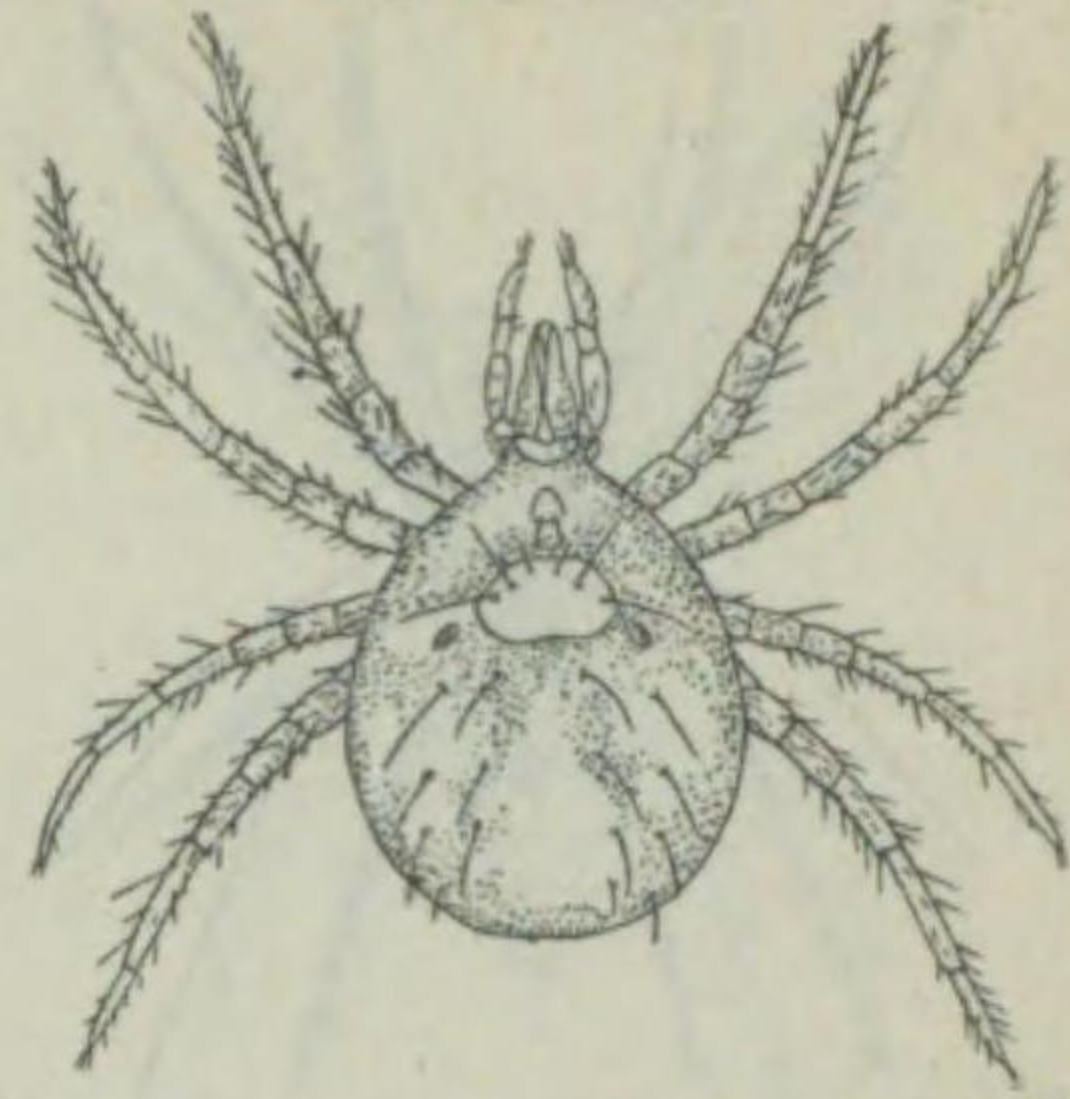
第二三六一圖



Labidostomma durum.

體長八七〇μ、幅六五〇μ内外ニシテ、稍々卵形ヲ呈セリ。體質ハ硬ク、表面ニハ小甲殼狀ヲナセル所多シ。眼ハ三箇ニシテ、九對ノ剛毛ト共ニ胴背ニ存ス。觸鬚ハ上顎ヨリ短ク、ソノ下方ニ存シ、四節ヨリ成リ、第四節ニハ長毛ヲ生ズ。口ノ下片ニハ三對ノ剛毛ヲ生ズ。體色ハ淡褐色ヲ呈ス。本州ノ山地ニ分布シ、小蟲ヲ捕食ス。

第二三六二圖

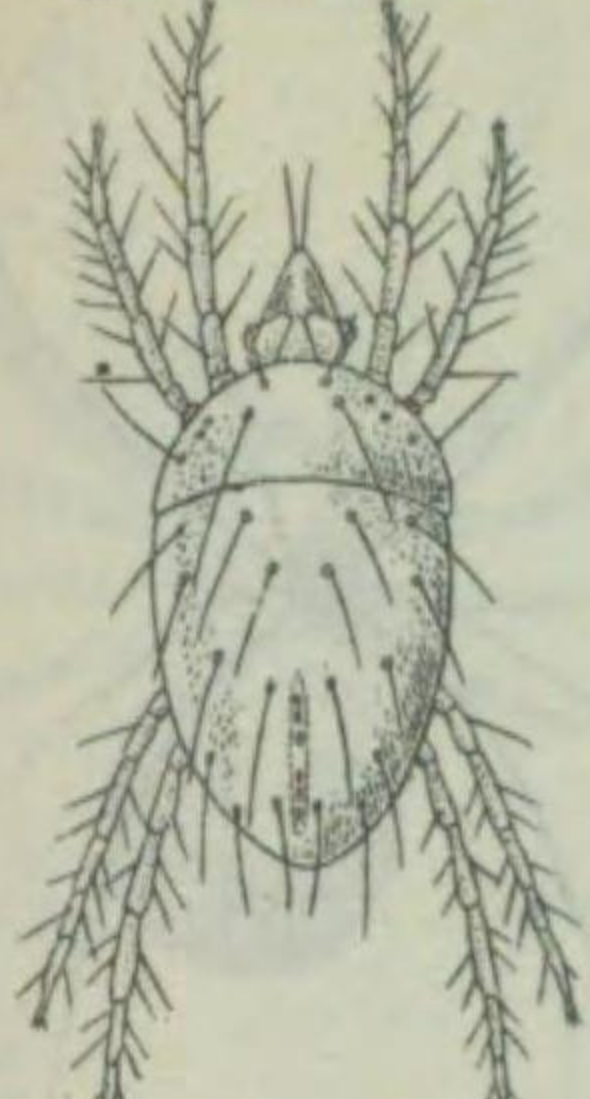


Anystis astripus.

ハモリダニ (葉守蟬) ハモリダニ科  
體長一—二耗ニシテ、胴ハ短ク廣キ卵形ヲ呈シ、前方狹シ。背面ニハ二箇ノ背甲ヲ有シ、前背甲ハ二本ノ剛毛ヲ具ヘ、後背甲ハ前者ヨリ大キク、六角形ヲナシ、二本ノ剛毛ヲ具ヘ、ソノ後方ニ分枝セル剛毛二對ヲ有ス。單眼ハ二對ニシテ後背甲ノ兩側ニアリ。歩脚ハ七節ヨリナル。下顎板ノ兩側ニ二本ノ剛毛ヲ生ズ。觸角ハ四節ナリ。體色ハ紅褐色ヲ呈ス。本邦各地ニ普通ニ見出サル、昆蟲ヲ捕食ス。

ハモリダニ科

第二三六三圖



Tetranychus lintetarius.

ハダニ (葉蟬) ハダニ科  
體長五〇—六〇ミ、幅二一—二二ミナリ。體ハ肥大シ、背面ハ薄ニテ二分セラル。剛毛ハ前體部ニ二列、後體部ニ五列アリ。眼ハ前體部ニ在リテ二對ヲ有シ、前一對ハ後一對ヨリ大形ニシテ、赤色ヲ呈ス。歩脚ハ四對ヨリ成リ、ソノ末端爪基ニ二對ノ粘毛ヲ有ス。上顎ハ柱狀ヲ呈シ、觸鬚ハ多數ノ感覺毛ヲ生ゼリ。各地ニ普通ナルモノニシテ、作物ノ葉裏ニ附キ汁液ヲ吸收シテ有害ナリ。

ハダニ科

ムギホコリダニ (葉蟬)

ホコリダニ科

第二三六六圖

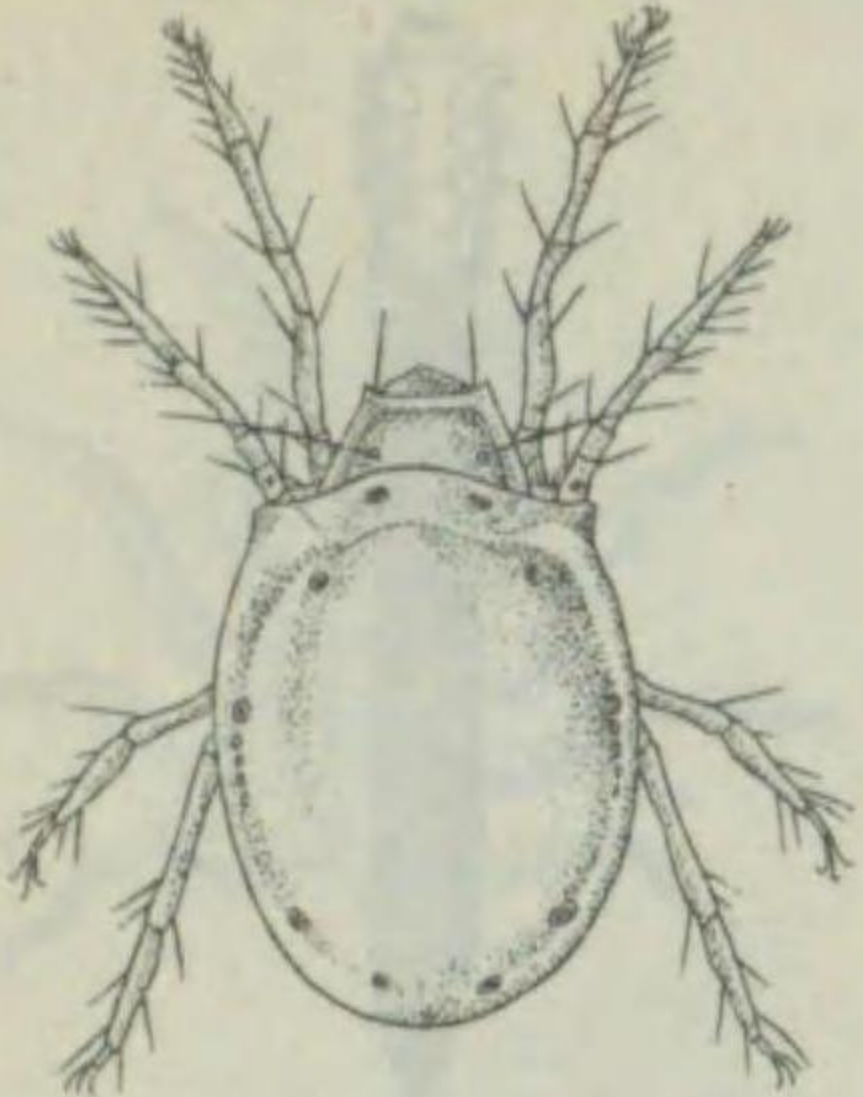


Tarsonemus hordei.

雌ハ胴長二〇〇ミ、幅七〇ミ内外ニ達シ、背面ニハ剛毛ヲ生ジ、後縁ニモ一對ノ剛毛ヲ生ズ。歩脚ハ前後二群ニ分タレ、前群間ノ兩側ニ一對ノ「ラケット」形ヲナセル剛毛アリ。雄ハ胴長一七〇ミ、幅六五ミ内外ニシテ、背面ニハ雌ト同様五列ノ毛ヲ有ス。本州・四國・九州等ニ分布シ、貯藏セル麥ノ中ニ見出サル。

ササラダニ (蟬蟬) ササラダニ科

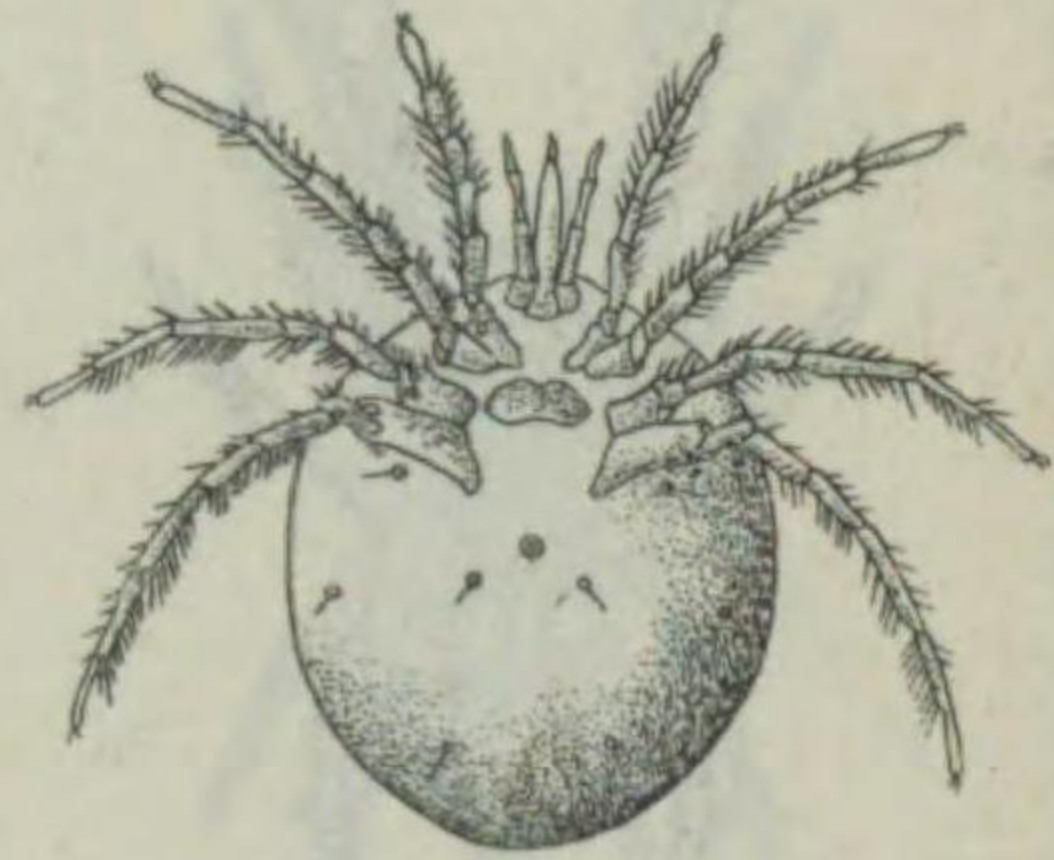
第二三六七圖



Paroribata horii.

體長一耗内外ニ達シ、皮膚ハ硬ク甲狀ヲナセリ。後體部ニハ翼狀體ヲ有シ、前側方ニ延長セリ。各歩脚端ニハ大ナル三箇ノ爪ヲ有ス。マイケル」氏器管(偽氣管體)前體部ノ背面ニアリテ棍棒狀ノモノヲ出セリ。北海道、本州ニ分布シ、小昆蟲ヲ捕食ス。

第二三六四圖

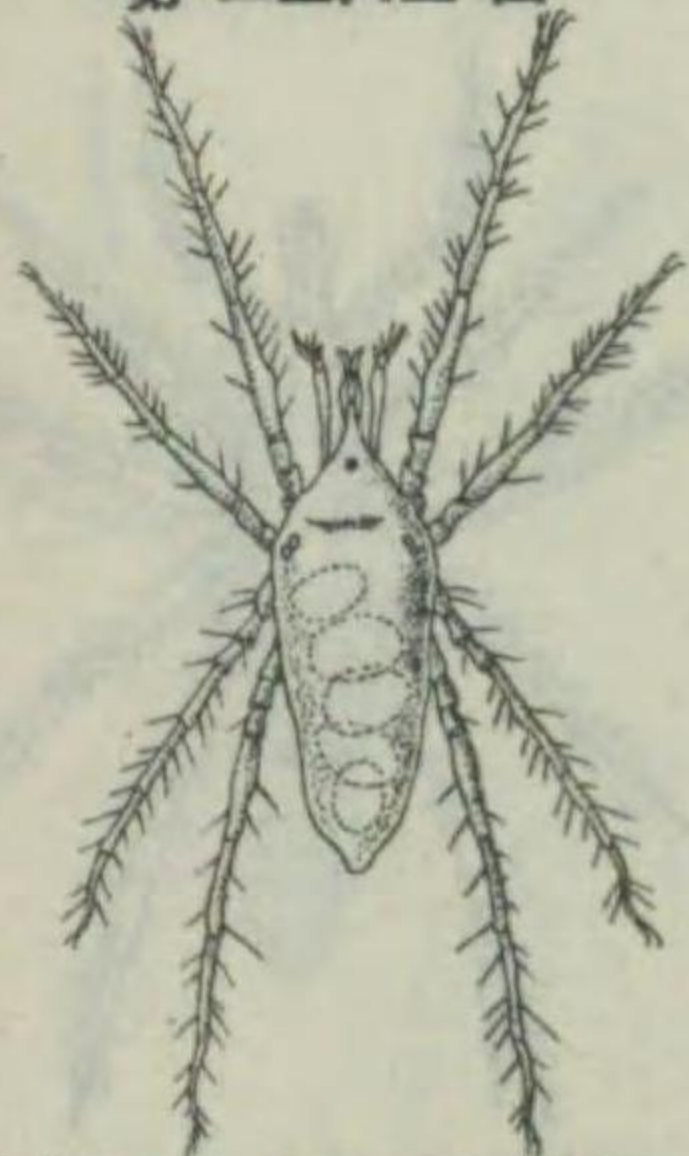


Monohydrachna tokyoensis.

オホママミツダニ (大淡水蟬) マミツダニ科  
全長一—五耗内外ニシテ、體ハ圓形ヲナシ、肥大シ、質ハ軟カナリ。歩脚ハ四對アリテ、ソノ基部ハ左右、前後四箇所ニ存シ、前方ノモノ最モ短ク、後方ノモノ最モ長シ。第一歩脚ヲ除ク各脚ニハ泳毛ヲ具フ。上顎ハ柱狀ヲ呈シ、觸鬚ハ中等大ニシテ五節ヨリ成ル。本邦ニ普通ニ見出サレ、幼蟲ハ大形ナル水棲昆蟲ニ寄生セリ。

オホママミツダニ科

第二三六五圖



Halacarus spongiphilus.

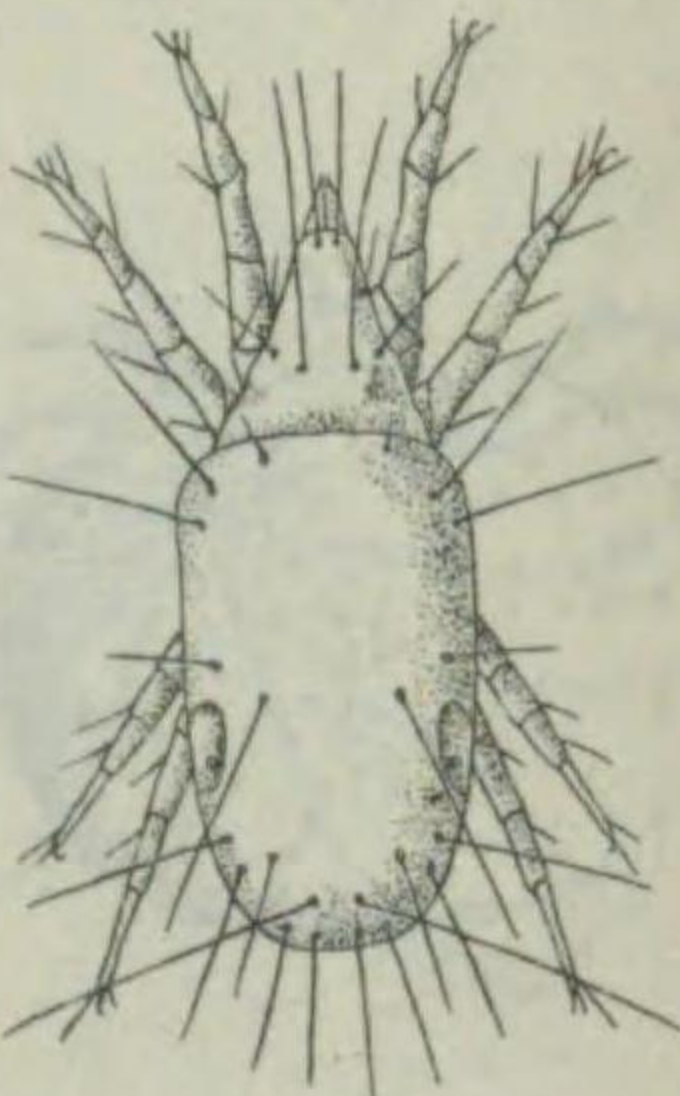
ウシホダニ (潮蟬) ウシホダニ科  
體長五〇—六〇ミニ達シ、體ハ長倒卵形ニシテ、前方廣シ。眼ハ五箇ヲ有シ、觸鬚ハ四節ヨリ成ル。歩脚ハ長ク、長剛毛ヲ有シ、前方ノモノニハ棘ヲモ生ズ。深海底ニ棲息セルきぬあみかいめんニ附着セルモノナリ。

ウシホダニ科

ウマクチダニ (甘口蟬)

コナダニ科

第二三六八圖

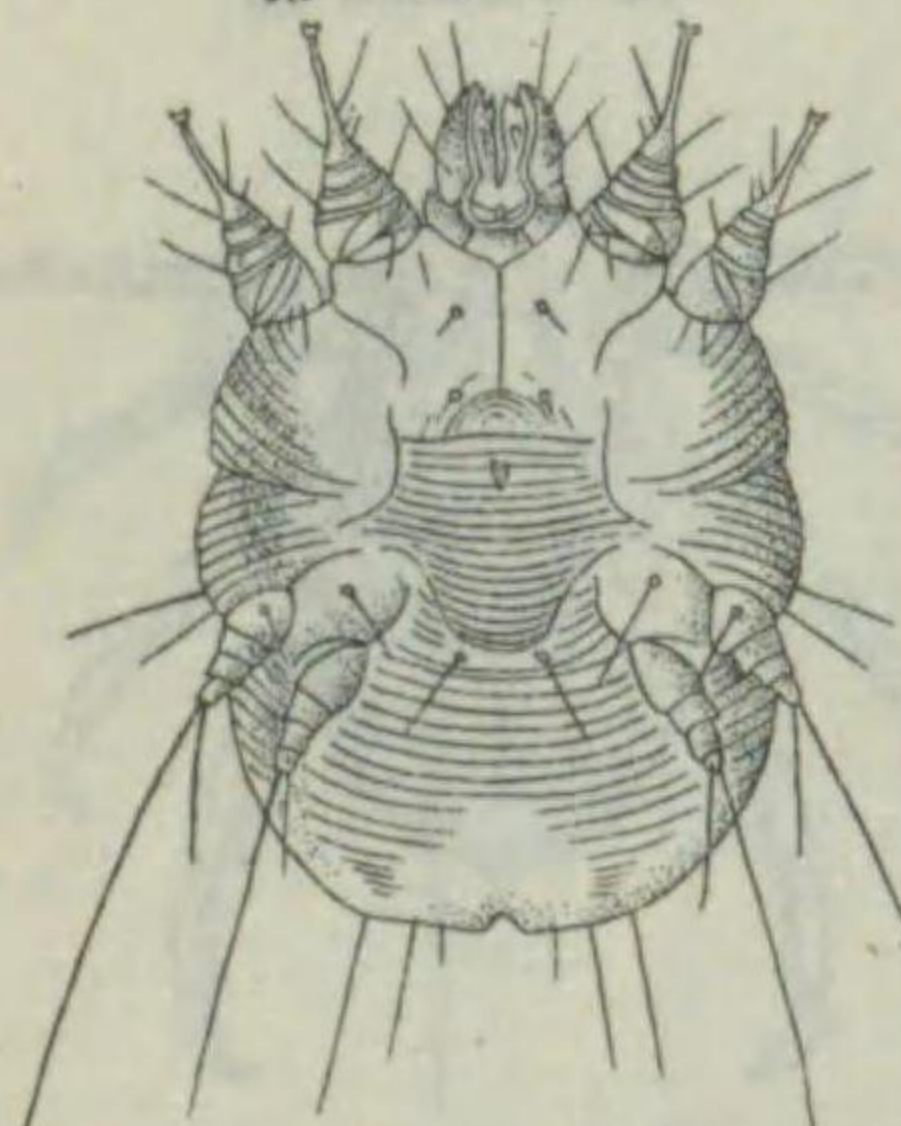


Glycyphagus sp.

胴長四〇〇ミニ達シ、體ハ狭長ニシテ、胴ニハ間溝アリ。前體部ニハ四對ノ毛ヲ有シ、後體部ニハ一一對アリ、肩ニ二對ノ長毛ヲ具ヘ、上顎ハ短ク、錯ヲ形成セリ。觸鬚ハ三節ヨリ成ル。小島ノ肉ニ集ル。

ヒゼンダニ (皮蟬蟬) ヒゼンダニ科

第二三六九圖



Sarcoptes scabiei.

體長雌ハ三〇〇—四五〇ミ、幅二五〇—三五〇ミニ達シ、雄ハ二〇〇—二四〇ミ、幅一五〇—二〇〇ミ内外ナリ。體ハ略卵形ヲ呈シ、胴部ニハ並行セル皺ヲ有シ、背面ニハ棘ヲ有ス。第一及第二歩脚ノ末端ニハ有柄ノ吸盤ヲ有スルモ、第三、第四脚ニハ之ヲ缺キ、長キ剛毛ヲ具フ。雌雄ニ依リテ多少形態ヲ異ニス。人類ノ皮膚ニ穿孔シ、疥癬蟲道ヲ作り皮下粘液層ニ達ス。世界各地ニ廣ク分布セリ。



第二三七〇圖

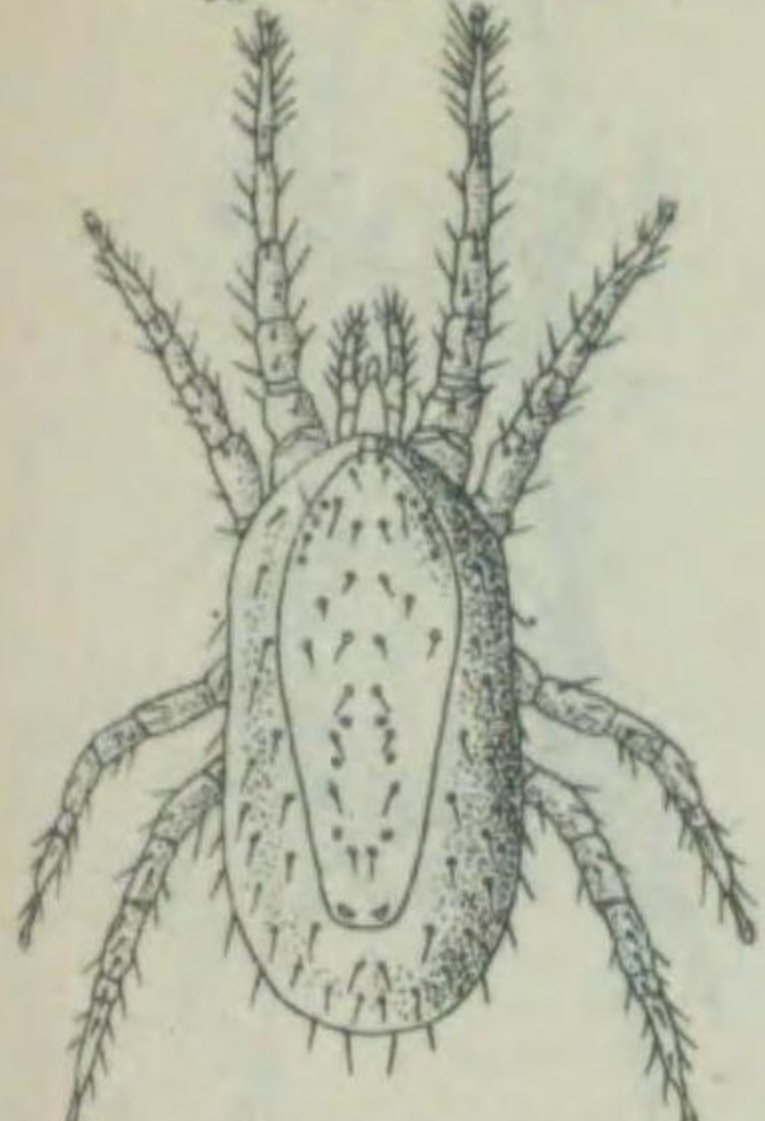


Demodex folliculorum.

ニキビダニ (面皰蟎)  
ニキビダニ科  
(異名) ニキビノムシ  
雌ハ體長四〇〇μ、雄ハ三〇〇μニ達ス。體ハ細長シ。頸體部ハ短廣ナリ。胴ノ前部ハ胸部ニシテ、腹面ニハ三節ヨリ成ル四對ノ步脚ヲ有セリ。卵生ナリ。人類ノ脂腺及ビ毛囊ニ寄生セルモ疾病ヲ起サズ。

ワクモ (鶏蟎) ワクモ科

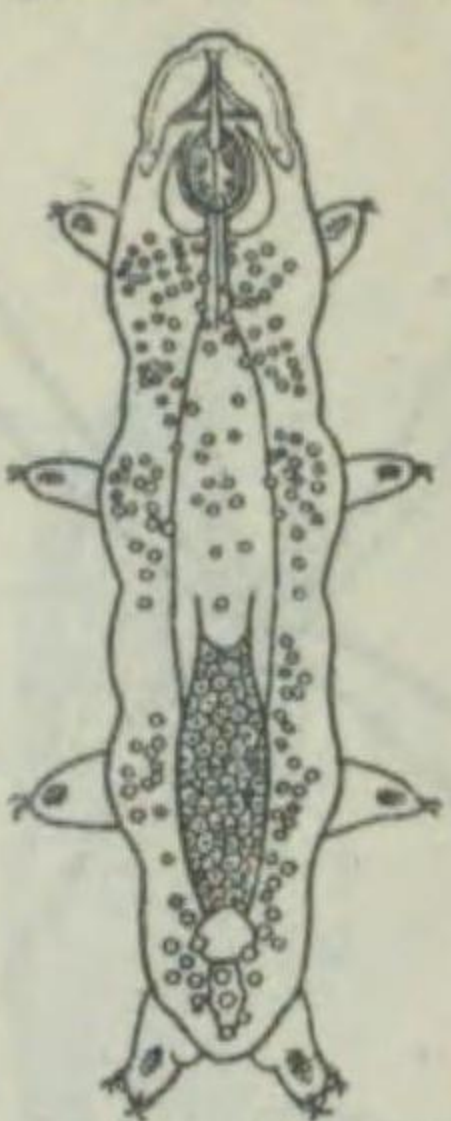
第二三七一圖



Dermanyssus gallinae.

體長雌ハ七〇〇μ、幅四〇〇μ、雄ハ六〇〇μ、幅三〇〇μ内外ニ達ス。背面ニハ大形ナル背甲ヲ有シ、肛門板ハ心臟形ヲ呈シ、後半ニ三本ノ毛ヲ有ス。雄ノ上顎ハ短ク、ソノ端ニハ鉗ヲ有セリ。世界ニ廣ク分布シ、主トシテ鶏ニ宿リ血ヲ吸ヒテ衰弱セシム。時ニ人類ヲ襲ヒ、一種ノ疾病ヲ起スト云フ。

第二三七四圖

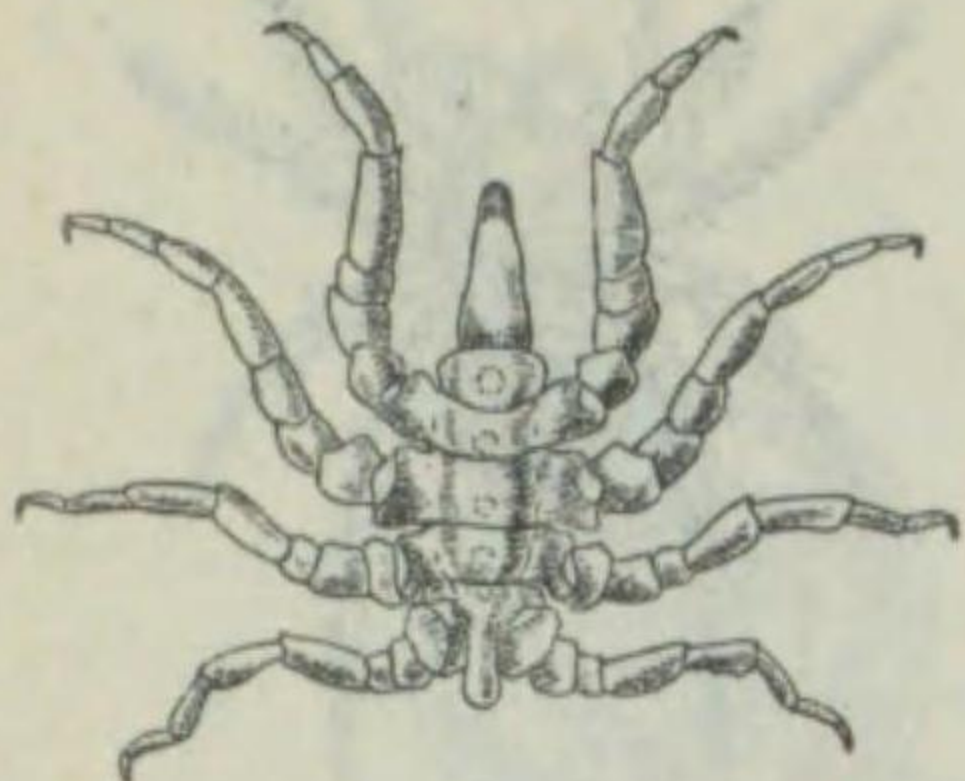


Macrobiotus intermedius.

クマムシ (腐鼠)  
クマムシ科  
體長二五〇μ内外ニ達シ、皮膚ハ透明ニシテ、薄ク、時ニ灰褐色ノ横帯アリ。體節ハナク、脚ハ四對ヲ有シ、先端ニY字形ニ分叉セル二對宛ノ爪ヲ有ス。消化管ハヨク發達セリ。濕地又ハ水中ニ棲息シ、廣ク各地ニ分布ス。

ユメムシ (夢蟲) ユメムシ科

第二三七五圖

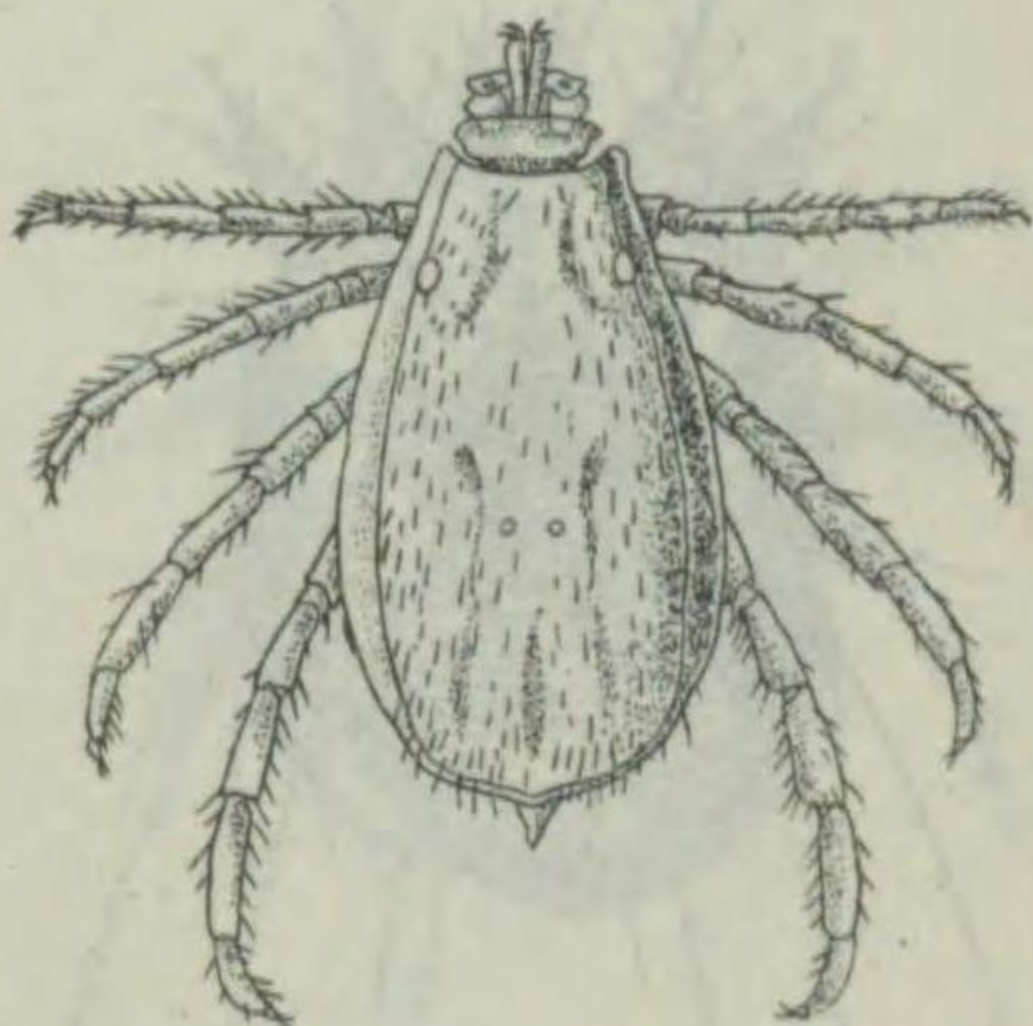


Pycnogonum tenue.

(異名) ウレグセ  
體長ハ吻ヲ加ヘテ一〇耗内外ニ達シ、眼丘ハ高ク、眼部ハ大形ナリ。吻ハ不動性ニシテ、擔脚肢及ビ觸鬚ヲ缺ク(擔脚肢ハ雌ニハ之ヲ有ス)。體色ハ暗褐色ヲ呈ス。本州南岸ヨリ、九州西岸ニ互リテ分布ス。

節足動物—蜘蛛類—緩歩類・皆脚類

第二三七二圖

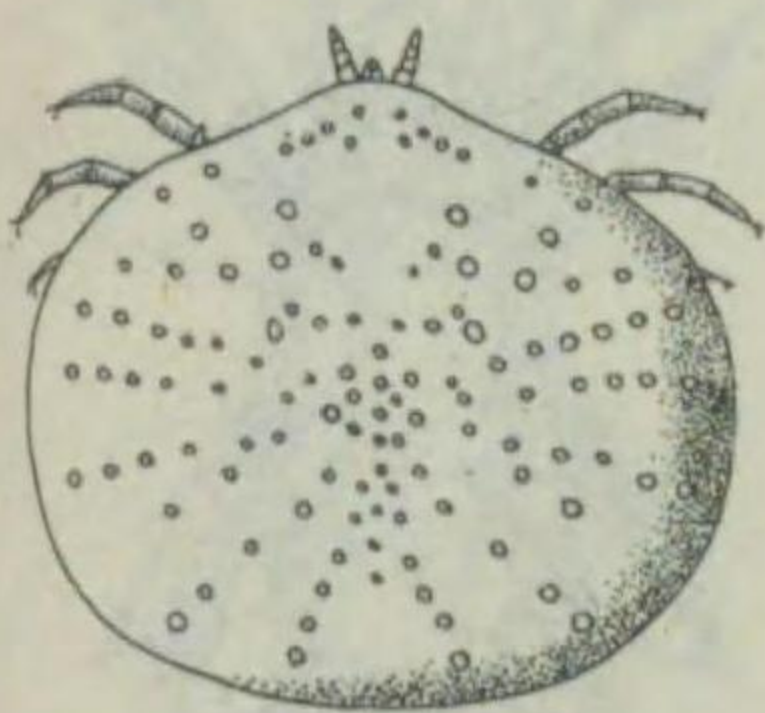


Boophilus caudatus.

ウシマダニ (牛壁蝨) マダニ科  
(異名) マダニ、グレイビー  
體長二耗内外ニ達シ、體ハ茄子狀ヲ呈シ、步脚ハ四對ヲ有ス。口器及ビ尾端ハ共ニ突出シテ顯著ナリ。單眼ハ一對アリテ、第二步脚ノ基部近クニ存ス。體色ハ赤褐色ヲ呈ス。南日本ニ分布セルモノニシテ牛、馬、鹿、雞、水牛等ニ寄生シ、吸血シタルモノハ五、六倍ニモ達ス。牛ニ於テハ「バベシア」病ノ病原體ヲ傳播ス。

ヒメダニ (姬蟎) ヒメダニ科

第二三七三圖

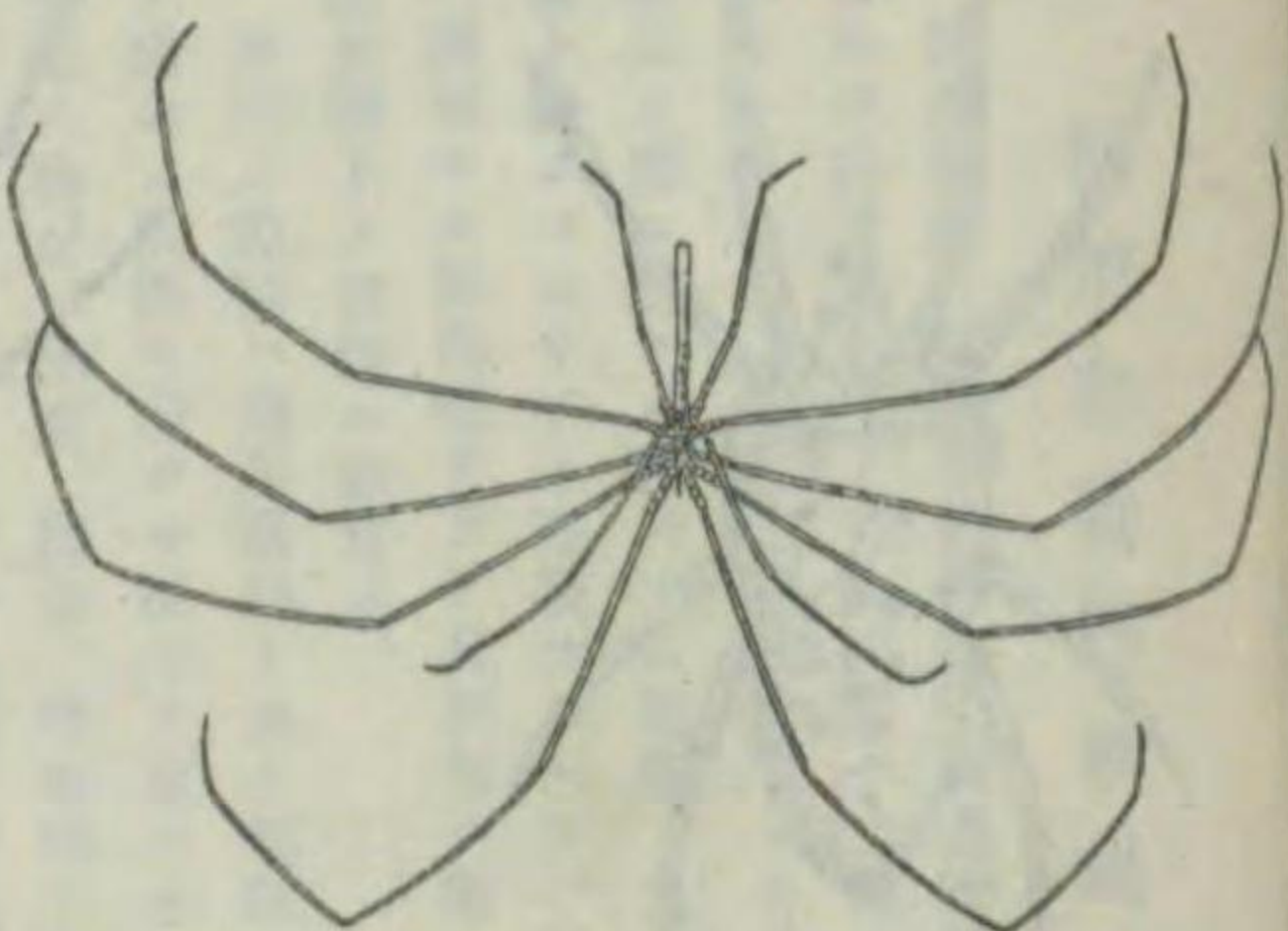


Argas vespertilionis.

體長七・五耗、幅九耗ニ達ス。體ハ黃楢圓形ヲ呈シ、背面ニハ小突起及ビ小坎多ク、頸體部及ビ步脚ハ殆ド背ヨリ見エズ。幼生ハ圓形ニシテ「クリーム」色ヲ呈シ、步脚三對ヲ有ス。本州以南臺灣ニ分布シカウモリ類ニ寄生ス。

ムギワラユメムシ (麥桿夢蟲) オホユメムシ科

第二三七六圖

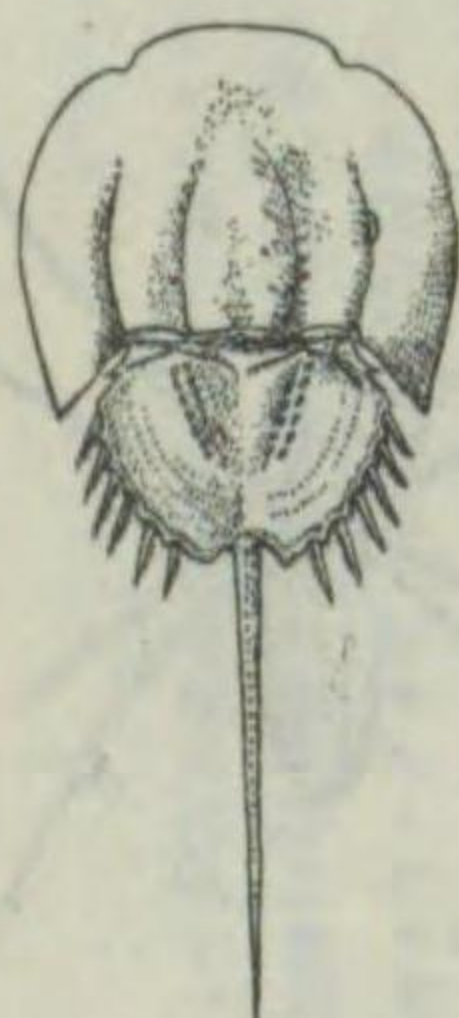


Colossendeis gigas.

吻ハ頗ル長大ニシテ、ソノ中央ハ稍々膨レ、體長ハ吻ヲ含ミ八五耗内外ニ達ス。擔脚肢ヲ缺キ、觸肢ハ細長ク、一〇節ヨリ成リ、擔脚肢モ亦細長ク、步脚ハ著シク長大ナリ。ゆめむし類中最大ノモノニシテ、太平洋ノ深所ニ棲息セリ。

カフトガニ (蟹魚) カフトガニ科

第二三七七圖

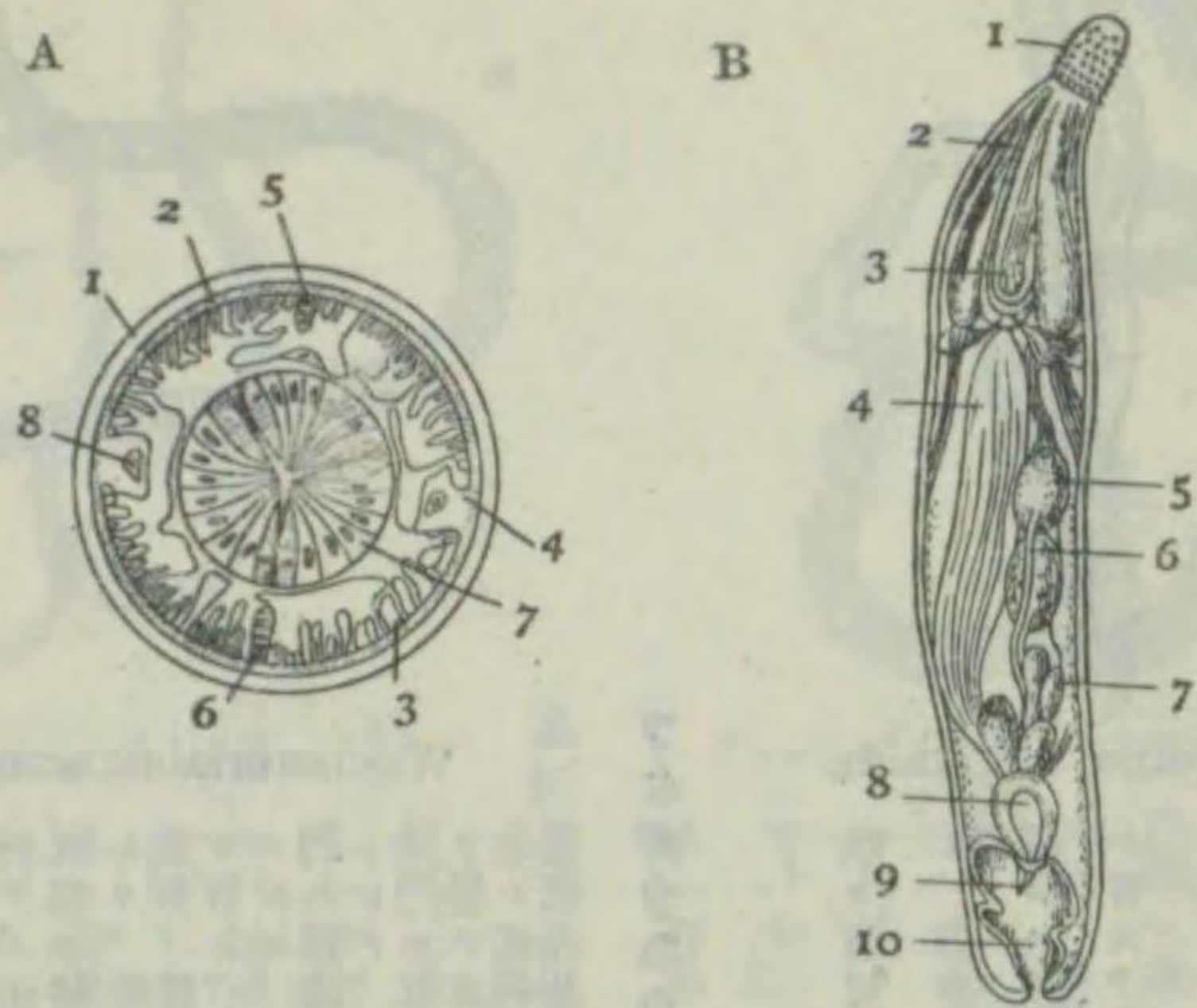


Tachypleus tridentatus.

體ハ半月形ノ頭胸部及ビ六角形ノ腹部、尾劍ヨリナル。雌ハ全長六〇〇耗内外ニシテ、腹線棘ハ後方ニ三對ガ短縮セリ。雄ハ全長五〇〇耗ニ達シ、胸甲ノ前縁ニ雌ノ腹甲凸部ニ嵌入スル如キ凹部ヲ有シ、雌雄ハ春ヨリ秋マデ相重リテ交尾類似行爲ヲナス。體色ハ暗黄褐色ナリ。瀬戸内海及ビ九州西北岸ニ分布ス。味ハ佳ナラズ。甲殼ハ細工用ニ供セラル。

節足動物—蜘蛛類—皆脚類・劍尾目

第二三七八圖



A 蛔蟲ノ横斷圖

B 鈎頭蟲體制模型圖

- |        |   |         |       |        |
|--------|---|---------|-------|--------|
| 1 角    | 皮 | 5 背部正中線 | 1 吻   | 6 輪精管  |
| 2 角皮下層 |   | 6 腹部正中線 | 2 吻鞘  | 7 附屬線  |
| 3 筋細胞  |   | 7 食道    | 3 咽   | 8 射精管  |
| 4 側線   |   | 8 排泄管   | 4 收縮筋 | 9 陰莖   |
|        |   |         | 5 精巢  | 10 交尾囊 |

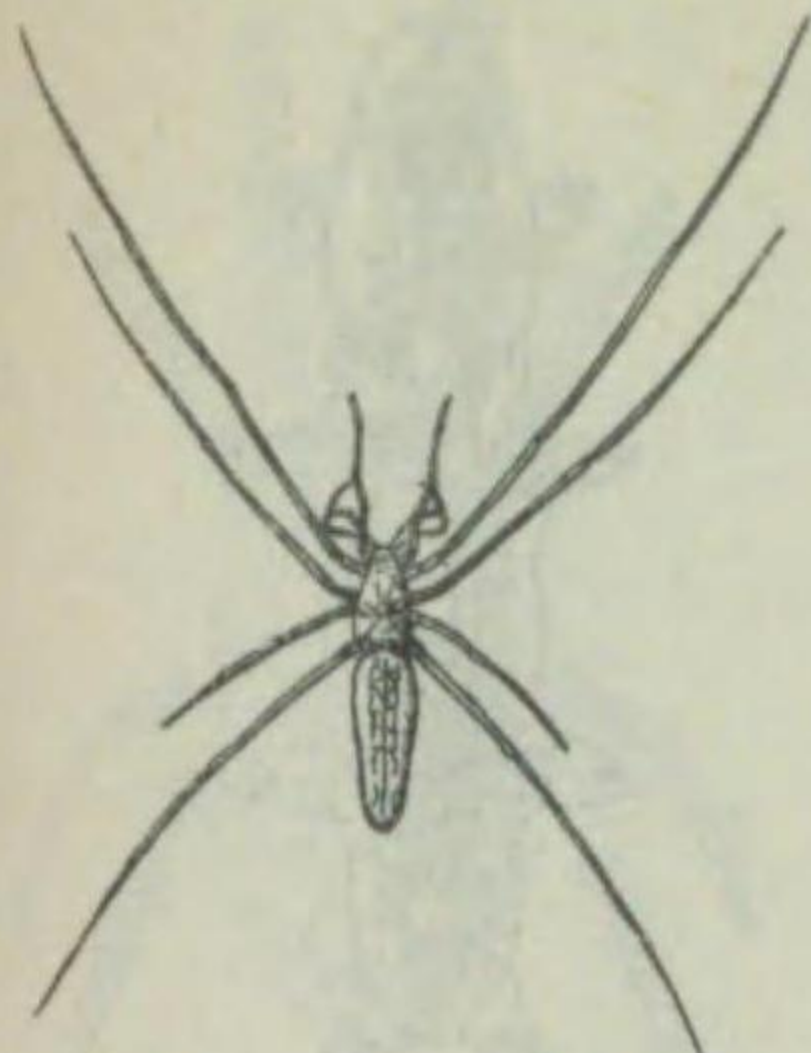
圓形動物門概説

圓形動物ハ又線形動物或ハ線蟲動物トモ稱シ、自由生活ヲナスモノ或ハ寄生生活ヲ營ムモノアリ。體ハ一般ニ線狀ニシテ横斷面ハ圓形ヲナシ、體面ニハ厚キ「コルネイン」層發達セリ。コレ寄生生活ニ適應セル結果ニシテ宿主ノ體ニ於ケル種々ナル危險、又ハ變化多キ困難ナル環境ニ抵抗スル必要上缺クベカラザル形質ナルベシ。表皮ハ此層ノ下ニ位シ、表皮ノ内側ニハ發達セル筋肉層アリテ其内部ニ著シキ腔所アリ。此腔ハ原體腔ト稱シ、發生學上ノ割腔ニ相當ス。

本門ノ動物ハ節足動物ト共ニ無纖毛ノ動物ニ屬ス(僅少ノ例外アリ)。即チ發生ノ段階ニ於テモ纖毛ヲ有スルコトナシ。元來纖毛ナルモノハ動物ノ習性ニ應ジ、運動、捕食、呼吸等ニ關シ、重要ナル官能ヲ爲スベキモノナルモ、其之ヲ有セザルハ退化ノ結果ナルベシ。

本門動物ハ之ヲ分チテ線蟲類、針金蟲類、鈎頭蟲類ノ三綱トスレドモ、元ヨリ系統的類縁關係ノ存スルニアラズ。唯體ノ圓形ナルト、大部分ノモノハ其一生或ハ或ル時代ニ限リ寄生生活ヲ營ム等ノ共通點ニヨリ一群トセラレシニ過ギズ。一般ニ雌雄異體ニシテ幼蟲、成蟲ニヨリ宿主ヲ異ニスルモノ多シ。

補遺第一〇圖



*Tetragnatha praedonia.*  
アシナガクモ (脚長蛛、肢長蜘蛛)  
コガネクモ科  
背甲ハ細長ク、低平ニシテ、頸溝及ビ中高ハ大キク深シ。上下兩側ハ巨大ニシテ開キ、前方ニ突出シ、上顎ニハ數多ノ齒及ビ大牙ヲ有ス。歩脚ハ頗ル狭長ニシテ、第二對ハ第四對ヨリ長シ。腹部ハ長柱狀ニシテ、蛛疣ハ後端ニ位ス。腹部ハ黄白色ニシテ、淡黒色ノ網目ヲ具ヘ、牙ハ赤褐色、蛛疣ハ黄褐色ヲ呈セリ。疎ナル網ヲ張りテ昆蟲ヲ捕フ。本州、四國、九州ニ分布ス。

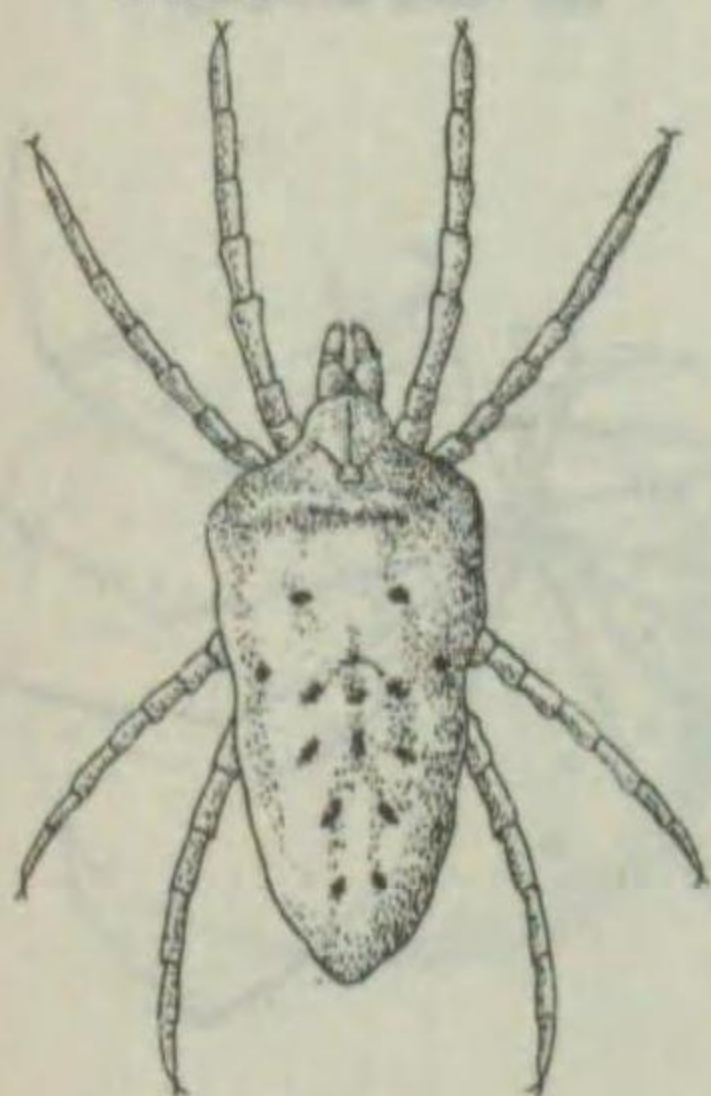
補遺第九圖



*Heptathela kimurai.*  
キムラクモ (木村蜘蛛)  
キムラクモ科  
腹部背面ニ一ニ個ノ背板ヲ具ヘ、腹面ニモ亦同數ノ腹板ヲ有ス。蛛疣七個ニシテ、雌ニテハ腹面ノ中央ニ之ヲ有シ、肛門ハ遙カ後方ニ位セリ。雄ハ腹面ニ環節ヲ有セル事雌同様ナルドモ、觸肢端稍々膨ル、ノミニテ、精子束ヲ容ル、球狀體ヲ形成セズ。コレ本種ガ他種ト異レル最モ著シキ處ナリトス。

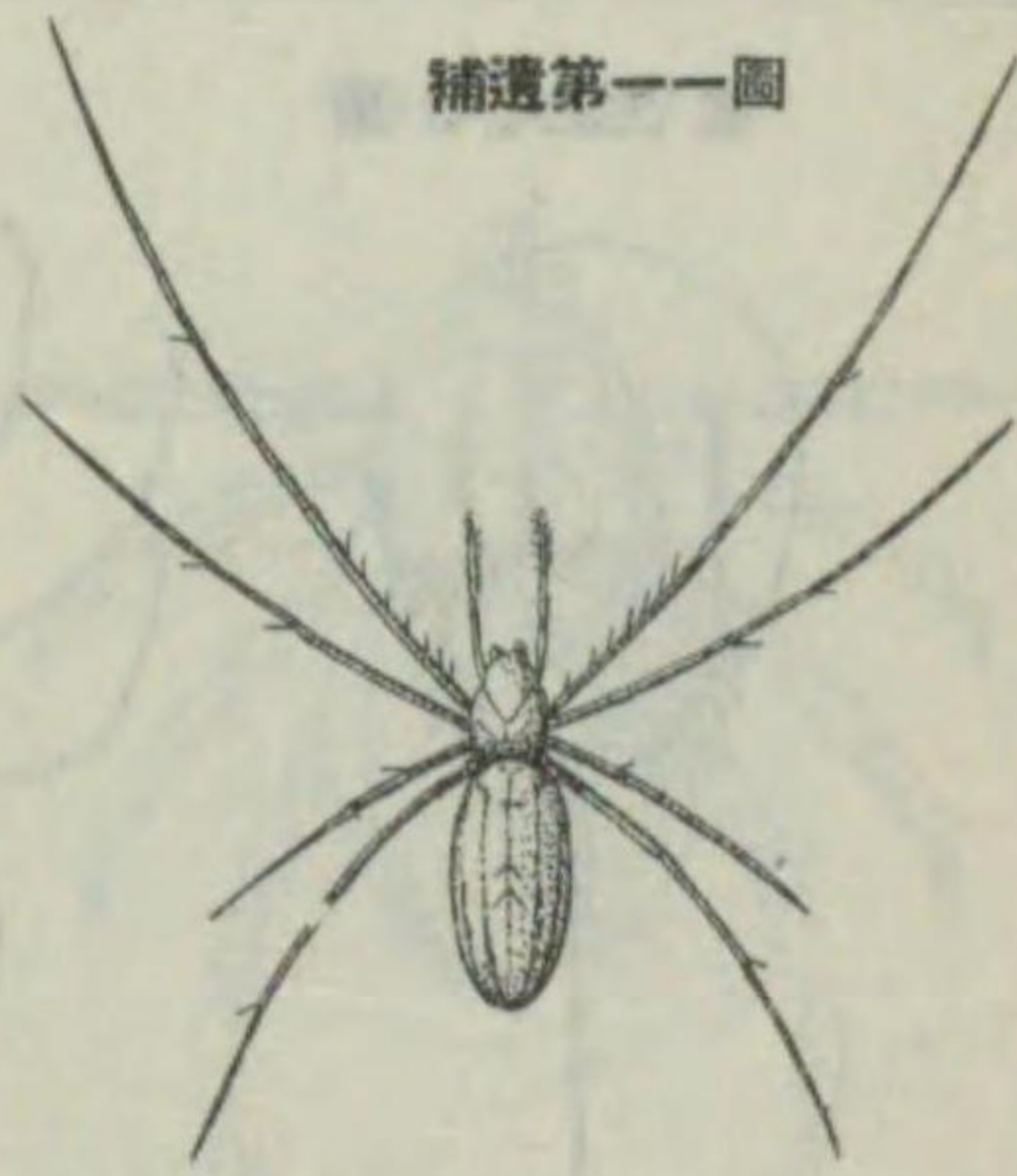
本種ハ木村有香氏ノ發見ニカ、リ、岸田久吉氏ノ命名セラレタルモノナリ。九州、沖繩等ニ分布ス。

補遺第一二圖



*Microthrombidium globiferum.*  
ナガケタニ (長毛蟬)  
ケタニ科  
體ハ前方ニ急ニ細ク、後方ニ徐々ニ細マレリ。前體部ニハ溝ヲ有シ、ソノ後端近ク二本ノ感覺剛毛ヲ有ス。眼ハ二對アリ。歩脚ハ前後左右ノ四箇所ニ分レ、ソノ先端ニハ各二本ノ爪ヲ具フ。吸盤ハ之ヲ有セズ。胴長三耗、幅一・五耗内外ニ達ス。體色ハ黄紅色ナリ。原野ニ多ク、本州、四國、九州ニ分布ス。

補遺第一一圖



*Leucauge blanda.*  
シロガネクモ (銀蛛)  
コガネクモ科  
體ハ稍長ク、體長一〇耗内外ニ達ス。頭胸部ハ黄褐色ヲ呈シ、附屬肢ノ先端部ハ淡黒色ナリ。腹部上面及ビ側面上半ハ銀色ニシテ、上面ニハ暗褐色ノ三條、各側面ニ一本ノ縱條ヲ具フ。腹部下面ハ暗褐色地ニ二本ノ銀條アリ。山地、溪間ニ多ク、本州、四國、九州ニ分布ス。

第二三八四圖

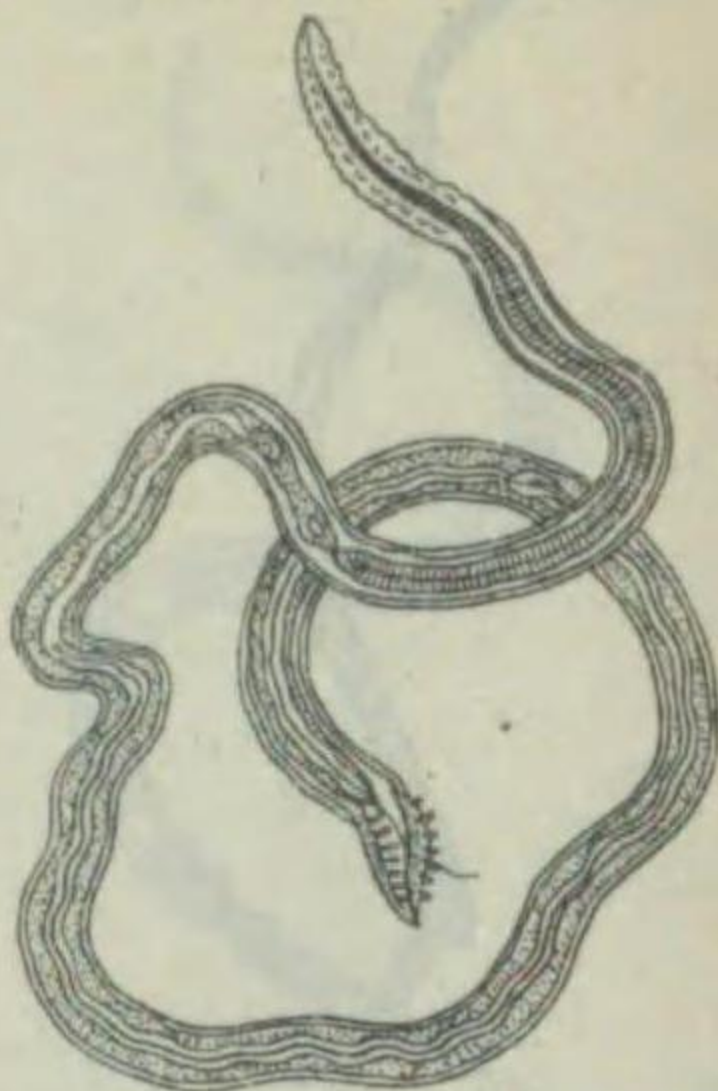


*Spiroptera salvelina.*

體ハ細長ク、前後兩端ハ狭小ニシテ、尾端ハ稍鈍圓ナリ。體表ニハ横縐ヲ有シ、前後端ハ殊ニ著シ。雌ハ體長六耗内外ニシテ尾翼ヲ有シ、交接刺ハ不等ナリ。雌ハ體長八耗内外ニシテ、陰門ハ中央ヨリ稍々後方ニ開キ、子宮ハ前後ニ向ヒテ長大ナリ。鱗ノ腸ニ寄生ス。

スピロプテラ・サルヴェリナ  
スピルラ科

第二三八三圖



*Gongylonema scutatatum.*

體ハ細長ク、絲狀ヲ呈シ、前後端ハ狭小ナリ。雌ハ體長三〇乃至五〇耗ニ達シ、尾部一側ニ曲レルヲ以テ、翼膜ハ不相稱ナリ。雌ハ體長八〇乃至一〇〇耗ニ達シ、陰門ハ尾端ヨリ四乃至五耗ノ處ニ開ケリ。牛、羊、山羊ノ食道、咽頭、第一胃等ニ見出サル。

ゴングイロネマ・スクタタム  
スピルラ科

第二三八六圖

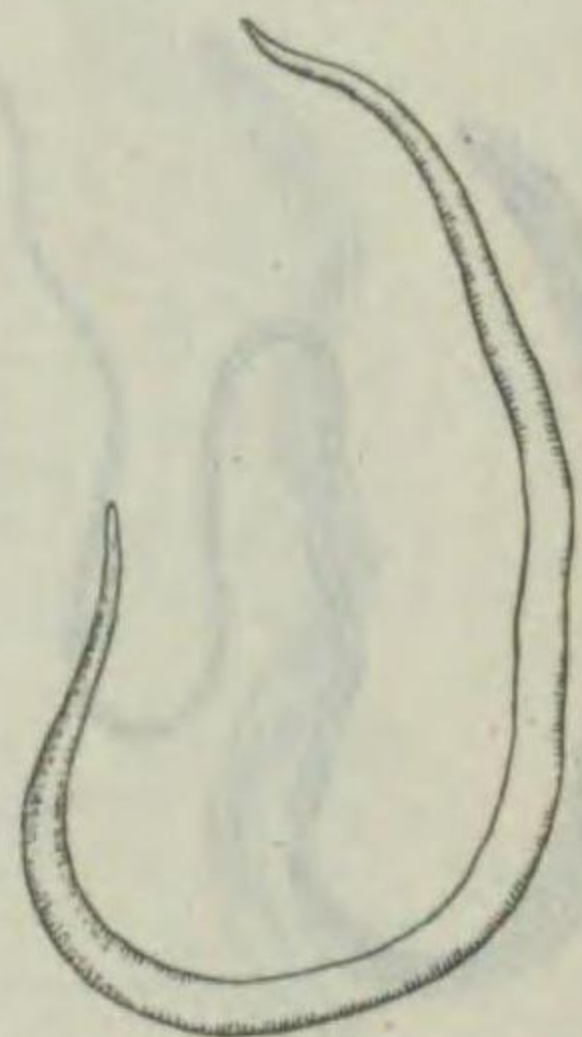


*Enterobius vermicularis.*

體ハ乳白色ヲ呈シ、體輪ヲ有シ、前後兩端ハ尖レリ。雌ハ體長三乃至五耗ニシテ、尾部比較的太ク、鈍圓ニシテ捲曲シ、交接刺ハ一箇ヲ有ス。雌ハ體長一〇耗ニ達シ、尾端ハ狭小ナリ。陰門ハ體前方三分ノ一ノ處ニ開ケリ。人體ノ殊ニ小兒ノ盲腸ニ寄生シ、成長スルニ及ビ大腸ニ至リ、夜間ニ至リテ肛門ヨリ這ヒ出シ、ソノ周圍ヲ這ヒ廻リ、不快ナル感ヲ與フ。糞便内若シクハ肛門ノ周圍ニ産卵ス。

ゲウチユウ (蟯蟲)  
ゲウチユウ科

第二三八五圖



*Ascaris lumbricoides.*

體ハ線狀ヲナシ、前後兩端ハ狭小ナリ。雌ハ體長一五〇乃至二五〇耗ニ達シ、尾部ハ圓錐狀ヲナシ、少シク捲曲ス。尾翼ヲ缺キ、交接刺ハ等長ニシテ翼ヲ有セズ。雌ハ體長二〇〇乃至三〇〇耗ニ達シ、尾端ハ圓錐狀ヲナシ、眞直ナリ。陰門ハ體前方約三分ノ一ノ處ニ開ケリ。卵ハ宿主ノ口ヨリ入り、腸内ニテ幼蟲トナリ、腸壁ヲ貫キテ肝臓ニ至リ、血液ニ混リ心臓ヨリ肺ニ送ラレ、肺ニ止リ再ビ胃腸ニ達シ成長ス。人體ニ寄生ス。

クワイチユウ (蛔蟲)  
クワイチユウ科

第二三八〇圖

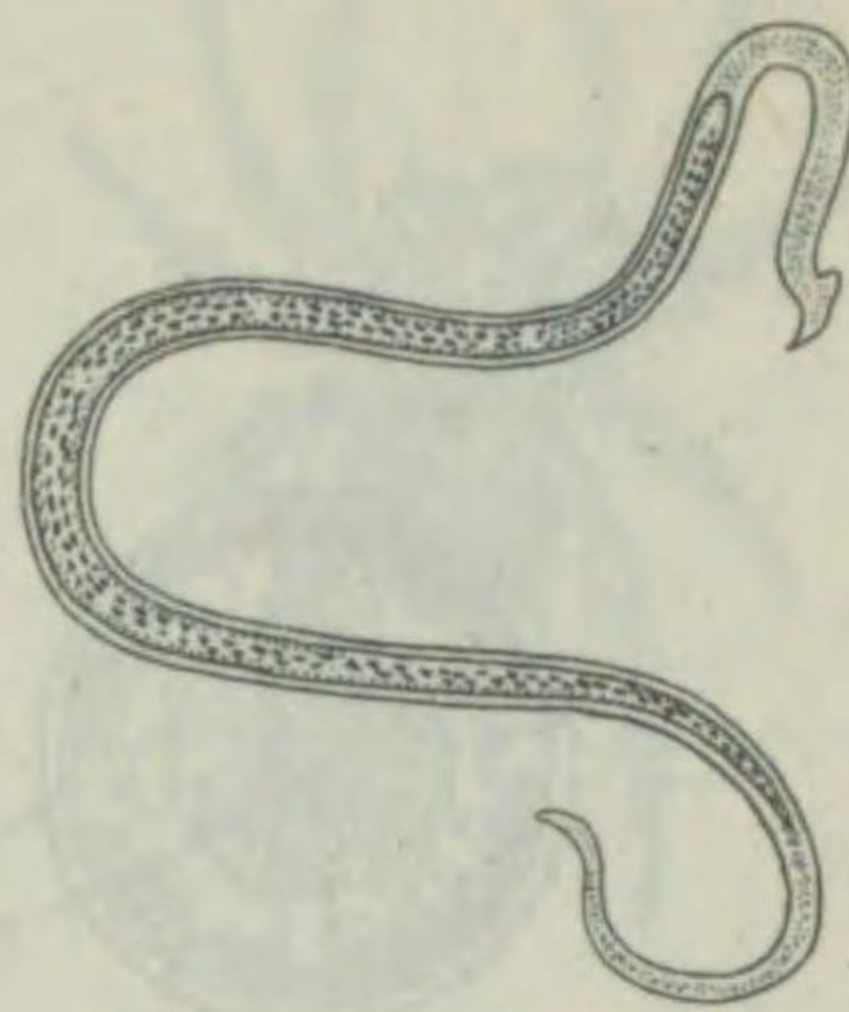


*Gnathostoma hispidum.*

體ハ圓筒狀ヲナシ、鱗刺ニテ被ハレ、前方ノモノハ節狀ヲ呈ス。頭端ニハ球狀部アリテ、表面ニハ刺ヲ有ス。雌ハ體長一五乃至二五耗ニ達シ、後端ハ球形ノ囊ヲ呈ス。雌ハ體長二〇乃至三〇耗ニ達シ、後端ハ圓錐狀ヲナシ狭小ナリ。豚ノ胃ニ寄生ス。

グナトストマ科  
フタガクコウチユウ (豚顎口蟲)

第二三七九圖



*Wuchereria bancrofti.*

體ハ細長ク毛髮狀ヲ呈シ、前方ニ狭ク、頭端ハ再び稍々擴大シ、頭部ハ特ニ細ク、尾端ハ鈍圓ニ終レリ。雌ハ體長四〇耗内外ニシテ、後端ハ腹側ニ捲曲シ、尾翼ヲ有ス。雌ハ體長七〇乃至九〇耗ニシテ、白色或ハ褐色ヲ呈ス。陰門ハ頭端ニ近キ腹面ニ開キ、胎生ニシテ、卵子ハ子宮内ニ存シ、陰門ニ近ク多數ノ仔蟲ヲ有セリ。人體ノ血管、淋巴管、淋巴線ニ寄生シ疾病ヲ起ス。本邦ニテハ沖縄南部九州ニ分布セリ。

ジユウケツシジョウチユウ  
(住血絲狀蟲) フイラリア科  
(異名) パンクロフトシジョウチユウ

第二三八二圖



*Cystidicola fujii.*

體ハ纖細ニシテ絲狀ヲ呈シ、前後ニ狭小ナリ。口腔ハ漏斗狀ヲ呈ス。雌ハ體長七乃至九耗ニ達シ、尾部ハ捲曲セリ。雌ハ體長八乃至二〇耗ニ達シ、陰門ハ體ノ中央ヨリ稍々後方ニ開キ、子宮ハ著シク大形ナリ。鱗ノ腸ニ寄生ス。

テラティア科  
キステイデイコラ・フジイ

第二三八一圖



*Gnathostoma spinigerum.*

體ハ圓筒狀ヲナシ、前方二分ノ一乃至三分ノ二ハ刺ニテ被ハレ、頭部ニハ八乃至一〇列ノ鈎刺ヲ有ス。雌ハ體長二〇乃至二五耗ニ達シ、尾端ハ捲曲セリ。雌ハ體長二二乃至三〇耗内外ニ達シ、後端ハ圓錐狀ニシテ、陰門ハ中央附近ニ開ケリ。犬、猫、鼠鼯等ニ寄生シ、往々之ヲ仆スコトアリ、又時ニ人體ニモ見出スコトアリト云フ。

グナトストマ・スピニゲルム  
グナトストマ科

第二三八七圖



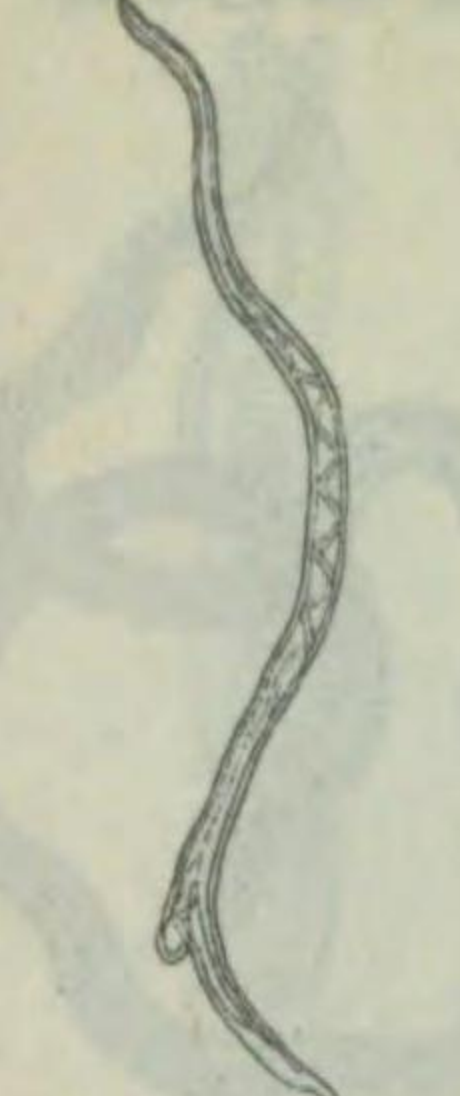
Dioctophyme renale.

體ハ線狀ヲ呈シ、大形ニシテ、先端細ク、後端ハ截斷狀ヲ呈シ、紅色ヲ呈ス。雄ハ體長一五〇乃至四〇〇トシテ、尾端ニハ交接囊ヲ有シ、交接刺ハ一箇ノ内ヨリ出ズ。雌ハ體長二〇〇乃至一〇〇〇トシテ、尾端ハ鈍圓ニシテ、陰門ハ前端近クニ開キ、卵巢ハ一箇ナリ。犬、狼、牛、馬等ノ泌尿器ヲ犯シ、往々人體ニモ見出サル。

ジンチユウ (腎蟲)

デオクトフイメ科

第二三八八圖



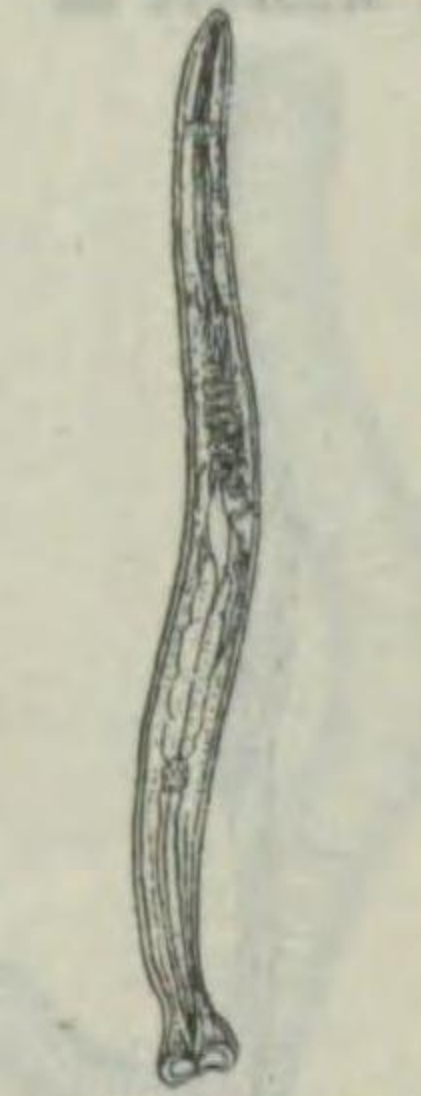
Haemonchus contortus.

體ハ細長ク、黃色乃至赤褐色ヲ呈シ、頭ハ比較的大形ナリ。雄ハ體長一〇乃至二〇トシテ、交接囊ノ稍々前方ハ最も廣ク、ソレヨリ前方ニ狭小ナリ。交接刺ハ短小ニシテ、末端ニ結節アリ。雌ハ體長一八乃至三〇トシテ、陰門ハ前方ニ開キ、舌狀突起ニヨリテ被ハセリ。子宮ハ常ニ腸管ノ周圍ニ旋回セリ。牛、羊、山羊、水牛等ノ第四胃ニ寄生ス。

センクワイエンチユウ

(旋回圓蟲)モウヨウセンチユウ科 (異名)ネンチエンチユウ (毛刺四頭)

第二三八九圖



Ancylostoma duodenale.

體ハ半透明ニシテ肉色ヲ呈シ、僅カニ彎曲セリ。口ハ稍々背側ニ向リ。雌ハ體長九ト本ノ銳キ齒鈎ヲ有シ、交接囊ヲ有シ、交接囊ハ三分タレ側葉ヨリ發達セリ。交接刺ハ二箇共同長ナリ。雌ハ體長二トシテ、尾端ハ圓錐狀ヲ呈セリ。陰門ハ體ノ中央ヨリ稍々後方ニ開ク。人體ノ小腸ノ上部腔腸ニ寄生シ、時ニ重症及ビ皮膚癢感ヲ起シ、徑口ノ感染及ビ皮膚ニ入ル。二徑路ヲトリテ體内ニ入ル。

ジフニシチャウチユウ

(十二指腸蟲)

ジフニシチャウチユウ科

ベンチユウ (鞭蟲)

トゥリクリス科

第二三九〇圖



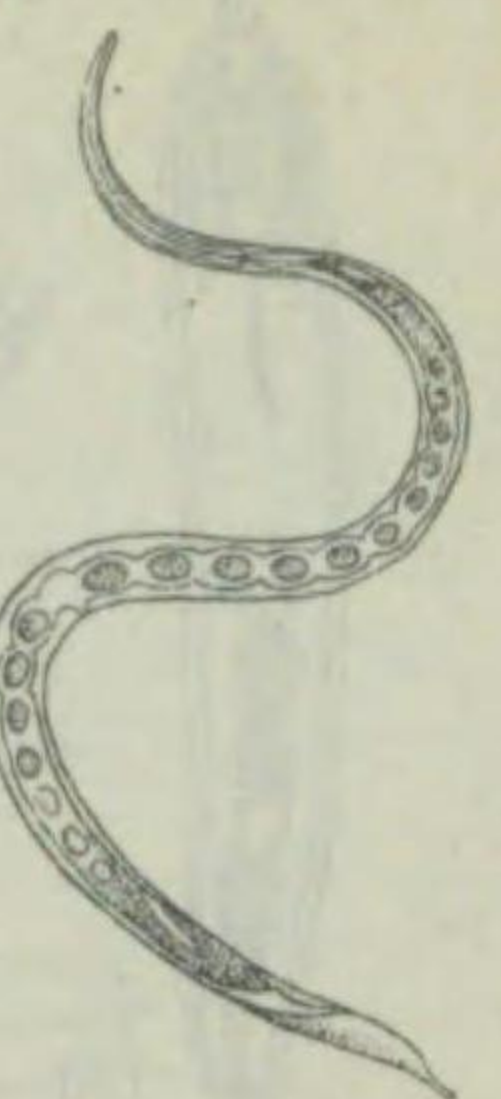
Trichuris trichiura.

體ハ前方著シク細長ク、絲狀ヲ呈シ、後部ハ急ニ太クナリテ、内部ニ生殖器ヲ藏ス。雄ハ體長四〇乃至四五トシテ、尾端ハ背側ニ彎曲シ、先端ニ交接刺ヲ出シ、交接囊ヲ有ス。雌ハ體長四〇乃至五〇トシテ、尾端ハ僅カニ彎曲セリ。陰門ハ前方ノ境ニ開ケリ。寄生シ、動物ノ大腸ニ寄生ス。人體ノ大腸ニ寄生ス。寄生率大ナルモノニシテ、多數ノ人ニ見出サル。大害ヲ與ス。偶々貧血症等ヲ起コトアリ。最も普通ナルモ

アングイルラ・アケテ

ウナギムシ科

第二三九一圖



Strongyloides stercoralis.

體ハ絲狀ヲ呈シ、後端ニ近キ部分ヨリ前方ニ次第ニ狭小ニシテ、後端ハ稍々急ニ細狭ナリ。口ハ前端ニ開キ、陰門後方ヨリ三分ノ一ノ處ニアリ、子宮ハ二箇ニシテ、前後ニ分タル。寄生生代ノ雌ハ體長二トシテ、尾端ニ微細ナル體輪ヲ有セリ。人體ヘノ感染徑路ハ主トシテ皮膚ヨリ穿入スルモノナリ。腸内ニ寄生シ、腸壁粘膜内ニ穿入シテ生活ス。

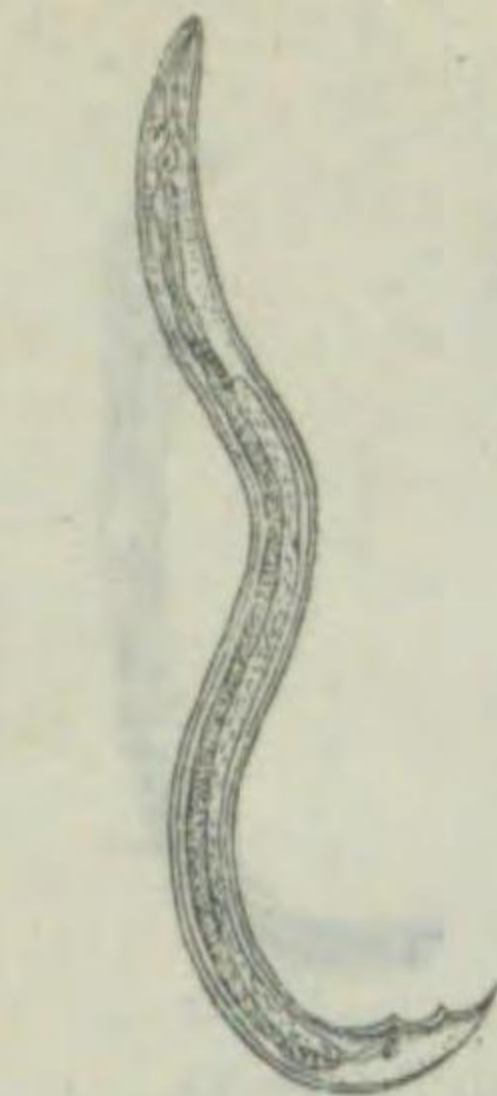
ストロンギロイデス

ラブディアスコ

ラブディアス・ホミニス

ウナギムシ科

第二三九二圖



Rhabditis hominis.

體ハ圓筒狀ヲ呈シ、後部延長セズ。雄ハ體長〇・九乃至一・二トシテ、後端ニ近ク翼狀ヲナセル交接囊アリ。其後方ハ急ニ狭小ニシテ、交接刺ハ二箇アリテ同形、他ニ一箇ノ副刺ヲ具フ。雌ハ體長一・五トシテ、微細ナル體輪ヲ有ス。尾部ハ稍々狭ク長シ。陰門ハ稍々中央ニ開キ、子宮及ビ卵巢ハ對テナシテ前後ニ分タル。人ノ腸内ニ寄生ス。

圓形動物—線蟲類—真線蟲目

第二三九三圖



Anguillula aceti.

體ハ圓筒狀ヲ呈シ、尾部ハ著シク細長ク、體輪ヲ見ズ。雄ハ體長一・三乃至一・四五トシテ、交接刺ハ同長ニシテ稍々彎曲シ、學九ハ前中央ヨリ稍々前方ニアリ。雌ハ體長一乃至一・四トシテ、陰門ハ體ノ中央ヨリ稍々後方ニ開キ、子宮及ビ卵巢ハ二箇ニシテ、前後ニ分ル。稀ニ人體ニ見出サル。

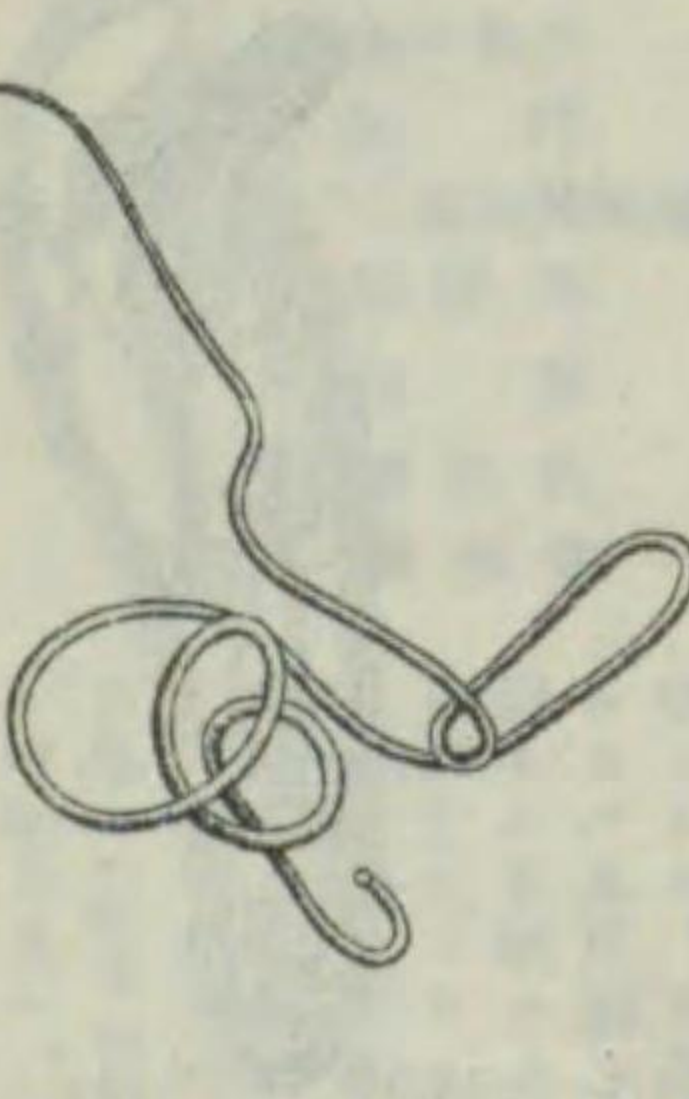
アングイルラ・アケテ

ウナギムシ科

ハリガネムシ (針金蟲)

コルデイウス科

第二三九四圖

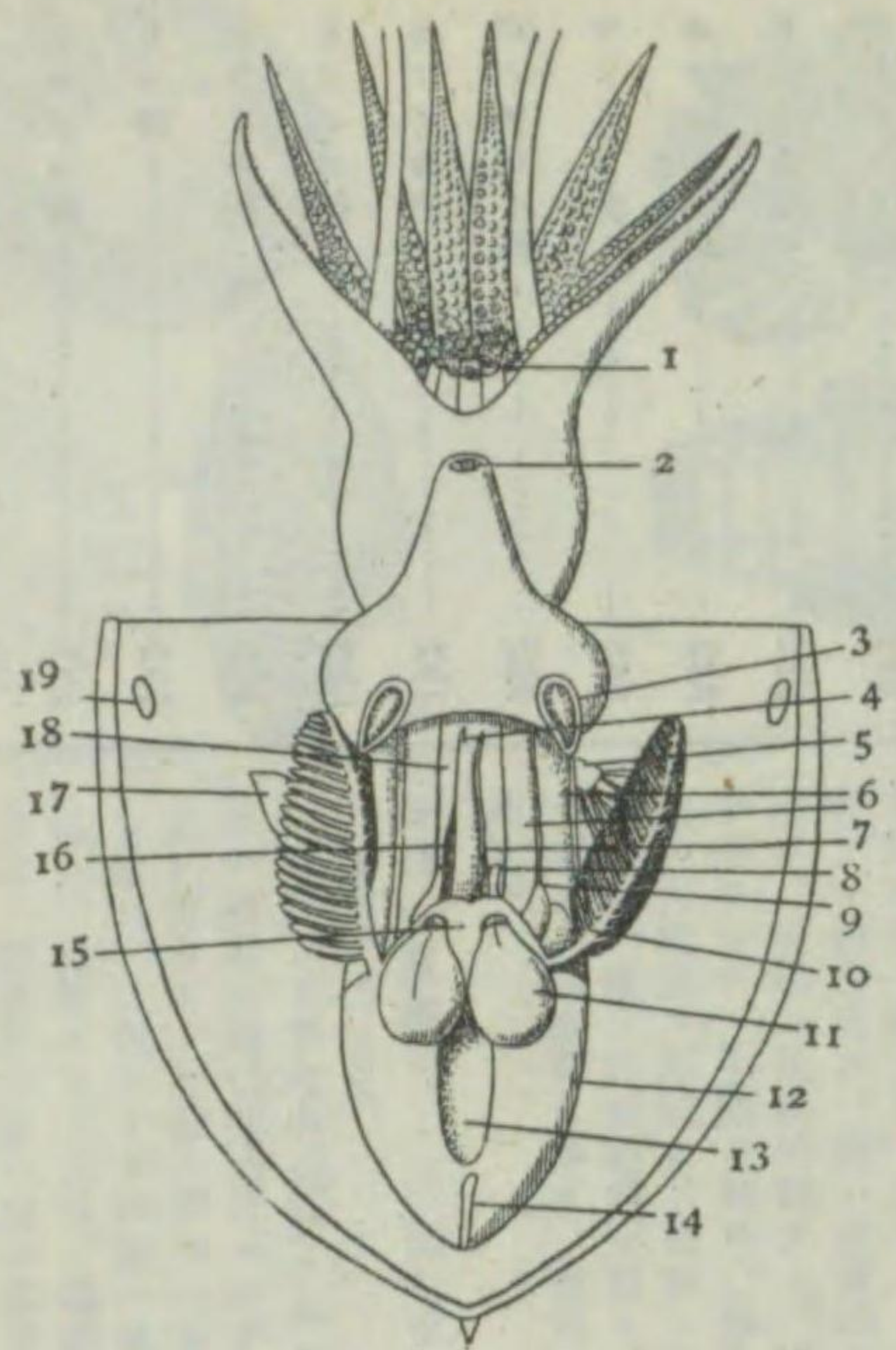


Gordius aquaticus.

體ハ線狀ヲ呈シ、表面ニハ網狀ノ刻紋ヲ有シ、微毛狀ノ突起ヲ有セリ。體長九〇〇トシテ、口ハ前端ニ、肛門ハ後端ニ開ケリ。雌ハ尾端ハ又狀ニ分レ、尾翼ヲ具ヘ、雌ノ後端ハ鈍圓ナリ。成體ハ水中ニテ自在生活ヲナスモ、終結宿主ヲかまきリトナシ、中間宿主ハ淡水産ノカゲラウノ幼蟲ニ求ム。

圓形動物—線蟲類—真線蟲目・ゴルディアケア目 六二三

第二三九九圖



まいかの解剖圖

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 口      | 11 繆卵腺    |
| 2 漏斗     | 12 卵巢     |
| 3 漏斗軟骨   | 13 墨汁囊    |
| 4 肛門     | 14 靱帶     |
| 5 左星狀神經節 | 15 副繆卵巢   |
| 6 頸筋肉    | 16 墨汁管    |
| 7 直腸     | 17 鰓外套膜=附 |
| 8 排泄孔    | 18 肝臟     |
| 9 輸卵管    | 19 外套膜軟骨  |

頭足類概説

本類ハ皆海産ニシテ左右相稱ヲナシ、特殊ノ發達ヲ遂ゲタル頭ト之ニ續ケル頸及胴トヲ具ヘ頭部ノ前部ニ口ヲ開キ、口ヲ圍ミテ腕狀ノ足アリ、足ニハ數多ノ吸盤ヲ有ス。頸ノ腹面ニ存スル漏斗ハ此類ニ特有ナル器官ニシテ、足ノ後部ノ變形シタルモノト看做サレ、其發生ニ當リ左右相合シテ一本ノ管トナリタルモノナリ。其先端附近ニ辨膜又ハ括約筋ヲ具ヘテ、水ノ外套腔ヘ逆流スルヲ防グノ用ヲナス。而シテ外套膜ノ收縮弛緩ノ交互作用ニヨリテ水ハ漏斗ヲ通ジテ外套腔内ニ出入シ、以テ鰓ヲ洗ヒテ呼吸作用ヲ營マシム。又外套腔内ヨリ烈シク水ヲ流出セシムレバ其反動ニヨリテ速ニ游泳スルヲ得。故ニ漏斗ハ本類ニトリテハ呼吸及運動ノ爲ニ重要ナル器官ナリトイフベシ。外套腔内ニハ鰓ノ他ニ排泄孔、生殖孔、及ビ肛門ヲ開ケリ。殻ハ缺如セルカ又ハ發育不完全ニシテ、外套膜内或ハ其ノ外部ニ存スレドモ時トシテヨク發達セシモノヲ具フ(あうむがひ)。消化器ハ口ニ始リ強壯ナル咽頭ヲ具ヘ、食道、胃、腸ヲ經テ漏斗ノ後方ニ開ケル肛門ニ終ル。此類ハ墨汁囊ト稱スル特殊ノ器官ヲ有シ、墨汁管ニヨリテ肛門ニ近ク直腸ニ連リ、墨汁ヲ放出シテ、身ヲ暗マスコトヲ得。

第二三九六圖



Echinorhynchus kushiroensis.

體ハ細長ク、後方ハ稍々狭ク、皮膚ニハ皺ヲ有シ、後端ハ鈍圓狀ヲナセリ。吻ハ短ク八箇ヨリナル二四箇列ヲ有ス。雄ハ體長一〇耗ニ達シ、♀ハ二箇體ノ中央ニ前後シテ存シ、雌ハ九耗ニ達シ、生殖器ハ體ノ後端ニアリ。鰓ノ腸ニ見出サル。

エキノリンクス科

第二三九五圖



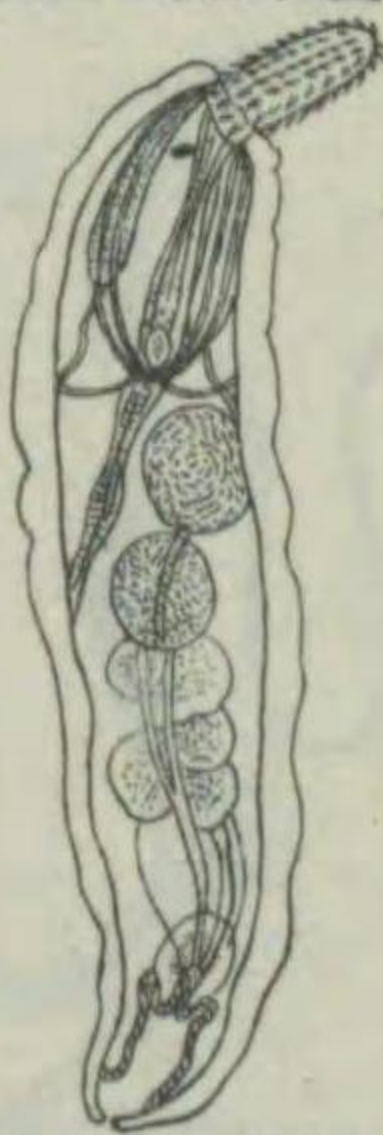
Echinorhynchus gadi.

體ハ細長ク後方ニ細マリ、後端ハ鈍圓狀ヲ呈セリ。吻ハ圓柱形ニシテ二四箇ヨリ成レル一八箇列ヲ有ス。雄ハ一縱列ヲナセル六箇ノ攝護線ヲ有セリ。體長雄ハ一五乃至二〇耗、雌ハ二五乃至四〇耗ニ達ス。鰓、鰓等ノ腸内ニ寄生セリ。

エキノリンクス科

エキノリンクスガデ

第二三九八圖



Acanthocephalus echigoensis.

體ハ略々長楕圓體ニシテ、吻ハ圓筒狀ヲナシ、腹面ニ彎曲シ、一〇箇ヨリナル一三箇列ヲ有セリ。雄ハ體長二耗内外ニシテ、♀ハ球ク、體ノ中央ニアリ。雌ハ未發見ナリ。鰓ニ寄生ス。

エキノリンクス科

第二三九七圖



Acanthocephalus oncorhynchi.

體ハ細長ニシテ、白ク、粗糙ナリ。吻ハ稍々腹面ニ偏シテ出デ、圓筒狀ヲ呈シ、一〇箇ヨリナル一〇箇列ヲ有ス。雄ハ體長二・八耗内外ニ達シ、♀ハ二箇共ニ球形ニシテ體ノ殆ド中央ニ存ス。雌ハ體長三耗内外ニシテ、生殖器ハ後方ニアリ。鰓ノ幼魚ノ腸内ニ見出サル。

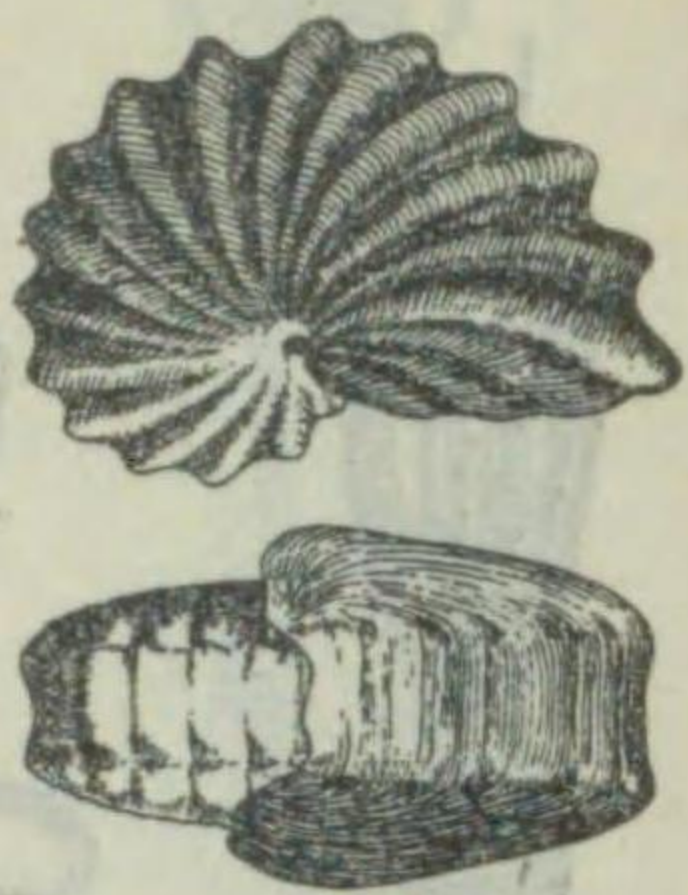
エキノリンクス科

アカントケファルス・オンコリンキ

頭足類科名目次

カイダコ科	六二七
フネダコ科	六二七
タコ科	六二八
ヤリイカ科	六二九
ミミイカ科	六三〇
カフイカ科	六三二
ダイワウイ科	六三三
ツメイカ科	六三三
ホタルイカ科	六三三
ドスイカ科	六三四
スルメイカ科	六三四

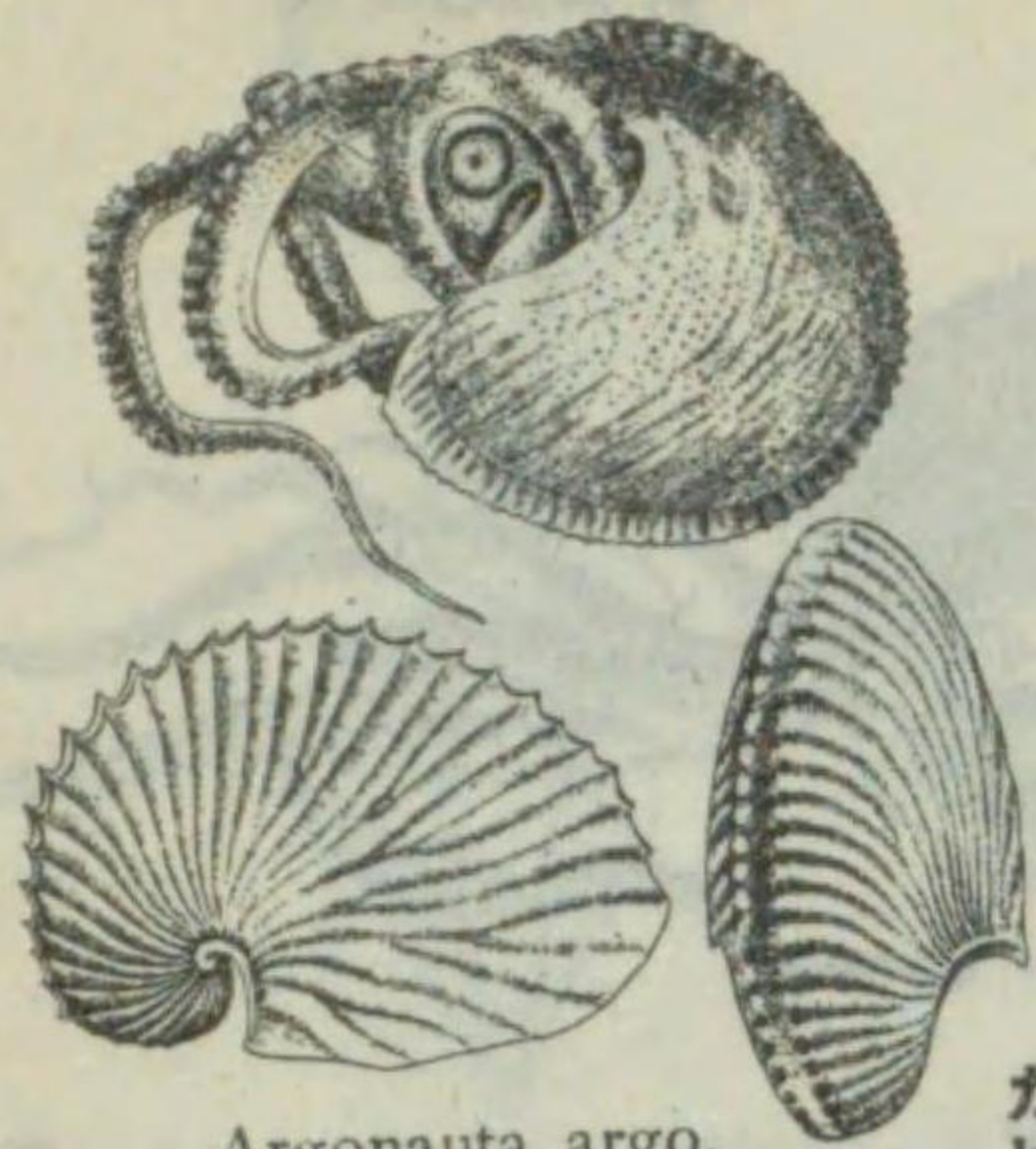
第二四〇〇圖



Argonauta hians.

フネダコ (船鮑) カヒダコ科  
 雌雄ニヨリテ著シクソノ大サ形状ヲ異ニセリ。雌ハ身長八〇耗内外ニ達シ、介殼(たこぶね)ヲ被レリ腕ノ長サハ不同ニシテ、第一腕ハ背縁翼狀ニ擴大シ、之ニヨリテ介殼ヲ分泌形成ス。殼ハ淡灰褐色ヲ呈シ、肋ハ比較的疎ナリ。雄ハ小形ニシテ、介殼ヲ缺キ、第三左腕ハ交接器ヲ形成シ、交接ニ際シテ切レ、雌ノ外套腔内ニ留ル。分布廣ク、温熱帯ニ多ク、南日本ニ産ス。

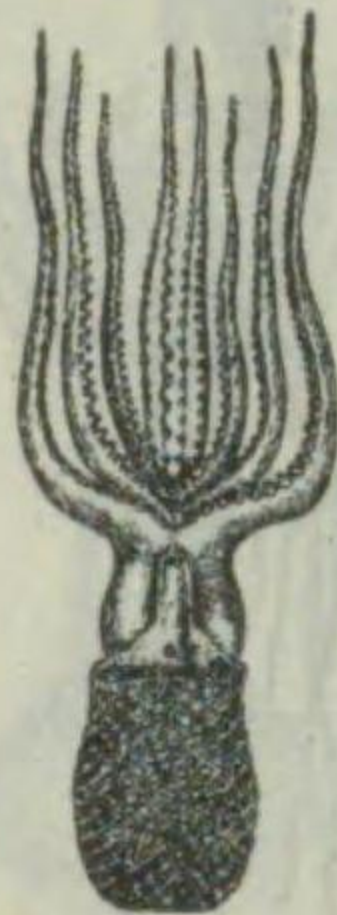
第二四〇一圖



Argonauta argo.

カヒダコ (貝蛸) カヒダコ科  
 (異名) アヒガヒ  
 雌雄ニヨリテ大小、形状ヲ異ニシ、雌ハ身長二四〇耗内外ニシテ、介殼ヲ被レリ。介殼ハ長サ一五〇耗ニ達シ、白色ニシテ外縁ハ黒色ヲ呈シ、美麗ナリ。介口ノ幅廣ク、肋ハ數多シ。第一腕ハ廣ク、薄ク、翼狀ニ延長シ、之ニテ介殼ヲ分泌形成ス。介殼中ニ卵ヲ産ミ抱ク用ヲナス。雄ハ小形ニシテ、介殼ヲ缺キ、第三左腕ハ交接器ヲ形成ス。近海砂底ニ棲息シ、分布廣ク、北海道ヨリ臺灣ニ互レリ。

第二四〇二圖



Ocythoe tuberculata.

アミダコ (網鮑) フネダコ科  
 (異名) イボダコ  
 雌ハ身長二〇〇耗ニ達シ、胴ノ腹面ニ細キ疣網狀ニ相連リテ、頭ノ下面ニ一對ノ水孔存在セリ。雄ハ小形ニシテ、身長一〇〇内外ニ過ギズ。第三右腕ハ交接器トナリ、交接ニ際シ、切レテ雌外套腔内ニ殘存ス。之ガ寄生蟲ト誤認セラレ百吸盤蟲(Hectocotylus)ノ學名ヲ與ヘラレタルハ本種ニ於テナリ。頭胴ハ雌雄共ニ大形ニシテ、腕ハ比較的細ク短シ。分布廣ク太平洋大西洋ノ温熱帯ニ分布シ、本州沿岸ニ稀ニ漁獲セラレ。

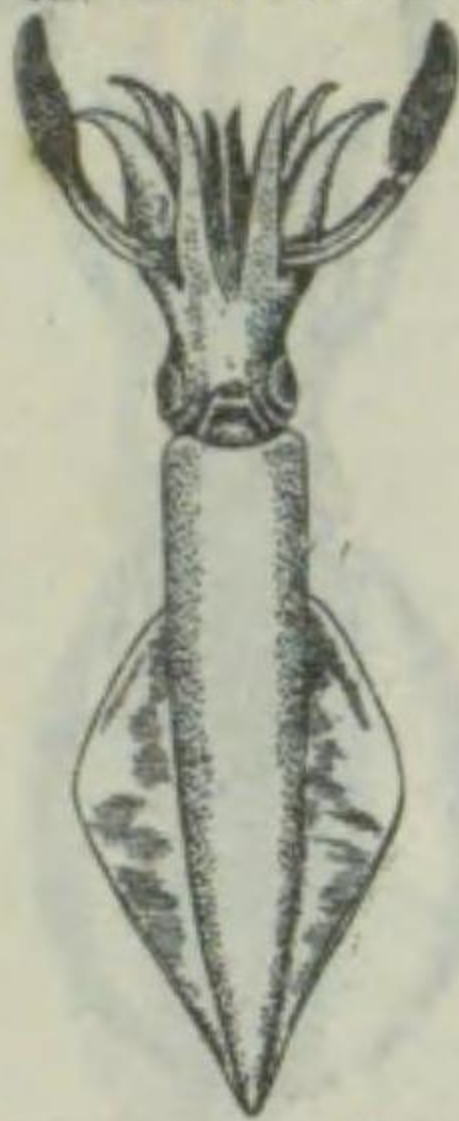
第二四〇三圖



Tremoctopus violaceus.

ムラサキダコ (紫鮑) フネダコ科  
 雌雄ニヨリテ大サ及ビ形状ヲ異ニス。雌ハ身長四五〇耗ニ達シ、頭ハ大形ニシテ、背腹兩面ニ各一對ノ水孔ヲ有ス。胴モ亦長大ニシテ、表面ハ平滑ナリ。腕ハ長サ不同ニシテ、第一腕及ビ第二腕ノ傘膜ハ著シク擴張シ翼狀ヲ呈ス。雄ハ身長一五〇耗内外ニシテ、ソノ第三右腕ハ交接器ヲ形成ス。體色ハ褐色ヲ呈ス。外洋性ニシテ、分布廣ク、太平洋、大西洋、稀ニ南日本ニ産ス。

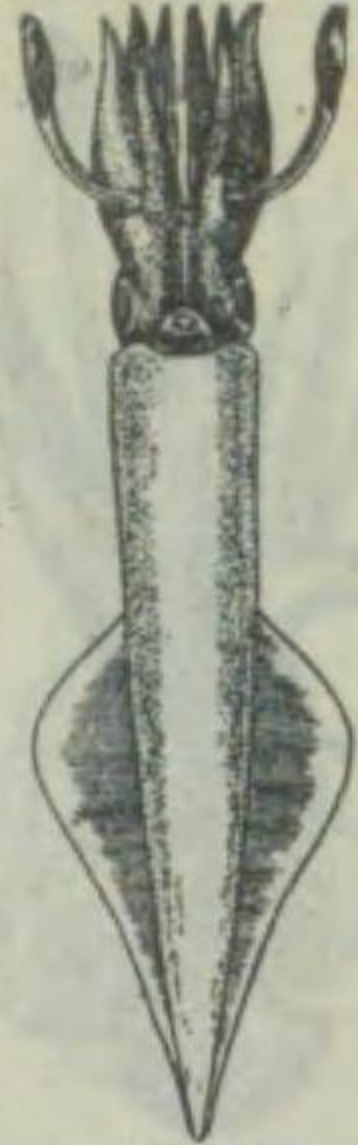
第二四〇九圖



Loligo kensaki (edulis.)

胴ハ細長ク、後端ハ稍々鈍ク、鰭ハ長キ菱形ヲ呈セリ。觸腕ハ太ク腕頭ニ四列ノ吸盤ヲ有シ、雄第四左腕ハ交接器ヲナセリ。胴長五〇〇耗内外ニ達シ、直腸ノ左右ニ發光器ヲ有ス。産卵期ハ春—夏ニシテ本州、九州ニ最も多シ。肉厚ク大形ニシテ頗ル美味ナリ。鰭及ヒ外皮ヲ取り去リタル鰭ヲ磨劍先鰭ト云フ。

第二四〇八圖



Loligo bleekeri.

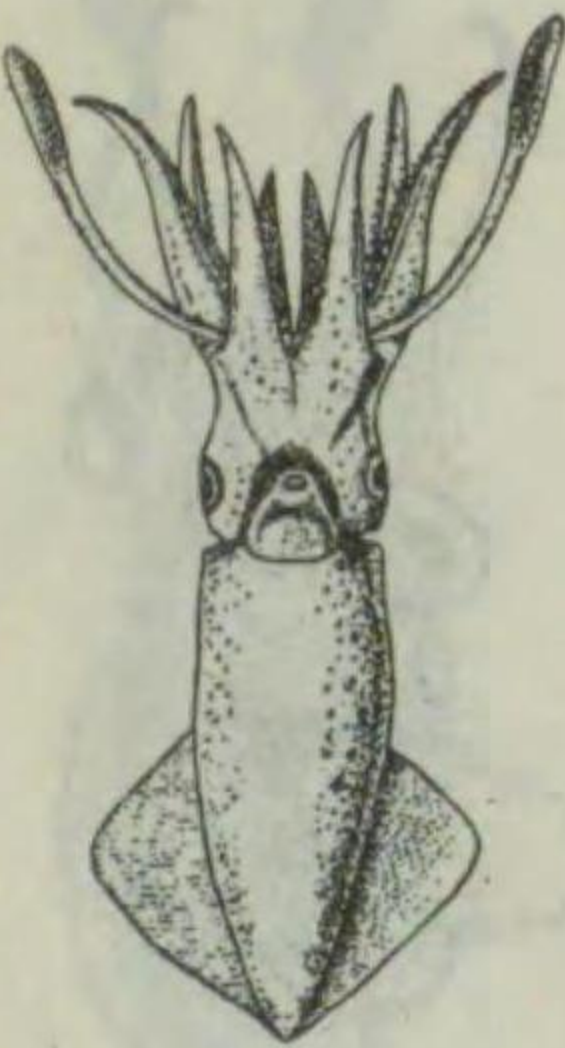
胴ハ頗ル細長ク、腹面正中線ニ縱隆アリ。後端ハ鋭ク尖リ、鰭ハ三角形ヲナセリ。腕ハ短ク、胴長ノ四分ノ一内外ニシテ、觸腕モ亦短小ナリ。雄ハ第三左腕交接器ヲナシ、腕頭ニ太キ肉刺二列ニ並ベリ。蒼白色ニ紫褐色ノ斑點ヲ有ス。胴長四〇〇耗内外ニ達ス。本邦近海ニ廣ク分布セル普通ナルモノニシテ、鮮食用トナシ美味ナリ。乾燥品ヲ産鰭ト稱ス。

ヤリイカ (槍柔魚)

ヤリイカ科

(異名) ゴトウイカ

第二四一一圖



Loligo beka.

胴ハ比較的大ク、後端ハ鈍ク、鰭ハ菱形ヲナシ、胴ノ半ヲ越ユ、腕ハ長サ不同ニシテ、吸盤ハ比較的小サク、幅廣キ板狀齒密接セリ。觸腕ハ細ク、吸盤モ亦小形ニシテ長サ略胴長ニ等シ。雄第四左腕ハ交接器トナリ、先端三分ノ二ハ柔軟ナル吸盤ニ五對ヲ有ス。南日本産ナルモ、殊ニ兒島灣ハ著名ナル産地ナリ。

ベイカ (火柔魚)

ヤリイカ科

(異名) ベカ

第二四一〇圖



Loligo japonica.

胴ハ比較的大ク、後端ハ鈍形ニシテ、鰭ハ菱形ヲナセリ。腕ハ長サ不同ニシテ比較的大ク、觸腕ハ比較的大ク、腕頭ノ吸盤ハ三列ニシテ大サ不同ナリ。各盤ニ幅廣キ板狀齒密接セリ。雄ハ第四左腕交接器トナリ、腕頭ハ變化シ、肉刺四〇對ヲ有セリ。蒼白色ヲ呈シ、紫褐色ノ斑點ヲ散在ス。北海道ヨリ九州ニ互リテ分布セリ。主トシテ鮮食用トナシ、美味ナルモノナリ。

ジンドウイカ

ヤリイカ科

第二四〇五圖



Polypus fangsiao.

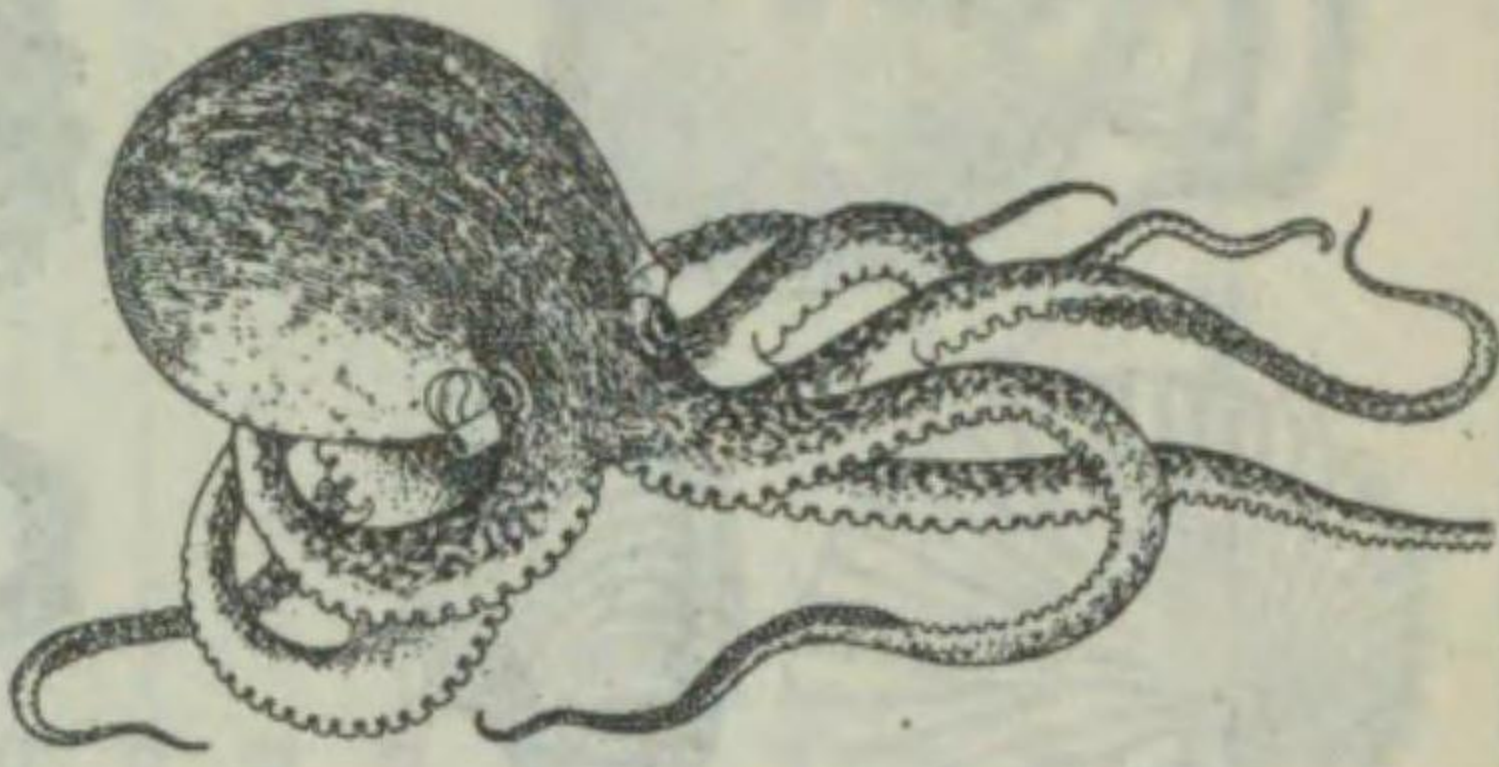
體面ハ粗糲ニシテ、疣狀突起密布セリ。腕ハ比較的細長ク、頭胴部ノ約二倍餘ニ達シ、略々等長ナリ。雄ノ第三右腕ハ交接器トナル。色ハ變化ニ富メルモ概ネ蒼白色ヲ呈シ、背面ハ灰紫色ニシテ、第三腕基部兩側ニハ光澤ナル青黑色ノ眼狀紋ヲ有シ、又兩眼間ノ背面ニ淡青色ノ一斑紋、又腕ノ背面ニモ種々ノ褐色乃至暗色紋散在セリ。體長二〇〇耗内外ニ達ス。卵巢ノ成熟スル時ハ恰モ米飯ニ似タリ。南日本ニ産シ、美味ナリ。

ヤリイカ (槍柔魚)

ヤリイカ科

(異名) サイカ、ヤナガ、ヤリンボウ、ツバウツトシキウ

第二四〇四圖



Polypus vulgaris.

頭胴ハ圓ク、腕ハ長ク、略等長ニシテ、頭胴ノ長サノ約三倍ニシテ吸盤ハ二列ニ並ベリ。皮膚ハ粗糲ニシテ疣狀突起ヲ有シ、腕基部ノ傘膜ハ廣カラズ。雄ノ第三右腕ハ交接器トナル。概ネ紫褐色又ハ灰色ニシテ、白色點散在セリ。體長六〇〇耗ヲ超ユルモノアリ。沿岸ノ岩礁間ニ棲息シ、夜間出テ甲殻類、魚類等ヲ捕食ス。分布廣ク温熱帶ニ棲ミ、南日本ニ多産ス。肉ハ比較的硬ク、美味ナリ。

イヒタコ (飯鮑)

タコ科

マダコ (真鮑)

タコ科

(異名) タコ

第二四〇七圖



Polypus dofleini.

巨大ニシテ、胴ハ略々球形ヲナシ疣狀突起多ク、眼狀ニ耳狀ノ肉質突起アリ。腕ハ等長ニシテ長大ナリ。傘膜ハ廣ク、腕ノ側方迄縁膜トナリテ伸縮自在ナリ。雄ハ第三右腕交接器トナリ、先端變形シテ筒形ヲ呈ス。體長三米ヲ超ユルモノアリ。太平洋北部ニ多産シ、冬春ノ候タコ釣、タコ箱ニテ漁獲ス。質頗ル柔軟ニシテ、美味ナリ。北海道ニテハ本種ノ雌ヲ特ニまだト云フ。

ミツダコ (水鮑)

タコ科

第二四〇六圖



Polypus variabilis.

胴ハ略々楕圓體ニシテ、疣狀突起散在ス。腕ハ長サ不同ニシテ、第一腕ハ頗ル長大、頭胴部ノ約五倍ニ達ス。雄ハ第三右腕交接器トナリテ甚ダ短ク腕頭ハ匙狀ニシテ膨大ナリ。一般ニ灰白色ヲ呈シ、背面ニ無數ノ淡黄色小點散在セリ。體長六〇〇耗ニ達ス。本邦近海ニ分布シ、殊ニ中國ニ最も多シ。質柔軟ニシテ美味ナリ。鯛ノ釣餌トシテ珍重セラル。

テナガダコ (手長鮑)

タコ科

(異名) テナガイヒダコ、テナガダコ

第二四—二圖



Sepioteuthis lessoniana.

胴ハ稍々圓筒形ヲ呈シ、後端ハ鈍ク、肉質厚シ。鰭ハヨク發達シ、胴ノ全縁ニ互リ、ソノ中部最モ廣シ。腕ハ長サ不同ニシテ、吸盤ハ二〇乃至三〇ノ銳齒二列ニ並ビテ大形ナリ。觸腕ハ長大ニシテ、吸盤四列ヲナス。雄第四左腕ハ交接器ヲナセリ。胴長四五〇耗ニ達ス。外洋性ニシテ、春産卵期ニ内灣ニ入り來ル。本州以南ニ分布セリ。

アフリイカ (觸柔魚)

ヤリイカ科

第二四—三圖



Euprymna morsei.

胴ハ壺狀ヲ呈シ、後端ハ圓シ。鰭ハ殆ド圓形ニシテ、後端ヨリ稍々前方兩側ニ耳形ヲナシテ着生セリ。腕ハ長サ不同ニシテ、吸盤ハ四列ニ並ベルモ、先端及ビ基部ハ二列ニ並ブ。雄第一左腕ハ交接器トナル。觸腕ハ胴長ノ一・五倍ニ達シ、ノ腕頭ハ膨大シ、絨毛狀ノ微細ナル吸盤密生シ、墨汁囊ニハ發光器ヲ有ス。胴長四五〇耗内外ナリ。分布廣ク、本州以南ノ淺海ニ産ス。食用ニ供シ、美味ナリ。

ミニイカ (耳柔魚)

ミニイカ科

第二四—六圖



Sepia esculenta.

胴部ハ卵圓形ヲ呈シ、扁平ニシテ後端ハ甲ニヨリテ一小棘突出セリ。鰭ハ狭長ニシテ、左右兩側ニ側生ス。腕ハ等長ニシテ、之ニ吸盤四對ヲ有セリ。觸腕ハ胴長ニ略々同ジク、腕頭ハ半月形ヲ呈シ、吸盤ハ小形ニシテ、各三〇乃至四〇箇宛一〇數列ニ並ベリ。體色ハ蒼白色ニ紫褐色ノ横斑ヲ散在ス。胴長二〇〇耗内外ナリ。本州、四國、九州ノ内灣ニ多産ス。肉厚ク、鮮食トナシ美味ナルモノナリ。

カフィカ (甲烏賊)

カフィカ科

第二四—七圖



Sepia andreana.

胴ハ楕圓形ヲ呈シ、扁平ニシテ、後端ハ棘突出セリ。腕ハ長サ不同ニシテ、先端ノ吸盤ヲ除ク他ハ齒ヲ缺ケリ。觸腕ハ長ク、略々頭胴ト同長ナリ。第二腕ハ先端ニ吸盤四列ニ並ベルノミナリ。胴長一二〇耗内外ニ達ス。背面ハ淡褐色ヲ呈シ、側方ニ黄斑ヲ現ハセリ。本州、四國、九州等ニ分布シ、産額多シ。甲附鰭ヲ船形ト稱シ、肉厚ク頗ル美味ナリ。

ハリイカ (針烏賊)

カフィカ科

第二四—四圖



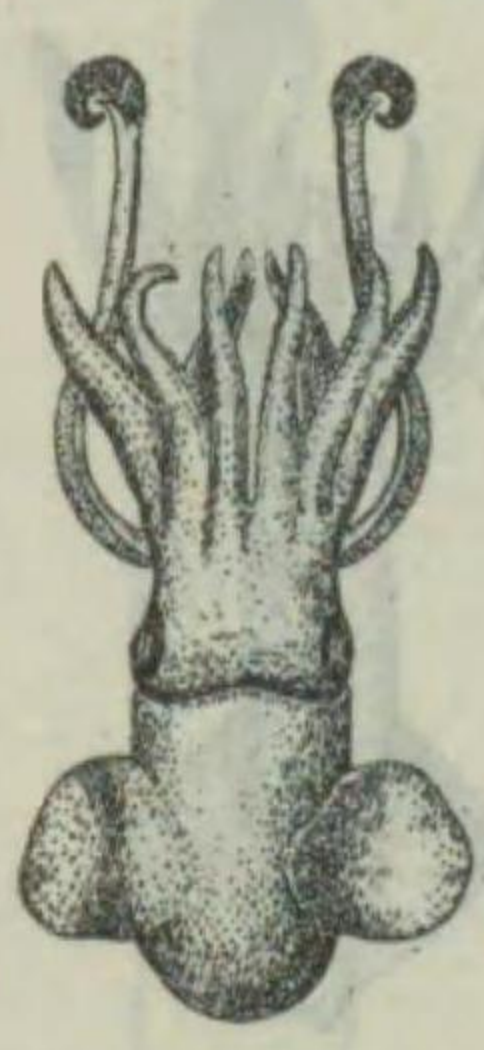
Sepiolo birostrata.

みづいかに酷似セルモ、雌ニテハ細長ク、雄ニテハ第三腕ノ基部S字形ニシテ、觸腕ハ細長ク、腕頭ハ膨大セズ、小吸盤數列ニ排列セリ。胴長二〇〇耗内外ニ過ギズ。北海道ヨリ本州ニ互リテ産シ、殊ニ富山灣ニ多産ス。

ダンゴイカ (團子柔魚)

ミニイカ科

第二四—五圖



Rossia pacifica.

みづいかに似テ胴ハ壺狀ヲ呈シ、後端ハ圓ク鰭ハ圓形ニシテ、外耳狀ヲナセリ。腕ハ略々同長ニシテ二列ノ吸盤ヲ有シ、雌ニテハ一様ニ小形ナルモ、雄ニテハ大形ナルモノヲモ混在ス。觸腕ハ長ク、腕頭ハ半月形ヲ呈シ、吸盤數列ヲ有ス。雄ノ第一腕ハ交接器ヲナセリ。北日本ノ稍々深所ニ棲息シ、群ヲナサズ。美味ナレドモ、多カラズ。

バウツイカ (坊主柔魚)

ミニイカ科

第二四—八圖



Sepia subaculeata.

體軀巨大ニシテ、胴ハ楕圓形ヲ呈シ、後端ノ棘ハ短ク、背面横紋ノ間ニハ數多ノ眼狀斑紋ヲ有ス。腕ハ等長ニシテ、觸腕ハ略々胴長ニシテ、吸盤ハ四列ヲナセリ。甲ハ長楕圓形ヲ呈シ、後端ニ一小棘ヲ有シ、内緣維體ハ全縁ニシテ厚ク、後端ハ著シク隆起シ、内溝ヲ抱ケリ。胴長二〇〇耗内外ナリ。本州、九州ニ互リテ分布ス。肉厚ク、甲附鰭トナシ美味ナリ。

カミナリイカ (雷烏賊)

カフィカ科

第二四—九圖



Sepia hercules

巨大ニシテ、胴部卵圓形ヲ呈シ、後端ニ一小突起アリ。鰭ハ狭長ニシテ左右兩側ニ縁狀ニ着生ス。腕ハ同長ニシテ、觸腕ハ長ク、往々腕長ヲ超エ、腕頭ハ腎臟形ニ擴張シ、大小ノ吸盤ヲ混在セルモ、中央ニ存スル四箇ハ時ニ大形ナリ。甲ハ質硬ク、長楕圓形ヲ呈シ、兩端圓シ。胴背面中央ニ圓形乃至楕圓形ノ白色斑點散在シ、兩側ニ細横縞ヲ表シ、頭背・腕ニ白色點散在ス。胴長四五〇耗、幅二五〇耗。琉球ニ産シ、食用ニ供セラレ。

コフシメ

カフィカ科



第二四二〇圖



Sepia peterseni.

胴ハ細長ク、後端ニ一強棘ヲ有シ、鰭ハ側縁全長ニ互リ、ソノ後端ハハ形ヲ呈セリ。腕長ハ頗ル不同ニシテ、第二腕ハ著シク長ク、紐狀ヲ呈シ、先端ハ絲狀ヲナセリ。觸腕ハ細長ク、略々腕長ニ等シク、吸盤ハ中央ノ四箇大形ナリ。甲ハ狭ク、後端ハ尖リテ、外圍維ハ小蓋狀ヲ呈シ、一棘ヲ有ス。腕長一ニ〇耗ニ達ス。本州、九州ノ内灣ノ比較的深所ニ棲息シ、東京附近ニ多シ。

シシイカ (獅子烏賊)

カファイカ科

第二四二一圖



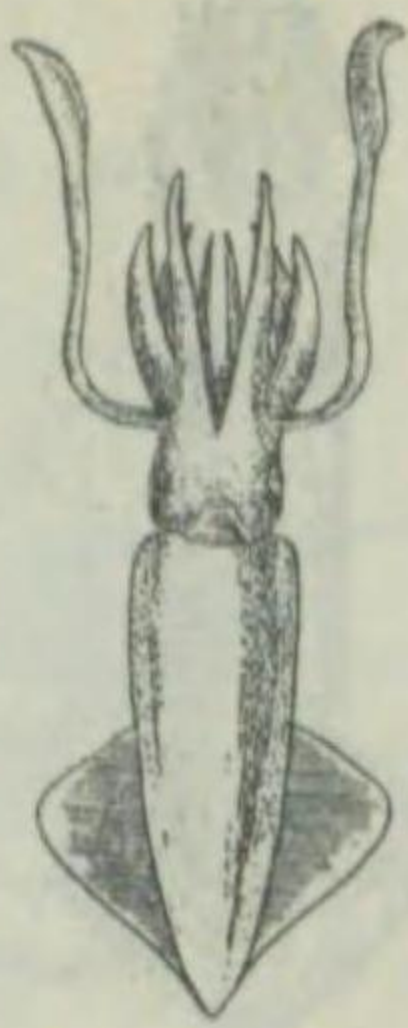
Metasepia tullbergi.

胴ハ短ク、囊狀ヲ呈シ、後部ハ圓シ。鰭ハ狭ク、全側縁ニ互レリ。腕ハ長サ不同ニシテ、觸腕ハ細長ク、腕長ヲ超エ、腕頭ハ筒形乃至彎月形ヲ呈シ、吸盤ハ大小不同ナリ。甲ハ甚ダ厚ク、菱形ヲ呈シ、後端ニハ細キ突起ヲ有ス。胴ノ背面ハ暗黒色ヲ呈シ、腕ノ先端ハ紅色ヲナセリ。腕長三〇耗ヲ超ユ。内灣沿岸性ニシテ、本州、九州ニ互レリ。食用ニ供シ、美味ナリ。

ハナイカ (花烏賊)

カファイカ科

第二四二四圖



Onychoteuthis banksii.

胴ハ中央稍々張りタル紡錘形ヲ呈シ、後端ハ尖レリ。鰭ハ菱形ヲ呈シ、腕ノ後端ニ位ス。背面正中線ニハ縱隆起發達セリ。腕ハ略々等長ニシテ、腕ノ半ニ達シ、龍骨膜發達シ、吸盤ハ二列ニ並ベリ。觸腕ハ太ク、腕頭ニハ二列ノ鉤ノ他ニソノ初メ及ビ終リニ圓形ノ附着器、一〇箇餘ノ吸盤或ハ肉疣ヲ有ス。體色ハ淡灰褐色ヲ呈シ、腹面ハ淡色ナリ。分布廣ク、北海道ヨリ臺灣ニ及ブ。モ北海道ニ多シ。肉ハ硬ク、美味ナラズ。

ツメイカ (爪柔魚)

ツメイカ科

第二四二五圖



Moroteuthis robusta.

だいわういかト共ニ世界最大ノモノニシテ、胴ハ圓筒形ヲナセル紡錘形ヲ呈シ、後端ハ稍々長ク、鰭ハ鈍先形ニ呈シ、腕長ノ後半ヲ占ム。腕ハ長サ不同ニシテ、吸盤ハ比較的小サク、粗ニ二列ヲナス。觸腕ハ頗ル細長ク、腕頭ハ稍々太ク、三五箇ノ鉤ニ並ベリ。質柔カク、全面濃紫褐色ヲ呈ス。腕長二米内外ナリ。太平洋ノ北海ニ産シ、北海道、千島ノ沿岸ニ暴風雨後往々打上ゲラル。

ニウドウイカ (入道柔魚)

ツメイカ科

第二四二二圖



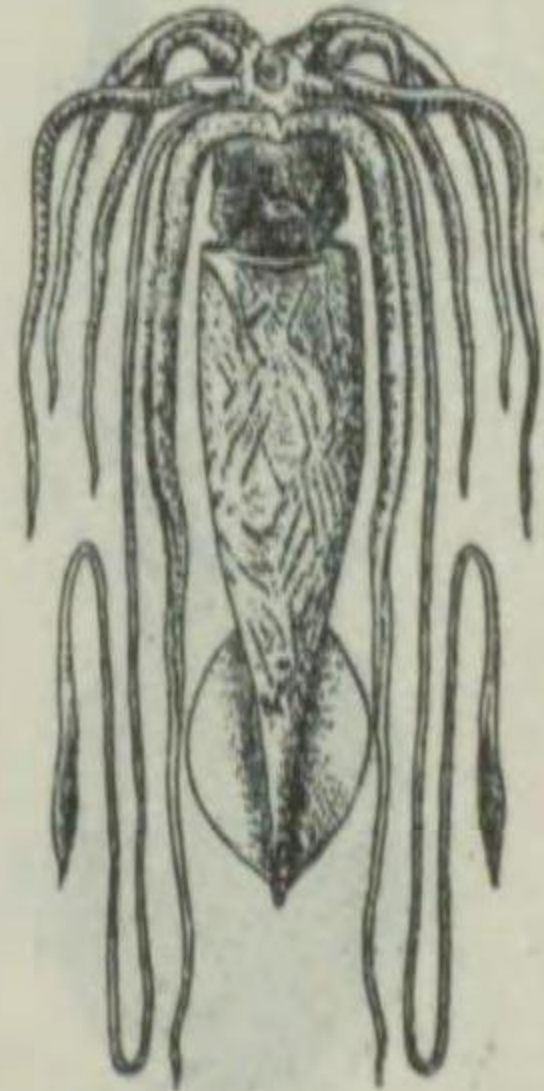
Sepiella maindroni.

胴ハ楕圓形ヲ呈シ、後端ハ圓ク、棘ヲ欠キ、腹面ニ圓キ孔ヲ開ケリ。鰭ハ狭ク全側縁ニ互レリ。腕ハ略々同長ニシテ太ク、觸腕ハ腕長ト等シク、腕頭ニハ小吸盤多シ。甲ハ長楕圓形ヲ呈シ、後端ハ角質ニシテ薄ク、棘ヲ欠ケリ。背面ハ灰褐色ヲ呈シ、多數ノ白點散在シ、腕ノ後端ハ黄色乃至赤褐色ナリ。腕長一八〇耗ニ達ス。中國、九州ニ於テ最モ普通ナリ。鮮食用トナシ、又甲附鰭ニ製ス。

シリヤケイカ (尻燒烏賊)

カファイカ科

第二四二三圖



Architeuthis japonica.

最大ナル柔魚ニシテ、胴ハ延長シ紡錘形ヲ呈シ、後端ハ細ク延長セリ。鰭ハ楕圓形ヲ呈シ、比較的小形ナリ。腕ハ長大ニシテ長サ不同ナリ、觸腕ハ頗ル長ク、腕長ノ約四倍ニ達シ、腕頭ハ稍々膨レ、吸盤ハ四列ニシテ中央ノ二列ハ大形ナリ。甲ハ薄ク、角質ニシテ羽毛形ヲ呈セリ。腕長一・五米、全長六米ニ達ス。暴風後往々海岸ニ打ち揚ゲラル。本邦太平洋沿岸ニ分布セリ。

ダイワウイカ (大王柔魚)

ダイワウイカ科

第二四二六圖



Moroteuthis lönnbergii.

胴ハ前方圓筒形ヲナセル紡錘形ニシテ、後端ハ稍々長ク、鰭ハ菱形又ハ箭根形ヲ呈シ、後端ハ尖レリ。腕ハ略々同長ニシテ、吸盤ハ二列ニ並ビ、觸腕ハ細長ク、腕頭ハ長刀狀部ニ約二五箇ノ鉤ニ並ビ、鉤列ノ基部ニハ吸盤及ビ肉疣ヨリナル圓形附着器ヲ有ス。腹面ニハ縱皺細狀ヲナセリ。腕長三〇〇耗内外ニ達ス。相模灣産ニシテ、肉硬ク、美味ナラズ。

カギイカ (鈎柔魚)

ツメイカ科

第二四二七圖



Watasenia scintillans.

胴ハ圓錐形ヲ呈シ、後端ニ向ヒテ細マリ、鰭ハ箭根狀ヲナシ、腕長ノ半ニ達ス。腕ハ不同ニシテ、腕及ビ吸盤二列ニ排列ス。觸腕ハ長刀狀ヲ呈シ、數多ノ吸盤ノ他ニ二本ノ大鉤ヲ有ス。雄第四腕ニ交接器トナル。眼球上及ビ體腹面ニ數多ノ小發光器ヲ、腹面先端ニ三強烈ナル光ヲ放ツ。腕長六〇耗ニ達ス。富山灣ニ産シ、鮮食、魚餌用ニ供セララル。

ホタルイカ (螢柔魚) ホタルイカ科

(異名) マツイカ

第二四二八圖



Gonatus magister.

ドスイカ (鬚柔魚) ドスイカ科
胴ノ前方ハ圓筒形ヲナシ、後方ハ
次第二細ク、延長シテ尖レリ。鰓
ハ菱形ニシテ胴ノ後半ヲ占ム。胴
ハ略々同長ニシテ、腕ハ略々同長
長ニ等シク、腕頭ハ長クシテ膨大
シ、小吸盤密在セリ。柔軟ニシテ
稍々半透明ヲナシ、紫褐色ヲ呈セ
リ。胴長二五〇耗ニ達ス。北日本
ノ稍々深海ニ棲息ス。味美ナルモ
漁獲高少シ。

第二四二九圖



Gonatopsis borealis.

タコイカ (蛸柔魚) ドスイカ科
胴ハ延長シ、前方ハ圓筒形ヲ呈シ
比較的長ク、後方ハ細ク、後方ニ
次第二細ク、後端ハ尖レリ。鰓ハ
横ニ長キ菱形ヲ呈シ、胴長ノ半ニ
達セズ。腕ハ等長ニシテ第四腕ヲ
除ク各腕ニハ鈎及ビ吸盤四列ニ排
列シ、第四腕ニハ吸盤ノミヲ有セ
リ。腕ハ退化シテ、八本ノミノ
腕ヲ有ス。(本種ノ特徴)之レ本名
ノ出デシ所以ナルベシ。柔軟ニシ
テ、半透明ヲナシ、楊紫色ヲ呈
セリ。胴長三〇〇耗ニ達ス。北日
本産ニシテ、少シ。味美ナリ。

第二四三〇圖



Ommastrephes sloani pacificus.

スルメイカ (鰯柔魚) スルメイカ科
胴ハ略々圓筒形ニシテ、中央ハ稍
々膨大シ、後方ハ次第二細ク、後
端ハ尖レリ。鰓ハ廣キ菱形ニシテ
胴長ノ半ニ達セズ。腕ハ略々同長
ニシテ、吸盤ハ二列ヲナシ、腕頭
ハ短大ニシテ、大小不同ノ吸盤約
四列ニ排列セリ。雄ノ第四腕ハ
交接器ヲ形成シ、先端ハ太ク、吸
盤ハ退化セリ。胴長二五〇耗ニ達
ス。日本周海ニ限ラレ、多數群棲
セリ。胴ヲ春開キニシテ乾物ヲ製
ス。最も普通ナル鰯ニシテ、支那
ニ輸出セラル。

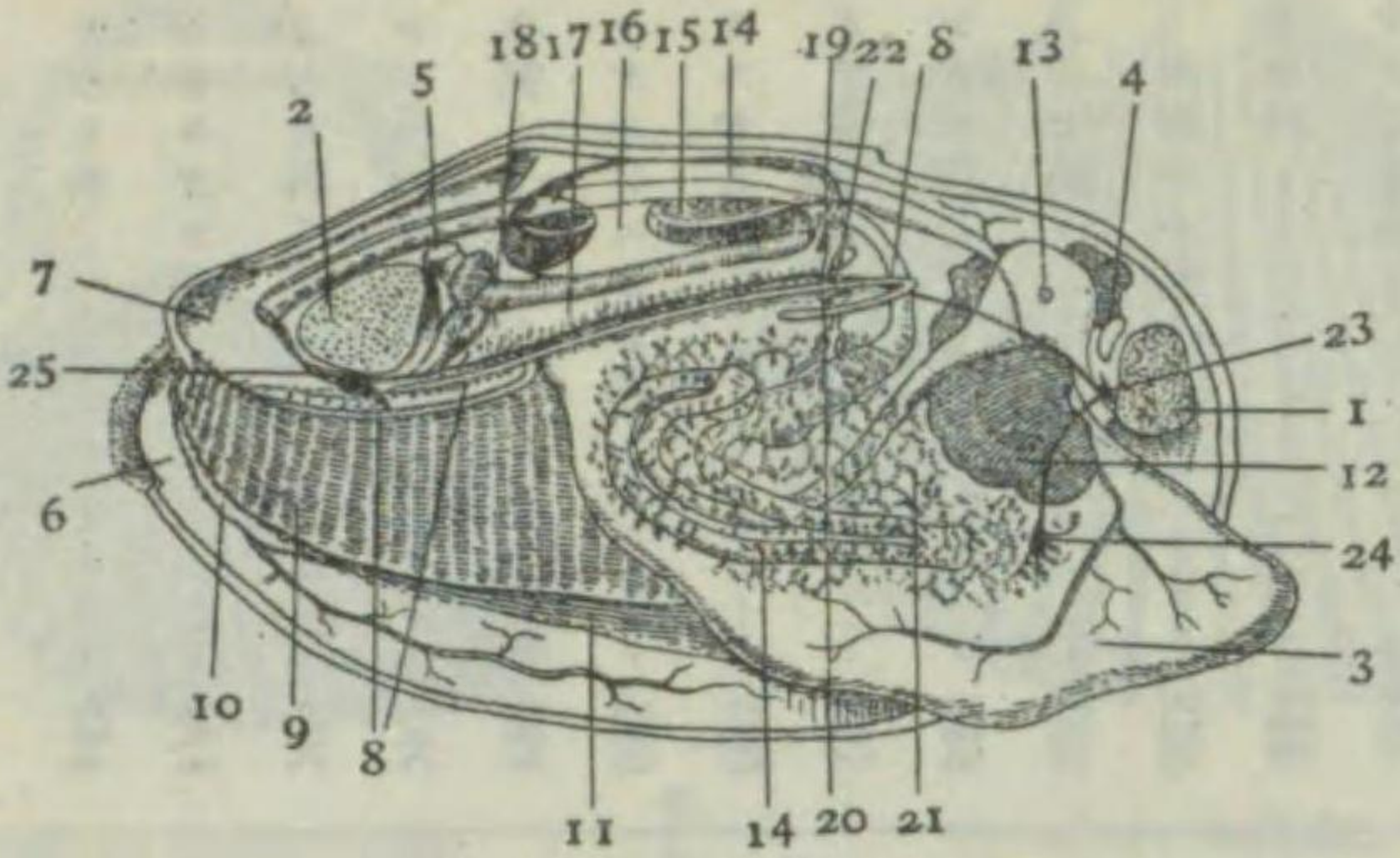
第二四三一圖



Stenoteuthis bartrami.

バカイカ (馬鹿柔魚) スルメイカ科
(異名) アカイカ
體ハ略々長キ圓筒形ニシテ、後方
ハ紡錘狀ヲ呈ス。鰓ハ幅廣キ菱形
ニシテ、胴長ノ半ニ達セズ。腕ハ
略々等長ニシテ、二列ノ吸盤ヲ有
ス。腕頭ハ比較的太ク、腕頭ハ稍
々擴張シ、吸盤四列ニ並ベリ。雄
ノ第四腕ハ交接器ヲ形成ス。質ハ
硬ク、赤褐色ヲ呈セリ。胴長五〇
〇耗内外。南日本産ニシテ、美味
ナラズ。

第二四三二圖



斧足類解剖模型圖

- 1 前閉筋 2 後閉筋 3 足筋 4 前足筋 5 後足筋 6 水管面 7 出入水 8 水管 9 鰓 10 外套膜 11 外套膜腺 12 肝臟 13 腸ノ開口 14 腸 15 心室 16 心 17 ボヤ 18 ボヤ 19 排泄器 20 排泄器ノ外孔 21 生殖器ノ外孔 22 生殖腺 23 足ノ神經節 24 足ノ神經節 25 足ノ神經節

斧足類概説

本類ハ左右ヨリ脈縮セラレタルガ如キ偏平ナル體ヲ有シ、其兩側ニ左右二枚ノ
外套膜ヲ具フ。外套膜ヨリ分泌セラレタル二枚ノ貝殻ヲ以テ體ヲ覆ヘルガ故ニ、
二枚貝類トモ呼バレ。體ハ頭部ヲ缺ケルヲ以テ無頭類トモ稱セラル。胴ノ下部ニ
發達セル筋肉質ノ足ハ斧狀ヲ呈ス。種類ニヨリテハ足糸ト稱スル糸狀分泌物ニヨ
リテ外物ニ附着ス。外套膜ト足トノ間ハ外套腔ニシテ、左右二對ノ鰓ハ體側ヨリ
外套腔中ニ突出セリ。本類ヲ又辨鰓類ト稱スルハ之ガ爲メナリ。腹足類ニ次ギ多
數ノ種類ヲ含ミ、海水、淡水共ニ産シ、且其運動鈍キヲ以テ早くヨリ人類ノ食用
ニ供セラレシコトハ、先住民ノ遺跡タル貝塚ニヨリテモ知ルヲ得ベシ。貝殻ハ一
般ニ三角狀ヲナシ、一頂點ヲ背側ニ有シ、靱帶ニヨリテ兩殼ヲ結合ス。而シテ其
接觸面ニハ一般ニ齒ヲ具ヘテ其結合ヲ鞏固ナラシム。兩殼ヲ閉ヅルニハ通常前後
ニ各一箇ヲ有スル閉殼筋ニヨリテ行ハル。本類ハ頭ヲ缺クヲ以テ觸角ヲ有セザレ
ドモ聽胞及ビ嗅器ヲ具ヘ、ほたてガひ類ノ如キハ外套膜縁ニ數多ノ眼ヲ有スルヲ
以テ著シ。聽胞ハ足神經節ヨリ發スル神經ニ連リ、足ノ兩側ニ位置シテ體ノ平衡
ヲ司ル。嗅器ハ神經ヲ以テ内臟神經節ト連絡シ、外套腔内ニ入り來ル水ノ良否ヲ
感知スル器官ニシテ「オスフラヂイアム」トモ稱セラル。主トシテ硅藻、滴蟲類其
他ノ顯微鏡的微生物ヲ攝取ス。

斧足類科名目次

フネガヒ科	六三七
ハバウキガヒ科	六三七
マクガヒ科	六三八
シンジュガヒ科	六三八
カキ科	六三九
カハシンジュガヒ科	六四〇
カラスガヒ科	六四〇
ホタテガヒ科	六四一
メンガヒ科	六四三
ミノガヒ科	六四四
ナミマガシハ科	六四四
イガヒ科	六四四
オキナガヒ科	六四六
ウネナシトマヤガヒ科	六四六

エゾシラヲガヒ科	六四七
モシホガヒ科	六四七
シジミ科	六四七
ドブシジミ科	六四八
トマヤガヒ科	六四八
シヤコガヒ科	六四九
キクザルガヒ科	六五〇
イセシラガヒ科	六五〇
シホガマ科	六五一
ザルガヒ科	六五一
ハマグリ科	六五三
サラガヒ科	六五七
ナミノコガヒ科	六五八
サメザラモドキ科	六五八
キヌタマスホガヒ科	六五九
マテガヒ科	六六〇

バカガヒ科	六六一
チドリマスホ科	六六二
オホノガヒ科	六六三
クチベニ科	六六三
キヌマトヒガヒ科	六六三
フオラス科	六六三
シヤクシガヒ科	六六四

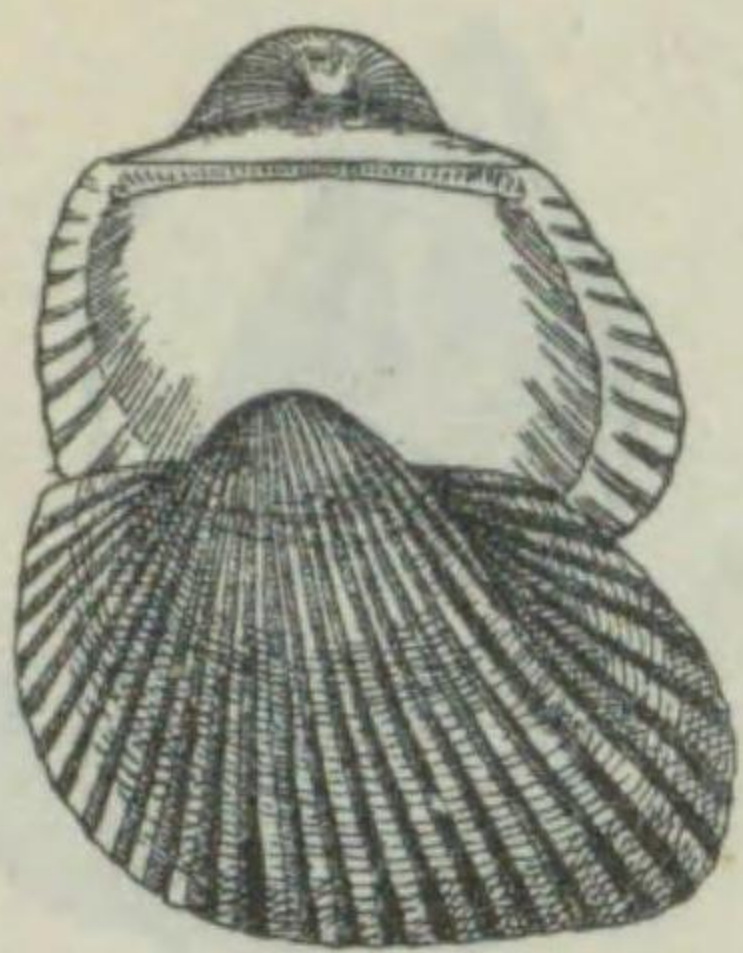
第二四三三圖



Anadara inflata.

アカガヒ (赤貝) フネガヒ科  
 殻ハ心臟形ニシテ、後方ハ僅ニ延長シ、蝶番線ハ直線狀ナリ。殻頂ハ稍々前方ニ偏シ、後方下端ハ突出シ、四二—四三條ノ顯著ナル放射肋ヲ有ス。殻表ニハ暗褐色ノ鱗片狀殻皮ヲ被レリ。内面ハ白色、周縁ハ銅齒狀ヲ呈セリ。殻長九〇耗、高八〇耗、幅七〇耗内外ニ違ス。淡水ノ混入セザル一五乃至四〇米ノ泥底ニ棲息セリ。南日本ニ多キモ北日本ニモ産ス。肉、鰓共ニ紫赤色ヲ呈ス。食用ニ供シ、美味ナリ。

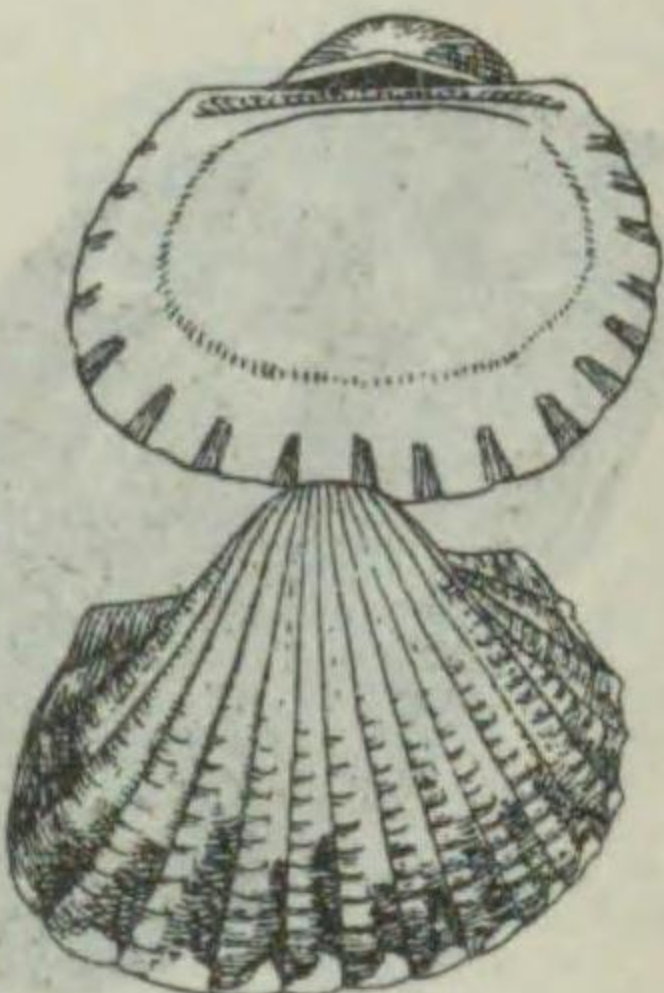
第二四三四圖



Anadara subcrenata.

サルホホ (猿類) フネガヒ科  
 (異名) モガヒ  
 あかがひニ酷似セルモ、殻形ハ小形ニシテ、後端部ニハ大ナル突出アリテ略々四角形ヲナシ、兩殼ノ脈ミ少ク、放射肋三七—三八條内外ヲ有ス。縞帯ハ幅廣ク、狭キ稜形ヲ呈セリ。殻表ニハ茶褐色ノ鱗片狀殻皮ヲ被レリ。殻長五六耗、高四三耗、幅四〇耗内外ナリ。南日本産ニシテ、食用ニ供セラレ。

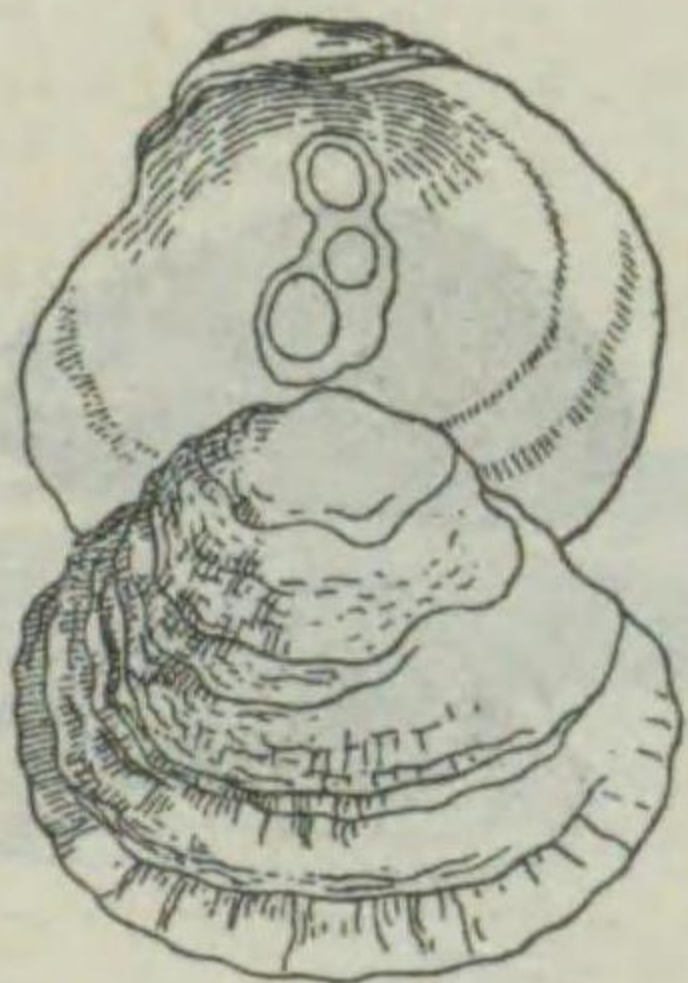
第二四三五圖



Anadara granosa.

ハヒガヒ (灰貝) フネガヒ科  
 (異名) チシメ  
 さるぼほニ似タルモ、殻形ハ長ク放射肋數少ク、二〇條内外ヲ數ヘ肋上ニ小結節ヲ有シ、殻質ハ厚シ。縞帯ハ略々稜形ニシテ、幅廣ク、靱帯ニ再殻頂ハ離隔シ、内面腹縁ノ刻齒ハ顯著ナリ。殻長五〇耗、高四七耗、幅四四耗内外ナリ。淡水ノ少シク流入セル内海ノ泥底ニ棲息シ、南日本ニ多シ。美味ニシテ、乾製品ハ支那ニ輸出セラレ。殻ハ貝灰トシテ利用セラレ。兒島灣及ビ有明灣等ニモ養殖セラレ。

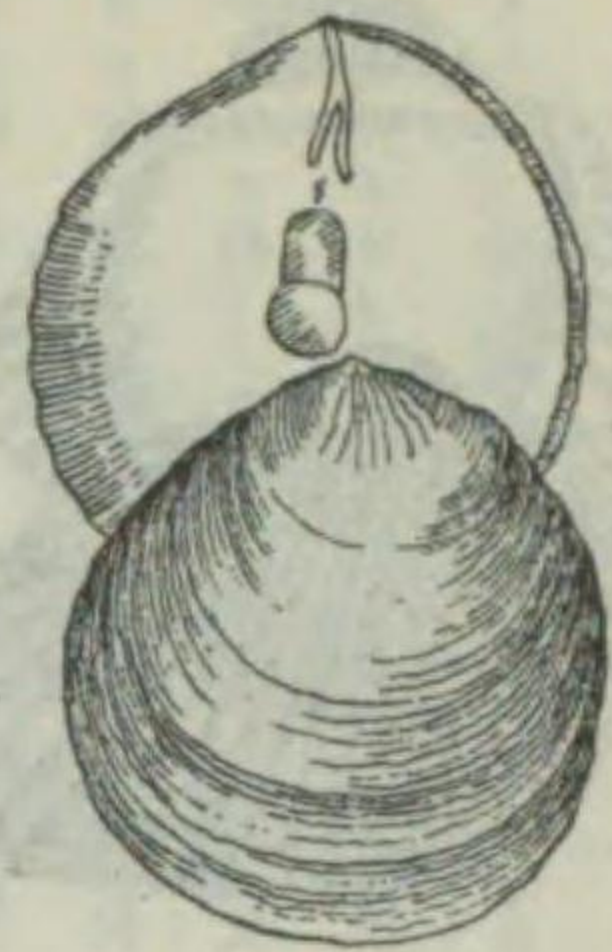
第二四三六圖



Anomia lischkei.

ナミマガシハ (波間柏) ナミマガシハ科  
 (異名) アサヒガヒ  
 殻ハ圓形ヲナシ扁平ニシテ、殻頂ハ薄脆ナリ。左殼ハ稍々膨レ、殻頂ハ略々中央内側ニアリ。殻表ニハ輪脈及ビ不明ノ放射肋ヲ有シ、灰色乃至褐色ニシテ、眞珠光澤アリ。右殼ハ扁平ニシテ、放射肋ナク、殻頂附近ニハ卵形ノ貝孔ヲ有シ、淡黄色乃至帯白色ヲ呈シ、内面ハ白色乃至帯白色ヲ呈シ、肉柱痕ノ岩礁ニ着生シ、各地ニ産ス。

第二四三七圖



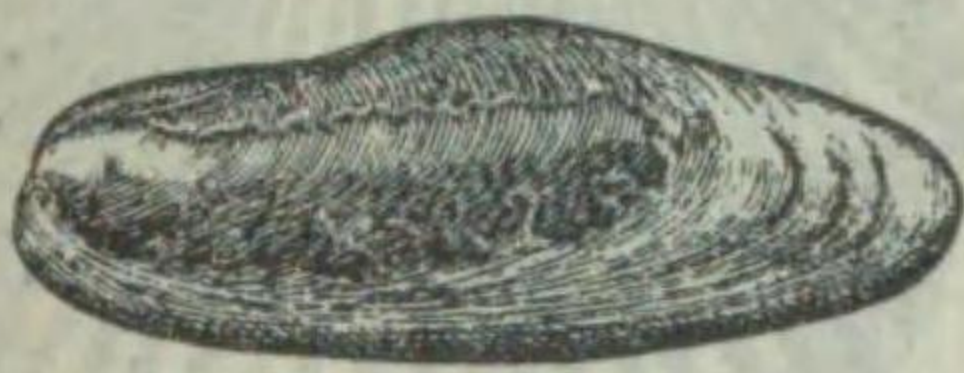
Placuna placenta.

殻ハ極メテ薄ク、扁平ナリ。左右兩殼共ニ光澤強ク、透明ニシテ、白雲母狀ヲ呈セリ。左殼片ハ稍々膨ラミ、不明ノ輪脈多ク、半透明ニシテ光澤アリ。右殼片ハ扁平ニシテ、内面蝶番ニ八字形ノ斜溝ヲ有シ、シノ中央ニ二重ノ肉柱痕アリ。殻長ハ高共九〇耗、幅五耗内外ナリ。臺灣ノ砂濱ニ産シ、食用ニ供セラル。

(異名) 擬瓣貝

マドガヒ (窓貝) ナミマガシハ科

第二四三八圖



Lithophaga curta.

殻ハ圓筒形ニシテ、前端部ハ圓ク膨レ、後端部ハ稍凸出ス。殼表ニハ細微ナル輪脈ヲ有シ、黃褐色ナルモ、石灰質岩様ノモノヲ被リ、灰白汚色ヲ呈セリ。内面ハ灰白色乃至帶紅紫色ニシテ、弱キ眞珠光澤ヲ有ス。殻長二〇耗、高六二耗、幅一五耗内外ナリ。軟岩ニ穿孔シテ棲息シ、南日本ニ分布ス。肉ハ食用ニ供シ、美味ナリ。

イシマテ (石竹蠅) イガヒ科  
(異名) イシワリ

第二四三九圖

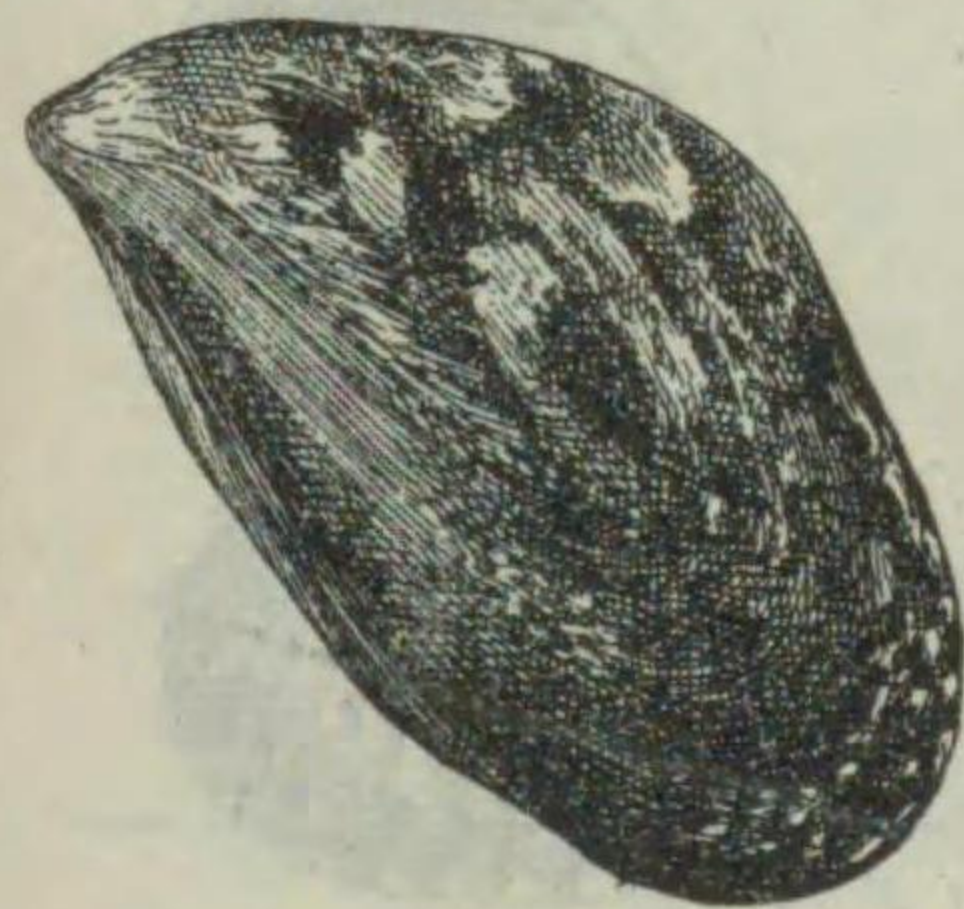


Brachydontes senhausi.

ひばりがひニ似タルモ、稍々小形ニシテ、殻ハ薄ク、前端部ハ圓形ニシテ前方ニ突出セリ。殼表ニハ放射肋及ビ細キ輪脈ヲ有セルモ不明ニシテ、淺綠色ニ紅褐色條斑ヲ有シ、内面ハ帶青白色ナルモ、表面ヲ透視セラレ、眞珠光澤アリ。殻長一二耗、高二五耗、幅一〇耗内外ナリ。本州各地ニ分布ス。養魚ノ飼料トナル。

ホトトギス (郭公貝) イガヒ科

第二四四〇圖



Mitilus crassitesta.

殻ハ楔狀ヲ呈シ、膨レ、後端部ハ稍々圓ク、斜ニ截斷狀ヲナシ、殻頂ハ前方ニ偏セリ。殼表ニハ多クノ輪脈ヲ有シ、黒褐色ノ殼皮ヲ被ルモ、殻頂部ハ刺脱シ、白色ヲ呈シ、内面ハ紫紅色ニシテ眞珠光澤ヲ有ス。殻長五〇耗、高九五耗、幅三四耗内外ニ達ス。外海ニ面シタル、潮流急ニシテ清潔ナル海底ノ岩礁ニ着生シ、各地ニ廣ク分布ス。美味ニシテ、支那ニテハ乾製セルモノヲ淡菜ト稱シ賞味ス。

イガヒ (貽貝) イガヒ科  
(異名) イノガヒセトガヒ

第二四四一圖



Mytilus hirsutus.

いがひニ似タルモ小形ニシテ、殻頂ハ前向セルモ、短シ。殼表ニハ放射肋及ビ輪脈多ク、黒褐色ニシテ、棕櫚毛狀ノ長毛密生セル殼皮ヲ被レリ。内面ハ灰白色ヲ呈ス。殻長二三耗、高五五耗、幅二〇耗内外ナリ。分布いがひニ準ズ。

ケガヒ (毛貝) イガヒ科

クジヤクガヒ (孔雀貝)

イガヒ科

第二四四二圖



Septifer bilocularis.

けがひニ似タルモ、不規則ナル方形ヲ呈シ、殼表ニハ放射肋及ビ輪脈多ク、綠色ヲ帯ベル黒褐色ニシテ、光彩著シク、毛茸ハ短シ。内面ハ白色乃至青褐色ナリ。殻長二〇耗、高五三耗内外ナリ。南日本産ナルモ北日本ニモ産ス。

第二四四三圖



Modiolus barbatus.

殻ハ稍々細長ク、前端部ノ上方ハ膨レ、殻頂ハ前端部ノ稍々後方ニアリ、後端部ハ角ヲナシテ突出セリ。殼表ニハ放射肋ナク、細キ輪脈ヲ有シ、帶紅褐色ニシテ粗ナル毛皮ヲ有ス。内面ハ白色ニシテ、淡紫色暈又ハ紫褐色斑ヲ有セリ。殻長二〇耗、高四〇耗、幅一三耗内外ナリ。淺海底ニ貝絲ニテ着生ス。廣ク各地ニ棲息セリ。

ヒバリガヒ (雲雀貝) イガヒ科

クロシギノハシ (黒鷗嘴)

イガヒ科

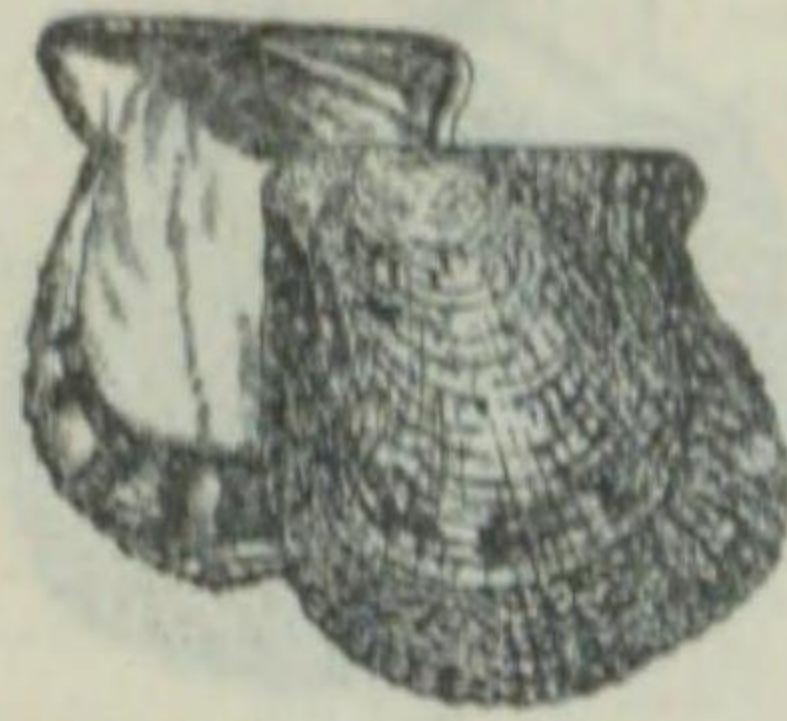
第二四四四圖



Lithophaga gracilis.

亞圓筒形ニシテ大キク、比較的薄ク脆ク、殻頂稍々前方ニ偏在セリ。殻頂ヲ中心トナシ、殼表ニハ多クノ延ビタル輪脈ヲ有シ、黒褐色ヲ呈シ、内面ハ帶青白色ニシテ、眞珠光澤アリ。殻長三〇耗、高一三〇耗、幅二〇耗内外ナリ。軟岩ニ穿孔シテ棲息シ、琉球、臺灣ニ分布ス。

第二四五〇圖



*Pinctada martensi.*

殻形略々四角形、近キ歪形ニシテ、殻頂ハ前方ニ偏在シ、殻頂ノ前後ニ耳狀突起アリ。殻頂ノ下ニ三角ノ貝孔アリ。他物ニ附着ス。殻表ハ鱗狀薄片重複シ、帶着暗褐色ヲ呈シ、内面ハ質珠光澤顯著ナリ。殻長七五、高八〇、耗内外ナリ。鹽分低ク、鮮味ニシテ清澄ナリ。肉ハ砂礫底ニ棲息セリ。南日本ニ分布ス。肉ハ不味ナルモ、眞珠ヲ生ズルヲ以テ著名ナリ。御木本幸吉氏ハ苦心ノ結果、人工手術ニテ眞珠ヲ生ズルコトニ成功セリ。

アコヤガヒ (阿古屋貝)

シンジュガヒ科

第二四四九圖



*Pteria breviaalata.*

殻ハ小鳥ニ似タル形ヲナシ、前耳部ハ小形ヲナシ、嘴狀ニ尖リ、後耳部ハ長大ニシテ尾狀ヲナセリ。後端部ニハ斜行セル厚キ隆起部アリ、翼狀ヲ呈ス。殻表ハ黒褐色ヲナシ、内面ハ白色ニシテ、眞珠光澤強シ。殻長七〇、高二〇、耗徑四耗内外ニ達ス。南日本ニ分布セリ。

ウグヒスガヒ (鰓貝)

シンジュガヒ科

第二四四六圖



*Streptopinna saccata.*

殻ハ不規則ニ歪曲シ、兩殼片ノ背縁ノ大部分ハ癒合セリ。殻表ニハ太キ多少結節狀ヲナセル放射肋ヲ有シ、平滑ニシテ、光澤ヲ有シ、藍色ヲ呈セリ。殻長一五〇、耗六五、耗内外ニ達ス。琉球ニ産ス。

カゲロフガヒ (陽炎貝)

シンジュガヒ科

第二四四五圖



*Pinna attenuata.*

殻ハ左右相稱ニシテ、羽等形ヲ呈シ、殻頂ヨリ細キ縦裂ヲ發セルヲソノ特徴トナシ、後端部ハ斜ニ截斷狀ヲ呈セリ。殻表ニハ微細ナル輪脈ヲ有シ、帶着暗褐色ヲ呈シ、内面ハ白色ニシテ、下縁ハ紅色ヲナセリ。殻長三三〇、耗一〇〇、耗内外ニ達ス。南日本産ニシテ、眞珠ヲ生ズルモ、質劣レリ。

ハバウキガヒ (羽等貝)

シンジュガヒ科

第二四五二圖



*Ostrea gigas.*

殻ハ不等形ナルモ、概テ長卵形ヲ呈シ、兩殼ハ不相稱ナリ。左殼片ハ大形ニシテ腹面、生時ハ右ノ中ニ肉ヲ藏メ、前縁ニテ固着ス。右殼片ハ小サク、扁平ニシテ恰モ蓋ノ如キ觀ヲ呈ス。殻表ニハ多クノ鱗片狀突起ヲ有シ、灰白色ニシテ、往々茶褐色ノ斑點ヲ有セルコトアリ。殻長六〇、高一五、耗内外ニシテ、鹽分少キ内海ノ有機物ノ多キ所ニ著生生活ヲナス。食用トナシ美味ナルモノニシテ「コウゲン」ノ原料トナス。

マガキ (眞牡蠣)

カキ科

第二四五〇圖



*Malleus albus.*

殻ハ丁字形ニシテ、本體ハ細長ク圓柱狀ヲナシ、稍々右方ニ彎曲シ、殻頂ハ小形ニシテ、僅ニ前方ニ偏在セリ。耳部ハ細長ク、側方ニ突出シ、後耳部ハ殊ニ長シ。眞珠多ク、かきニ似タリ。殻表ニハ凹凸多ク、汚白色ヲ呈シ、内面ハ白色ニシテ、中央部ハ暗色ヲナセリ。殻長二〇〇、高一九〇、耗、耗一五、耗内外ナリ。南日本ニ産ス。

シモウガキ (根木牡蠣)

シンジュガヒ科

第二四四八圖



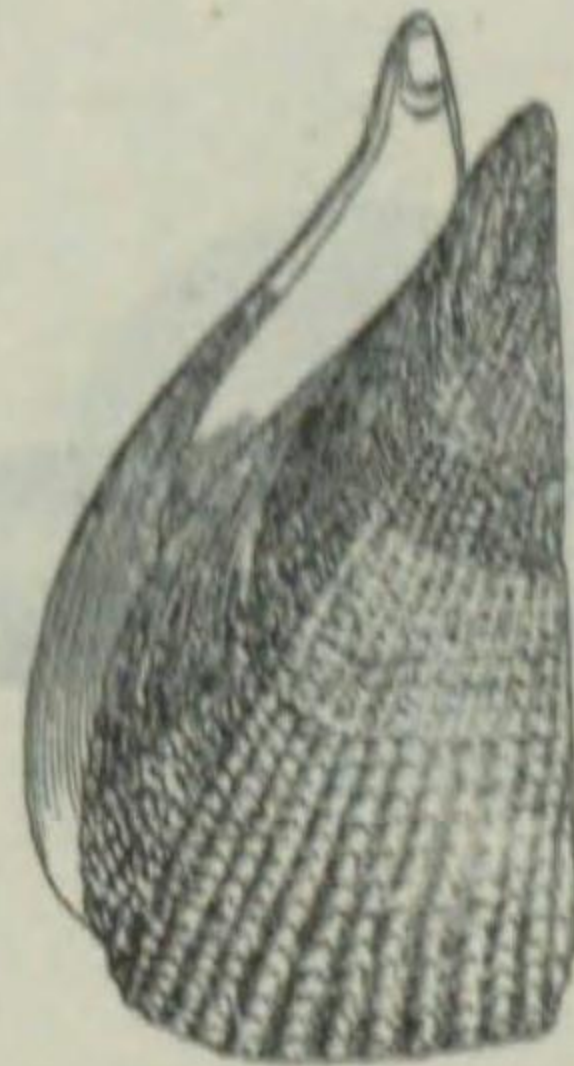
*Pteria macroptera.*

鳥帽子形ニシテ、殻頂ハ前方ニ偏在シ、前耳部ハ小サク、後耳部ハ大形ニシテ翼狀ヲ呈シ、後端部ニハヒテ延長シ、全身右方ニ彎曲セリ。殻表ニハ輪狀ノ生長線多ク、黒色ニシテ、内面ハ白色ヲ呈シ、眞珠光澤強ク、黒色線ヲナセリ。殻長ハ高サト共ニ二〇〇、耗内外ニ達ス。大島、琉球、臺灣等ニ分布ス。眞珠ヲ産シ、又殻ハ加工用ニ供セラル。

マ

シンジュガヒ科

第二四四七圖



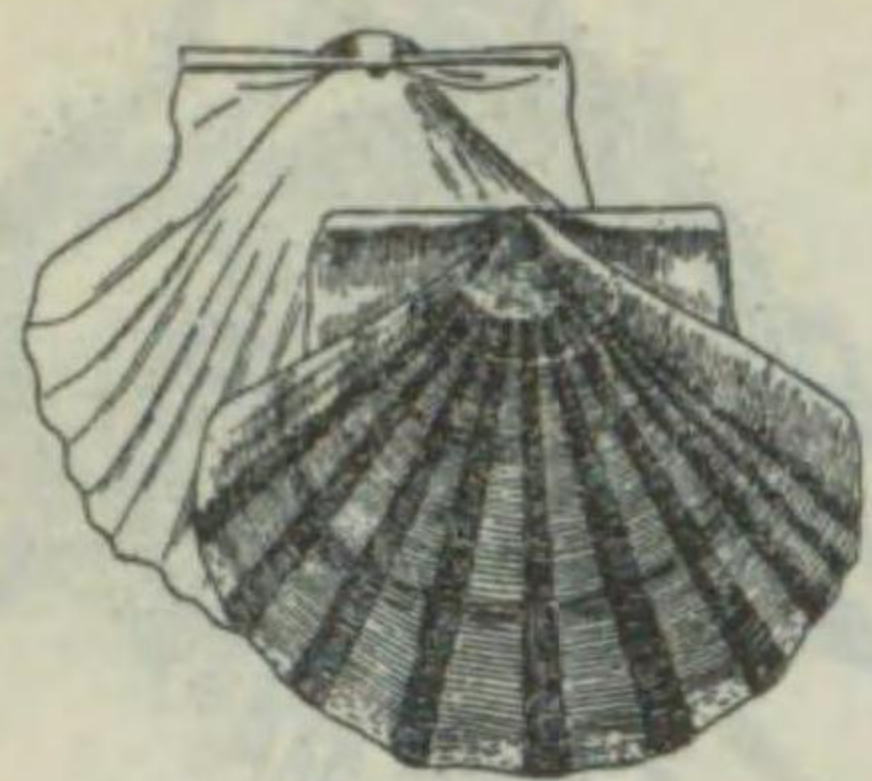
*Atrina japonica.*

殻ハ三角形ニシテ、兩殼片ハ相稱ニシテ、殻頂ハ割合薄ク、腹面及後方ハ稍々腹面、背面ハ一直線ヲナシ、背面ニ於テ相接シ、齒ヲ有セズ。殻表ニハ頂端近クニ放射肋ヲ有シ、又數多ノ輪脈ヲ有シ、暗綠色ニシテ、稍々褐色ヲ帶ビ、内面ハ黒色ナリ。殻長二九〇、耗幅一五〇、耗内外ニ達ス。近海ノ軟泥底ニ紅褐色ノ貝絲ニヨリテ倒立ス。瀬戸内海有明灣ニ多ク、食用ニ供シ、頗ル美味ナリ。

タヒラギ (玉瑛)

シンジュガヒ科

第二四五八圖

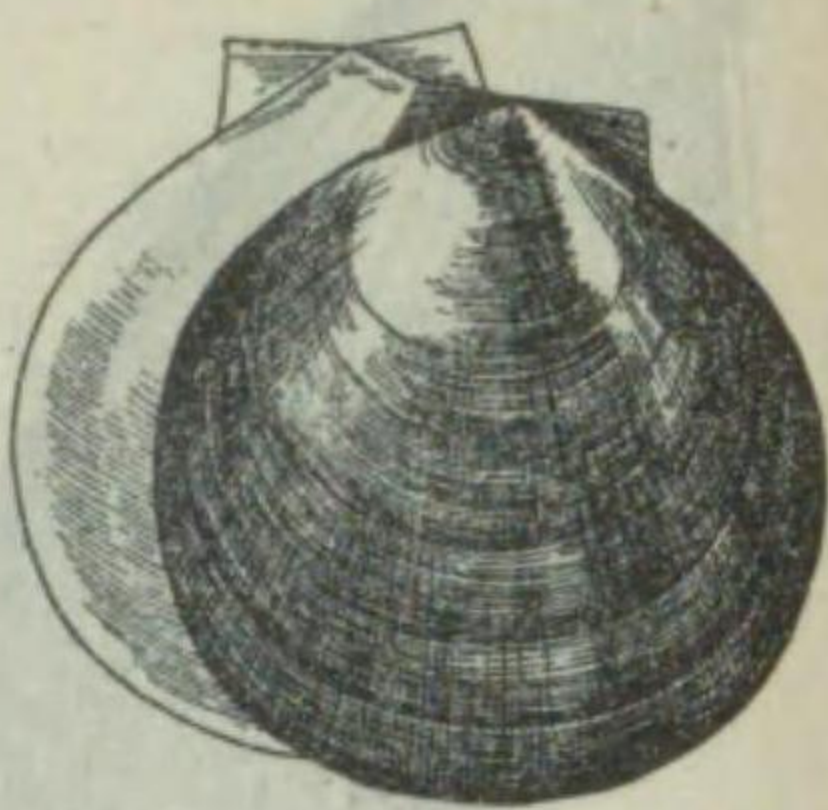


*Pecten laquaetus.*

扇ヲ擴ゲタル如キ形ヲナシ、右殼片ハ膨レ、左殼片ハ扁平ナリ。右殼片ニ一三條ノ太キ放射肋アリ。右殼片ニ八放射肋アリ。殼表ハ紅褐色ヲ呈シ、内面ハ白色ニシテ、右殼片ニテハ腹縁ニ紅褐色ノ帶ヲ有セリ。殼長一五耗、高一〇〇耗内外ナリ。各地ニ廣ク分布ス。鮮食、貝柱ヲ煮乾或ハ罐詰トナシ輸出セラレ、又右殼片ヲ杓子トナス。

ホタテガヒ科

第二四五七圖



*Amusium japonicum.*

扁平ナル圓形ニシテ、殼表ハ平滑、光澤強ク、左殼片ハ平面ニ近ク、細輪脈多ク、帶紫褐色ノ放射肋ヲ有シ、右殼片ハ稍々膨ミ、黄白色ヲ呈シ、滑澤ニシテ頗ル美麗ナリ。殼内面ハ白色ニシテ、光澤強ク、放射肋顯著ニシテ周縁ハ黄色ナリ。紀伊以南ノ稍々深海ニ産ス。肉ハ食用ニ供シ、殼ヲ小皿ノ代用トナシ、又細工用トナス。

ホタテガヒ科

イタヤガヒ (板屋貝)

イタヤガヒ (板屋貝)

ホタテガヒ科

第二四五四圖

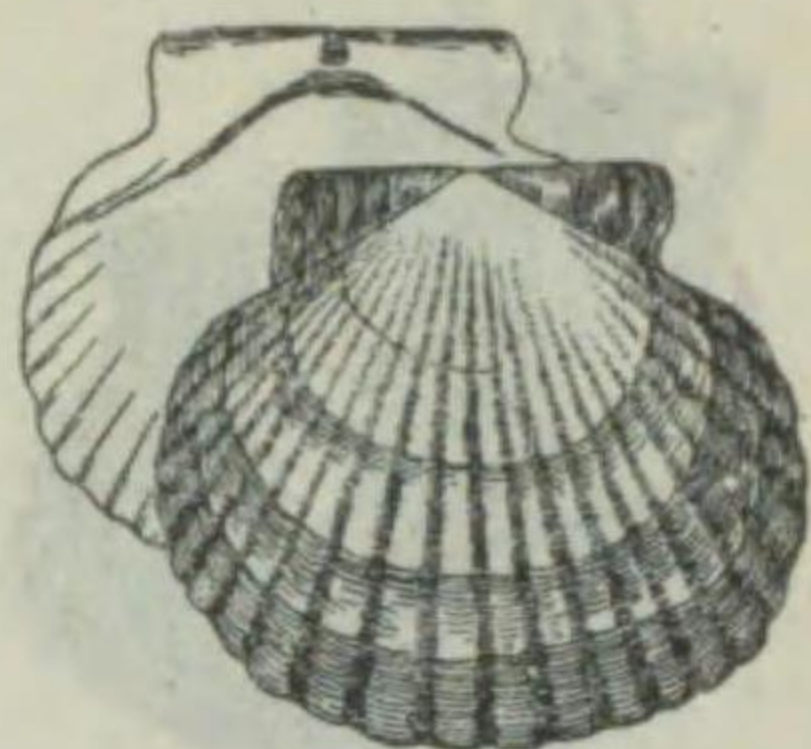


*Chlamys senatorius nobilis.*

殼ハ大形ニシテ、後耳部發達セリ。左右兩殼片ハ略々同様ニ脹ミ、殼表ニハ比較的太ク、管狀ヲナセル放射肋ヲ有シ、ソノ數二三—二四條アリ。肋上ニハ鱗狀隆起薄板ヲ有セズ。色彩ハ變化ニ富ミ、紅、淡褐、鮮紫、黄、橙色等ヲ現シ、頗ル美麗ナリ。殼長一二五耗、高一二〇耗内外ニ達ス。南日本ニ分布セリ。

ホタテガヒ科

第二四五三圖



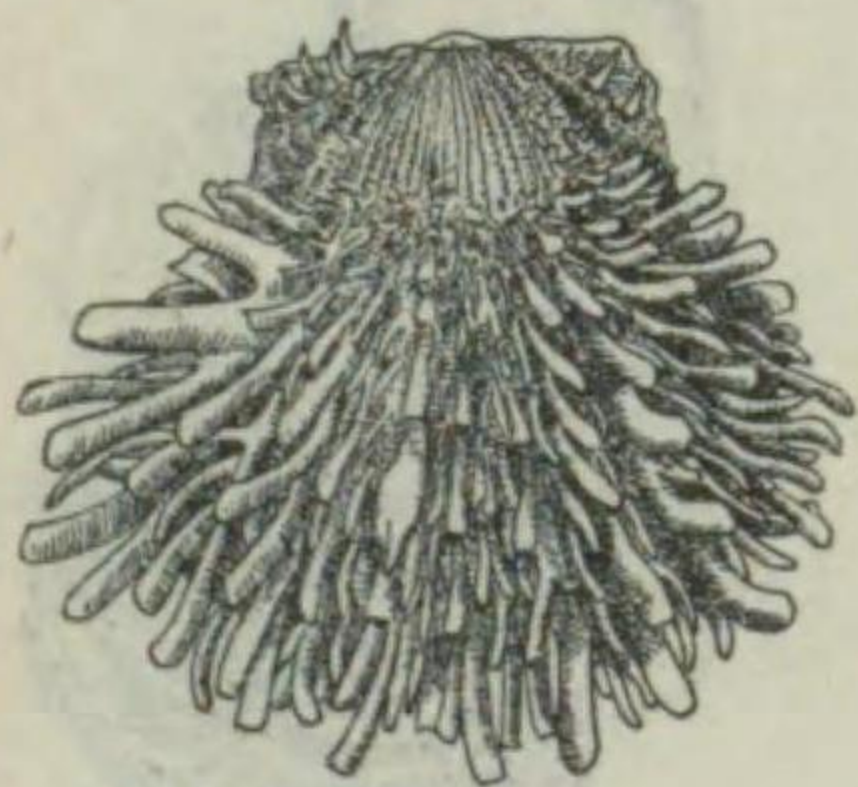
*Pecten yessoensis.*

殼ハ大キク略々圓形ニシテ、右殼片ハ殼頂近ク脹ラメルモ、左殼片ハ僅カニ膨ミ、各殼片ニ一六ノ放射肋ヲ有シ、殼頂ノ前後ニ耳狀突起アリ。貝柱ハ太ク、殼ノ開閉ニヨリテ水ヲ排出スルコトニヨリ殼ヲ前方ニ進ム。殼表ハ淡紅褐色ヲ呈シ、内面ハ白色ナリ。殼長一八〇耗、高一七〇耗内外ニ達ス。北日本産ニシテ、大ナル貝柱ハ美味ナリ。

ホタテガヒ科

ホタテガヒ (帆立貝)

第二四六〇圖



*Spondylus sinensis.*

略々めんがひニ似タルモ、殼表ノ突起多ク、恰モ菊花ノ如キ觀ヲ呈シ、鮮紅色、淡紫色、黄灰色等變化多ク、内面ハ白色ニシテ、ソノ周縁ハ黄褐色及ビ紫紅色ノ二重輪ヲナシ、窩心部ハ稍々黄色ヲ呈セリ。殼長九〇耗、高九三耗内外ナリ。南日本ニ廣ク分布シ、食用ニ供セラレ。

ウミギク (海菊)

第二四五九圖



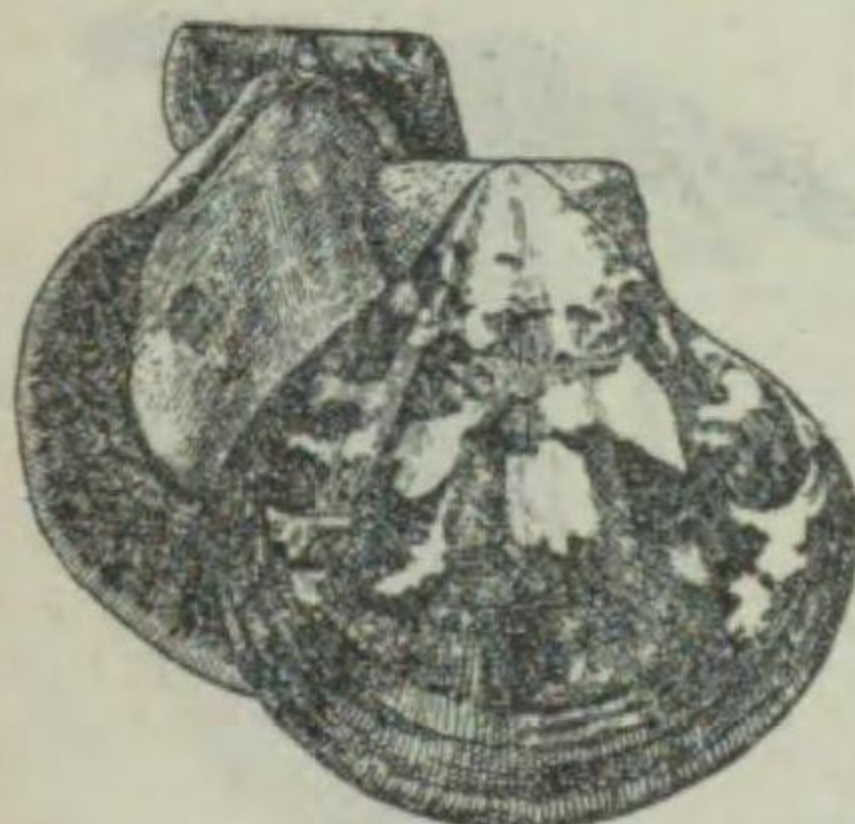
*Spondylus ducalis.*

兩殼片ハ不等ニシテ、殼質ハ堅ク、右殼片ハ膨レ、馬蹄形ニシテ凹凸多ク、輪脈ニハ鱗片狀突起多シ。左殼片ハ扁平ニシテ、多クノ放射肋ヲ有シ、稍々太キ管狀突起アリ。殼頂ハ稍々高クシテ、相離レ、兩耳部ハ同形ニシテ稍々小形ナリ。殼色ハ灰白色地ニ帶紫褐色ノ雲形紋ヲ有シ、内面ハ白色ニシテ、全縁ニ弱キ稜ヲ有ス。大島、琉球、臺灣等ノ暖海ニ産ス。

メンガヒ (扇貝)

メンガヒ科

第二四五六圖

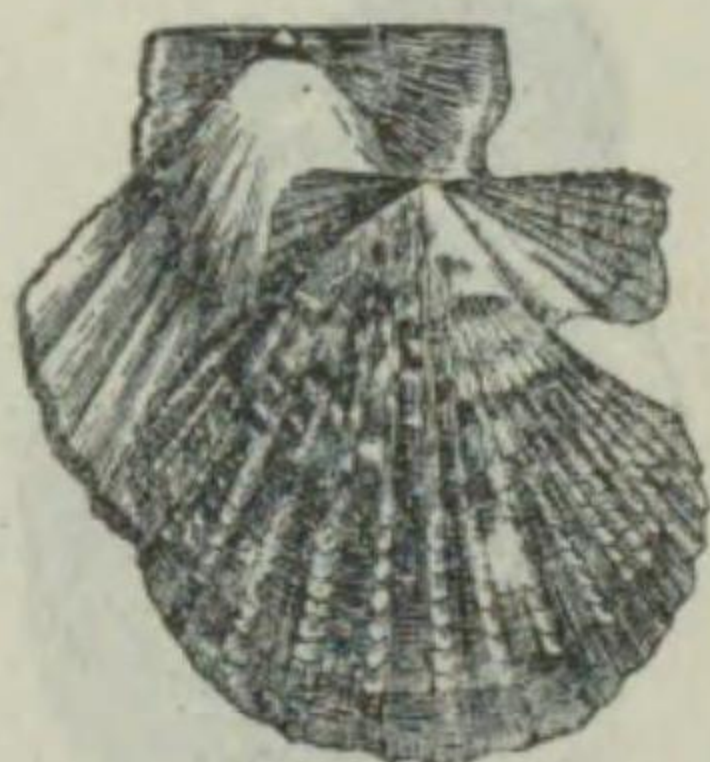


*Chlamys plica.*

殼ハ巾着形ヲ呈シ、殼頂兩側ノ耳部ハ前後略々同形ナリ。殼表ニ四乃至五條ノ太キ放射肋ヲ有シ、多數ノ細キ縱脈ヲ有ス。色彩ニハ變化多キモ、多クハ白色ニ紫紅色斑ヲ現セリ。殼長五〇耗、高五五耗内外ニ達ス。紀伊以南ノ稍々深海ニ棲息セリ。

ホタテガヒ科

第二四五五圖



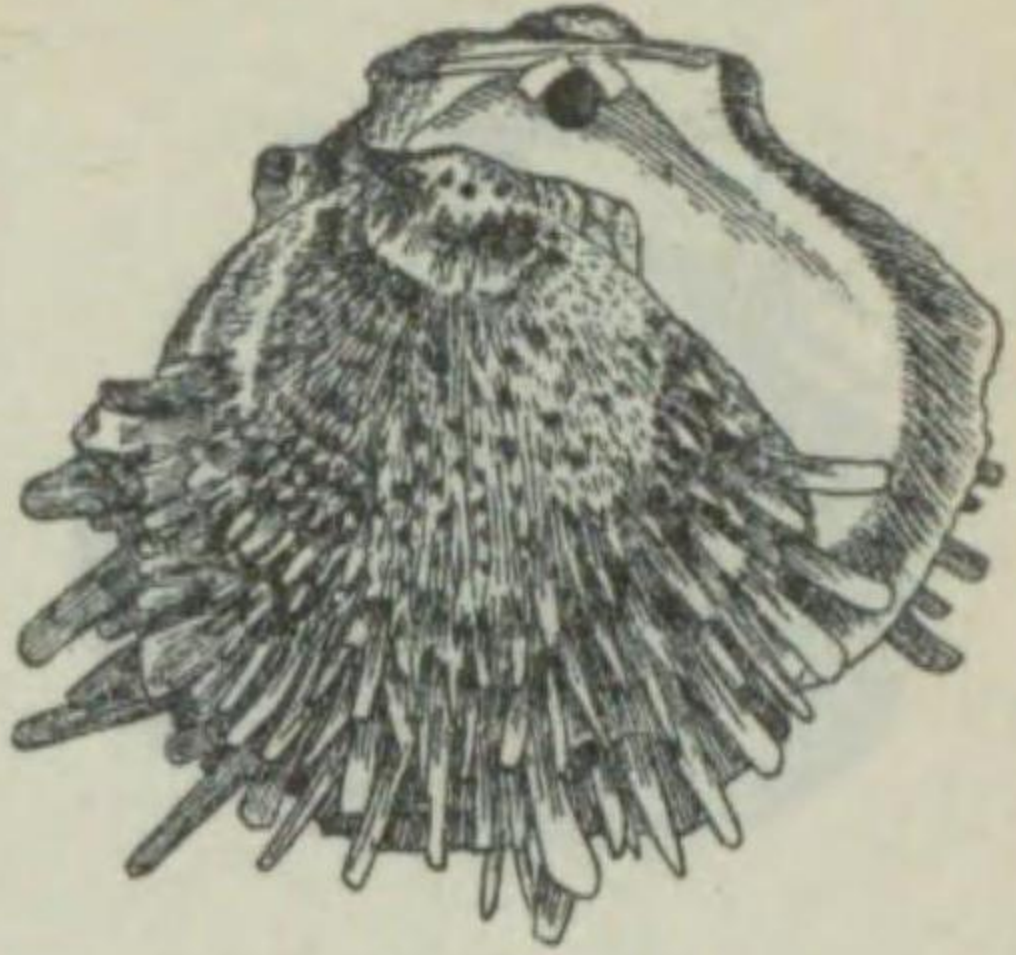
*Chlamys laetus.*

殼ハ淺キ箆形ヲ呈シ、耳部ハ前後不同ニシテ前方著シク大形ナリ。殼表ニハ鱗片狀ノ薄片アル多クノ放射肋ヲ有ス。色彩ニハ變異多ク、橙色、鮮紅色、紫色、紫褐色等ヲ現シ、内面ハ白色ニシテ、放射肋ヲ有シ、腹縁ハ鈍齒狀ヲナセリ。殼長一二五耗、高一二〇耗内外ニ達ス。南日本ニ分布セリ。

ホタテガヒ科

アツマニシキ (吾妻錦)

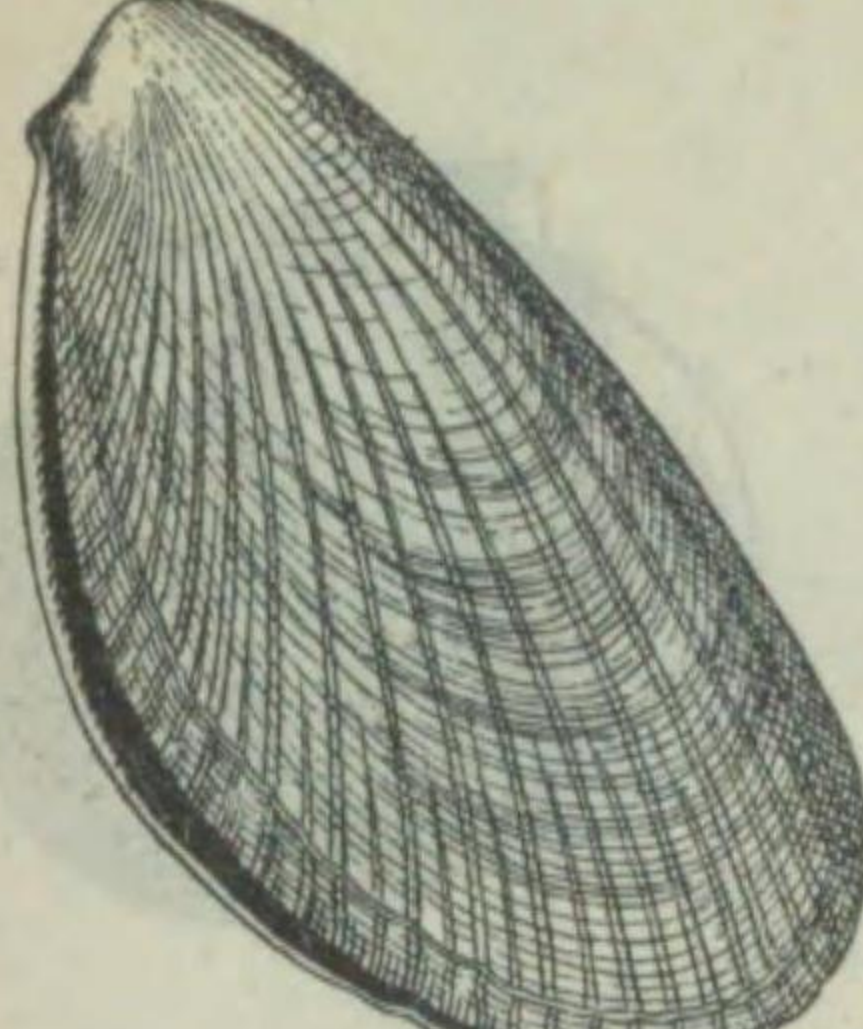
チリボタン (散牡丹) メンガヒ科



第二四六一圖

殼ハ圓形ニシテ、鮮朱色ヲ呈シ頗ル美麗ナリ。右殼片ハ腹レ、殼表ニハ多クノ凹凸ヲ有シ、殼頂ヨリ數條ノ放射肋腹線ニ走り、肋上ニハ多數ノ細長キ管瓣狀突起アリテ腹線ニ到ルニ從ヒ大トナリ、腹線近クニテハ殆ド菊花瓣狀ヲナセリ。内面ハ白色ヲナス。殼長五〇耗、高五〇耗、幅二五耗内外ナリ。南日本ニ廣ク分布ス。

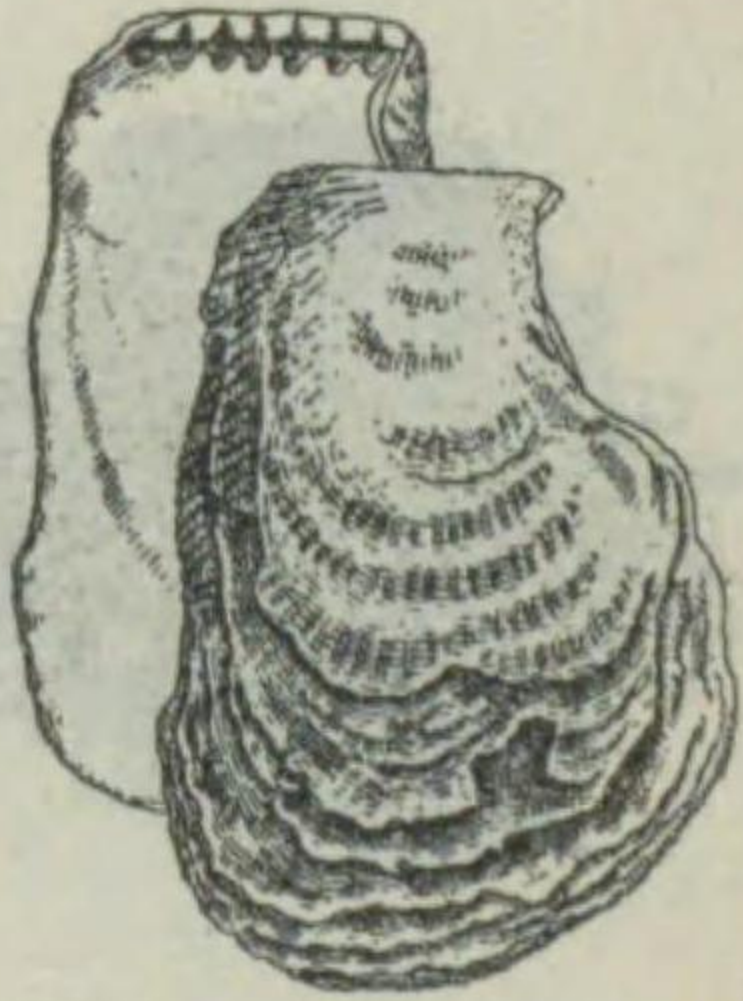
カタハガヒ (片前貝) カラスガヒ科



第二四六二圖

歪圓扇狀ヲ呈シ、殼表ニ約二五條ノ放射肋アリ、肋上ニハ鐘狀ノ多クノ鱗狀突起アリ。殼色ハ白色又ハ淡黃褐色ニシテ、放射肋ハ赤褐色ヲ呈ス。内面ハ白色ニシテ、腹線ハ齒狀ヲ呈セリ。殼長六〇耗、高七八耗、幅一五耗内外ニ達ス。南日本ニ棲息セリ。

マクガヒ科



第二四六三圖

殼ハ卵長方形ヲ呈シ、右殼上後方ニ三角形ノ貝絲孔ヲ有セリ。殼表ニハ鱗狀薄板相重リ、灰白色ヲ呈シ、褐色射線アリ。内面ハ眞珠光澤ヲ有シ、腹線ハ黒褐色ヲ呈セリ。殼長四五耗、高六四耗内外ニ達ス。大島、琉球及ビ臺灣等ノ暖海ニ棲息セリ。

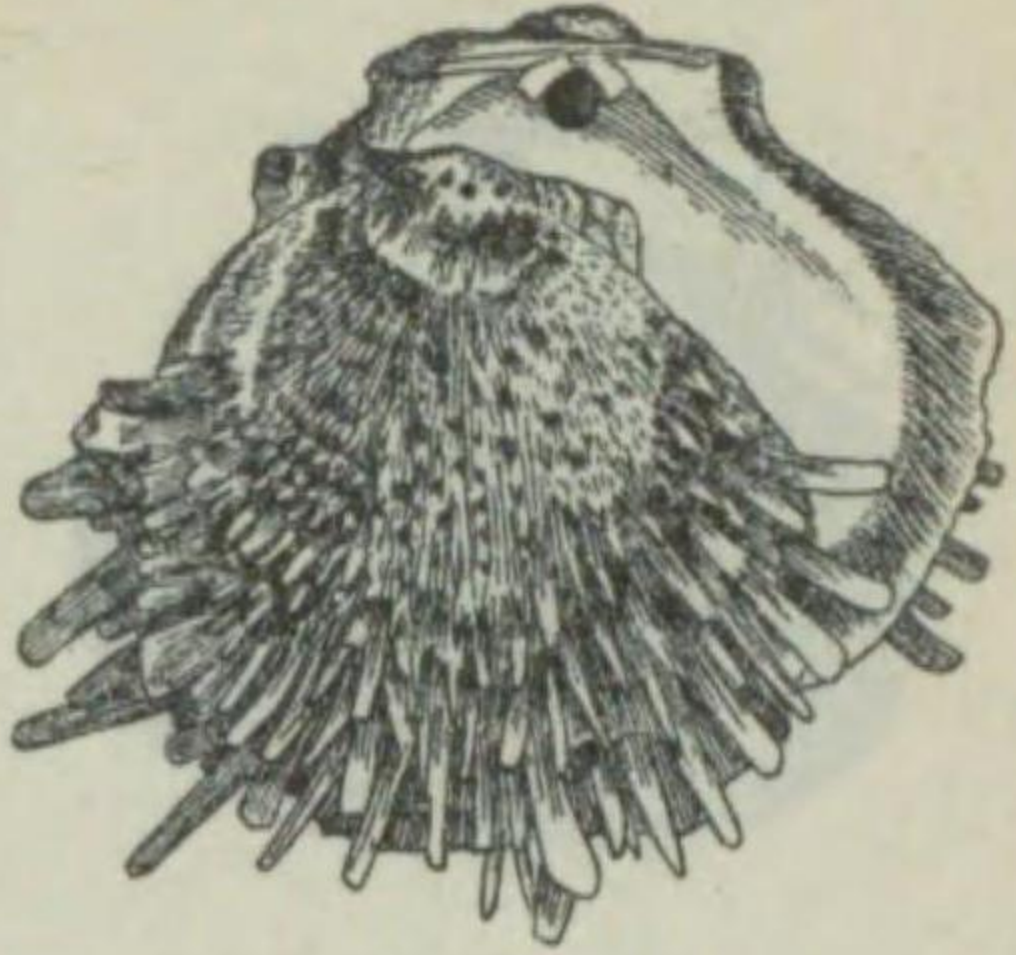
ササノハ (笹葉) カラスガヒ科



第二四六四圖

殼ハ長橢圓形ニシテ、質堅ク、殼頂ハ低ク、著シク前方ニ偏在シ、腹線ハ僅ニ彎曲シ、稍々薙刀豆形ヲ呈セリ。殼表ニハ輪脈多ク、暗黒色ノ殼皮ヲ被リ、内面ハ美麗ナル眞珠光澤ヲ有セリ。殼長一〇〇耗、高四五耗、幅二八耗内外ナリ。清澄ナル河川ノ泥底ニ棲息シ、樺太以南本州ニ互リテ分布ス。眞珠母貝トシテ用ヒ、美術工藝用トナス。

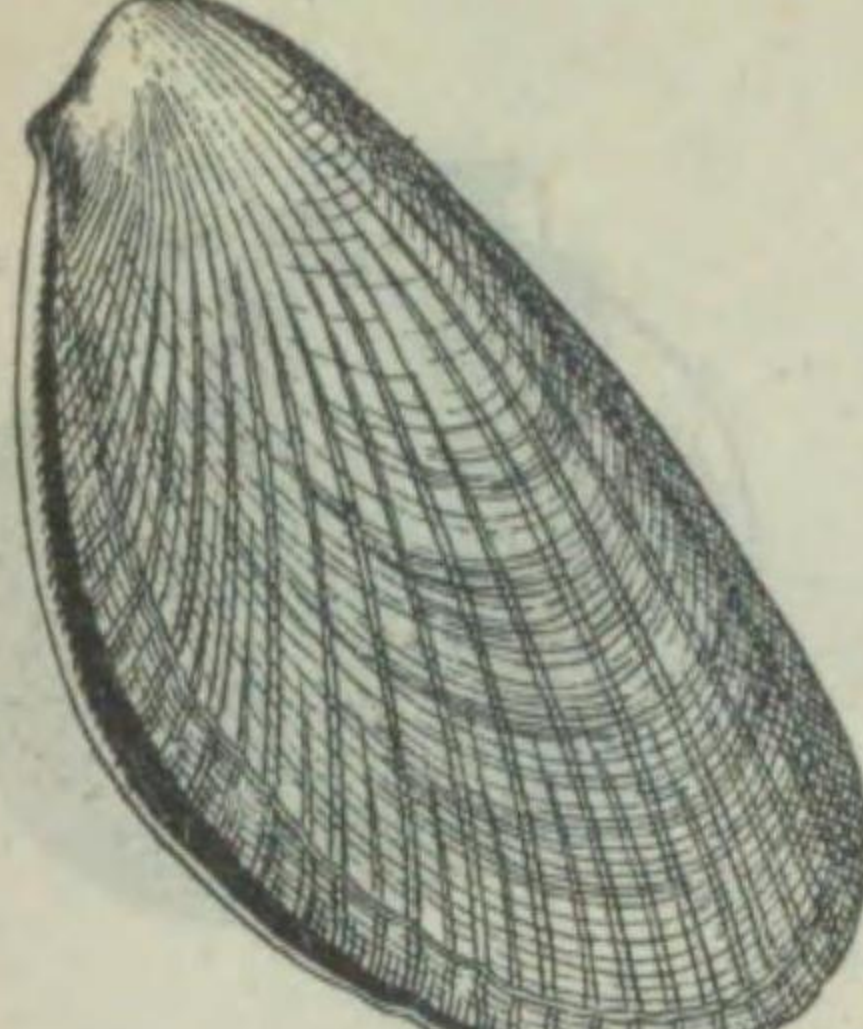
チリボタン (散牡丹) メンガヒ科



第二四六一圖

殼ハ圓形ニシテ、鮮朱色ヲ呈シ頗ル美麗ナリ。右殼片ハ腹レ、殼表ニハ多クノ凹凸ヲ有シ、殼頂ヨリ數條ノ放射肋腹線ニ走り、肋上ニハ多數ノ細長キ管瓣狀突起アリテ腹線ニ到ルニ從ヒ大トナリ、腹線近クニテハ殆ド菊花瓣狀ヲナセリ。内面ハ白色ヲナス。殼長五〇耗、高五〇耗、幅二五耗内外ナリ。南日本ニ廣ク分布ス。

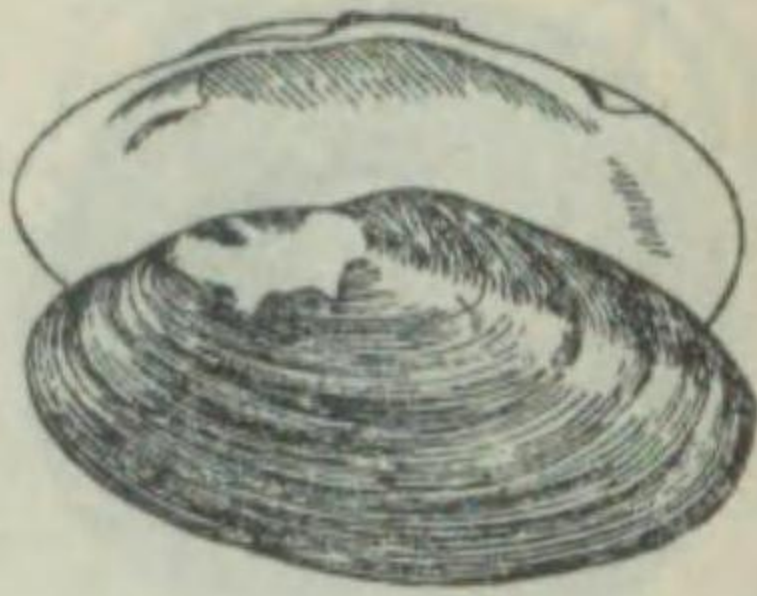
カタハガヒ (片前貝) カラスガヒ科



第二四六二圖

歪圓扇狀ヲ呈シ、殼表ニ約二五條ノ放射肋アリ、肋上ニハ鐘狀ノ多クノ鱗狀突起アリ。殼色ハ白色又ハ淡黃褐色ニシテ、放射肋ハ赤褐色ヲ呈ス。内面ハ白色ニシテ、腹線ハ齒狀ヲ呈セリ。殼長六〇耗、高七八耗、幅一五耗内外ニ達ス。南日本ニ棲息セリ。

第二四六五圖

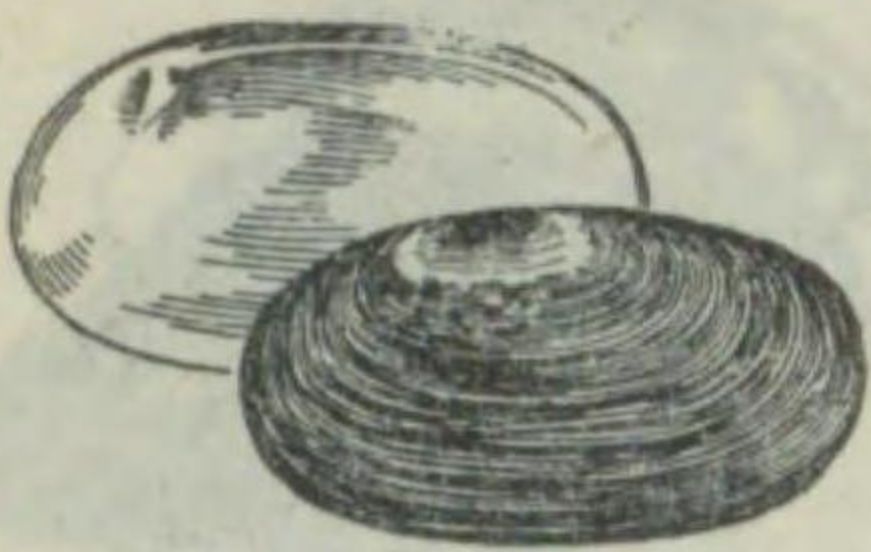


Pseudodon loomisi.

殼ハ長橢圓形ニシテ小サク、殼頂ノ後方ニ耳狀部アリ。殼表ハ黒色ニシテ光澤ヲ有シ、内面ハ可成強キ眞珠光澤ヲ呈ス。殼長七五耗、高三五耗、幅一三耗内外ナリ。東北地方ニ多産シ、淡水眞珠母貝トナシ、有望ナルモノナリ。

マツカサガヒ (松穂貝) カラスガヒ科

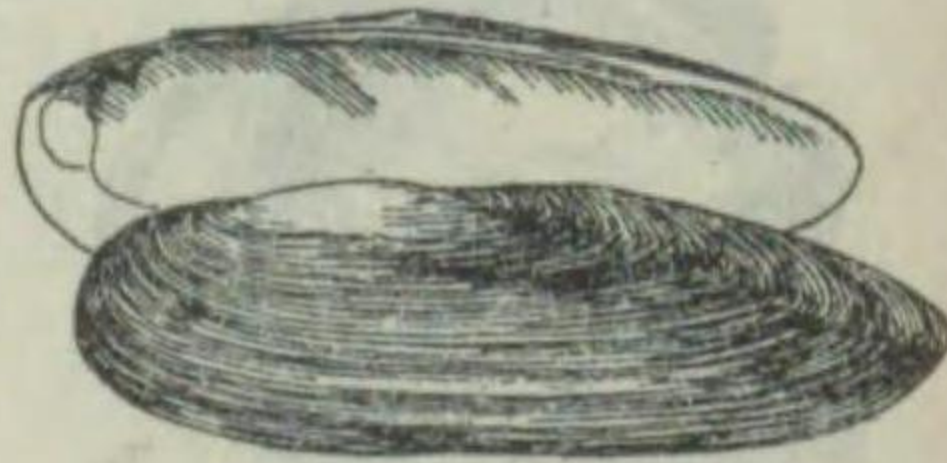
カラスガヒ科



Nodularia japonensis.

殼ハ略々長橢圓形ニシテ小サク、後端ハ稍々延長シ、弱キ稜ヲ形成セリ。殼表ニ輪脈、放射肋及ヒ之ヲ截斷シテナル顆粒ヲ有シ、内面ハ美麗ナル眞珠光澤ヲ有ス。殼長四五耗、高二七耗、幅一五耗内外ニ達ス。東北地方ノ比較的清潔ナル小川ノ砂底ニ棲息セリ。

第二四六七圖



Lanceolaria oxyrhynca.

殼頂ハ前方ニ偏在シ、前短ハ短クシテ圓ク、後端ハ長ク、篋ノ葉狀ニ延長セリ。殼表ハ黒色ニシテ、光澤ヲ有シ、内面ハ白色ニシテ、眞珠光澤ヲ有ス。殼長七〇耗、高サ二五耗、幅一五耗内外ナリ。琵琶湖及ビ瀬田川等ノ砂多キ清流ニ好ミテ棲息ス。

カラスガヒ (烏貝) カラスガヒ科

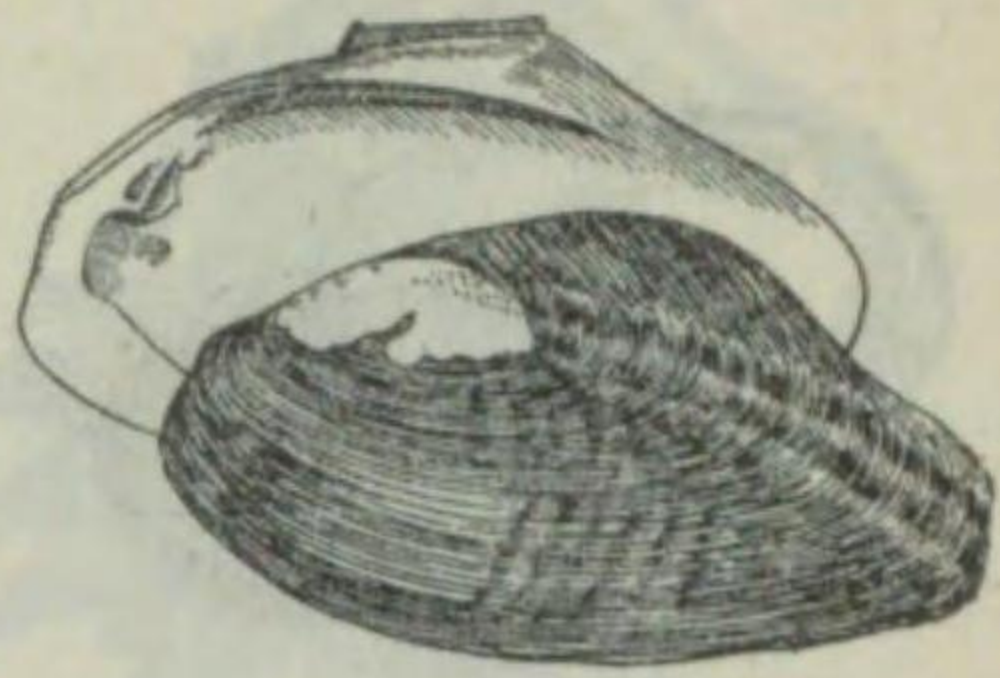
カラスガヒ科



Cristaria plicata.

殼ハ薄ク、兩殼同大ニシテ、前部ハ圓ク、後方部ハ突出セリ。殼頂ハ稍々偏在シ、ソノ前後ハ耳狀ニ膨出シ、後方ノモノ大ナリ。殼表ニハ粗キ輪脈ヲ有シ、暗黒色乃至帶緑褐色ニシテ、光澤ヲ有シ、内面ハ青白色ニシテ、眞珠光澤著シ。縞帯ニハ後方ニ側齒狀突起ヲ有セルノミナリ。幼貝ハ有鉤子トナリ、魚類ノ鱗、鱗等ニ寄生シ、後獨立生活ヲナス。殼長一四〇耗、高七五耗内外ナリ。湖沼ノ泥底ニ棲息シ、北海道以南ニ産ス。

第二四六九圖



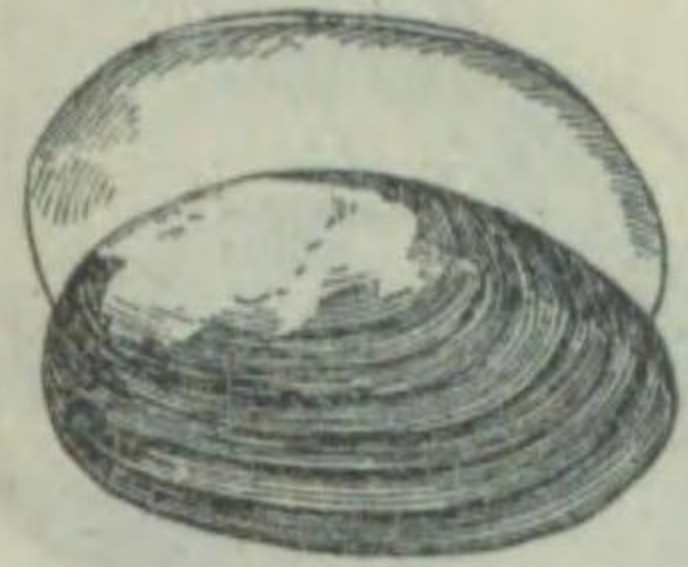
Hyriopsis schlegelii.

殻ハ頗ル大形ニシテ、厚ク、殻頂ハ前方ニ偏在シ、ソノ後方ノ耳狀突起著シク、後端部ハ延長シテ稍々菱形ヲ呈セリ。殼表ハ黒色ニシテ、殻頂部ハ亮ケ、眞珠層ヲ露出シ、輪脈ハ線狀ニ表レ、稍々太キ不正形ノ放射肋アリ。殻長一七〇耗、高九〇耗、幅四二耗内外ナリ。琵琶湖、瀬田川等ニ産ス。

イケテフガヒ (池蝶貝)

カラスガヒ科

第二四七〇圖



Anodonta lauta.

からすがひニ似タルモ、長楕圓形ニシテ小さク、耳狀部ハ發達セズ。殼表ノ輪脈ハ細ク、内面ハ白色ニシテ、僅ニ眞珠光澤ヲ有シ、時ニ褐色ノ汚斑ヲ有ス。殻長七五耗、高五〇耗、幅二五耗内外ニ達ス。南日本ニ分布セリ。

ヌマガヒ (沼貝) カラスガヒ科

(異名) ヲフガヒ

エゾシラヲガヒ (蝦夷白尾貝)

エゾシラヲガヒ科

第二四七三圖



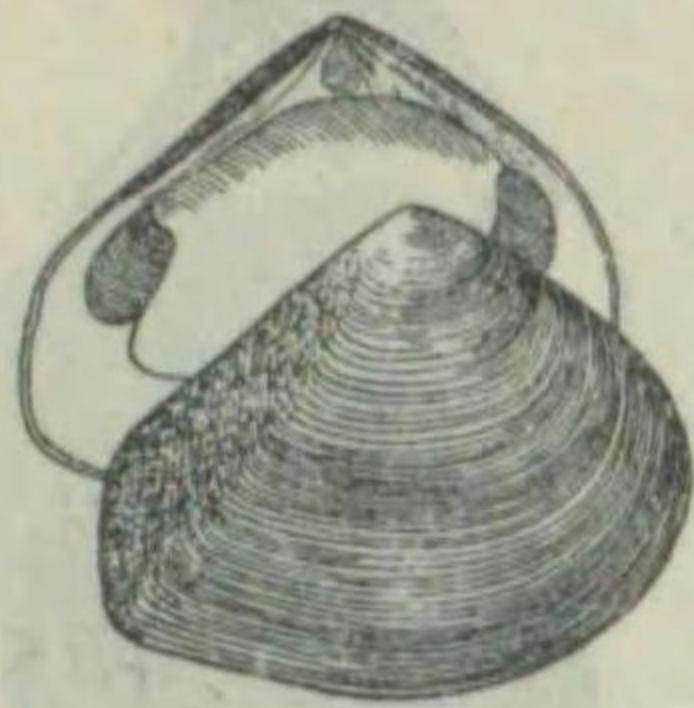
Astarte borealis.

殻ハ厚ク、亜三角形ヲ呈シ、殻頂ハ前向シテ高ク、多クハ侵蝕セラレ。殼表ニハ多クノ輪脈ヲ有シ、暗褐色ノ殼皮ヲ被リ、内面ハ白色ヲ呈セリ。殻長四三耗、高四〇耗、幅一七耗内外ニ達ス。化石トシテ多ク發見セラレ、モ、北日本ノ深海ニ棲息セリ。

モシホガヒ (藻鹽貝)

モシホガヒ科

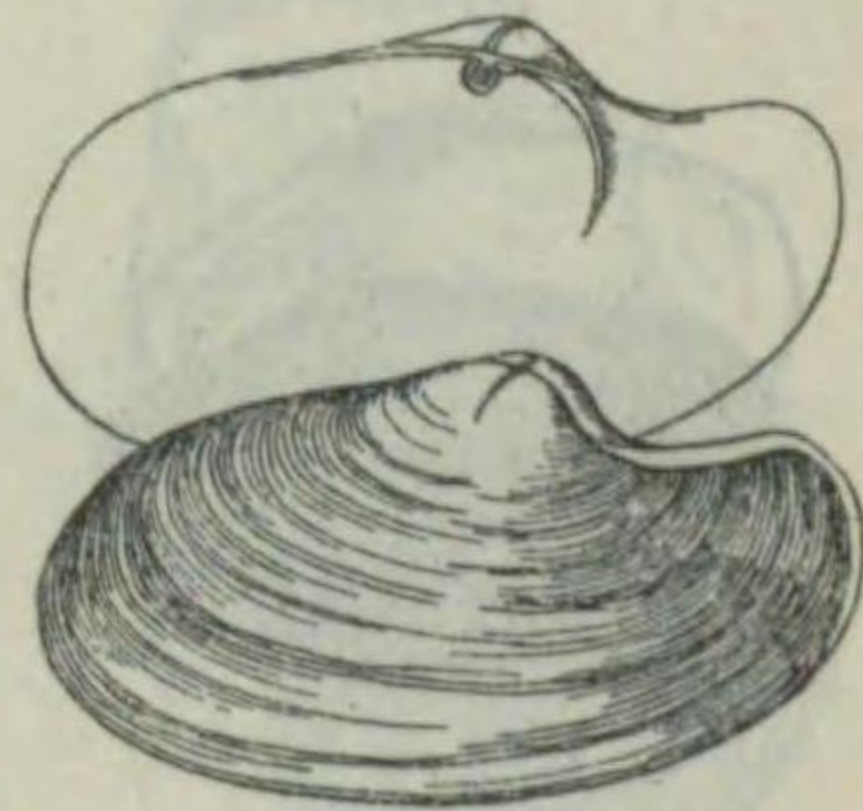
第二四七四圖



Crassatellites heteroglypta.

亜三角形ニシテ、殻頂ハ稍々前方ニ偏シ、後端ハ稍々突出シ、稜ヲ形成ス。殼表ニハ多クノ輪脈ヲ有シ、淡褐色地ニ赤褐色ノ放射帶ヲ現シ内面ハ白色ニシテ窩心部ハ稍々橙色ヲ呈シ、肉柱痕ハ褐色ヲ帶ベリ。殻長三六耗、高三〇耗、幅一六耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

第二四七一圖

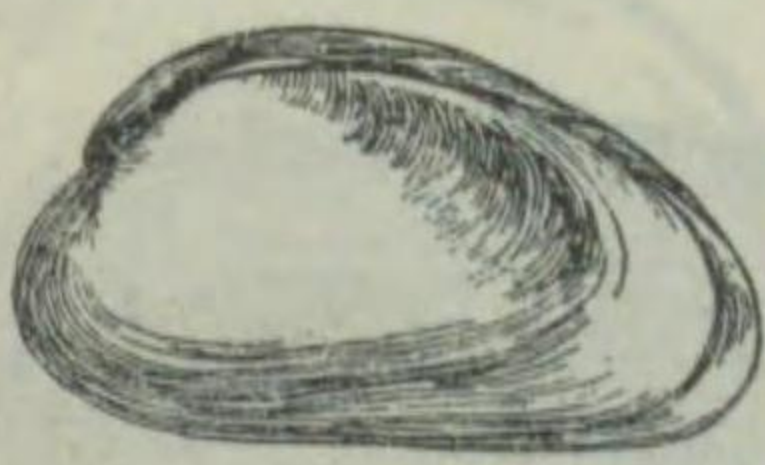


Laternula japonica.

殻ハ亞長大形ニシテ、薄ク、殻頂ハ稍々後偏シ、中央ニ縱裂ヲ有シ、丘部ハ凹彎シ、後端ハ鳥ノ尾翼狀ヲ呈セリ。前後兩端ニ間隙ヲ有シ、白色ナリ。殻長四五耗、高二五耗、幅一五耗内外ナリ。雌雄同體ニシテ、南日本ニ多産ス。

オキナガヒ (翁貝) オキナガヒ科

第二四七二圖



Trapezium japonicum.

不等邊長方形ヲナシ、殻頂ハ前方ニ偏在シテ低ク、後方ニ向ヘル對角線ニ沿ヒテ隆起アリ。腹縁中央部ハ稍々凹彎セリ。殼表ニハ粗ク細キ輪脈ヲ有シ、暗灰色ニ紫色斑ヲ現シ、内面ハ淡紫色ナリ。殻長二五耗、高一二耗、幅七耗内外ニ達ス。南日本ニ多シ。

ウネナシトマヤガヒ

(試無苦屋貝)

ウネナシトマヤガヒ科

マシジミ (眞蜆)

(異名) シジミ

シジミ科

第二四七五圖



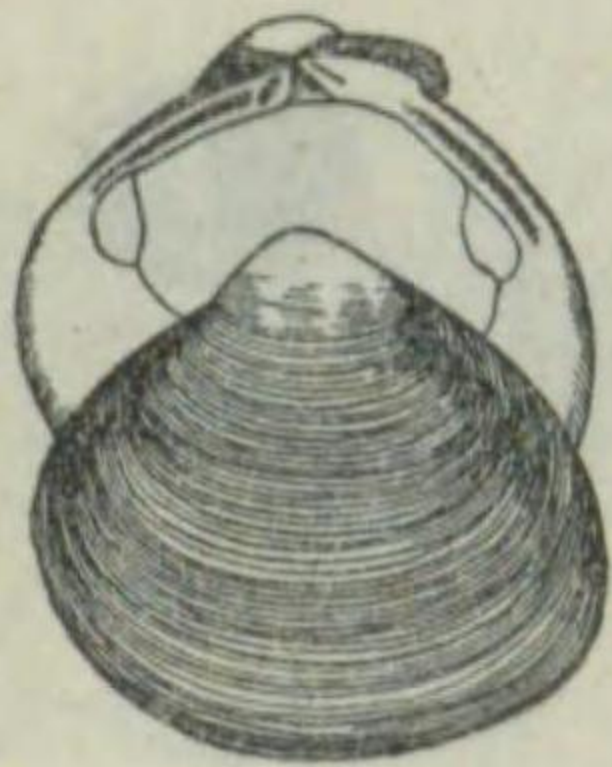
Corbicula leana.

亜三角形ヲ呈シ、殻頂ハ多クハ侵蝕セラレ、殼表ニハ殻頂ヲ中心トセル輪脈明顯ニシテ、帶狀黃褐色乃至黒褐色ノ皮殼ヲ被リ、光澤ヲ帶ビ、内面ハ青紫色ニシテ、窩心部ハ淡シ。殻長三三耗、高二八耗、幅一九耗内外ナリ。淡水、汽水ノ泥底ニ棲息シ、本州以南各地ノ河川ニ廣ク分布セリ。鮮食又ハ佃煮用トナス。

ヤマトシジミ (大和蜆)

シジミ科

第二四七六圖

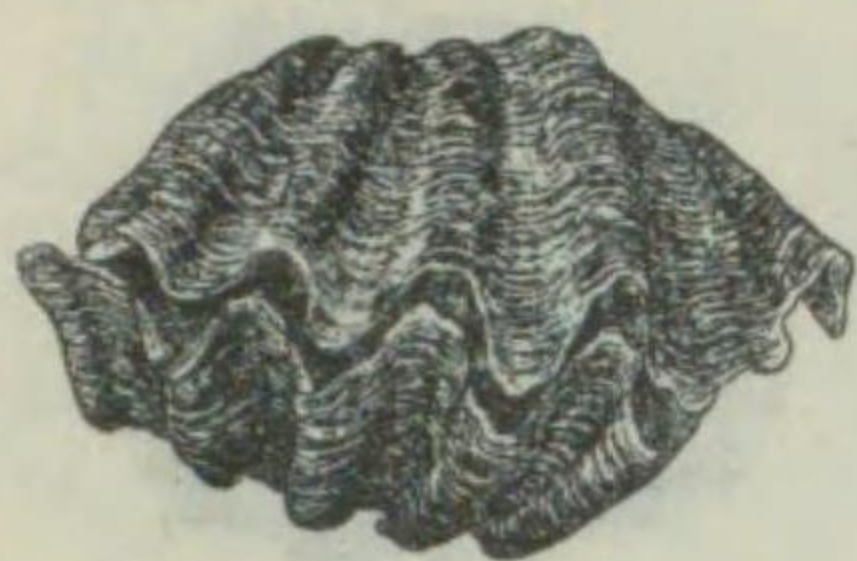


Corbicula japonica.

殻頂ハ高ク、膨滿シ、稍々前向セリ。殼表ノ輪脈ハ寧ろ弱ク、殻頂附近ニテハ往々之ヲ缺ク。殼皮ハ漆黒色ヲ呈シ、内面ハ殆ド白色ニシテ、僅ニ淡青色ヲ帶ベリ。殻長三三耗、高三〇耗、幅二〇耗内外ニ達ス。南日本産ナルモ、北海道ニモ産ス。鮮食又ハ佃煮用ニ供セラル。

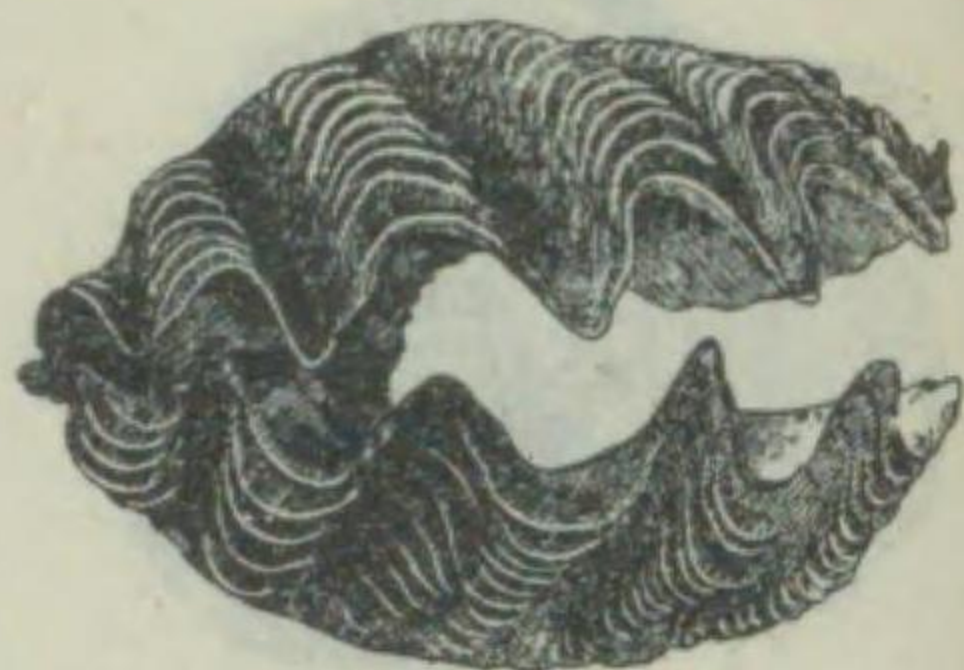


第二四八二圖



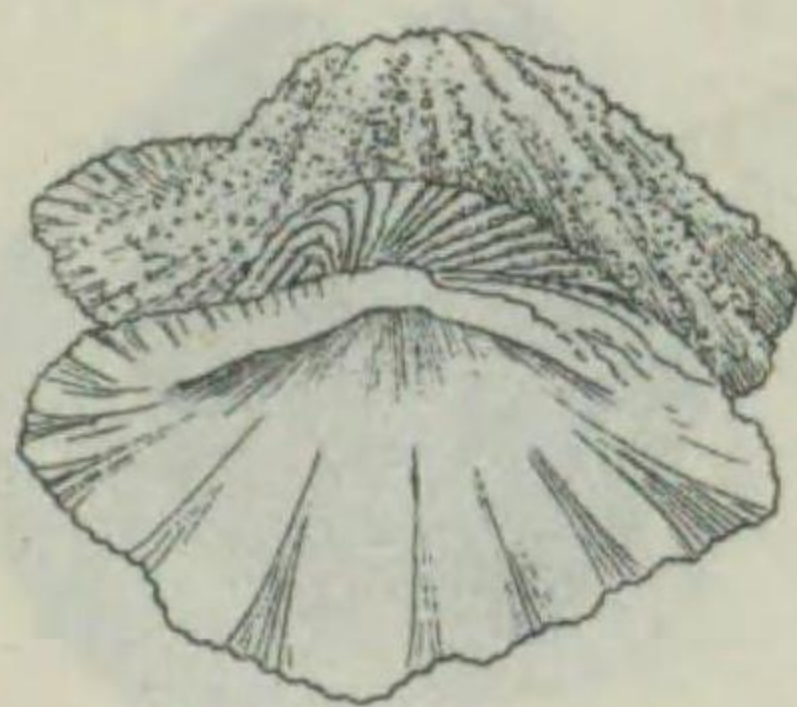
Tridacna squamosa. 殻ハ厚ク、亜三角形ヲ呈シ、殼頂ハ稍々前向シ、ソノ直前ニ四彎部アリテ、強大ナル糸足ヲ有シ、岩石ニ固着ス。殼表ニハ覆瓦狀輪脈及ビ數條ノ放射肋ヲ有シ、爲メニ波狀齒ヲ形成ス。殼色ハ灰白色ヲ呈シ、内面ハ白色ニシテ光澤ヲ有ス。殼長一米、高六五〇耗、殼ノ厚サ二〇〇耗、重量二〇〇耗ニ達ス。古來七寶ノ一ニ列セラレ、肉ハ食用トナシ、美味ニシテ、殼ハ種々ノ裝飾用ニ供セララル。琉球、臺灣ニ分布ス。

第二四八一圖



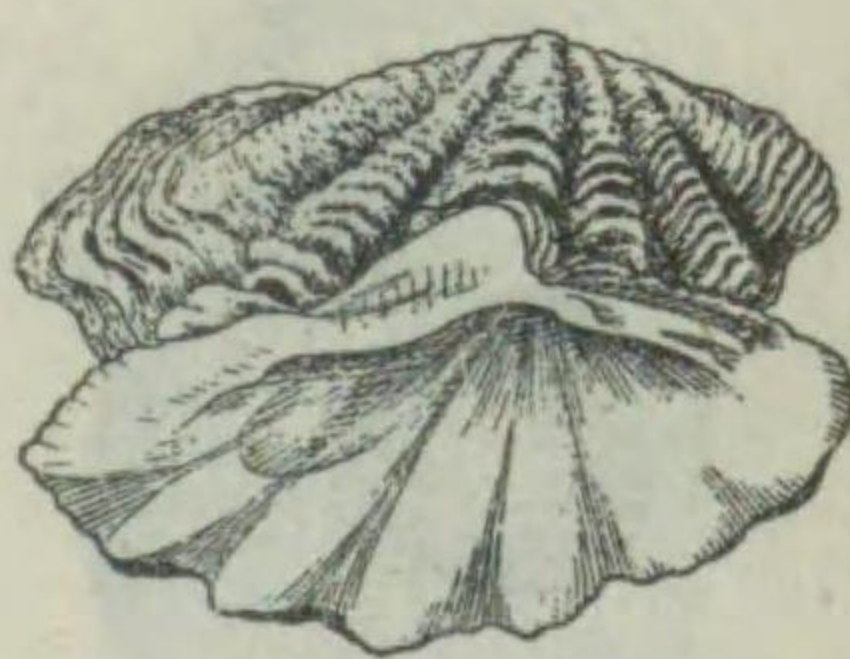
Tridacna gigas. 殻ハ厚ク、亜三角形ヲ呈シ、殼頂ハ稍々前向シ、ソノ直前ニ四彎部アリテ、強大ナル糸足ヲ有シ、岩石ニ固着ス。殼表ニハ覆瓦狀輪脈及ビ數條ノ放射肋ヲ有シ、爲メニ波狀齒ヲ形成ス。殼色ハ灰白色ヲ呈シ、内面ハ白色ニシテ光澤ヲ有ス。殼長一米、高六五〇耗、殼ノ厚サ二〇〇耗、重量二〇〇耗ニ達ス。古來七寶ノ一ニ列セラレ、肉ハ食用トナシ、美味ニシテ、殼ハ種々ノ裝飾用ニ供セララル。琉球、臺灣ニ分布ス。

第二四八四圖



Hippopus hippopus. 殻ハ厚クシテ略々菱形ヲ呈シ、殼頂ハ前方ニ振レ、前丘ニハ貝絲孔ナク、心臟形ヲ呈シ、斜ニ截斷狀ヲナセリ。殼面ニハ七乃至八條ノ大ナル放射肋ヲ有シ、コノ間ニ二乃至三條ノ小肋アリ。殼色ハ灰白色ニシテ、背線ハ黃色ヲ呈シ、濃褐色ノ小斑散在セリ。九州以南ニ分布ス。

第二四八三圖



Tridacna elongata. 殻ハ長キ亜三角形ニシテ、放射肋ハ前方ニ斜行シ、蟻狀ノ附屬物ヲ有シ、低シ。貝絲ノ彎入ハ長楕圓形ニシテ大ナリ。殼色ハ帶黃白色ヲ呈シ、内面ハ白色ニシテ光澤顯著ナリ。殼長一二五耗、高五〇耗内外ニ達ス。九州以南ニ分布セリ。殼ハ細工用ニ供セララル。

第二四七八圖



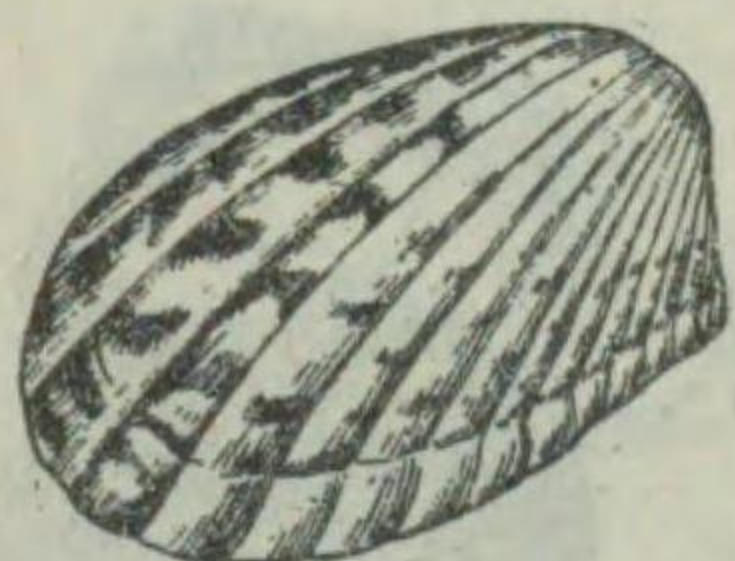
Corbicula awajiensis. 略々楕圓形ヲナシ、極メテ小形ニシテ、殼頂ハ稍々後方ニ偏在シ、多クハ侵蝕セラレ、紫色ヲ呈ス。殼表ハ輪脈多ク、殼皮ハ帶綠褐色ニシテ、内面ハ紫色ヲナセリ。殼長一五耗、高一耗、幅七耗内外ニ過ギズ。淡路ニ多産ス。

第二四七七圖



Corbicula sandai. 殼頂ハやまとしじみヨリ更ニ高ク膨滿シ、殆ド中央ニ位シ、殼表ノ輪脈ハ稍々強ク、殼皮ハ黑褐色乃至橙黃色ヲ呈シ、内面ハ淡青紫色ニシテ窩心部ハ稍々淡シ。殼長及ビ高共三〇耗、幅二〇耗内外ナリ。琵琶湖瀨田川ハ古來著名ナル産地ナリ。肉ハ食用ニ供セララル。

第二四八〇圖



Cardita cumingiana. 不等邊長方形ヲ呈シ、殼頂ハ前方ニ位シ、殼表ニハ一四乃至一七條ノ強キ放射肋ヲ有シ、ソノ上ニ粗キ鱗片狀突起アリ。腹線ハ稍々凹入ス。殼色ハ白色ニシテ、赤褐色ノ汚斑ヲ有シ、内面ハ白色ナリ。腹線ノ狭キ間隙ヨリ足絲ヲ出シ、固着生活ヲナス。殼二五耗、高一五耗、幅一五耗内外ニ達ス。南日本ニ廣ク分布セリ。

第二四七九圖



Musculium heterodon. 殻ハ短キ楕圓形ニシテ、膨滿ス。殼表ニハ細キ輪脈ヲ顯シ、灰褐色ヲ呈シ、内面ハ白色ナリ。殼長七耗、高六耗、幅四耗内外ノ頗ル小形種ナリ。幼貝ハ母貝ノ外鰓中ニ抱カレテ生長ス。南日本ノ小川ノ泥土中ニ棲息セリ。

セタシジミ (瀨田鰓) シジミ科

アハチシジミ (淡路鰓) シジミ科

シジミ科

マルドフシジミ (丸泥溝鰓) ドフシジミ科

トマヤガヒ (苦屋貝) トマヤガヒ科

トマヤガヒ科

シャコ (確磯貝) シャコガヒ科

シャコガヒ科

ナガシャコ (長確磯) シャコガヒ科

シャコガヒ科

第二四八五圖



Chama lazarus.

殻ハ不規則ナル馬蹄形ヲ呈ス。左殻片ハ右殻片ヨリ扁平ニシテ小サク、刺狀突起ニヨリテ岩石ニ固着ス。白色地ニ黄褐色ノ放射帶アリ。右殻片ハ殻頂稍々右旋シ、表面ニ管瓣狀突起多ク、白色地ニ赤褐色斑アリ。内面ハ白色ヲ呈セリ。殻長三〇耗、高二五耗、幅一五耗内外ナリ。南日本ニ産ス。

キクザル (菊猿貝) キクザルガヒ科

第二四八六圖



Pseudochama retroversa.

殻ハきくざるニ酷似シ、不規則ナル馬蹄形ヲナセルモ、右殻片ハ左旋シ、突起少シ。殻色ハ白色地ニ淡紫褐色斑ヲ現ス。殻長三〇耗、高四五耗、幅一三耗内外ニ達ス。分布きくざるト略々同ジク南日本ニ棲息セリ。

サルノカシラ (猿ノ頭) キクザルガヒ科

第二四八七圖



Lucina bialata.

殻ハ略々圓形ニシテ、殻頂圓ク稍々前向セリ。殻表ニハ輪脈多ク、淡黄褐色乃至白色ノ薄キ殻皮ヲ被リ、内面ハ白色ナリ。殻長五〇耗、高四五耗、幅二六耗内外ニ達ス。南日本見出サル。

イセシラガヒ (伊勢白貝) イセシラガヒ科

第二四八八圖

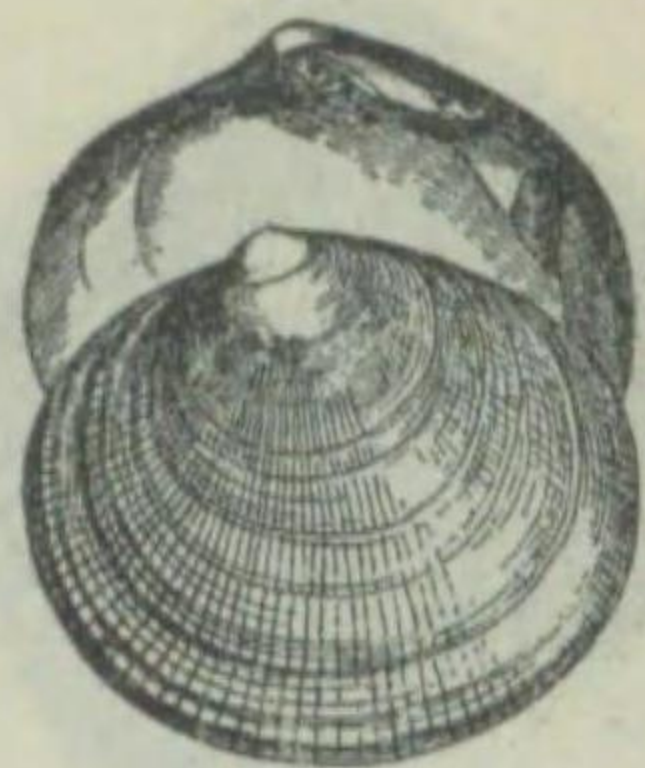


Loripes pisidium.

殻ハ圓形ニシテ小サク、恰モ梅ノ花瓣狀ヲ呈ス。殻頂ハ稍々前向セリ。殻表ニハ多クノ輪脈細キ放射脈ト交叉シ、布目狀彫刻ヲ現シ、淡黄褐色ノ薄キ殻皮ヲ被リ、内面ハ白色ニシテ瀬戸物様光澤ヲ現シ、腹縁ニ細鋸齒ヲ有ス。殻長六耗、高五・五耗、幅三耗内外ナリ。本州ニ分布シ、殻片ノ美ナルヲ以テ、美術工器用ニ供ス。

ウメノハナガヒ (梅ノ花貝) イセシラガヒ科

第二四八九圖



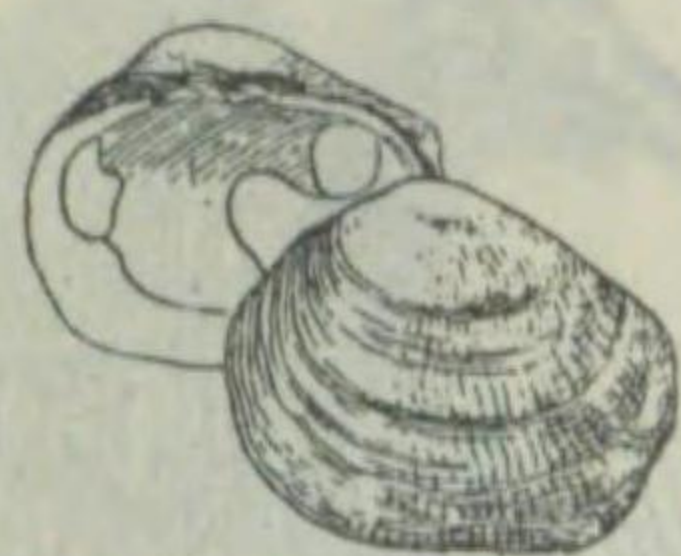
Codakia tigrina.

殻ハ圓形ヲ呈シ、比較的大形ニシテ、殻頂ハ小サク、前向セリ。殻表ニハ多クノ輪脈及ビ放射肋交叉シ、粗キ縞狀ヲ呈ス。殻色ハ淡橙白色ヲナシ、内面ハ黄色ヲ呈シ美麗、其ノ周縁ニハ淡紅色ノ細帶ヲ現セリ。殻長九五耗、高八五耗、幅四五耗内外ニ達ス。琉球及ビ臺灣ニ分布セリ。

ツキガヒ (月貝) イセシラガヒ科

ヤヘウメ (八重梅) シホガマ科

第二四九〇圖



Diplodonta japonica.

殻ハ頗ル膨滿シ、小球形ヲ呈ス。殻頂モ亦膨レ、之ヲ中心ニ多クノ細輪脈ヲ有ス、細放射脈モ亦多シ。殻表ハ灰白色ヲ呈シ、時ニ淡黄褐色ノ汚斑ヲ現シ、内面ハ白色ナリ。殻長一八耗、高一六耗、幅一四耗内外ナリ。軟岩ニ穿孔シテ棲息シ、南日本ニ分布セルモ、日本海岸ニテモ見出サル。

軟體動物—斧足類—真正瓣鰓目

第二四九一圖



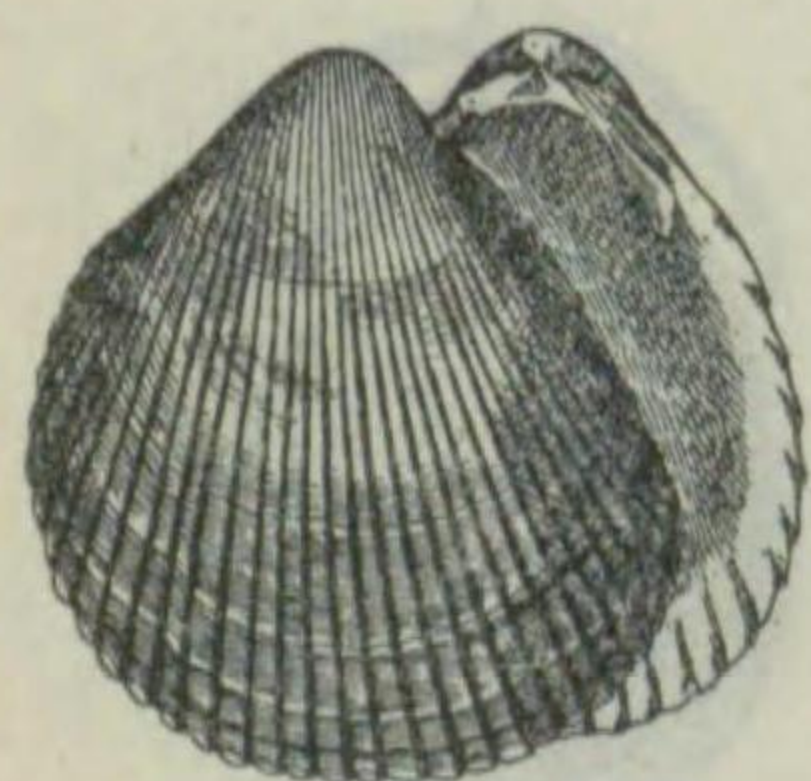
Cardium flavum.

殻ハ箕形ヲ呈シ、殻頂ハ頗ル膨滿ス。殻面ニハ二八乃至三〇條ノ粗キ放射肋ヲ有シ、生長線ニヨリテ鋸齒刻ヲ有セリ。殻色ハ灰白色ニシテ、暗色點ヲ有シ、内面ハ白色ヲ呈シ、腹縁ノ鋸齒間ハ紅色ヲナセリ。殻長五〇耗、高五六耗、厚四〇耗内外ニ及ベリ。九州以南ノ暖海ニ棲息ス。

リウキウザルガヒ (琉球箕貝) ザルガヒ科

ザルガヒ (箕貝) ザルガヒ科

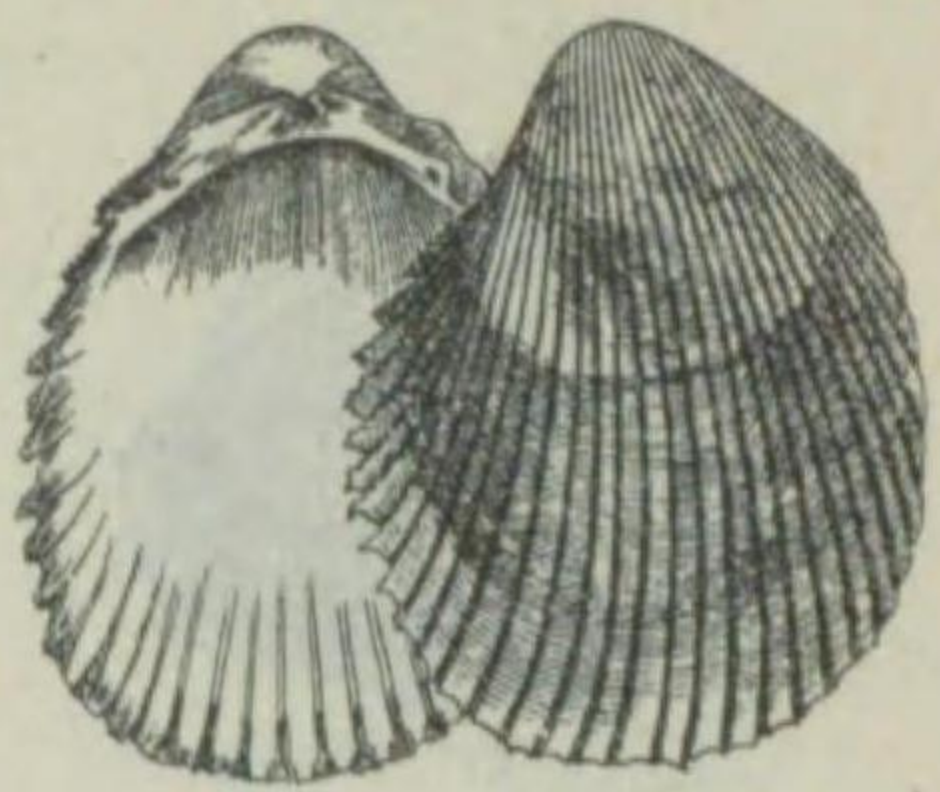
第二四九二圖



Cardium burchardi.

殻ハ箕形ヲ呈シ、左右殻片ハ同形ナリ。殻頂ハ略々中央ニ位シ、先端ハ内向シテ膨レ、前端ハ圓キモ後端ハ斜ニ截斷狀ヲナセリ。殻表ニハ四〇條内外ノ放射肋ヲ有シ、後端ノ截斷部ノモノハ小刺ヲ有ス。殻表ハ淡紫紅色ヲ現シ、内面ハ白色ニシテ、腹縁ハ鋸齒狀ヲナシ、齒間ハ淡紅色ナリ。殻長六五耗、高八〇耗、幅四〇耗内外ニ達ス。稍々深キ砂底ニ棲息シ、安房、淡路ニ産ス。肉ハ食用ニ供セラル。

第二四九三圖



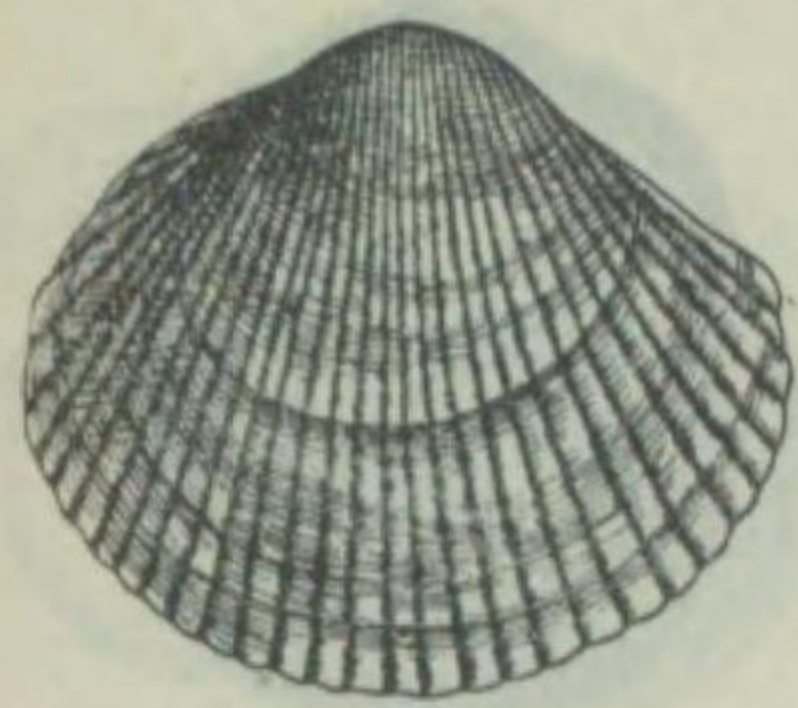
*Cardium elongatum.*

ナガザルガヒ (長筈貝) ザルガヒ科  
ざるがひニ似タレ共、大形ニシテ後端部ハ丸ク膨レタル如キ觀ヲ呈ス。殼表ハ膨レ、放射肋ハ顯著ニシテ、生長線ニヨル波狀線刻ヲ現シ、内面ノ腹縁鋸齒ハ鋭キ棘狀ヲ呈セリ。色彩ハ黃褐色ニシテ、内面ハ白色ニ黃色暈ヲ現ス。殼長八五耗、高一〇〇耗、幅七〇耗内外ニ達ス。南日本ノ太平洋岸ニ産シ食用ニ供セラル。

エゾイシカゲガヒ (蝦夷石陰貝)

ザルガヒ科

第二四九四圖

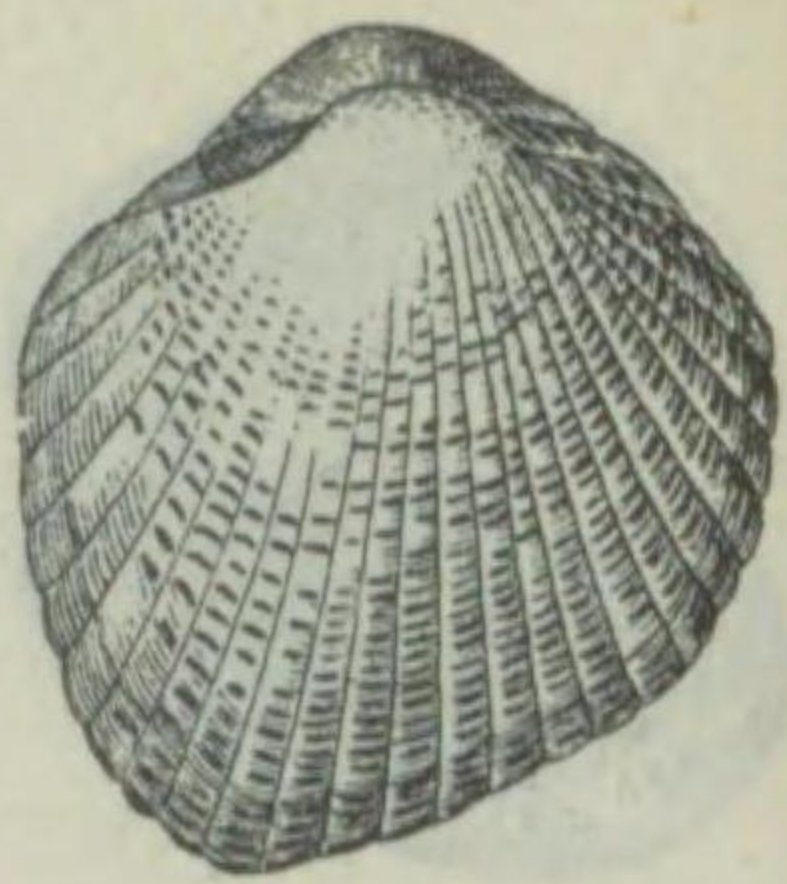


*Cardium californiense.*

亞心臟形ヲ呈シ、殻ノ前後兩端ハ略々同形ナリ。殼頂ハ略々中央ニ位シ、往々侵蝕セラル。殼表ノ放射肋ハ細ク、頗ル多ク、五〇條内外ヲ有シ、密ニ走レリ。殼色ハ汚黃褐色ニシテ、腹縁ハ黃色ヲナシ、内面ハ白色ヲ呈シ、高心部ニ褐色暈ヲ現セリ。殼長七〇耗、高六〇耗、幅四〇耗内外ニ達ス。東北地方ノ寒海ニ見出サル。

カハラガヒ (瓦貝) ザルガヒ科

第二四九七圖



*Cardium unedo.*

斧形ヲ呈シ、殼頂ハ高ク、後方ハ膨レ、前部ハ圓形ナルモ、後端部ハ稜ヲ形成シ、突出セリ。殼表ニハ約三〇條ノ放射肋ヲ有ス。殼色ハ淡黄色ヲ呈シ、放射肋ニハ赤褐色ノ細鱗ヲ有シ、美麗ナリ、内面ハ白色ヲ呈ス。殼長四五耗、高五〇耗、幅三八耗内外ニ達ス。琉球以南ニ棲息セリ。

リウキウアフヒ (琉球葵)

ザルガヒ科

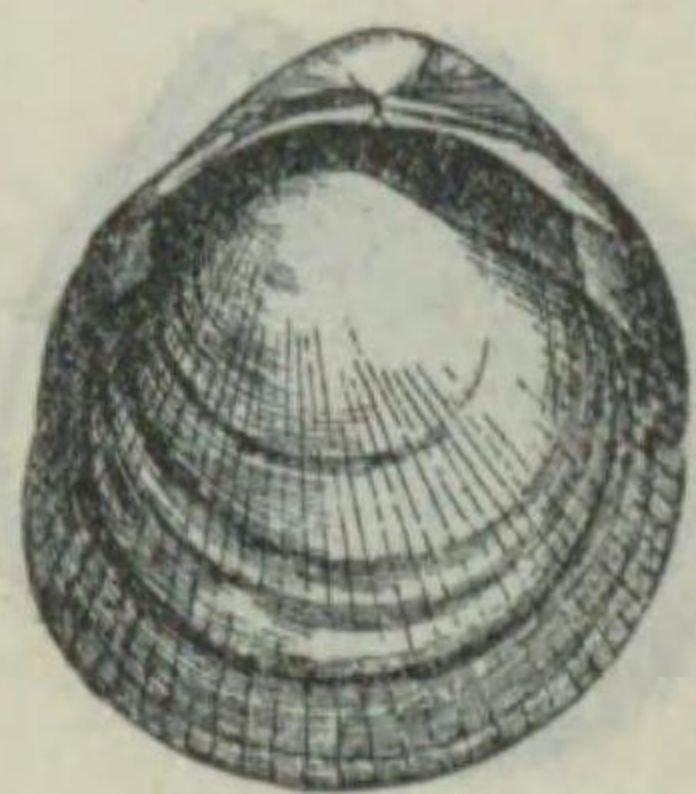
第二四九八圖



*Corculum cardissa.*

殼長短キニ反シ、殻ノ中央ニ龍骨ヲ有シ、頗ル高ク、放射肋ハ低ク葵ノ葉ニ似タリ。殼頂ハ稍々螺旋狀ヲ呈シ、殼色ハ帶黃褐色ニシテ、内面ハ白色ナリ。殼長二五耗、高六六耗、幅六〇耗内外ニ達ス。大島、琉球等ノ暖海ニ分布セリ。

第二四九五圖



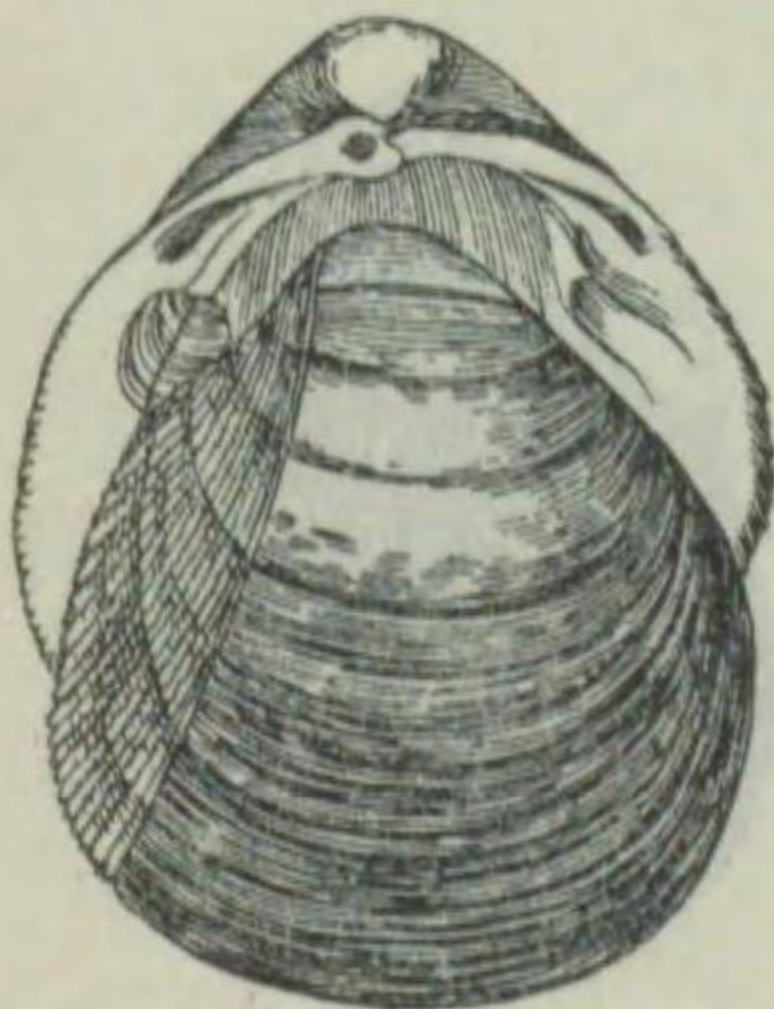
*Cardium muticum.*

トリガヒ (鳥貝) ザルガヒ科  
略々圓形ヲナシ、殼表ハ大イニ膨レ、長サニ略々等シキ亞心臟形ヲ呈ス、放射肋ハ低ク、四六乃至四七條ヲ有シ、肋條ニハ鱗片狀突起ヲ有ス。殼色ハ黃白色ニシテ、赤褐色ノ汚斑散在シ、内面ハ淡紅色ヲ呈シ、肉柱痕及ビ外套痕ハ紫紅色ナリ。殼長ハ高ト共ニ九五耗、幅六〇耗内外ナリ。六乃至八米ノ砂底ニ好シク棲息シ、南日本殊ニ瀬戸内海ニ多産ス。肉ハ煮食或ハ乾物トナス、美味ニシテ、珍重セラル。

キンギョ (金魚)

ザルガヒ科

第二四九六圖

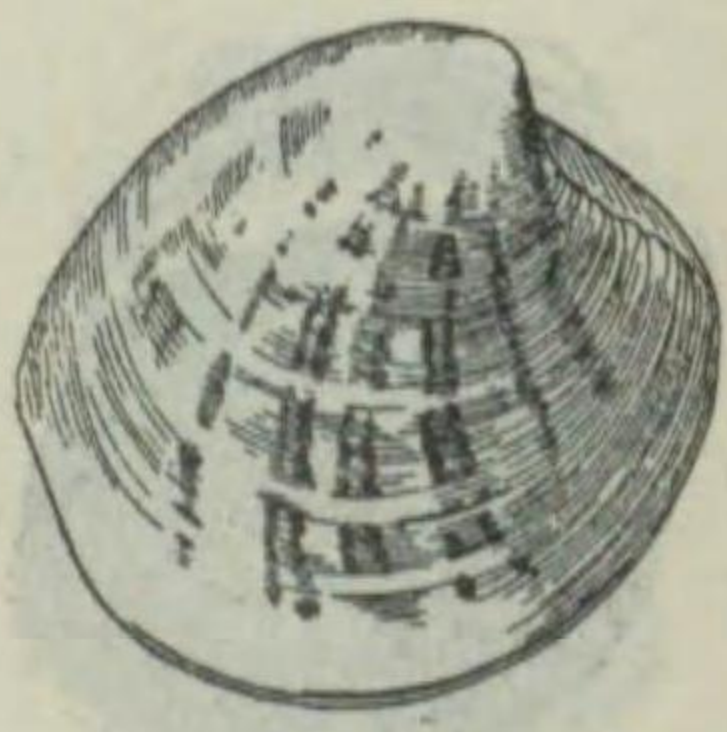


*Protocardia bechei.*

亞球形ヲナシ、殼表ノ三分一乃至四分ノ一ニ小刺ヲ有セル強キ放射肋ヲ有シ、殼色ハ淡紅色ニ黃褐色ノ殼皮ヲ被レリ。殼長六七耗、高六八耗、幅五〇耗内外ニ達ス。南日本ニ分布セリ。

ヒナガヒ (鰓貝) ハマグリ科

第二四九九圖



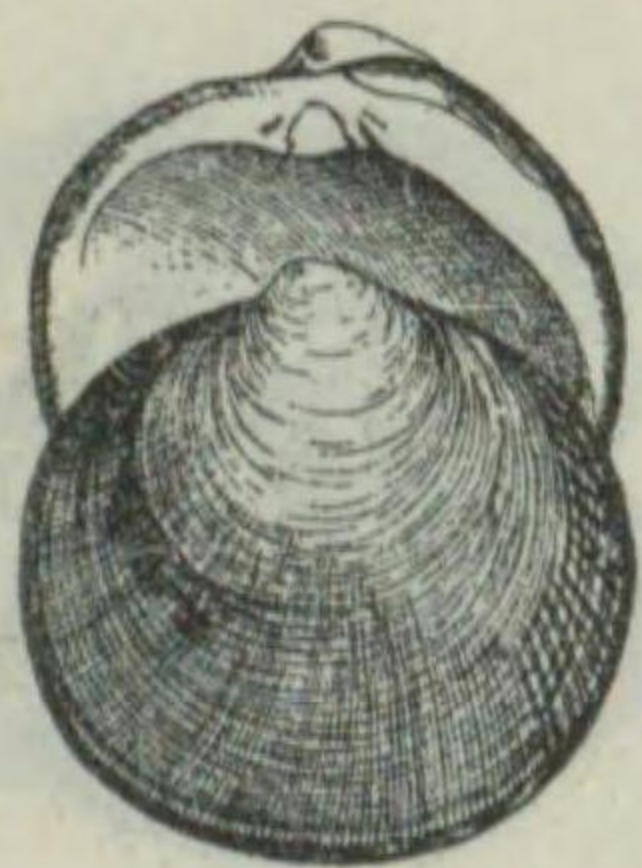
*Dosinia bilnulata.*

亞圓形ヲ呈シ、扁平ニシテ稍々大キク、前丘ノ心臟形ノ下方ニ更ニ突出シ二重トナル。殼表ニハ淡褐色横線ヨリナル不明ナル放射狀斑ヲ有ス。殼長八〇耗、高七八耗、幅三〇耗内外ナリ。房州、相模灣等ニ分布ス。食用ニ供セラル。

オキシジミ (沖鰓) ハマグリ科

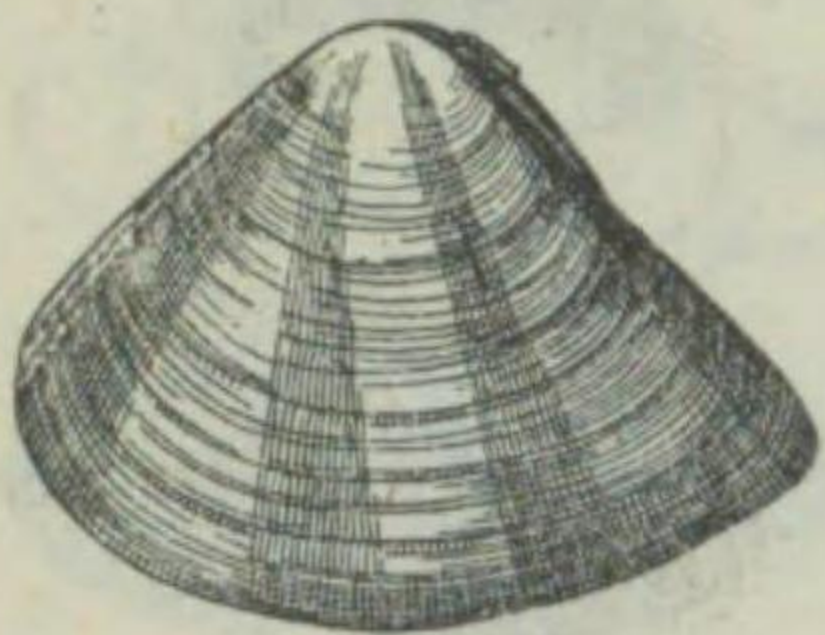
略々圓形ニシテ、殼頂ハ小サク、稍々前向シ、後方ハ高ク膨滿シ、殼表ニハ輪脈多ク、黃褐色ニシテ周縁ハ鼠紫色ヲナセリ。内面ハ白色ニシテ、淡青色暈ヲ現シ、周縁ハ狭ク、鋸齒刻目アリテ褐紫色ヲ呈ス。南日本ニ産シ、化石トシテ多ク發見セラル。

第二五〇〇圖



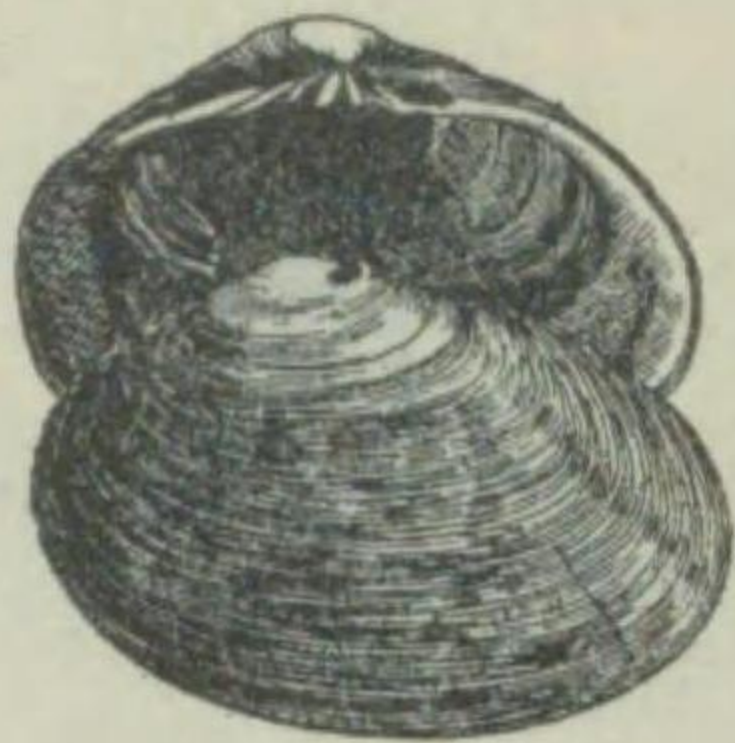
*Cyclina sinensis.*

第二五〇六圖



Gomphina aequilatera. 殻ハ稍々高キ三角形ヲ呈シ、側扁ス。殻頂ハ略々中央ニ位シ、後端部ハ稍々突出セリ。殻表ニ不明ナル輪脈ヲ有シ、色彩ハ變異ニ富メルモ多クハ白色乃至淡褐色地ニ放射狀ノ帶狀或ハ線紋ヲ有シ、後側面ハ一般ニ暗色ヲ呈ス。内面ハ淡黄色ナリ。殻長四五耗、高三五耗、幅二〇耗内外ニ達ス。南日本ニ多産シ、肉ハ食用ニ供シ、美味ナルモノナリ。

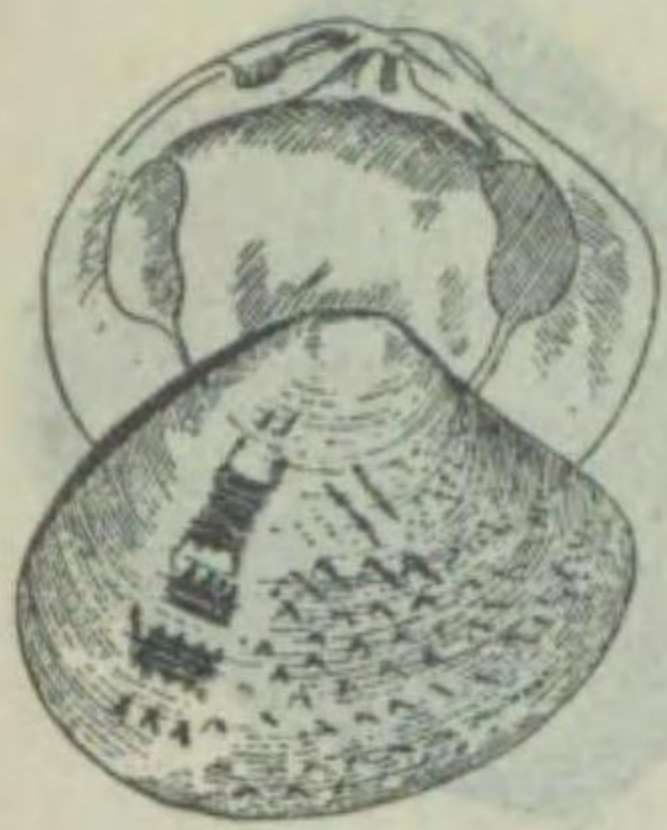
第二五〇五圖



Saxidomus purpuratus. ウチムラサキ (内紫) ハマグリ科 (異色) ハシダテガヒ 是まぐリニ類似シ、稍々丸味ヲ帶ビタル楕圓形ニシテ、殻頂ハ稍々前方ニ偏在セリ。殻表ニハ殻頂ヲ中心ニ輪脈多ク、殼色ハ帶黃白色ヲナシ、内面ハ暗紫色ヲ呈セリ。殻長八五耗、高六〇耗、幅四〇耗内外ニ達ス。南日本ニ分布シ、四米内外ノ砂底ニ棲息セリ。肉ハ食用ニ供セラル。

オキアサリ (沖淺瀬) ハマグリ科

第二五〇二圖



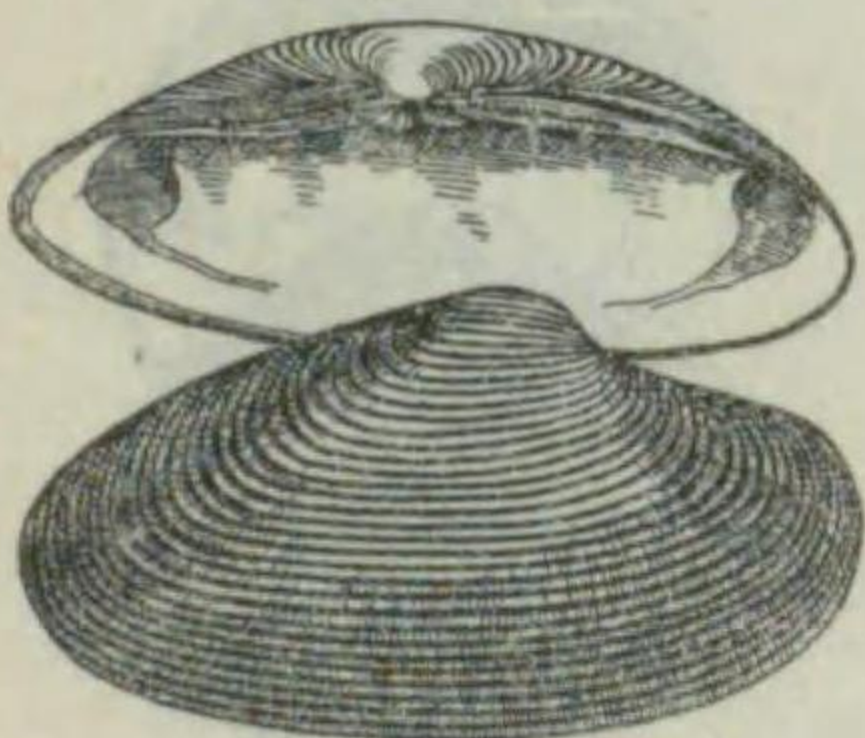
Gafrarium scriptum stutzeri. シラヲガヒ (白尾貝) ハマグリ科 殼質ハ稍々厚ク、略々圓形ニシテ側扁シ、小形ナリ。殻頂ハ略々中央ニ位ス。殻表ニハ輪脈多ク、白色ニシテ幅廣キ褐色ノ二放射帶アリ。内面ハ白色ニシテ、時ニ褐色或ハ薑色斑ヲ有ス。殻長四五耗、高四〇耗、幅一五耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

第二五〇一圖



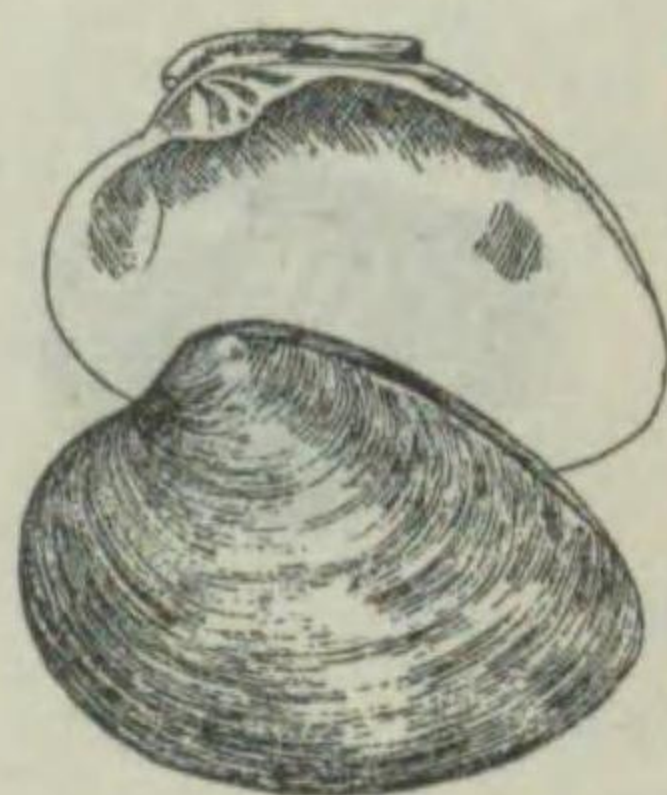
Sunetta excavata. ワスレガヒ (忘貝) ハマグリ科 殼ハ卵圓形ニシテ、側扁シ、殻頂ハ小サク、稍々前向セリ。殻ノ前部稍々尖リ、後端部ハ溝ヲナシ、底部ニ濃褐色ノ靱帶ヲ有ス。殻質ハ厚ク、殻表ハ略々平滑ニシテ、淡紫色ニ濃色線ノ輪斑ヲ有シ、内面ハ白色ヲ呈シ、淡紫色暈ヲ現ハス。後縁ニハ細鋸齒ヲ有ス。殻長六〇耗、高五〇耗、幅二〇耗内外ナリ。南日本ニ産ス。

第二五〇八圖



Paphia euglypta. スダレガヒ (簾貝) ハマグリ科 長楕圓形ヲナシ、殻頂ハ前方ニ偏在シ、殻ノ前部ハ殻頂ノ直下ニ於テ鈍ク彎入セリ。殻表ニハ輪脈多ク、脈間ニハ顯著ナル溝ヲ有ス。殼色ハ褐色地ニ濃色放射斑ヲ有シ、内面ハ白色ナリ。本州以南ニ分布ス。

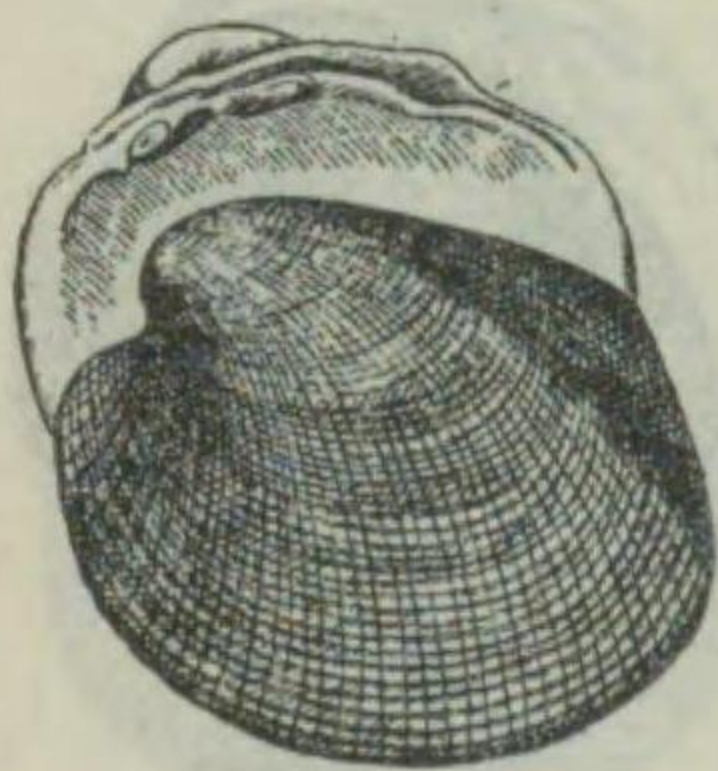
第二五〇七圖



Venus stimpsoni. ビノスガヒ (美之主貝) ハマグリ科 (異色) オホスダレハマグリ 亞三角形ヲ呈シ、殻頂ハ前方ニ偏在シ、頗ル高ク、後端ハ稍々延長セリ。殻表ハ稍々葉狀ノ輪脈多ク、殼色ハ灰白色ヲ呈シ、内面ハ白色ナリ。殻長九〇耗、高七五耗、幅四〇耗内外ニ達ス。北日本ニ分布セリ。

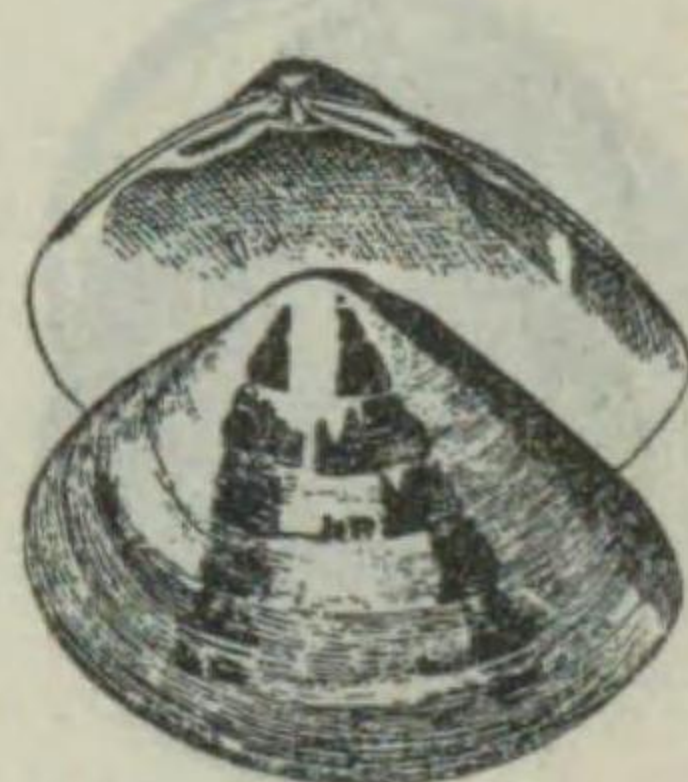
オキアサリ (沖淺瀬) ハマグリ科

第二五〇四圖



Antigona reticulata. アラヌノメ (荒布目) ハマグリ科 略々球形ヲ呈シ、殻頂ハ稍々前方ニ偏在セリ。殻表ニハ顯著ナル布目狀彫刻ヲ現シ、灰白色ニ褐色ノ斑點ヲ有シ、内面ハ淡黄色ヲナセリ。殻長七〇耗、高六〇耗、幅五〇耗内外ナリ。四國、琉球、臺灣等ニ分布ス。食用ニ供セラル。

第二五〇三圖



Meretrix meretrix. ハマグリ (蛤、文蛤) ハマグリ科 亞三角形ニシテ、殻頂ハ稍々前方ニ偏在シ、外靱帶ハ短クシテ高ク黑色ヲ呈セリ。殻表ハ概シテ平滑ニシテ、色彩ニ變化多キモノ一般ニ淡肉色ヲナシ、暗褐色ノ幅廣キ放射帶ヲ有シ、後側面ハ淡黑色ノモノ多シ。内面ハ白色ニシテ、時ニ肉柱痕ハ稍々紫色ヲ呈ス。殻長八五耗、高六五耗、幅四〇耗内外ニ達ス。淡水ノ注入スル淺海砂泥底ニ棲息シ、南日本ニ多キモノ、北日本ニモ産ス。肉ハ食用ニ供シ、美味。殻ハ顔料、餌料ニ供セラル。

第二五〇九圖



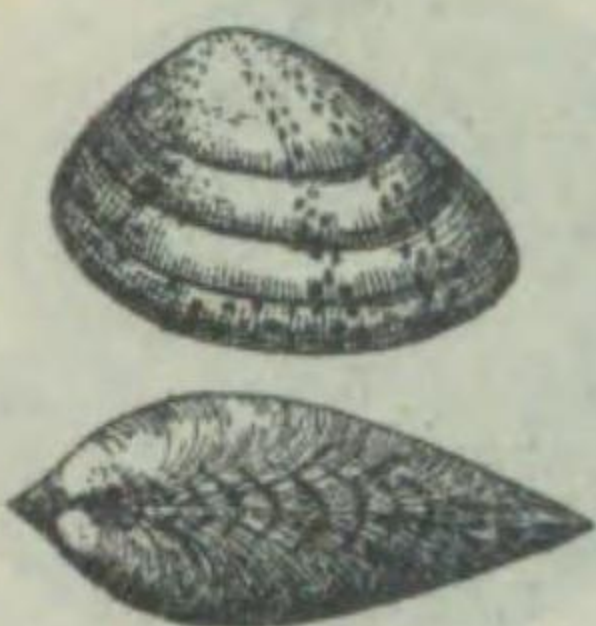
Paphia philippinarum.

殼頗膨滿シ、殼頂ハ稍々前方ニ偏シ、後端部ハ稍々鈍角狀ヲナセリ。殼表ニハ細キ布目狀刻線ヲ有シ、色彩ハ變化ニ富メルモ、多クハ淡蒼灰色或ハ白色ニ褐色條斑ヲ有シ、内面ハ淡黄色、時ニ腹縁ハ紫色ヲ呈ス。殼長四〇耗、高二八耗、幅二〇耗内外ニ達ス。淡水ノ混入セル深キ砂泥底ニ棲息シ、各地ニ廣ク分布セリ。肉ハ鮮食又ハ佃煮用トナス。

アサリ (淺蛸) ハマグリ科

ヒメアサリ (姫淺蛸) ハマグリ科

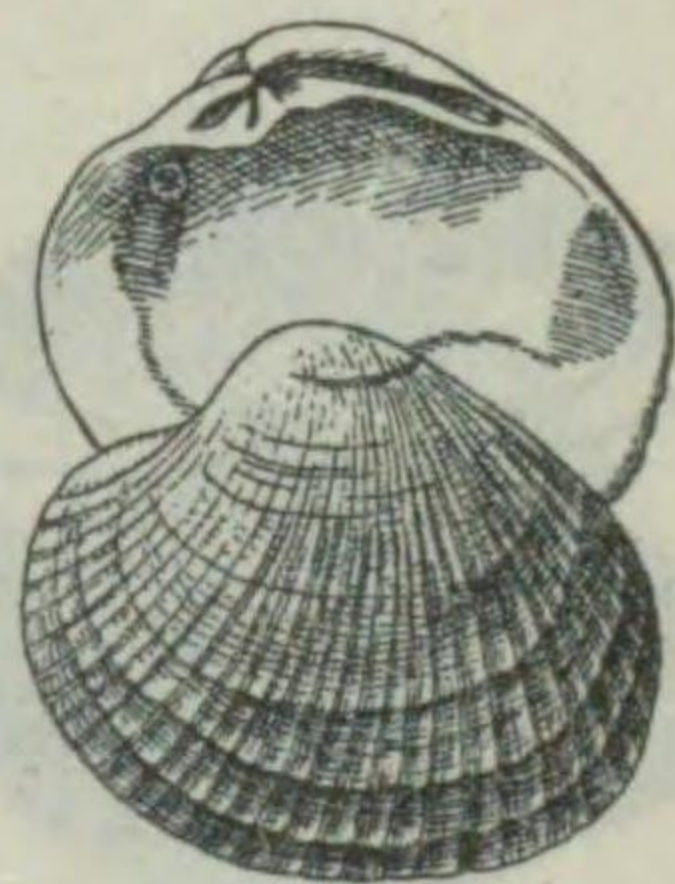
第二五〇圖



Paphia variegata.

はまぐりに似タレドモ、小形ニシテ稍々細長ク、殼表ニハ布目狀刻線ヲ有ス。色彩ハ彼ト同様變化ニ富ミ、概シテ薄茶色地ニ白斑ヲ有シ、時ニ紅色或ハ紫色乃至黄色ヲ呈シ、種々ノ模様ヲ現シ、内面ハ淡紅色ヲ呈ス。殼頂二五耗、高一八耗、幅一〇耗内外ニ達ス。各地ニ廣ク分布セリ。

第二五〇一圖



Protothaca jedoensis.

殼ハ略々圓形ニシテ、殼頂ハ前方ニ偏シ、高ク膨滿ス。殼表ニハ顯著ナル放射肋輪脈ニヨリテ横斷セラレ、稍々深キ布目狀彫刻トナリ、茶褐色ニシテ殼頂附近ハ暗褐色ノモノ多ク、内面ハ白色ニシテ腹縁ニ細キ鋸齒ヲ有ス。殼長五〇耗、高四四耗、幅三四耗内外ナリ。淺海ノ砂泥底ニ棲息シ、南日本太平洋岸ニ多産ス。肉ハ食用ニ供セラ

オニアサリ (鬼淺蛸) ハマグリ科

マツカゼ (松風) ハマグリ科

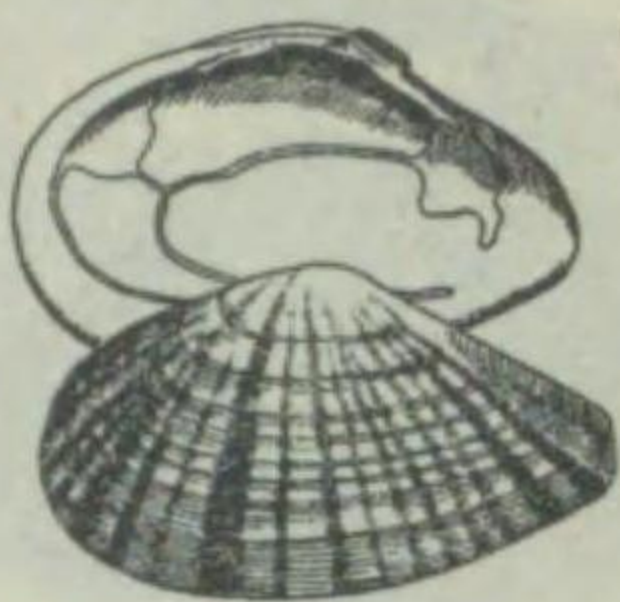
第二五一二圖



Venerupis mitis.

殼ハ幅廣ク、殆ド橢圓體狀ヲナシ、殼頂ハ低ク、前方ニ偏シ、前部端ハ腹縁ニ小凹入部アリ。殼表ニハ稍々葉狀ヲナセル輪脈ヲ有シ、微細ナル放射肋アリテ白ク、内面モ亦白色ナリ。殼長二五耗、高一四耗、幅一二耗内外ニ達ス。岩ニ穿孔シテ棲息シ、廣ク各地ニ分布セリ。

第二五一三圖



Tellina staurella.

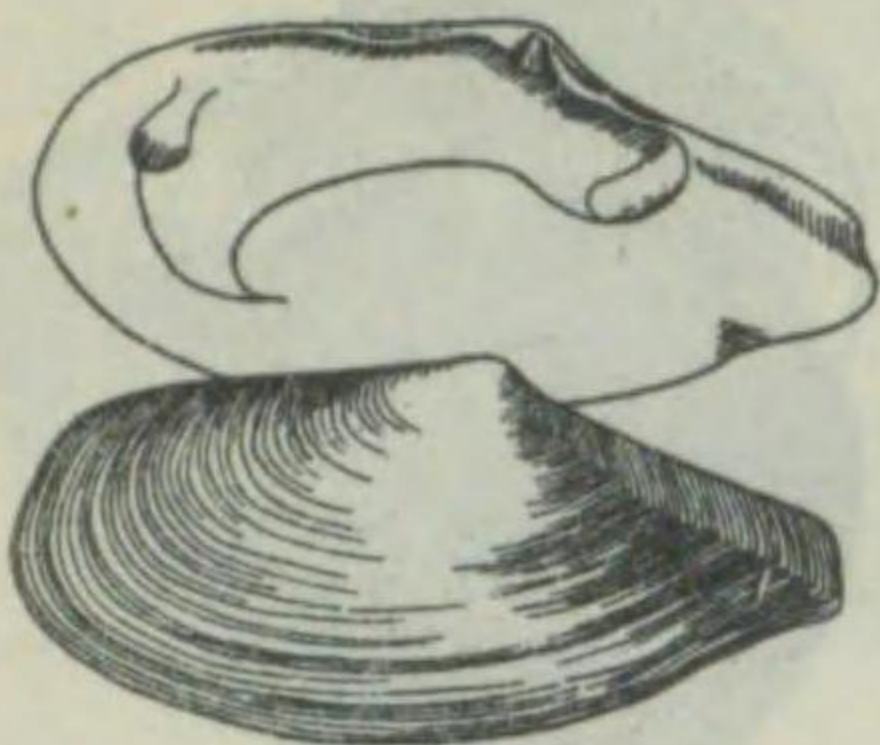
稍々細長ク、殼頂低ク、外縁帶ハ短ク、殼表ノ輪脈ハ細シ。殼色ハ淡橙色ニ濃色又ハ赤褐色ノ放射斑ヲ有シ、内面ハ淡黄色ニシテ光澤顯著ナリ。殼長六〇耗、高四〇耗、幅一二耗内外ニ達ス。九州以南ニ分布セリ。

ヒメニツクワウガヒ (姫日光貝) サラガヒ科

サラガヒ科

ベニガヒ (紅貝) サラガヒ科

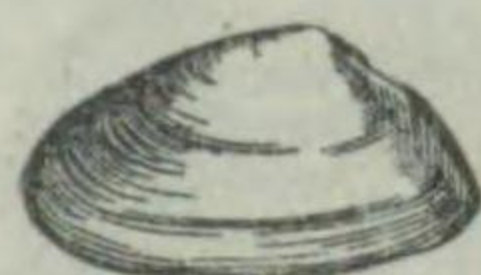
第二五一四圖



Tellina consanguinea.

殼ハ薄弱ニシテ細長ク、殼頂ハ中央ヨリ稍々後方ニ偏在セリ。後端部ハ強ク突出シテ稜ヲナス。殼表ニハ細微ナル輪脈ヲ有セルモ、滑澤強ク、稍々濃キ紅色ニシテ頗ル美麗ナリ。後部ニハ不明ナル一白色放射帶アリ、内面モ亦同色ナリ。殼長五三耗、高二二耗、幅八耗内外ニ達ス。南日本ニ廣ク分布セルモ、能登附近ニモ産ス。殼ハ細工用トナス。

第二五一五圖



Tellina nitidula.

殼ハ薄ク、亜三角形ニシテ前端ハ圓ク、後端ニハ弱キ稜アリ。殼頂ハ稍々後方ニ偏シ、外縁帶ハ濃褐色ヲ呈シ、殼表ニハ細輪脈多ク、淡紅色ヲ呈シ、光澤顯著ニシテ、内面モ亦同色ナリ。殼長二三耗、高一五耗、幅五耗内外ナリ。南日本ニ多ク、殼ハ細工用ニ供セラル。

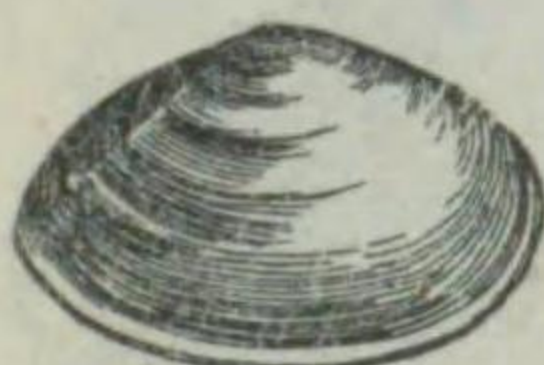
サクラガヒ (櫻貝) サラガヒ科

サラガヒ科

ユフシホガヒ (夕潮貝) サラガヒ科

サラガヒ科

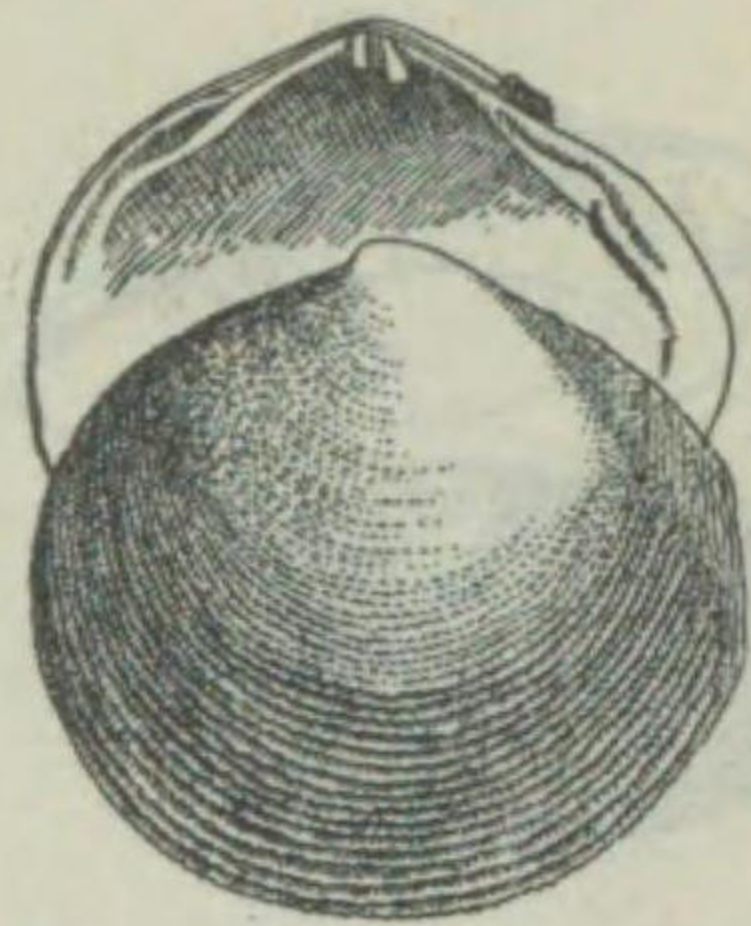
第二五一六圖



Tellina rutila.

殼ハ亜三角形ニシテ、殼頂ハ略々中央ニ位シ、外縁帶ハ黑色ニシテ顯著ナリ。後端部ハ下方ニ突出シ、微カニ曲リテ稜ヲ形成セリ。殼表ニハ稍々粗キ輪脈ヲ有シ、灰白色乃至淡紅色ヲ呈シ、内面ハ淡橙色ナリ。殼長一五耗、高一二耗、幅五耗内外ニ達ス。南日本産ナリ。

第二五七圖



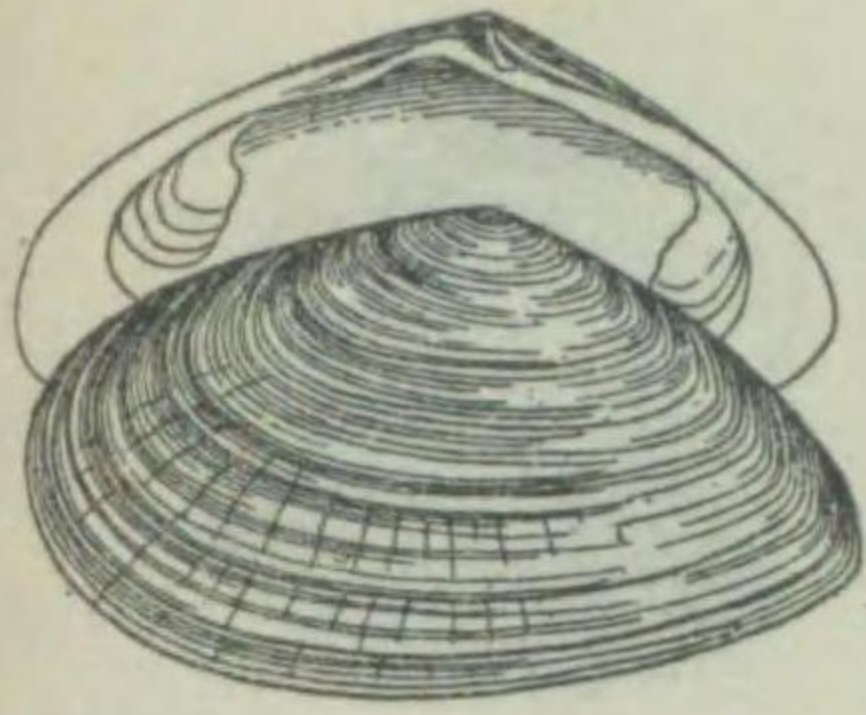
Tellina scobinata.

圓形ヲ呈シ扁平、大形ニシテ、殼表ニハ葉狀隆起、輪脈多ク、不規則ニ之ガ切斷セラレ、粗キ鍵狀ヲ呈ス。殼色ハ白色ナリ。内面亦白色ナルモ、中央ハ稍々淡黃色ヲ呈セリ。殼長六〇耗、高五五耗、幅二五耗内外ニ達ス。九州以南ニ分布セリ。

サメザラ (鮫貝)

サラガヒ科

第二五八圖



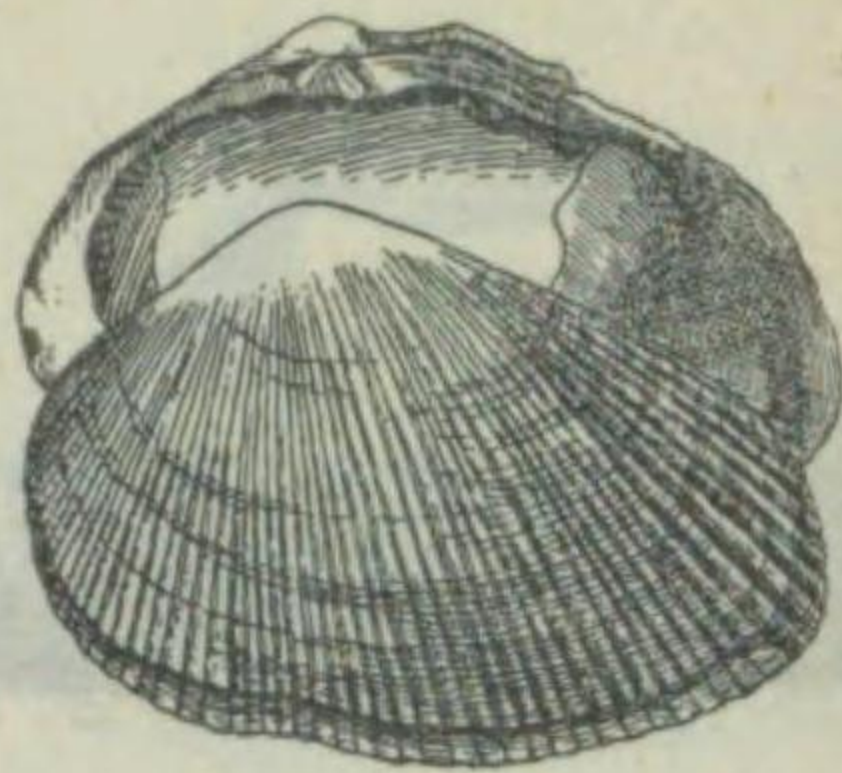
Tellina venulosa.

亞三角形ヲ呈シ、側扁シ、殼頂ハ稍々後方ニ偏在セリ。後端部ハ弱キ稜ヲ形成シ、殼表ニハ輪脈多シ。殼色ハ粉白色ニシテ、内面ハ白色ヲ呈シ、中央部ハ橙黃色ナリ。殼長八〇耗、高五〇耗、幅二〇耗内外ナリ。北日本ニ分布ス。

サラガヒ (皿貝)

サラガヒ科

第二五二一圖



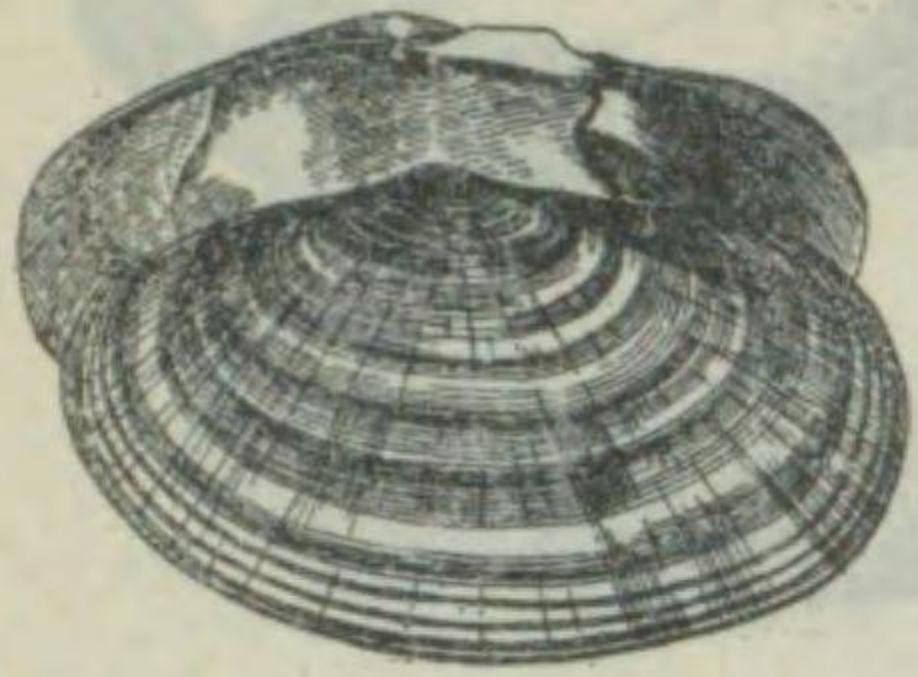
Asaphis deflorata.

殼ハ楕圓形ヲ呈シ、殼頂ハ稍々前方ニ偏在シ、後端ハ稍々截斷狀ヲナセリ。殼表ニハ放射肋著シク、白色ニ淡紫色斑ヲ有シ、内面ハ白色ニシテ紅色又ハ紫色斑アリ。殼長六五耗、高四五耗、幅三〇耗内外ナリ。琉球、大島等ニ分布ス。

リウキウマスホ (琉球眞蘇枋貝)

キヌタマスホガヒ科

第二五二二圖



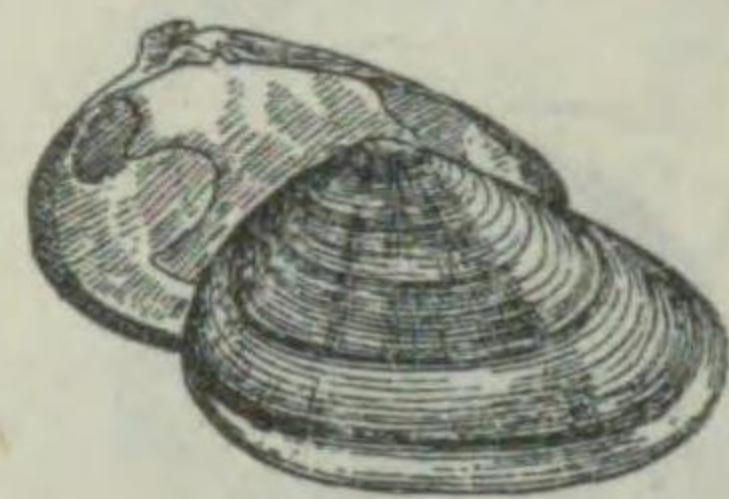
Sanguinolaria boeddinghausi.

長楕圓形ヲ呈シ、側扁セリ。殼頂ハ稍々前方ニ偏在シ、濃褐色ノ外殼帶ヲ有ス。殼表ハ淡橙白色ニ薑色ノ大輪斑ヲ有シ、帶蒼褐色ノ殼皮ヲ被リ、内面ハ濃紫色ヲ呈セリ。殼長一〇〇耗、高六五耗、幅二七耗内外ナリ。南日本ニ廣ク分布ス。

フチナミ (藤浪)

キヌタマスホガヒ科

第二五九圖



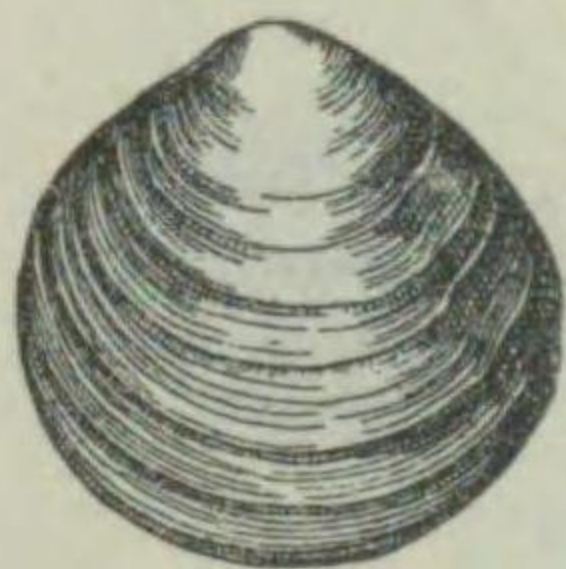
Donax proximus.

殼ハ低キ亞三角形ヲナシ、殼頂ハ後方ニ偏在シ、褐色ノ小外殼帶ヲ有シ、後端部ハ截斷狀ヲナシ、コノ部ニ鍵狀ノ彫刻ヲ有ス。殼色ハ青灰色ヲ有シ、内面ハ青紫色ヲナセリ。殼長二五耗、高一六耗、幅一〇耗内外ニ達ス。本州ニ分布セリ。

フチノハナガヒ (藤花貝)

ナミノコガヒ科

第二五二〇圖



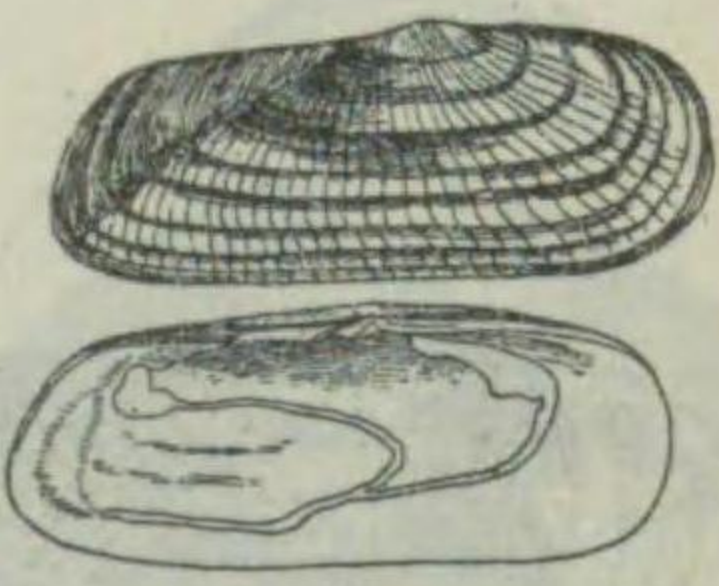
Semele carnicolor.

殼ハ圓形ヲナシ、殼頂ハ膨滿シテ僅カニ前方ニ偏在ス。殼表ニハ輪脈多ク、殼色ハ灰白色ヲ呈シ、内面ハ白色ナリ。殼長三〇耗、高三〇耗、幅一八耗内外ニ達ス。九州以南ニ棲息セリ。

サメザラモドキ (擬鮫貝)

サメザラモドキ科

第二五二三圖



Novaculina constricta.

圓筒形ニシテ、前後兩端ハ廣ク開口セリ。殼頂ハ前方ニ偏在シ、殼表ニハ粗キ輪脈ヲ現シ、殼頂ヨリ多クノ放射肋ヲ有シ、灰白色ニシテ黒斑ヲ有セルモ、汚黃色ノ殼皮ヲ被レリ。殼長一〇〇耗、高三〇耗、幅二五耗内外ナリ。内灣ノ淺キ泥底ニ棲息シ、九州有明灣ニ多シ。肉ハ食用ニ供シ、美味ニシテ、乾製品、又ハ罐詰トシテ支那ニ輸出セラル。兒島灣ニ於テ盛ニ繁殖セラル。

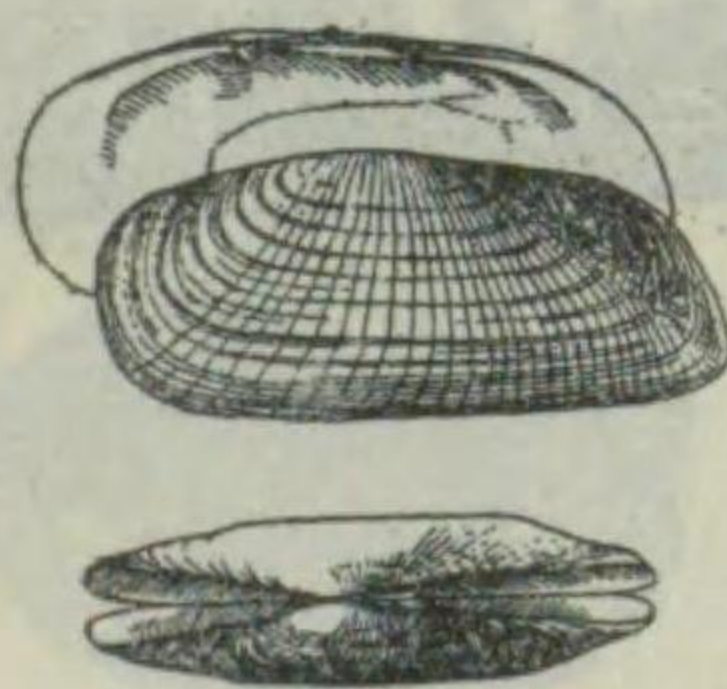
アゲマキ (總角)

キヌタマスホガヒ科

キヌタアゲマキ (砧總角)

キヌタマスホガヒ科

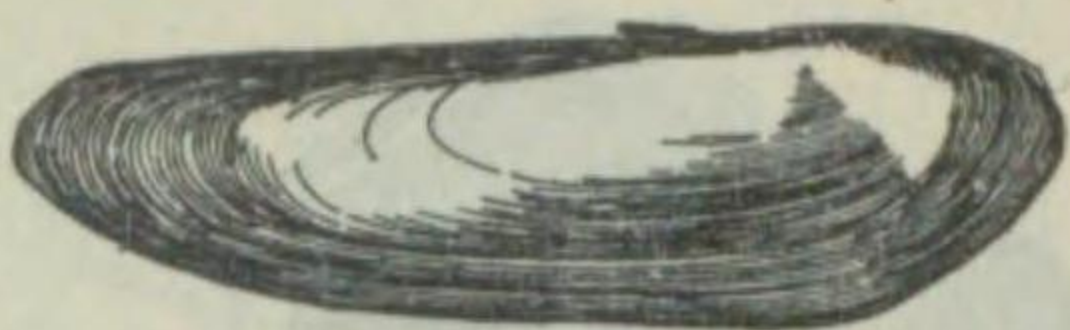
第二五二四圖



Psammiosolen divaricatus.

亞長方形ノ圓筒狀ニシテ、前後兩端ハ廣ク開口セリ。殼頂ハ前方ニ偏在シテ低ク、黒色ノ外殼帶ヲ有ス。殼表ニハ多クノ放射肋ヲ有シ、白色地ニ淡紅紫色ノ輪斑ヲ有シ、汚褐色ノ殼皮ヲ被リ、内面ハ白色ニシテ腹縁ハ紫紅色ヲ呈セリ。殼長七五耗、高三五耗、幅二五耗内外ニ達ス。南日本ニ廣ク分布セリ。

第二五二五圖



*Cultellus attenuatus.*

あげまきニ似テ側扁セル長形ヲ呈シ、薙刀豆形ヲナセリ。殻頂ハ前方ニ偏在シ、殻表ノ中央部ハ三角形ニ膨レ、細キ輪脈多シ。コノ部及ビ腹縁ハ淡黄褐色ニシテ、背縁ハ白ク、内面亦白色ナリ。殻長一〇〇耗、高三〇耗、幅三〇耗内外ニ達ス。紀伊以南ニ分布セリ。

ユキノアサ (雪ノ朝) マテガヒ科

第二五二六圖



*Solen gouldi.*

殻ハ薄ク、横圓筒形ニシテ背腹兩縁ハ平行シ、兩端ニ楕圓形ノ開口ヲ有シ、前部ハ斜ニ截斷狀ヲナセリ。殻頂ハ現ハレズシテ前部ニ偏在ス。殻表ニハ絹絲狀ノ生長線ヲ有シ、帶着黄褐色ニシテ光澤著シク、内面ハ淡黄色ナリ。殻長一〇〇耗、高一五耗、幅一〇耗内外。淺海ノ潮流ノ稍々急ナル砂底ニ直立シテ埋没ス。瀬戸内海附近ニ産シ、秋季美味ナリ。肉ノ乾製品ハ支那ニ輸出ス。

マテガヒ (竹蠶・馬刀貝) マテガヒ科

第二五二七圖

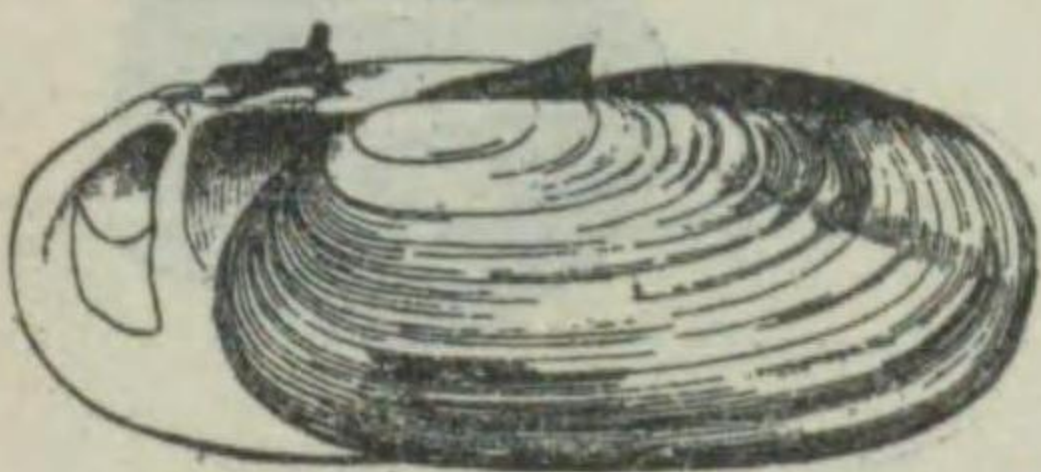


*Solen gordonis.*

まてがひニ似タルモ短ク、前部ハ後端ト共ニ直截狀ヲ呈セリ。殻面ハ黄褐色ヲ呈シ、濃色ノ斑紋散在シ、内面ハ白色ニシテ、淡紅色斑ヲ有ス。殻長九〇耗、高一六耗、幅一一耗内外ナリ。南日本ノ淺海砂中ニ穿孔シテ棲息ス。肉ハ食用ニ供シ、美味ニシテ、乾製品ハ支那ニ輸出セラル。

アカマテ (赤竹蠶) マテガヒ科

第二五二八圖

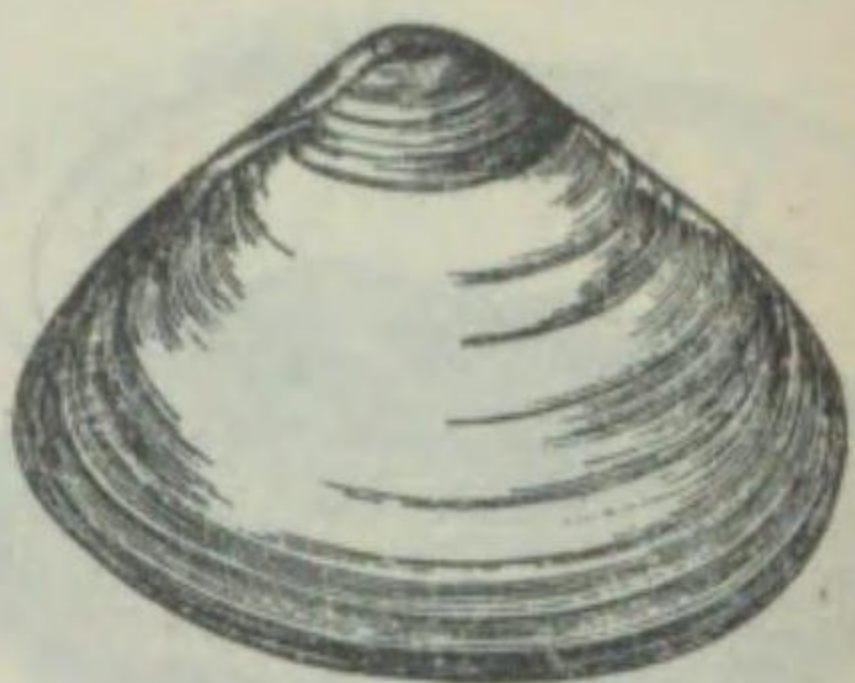


*Siliqua patula alta.*

楕圓形ニシテ殻頂ハ小サク、前方ニ偏在シ、黒色ノ外縁帶ヲ有ス。殻表ハ白色ニシテ褐色斑ヲ有シ、黒色ノ薄キ殻皮ヲ被リ、内面ハ白色ナリ。殻長一二五耗、高六五耗、幅二五耗ニ達ス。樺太、北海道ニ分布セリ。

オホミゾガヒ (大溝貝) マテガヒ科

第二五二九圖

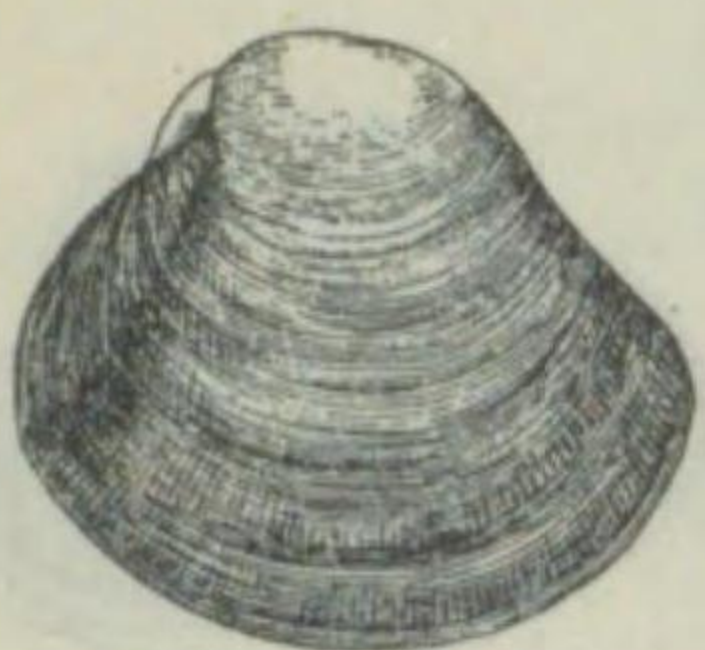


*Mactra antiquata.*

亞三角形ヲ呈シ、頗ル大キク、殻頂ハ略々中央ヨリ稍前方ニ偏在シ膨滿セリ。殻表ニハ細キ輪脈ヲ有シ、淡橙褐色ヲ呈シ、殻頂附近ハ淡黄色ヲナシ、汚黄色ノ殻皮ヲ被レリ。殻長一一五耗、高九〇耗、幅五五耗内外ニ達ス。南日本ニ産シ、肉ハ食用ニ供セラル。

アリソガヒ (有溝貝) バカガヒ科

第二五三〇圖

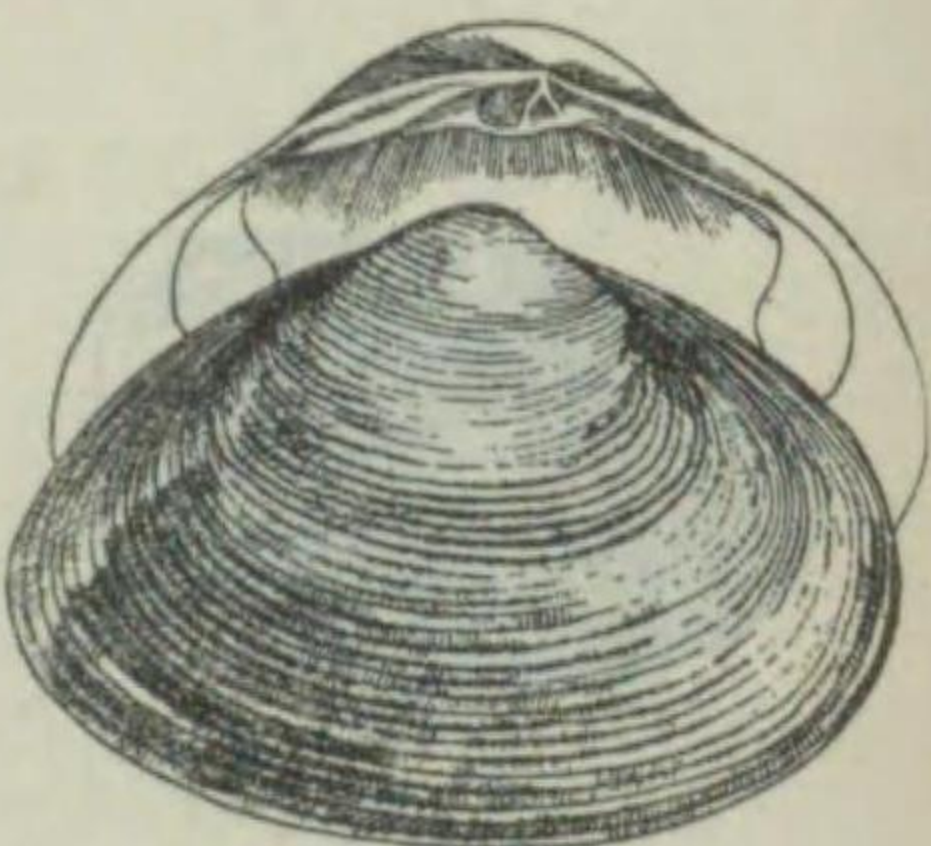


*Mactra veneriformis.*

殻頂ハ稍々前方ニ偏在シ、高ク膨ル。殻表ニハ輪脈多ク、殼色ハ淡褐色ヲ呈シ、腹縁近クハ紫褐色ニシテ、内面ハ白ク、腹縁ハ稍々青色ヲ呈セリ。殻長六〇耗、高五〇耗、幅四〇耗内外ニ達ス。本州、四國、九州ニ分布シ、砂質ノ海底ニ棲息セリ。肉ハ食用ニ供セラル。

シホフキ (潮吹) バカガヒ科

第二五三一圖



*Mactra sulcataria.*

亞三角形ヲナシ、頗ル大キク、殻頂ハ僅ニ前方ニ偏在ス。殻表ノ輪脈ハ腹縁ニ於テ著シク、殼色ハ淡橙褐色ニシテ、濃色及ビ白色ノ放射帶ヲ有ス。内面ハ白色ニシテ後端部ニ淡紫色斑アリ。殻長八五耗、高六二耗、幅四〇耗内外ナリ。足ハ長ク、赤色ヲ呈シ、往々之ニテ跳躍ス。淺海ノ砂底ニ棲息セリ。分布本州、四國、九州等ナリ。肉ハ食用ニ供シ、美味ナルモノナリ。

バカガヒ (馬鹿貝) バカガヒ科

第二五三二圖

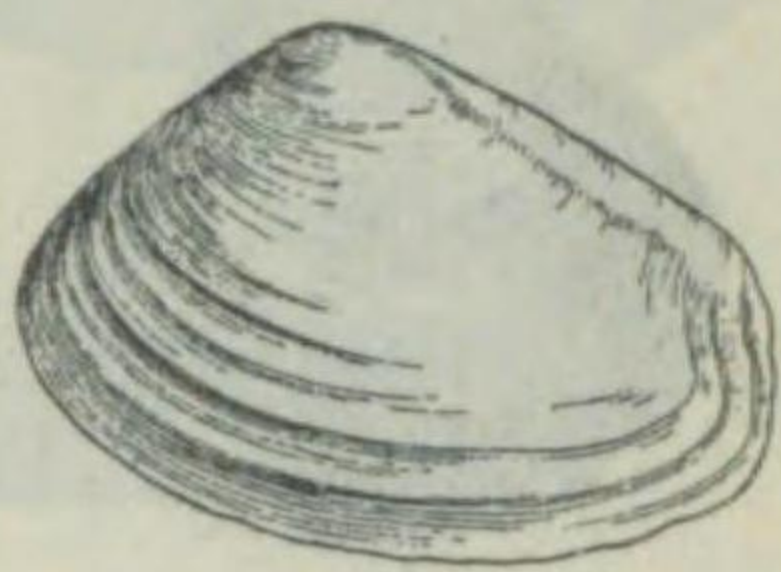


*Spisula sachalinensis.*

略々楕圓形ヲ呈シテ膨滿シ、殻頂ハ僅ニ前方ニ向ヒテ膨ル。殻表ニハ粗キ輪脈ヲ有シ、汚黄褐色ノ殻皮ヲ被レルモ、殻頂ハ露出シテ淡紅色ヲ呈シ、内面ハ白色ナリ。殻長九〇耗、高七五耗、幅四六耗内外ニ達ス。北日本殊ニ北海道ニ産シ、外洋ニ面シタル砂底ニ棲息セリ。肉ハ食用ニ供シ、美味ニシテ、煮乾シタルモノハ支那ニ輸出セラル。

ウバガヒ (姥貝) バカガヒ科

第二五三三圖



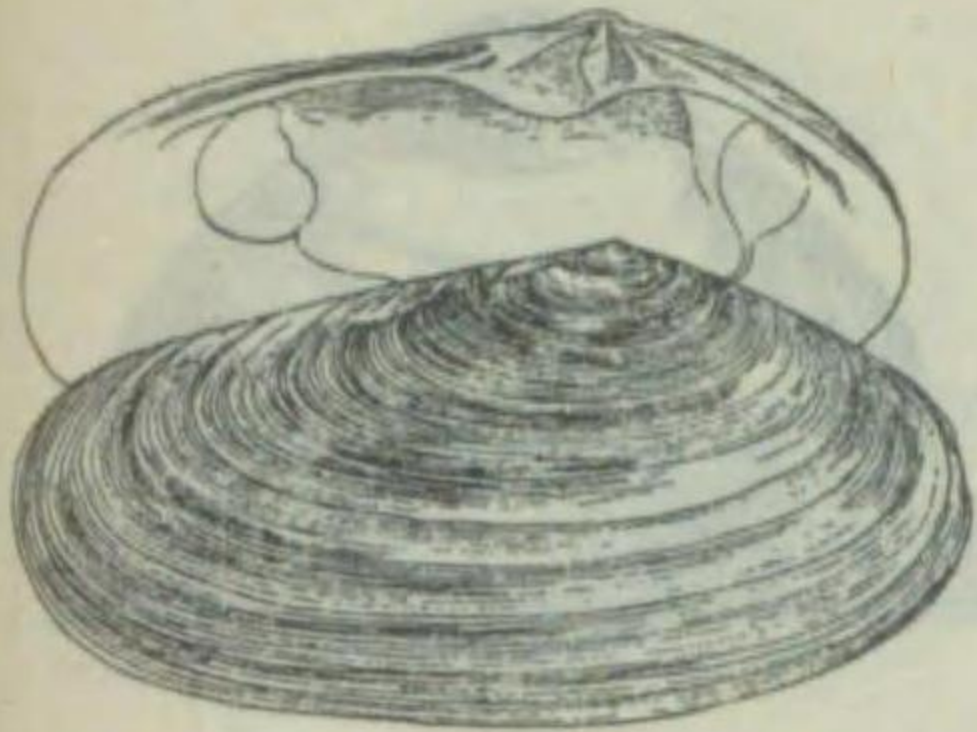
Schizothaerus nuttalli.

長楕圓形ニシテ大キク、殼質厚シ。後端部ハ稍々截形ヲ呈シ、楕圓形ノ開口ヲ有シ、長大ナル水管ヲ出ス。殼表ニ輪脈多ク、殼色ハ紫橙白色ナルモ、暗褐色ノ殼皮ヲ被リ内面ハ白色ナリ。殼長一四〇耗、高一〇〇耗、幅五五耗内外ニ達ス。南日本ノ淺海砂泥底ニ水管ヲ直上セシメテ棲息セリ。水管ヲ食用トナス。

ミルクヒ (海松喰) バカガヒ科

(異名) ミルガヒ

第二五三四圖



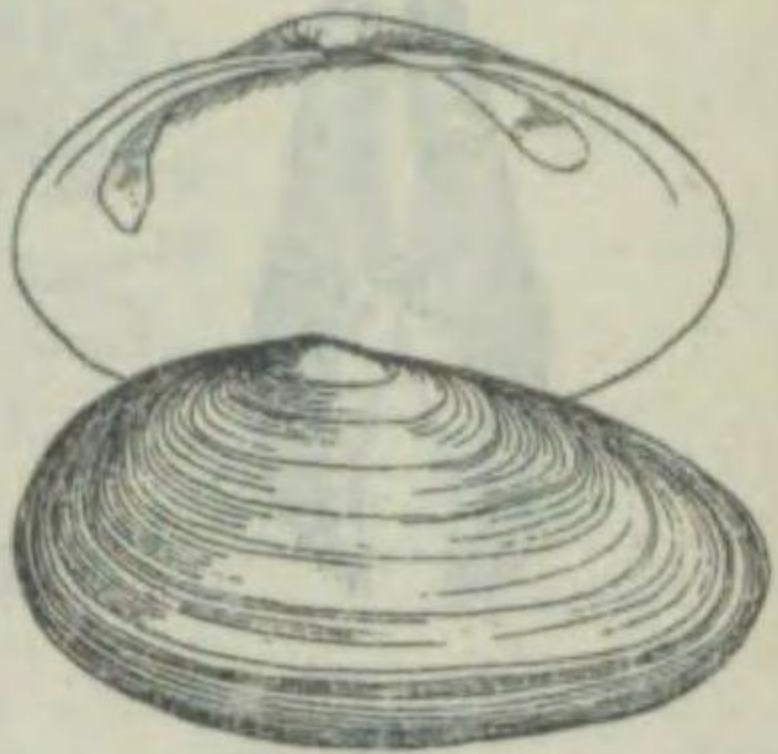
Lutraria maxima.

長楕圓形、中形ニシテ、低ク扁平ナリ。殼頂ハ小形ニシテ前方ニ偏在ス。殼表ニハ多クノ輪脈ヲ有シ、淡橙色ニシテ、汚黄色ノ淡キ殼皮ヲ被リ、内面ハ白色ナリ。殼長一二五耗、高六〇耗、幅二五耗内外ニ達ス。南日本ニ分布セリ。

オホトリガヒ (大鳥貝)

バカガヒ科

第二五三七圖



Mya arenaria japonica.

長楕圓形ニシテ左殼片ハ小形ナリ、殼頂ハ稍々前方ニ偏在シ、前部ハ闊ク、後端部ハ稍々突出セリ。殼表ニハ細キ輪脈多ク、淡橙白色ニシテ汚灰色ノ薄キ殼皮ヲ被レリ。内面ハ光澤アル白色ニシテ、左殼片殼頂ノ直下ニ扁平ナル筵狀突起ヲ有ス。殼長一〇〇耗、高五五耗、幅三五耗内外ナリ。兩水管ノ大部分ハ合一シテ「キチン」質ノ鞘ニ包マル。各地ノ河口ニ廣ク分布ス。肉ハ食用ニ供セラレ、又再生作用ノ實驗材料トナル。

オホノガヒ (大野貝)

オホノガヒ科

第二五三八圖



Corbula crythrodon.

殼ハ頗ル厚ク、低キ亞三角形ニシテ、左殼片ハ右殼片ヨリ膨滿セリ。殼表ニハ顯著ナル輪脈ヲ有シ、白色ニシテ腹縁ハ黒ク、内面モ亦白色ニシテ、周縁ハ帶紫紅色ヲ呈セリ。右殼片ノ中央ニハ牙狀突起ヲ有ス。殼長二五耗、高二〇耗、幅二〇耗内外ナリ。南日本ノ海濱或ハ河口ノ砂泥中ニ棲息セリ。

クチベニ (口紅)

クチベニ科

第二五三五圖



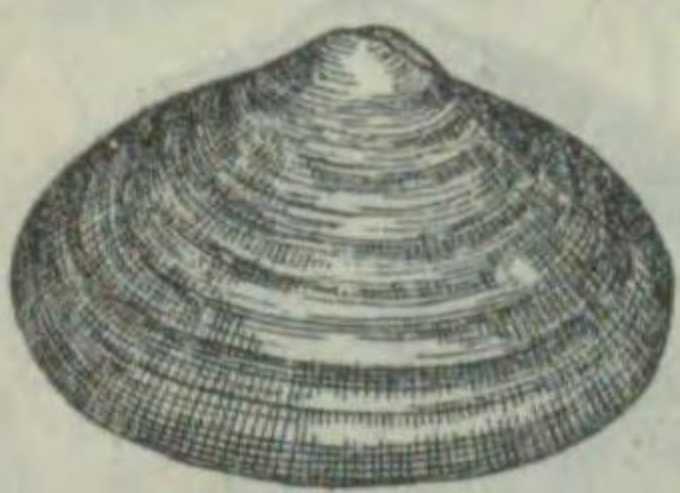
Atactodea striata.

亞三角形ニシテ小サク、殼頂ハ僅ニ前方ニ偏在シ、後端部ハ少シク延長セリ。殼表ニハ輪脈ヲ有シ、淡黃褐色ニシテ僅ニ光澤ヲ有シ、内面ハ白色ニシテ蝶番ニ強キ一主齒及ビ兩側齒ヲ有セリ。殼長三〇耗、高二三耗、幅一五耗内外ニ達ス。南日本ニ多産ス。

イソハマグリ (磯蛤)

チドリマスホ科

第二五三六圖



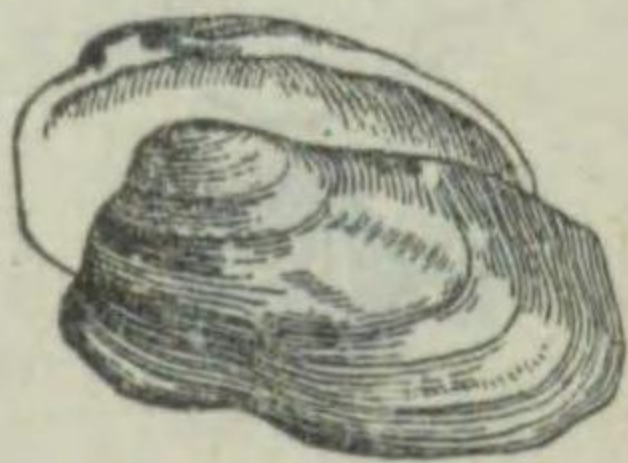
Caecella chinensis.

いそはまぐりに似タルモ、前後兩端共ニ同ク、殼頂ハ中央ニアリテ少シク尖レリ。殼表ニハ不明瞭ナル輪脈ヲ具ヘ、白色ナルモ、薄キ汚黄色ノ殼皮ヲ被レリ。殼長三〇耗、高二二耗、幅一二耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

クチバガヒ (朽葉貝)

チドリマスホ科

第二五三九圖



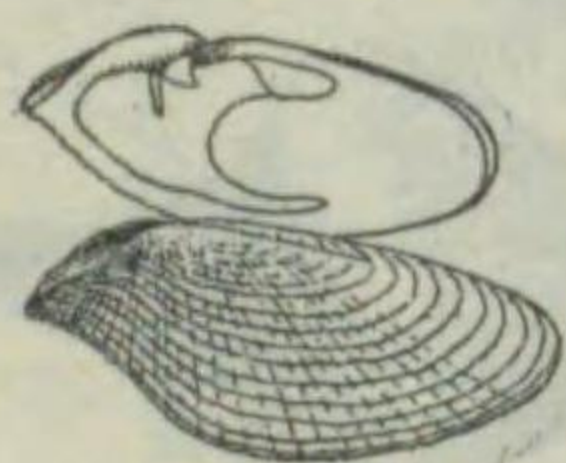
Saxicava arctica.

亞長方形ヲ呈ス。幼貝ニテハ左右相稱ナルモ、生長後ハ不規則トナリ、概ネ左殼片ハ深シ。殼頂ハ前方ニ偏在シ、殼表ニハ皺狀ノ輪脈ヲ有シ、淡黄色ヲ呈シ、内面ハ白色ナリ。北日本ノ沿岸ノ岩石中ニ穿孔シテ棲息ス。

キヌマトヒガヒ (網羅貝)

キヌマトヒガヒ科

第二五四〇圖



Barnea fragilis.

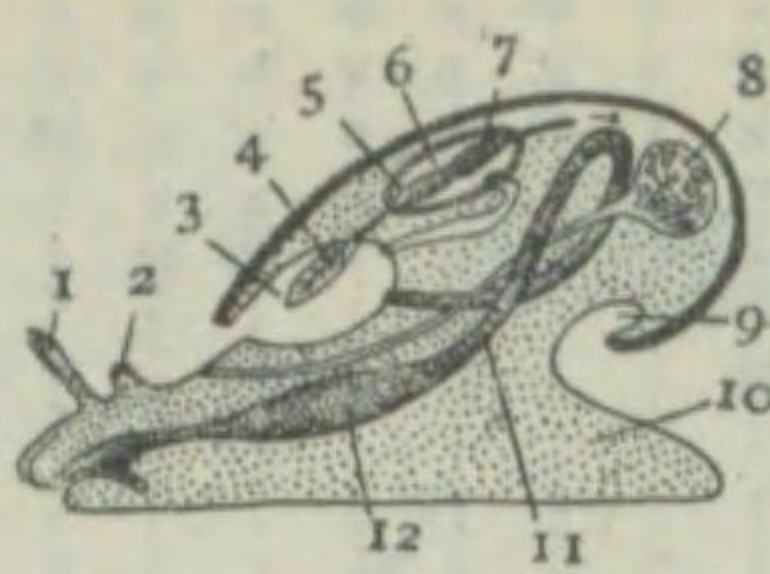
長楕圓形ニシテ小サク、前部ニ鈍狀彫刻ヲ有セルモ、後方ノ輪脈亦多少鈍狀トナリ、兩部ノ區別左程著シカラズ。殼表ハ灰白色ヲ呈シ内面ハ白色ニシテ、殼頂部ニアル針狀突起ハ比較的顯著ナリ。殼長三五耗、高一五耗、幅一〇耗内外ニ達ス。生時ハ發光スト云ハル、モ判然セズ。南日本沿岸ノ泥岩中ニ穿孔シテ棲息セリ。

ニホガヒ (鳩貝)

フォラス科

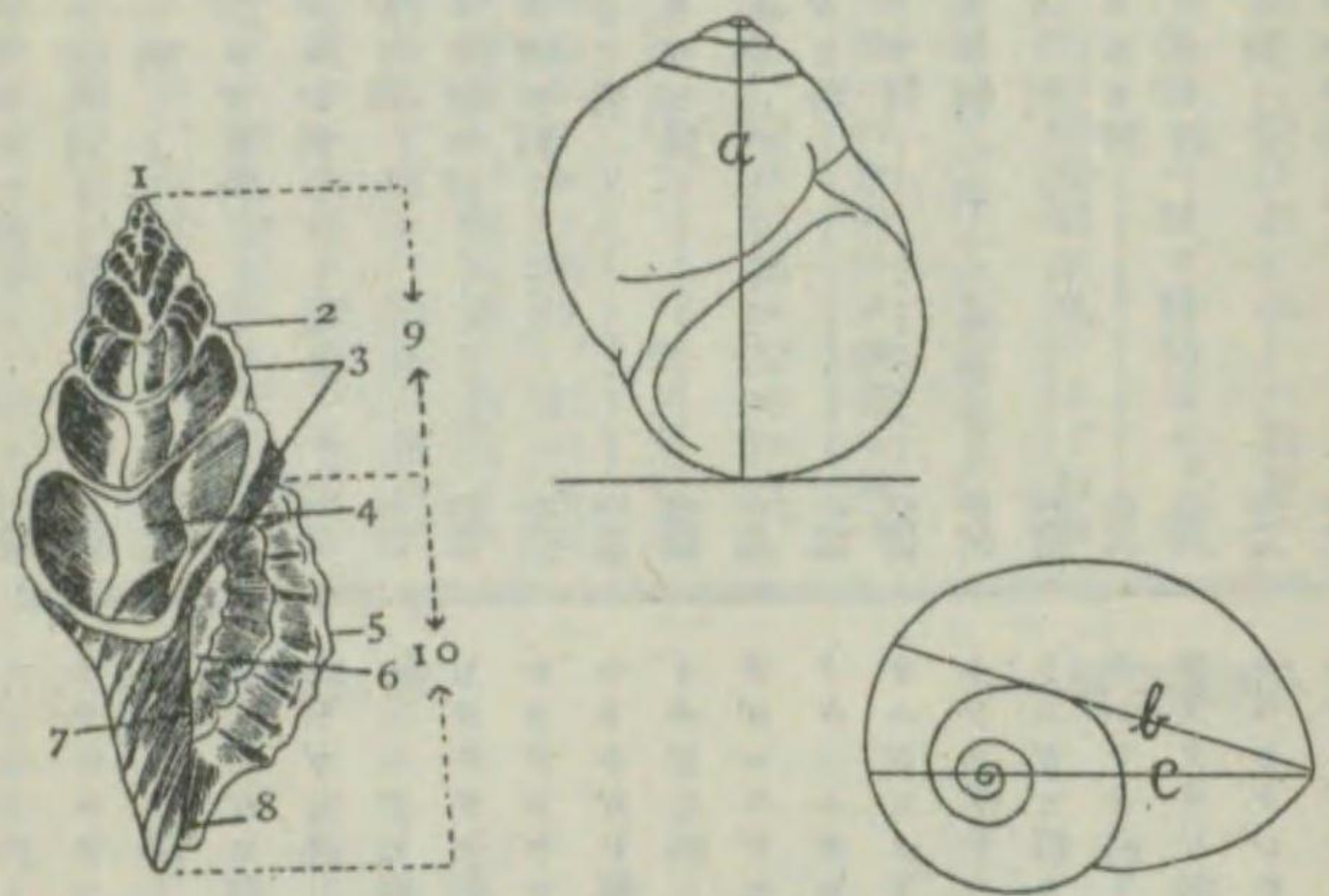


第二五四五圖



腹足類解剖模型圖

- |       |      |       |
|-------|------|-------|
| 1 觸角  | 5 心耳 | 9 外套腔 |
| 2 眼   | 6 心腔 | 10 足腸 |
| 3 外套腔 | 7 心室 | 11 腸胃 |
| 4 鰓   | 8 生殖 | 12 胃  |



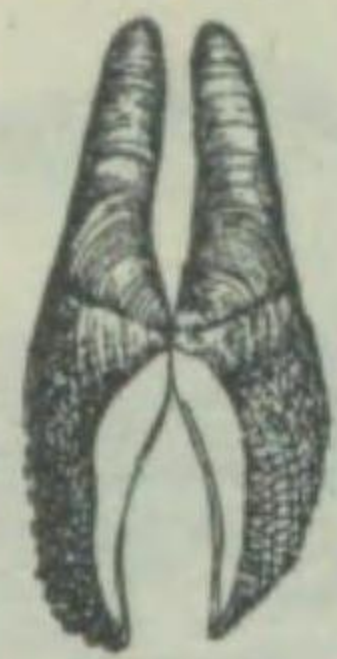
螺殼ノ各部分ノ名稱及ビ測定

- |      |     |      |      |   |
|------|-----|------|------|---|
| 1 螺縫 | 頂合層 | 6 殼口 | a 殼長 | 長 |
| 2 螺外 | 層   | 7 管  | b 殼長 | 徑 |
| 3 螺外 | 層   | 8 管  | c 殼短 | 徑 |
| 4 螺外 | 層   | 9 管  |      |   |
| 5 螺外 | 層   | 10 管 |      |   |

腹足類概説

本類ハ軟體動物中ノ大ナル綱ニシテ頗ル多クノ種類ヲ含ミ、古來食用ニ供セラシ、モノ少カラズ。體ハ頭、胸及足ノ三部分ニ分タレ、頭ニハ觸角、口ヲ具フ。足ハ前ノ下方ニ發達セル強大ナル移動器官ニシテ廣キ腔ヲ有ス。一般ニ螺旋狀ニ卷キタル貝殼ヲ以テ體ヲ覆ヒ、頭及足ヲ其中ニ縮メ込ムコトヲ得。内臟亦貝殼ト同様ニ振レタルガ故ニ肛門ハ前方ニ位シ、内臟器官モ對テサズシテ一方ニシ、具ヘタリ。消化系ハ口、食道、嚙嚥、胃、腸ノ唾腺及肝臟等ノ諸部ヲ具ヘ、唾腺ハ嚙嚥ノ背側ニ一対アリ。肝臟ハ肝管ヲ以テ管狀ノ胃ニ連ル。球内ニハ舌紐ヲ有シ、口腔ノ入口ニハ單一又ハ一對ノ角質ノ顎ヲ具フ。心臟ハ腎臟ト交通セル圓心腔内ニアリ、通常一箇ノ心室及心耳ヨリ成ル。腎臟ハ一對アリ、一端ハ心腔ニ開ク。他端ハ肛門ニ接近シテ外套腔ニ開ク。眼及觸角ノ他ニ聽器即チ、オッフシラデイウム等ヲ有スルコト斧足類ニ於ケラレト異ナラズ。雌雄異體又ハ同體ナリ。螺殼ト各部分ノ名稱及其測定ハ此類ノ分ニ必要ナル要素タリ。貝殼ノ形ハ種々ハ紡錘形ナリ。殼頂ヨリ見テハ圓錐形ハ稱シ、右卷普通ニシテ左卷ハ稀ナリ。足ノ後部ノ上方ニハ「キチン」質又ハ石灰質ノ層ヲ有シ、殼口ヲ塞グモノ多シ。

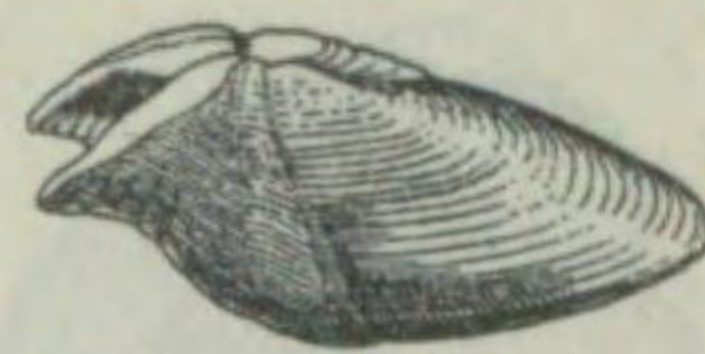
第二五四二圖



Pholadidea penita.

カモメガヒ (鴨貝) フラス科  
殼ハ略々長卵形ヲ呈シ、前部ハ圓ク、大形ニシテ、兩殼片間ハ開ケリ。前方側方ニ鏽狀ノ部分ヲ有シ、後方ニハ細キ輪脈ヲ有ス。殼色ハ粉白色ヲ呈セリ。殼長三五耗、高二二耗、幅二〇耗内外ニ達ス。南日本ニ多産シ、海岸淺海ノ柔軟ナル岩石中ニ穿孔シテ棲息ス。發光スルヲ以テ著名ナリ。

第二五四一圖



Zirfaea crispata.

ニホガヒモドキ (擬鴨貝) フラス科  
にほがひニ酷似セルモ、稍々大形ニシテ、長橢圓形ヲ呈シ、殼頂ハ不明瞭ナルモ前方ハ扁平ナリ。鏽目彫刻ハ著シク、輪脈部トノ區別稍々顯著ナリ。殼表及ビ内面ハ白色ヲ呈ス。殼長四五耗、高二〇耗、幅二五耗内外ナリ。本種モ亦南日本産ニシテ、海岸ノ岩石中ニ穿孔シテ棲息ス。

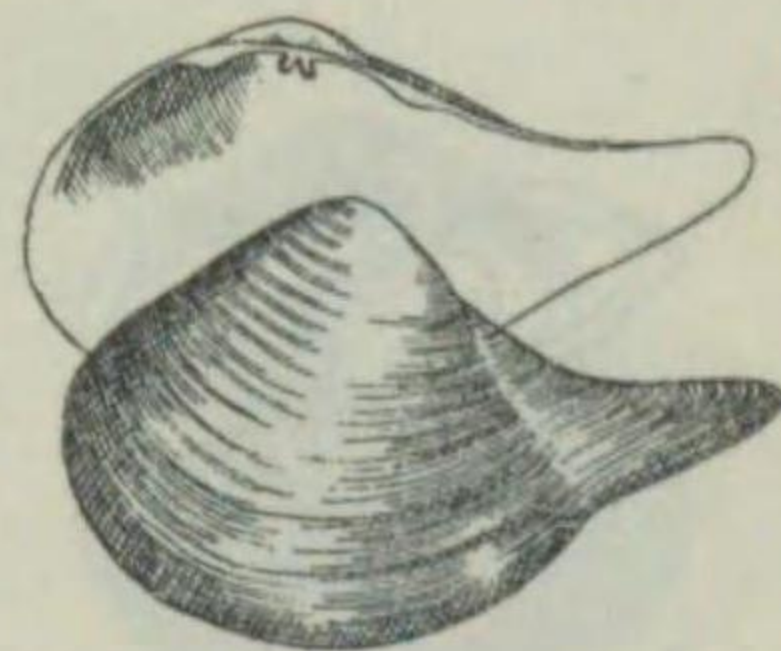
第二五四四圖



Cuspidaria gouldi.

シヤクシガヒ科  
形おほしやくしがひニ似テ杓子狀ヲ呈セルモ、微小ナリ。殼表ニハ約一條ノ顯著ナル放射助ヲ有ス。表面ハ白色ヲ呈シ、内面モ亦白色ニシテ光澤アリ、殼長七耗、高四耗、幅三・五耗内外ニ過ギズ。房州、九州ノ深海ニ棲息セリ。

第二五四三圖



Cuspidaria chinensis.

オホシヤクシガヒ (大杓子貝) シヤクシガヒ科

殼ハ杓子狀ヲ呈シ、前部ハ圓ク、後端ハ柄狀ニ突出セリ。殼頂ハ稍々高クシテ膨レ、殼表ニハ輪脈多ク白色ニシテ淡褐色ノ淡キ殼皮ヲ被レリ。雌雄異體ナリ。殼長三五耗、高二三耗、幅一六耗内外ヲ算ス。紀伊以南ノ深海ニ棲息セリ。

腹足類科名目次

ツノガヒ科(掘足類)..... 六六七  
 ウノアシ科..... 六六八  
 バテラ科..... 六六九  
 アハビ科..... 六七〇  
 クズヤガヒ科..... 六七二  
 アシヤガヒ科..... 六七三  
 パテイラ科..... 六七四  
 ヒメカタベガヒ科..... 六七五  
 サザエ科..... 六七六  
 ミヤコドリ科..... 六七七  
 アマガヒモドキ科..... 六七八  
 アマガヒ科..... 六七九  
 タニシ科..... 七八〇  
 ゴマガヒ科..... 七八一  
 ヤマタニシ科..... 七八二  
 タマキビ科..... 七八三  
 ゴマフニナ科..... 七八四

マメタニシ科..... 六八八  
 カハサンセウガヒ科..... 六八九  
 クビキレガヒ科..... 六九〇  
 カハニナ科..... 六九一  
 オノツノガヒ科..... 六九二  
 カタベダマシ科..... 六九三  
 ムカデガヒ科..... 六九四  
 スキシヤウガヒ科..... 六九五  
 クマサカガヒ科..... 六九六  
 スズメガヒ科..... 六九七  
 ヒラフネガヒ科..... 六九八  
 タマガヒ科..... 六九九  
 タカラガヒ科..... 七〇〇  
 ウミウサギ科..... 七〇一  
 フヂツガヒ科..... 七〇二  
 タウカムリ科..... 七〇三  
 ヤツシロガヒ科..... 七〇四  
 アサガホガヒ科..... 七〇五  
 ネチガヒ科..... 七〇六  
 イトマキボラ科..... 七〇七

フデガヒ科..... 七〇八  
 エゾボラ科..... 七〇九  
 エツチユウバイ科..... 七一〇  
 ヨフバイ科..... 七一一  
 タモトガヒ科..... 七一二  
 ホネガヒ科..... 七一三  
 コロモガヒ科..... 七一四  
 ヒタチオビ科..... 七一五  
 ショクコウラ科..... 七一六  
 マクラガヒ科..... 七一七  
 イモガヒ科..... 七一八  
 クダマキガヒ科..... 七一九  
 タケノコガヒ科..... 七二〇  
 オホシヒノミガヒ科..... 七二一  
 ホソスヂヤウジガヒ科..... 七二二  
 ミスガヒ科..... 七二三  
 キセワタ科..... 七二四  
 アメフラシ科..... 七二五  
 エラカクレウミウシ科..... 七二六  
 エライデウミウシ科..... 七二七

ブレウロフイリディア科..... 七二八  
 キクノハナガヒ科..... 七二九  
 モノアラガヒ科..... 七三〇  
 カハネヂガヒ科..... 七三一  
 ベツカフマヒマヒ科..... 七三二  
 ナメクジ科..... 七三三  
 ヘリツクス科..... 七三四  
 キセルガヒ科..... 七三五  
 フカモノアラガヒ科..... 七三六  
 キセルモドキ科..... 七三七  
 ウスヒザラガヒ科(原軟體類)..... 七三六

第二五四六圖



Dentalium verneder.

マルツノガヒ (九角貝) ツノガヒ科  
 殻ハ厚クシテ太ク、角形ヲナシ稍  
 キ彎曲シ、殻口及ビ肛口ハ圓形ニ  
 シテ、殻表ニハ細キ縱肋多シ。殼  
 色ハ白色乃至帶黃灰色ナリ。殼長  
 一二〇耗、殻口徑一〇耗内外ナリ。  
 一五乃至一六米内外ノ砂底ニ埋リ  
 テ棲息ス。紀伊以南ニ分布セリ。

ツノガヒ (角貝)

ツノガヒ科

Dentalium weinkauffi.  
 まるつのがひヨリ細ク、肛口附近  
 ニ於テ彎曲シ、殻口部ハ白色ナル  
 モ漸次肉色ヲ増シ、光澤ハ強ク、  
 肛口ニ近ク一六條ノ縱肋ヲ有シ、  
 口縁近クニ於テ消失セリ。殻口ハ  
 圓形ニシテ、内面ハ黃白色ナリ。  
 殼長八〇耗、殻口徑六耗内外ニ達  
 ス。房州以南ニ分布シ、四—五米  
 ノ砂泥中ニ棲息セリ。

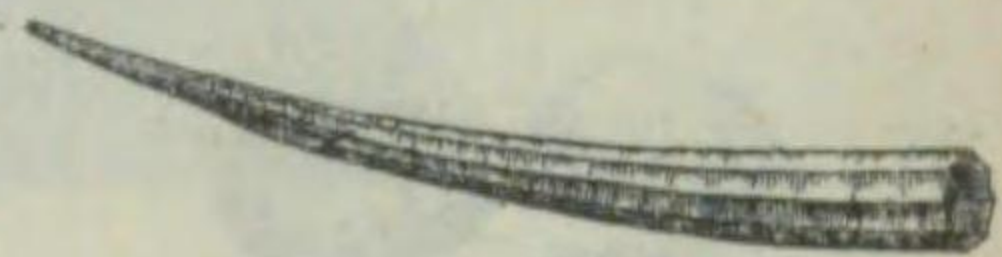
第二五四九圖



Dentalium hexangulatum.

ムカドツノガヒ (六角角貝)  
 ツノガヒ科  
 やかどつのがひニ酷似セルモ、顯  
 著ナル縱肋六乃至七條ヲ有シ、從  
 テ殻口モ六角乃至七角ヲ呈セリ。  
 房州以南ノ海岸砂泥中ニ棲息ス。

第二五四八圖



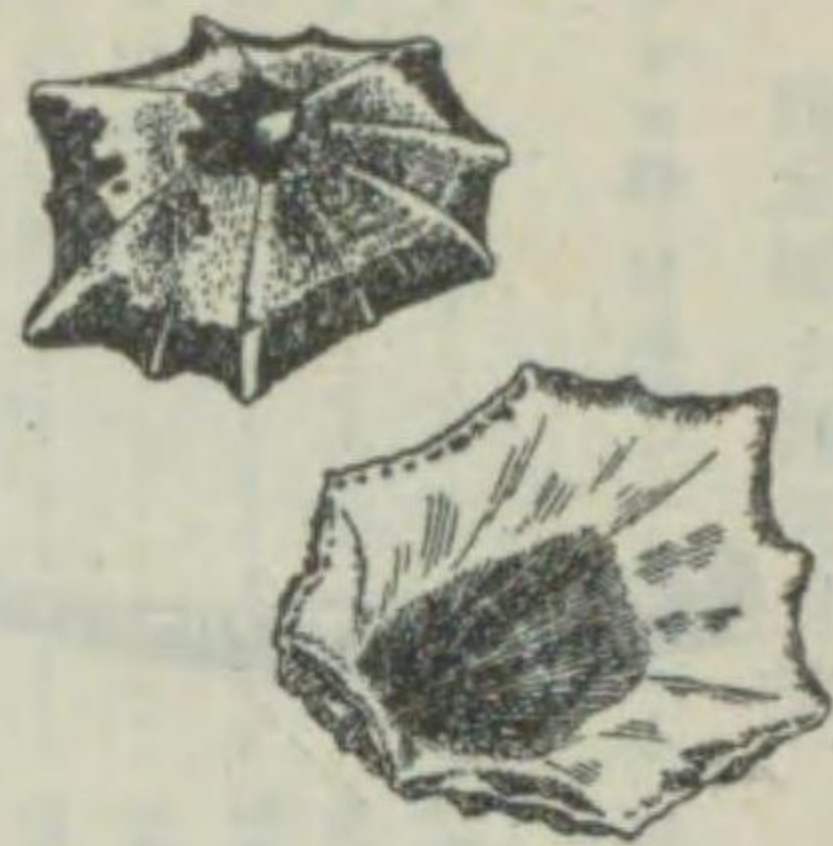
Dentalium octangulatum.

ツノガヒ科  
 つのがひヨリ小形ニシテ、八乃至  
 九條ノ強キ縱肋ヲ有シ、從ツテ殼  
 口モ八乃至九角形ヲ呈セリ。殼外  
 面ハ白色或ハ青白色ニシテ、彎曲  
 ノ度強ク、孤狀ヲナシ、腹面ニハ  
 縱肋ヲ有セズ。殼長六〇耗、殻口  
 徑六耗内外ニ達ス。紀伊、相州等  
 ノ海岸ニ産シ、硅藻其他小動物ヲ  
 食ス。

第二五四七圖



第二五五〇圖



Patelloida saccharina.

殼頂ハ僅ニ前方ニ偏在シ、コレヲ中心ニ七條内外ノ強放射肋ヲ有シソノ間ニ小肋ヲ表ス、ソノ狀恰モ鶴趾ニ似テノ張ラレタルニ似タリ。殼表ハ概シテ汚黄褐色乃至灰褐色ノ汚斑ニテ被ハルレドモ、元來ハ白色ニシテ、中央部及ビ周縁ハ黒褐色ナリ。内面ハ白色半透明ニシテ、殼縁、窩心部ハ黒褐色ヲ呈ス。殼長四〇耗、幅三〇耗内外ナリ。各地ノ岩礁、海藻等ニ密着セリ。肉ハ食用ニ供セラル。

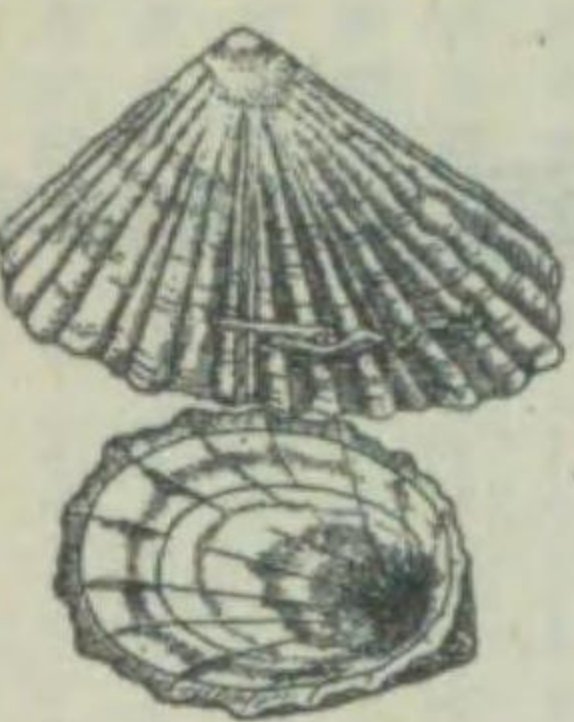
ウノアシ (鵝足)

ウノアシ科

ユキノカサ (雪笠)

ウノアシ科

第二五五二圖



Patelloida pallida.

殼ハ稍々高ク、殼頂ハ前方ニ偏在シ、放射肋ハ太クシテ顯著ナリ。殼色ハ雪白ナルモ、往々附着物ノ爲メニ汚色ヲ呈セルコトアリ。内面ハ純白色ニシテ光澤強ク、周縁ハ半透明ナリ。殼長五〇耗、高二五耗内外ニ達ス。北日本産ナルモ、南日本ニモ分布セリ。

第二五五三圖



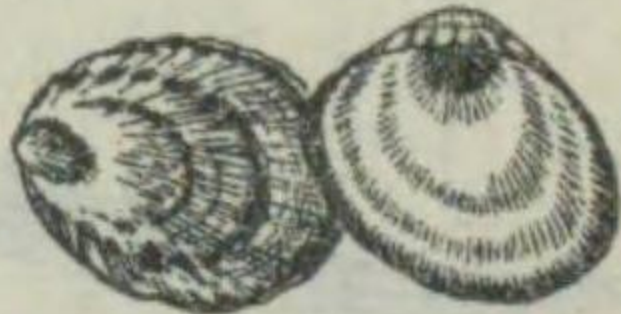
Patelloida grata.

殼ハ稍々高ク、殼頂ハ前方ニ偏在シ、放射肋ハ太クシテ顯著ナリ。殼色ハ雪白ナルモ、往々附着物ノ爲メニ汚色ヲ呈セルコトアリ。内面ハ純白色ニシテ光澤強ク、周縁ハ半透明ナリ。殼長五〇耗、高二五耗内外ニ達ス。北日本産ナルモ、南日本ニモ分布セリ。

カモガヒ (鴨貝)

ウノアシ科

第二五五二圖



Patelloida pygmaea.

殼ハ小形ニシテ高ク、殼頂ハ僅ニ前方ニ偏在シ、不明ナル結節ヲ有セルノミニシテ平滑ナリ。殼色ハ白色地ニ黒褐色斑ヲ有シ、内面ハ淡青白色ニシテ、窩心部ノ周縁ハ黒褐色ナリ。殼長一五耗、幅一二耗、高五耗内外。南日本ニ多産ス。

ヒメコザラ (姫小皿)

ウノアシ科

第二五五四圖



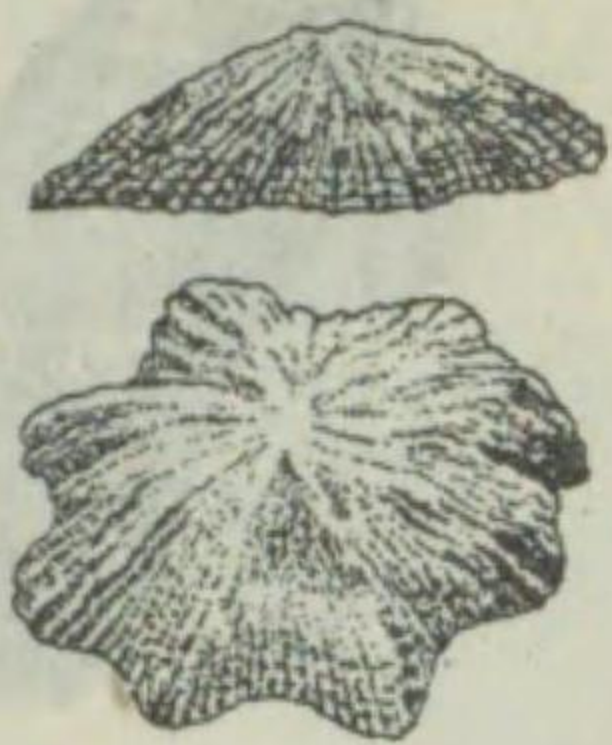
Patella luchuana.

殼ハ小形ニシテ、稍々前方ニ偏在セリ。放射肋ハ稍々顯著ニシテ、殼色ハ白色地ニ茶褐色ノ放射縱條ヲ有シ、内面ハ白色ニシテ、眞珠光澤ヲ現シ、殼縁ニ褐色斑アリ。殼長一五耗、幅一〇耗内外ナリ。琉球ニ分布ス。

コガモガサ (小鴨笠)

パテルラ科

第二五五五圖



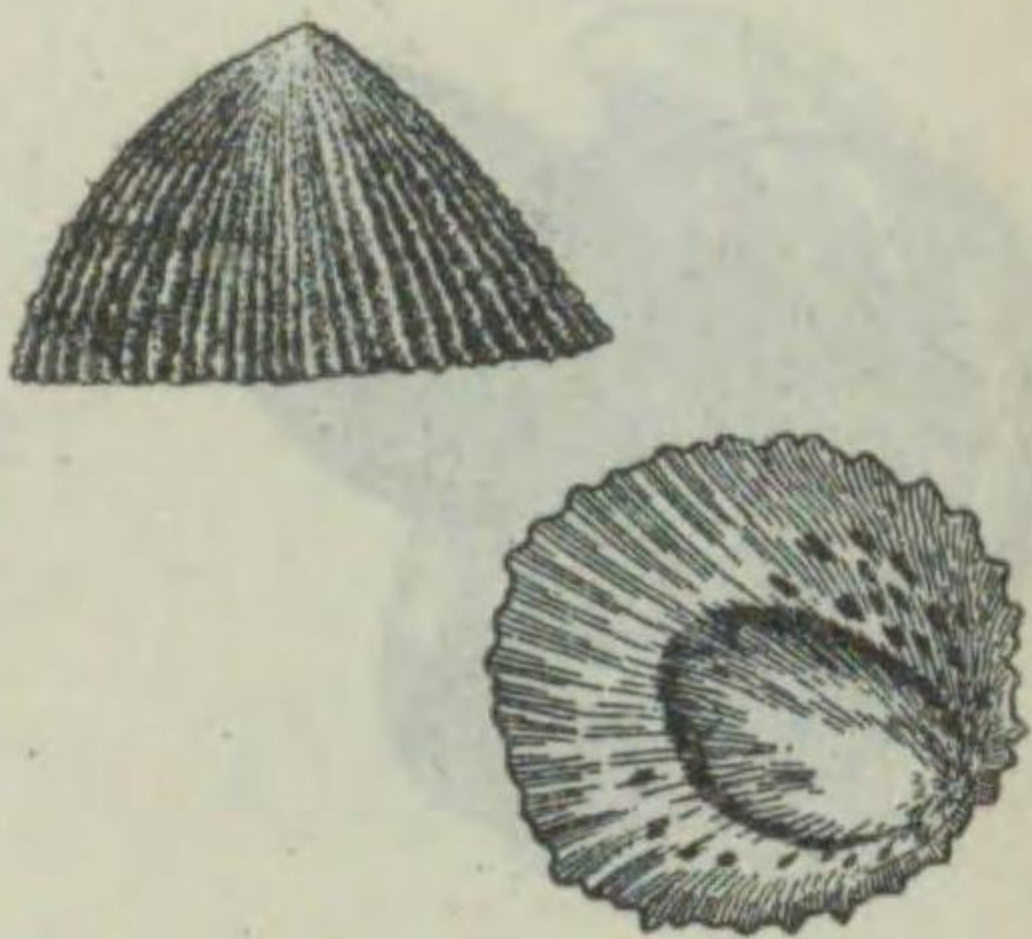
Patella stellaformis.

殼ハ稍々厚クシテ、角張リタル橢圓形ヲナシ、低クシテ扁平ニ近シ。殼頂ハ略々中央ニ位シ、殼表ニハ八乃至一〇條ノ大放射肋及ビ數多ノ細キ放射肋ヲ有ス。殼色ハ淡紫褐色ニシテ、白色斑多ク、内面ハ乳白色ナリ。殼長八〇耗、幅五五耗内外。南日本ニ多産セリ。

ツタノハ (葛葉)

パテルラ科

第二五五六圖



Cellana nigrisquamata.

殼ハ大形ニシテ、殼頂ハ略々中央ニ位シ、低キ圓錐形ヲナシ、放射肋ハ結節狀ヲ呈シ顯著ナリ。殼表ハ淡褐色ヲ呈シ、内面ノ窩心部ハ淡褐色ニシテ他ハ橙黄色ヲナシ、雲母狀光澤ヲ有ス。殼長八五耗、幅七五耗内外ニ達ス。小笠原島ニ分布セリ。

カサガヒ (笠貝)

パテルラ科

ヨメガカサ (嫁笠)

パテルラ科

第二五五七圖



Cellana toreuma.

殼ハ卵圓形ヲ呈シ、低クシテ扁平ニ近ク、殼頂ハ前方ニ偏在セリ。殼表ハ細キ放射肋多ク、殼頂部ハ侵蝕セラレ、蒼紫褐色斑ヲ有シ、内面窩心部ハ褐色ヲナシ、黒紫色黄色等ノ縦斑アリテ、雲母狀光澤ヲ有ス。殼長四五耗、幅三四耗内外ナリ。各地ノ沿岸岩礁上ニ棲息セリ。

第二五六三圖



Diodora sieboldi. 殼ハ耳形ニシテ、殼頂ハ著シク偏在シ、極メテ小形ナリ。殼表ハ殆ド平滑ニシテ、細キ輪脈多ク、噴水孔ハ五乃至七箇ヲ有ス。殼色ハ褐色地ニ殼頂近クV字形ノ赤黄色條紋ヲ有シ、美麗ナリ。内面ハ銀白色ニシテ真珠光澤顯著ナリ。殼長八五耗、幅四五耗内外ニ達ス。九州以南ニ分布セリ。

クサヤガヒ (葛屋貝) クサヤガヒ科

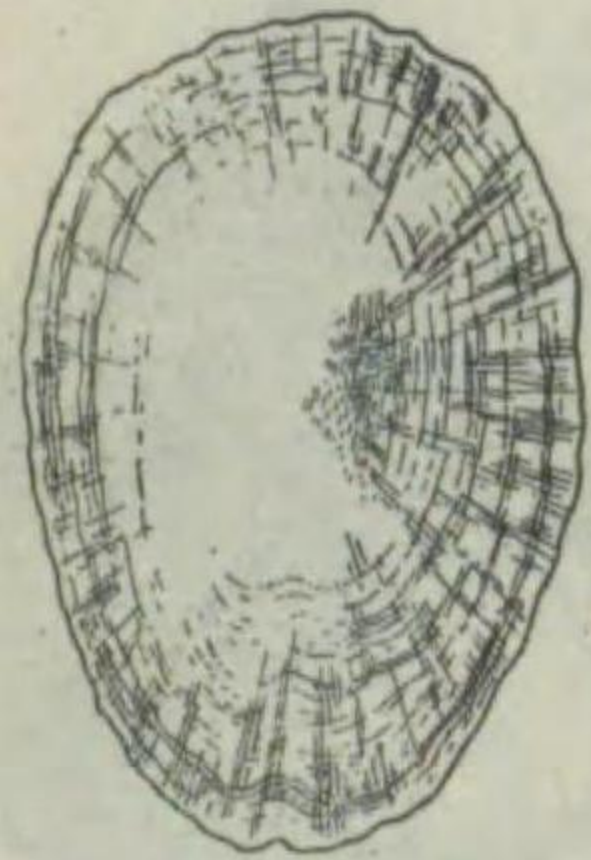
第二五六二圖



Macroschisma sinensis. 殼ハ稍々扁笠狀ニシテ左右ニ扁タリ、殼頂ハ稍々後方ニ位シ、長キ穿孔ヲ有シ、殼表ニハ細微ナル布目狀彫刻ヲ現ス。殼色ハ赤褐色又ハ暗褐色ニシテ、内面ハ白色ナリ。殼長二五耗、幅一〇耗、高八耗内外。南日本ニ分布セリ。

スカシガヒ (巻貝) クサヤガヒ科

第二五六五圖



Tugalia gigas. 殼ハ低平ナル圓錐形ニシテ、殼表ニハ放射肋及ビ輪脈ノ鈍結節ヲ有シ、白色ナリ。内面ハ磁白色ヲ呈ス。殼長九〇耗、幅五〇耗内外ニ達ス。北日本ニ分布セリ。

第二五六四圖



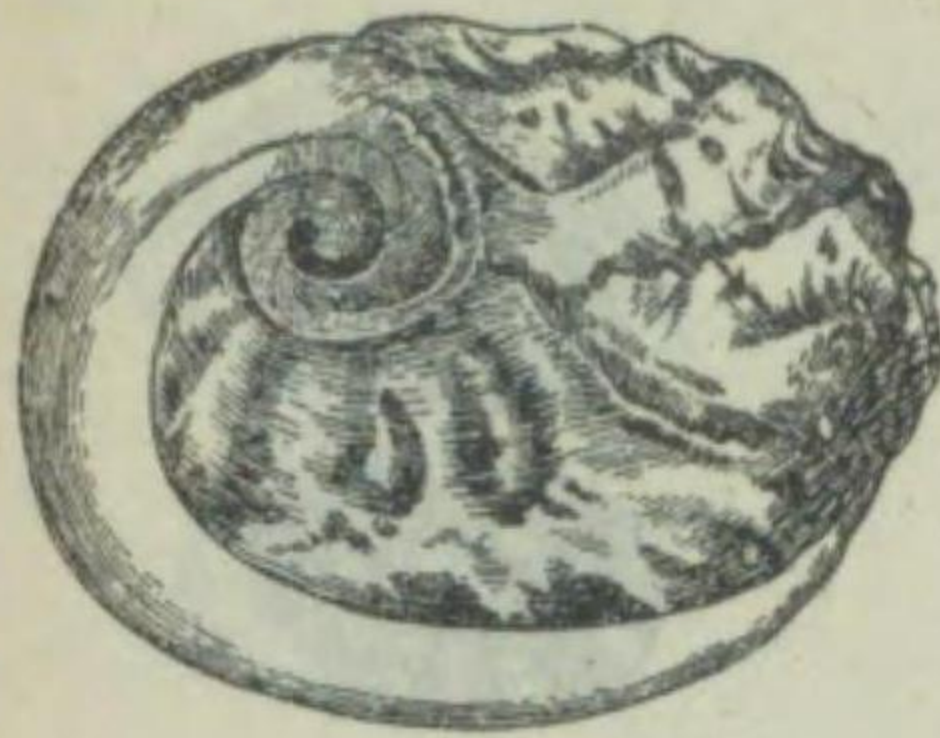
サルアハビ (猿石決明) クサヤガヒ科

第二五六四圖

Hemitoma oldhamiana. 殼ハ高キ圓錐形ニシテ、殼頂ハ稍々後方ニ偏在シ、少シク嘴狀ニ彎曲シ、殼表ニハ多クノ螺肋ヲ有セルモ、ソノ前方ノ三條ハ太ク、就中ソノ中央ノ一條ハ太シ。輪脈モ亦多ク、小放射肋ハ布目狀ノ彫刻ヲ現セリ。殼表ハ白色ニシテ、内面ハ淡綠色ヲ呈シ、高心部ハ白色ナリ。殼長一五耗、幅一〇耗、高一二耗内外ニ達ス。前方ニ三溝ヲ有ス。紀伊以南ニ分布セリ。

チドリガサ (千鳥) クサヤガヒ科

第二五五九圖



Haliotis ovina. 殼ハ扁圓形ニシテとこぶしニ似タルモ、殼頂ハ稍々中央ニ近ク、殼表ノ放射肋ハ粗クシテ結節狀ヲナシ、噴水孔ノ貫通セルモノハ五乃至六箇ナリ。殼色ハ淡紫褐色ニシテ、綠色ノ放射狀斑ヲ有シ、内面ハ銀白色ニシテ、真珠光澤顯著ナリ。九州以南ニ分布ス。肉ハ食用ニ供シ、美味ナリ。

マアナゴウ (真穴螺) アハビ科

第二五五八圖



Haliotis asinina.

殼ハ耳形ニシテ、殼頂ハ著シク偏在シ、極メテ小形ナリ。殼表ハ殆ド平滑ニシテ、細キ輪脈多ク、噴水孔ハ五乃至七箇ヲ有ス。殼色ハ褐色地ニ殼頂近クV字形ノ赤黄色條紋ヲ有シ、美麗ナリ。内面ハ銀白色ニシテ真珠光澤顯著ナリ。殼長八五耗、幅四五耗内外ニ達ス。九州以南ニ分布セリ。

ミミガヒ (耳貝) アハビ科

第二五六一圖

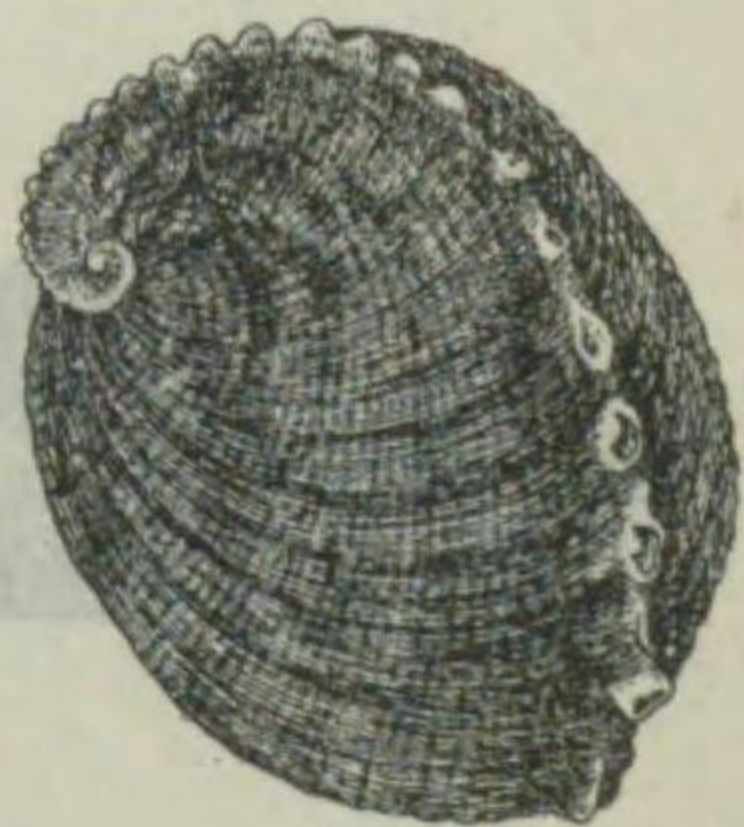


Haliotis japonica.

略々長扁圓形ニシテ、螺塔ハ低ク偏在セリ。體層ハ頗ル大形ニシテ扁タテ、螺紋狀ノ彫刻アリ。外縁ニ沿ヒテ一列ノ壁ノ低キ突起並列シ、ソノ六乃至七箇ハ貫通セリ。噴水孔ヲ洗ヒシ水ハ各孔ヨリ流出シ、最後ノ一孔ハ排泄孔トナリ、卵或ハ精蟲ハ多クコレヨリ放出セラル。雌雄異體ニシテ、雄生殖器ハ淡褐色、雌生殖器ハ濃綠色ナリ。殼色ハ帯着淡褐色ニシテ、内面ハ真珠光澤顯著シ。殼長七五耗、幅五〇耗、高二〇耗ナリ。食用トナス。

トコフシ (常節) アハビ科

第二五六〇圖

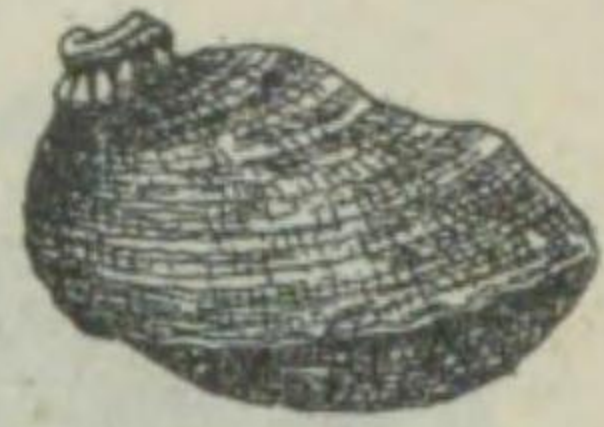


Haliotis gigantea.

あはび類中最モ普通ナルモノニシテ、扁圓形ヲ呈シ、大形ナリ。殼面ノ螺旋狀彫刻ハ顯著ニシテ、噴水孔ハ大キク、壁高ク、三乃至五箇ハ貫通セリ。殼色ハ褐色乃至蒼紫褐色ニシテ、内面ハ真珠光澤強シ。殼長二〇〇耗、幅一七〇耗、高七〇耗内外、往々長サ二五〇耗ニ達スルコトアリ。外洋ニ面シタル潮流ノ影響アル岩礁間ニ棲息シ、海藻ヲ食トナス。本州以南ノ海岸ニ分布セリ。肉ハ美味ニシテ、殼ト共ニ用途頗ル廣シ。

アハビ (石決明・鮑・蜆) アハビ科

第二五六六圖



Stomatia phymotis.

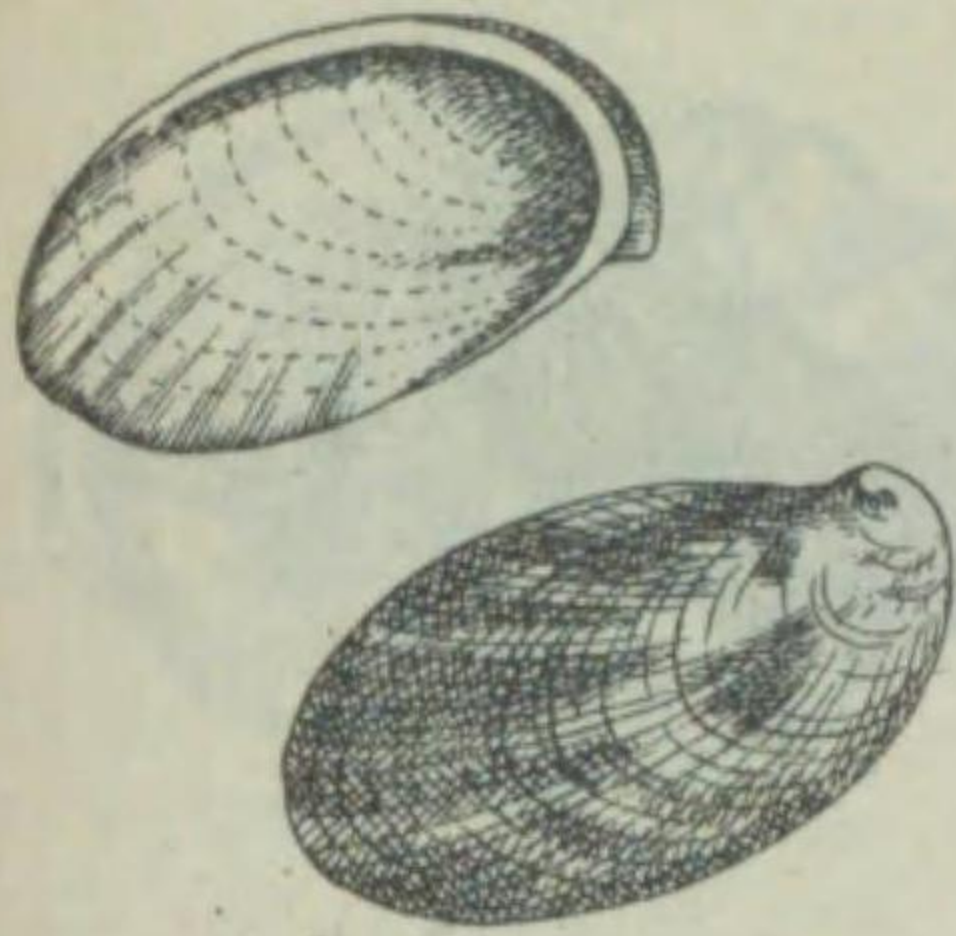
あはびノ如キ形ヲナシ、螺塔ハ稍々高クシテ振曲ス。殼表ニハ結節狀螺肋多ク、殼色ハ灰白色乃至帶橙白色ヲ呈セリ。殼高二五耗、徑一八耗内外ニシテ、殼口ハ橢圓形ヲナシ頗ル大ナリ。長徑二〇耗短徑八耗内外ニシテ、内面ハ白色ヲ呈シ、眞珠光澤強シ、南日本ニ分布セリ。

フルヤガヒ (古屋貝) アシヤガヒ科

ヒラヒメアハビ (平姫石決明)

アシヤガヒ科

第二五六七圖



Gena planulata.

あはび形ニシテ、螺塔ハ低ク小サク、前方ニ偏在シ、體層ハ頗ル大形ナリ。殼表ニハ細キ布目狀ノ彫刻ヲ有セルモ、滑澤ナリ。殼色ハ淡褐色ニ白色ノ小斑散在シ、殼口ハ橢圓形ニシテ頗ル大キク、内面ハ眞珠光澤顯著ナリ。殼高六耗、長二五耗、幅七耗内外ニ達ス。九州、四國等ニ分布セリ。

第二五六九圖



Trochus niloticus.

殼ハ圓錐形ヲ呈シ、大形ニシテ、螺層ハ八乃至九階アリ。各層ニ鈍結節狀隆起ヲ有ス。殼色ハ前種ニ似タルモ、白色地ニ暗紅色斜條ヲ有セルヲ以テ一層鮮美ナリ。九州以南ニ分布シ、用途ハざんたかハ主ト同様ニシテ、卸其他ノ細工用ニ供セラル。

サラサバテイ (更紗馬蹄) バテイラ科

第二五六八圖



Trochus obeliscus.

稍々高キ圓錐形ニシテ、螺層ハ約一〇階ヲ有ス。各層縫合ノ上方ニ二列ノ顆粒狀螺帶ヲ有シ、上層ノ縫合直上ノモノハ棘狀ノ結節ヲ呈ス。殼色ハ汚褐色ニ綠色ヲ混ジ、底面ハ白色ナリ。殼高七五耗、徑八〇耗内外ニ達ス。南日本ニ分布シ、殼ハ卸其他ノ細工用ニ供ス。

キンタカハマ (銀高濱) バテイラ科

(別名) ヒロセガヒ

第二五七〇圖



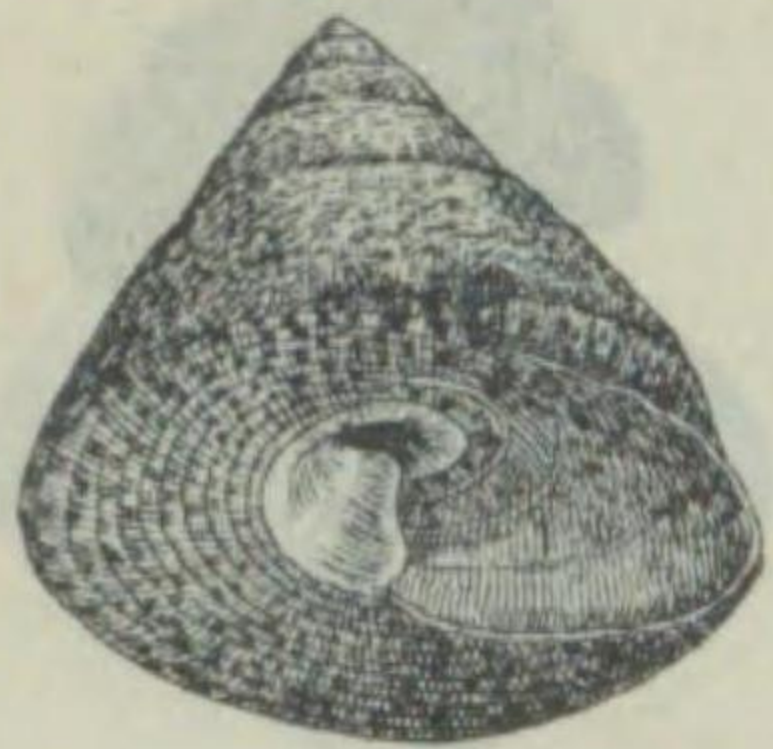
Trochus conus hirasei.

圓錐形ニシテ、螺層約九階ヲ有ス。各層ニハ顆粒多ク、縫合直下ノモノハ結節狀ヲナセリ。殼色ハ淡紅色ニシテ暗紅色ノ放射狀不定條斑ヲ有シ、暗紫褐色ノ殼皮ヲ被レリ。殼高五五耗、徑六〇耗内外ナリ。殼口ハ横卵形ヲ呈シ、内面ハ眞珠光澤アリ。南日本ニ産ス。

ベニシリダカ (紅尾高) バテイラ科

(別名) ヒラセワフ

第二五七一圖



Trochus maculatus.

圓錐形ニシテ、螺層ハ約一〇階ヲ有ス。各層ニハ顆粒狀螺刻密在シ、ソノ縫合直下ノモノハ稍々膨大セリ。殼色ハ淡紅褐色ニ紫褐色及ビ綠色等ノ雲狀斑ヲ有シ、美麗ナリ。殼底ニハ細絲狀螺線多ク擬脚ハ稍々深ク、ソノ面及ビ外唇ノ内外ハ眞珠光澤ヲ有ス。螺高三〇耗、徑四五耗内外ナリ。南日本ニ分布セリ。

ニシキウツ (錦渦)

バテイラ科

第二五七二圖



Trochus rata.

略々圓錐形ヲ呈シ、螺層ハ約八階アリ。各層ノ周圍ヨリ斜下方ニ向ヘル棘狀突起アルモ、上層ハ不明ナリ。其他數多ノ齒狀小結節アリ。殼色ハ白色又ハ淡着綠色ニシテ、淡紫紅色ノ小斑ヲ有ス。殼底ハ平坦ニシテ、細齒狀顆粒ヨリ成レル螺線多シ。殼高二三耗、徑二五耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

ウヰイチモンジ (渦一文字)

バテイラ科

ベニヒビス (紅戎)

(別名) ナツモ、

バテイラ科

Clanculus gemmulifer.

僅カニ斜傾セル圓錐形ニシテ、螺層ハ約五階アリ。各層ニハ細顆粒密布シ、朱紅色地ニ細黒點散在セリ。殼口ハ廣ク、内面ハ白色ヲ呈ス。殼高六耗、徑八耗内外ニ過ギズ。九州ニ産ス。

第二五七四圖



Clanculus clanguloides.

ウスイロナツモモ (薄色夏桃) パテイラ科  
ベニエビオスニ似タルモ、螺層ハ六階ナリ各層ニハ顆粒帯ヲ密布ス。殼色ハ帶黄褐色ニシテ、褐黑色及ビ黄色ノ縞ヲナセル螺帯ヲ繞ラシ殼頂ハ紅色ヲ呈セリ。殼高一二耗徑一〇耗内外ニ過ギズ。琉球、大島等ニ分布セリ。

第二五七五圖



Monodonta labis.

イシダタミ (石疊) パテイラ科  
螺層ハ五乃至六階ヲ有シ、各層ハ稍々膨ラメルモ縫合ハ不明ナリ。殼表ハ石垣狀彫刻ヲ有シ、殼色ハ綠黑色乃至紫黑色ニ紅褐色ノ斑紋ヲ有ス。殼高ハ徑ト共ニ二〇耗内外ニシテ、臍ヲ缺ケリ。各地ノ海濱ニ多産ス。

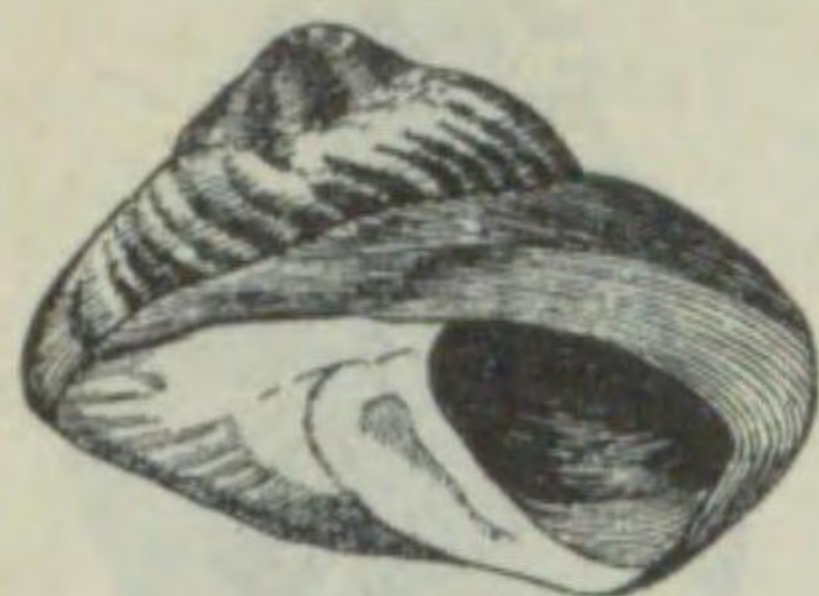
第二五七八圖



Tegula argyrostoma basilirata.

クボガヒ (窪貝) パテイラ科  
大形ニシテ螺層ハ六乃至七階ヲ有ス。殼表ニハ顆粒狀放射帶多ク、殼色ハ黑色ヲ呈シ、殼口ハ大キク卵形ニシテ、臍孔ハ閉ヂ、ソノ周縁ハ綠色ナリ。殼高四〇耗、徑四五耗内外ニ達ス。各地ノ岩礁上ニ普通ニ見出サル。

第二五七九圖



Tegula rugata sublaevis.

エソクボガヒ (蝦夷窪貝) パテイラ科  
くぼがヒニ比シ、扁平ニシテ螺層ハ五乃至六階ヲ有セリ。殼表ハ放射弱ク、黑色ヲナス、殼口ハ卵形ニシテ弱キ眞珠光澤ヲ現セリ。殼高二〇耗、徑二五耗内外ニ達ス。北海道ニ分布セリ。

第二五七六圖



Monodonta neritoides.

クロツケガヒ (黒漬貝) パテイラ科  
螺塔ハ低ク、螺層ハ約四階ヲ有セリ。殼表ノ石疊狀彫刻ハ淺ク、外觀ハ滑澤ナリ。殼色ハ帶綠黑色ニシテ赤褐色ノ細帯ヲ有セリ。殼口ハ廣ク縁ハ白色ニシテ、内部ハ眞珠光澤ヲ有ス。殼高一〇耗、徑一三耗内外ナリ。各地ノ海濱ニ多産ス。

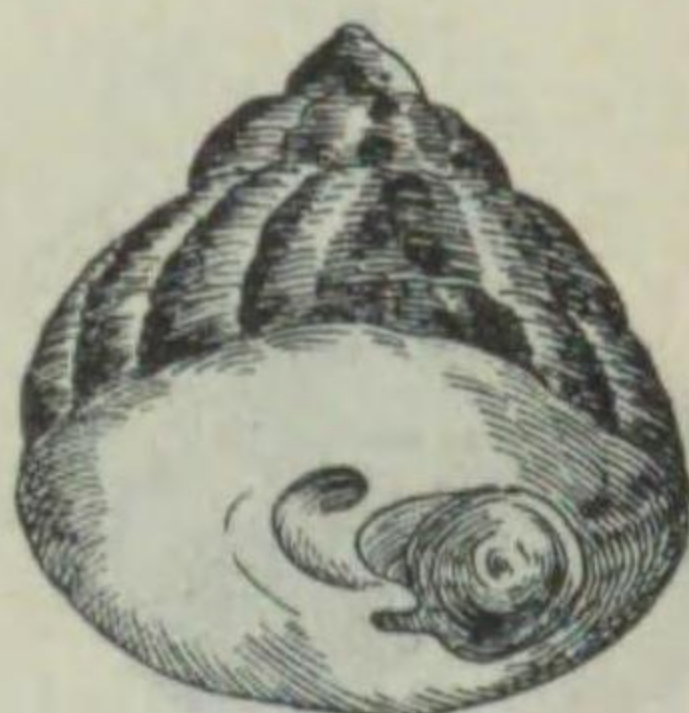
第二五七七圖



Chrysostoma paraboxun.

サラサタマ (更紗玉) パテイラ科  
螺層ハ約六階ヲ有シ、各層ハ稍々膨滿シ、殼色ハ白色ニ赤褐色ノ細網狀斑ヲ有セリ。殼口ハ半圓形ニシテ、内面ハ赤色又ハ赤金色ヲ呈ス。殼高一五耗、徑二〇耗内外ナリ。大島、九州以南ニ分布セリ。

第二五八〇圖



Tegula rustica.

コシダカガンガラ (腰高雁空) パテイラ科  
ばていらニ酷似シ、圓錐形ニシテ各層共稍々膨レ、顆粒ヲ有セル放射帶アリ。殼表ハ灰白色地ニ黒色斑ヲ有シ、殼口ハ大形ニシテ白色ヲ呈ス。殼高二五耗、徑三〇耗内外ナリ。各地岩礁上ニ普通ニ棲息シ、食用ニ供セラル。

第二五八一圖



Tegula pheifferi.

パテイラ (馬蹄螺) パテイラ科  
僅カニ傾斜セル圓錐形ヲ呈シ、大形ニシテ高ク、螺層ハ約七階ヲ有シ、殼頂ハ概ネ侵蝕セリ。各層ニ不明ナル稍々波狀ノ放射帶ヲ有シ、體層ノ周縁ハ鋭角ヲナス。殼色ハ紫褐色乃至黒紫色ヲ呈シ、殼口ハ大形ニシテ、眞珠光澤ヲ有セリ。殼高三五耗、徑四〇耗内外ニ達ス。南日本ニ普通ニ棲息セルモ、北日本南部ニモ見出サル。

第二五八二圖



Cantharidus hirasei.

螺塔ハ高ク尖リ長橢圓形ヲ呈シ、各層ハ稍々膨レ、螺層ハ約七階ニシテ、體層ノ周緣銳カラズ。殼色ハ一見帶紅褐色ナルモ、檢鏡セバ淡褐色地ニ黒褐色ノ多クノ螺線アリ。殼口ハ卵形ヲ呈シ、青色ナル眞珠光澤顯著ナリ。殻高一二耗、徑六耗内外ニ達ス。淡路及ビ九州ニ分布セリ。

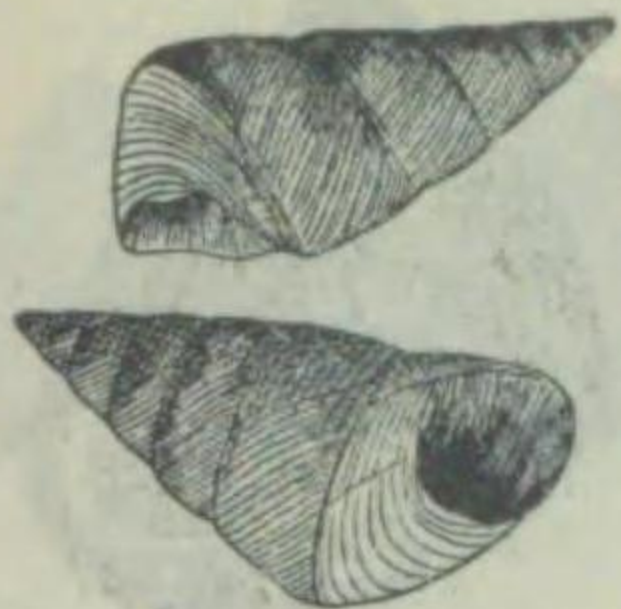
カヒタウチグサ (貝堂干草)

バテイラ科

チグサガヒ (干草貝)

バテイラ科

第二五八三圖



Cantharidus japonicus.

螺塔ハ高ク尖リテ長圓錐形ヲ呈シ、螺層ハ約八階ヲ有ス。殼表ハ殆ト平滑ニシテ、紅色又ハ橙色ナリ。殻高一五耗、徑一〇耗内外ナリ。南日本ニ多産ス。

アコヤチグサ (阿古屋干草)

バテイラ科

第二五八六圖



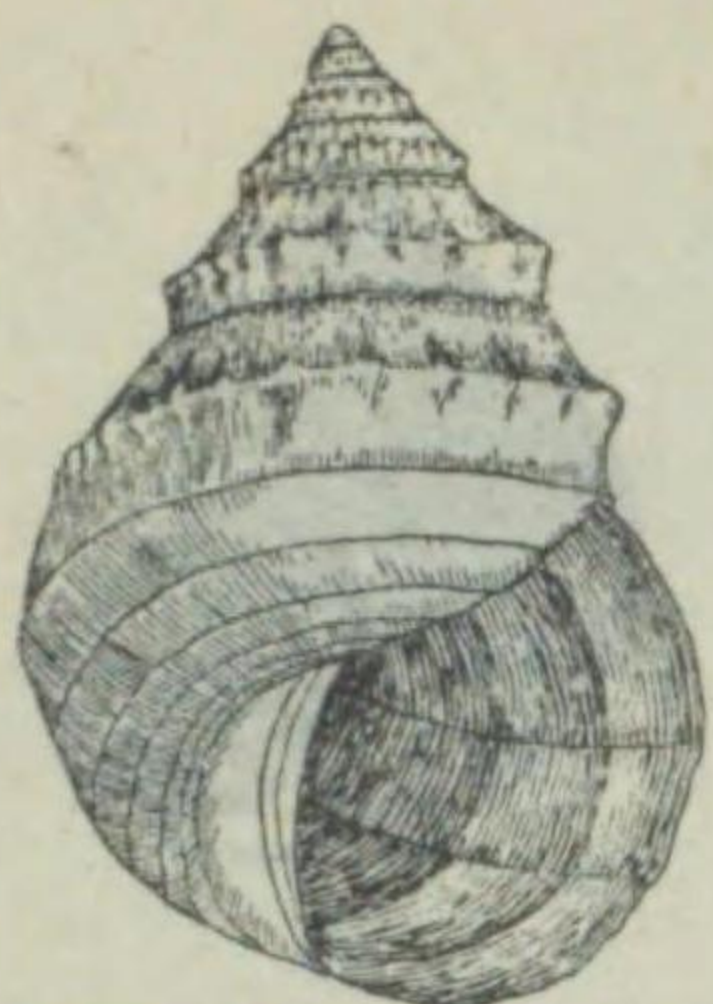
Margarites iridescens.

螺層約五階ヲ有シ、各層ニ多クノ螺脈有リテソノ中央下方ノモノハ稍々太シ。各螺脈ニハ白色及ビ褐色ノ縞ヲ有シ、褐色ノ放射狀斑ヲ表セリ。殼口ノ内面ハ青キ眞珠光澤ヲ有ス。高及ビ殻徑ハ八耗内外ナリ。北日本ニ棲息ス。

ギンエビス (銀戎)

バテイラ科

第二五八七圖



Turricula argenteonitens.

螺塔ハ高クシテ尖リ、螺層ハ約八階ヲ有シ、各層ノ周緣ヨリハ齒列狀ノ龍骨肋アリ。縫合ノ上下ニ微細ナル齒狀螺線ヲ有ス。體層ハ大形ニシテ、殼底ニ六條ノ細齒ナル輪線ヲ有シ、殼色ハ乳白色ニシテ眞珠光澤アリ。殻高四五耗、徑四〇耗内外ニ達ス。本邦ノ特産種ナリ。東北ヨリ相模灣ニ至ル稍々深海ニ棲息ス。

第二五八四圖



Monilea lifuana.

かたつむリノ如ク扁平ニシテ小サク、殼質堅固ナラズ。螺層ハ六階アリ。殼表ハ肉眼ニテハ殆ト認め難キ頗ル細密ナル彫刻ヲ有シ、殼色ハ變化ニ富メルモ、概シテ茶褐色ノ顯著ナル放射縞ヲ有ス。殻高八耗、徑九耗内外ニシテ、殼口ハ卵形ナリ。大島ニ産ス。

ゴシヨグルマ (御所車)

バテイラ科

キヌシダタミ (絹石壁)

バテイラ科

第二五八五圖



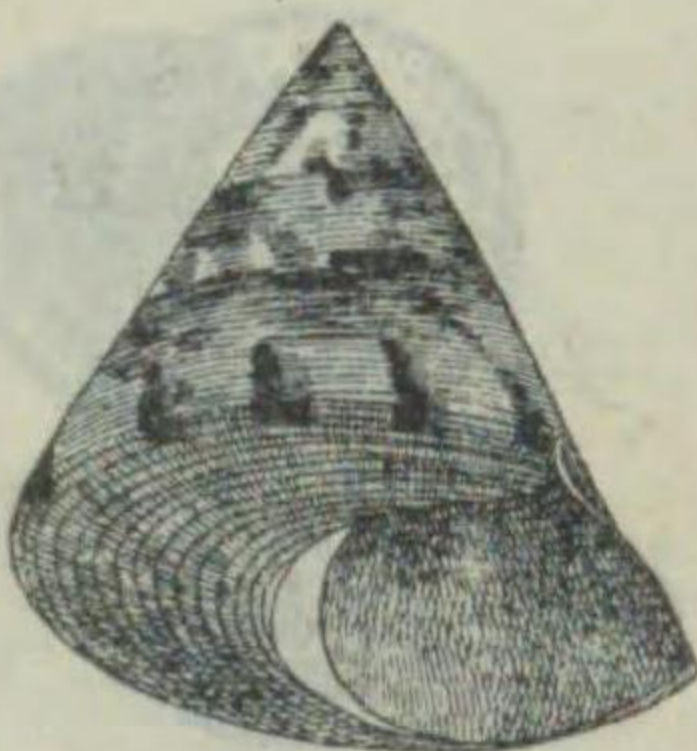
Solariella stearnsii.

殼質ハ頗ル脆弱ニシテ、螺塔ハ低ク、螺層ハ五乃至六階ナリ。殼表ハ黄褐色地ニ黒褐色ノ放射狀斑ヲ有シ、青色ナル眞珠光澤ヲ有ス。殻高七耗、徑一〇耗内外ナリ。紀伊以南ニ分布ス。

ヒラコマ (平獨樂)

バテイラ科

第二五八八圖



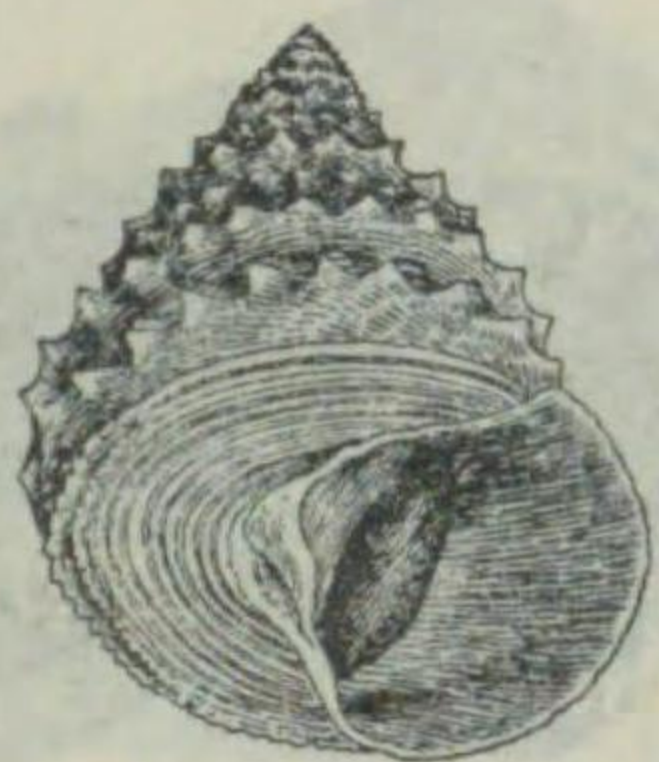
Calliostoma haliarchus.

螺層ハ九乃至一〇階ヲ有ス。各層ニハ細密ナル螺脈密布シ、殼色ハ黄褐色地ニ黄色斑ヲ表ハセリ。殻高ハ徑共ニ四五耗内外ニ達ス。殼口ノ内面ハ美麗ナル眞珠光澤顯著ナリ。紀伊以南ニ見出サル。

ハリエビス (針戎)

バテイラ科

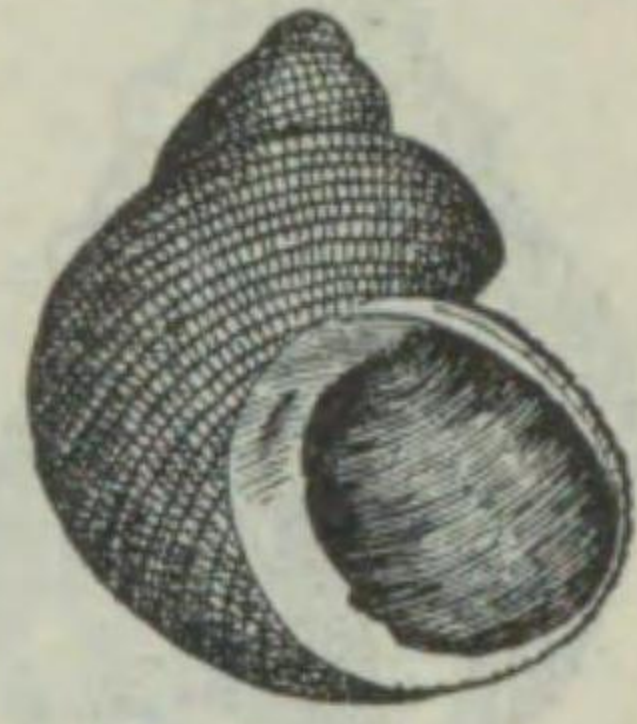
第二五八九圖



Calliostoma moniliferum.

殼ハ圓錐形ニシテ、螺層ハ八乃至九階ヲ有シ、螺表ニハ顆粒多ク、中央ノモノハ特ニ棘狀突起ヲナセリ。殼表ハ美麗ナル純白色ヲ呈シ、殼底ハ殼蓋ニ同ジキ明帯ヲ有ス。殼口ハ徑共ニ三〇耗内外ナリ。殼口ノ内面ハ白色ニシテ、眞珠光澤ヲ有ス。南日本ニ分布セリ。

第二五九〇圖



サンセウガヒモドキ (擬山椒貝)

パテイラ科

*Euchelus lischkei*.  
小形ニシテ、螺塔ハ高ク、螺層ハ約五階アリテ各層ハ膨滿シ、顆粒密布シ、殻色ハ赤褐色ヲ呈セリ。殻高ハ徑共ニ一〇耗内外ニ過ギズ。殻底ハ發表ト同様ナリ。殻口ハ中等大ニシテ、卵形ヲ呈シ、軸唇ノ先端ニハ小溝ヲ有ス。南日本ニ分布セリ。

第二五九一圖

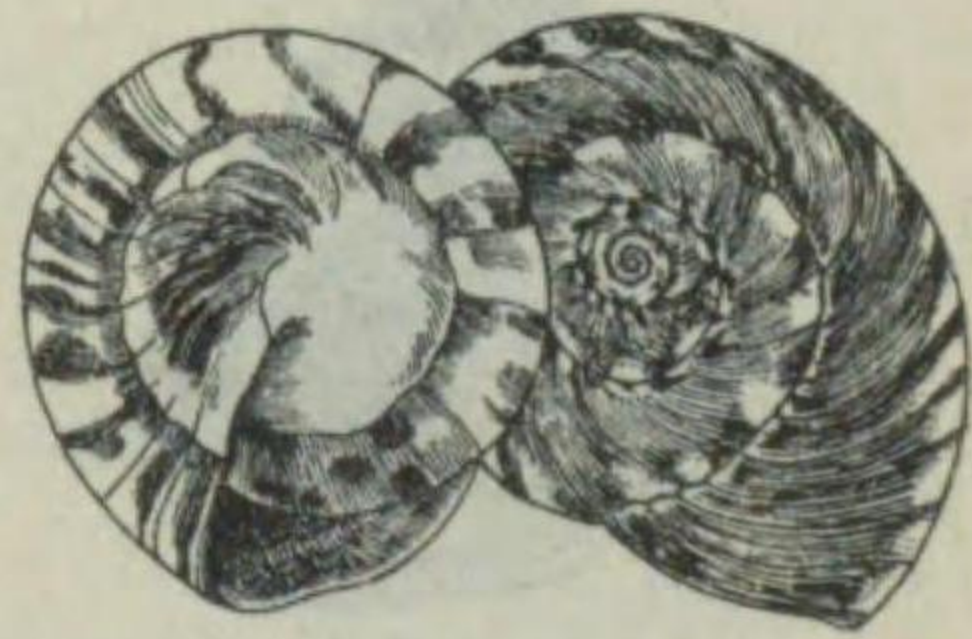


キサゴ (喜佐古)

パテイラ科

*Umboonium costatum*.  
殻ハ低キ圓錐形ニシテ、螺層ハ約六階ヲ有セリ。螺肋ハ多ク、縫合直下ノ一螺肋ハ稍々膨出ス。殻色ハ變化多ク、各螺肋ハ淡黄色及ヒ帶青褐色ノ縞ヲナシ、蛇皮ノ如キモノ及ビ白色地ニ黒褐色ノ放射狀大斑ヲ有セルモノ等アリ。殻高一〇耗、徑一五耗内外ニ達ス。各地ニ廣ク分布シ、肥料又ハ玩弄用ニ供セラレ。

第二五九二圖

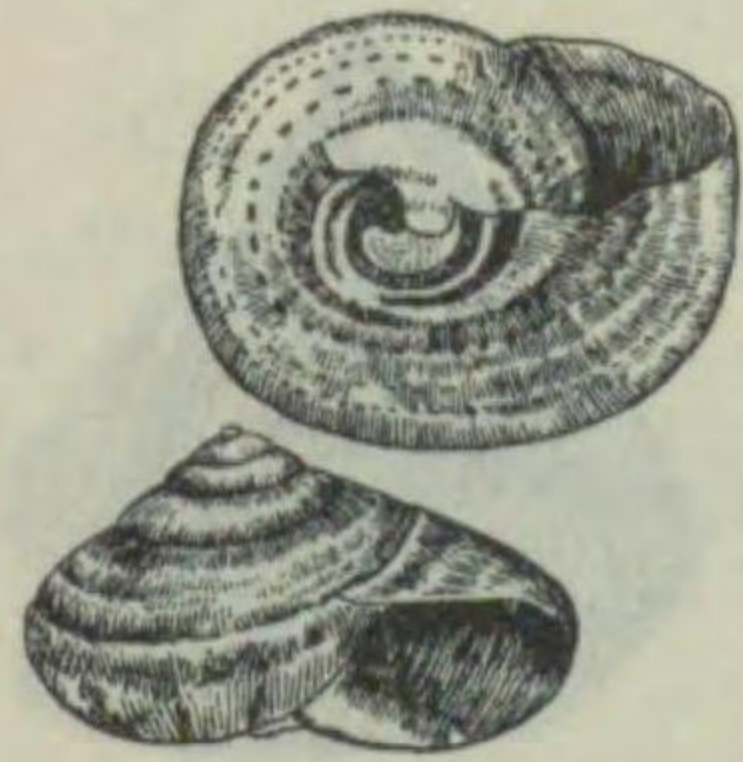


ダンベイキサゴ (團平喜佐古)

パテイラ科

*Umboonium giganteum*.  
大形ナル種類ニシテ低ク、螺層ハ約七階ヲ有ス。殻面ハ滑澤ニシテ縫合ノ直下ハ膨レズ。殻色ハ淡灰褐色ヲ呈シ、縫合ノ直下ニ濃褐色ノ小斑列ヲ有シ、又直上ニ白斑ヲ有ス。殻口ハ鈍菱形ニシテ、滑層ハ廣ク、褐色ニ淡紅色混在セリ。殻高二五耗、徑三五耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

第二五九三圖



キサゴモドキ (擬喜佐古)

パテイラ科

*Ethalia guamensis selenomphala*.  
螺塔ハ低ク、螺層ハ約六階ヲ有セリ。各層ハ縫合ノ直下ニ於テ稍々隆起シ、殼表ハ光澤強ク、殻色ハ變化多ク、白色地ニ赤褐色及ヒ黒褐色ノ雲狀斑ヲ有シ、之ニ褐色及ビ白色ノ縞ヲ有セル細キ條アリ。殻口ハ横卵形ヲ呈ス。殻高一五耗、徑二〇耗内外ナリ。紀伊以南ニ分布ス。

第二五九四圖



カタベガヒ (片部貝)

パテイラ科

*Angaria delphinula atrata*.  
殻ハ厚ク、螺層ハ四階ヲ有ス。各層ノ肩角ニ管狀突起ヲ有シ、體層ニハ他ニ小突起多ク、又螺肋明瞭ナリ。殻色ハ淡紅紫色又ハ灰白色ニ暗紅色或ハ紫黒斑アリ。殻高四五耗、徑五〇耗内外ニ達ス。紀伊以南ニ分布セリ。

ヒメカタベ (姫片部)

ヒメカタベガヒ科

*Liotina semiclathratula*.  
螺塔ハ低ク、螺層ハ約四階ヲ有セリ。殻面ニハ太キ螺脈及ビ縱肋交又シ、不明ナル太キ格子狀彫刻ヲ現シ、多クハ灰白色ヲ呈セリ。殻口ハ圓形ニシテ、内面ハ眞珠光澤アリ。殻高ハ徑共ニ六耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

第二五九七圖



第二五九六圖



ハグルマヒメカタベ (筒車姫片部)

ヒメカタベガヒ科

*Arene cycloma*.  
螺層ハ約四階アリ。螺層ノ周縁ニハ鋸齒狀ノ彫刻ヲ有セル太キ螺脈ヲ有ス。殼表ハ白色若クハ淡褐色ヲ呈シ、殻口縁ハ肥厚シ、之ニ格子狀彫刻ヲ有ス。殻高四耗、徑六耗内外ニ達ス。九州以南ニ棲息セリ。

ヤクワウガヒ (夜光貝)

サザエ科

*Turbo marmoratus*.  
殻ハ頗ル大形ニシテ質厚ク、螺層ハ六乃至七階ヲ有セリ。體層ハ大形ニシテ、鈍結節狀ノ三螺肋ヲ有ス。殻色ハ幼貝ニテハ鮮美ナル青綠色ヲ呈シ、栗色帶ヲ有セルモノ大形ナルモノニ於テハ紫灰色ヲ混ズ。然レドモ磨キタルモノハ美麗ナル色彩ヲ現ハス。殻口ハ圓形ヲ呈シ、大形ニシテ、眞珠光澤顯著ナリ。層ハ石灰質ヲ呈シ、圓クシテ重ク、左旋螺肋アリ。殻高ハ徑共ニ一八〇耗内外ニ達ス。琉球、臺灣ニ分布セリ。美術細工用トス。



第二五九八圖



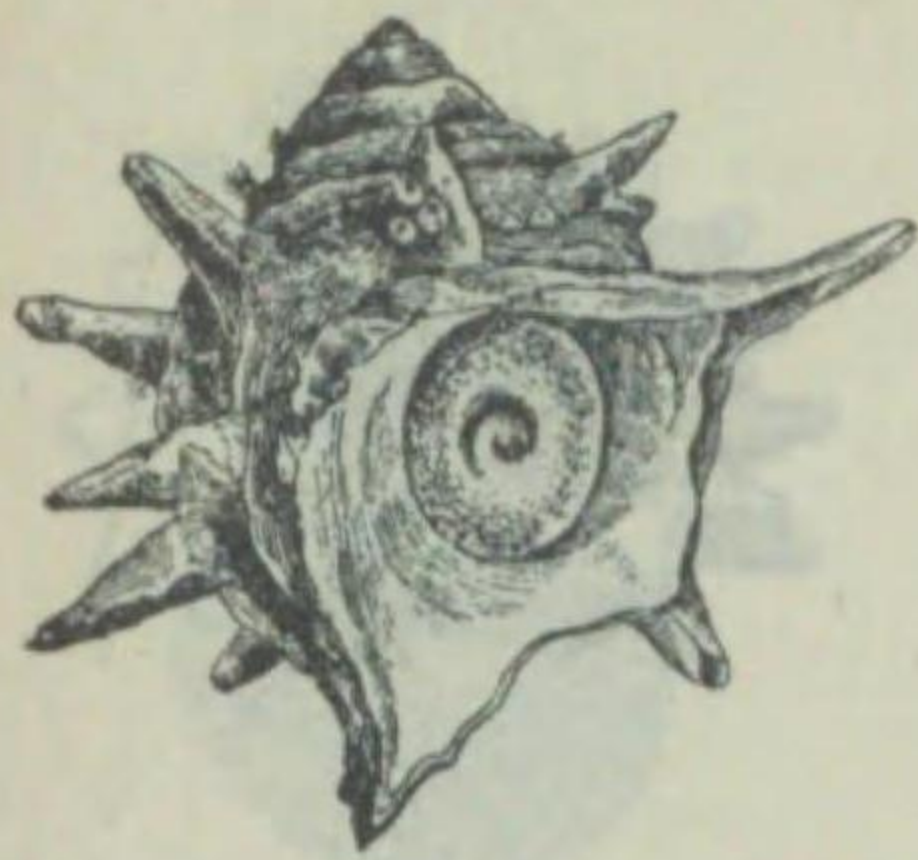
リュウテン (龍天)

サザエ科

Turbo petholatus.

殼ハ厚ク、螺層ハ約五階ヲ有ス。各層共ニ著シク膨満シ、平滑ナリ。殼色ハ淡黄色乃至赤褐色ニシテ濃淡アリ。縁褐色ノ濃淡交互セル顯著ナル數螺帶アリテ光澤強ク、美麗ナリ。殼口ハ略々圓形ニシテ内面ハ白色ヲ呈ス。殼高ハ徑共ニ七〇耗内外ナリ。琉球及ヒ臺灣ニ分布シ、裝飾用ニ供セラレ。

第二五九九圖



サザエ (拳螺・榮螺)

サザエ科

Turbo cornutus.

殼ハ厚ク拳狀ヲ呈シ、螺塔ハ高ク螺層約六階ヲ有ス。各層ニハ顯著ナル螺肋ヲ有シ、體層ハ大形ニシテ多クハ二列ノ管狀突起アリ。殼表ハ粗糲ニシテ暗青色或ハ暗褐色ヲ呈シ、殼口ハ圓ク、内面ハ眞珠光澤ヲ有シ、帯ハ石灰質ニシテ厚ク、外面ニ螺肋ヲ有シ、小突起密布セリ。殼高一〇〇耗内外ニ達ス。外海ニ面セル岩礁トニ棲息シ、海藻ヲ常食トナス。南日本産ナルモ北日本ニモ廣ク分布ス。美味ナリ。殼ハ細工用トナス。

第二六〇二圖



ウラウツガヒ (裏貝)

サザエ科

Astraea haematraga.

稍々傾斜セル有棘圓錐形ニシテ、螺層約七階ヲ有ス。各層ノ周縁ニハ斜ニ下向セル棘狀隆起ヲ有シ、上方ハ結節狀ニシテ顯著ナラズ。殼色ハ白色乃至淡肉色ヲ呈シ、殻底面ニ多クノ細鱗狀螺肋アリ。軸唇ノ外縁ハ紅色ヲ呈セリ。殼高三〇耗、徑二八耗内外ニ達ス。南日本ニ分布セリ。

ハリサザエ (針拳螺)

サザエ科

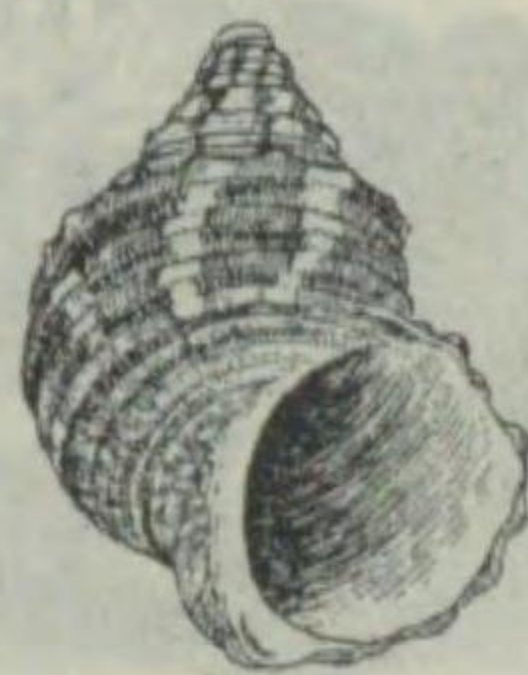
第二六〇三圖



Astraea modesta.

殼ハ略々圓錐形ヲ呈シ、螺塔ハ高クシテ尖リ、螺層ハ約六階ヲ有ス。各層ニハ短キ棘狀突起螺列シ、ソノ他小突起多シ。殼色ハ淡紫紅色ヲ呈シ、殻底ハ多クノ鱗狀螺肋ヲ有ス。殼口ハ圓ク、内面ハ眞珠光澤アリテ幅廣ク、ソノ上半ハ橙紅色ナリ。殼高ハ徑共ニ四〇耗内外ニ及ブ。南日本ニ分布セリ。

第二六〇〇圖



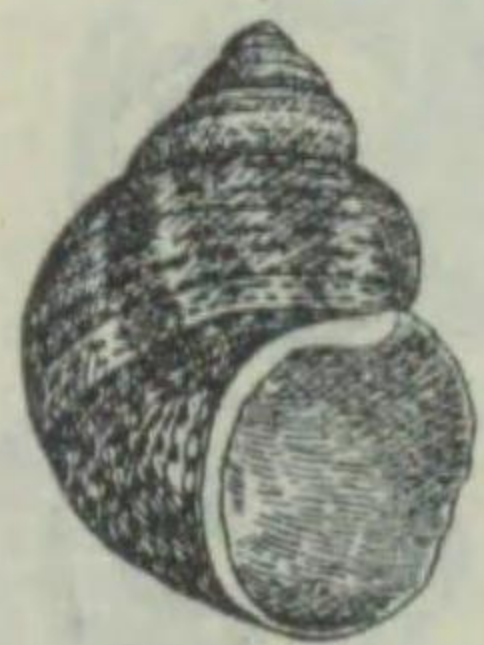
テウセンサザエ (朝鮮拳螺)

サザエ科

Turbo argyrostomus.

形さざテニ似タルモ、突起ヲ缺キ螺肋間ニ鱗狀ノ螺肋アリ。殼色ハ青色地ニ淡褐色雲狀斑ヲ有シ、更ニ濃褐色放射斑ヲ有ス。殼高七五耗、徑六〇耗内外ニ達ス。小笠原及ヒ大島ニ分布セリ。

第二六〇一圖



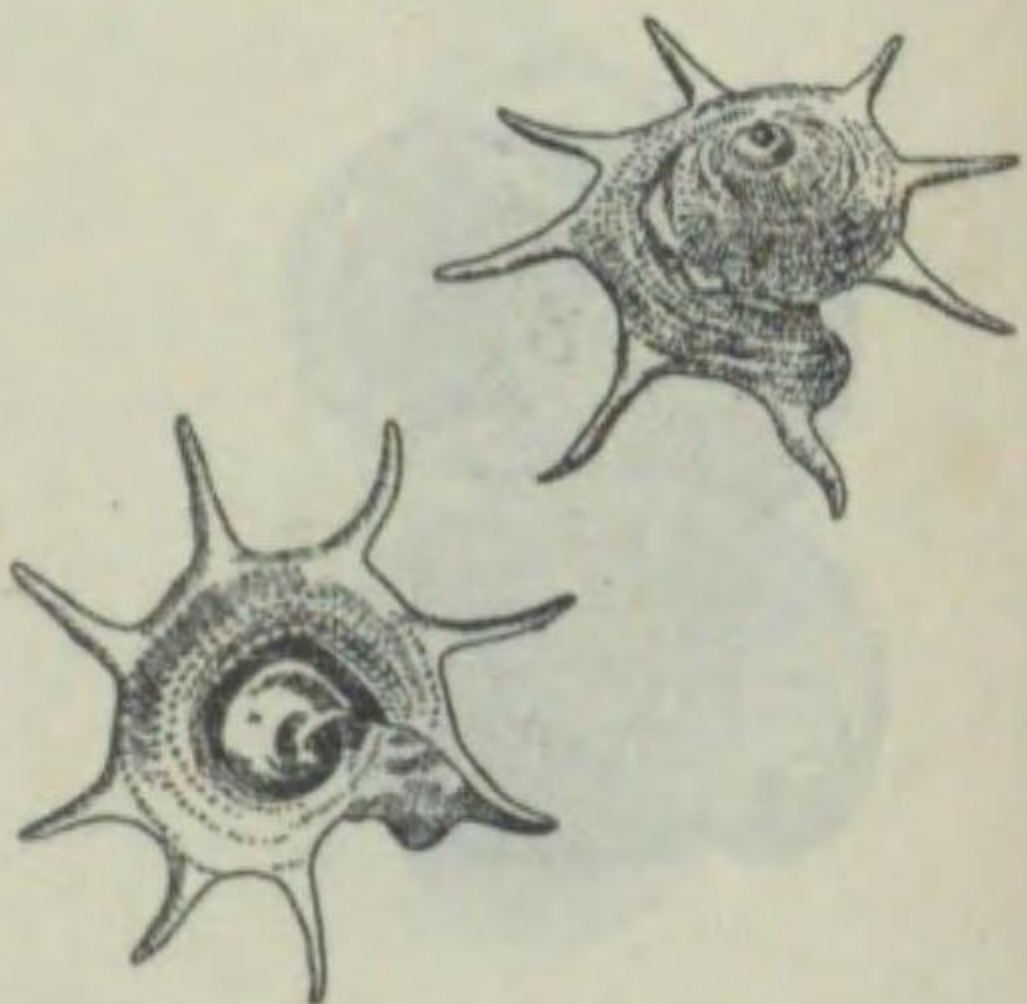
コシダカサザエ (腰高拳螺)

サザエ科

Turbo parvulus.

小形ナル種ニシテ、螺層ハ約五階ヲ有シ、各層ハ著シク膨満シ、螺肋多シ。殼色ハ種々ノ變化アルモ多クハ、黄綠色ニ褐色斑アリ。殼口ハ圓ク、内面ハ白色ナリ。殼高三五耗、徑二五耗内外。紀伊以南ニ分布セリ。

第二六〇四圖



リンパウガヒ (輪貝)

サザエ科

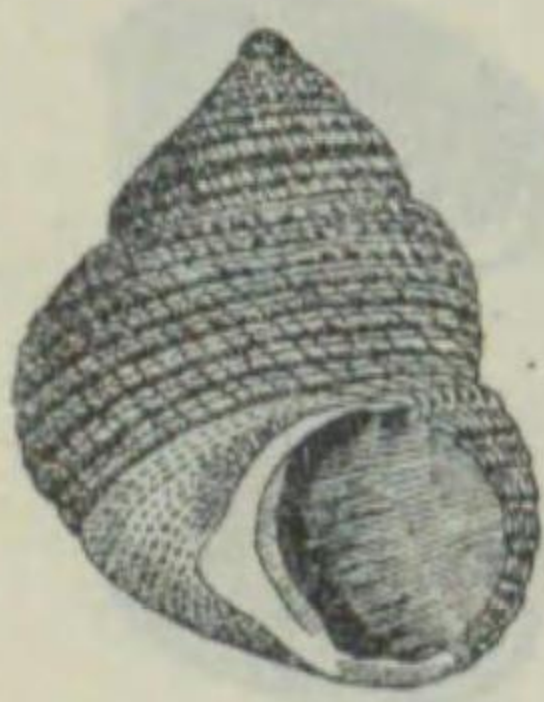
Astraea triumphans.

螺塔ハ比較的低ク、螺層ハ約六階ヲ有ス。體層ノ周縁ニハ約八本ノ長キ管狀棘車輪狀ニ排列セリ。殼表ニハ顆粒多ク、殼色ハ紫褐色ニシテ、金屬光澤ヲ有ス。殻底ハ平坦ニシテ、軸唇ハ帶褐色ヲ呈シ光澤アリ。殼高一五耗、徑四〇耗内外ニ達ス。本邦ノ特産ニシテ、紀伊以南ニ分布セリ。

エソサンセウガヒ (蝦夷山椒貝)

サザエ科

第二六〇五圖



Leptothyra amussitata.

螺塔ハ高ク、螺層約五階ヲ數フ。各層ハ膨満シ、縦脈ニヨリテ横斷セラレタル多クノ螺肋ヲ有ス。殼色ハ深紅色ヲ呈セリ。殼高一五耗、徑一〇耗内外ニ達ス。本邦特産ノ種類ニシテ、北日本ニ分布セリ。

第二六〇六圖



Collonista pilula.

サンプセウスガヒ (山椒酢貝) サザエ科  
えぞさんせうがひニ酷似セルモ小形ニシテ、殻質堅ク、螺塔ハ比較的高ク、殻頂部ハ殆ド平ナリ。殻表ニハ多クノ螺脈ヲ有シ、白色地ニ濃淡種々ナル黒褐色ノ雲形斑ヲ有ス。殻高ハ徑共ニ六耗内外ニ過ギズ。南日本ニ分布セリ。

サササバヒ (更紗貝) サザエ科

第二六〇七圖



Phasianella modesta.

螺塔ハ高ク、螺層ハ約五階ヲ有セリ。各層ハ膨レ紅褐色ノ濃淡細條交叉シ、之ニ濃緑褐色ノ螺線ヲ有シ、光澤強ク美麗ナリ。殻口ハ卵形ヲ呈ス。殻高一五耗、徑七耗内外ナリ。九州以南大島等ニ分布セリ。

第二六〇八圖

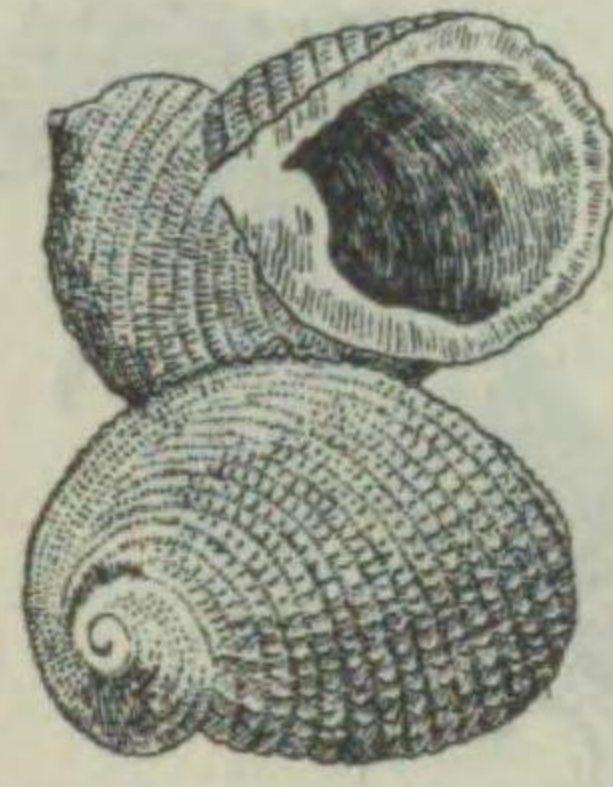


Phenacolepas pulchellus.

ミヤコドリ (都鳥) ミヤコドリ科  
殻ハ底平ニシテ、殻質堅固ナラズ。殻頂ハ後縁近クニ位置シ、鋭尖ニシテ、先端稍々曲リ、螺層ヲ認メズ。殻表ニハ多クノ微細ナル放射肋ヲ現ハス。殻色ハ淡褐色ヲ呈シ時トシテ黒色ノ汚物ヲ被レリ。殻口ハ大キク、橢圓形ニシテ、内面ハ淡褐色ヲ呈シ、稍々光澤ヲ有ス。殻高四耗、長一〇耗内外ナリ。

アマガヒモドキ (擬蛭貝) アマガヒモドキ科

第二六〇九圖



Neritopsis radula.

アマガヒモドキ科  
殻ハ稍々球形ヲ呈シ、殻質ハ堅硬ニシテ厚ク、螺層ハ約四、五階ヲ數フ。多クノ螺肋ハ縦肋ニヨリテ横切ラレ、爲メニ殻表ハ極メテ粗糙ナリ。殻色ハ白色ヲ呈シ、殻口ハ半圓形ニシテ大形ナリ。殻高三〇耗、徑三三耗内外ニ達ス。本屬ハ古代ニ繁榮シタルモノナルモ現存種トシテハ本種ノミナリ。琉球及ヒ臺灣ニ分布シ、岩礁ニ棲息ス。

第二六〇圖



Neritina violacea.

ヒロクチカノコガヒ (廣口鹿子貝) アマガヒ科  
半球形ヲ呈シ、殻質ハ厚ク、螺塔ハ著シク退化セリ。殻表ハ淡褐色ニシテ、黒褐色ノ細網狀斑ヲ有ス。殻口ハ半圓形ニシテ、内面ハ淡青色ヲ呈セリ。殻長ハ一〇耗内外ニ達ス。四國ノ河口岩礁附近ニ棲息セリ。

シマカノコガヒ (縞鹿子貝) アマガヒ科

Neritina turrita cumingiana.

シマカノコガヒ (縞鹿子貝) アマガヒ科  
ひろくちかのこがひニ似タル半球形ヲ呈シ、各層共膨滿シ、殻頂ハ多ク侵蝕セラル。殻色ハ黄白色地ニ黒色縱條多ク、美麗ナリ。殻口ハ半圓形ヲ呈ス。殻長二〇耗内外ナリ。九州以南ノ河口ニ棲息ス。

第二六一二圖



Septaria janelli.

フネアマガヒ (舟蛭貝) アマガヒ科  
殻口頗ル大形ニシテ、螺塔退化セルヲ以テ、恰モ皿ノ如キ觀ヲ呈セリ。殻色ハ黄褐色ニシテ、黒褐色ノ網狀斑ヲ有シ、粗糙ナリ。殻口ノ内面ハ藍色ヲ呈ス。殻長二五耗内外ナリ。九州及ヒ大島等ノ河口附近ニ棲息ス。

カノコガヒ (鹿子貝) アマガヒ科

Theodoxus sowarbynus.

カノコガヒ (鹿子貝) アマガヒ科  
小形ナル種數ニシテ、螺塔ハ退化シ、殻頂ハ多クハ侵蝕セラル。殻色ハ變化多ク、黒褐色ニ緑色斑、或ハ淡褐色ニ黒褐色帶等ヲ現ハセリ。殻口ハ半圓形ニシテ、内面ハ藍色ヲ呈セリ。殻長一三耗内外ニ達ス。南日本ノ淡水中ニ見出サル。

第二六一三圖



第二六一四圖



Nerita albicilla.

アマヲブネ (蚤小舟) アマガヒ科  
あまがひニ似タルモ、螺塔全ク平坦ニシテ、體層ハ大キク、螺肋ハ明瞭ナリ。殼色ハ種々多様ナルモ、概シ橙紅色ニ褐色ノ三螺帶ヲ有セルカ、或ハ淡褐色ニ黒褐色及ビ白色ノ縞ノ三螺帶ヲ有ス。殼口ハ半圓形ヲ呈セリ。殼長三〇耗内外ニ達ス。紀伊以南ニ分布セリ。

第二六一五圖



Nerita japonica.

アマガヒ (蚤貝) アマガヒ科  
殼ハ略々球形ヲ呈シ、螺塔ハ殆ド退化セリ。體層ハ頗ル膨滿シ、殼色ニハ種々アルモ、多クハ黒色地ニ白斑ヲ有セルカ、又ハ淡褐色地ニ三黒色帯及ビ白色小斑ヲ散布セリ。殼口ハ半圓形ヲ呈ス。殼長一五耗内外ナリ。各地ニ廣ク分布シ汽水ノ岩礁上ニ見出サル。

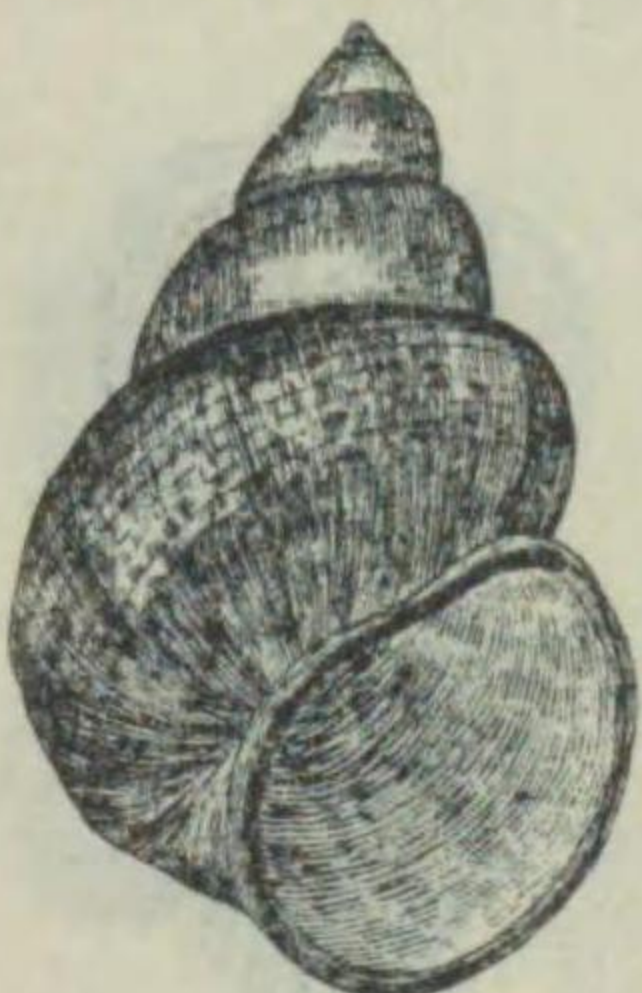
第二六一六圖



Viviparus malleatus.

マルタニシ (丸田螺) タニシ科  
(異名) タニシ  
螺層ハ約六階ヲ有シ、各層トモ膨滿シ、縫合ハ顯著ナリ。殼色ハ帶緑褐色ニシテ暗色縦線ヲ有シ、體層ニ三條ノ細點螺刻アリ。殼口ハ短橢圓形ヲ呈シ、内面ハ青白色ナリ。殼高四〇耗、徑三〇耗内外ニ達ス。胎生。各地ノ池沼、溝渠、水田等ニ普通ニ棲息セリ。肉ハ食用ニ供セラレ。

第二六一七圖



Viviparus japonicus.

オホタニシ (大田螺) タニシ科  
まるたにしヨリ大形ニシテ、螺層ハ約七階ヲ數フ。殼表ニハ細目狀ノ細刻ヲ有シ、殼色ハ淡黄綠色ニ黒色縦斑ヲ現ハセリ。殼高六五耗徑四五耗内外ニ達ス。南日本ニ分布セリ。

第二六一八圖



Viviparus turris.

ナガタニシ (長田螺) タニシ科  
全體稍々細長キたにしニシテ、螺層ハ約七階ヲ有ス。殼頂ニ近キ二乃至三層ハ侵蝕セラル。殼表ニハ弱キ龍骨ヲ有シ、微細ナル網目狀刻ヲ有ス。殼色ハ帶緑灰色ヲ呈シ、殼口ハ卵形ナリ。殼高五〇耗、徑三〇耗内外ニ達ス。琵琶湖特産ノモノナリ。

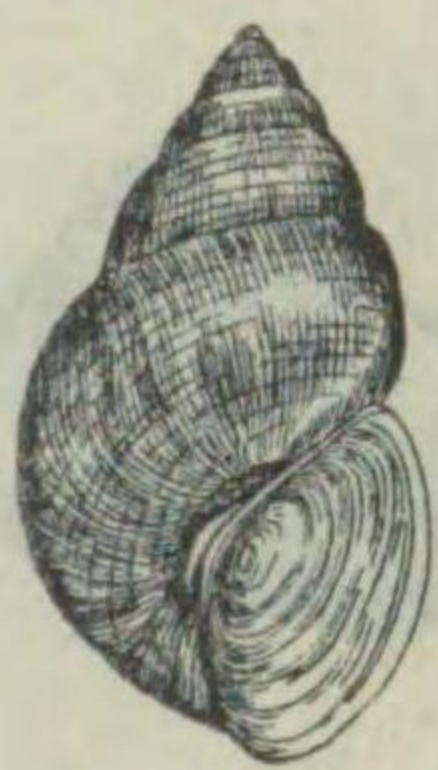
第二六一九圖



Viviparus japonicus iwakawa.

カクタニシ (角田螺) タニシ科  
まるたにしニ似タルモ、螺層ハ約七階ヲ有ス。各螺層ノ周緣ノ腹ラミ顯著ナラズ。螺塔ハ正圓錐形ヲ呈セリ。成長セルモノ、各螺層ニ二乃至三條ノ龍骨アリ。殼色ハ帶緑灰色ヲ呈シ、暗黒ノ強キ縱肋ヲ有シ、波狀ヲ呈セリ。殼口ハ稍々卵形ヲ呈ス。殼高四五耗、徑三〇耗内外ナリ。東北地方ノ池沼ニ普通ニ見出サル。

第二六二〇圖



Viviparus histricus.

ヒメタニシ (飯田螺) タニシ科  
螺層ハ約六階ヲ數ヘ、殼頂ニ近キ二乃至三層ハ侵蝕セラル。各層ハ膨レ、不明ナル二乃至三條ノ龍骨アリ。殼色ハ帶緑褐色ヲ呈シ、暗色縦斑アリ。殼口ハ卵形ヲ呈シ、内面ハ褐色ナリ。殼高三〇耗、徑二五耗内外ニ達ス。九州地方ノ池沼中ニ見出サル。

第二六二一圖



Diplommatina callarifera.

イブキゴマガヒ (伊吹胡麻貝) ゴマガヒ科  
殼ハ小形ニシテ右旋シ、螺層ハ七階ヨリナリ。各螺層ハ腹レ、縫合ハ顯著ナリ。緊線ハ殼口ノ上ニ垂直ニ存在ス。殼表ニハ粗ナル縱肋ヲ有シ、紅色ヲ帯ビタル鉛色ヲ呈ス、但シ殼頂ニ近キ層ハ紅色ナリ。殼高四耗、徑二耗内外ニ達ス。殼口ハ橢圓形ヲナセリ。近畿地方ニ普通ニ見出サル。

第二六二二圖



*Pseudopomatias eos.*

殻ハきせるがひニ似タルモ右旋シ、螺層ハ高ク、螺層ハ凡七階ヲ有シ、各螺層ハ膜レ、縫合顯著ナリ。殻表ニハ細キ縦脈ヲ有シ、淡褐色或ハ淡灰色ヲ呈セリ。殻高七耗、徑二耗内外ナリ。殻口ハ圓ク、口縁ハ白色ニシテ外方ニ反曲セリ。臺灣ノノミ産ス。

ヲカイトカケガヒ (陸絲掛貝)

ヤマタニシ科

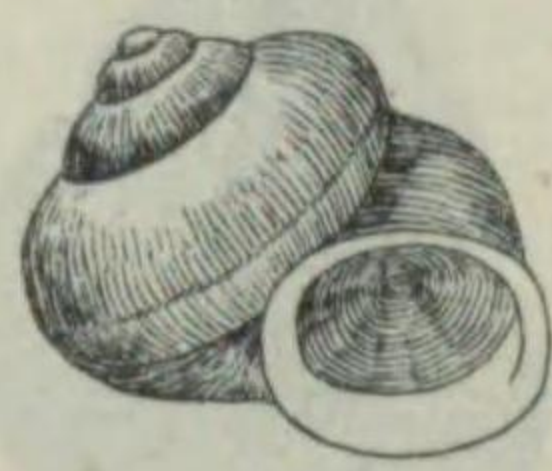
第二六二三圖



*Pupinella rufa.*

アツキガヒ (小豆貝) ヤマタニシ科  
殻ハ稍長キ桶形ヲ呈ス。殼質ハ堅ク、殻頂ハ鈍ク尖レリ。螺層ハ急ニソノ大サヲ増シ六・五階ニシテ、僅ニ膜レ、ソノ表面ニハ微細ナル縦肋ヲ有シ、縫合線ハ淺クシテ明瞭ナリ。殻色ハあづき色ヲナシ、稍光澤ヲ有ス。殻口ハ略圓形ヲナシ、白色ニシテ、口縁ハ厚ク、外部ニ反曲シ、ソノ前後ニハ幅廣ク、深キ鑿孔ノ如キ切レ込ミヲ有ス。唇ハ角質ニシテ、臍孔ヲ閉ヅ。殻長一耗、徑五耗内外ナリ。山中樹下、石下等ニ棲ム。中國、四國九州、及ビ朝鮮等ニ産ス。

第二六二四圖



*Cyclophorus herklotsi.*

ヤマタニシ (山田螺) ヤマタニシ科  
殻ハ右旋シ、螺層ハ四・五階ニシテ急激ニ増大シ、甚シク膜レ、縫合線ハ深シ。殻表ニハ褐色ノ殼皮ヲ被リ、多クノ縦脈ヲ有セルモ、殻頂ニハ殼皮ヲ缺キ、赤褐色ヲ呈ス。體層ハ大キク、ソノ周縁ハ圓ク、口縁ハ稍々外部ニ反曲セリ。唇ハ角質ニシテ圓ク、中央窪メリ。殻高及徑共ニ一七耗内外ナリ。山間、村落ノ落葉土壤中ニ埋棲ス。本邦各地ニ廣ク分布セリ。

第二六二六圖



*Spirostoma japonicum.*

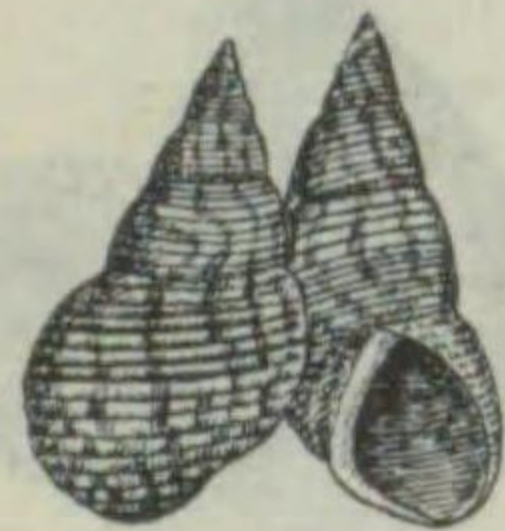
ヤマヒラマキ (山平巻) ヤマタニシ科  
殻ハ扁平ニシテ右旋シ、螺層ハ低ク、螺層ハ四・五階ニシテ膜ミ、縫合ハ顯著ナリ。殻表ハ淡黄褐色ニシテ光澤強ク、微細ナル縦肋ヲ有ス。殻高五耗、徑一二耗内外ナリ。殻口ハ圓ク、口縁ハ弱キ二重縁ヲナセリ。南日本ノ山地、樹陰等ニ見出サル。

ヤマヒラマキ (山平巻) ヤマタニシ科

エゾタマキビ (蝦夷玉黍) タマキビ科

*Littorina aquarida.*  
拳螺狀ヲ呈シ、螺塔ハ圓錐形ニシテ、螺層ハ約四・五階ヲ有ス。體層ハ膨滿シ、細キ螺脈多ク、殻色ハ灰白色ヲ呈セリ。殻口ハ略々圓形ニシテ口縁ハ白色ヲナシ、褐色斑ヲ有ス。殻高三〇耗、徑一七耗内外ナリ。北海道以北ニ棲息セリ。

第二六二九圖



*Melarhappe intermedia.*

タマキビ科  
螺塔ハ高ク、螺層ハ約七階ナリ。各層膨滿シ、波狀螺脈多シ。殻色ハ赤褐色ニシテ、黒褐色ノ電光形縦條斑アリ。殻高二五耗、徑一〇耗内外。琉球及ビ臺灣ノ特産ナリ。

第二六二八圖



*Littorivaga brevicula.*

タマキビ (玉黍) タマキビ科  
略々球形ヲ呈シ、螺塔ハ圓錐形ニシテ、螺層ハ四・五階アリ。各層ニ一列、體層ニ顯著ナル數列ノ螺肋アリ。殻色ハ淡褐色乃至暗灰色ニシテ、螺肋ハ白色及ビ濃紫褐色ノ縞ヲナセリ。殻高一五耗、徑一二耗内外ニ達ス。殻口ハ略々圓形ヲナシ、内面ハ紫褐色ナリ。各地ノ海岸ニ廣ク分布セリ。

タマキビ (玉黍) タマキビ科

ヒメウツラタマキビ (姫鶴玉黍) タマキビ科

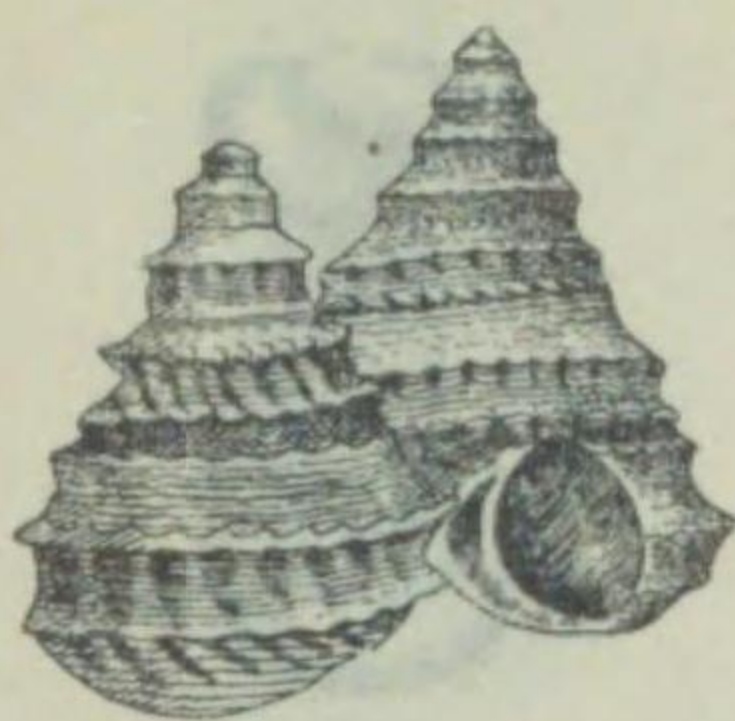
第 二六三〇 圖



**イホタマキビ (疣玉黍) タマキビ科**  
 螺塔ハ圓錐形ヲ呈シ、小サク、螺層ハ約七階アリ。各層ニ一列、體層ニ二列ノ小結節狀螺肋ヲ有シ、又肋間ニ螺脈アリテ疣狀ヲ呈ス。殼高一二耗、徑七耗内外。殼口ハ卵形ヲ呈シ、内面ハ褐色ヲナス。琉球及ビ大島ニ分布セリ。

コンベイタウガヒ (金米糖貝) タマキビ科

第 二六三一 圖



**Nina cumingi luchuana.**  
 螺塔ハ圓錐形ヲナシ、螺層約六階ヲ有ス。殼表ニハ小棘狀ノ結節ヨリナル螺肋ヲ有ス。殼色ハ淡紅褐色ナリ。殼高一五耗、徑一〇耗内外。殼口ハ圓形ヲ呈シ、ソノ内面ハ橙黄色ナリ。琉球及ビ大島等ニ分布ス。

タマキビ科

第 二六三四 圖

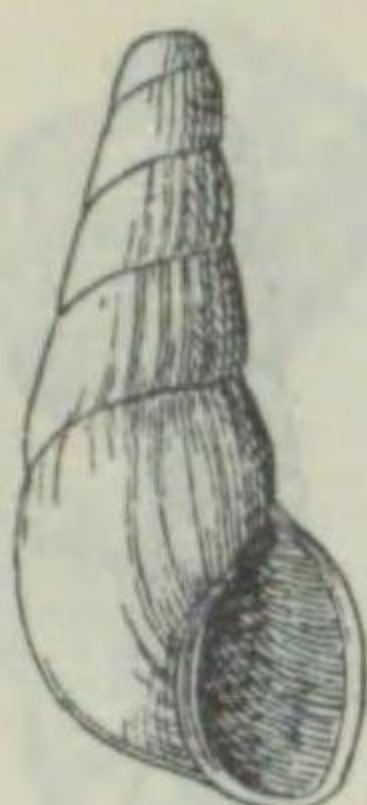


**Syncera japonica.**  
 螺塔ハ圓錐形ヲ呈シ、螺層ハ四階アリテ右旋ス。體層ハ大形ニシテ脈レ、縫合ハ顯著ニシテ、殼表ニハ緑黒色又ハ黒褐色ノ殼皮ヲ被レリ。殼高八耗、徑五耗内外ニシテ、殼口ハ卵形ヲ呈ス。北海道以南四國ニ互リテ分布シ、鹹水ノ入ル淺キ池沼ニ棲息ス。

カハサンセウガヒ (川山椒貝) カハサンセウガヒ科

クビキレガヒ (首切貝) クビキレガヒ科

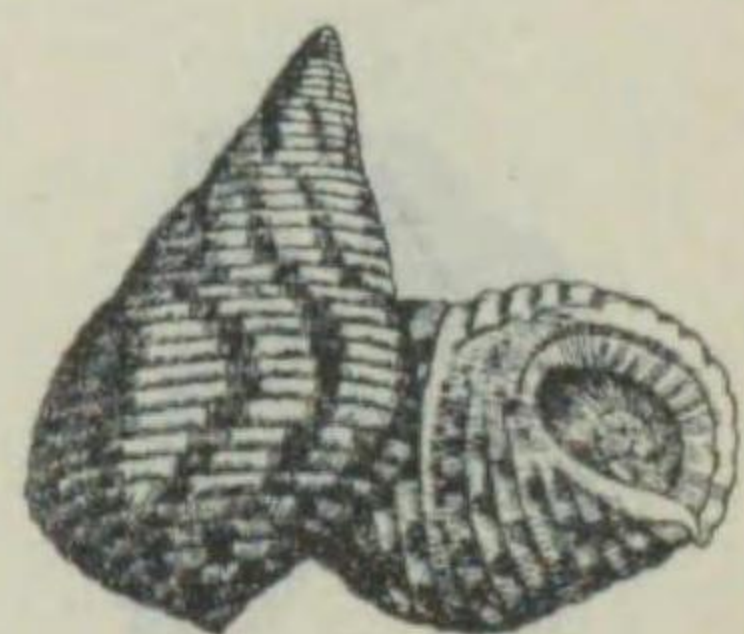
第 二六三五 圖



**Truncatella valida.**  
 幼貝ハ圓錐形ヲ呈セルモ、老成セルモノニ於テハ略々圓柱形ヲナセリ。殼頂ノ數層ハ侵蝕セラレ、各層トモニ稍々膨滿シ、之レニ顯著ナル縱肋ヲ有ス。殼色ハ淡黄色乃至赤褐色ヲナセリ。殼高九耗、徑三耗内外ニ達ス。殼口ハ稍々卵形ニシテ、内面ハ白色ヲナセリ。琉球、臺灣等ニ棲息ス。

クビキレガヒ科

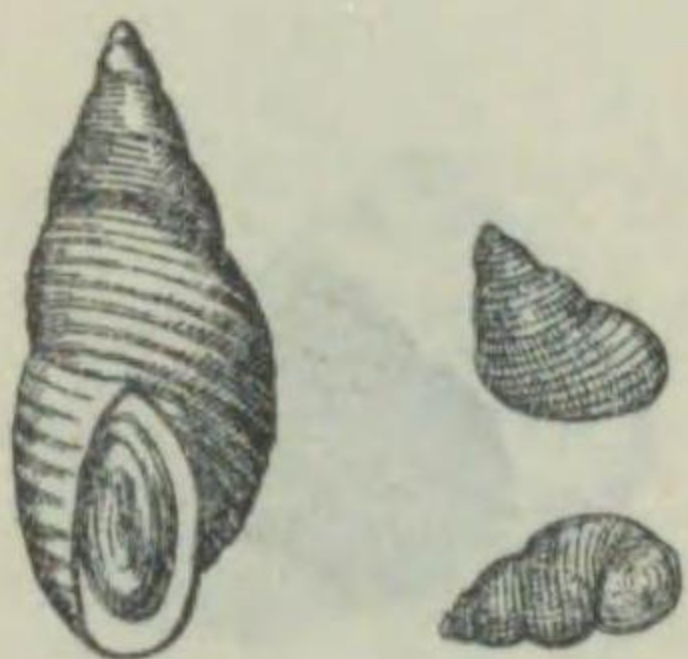
第 二六三二 圖



**Planaxis sulcatus.**  
 螺塔ハ高キ圓錐形ヲ呈シ、螺層ハ約四・五階ナリ。幅廣キ螺層ヲ有ス、殼色ハ白ク黒褐色縦斑アリ。殼高二五耗、徑一二耗内外。紀伊以南ノ海岸ノ岩礁間ニ分布ス。

ゴマフニナ (胡麻賦蝨) ゴマフニナ科

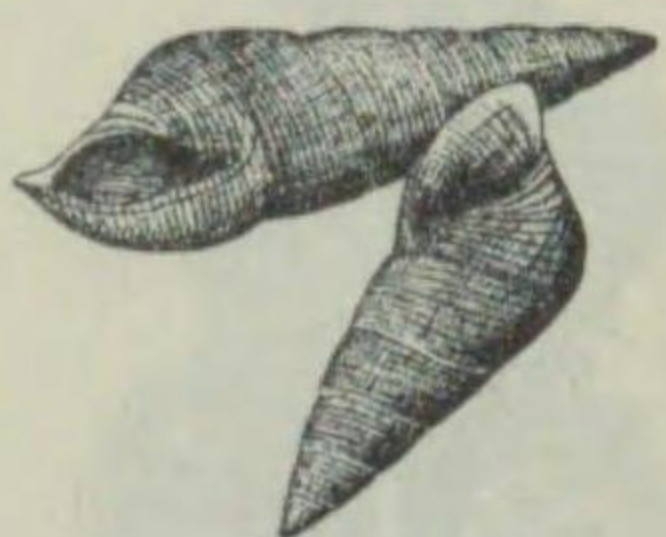
第 二六三三 圖



**Bulinus striatulus japonicus.**  
 螺塔ハ稍々高ク、螺層ハ約五階ヲ有ス。殼頂ハ侵蝕セラレ、殼表ニ不明ナル螺脈アリ、黄色乃至淡褐色ノ殼皮ヲ被ル。殼高一〇耗、徑六耗内外ニ達ス。東北ヨリ九州ノ溝渠ニ分布ス。肝臟「ヂストマ」ノ中間寄主トシテ知ラル。

マメタニシ (豆田螺) マメタニシ科

第 二六三六 圖



**Thiara libertina.**  
 螺塔ハ高ク、圓錐形ナルモ、殼頂ハ侵蝕セラレ、各螺層ハ稍々脈レ細キ格子狀ノ彫刻ヲ有ス。殼表ニハ黒褐色ノ殼皮ヲ被レシ。殼高二〇耗、徑一〇耗内外ナリ。殼口ハ長卵形ヲ呈シ、内面ハ淡紫色ナリ。各地ノ河湖ニ廣ク分布シ、時ニ食用ニ供セラレ。肺臟「ヂストマ」及ビ横川「メタゴニムス」ノ第一中間宿主トシテ著名ナリ。

カハニナ (河蝨) カハニナ科

ヌノメカハニナ (布目河蝨) カハニナ科

第 二六三七 圖



**Thiara tuberculata.**  
 螺塔ハ高ク右旋ニシテ、螺層ハ八乃至九階ヨリナル。殼表ハ赤褐色ニシテ細キ布目狀彫刻ヲ有ス。殼高三五耗、徑一一耗内外ナリ。殼口ハ卵形ニシテ、外唇ハ薄ク、白色ナリ。河川、湖沼ニ見出サレ、琉球等ノ暖地ニ分布ス。

カハニナ科

第二六四三圖



*Modulus tectum.*

螺塔ハ低ク、螺頂ハ螺層中ニ埋没シ、約三・五階ノ螺層ヲ有ス。殻表ハ帶黄灰色ヲ呈シ、數多ノ結節狀螺脈ヲ有セリ。殻高二五耗、徑二七耗内外ニ達ス。殻口ハ半圓形ヲナシ彎曲シ、内面ハ白色ニシテ光澤強シ。琉球、臺灣ニ分布ス。

第二六四二圖



*Tympanotomus cingulatus.*

カハアヒ (川合) オニツノガヒ科  
螺層ハ約一階ニシテ、各層トモニ顆粒多ク、縫合ノ直下ニハ太キ多クノ螺肋ヲ有ス。殻色ハ汚褐色ヲ呈シ、白帯ヲ有セルモノモアリ。殻高三〇耗、徑一〇耗内外ニ達ス。殻口ハ長卵形ニシテ、内面ニハ赤褐色斑ヲ有ス。南日本ニ分布セリ。

カタベダマシ (偽片部貝)

カタベダマシ科

第二六三九圖



*Cerithium nodulosa.*

オニツノガヒ (鬼角貝)  
オニツノガヒ科  
螺塔ハ高ク、螺層ハ約一二階ヲ有ス。殻表ハ汚白色ヲ呈シ、粗粒ニシテ、各層ニハ一列ノ結節狀螺肋アリ、他ニ多クノ螺脈ヲ有シ、殻底ノモノハ小結節狀ヲナセリ。殻高一二〇耗、徑四七耗内外ニ達ス。殻口ハ卵形ニシテ、内面ハ白色ナリ。前後溝ハ延ビ、外唇ハ厚ク、數多ノ小皺ヲ有ス。琉球、臺灣ニ分布セリ。

第二六三八圖



*Clava kachi.*

カニモリガヒ (蟹守貝)  
オニツノガヒ科  
螺塔高ク、螺層ハ一三—一四階ニ及ビ、各層ニハ小顆粒螺列シ、螺脈ハ縦ニ不規則ニ並ブ。螺色ハ紫褐色ニシテ、縫合ノ直下ニ白色螺條アリ。殻高三〇耗、徑一〇耗内外ナリ。殻口ハ白色ニシテ卵形ヲ呈シ、前溝ハ右曲セリ。南日本ニ分布ス。

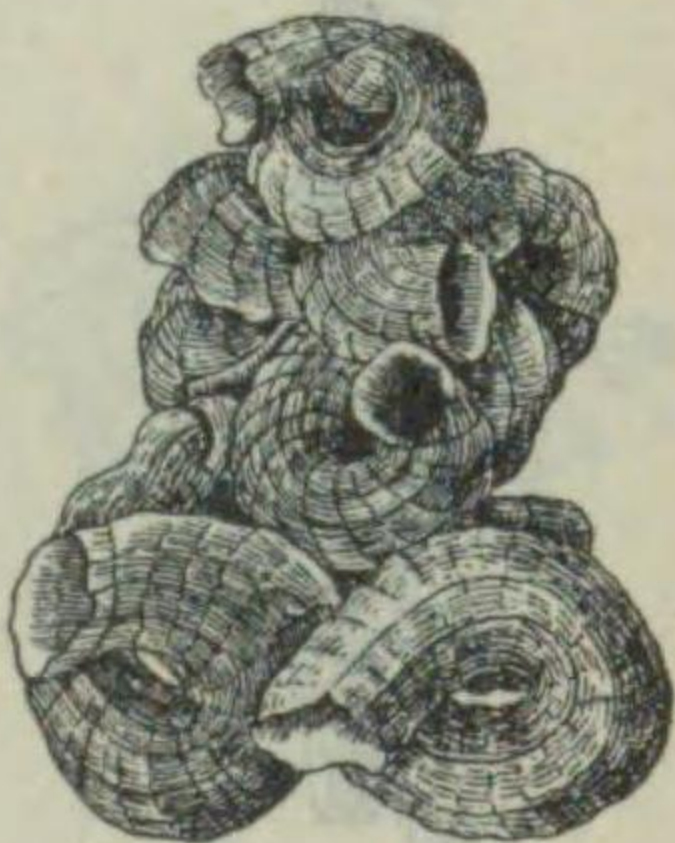
第二六四五圖



*Siliquaria cumingi.*

カタベダマシ科  
おほへびがいニ似テ管狀ヲ呈セルモ、彼ヨリ小形ニシテみみず狀ヲ呈セリ。螺層ハ約一二階ヨリナリ。殻口ハ圓形ヲナセルモ稍々長シ。殻表ハ灰白色乃至淡褐色ヲ呈シ、細キ縦脈ヲ有セリ。南日本ニ分布ス。

第二六四四圖



*Thylacodes imbricatus.*

オホヘビガヒ (大蛇貝) ムカデガヒ科  
殻ハ管狀ヲ呈シ、蛇狀ニ蟠回シ、固着生活ヲナス。殻表ハ黄灰色ニシテ、多クノ縦脈ヲ有セリ。殻口ハ圓形ヲ呈シ、徑ハ一耗内外ナリ。各地ノ海岸ニ普通ニ見出サル、種類ナリ。

ミミズガヒ (蚯蚓蛸) ムカデガヒ科

第二六四一圖



*Colina macrostoma.*

エビガヒ (蝦貝) オニツノガヒ科  
螺塔ハ高ク、螺層ハ約八階ヲ數フ。各層ハ稍々腹レ、縫合ハ明瞭ニシテ螺肋ニヨリテ横切ラレ、顆粒縱肋アリ。體層ハ細シ。殻色ハ淡褐色又ハ白色ナリ。殻高一五耗、徑三耗内外ニ過ギズ。殻口ハ卵形ナリ。九州以南ニ見出サル。

第二六四〇圖



*Cerithium concisum humile.*

カヤノミカニモリ (樺實蟹守)  
オニツノガヒ科  
かにもりがひヲ短縮セシメタルガ如キ形ヲナシ、螺層ハ七階ヲ有ス。各層ニハ三列、體層ニハ五乃至六列ノ顆粒帶アリテ、螺色ハ帶緑黑色ナリ。殻高二〇耗、徑一〇耗内外。殻口ハ長卵形ヲ呈シ、口縁ハ白色ヲナシ、内面ハ暗色ナリ。南日本ニ見出サル。

第二六五一圖



Xenophora pallidula. 殻ハ廣キ圓錐形ヲ呈シ、螺層ハ七乃至八階ニシテ、縫合部及ヒ周縁部ニ他ノ介殼片或ハ礫ヲ膠着シ、偽態ヲナセリ。殻高ハ四〇耗、徑六〇耗内外ニ達ス。殻底ニハ多數ノ細キ螺脈ヲ有シ、布目狀彫刻アリ。殼色ハ黄褐色ニシテ、白色ノ滑層ヲ有ス。南日本産ニシテ、海底ヲ匍匐セリ、又時ニ跳躍的行動ヲナスト云ハル。

第二六五〇圖



Xenophora exuta. 殻ヲ附着セズ、殼表ニハ細微ニシテ、美麗ナル彫刻ヲ有シ、黄褐色ナリ。體層ハ頗ル擴ガリ、底面ヲ過ギテ擴張セリ。殻底ノ中央ニハ深キ臍孔ヲ有ス。南日本ニ分布セリ。

クマサカガヒ (熊坂貝)

クマサカガヒ科

キヌガサガヒ (絹笠貝)

クマサカガヒ科

第二六五三圖



Ergaea walshi. 殻ハ扁平ニシテ、一見層ノ如キ觀ヲ呈ス。螺塔ハ不明ニシテ、殼頂ハ一方ニ偏シ殼表ニハ同心圓的輪脈ヲ有シ、黄褐色ノ殼皮ヲ被レリ。殻長三五耗、幅二五耗内外ナリ。殻ノ内面ハ殼頂ヨリ前方ニ擴張セル隔壁ヲ有シ、白色ニシテ、光澤強シ。南日本ニ分布ス。多クハ他ノ大型ナル貝類ニ着生セルモノナリ。

ヒラフネガヒ (平舟貝)

ヒラフネガヒ科

第二六五二圖



Amathina tricarinata. 殻ハ皿狀ヲナシテ細長ク、殼頂ハ後方ニテ螺旋シ、約三條ノ放射肋ヲ有シ、殼表ニハ粗毛ナク、光澤アル黄褐色ノ殼皮ヲ被レリ。殻高一〇耗、徑二三耗内外ナリ。殻口ノ内面ハ白色ヲ呈ス。南日本ニ分布セリ。

イソチドリ (磯千鳥)

スズメガヒ科

第二六四七圖

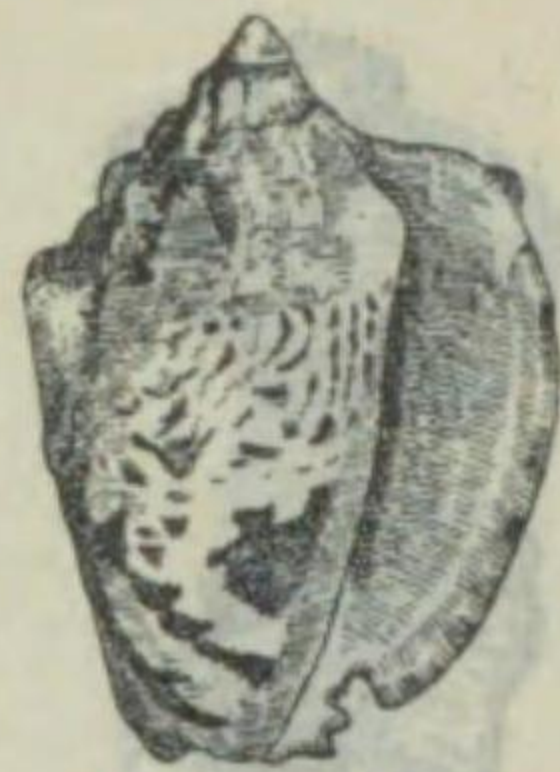


Lambis lambis. 螺塔ハ圓錐形ヲ呈セルモ、外層ノ袖ハ半被ハレ、螺層ハ七階ヲ有セリ。螺肋ハ下層ニ於テ結節狀ヲナシ、體層ノモノハ二列ニシテ大キク、螺脈ヲモ有セリ。外層縁ハ長キ五條ノ管狀突起ヲ有シ、前後兩溝亦延長セリ。殼色ハ多クハ灰白色地ニ黄褐色斑ヲ現ハセリ。殻高一七〇耗、徑一一〇耗内外ニ達ス。殻口ハ弦月形ニシテ、内層ノ滑層ハ頗ル廣シ。琉球、臺灣等ニ分布シ、盛花用又ハ花釣瓶等ニ供セラレ。

クモガヒ (蜘蛛貝) スイヤウガヒ科

クモガヒ科

第二六四六圖



Strombus lentiginosus. 螺塔ハ圓錐形ニシテ、螺層ハ約七階ヲ有セリ。各層ニ一列ノ小結節ヲ有セルモ、體層ニテハ周縁部ニ大結節ノ一列アリ、ソノ下ニ三列ノ小結節ヲ有セリ。殼色ハ帶黄灰色地ニ褐色斑ヲ現ハセリ。殻高七五耗、徑四五耗内外ニ達ス。殻口ハ狹長ニシテ、淡肉紅色ヲ呈シ外層ハ厚ク、ソノ上下ニ凹所アリ。大島、琉球、臺灣等ニ分布ス。

イボンテガヒ (疣袖)

スイヤウガヒ科

第二六四九圖



Terebellum terebellum. 殻ハ銃形ニシテ、螺層ハ三階ノミナリ。體層ハ長大ニシテ、稍々膨レ、殼表ハ白色地ニ黄褐色ノ小斑密布シ、褐色ノ不規則斑散在シ滑澤ナリ。殻高六〇耗、徑一三耗内外ニ達ス。殻口ハ狹長ニシテ、三角形ヲナセリ。南日本ニ廣ク分布ス。

トンボガヒ (蜻蛉貝)

スイヤウガヒ科

第二六四八圖



Lambis chioga. 螺層ハ七階ニシテ、螺塔ハ圓錐形ヲ呈シ、外層ノ袖ニ半被ハレ、各層縫合ノ直上ニハ多少結節狀ノ螺肋ヲ有シ、體層上ニハ大結節ノ四列ヲ有セリ。殼表ニハソノ他、螺肋、螺脈多ク、色ハ帶黄灰色ニシテ、濃褐色斑散在シ、管狀突起ハ六本ニシテ、上方ノモノ、他ハ角狀ヲ呈シ、上方ニ彎曲セリ。殻高(突起共)二五〇耗、徑一五〇耗内外ニ達ス。層部ハ肉紅色ヲ呈シ内面ニハ多クノ白色ノ細環アリ。琉球、臺灣、大島等ニ分布ス。

スキジガヒ (水字貝)

スイヤウガヒ科

アハフネ (泡舟) ヒラフネガヒ科  
(真色) ラムスガヒ



第二六五四 圖

*Crepidula aculeata*

ひらふねがひニ似、扁平ニシテ殼頂ハ個在シ、殼表ニハ螺脈ニ横切ラレタル縱肋、細刺ヲ有シ、灰紫色乃至灰褐色ナリ。殼長二三耗、幅一八耗内外ニ達ス。殼ノ内面隔壁ハ白色水平ニシテ廣ク、スリツバニ狀ヲ呈シ、他ノ部ハ肉色ヲナセリ。各地ニ普通ニ見出サレ、性ノ移植ノ好實驗材料トシテ知ラル。

ツメタガヒ (津免多貝) タマガヒ科

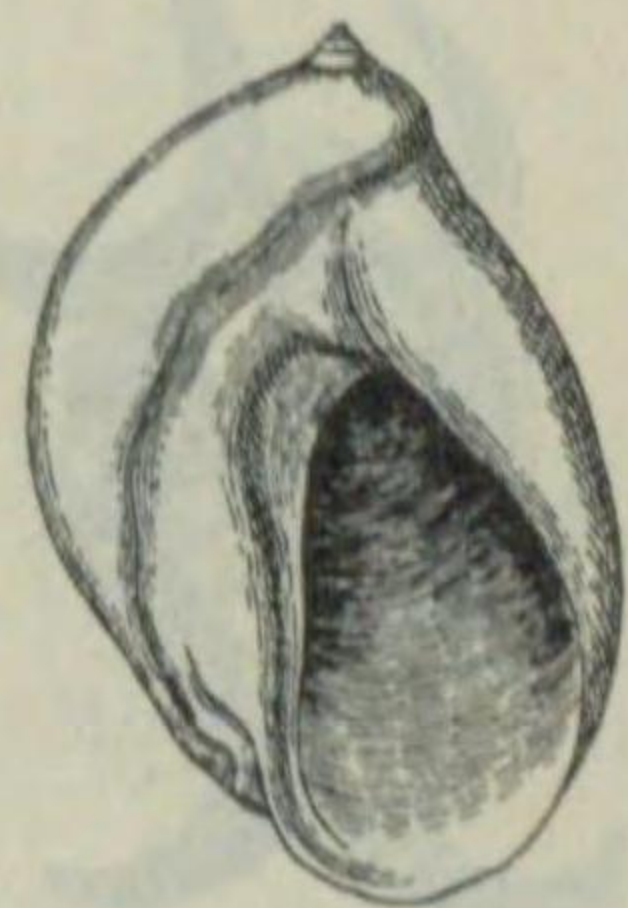


第二六五五 圖

*Natica maculosa*

大形ナル種類ニシテ、螺塔ハ低平ナリ。螺層ハ約五階ヲ有シ、體層ハ頗ル大形ニシテ膨滿セリ。殼表ニハ細キ多クノ縱脈ヲ有シ、淡褐色或ハ淡黄褐色ニシテ、時ニ結合下ニ不明ナル褐色螺帶ヲ有ス。殼高五〇耗、徑六八耗内外ニ達ス。殼口ハ半圓形ニシテ頗ル廣ク、内面ハ淡肉色ヲ呈シ、内唇ノ滑層ハ胸孔ヲ被ヘリ。各地ニ廣ク分布シ、足ニテ二枚貝ヲ窒息セシメ、或ハ酸液ヲ分泌シテ斃死セシム。あさり、はまぐりノ繁殖ニ有害ナリ。

トミガヒ (富貝) タマガヒ科

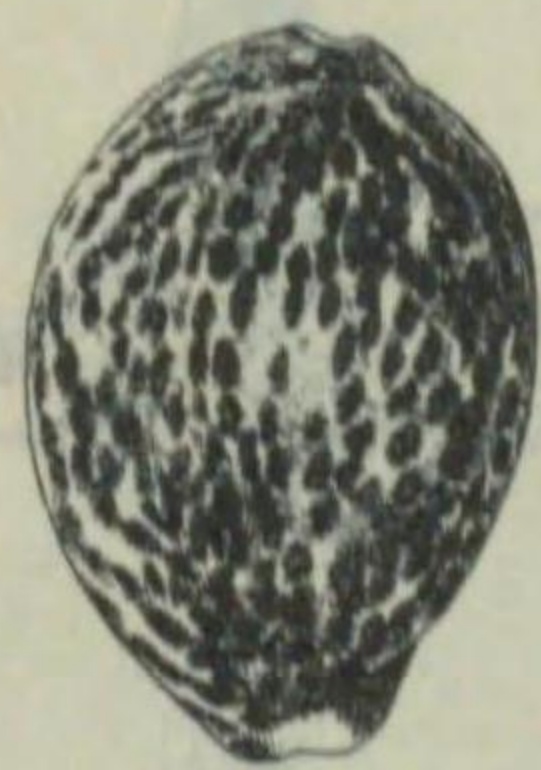


第二六五六 圖

*Polinices mamilla*

螺塔ハ頗ル小形ニシテ、螺層ハ約五階アリ。體層ハ頗ル大形ニシテ斜ニ延長シ、各層ニハ細密ナル縱脈アリ。殼色ハ白色ニシテ、光澤強シ。殼高四〇耗、徑三五耗内外ニ達ス。殼口ハ半圓形ヲナシ、頗ル大形ナリ。四國、九州以南ニ分布セリ。

ホシタカラ (星寶) タカラガヒ科

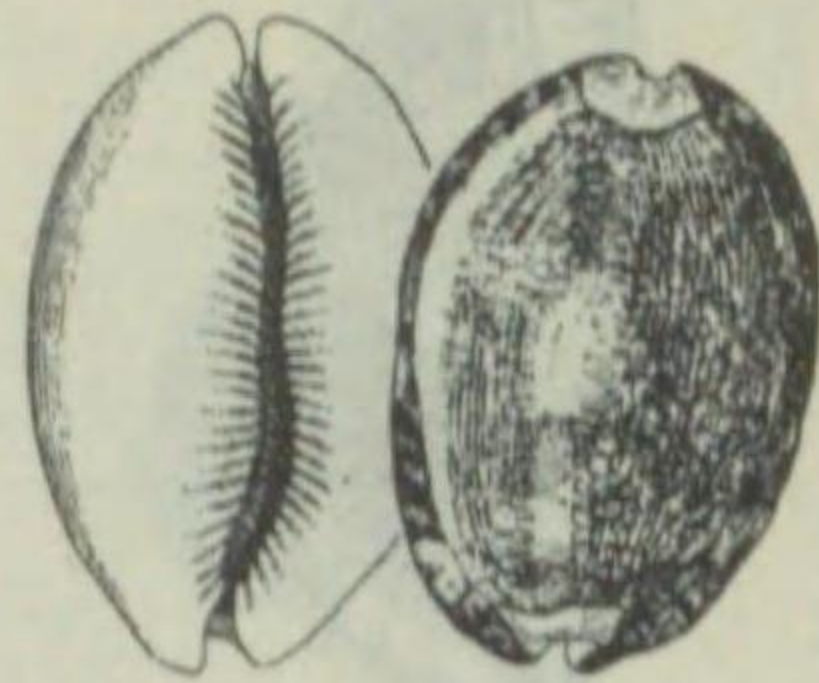


第二六五七 圖

*Cypraea tigris*

殼ハ半卵形ヲ呈シ、頗ル美麗ナリ。螺塔ハ埋沒シ、殼面ハ滑澤ニシテ白色地ニ黒褐色ノ點紋ヲ有シ、ソノ周縁ニハ淡褐色暈アリ。殼長七〇耗、幅四五耗内外ニ達ス。紀伊以南ニ分布ス。器具及ビ裝飾用ニ供セラル。

第二六五八 圖



*Cypraea arabica*

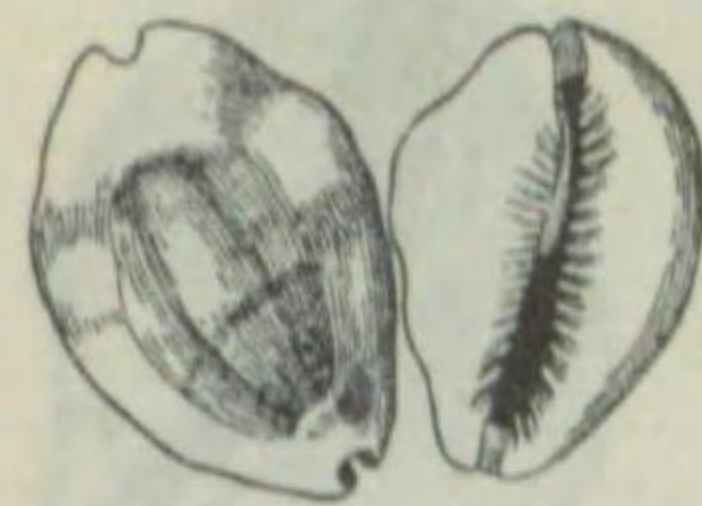
龜ノ甲形ヲ呈シ、螺塔ハ體層ノ珠窩中ニ埋沒ス。殼面ハ滑澤ニシテ、帶着黄色地ニ茶褐色ノ短縱條斑密布セリ。殼口縁ニハ同色ノ大斑散在シ、兩唇共ニ厚ク、殼口ハ狭長ニシテ、唇縁ニ齒ヲ有ス。殼長六五耗、幅四五耗内外ナリ。紀伊以南ニ分布シ、裝飾用ニ供セラハちぢやうだからツモ「コヤスガヒ」ト云フ。

ヤクシマダカラ (屋久島寶) タカラガヒ科

(真色) コヤスガヒ

タカラガヒ科

第二六五九 圖



*Erosaria moneta*

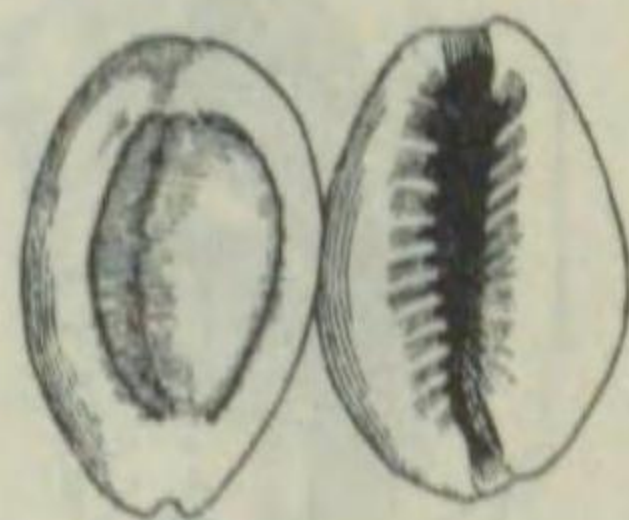
小形ニシテ、螺塔ハ殆ド珠窩中ニ埋沒ス。殼面ハ滑澤強ク、ナトリウム色ノ地ニ淡蒼綠色帯ヲ有シ又山嶺ノ兩前側方ニ鈍結節狀隆起アリ。殼長二七耗、幅二〇耗内外ニ達ス。南日本ニ多ク分布セルモ北日本ニモ見出サル。彫刻裝飾用ニ供シ、又古代通貨トシテ用ヒラレタルモノナリ。

メンガタダカラ (面型寶)

タカラガヒ科

(真色) キイロコヤス

第二六六〇 圖



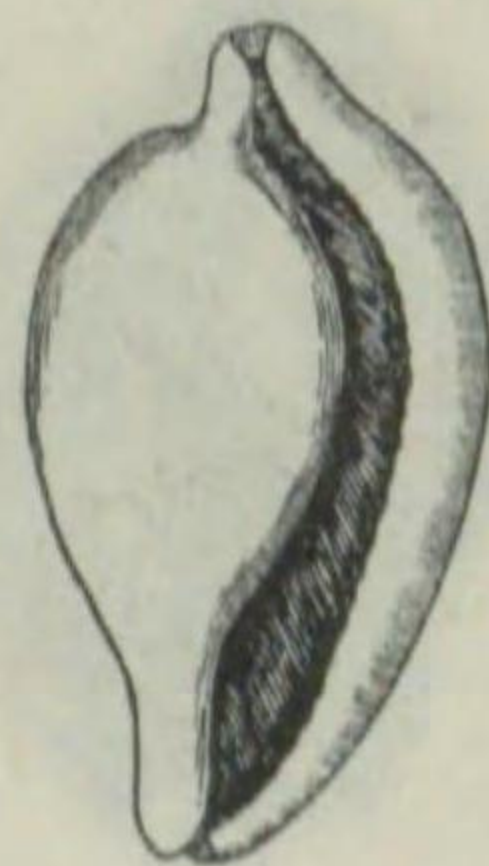
*Erosaria caputserpentis*

めんがただだからヨリ大キク、光澤強ク山嶺ハ茶褐色地ニ不同ナル小圓紋散在シ、ソノ周縁ハ兩端ノ白色部ヲ除キ幅廣ク、濃茶褐色ヲ呈シ、唇ハ淡褐色ナリ。殼長三三耗、幅二八耗内外ニ達ス。紀伊以南ニ分布セリ。

ハナマルユキ (花丸雲) タカラガヒ科

ウミウサギ (海兎) ウミウサギ科

第二六六一 圖

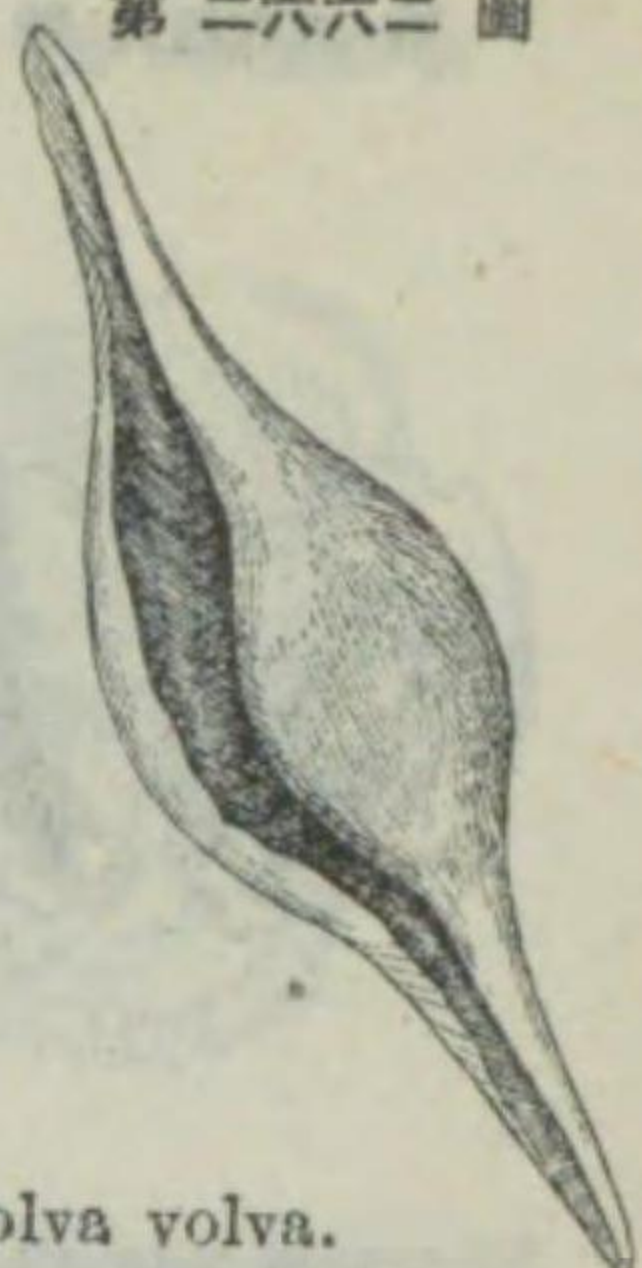


*Amphiperas ovum*

たからがひニ似、螺塔ハ埋沒シ、體層ハ膨滿シテ卵形ヲ呈セルモ、外唇ノ内曲ノ度少ナク、又内唇ニハ齒ヲ缺ケリ。殼表ハ磁白色ヲ呈シ、光澤強ク、殼口ノ内面ハ紅褐色ヲ呈セリ。殼長九〇耗、幅五〇耗内外ニ達ス。琉球、臺灣等ニ分布シ、裝飾用ニ供セラル。



第二六六二圖



ヒガヒ (校貝)

ウミウサギ科

Volva volva.

螺塔ハ奈ク之レヲ認メ得ズ。體層ハ卵形ナルモ、前後兩溝共ニ長ク伸ビ、恰モ梭ノ如キ觀ヲ呈ス。殼表ハ平滑ニシテ、淺キ細螺溝ヲ有シ、淡肉色ナリ。殼長(溝共)九〇耗、幅二七耗内外ニ達ス。房州以南ニ分布セリ。

第二六六三圖



シノマキ (篠巻)

フチツガヒ科

Cymatium pileare.

かこぼらニ似タルモ、稍々小形ニシテ細ク、螺塔ハ約七階ヲ有セリ。各層ニ縦脈ヲ有セルモ、二箇以上ニ達セズ。螺肋ハ前種ヨリ弱ク不明ナル縦肋ハ結節様ヲナセリ。殼色ハ黄褐色、濃茶褐色及ビ白色ノ螺條斑アリ。殼皮ハ黄褐色ヲ呈シテ薄シ。殼高九〇耗、徑三〇耗内外ニ達ス。殼口ノ内面ハ橙赤色ヲ呈シ、外唇縁ニハ多クノ白色裝ヲ有ス。前溝ハ比較的長ク、反曲セリ。南日本ニ分布ス。

第二六六六圖



バウシウボラ (房州法螺)

フチツガヒ科

Charonia lampas.

ほらがひヨリモ小形ニシテ、螺層ハ約七階ヲ有セリ。各層ニ鈍キ結節多ク、又螺脈多シ。殼色ハ白色ニ濃茶褐色ノ雲狀斑アリ。殼高二〇〇耗、徑六〇耗内外ニ達ス。殼口ハ卵形ニシテ大キク、内面ハ白ク、外唇縁ニ褐色ノ横裝アリ。南日本ニ分布シ、肉ハ食用、殼ハ吹奏用ニ供セラル。

アヤボラ (綾法螺)

フチツガヒ科

Fusitriton oregonensis.

螺塔ハ高ク螺層ハ六・五階アリ。各層ハ膨滿シ、縫合ハ深シ。殼高ハ稍々結節狀ヲナセル太キ縦肋ト數多ノ螺肋トヲ有ス。殼色ハ灰白色ナルモ表面ニハ蕨狀ニ剛毛多キ殼皮ヲ被レリ。殼高一二〇耗、徑五〇耗内外。殼口ハ半圓形ニシテ内面ハ白色ナリ。内唇ニハ滑層ヲ被リ前溝ハ太ク、稍々反曲シ、層ハ赤褐色ニシテ、角質卵形ナリ。北日本ニ分布ス。

第二六六七圖



第二六六四圖



カコボラ (加古法螺)

フチツガヒ科

Cymatium parthenopeum.

螺塔ハ高ク、螺層ハ約七・五階ナリ。殼表ニハ顯著ナル螺肋ヲ有シ、ソノ縦脈トノ交點ハ少シク結節狀ヲナシ、又體層面ニアルモノハ刻線ニヨリテ分ダレ、對ヲナセリ。殼色ハ淡黄褐色ニシテ、縦脈ニハ暗茶褐色斑ヲ有セルモ、薄クシテ多キ褐色ノ殼皮ヲ被レリ。殼高一〇〇耗、徑五〇耗内外ニ達ス。殼口ハ長橢圓形ヲ呈シ、兩唇ハ暗茶褐色ヲナシ、外唇ノ内縁ニハ對ヲナセル小齒並列シ、前溝ハ稍々長クシテ反曲セリ。南日本ニ分布ス。

第二六六五圖



ホラガヒ (法螺貝)

フチツガヒ科

Charonia tritonis.

殼質頗ル厚ク、大形ニシテ螺層ハ高シ。螺層ハ八階ヲ有シ、各層ハ膨レ、廣キ螺肋ヲ有シ、縫合直下ノモノハ繩狀ヲ呈セリ。縦脈ハ下鱗狀ヲナシ、殼表ハ稍々平滑ニシテ、螺肋ニハ紅、褐、白色等ノ波狀斑ヲ有シ、美麗ナリ。殼高四〇〇耗、徑一五〇耗内外ニ達ス。殼口ハ卵形ニシテ大キク、内唇ハ外曲シテ、紫褐色地ニ白色ノ横裝多シ。琉球、臺灣ニ分布ス。肉ハ食用ニ供シ、殼ハ吹奏用トナス。

第二六六八圖



タウカムリ (唐冠)

タウカムリ科

Cassis cornuta.

螺塔ハ低小ニシテ、螺層約六階ヲ有ス。體層ハ頗ル大形ニシテ、肩角ニ突起狀大結節ヲ有シ、ソノ下方ニ二列ノ小突起狀結節アリ。殼表ハ細キ布目樣彫刻ヲ現ハシ灰白色ナリ。殼高三〇〇耗ニシテ徑一五〇耗内外ナリ。殼口ハ狭長ニシテ唇ハ反曲著シク、淡肉色ヲ呈シ前溝ハ著シク反曲セリ。琉球、臺灣ニ分布ス。裝飾用ニ供セラル。

カツラガヒ (桂貝)

タウカムリ科

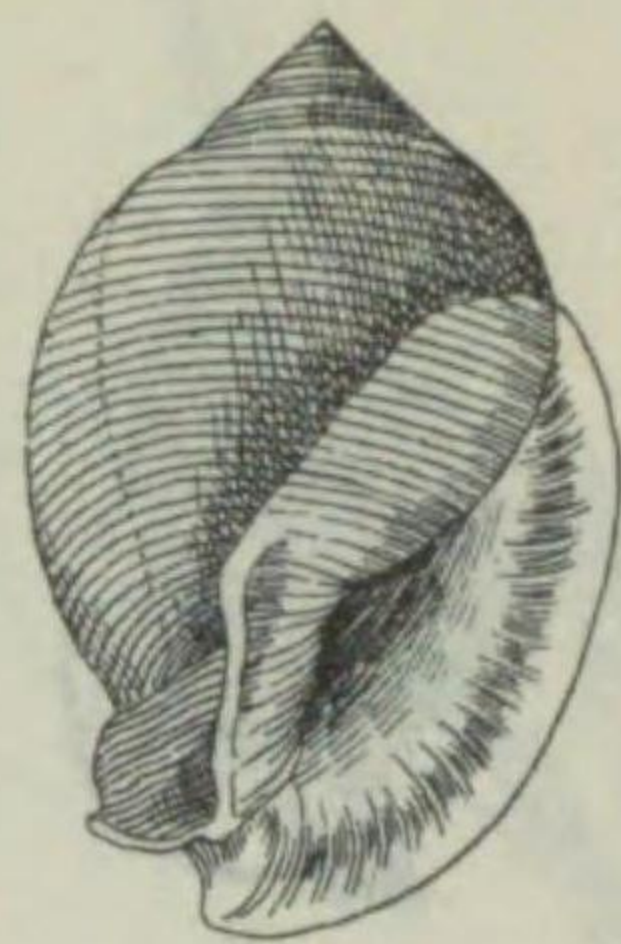
Phalium strigatum.

螺塔ハ低ク螺層ハ約八階ヲ有ス。體層ハ頗ル膨滿シ略々卵形ナリ。體層以外ノ各層ハ縦脈多ク、紐様ノ螺脈アリ、又不連續的縦脈著明ナリ。殼色ハ淡黄褐色ニシテ、濃茶褐色ノ縱條アリ。殼高八〇耗、徑五〇耗内外ナリ。殼口ハ下方ニ廣ク、外唇ニ強裝多シ。南日本ニ分布ス。

第二六六九圖



第二六七〇圖



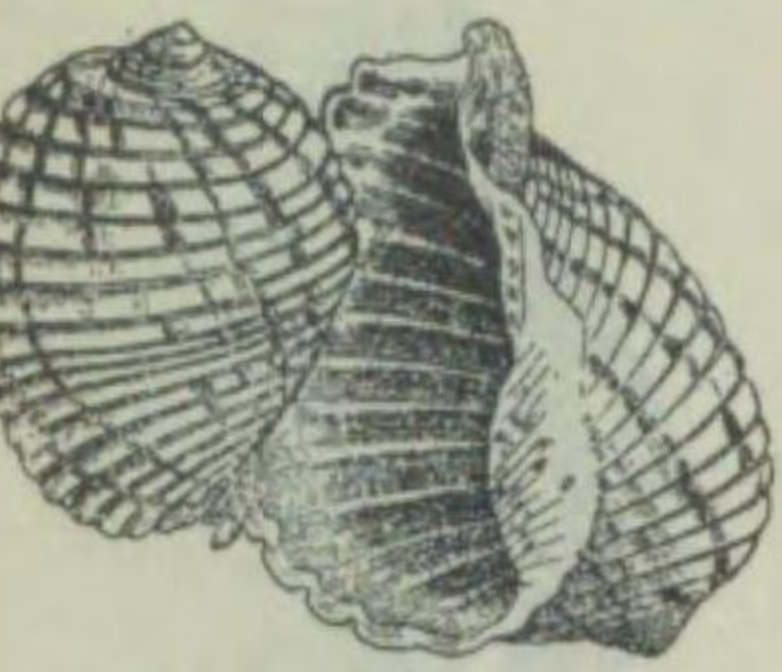
Phalium pila.

ウツラガヒ (浦島) タウカムリ科  
かつらがひニ酷似シ、螺層ハ約七階アリ。各層ハ膨レ、殻表ニハ數多ノ螺脈アリテ、布目狀彫刻ヲ有セリ。殻色ハ淡褐色ニシテ、濃茶褐色ノ四乃至五不連續螺帶アリ。殻高ハ八〇耗ニシテ、徑四〇耗内外ナリ。殻口ノ外唇縁ニ強齒多シ。かつらがひ同様南日本ニ分布ス。

ヤツシロガヒ (八代貝)

ヤツシロガヒ科

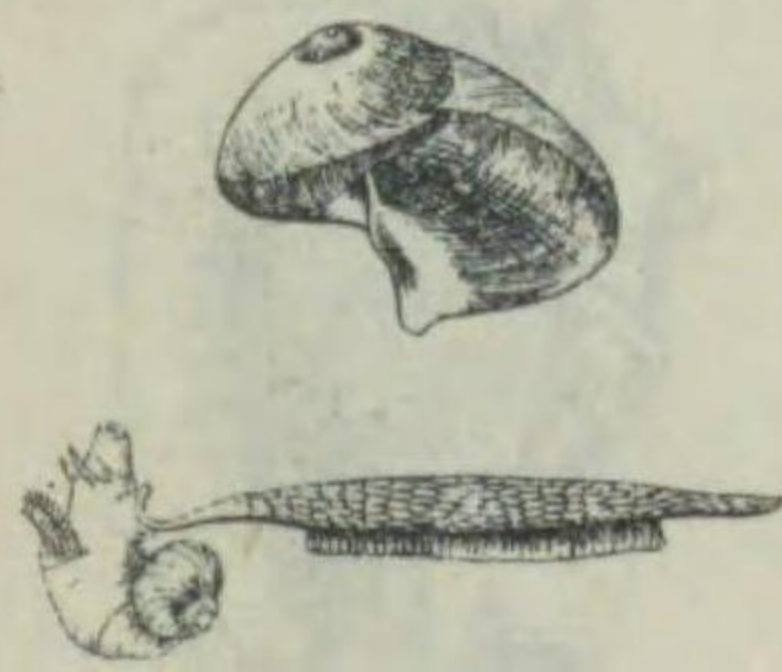
第二六七二圖



Tonna perdix.

アサガホガヒ (朝顔貝) アサガホガヒ科  
殻ハ蝸牛狀ヲナシ螺塔ハ低シ。螺層ハ三・五階ヲ有シ、縫合溝淺シ。殻表ハ平滑ニシテ、細カキ條線ヲ有シ、微藍色ヲ呈ス。殻高ハ二〇耗ニシテ徑二五耗内外ナリ。足部ニ足腺ノ分泌物ヨリ小空胞ノ塊アリ。水面ニ浮ビ、コノ下ニ數多ノ小卵囊ヲ有セリ。日中海中深く沈ミ、薄暮ヨリ水面ニ浮ビ、餌ヲ求ム。肉食ナリ。暖流々域ニ發見セラレ、時ニ大群ヲナセリ。

第二六七三圖



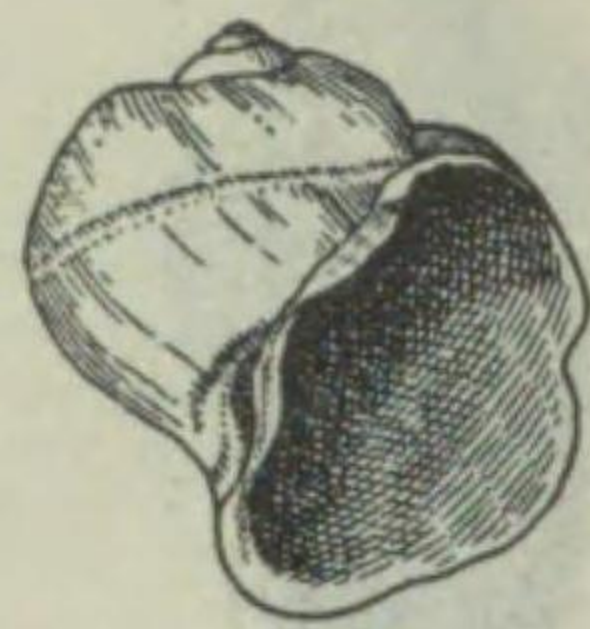
Janthina janthina.

ナガイトカケ (長絲掛貝) ネチガヒ科  
殻ハ大形ニシテ、螺塔高ク、螺層ハ約一階ヨリナル。各層ハ著シク膨滿シ、縫合溝ハ深シ。殻表ニハ縱肋脈ニ螺脈交リテ美シク、白色ヲ呈セリ。殻高ハ八〇耗、徑三〇耗内外ニ達ス。殻口ハ丸ク、外唇僅カニ反曲ス。南日本ノ深海ニ棲息セリ。

アサガホガヒ (朝顔貝)

アサガホガヒ科

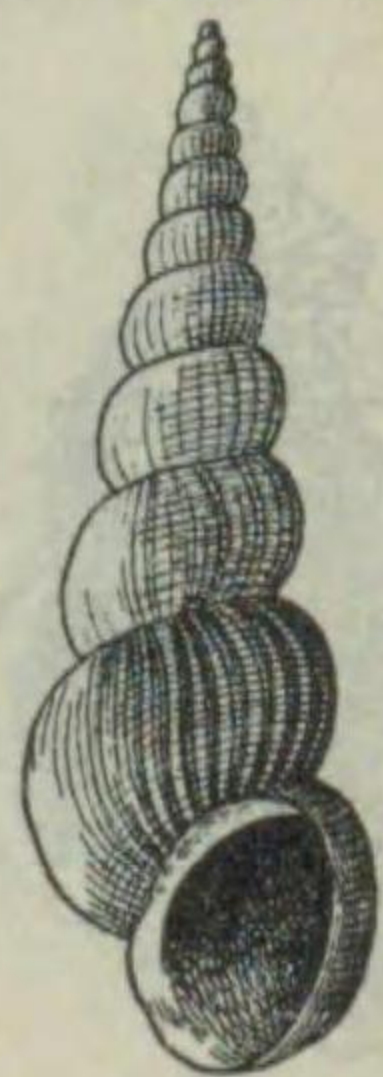
第二六七四圖



Janthina globosa.

ルリガヒ (瑠璃貝) アサガホガヒ科  
あさがひニ酷似セルモ、殻高ク螺層四階ヲ有ス。各螺層ハ膨レク縫合溝深ク、體層頗ル大ナリ。殻表ハ細キ縱脈ノ他、皺狀螺脈ヲ有シ、紫青色ヲ呈ス。殻高三〇耗ニシテ徑二〇耗内外ナリ。殻口ハ半圓形ヲ呈シ、空胞ヲ有セルコト、及ビ日中海中ニ沈ミテ薄暮ヨリ水面ニ浮ビ餌ヲ求ムルコト、又暖流々域ニ分布スルコト等ハあさがひがひ同様ナリ。

第二六七六圖



Amaea magnifica.

イトマキボラ (絲卷法螺) イトマキボラ科  
殻ハ厚ク、紡錘形ニシテ、螺塔ハ高ク、螺層ハ約六乃至七階ヲ有ス。殻表ニハ結節アリテ、白色乃至肉色ヲ呈シ、帶黃褐色或ハ暗茶褐色ノ殻皮ヲ被レリ。殻高一五〇耗ニシテ徑七五耗内外ナリ。殻口ハ卵形ヲナシ、前溝ハ長ク延長シ、唇ハ角質長卵形ナリ。琉球及ビ臺灣ニ分布ス。食用ニ供セラレ。

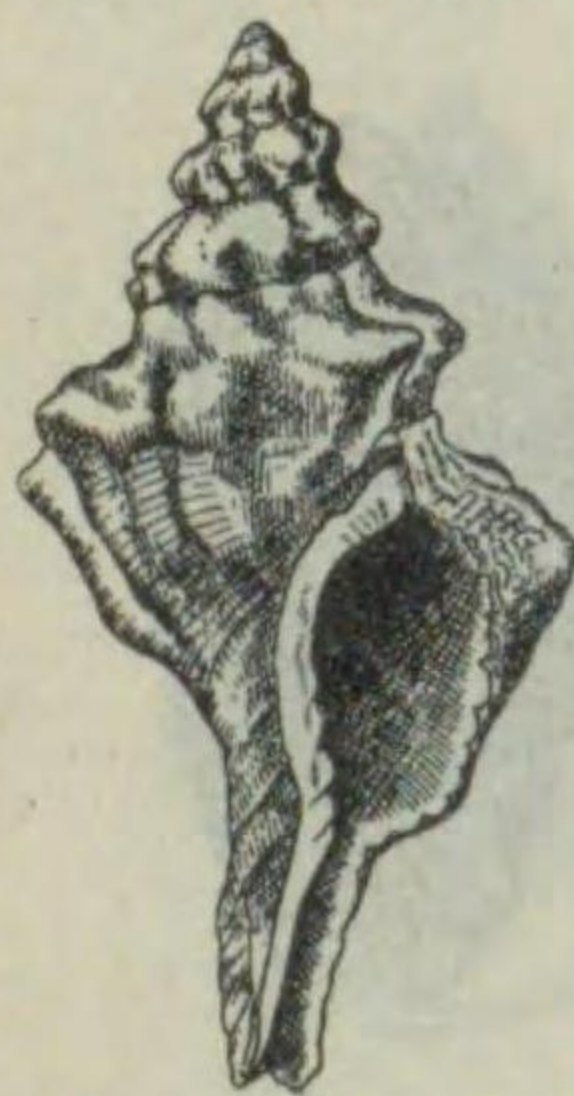
第二六七五圖



Gyroscaia perplex.

ネチガヒ (振貝) ネチガヒ科  
殻ハ堅ク、螺塔頗ル高ク、長圓錐形ヲナス。螺層約八・五階ヲ有シ縫合溝ハ稍々深シ。各螺層ヲ通ジテ縱肋上ニ、一二内外ナル薄板ヲ有セリ。殻表ハ平滑ニシテ、白色ヲナシ光澤ヲ有ス。殻高二〇耗、徑一〇耗内外ナリ。殻口ハ略々圓形ヲ呈セリ。南日本ノ海ニ採集セラル。

第二六七七圖



Fasciolaria trapezium.

軟體動物—腹足類—前鰓目

第二六七八圖



*Fusinus perplexus.*

ナガニシ (長辛螺) イトマキボラ科  
殻ハ長紡錘形ニシテ、螺塔ハ頗ル高ク、螺層約九階ヲ有ス。各層ハ膨滿シ、縫合ハ廣ク縦肋ハ肩部ニ結節狀ノ大小多數ノ螺脈アリ。殻ハ白色ニシテ、汚黄色又ハ褐色ノ殻皮ヲ被レリ。殻高一四〇耗、徑四〇耗内外ナリ。殻口ハ橢圓形ニシテ、内面白ク、前溝ハ頗ル長シ。帯ハ角質ナリ。本邦各地ノ沿岸一〇乃至二〇米附近ノ砂泥底ニ棲息ス。卵囊ヲ「サカサホ、ヅキ」ト云ヒ、玩弄用トナシ、肉ハ食用ニ供セラル。

テウセンフデ (朝鮮筆) フテガヒ科

第二六七九圖



*Mitra mitra.*

螺塔頗ル高ク、筆ノ穂狀ヲナス。螺層ハ八階ヲ有シ、膨滿セズ。體層頗ル大形ニシテ長シ。殻表ハ平滑ニシテ、白色地ニ黄赤色ノ方形大斑螺列ス。殻高一五〇耗ニシテ徑三五耗内外ナリ。殻口ハ狭長ニシテ、三角形ヲ呈シ、内唇ニ四強裂ヲ有シ、唇ヲ有セズ。琉球及ヒ臺灣ニ分布ス。

第二六八二圖



*Chrysodomus intersculptus.*

エゾボラモドキ (蝦夷法螺) エゾボラ科  
エゾボラニ似タルモ、螺塔ハ稍々高ク、殻質ハ稍々薄シ。螺層ハ七階ヲ有シ、各螺層ハ膨レ、縫合ハ明瞭ナリ。殻表ハ殆ト平滑ニシテ細キ螺脈多ク、灰黄褐色ヲ呈セリ。殻高一六〇耗、徑六〇耗内外ニ達ス。殻口ハ大形ニシテ、外唇ハ厚シ。北日本ニ棲息セリ。

ヒメエゾボラ (蝦夷法螺)

エゾボラ科

第二六八三圖



*Chrysodomus arthricus.*

殻ハエゾボラヨリ小形ニシテ、螺層ハ五―六階ヲ數ヘ、肩角ハ結節狀ヲナセリ。體層ニハ明瞭ナル結節隆起ヲ有セルモ、他ノ螺層ニテハ螺肋及ビ螺脈ハ不明ナリ。殻表ハ帶紫褐色乃至肉色ヲ呈ス。殻高六〇耗、徑二五耗内外ナリ。殻口ハ長橢圓形ヲ呈シ、内面ハ帶紫褐色或ハ橙色ヲナシ、前溝ハ短シ。北日本ニ分布ス。卵囊ヲ玩弄用トナシ、肉ハ食用ニ供セラル。

第二六八〇圖

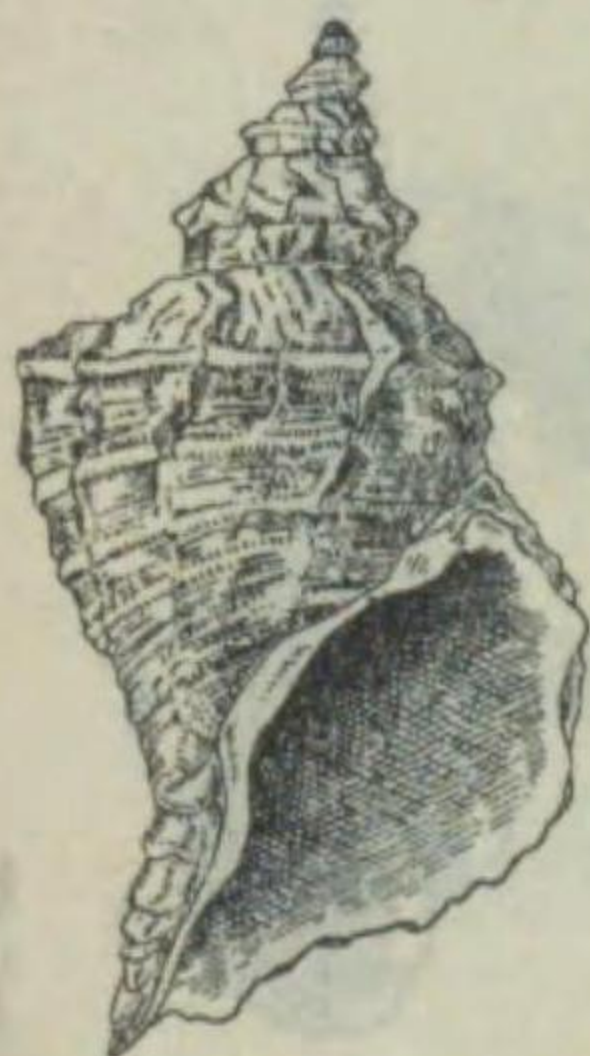


*Pterygia dactylus.*

イモフデ (芋筆) フテガヒ科  
殻ハ略々橢圓形ヲナシ、螺塔ハ低ク螺層ハ約五階アリテ、體層ハ頗ル大キク膨滿セリ。殻表ニハ多クノ螺肋及ビ不明ナル縦肋アリ。殻色ハ暗黄色地ニ暗褐色ナル汚斑ヲ有ス。殻高ハ四五耗ニシテ、徑ハ一〇耗内外ナリ。殻口ハ狭ク内面白クニシテ、内唇ニ六條ノ横アリ。琉球及ビ臺灣ニ分布ス。

エゾボラ (蝦夷法螺) エゾボラ科

第二六八一圖



*Chrysodomus liratus.*

殻ハ稍々紡錘形ニシテ、螺層ハ六乃至七階アリ。體層ハ頗ル大形ニシテ數條、他ノ螺層ニ各一條ノ螺肋ヲ有ス。肋間ニ細脈アリテ、殻表ハ汚褐色ナリ。殻高一五〇耗ニシテ徑七〇耗内外。殻口ハ半圓形ニシテ大形ナリ。前溝ハ太ク稍々反曲ス。内面ハ橙色或ハ白色ニシテ、帯ハ角質ヲナシ長卵形ナリ。樺太及ビ北海道ニ産ス。卵囊ハ玩弄用ニ供セラル。

テングニシ (天狗辛螺) エゾボラ科

第二六八四圖



*Hemifusus ternatanus.*

殻ハ長紡錘形ヲナシ、螺層六乃至七階ヲ有ス。體層ハ頗ル長大ナリ。各螺層ニ一列ノ結節狀突起アルモ體層ニハ不明ナリ。殻表ニハ螺脈及ビ縦脈アリ。殻ハ肉色ニシテ光澤強シ。卵囊ハ、「ホ、ヅキ」ト云ヒ玩弄用ニ供シ、肉ハ美味ナルモノナリ。

バイ (親・海扇)

エゾボラ科

略々卵形ヲ呈シ、螺塔ハ高クシテ尖ル。螺層ハ約六階ヲ有シ、各層ハ肩部ニ於テ膨レ縫合溝ハ顯著ナリ。殻表ハ平滑ニシテ、白色地ニ紫褐色斑アリテ美麗ナルモ、赤褐色ノ殻皮ヲ被レリ。殻高ハ六〇耗ニシテ徑三五耗内外ナリ。殻高ハ卵形ヲ呈シ内面白ク半透明ナリ。臍孔ハ明瞭。各地ノ砂地ニ廣ク分布ス。殻ヲ獨樂ニ作り又卵囊ハ、「アハホ、ヅキ」又ハ「ヒコホ、ヅキ」ト稱シ玩弄用ニ供シ、肉ハ食用ニ供セラル。

第二六八五圖



*Latrunculus japonicus.*

第二六八六圖



Buccinum striatissimum.

卵圓錐形ヲ呈シ、質厚ク、螺塔ハ高クシテ、螺層ハ約八階ヲ數ヘ、縫合ハ明瞭ナリ。殼表ハ汚白色ヲ呈シ、縱横ニ細線ヲ刻ス。殼高一〇耗、徑五〇耗内外ニ達ス。殼口ハ半圓形ニシテ大形ナリ。日本海ノ北方ニ産シ、美味ナルモノナリ。

エツチユウバイ (越中蜆) ヲツチユウバイ科

第二六八七圖



Volutharpa perryi.

殼ハ橢圓體ヲナシ、螺塔頗ル低ク螺層ハ約五階ヲ有ス。體層ハ頗ル膨大セリ。殼表ニハ不明ナル縱脈多ク橙黃色ニシテ、暗褐色ノ布目狀殼皮ヲ被レリ。殼高ハ五〇耗ニシテ徑三〇耗内外ナリ。殼口ハ極メテ大形ニシテ、内面ハ白色ナリ。北日本ニ多キモ南日本ニモ産ス。

モスソガヒ (袋掘貝) ヲツチユウバイ科

第二六九〇圖



Nassarius balteatus.

螺塔ハ高ク尖リ、螺層ハ八階アリ殼頂ニ近キ四層ニハ縱肋アルモ、下方ハ平滑ナリ。肩部稍々高ク縫合ハ明瞭ナリ。殼表ハ上方蒼灰褐色ヲ呈シ、下方ハ白色地ニ茶褐色斑及ビ細線アリ。殼高ハ二五耗ニシテ徑一三耗内外ナリ。殼口ハ卵形ヲ呈シ、外唇ハ下方ニ齒狀突起ヲ有ス。南日本ニ産ス。

ヨフバイ (餘賦貝) ヲフバイ科

タモトガヒ (扶貝) タモトガヒ科

第二六九一圖



Pyrene punctata.

殼ハ紡錘形ヲナシ、螺塔ハ略々圓錐形ヲ呈シ、螺層約八階ヲ有ス。體層ハ長大ニシテ、下方ハ細マレリ。殼表ハ平滑ニシテ、赤褐色ニ白色斑散在ス。殼高ハ二〇耗、徑八耗内外ナリ。殼口ハ狹長ニシテ内唇ニ弱キ齒狀突起ヲ有シ、内面ハ紫色ヲ呈ス。琉球及ビ臺灣ニ分布セリ。

第二六八八圖



Nassarius gemmulatus.

殼ハ小形ニシテ、螺塔ハ圓錐形ヲナシ、螺層ハ八階ナリ。殼表ニハ大ニシテ粗ナル顆粒列ヲ有シ、色ハ帶蒼灰黃色乃至紫灰色ヲ呈シ、褐色ノ雲狀紋散在セリ。殼高三〇耗、徑一五耗内外ニ達ス。殼口ハ卵形ヲ呈セリ。南日本ニ分布ス。

アラレガヒ (殼貝) ヲフバイ科

第二六八九圖



Nassarius glans.

螺塔ハ稍々高ク螺層約八階アリ。殼頂ニ近キ三乃至四層ニハ螺肋及ビ螺溝ニヨレル粗キ顆粒狀突起ヲ有セルモ、他ノ層ニハナク平滑ナリ。殼色ハ淡紫灰色ニシテ淡褐色ノ不明ナル雲狀紋ヲ有シ、又茶褐色ノ大斑及ビ螺線アリ。殼高三〇耗、徑一三耗内外ナリ。殼口ハ卵形ニシテ大キク、外唇縁ニ齒狀突起ヲ有ス。南日本ニ産ス。

キンシバイ (金絲貝) ヲフバイ科

フトコロガヒ (懷貝) タモトガヒ科

第二六九二圖



Columbella versicolor.

螺層約七階アリテ、肩角頗ル高ク顯著ナリ。體層ハ大形ニシテ、螺脈多シ。殼表ハ略々平滑ニシテ茶褐色ノ小斑多シ。殼高ハ一六耗、徑一〇耗内外ナリ。殼口ハ狹長ニシテ、唇縁ニ多數ノ小齒ヲ有シ内面ハ白色ナリ。南日本ニ産ス。

ムギガヒ (麥貝) タモトガヒ科

第二六九三圖



Astyris varians.

殼ハ小形ニシテ、紡錘形ヲ呈シ、螺塔ハ高ク、塔狀ヲナシ約七階ノ螺層ヲ有ス。上方ニハ縱肋ヲ有シ、殼表ハ光澤強ク、黃褐色或ハ白色地ニ褐色縱斑ヲ有セリ。殼高一〇耗、徑五耗内外ニ達ス。殼口ハ狹長ナリ。南日本ニ分布ス。



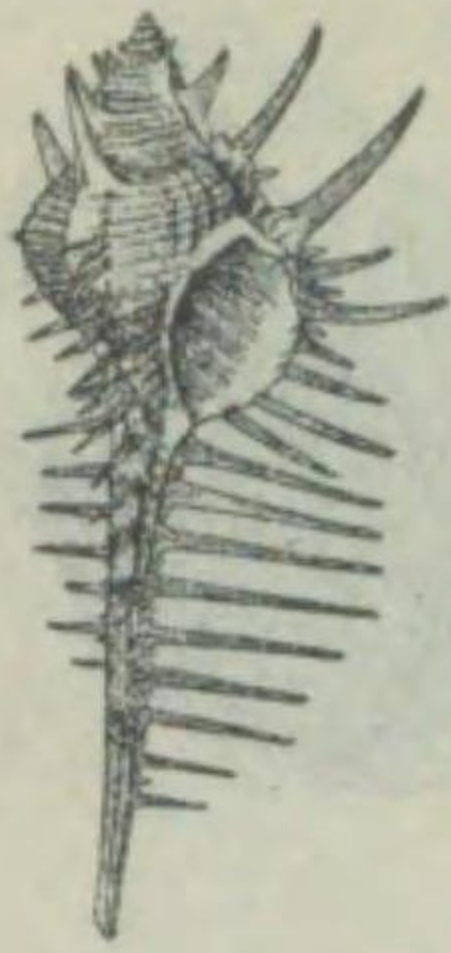
第二六九四圖

Murex haustellum.

水管溝ノ頗ル長キ球形ノ殼ニシテ  
螺層約八階ヲ有ス。各層ニ、三縱  
腹脈アリテコレニ小刺アリ、コノ  
腹脈ノ間ニ、三乃至四ノ結節狀  
隆起アリ、又波形ノ螺脈多シ。  
帶黄灰白色地ニ螺脈ニ沿ヒ、紫樹  
色ノ波狀斑紋散在ス。殼高八一四  
〇耗ニシテ、徑五五耗内外ナリ。  
殼口ハ圓形ニシテ、縁ニハ肉紅色  
ナル滑層顯著ナリ。水管溝ハ八〇  
耗ニ達ス。琉球及ビ臺灣ニ分布ス。

サツマツブリ (薩摩紡車列)

ホネガヒ科



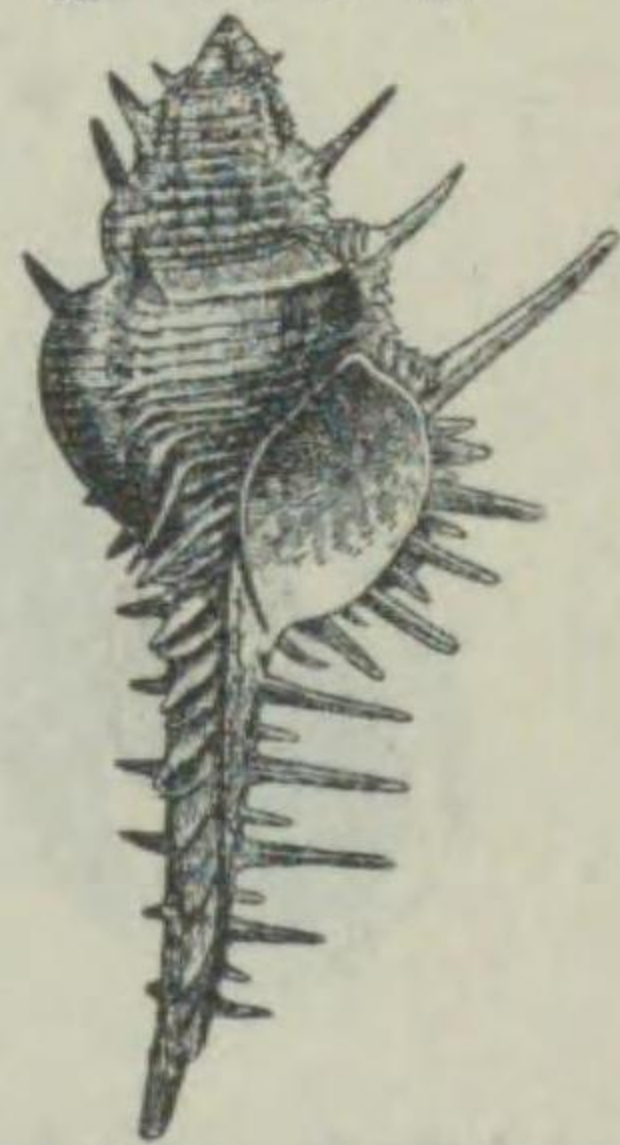
第二六九五圖

Murex tennispinna.

長棘魚骨様ヲナセルヲ以テコノ名  
アリ。螺層ハ約九階アリ、各層ハ  
稍々膨レ互ヒニ、一二〇度位ノ角  
度ヲナセル稍々螺狀ナル三縱腹脈  
アリ。螺肋ノ大ナルモノト、コノ  
腹脈トノ交點ニ方向ノ變レル短棘  
並列シ、灰白色乃至淡黄褐色ヲ呈  
ス。殼高八一四〇耗ニシテ、徑四五  
耗内外ナリ。殼口ハ卵形ニシテ、  
水管溝ハ長シ。紀伊以南ノ暖海ニ  
分布セリ。

ホネガヒ (骨貝) ホネガヒ科

第二六九六圖



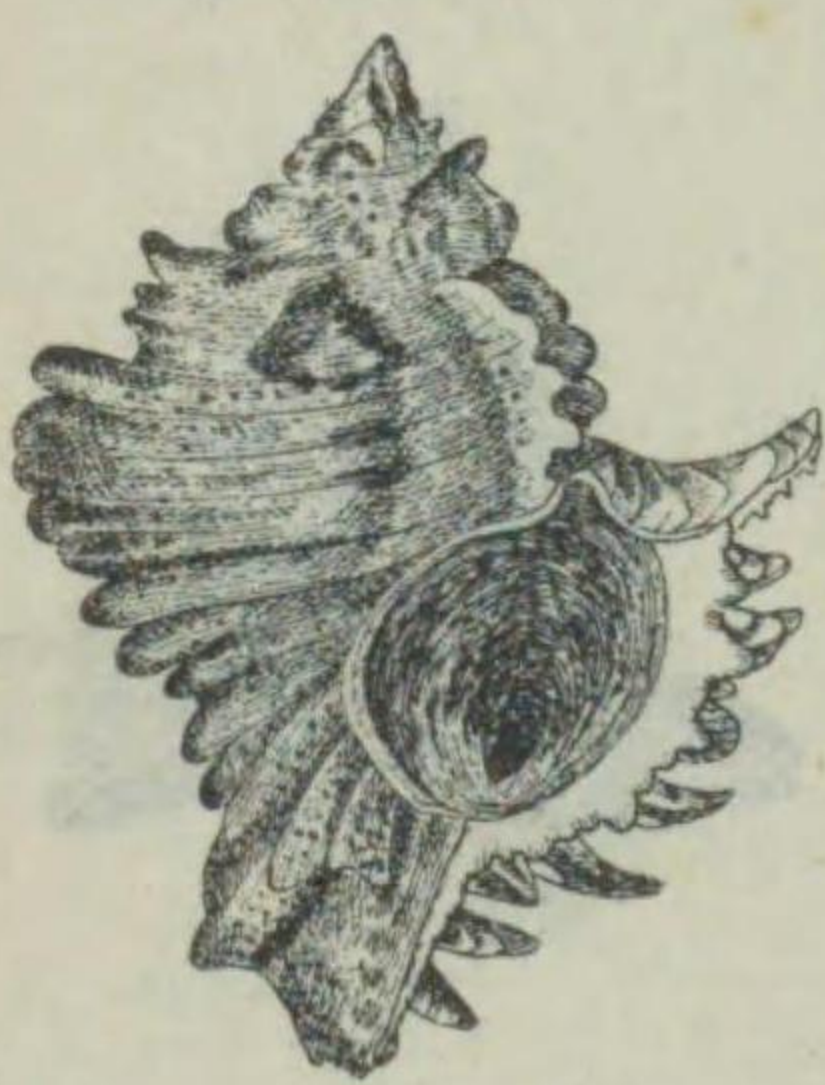
Murex troscholi.

前種ほねがひニ酷似セルモ、螺層  
約一〇階ナルコト、長棘大ニシテ  
數少ナキコト、螺肋紫褐色ナルコ  
ト、水管溝ノ長キコト等異レリ。  
殼高八一七〇耗ニシテ、徑四〇耗  
内外ナリ。南日本ニ産ス。手織網、  
延繩等ニテ採取セラル。美味ナル  
モノナリ。

アツキガヒ (惡鬼貝)

ホネガヒ科

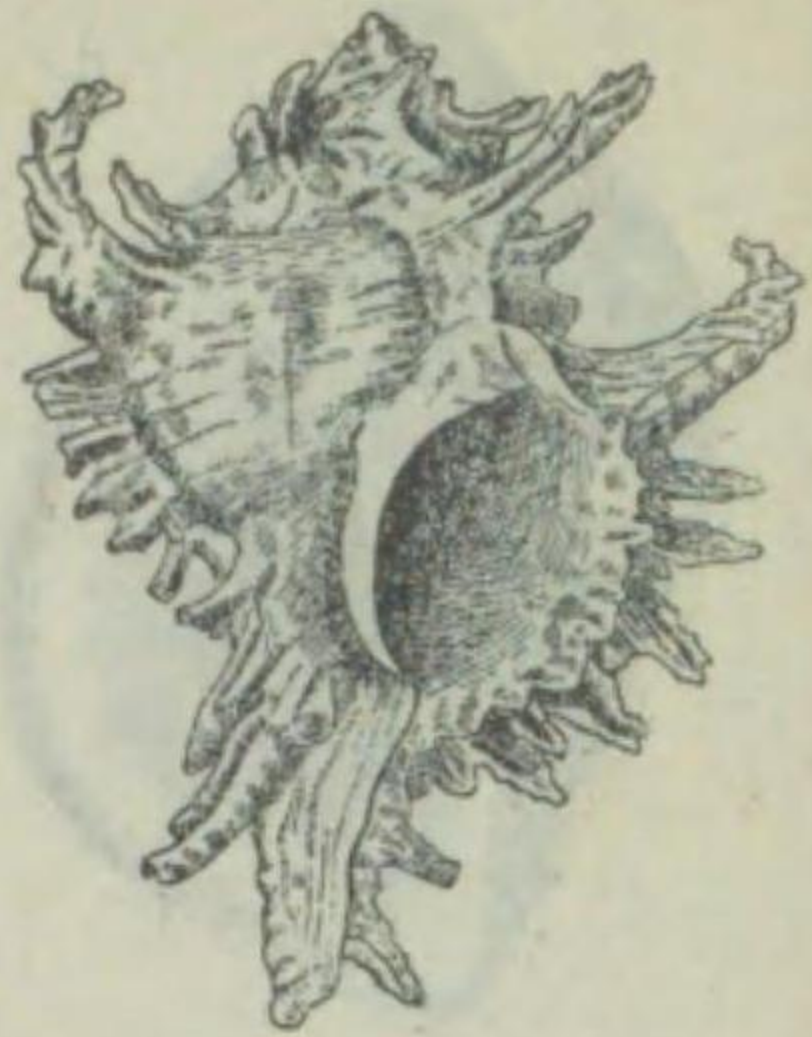
第二六九七圖



Chicoreus sinensis.

螺層約七階ヲ有ス。殼頂ヨリノ三  
條縱腹脈上ニアル棘ハ太ク、且ツ  
多少ノ樹枝狀ヲナス。縱腹脈間ニ  
不明ナル結節アリ。殼高一〇〇耗  
ニシテ、徑四五耗内外ナリ。殼口  
ハ卵形ヲ呈シ、水管溝ハ末端稍々  
反曲シ、臍孔ハ大形ナリ。南日本  
ニ産ス。卵囊ハ玩弄用トナン、肉  
ハ食用ニ供ス。

キエボラ (黄枝法螺) ホネガヒ科



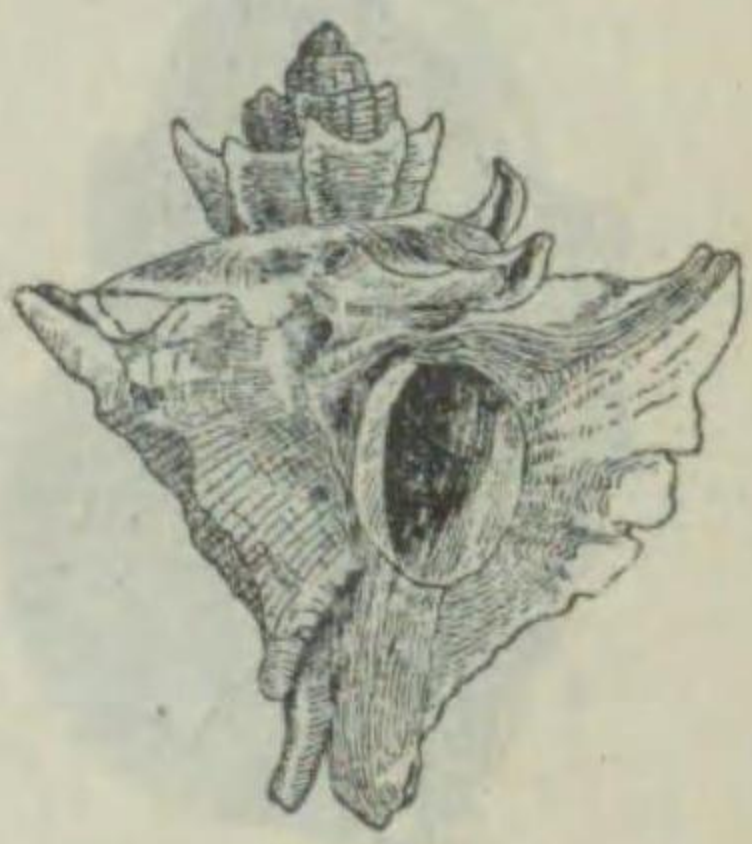
第二六九八圖

Chicoreus ramosus.

大形ニシテ、螺塔ハ比較的低ク螺  
層ハ約五階アリ。縱脈上ニ多數ノ  
葉狀突起アリテ、頗ル壯觀ヲ呈ス。  
縱腹脈間ニ一乃至二列ノ大結節ヲ  
有ス。殼表ハ白色ニシテ、螺脈ハ  
茶褐色ナリ。殼高八一八〇耗、徑  
九〇耗内外。大形ナルモノハ二五  
〇耗ニ達ス。殼口ハ卵形ニシテ、  
兩唇ハ肉色ヲ呈ス。大島及ビ琉球  
等ニ分布セリ。

テングガヒ (天狗貝) ホネガヒ科

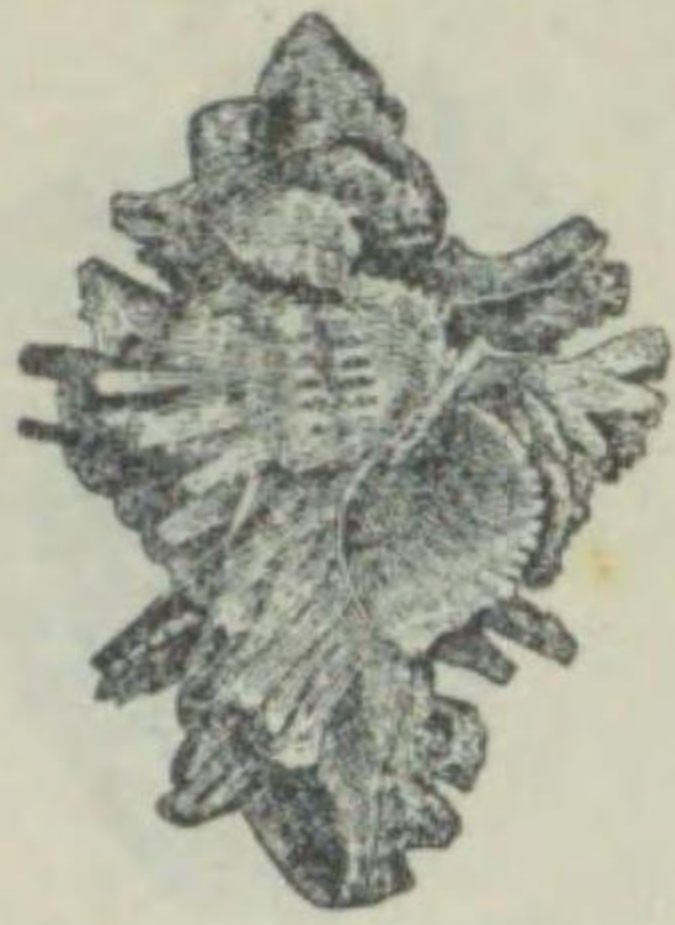
第二七〇〇圖



Tritonalia adunca.

イセヤウラク (伊勢環珞) ホネガヒ科  
螺塔約六階ヲ有ス。各層ノ肩部縱  
腹脈上ニ、三乃至四箇ノ上向セル  
鱗狀突起アリ、又多數ノ螺脈ヲ有  
ス。殼口ノ外側ノ鱗狀突起ハ頗ル  
大形ニシテ翼狀ニ擴ガリ、表面ニ  
鱗狀物ヲ有ス。殼色ハ帶褐灰色ニ  
シテ、褐色ノ帶斑アリ。殼高四〇  
耗、徑一八耗内外ナリ。南日本ニ  
分布ス。

イセヤウラク (伊勢環珞) ホネガヒ科



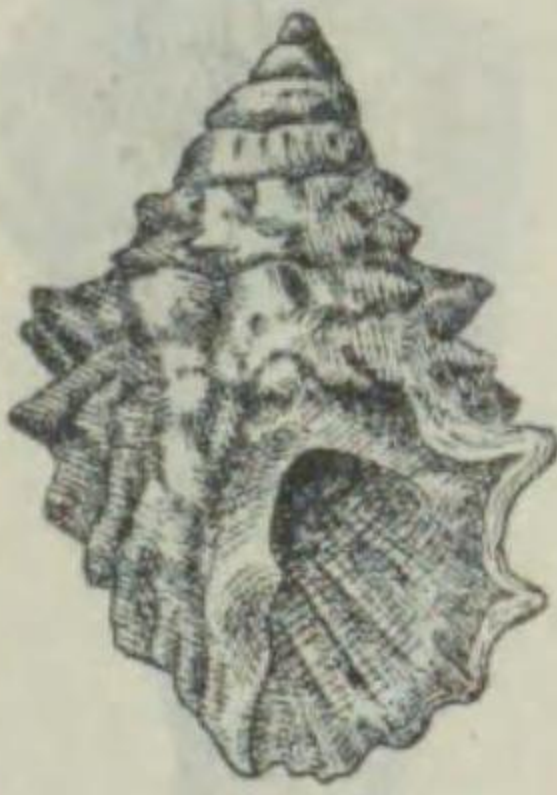
第二六九九圖

Chicoreus adustus.

ガンセキボラ (岩石法螺) ホネガヒ科  
螺塔ハ比較的高ク、螺層約七階ヲ  
有ス。殼頂ヨリノ縱腹脈ニハ分枝  
セル葉狀突起多ク、縱腹脈間ニ各  
一箇ノ大縱肋隆起アリ。又コレヲ  
横斷セル多數ノ螺脈アリ。殼表ハ  
黑色又ハ黄褐色ナリ。殼高七〇耗  
ニシテ、徑三〇耗内外ヲ有ス。殼  
口ハ略々圓形ニシテ、口縁ハ肉紅  
色ヲ呈ス。紀伊以南ニ分布セリ。

ガンセキボラ (岩石法螺) ホネガヒ科

第二七〇一圖



Thais distinguenda.

テツレイシ (鐵荔枝) ホネガヒ科  
れいしニ酷似セルモ小形ニシテ、  
螺塔ハ圓錐形ヲナシ尖ル。螺層ハ  
約五階ヲ有ス。結節ハ彼ヨリ低ク  
多少鈍ク尖レリ。殼色ハ白色ヲ呈  
シ、結節及ビ螺脈ハ黒褐色ナリ。  
殼高四〇耗ニシテ徑二五耗内外ナ  
リ。殼口ハ廣ク、ソノ外唇縁ハ黒  
色ヲ呈シ齒狀ヲナス。琉球及ビ小  
笠原島等ニ分布ス。

テツレイシ (鐵荔枝) ホネガヒ科

第二七〇二圖



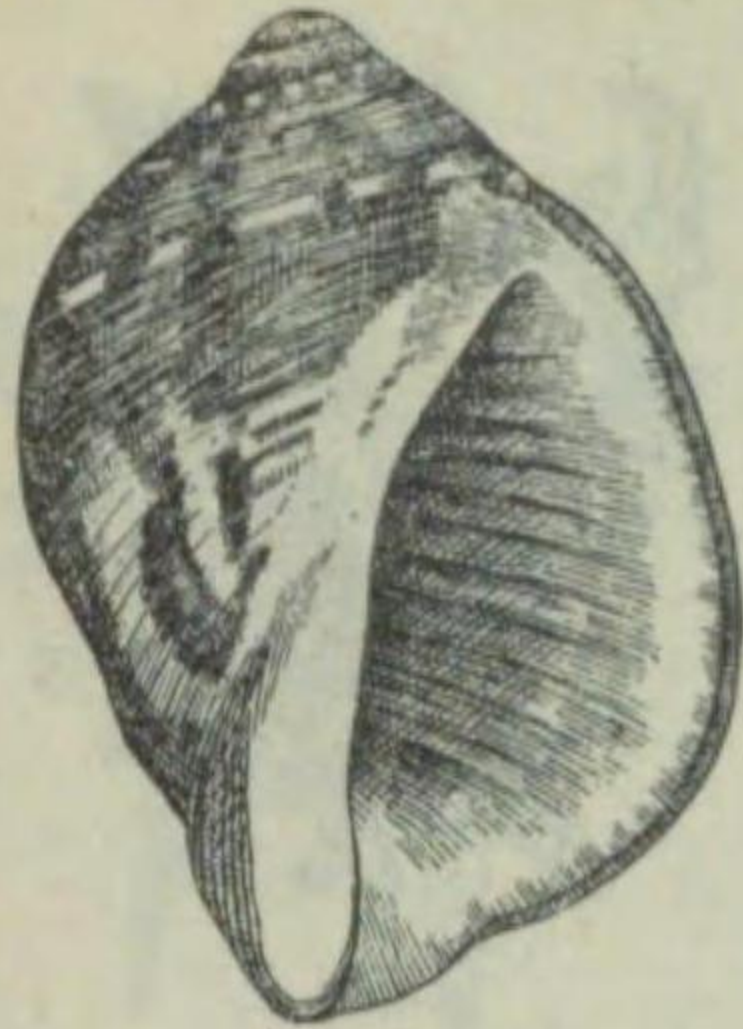
Thais bronni.

殼ハ厚ク螺塔ハ稍々長シ。螺層ハ約五階アリテ、結節多ク荔枝ノ果實様ヲナス。體層ノ結節略々長方形ヲナシ約四列ヲナス。殼色ハ暗灰色乃至暗茶褐色ニシテ白斑アリ。殼高ハ六〇耗、徑三五耗内外ナリ。殼口ハ略々半圓形ヲ呈シ、内唇ノ滑層ハ稍々廣ク内面ハ肉色ナリ。岩礁上ニ棲息シ、カキノ養殖上有害ナルモノナリ。南日本ニ産ス。

レイシ (荔枝)

ホネガヒ科

第二七〇三圖



Thais rudolphi.

螺塔ハ低ク、螺層ハ約四階ヲ有ス各層ニ結節螺肋アリ。體層ハ大形ニシテ、四螺肋ヲ有シ、ソノ上方ノ二條ニ結節アリ。尙多數ノ螺脈アリテ、殼色ハ鐵色ヲ呈シ白斑ヲ有ス。殼高六〇耗ニシテ、徑三〇耗内外ナリ。殼口ハ長卵形ヲナシ内唇ニ白色ノ滑層アリテ外唇縁ニハ多クノ細螺ヲ有ス。大島及ビ小笠原島等ノ暖海ニ分布セリ。

テツボラ (鐵法螺) ホネガヒ科

第二七〇四圖



Columberium pagoda.

螺塔ハ頗ル高ク螺層ハ約七階ヲ有ス。各層ノ肩部ニ上向セル、扁平棘並列シ、體層ハ比較的小形ナリ。殼色ハ淡黃褐色ニシテ光澤強ク美麗ナリ。殼高ハ八五耗、徑一五耗内外、殼口ハ卵形ニシテ、内面ハ白色ヲ呈ス。水管溝ハ長ク約五〇耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

イトグルマ (絲車)

ホネガヒ科

第二七〇五圖



Cancellaria spengleriana.

螺層ハ約七階アリ、多數ノ縱肋ハ肩角ニ於テ、結節狀ヲナシ、螺脈多シ、殼色ハ淡褐灰色ニシテ、淡紫色斑アリ。殼高ハ六〇耗、徑三〇耗内外ナリ。南日本ニ産ス。卵囊ヲ「チャンチャンホ、ヅキ」ト云ヒ玩弄用ニ供ス。

コロモガヒ (衣貝) コロモガヒ科

ヒタチオビ (常陸帶) ヒタチオビ科

第二七〇六圖



Eulgoraria prevostiana.

紡錘形ニシテ、螺塔高シ。螺層ハ七階ニシテ、各層ハ膨レ數多キ縱肋ヲ有シ、又微細ナル螺脈アリ。殼色ハ淡赤灰色ナリ。殼高ハ一四〇耗ニシテ、徑四〇耗内外。殼口ハ長橢圓形ヲ呈シ、内面ハ淡赤褐色ナリ。北日本ノ稍々深海ニ産スルモ南方ニ分布シ多カラズ。

シヨクコウラ (蜀紅螺)

シヨクコウラ科

第二七〇七圖



Harpa conoidalis.

略々卵形ニシテ、螺塔ハ低ク螺層ハ四・五階ヲ有ス。體層ハ頗ル大形ニシテ、縫合ノ下ニ棘列アリ。殼表ハ淡肉白色ニシテ、縱肋間ニ茶褐色ノ波狀線ヲ有セル紫色斑アリテ美麗ナリ。殼高ハ八五耗、徑四五耗内外。南日本ノ熱帯海産ナリ。

第二七〇八圖



Oliva mustelina.

マクラガヒ (枕貝) マクラガヒ科  
略々圓柱形ヲ呈シ、螺塔ハ低キモ尖ル。螺層ハ約五階ヲ有シ、縫合深ク、體層ハ特大形ニシテ長シ。殼表ハ滑澤ニシテ、黄色地ニ細キ濃茶褐色ノ波狀縱線密在シ、磨滅シタルモノハ、淡褐色ヲ呈ス。殼高ハ三〇耗ニシテ、徑一三耗内外ナリ。殼口ハ狭長ニシテ、内面ハ黄色ヲ呈ス。内唇ニ幾多シ。本州以南九州ニ分布ス。

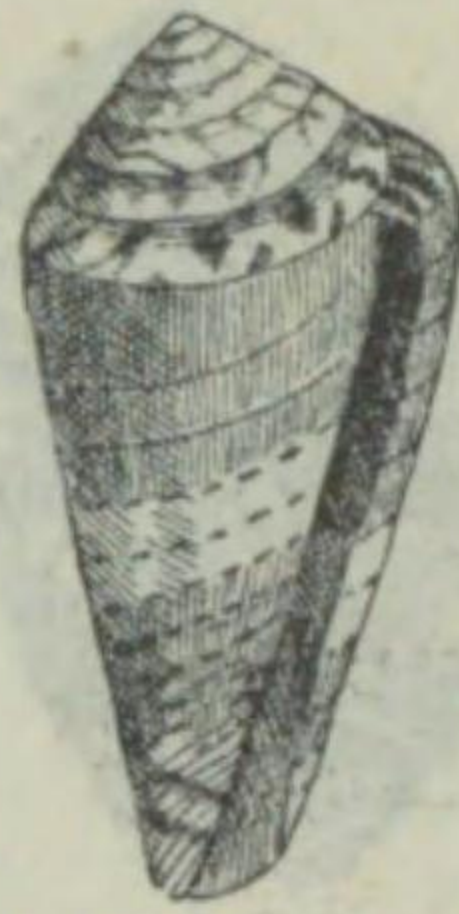
クロミナシ (黒身無) イモガヒ科

第二七〇九圖



Conus marmoreus.

螺塔低ク長圓筒形ヲナス。螺層ハ約一階ヲ有シ、下方各層ノ肩角ニ低キ結節アリ。殼表ハ滑澤ニシテ、白色乃至淡紅色ヲ呈シ、濃黒紫色ノ大斑ニヨル網狀紋ヲ形成ス。殼長七五耗ニシテ、徑三八耗内外ナリ。琉球及ビ臺灣ニ分布ス。



第二七〇圖

Conus fulmen.

貝塔ハ低ク鐘形ヲナシ、螺層ハ約八乃至一〇階ヲ有ス。體層ハ頗ル長大ニシテ、下方ニ細マル。殼表ハ滑澤ニシテ、白色ニ濃紫褐色ノ大斑ヲ有セルモ、赤褐色ノ殼皮ヲ被レリ。殼高ハ七〇耗、徑三〇耗内外。殼口ハ狹長ナリ。紀伊以南ニ分布ス。本科ノモノハ肉色ニシテ、二枚貝ニ穿孔シ、體液ヲ吸收シ、斃死セシム。

ベツカファイモガヒ (鼈甲芋貝)

イモガヒ科

第二七一圖



Turris leucotropis.

螺塔ハ頗ル高ク、殼頂ハ尖リ螺層ハ一階アリテ、各層ノ肩角ハ顯著ニシテ、弱キ螺脈ヲ有ス。殼色ハ淡黄褐色ナリ。殼高ハ六五耗ニシテ徑二〇耗内外ナリ。殼口ハ卵形ヲ呈シ、外唇ニ切レ込ミアリテ、水管溝長シ。南日本ニ分布ス。

クダマキガヒ (管巻貝)

クダマキガヒ科

第二七一二圖



Turricula kaderleyi.

螺塔ハ高ク、各螺層ノ肩角ハ鈍結節ヲナス。縫合ハ淺ク、殼色ハ白色ニシテ、太キニ褐色螺帶アリ。殼高ハ六〇耗、徑二五耗内外ナリ。殼口ハ卵形ヲ呈シ、外唇ニ切レ込ミアリテ、水管溝長シ。南日本ニ分布ス。

キクチガヒ (猪口貝) クダマキガヒ科

第二七一三圖



Bathytoma luhdorfi.

螺塔ハ高クシテ尖リ、螺層ハ約八階ヲ有ス。肩角ノ稍々斜下方ニ長キ結節アリテ、ソノ下部ニ螺脈ヲ有ス。殼色ハ淡黄褐色ニシテ、脈間ハ白色ナリ。殼長六〇耗、徑二〇耗内外。殼口ハ卵形ニシテ大キク、内面ハ白色ヲ呈シ、外唇ノ切込ミ太シ。本州中部ニ産ス。

シャチク (車軸) クダマキガヒ科

第二七四圖



Terebra maculata.

螺塔ハ頗ル高ク、長圓錐形ヲナス。螺層ハ一五階ヲ有シ、縫合部ハ筒狀ヲ呈ス。殼頂ニ近キ數層ノ中央ニ淺キ螺溝ヲ繞ラシ、又不明ナル縱脈多シ。殼表ハ滑澤ニシテ、淡肉色地ニ白色及ビ黄色暈ヲ有シ、各層ハ暗紫褐色ノ顯著ナル縱斑ニ列シ頗ル美麗ナリ。殼高二〇〇耗徑二〇耗内外。殼口ハ略々三角形ヲ呈シ、比較的狹ク、内面ハ白色ナリ。琉球及ビ大島等ニ分布シ、加工シテ花挿トナス。

リウキウタケ (琉球筒)

タケノコガヒ科

第二七五圖



Terebra diversa.

螺塔ハ頗ル高ク、螺層ハ一四階ヲ有ス。殼表ハ滑澤ニシテ、暗褐色乃至暗若褐色ヲ呈シ、縫合ノ直下ニ白帯アリ、コノ中ニ茶褐色ノ點紋一列ニ並列セリ。殼高三〇耗ニシテ、徑六耗内外ナリ。南日本ニ分布ス。

シテクガヒ (紫竹貝) タケノコガヒ科

タケノコガヒ科

第二七六圖



Terebra triseriata.

螺塔ハ頗ル高ク、細クシテ、錐狀ヲナス。螺層ハ頗ル多ク、往々五〇階以上ニ達スルコトアリ。殼表ハ縫合線上ニ一條、下ニ二條ノ顆粒帶ヲ有シ、更ニソノ下ニ小顆粒帶ヲ有セリ。殼色ハ淡黄褐色ヲ呈ス。殼高ハ九〇耗ニシテ徑三耗内外ナリ。殼口ハ短筒形ヲ呈シ、内面ハ白色ニシテ、前溝ハ反曲ス。南日本ニ分布ス。

キリガヒ (錐貝) タケノコガヒ科

タケノコガヒ科

カヤノミガヒ (樺實貝)

オホシヒノミガヒ科

Pupa sulcata.

殼ハ右旋シ、全形樺實形ヲ呈シ、體層頗ル大ナリ。螺層ハ七乃至八階アリテ、體層ノ表面ニ多クノ螺溝ヲ有ス。殼表ハ白色又ハ淡褐色ニシテ、黑色ノ小斑散在セリ。殼高ハ二五耗、徑一〇耗内外。殼口ハ狹長ニシテ、下方ハ擴ガリ、内面ハ白色ナリ。南日本ノ海ニ採集セラル。

第二七—八圖



スチウネリチヤウジガヒ

(條迂丁字貝)

ホソスチヤウジガヒ科

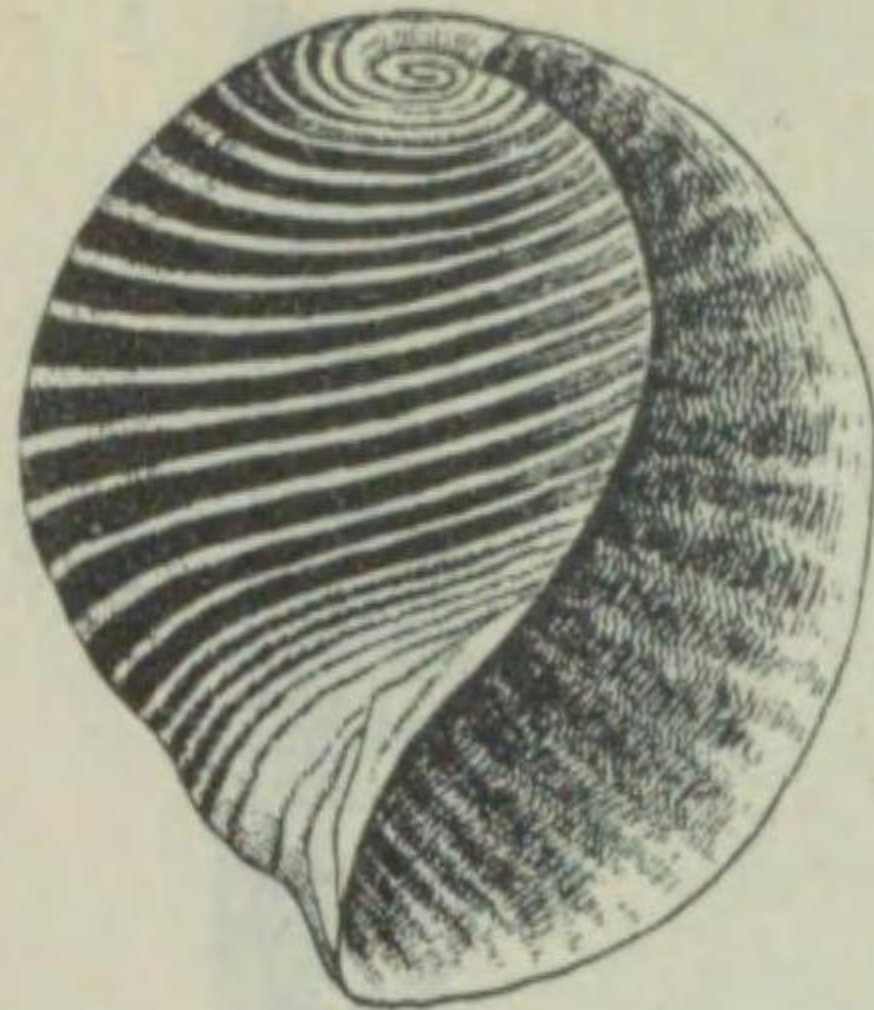
Rissoina loevicostulata.

螺塔ハ高ク、螺層七・五階ヲ有シ  
縱肋多シ。殼表ハ灰白色乃至淡褐  
色ナリ。殼高ハ五耗ニシテ、徑二  
耗内外ヲ有シ、殼口ハ半月形ニシ  
テ、白色ヲ呈ス。唇ハ角質ニシテ  
厚シ。暖海ノ砂地ニ棲息シ、南日  
本ニ採集セラル。

ミスガヒ (御簾貝)

ミスガヒ科

第二七—九圖



Hydatina physis.

殼ハ略々球形ニシテ薄ク、螺層ハ  
二・五階ヲ有ス。體層ハ頗ル大形  
ニシテ、螺塔ハ略々體層ト同一平  
面ニアリテ突出セズ。殼表ハ黑色  
及ビ黄色ノ交互ノ環帶多ク、殼口  
ハ長橢圓形ニシテ、頗ル大形ナリ。  
殼高四〇耗、徑二五耗内外。南日  
本ノ海ニ採集セラル。

第二七—二圖



Petalifera punctulata.

體ハなめくぢ狀ニシテ、後方ハ稍  
々膨大シ、前觸角、背觸角トモニ  
桿狀ヲ呈ス。背觸角ノ基部ニ藍色  
ノ小眼ヲ有シ、背孔ハ後方ニ分た  
レ、雌雄同體ニシテ、體長二五耗  
内外ナリ。綠色ニ白色縱走線アリ  
テ水面ヲ倒泳ス。相模灣ニ採集セ  
ラル。

ウミナメクチ (海蛞蝓) アメフラシ科

タツナミガヒ (立浪貝) アメフラシ科

第二七—三圖



Dolabella sp.

體ハ圓錐形ヲナシ、後端ハ截斷狀  
ニシテ、葉狀突起多シ。體ハ變化  
多キモ、概ネ紫青褐色ニシテ淡  
色ノ大斑ヲ有ス。前鰓角ハ耳形ヲ  
ナシ、背觸角ハ圓筒狀ナリ。背面  
ニ葉狀突起ヲ有シ、背孔ハ前後ニ  
分たレ、雌雄同體ナリ。體長一五  
〇耗ニシテ、幅八〇耗内外。南日  
本ニ産ス。

第二七—〇圖



キセワタ (着縮)

(異名) グルマウミウシ

キセワタ科

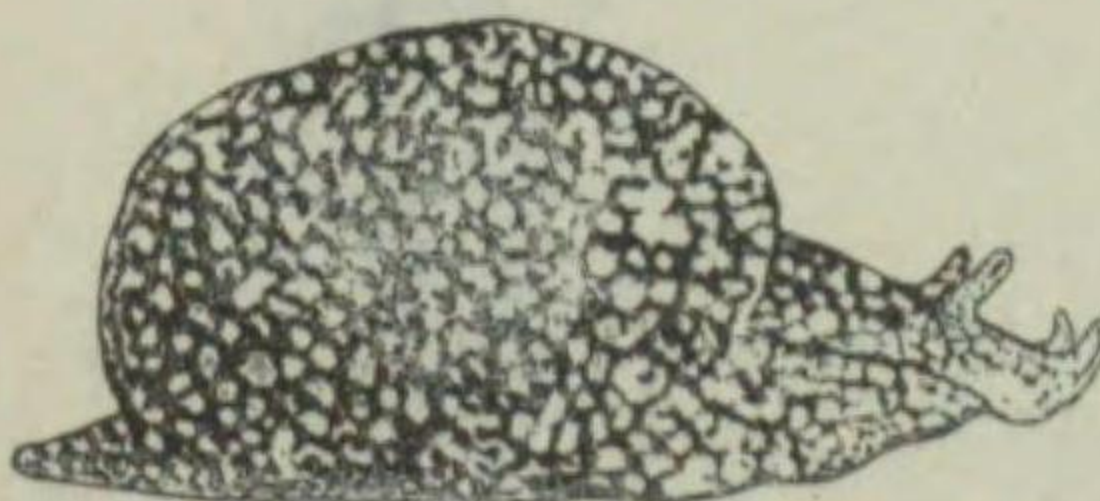
Philine japonica.

體ハなめくぢ狀ヲ呈シ、白色ニシ  
テ柔軟ナリ。頭部ハ柄狀ニシテ、  
中央ニ暗色線アリ。兩側ニハ偽外  
套膜ノ一部反轉シ、外套膜ハ薄ク  
舌形ヲナシ内ニ介殼アリ。介殼ハ  
薄ク白色半透明ニシテ、殼口ハ大  
キタ螺塔ヲ認メ難シ。體ノ後端中  
央ハ短ク切レ込メリ。長サ三五耗  
ニシテ、幅一八耗内外ナリ。東京  
灣及ビ相模灣ノ海濱砂泥中ニ棲息  
セリ。

アメフラシ (雨虎)

アメフラシ科

第二七—一圖



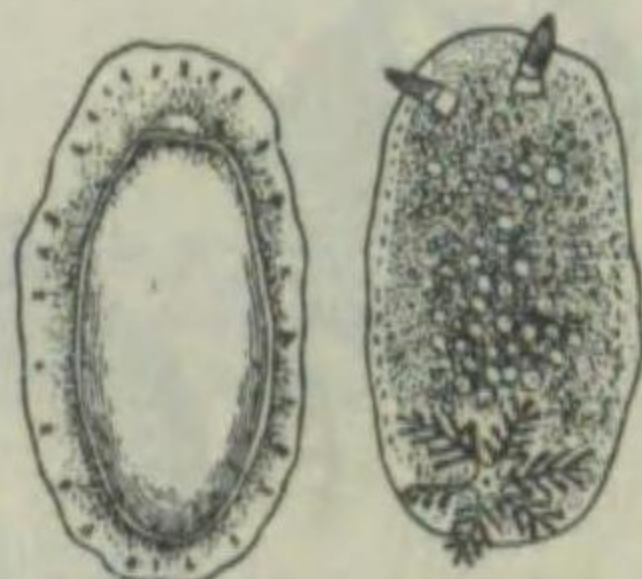
Tethys punctata.

體ハ卵圓形ヲ呈シ、頭部ニ對ノ觸  
角ハ顯著ナリ。背觸角ノ基部ニ眼  
ヲ有シ、足部ノ縁ノ偽外套膜ハ頗  
ル廣ク、游泳用トナル。橢圓形ノ  
外套膜及ビ殼ヲ被フ。體長一五〇  
耗内外ナリ。帶紫黑色ニ白斑密布  
シ、卵ヲ海索麩ト云ヒ、鰾質卵囊  
ニ被ハレ、外套内ノ腺ヨリ紫色液  
ヲ分泌ス。新鮮ナルモノハコレヲ  
食用ニ供ス。各地ニ見出サル。

ヤマトウミウシ (倭海牛)

エラカクレウミウシ科

第二七—四圖



Doris japonica.

體ハ橢圓形ニシテ、背面ハ穹隆シ  
疣狀突起多シ。前鰓ニ近ク、横皺  
多キ短指狀ノ觸角アリ。正中線上  
後端ニ近ク肛門ヲ圍ミ、五葉ノ羽  
狀ヲ呈セル鰓アリ。共ニ觸ルレバ  
縮退ス。長サ六〇耗ニシテ、幅三  
〇耗内外ナリ。帶綠黃褐色乃至淡  
褐色ナリ。南日本ノ海岸ニ普通ニ  
見出サル。

オホエラウミウシ (大鰓海牛)

エラカクレウミウシ科

第二七—五圖

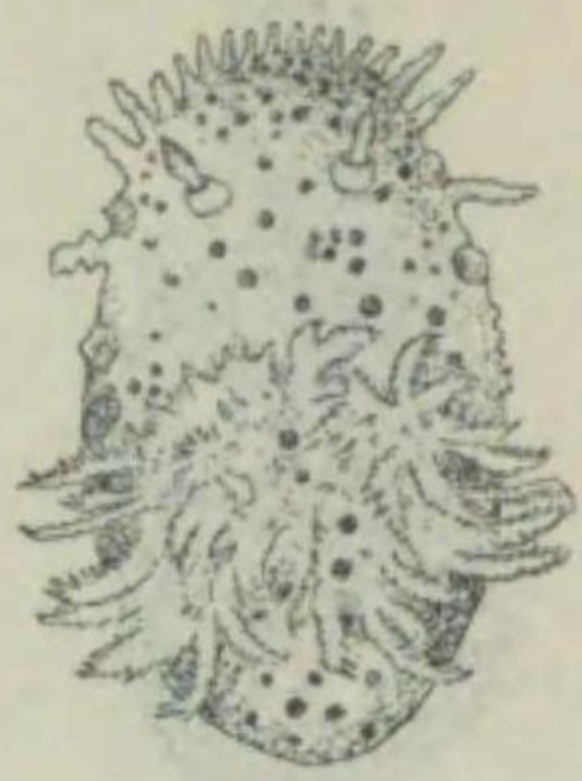


Argus speciosa.

體ハ扁平ナル小判形ナリ。背縁ニ  
數多キ波形ノ皺ヲ有ス。背觸角ハ  
大形ニシテ先端部ニ横皺アリ。肛  
門ノ周圍ニ六葉ノ羽狀ヲ呈セル大  
形ノ觸角アリテ、共ニ縮退性ナリ。  
長サ六〇耗ニシテ幅三五耗内外。  
背面ハ濃茶褐色地ニ淡黃褐色ノ大  
斑アリテ、暗褐色及ビ白色縁ヲ有  
セル褐色小斑散在セリ。三崎ノ東  
京帝大臨海實驗所附近ノ二米内外  
ノ岩礁底ニ八月頃採集セラル。



第二七二六圖



Kalinga ornata.

體ハ橢圓形ナリ。背面ハ白色或ハ黄色ヲ呈シ、綠色及ビ淡紅色混淆シ、白色ノ疣突起多ク、背縁前部ニ總狀突起多シ。背角ハ基部ノ隆起及ビ先端深紅色ヲ呈シ、軸部白色ナリ。鰓ハ深紅色ヲ呈シ、五葉ニシテ、各分離シ鮮美ナルモノナリ。長サ一〇〇耗、幅六〇耗内外。三崎或ハ館山等ノ深海ニ稀ニ採集セララル。刺戟セバ發光ス。

ハナテンシヤ (花電車)

エライテウミウシ科

第二七二七圖



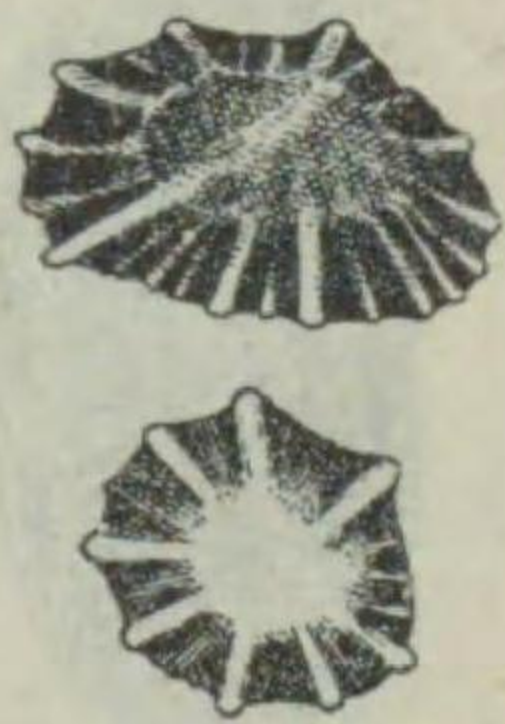
Pleurophyllidia japonica.

體ハ舌狀ヲナシ外套膜ハ頗ル廣ク背面ヲ被フ。黑色ニ平行セル、細キ淡黄色ノ縱縞アリ。頭部及ビ足部ハ帶紫色ニシテ、黄色縁ヲ有シ、鮮美ナリ。鰓ハ外套膜ノ下ニ隠レ後方ニ約四〇葉ヲ有ス。體長五〇耗ニシテ、幅二〇耗内外ナリ。暖海ノ淺キ磯ノ岩下等ニ採集セララル。

タテジマウミウシ (縦縞海牛)

プレウロフィリディア科

第二七二八圖



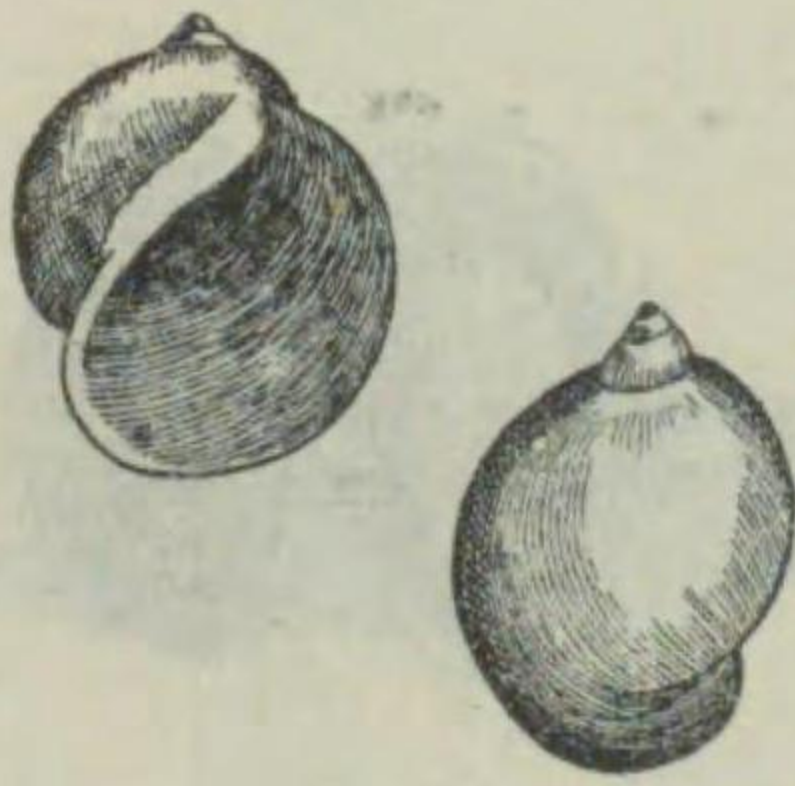
Siphonaria sirius.

殼ハ圓錐形ニシテ、六乃至七條ノ顯著ナル放射肋ヲ有ス。殼表ハ黒褐色ニシテ放射肋ハ灰白色ヲ呈ス。殼ノ内面ハ中央ニ橢圓形ノ藍色ナル窩心部アリテ、周縁ハ黒褐色ナリ。殼高三耗ニシテ、徑二〇耗内外。南日本ノ岩礁上ニ着生ス。

キクノハナガヒ (菊花貝)

キクノハナガヒ科

第二七二九圖



Lymnaea japonica.

殼ハ右旋シ、螺層三階ヲ有ス。體層ハ頗ル大形ナルモ、螺塔ハ小形ナリ。殼質ハ薄脆、殼表平滑ニシテ細縦條ヲ有シ、銜色又ハ褐色ヲ呈ス。殼高二〇耗、徑一五耗内外。殼口ハ橢圓形ヲナシ、頗ル大形ナリ。池沼ニ普通ニ棲息セルモノニシテ時々水面ニ浮ビ空氣ヲ呼吸ス。コノ類ハ吸蟲類ノ中間寄主トシテ知ラル、モノナリ。

モノアラガヒ (物洗貝)

モノアラガヒ科

第二七三〇圖



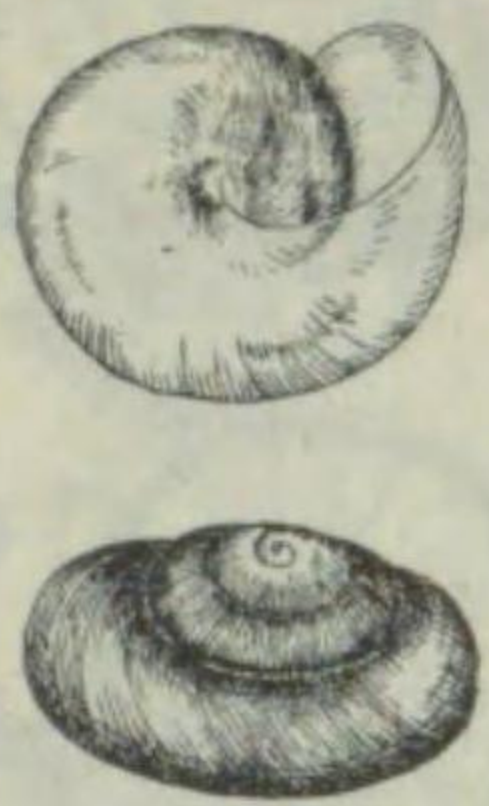
Camptoceras hirasei.

化石トシテ廣ク分布セルモ現存種少シ。銜棒ヲ振レル如キ形ヲナセル左巻ノ貝ニシテ、螺層三乃至四階ヲ有ス。殼質薄ク銜色ヲナス。殼表ハ平滑ニシテ細線アリ。殼長五耗、徑一耗内外ヲ有シ、殼口ハ長橢圓形ニシテ、頗ル大形ナリ。琵琶湖ノ他、各地ノ池沼ノ沈木或ハ水草等ニ着生ス。

カハネチガヒ (皮板貝)

カハネチガヒ科

第二七三一圖



Patalochlamys perfragilis.

螺塔ハ低ク、螺層ハ四・五階アリ。各螺層ハ腹レ、體層ハ増大セリ。體層ハ極メテ大キク、周縁ハ丸形ナリ。殼表ニハ細微ナル彫刻ヲ有シ、銜色ヲ呈シ、光澤強シ。徑一五耗、高六耗内外ニ達ス。殼口ハ廣キ新月形ヲナセリ。陸棲ニシテ、琉球、大島等ニ分布ス。

ベッカフヤヒマヒ (龍甲蝸牛)

ベッカフヤヒマヒ科

第二七三二圖



Meghimatium bilineatum.

無殼ニシテ、體ハ稍々延長シ、背部全體ハ外套膜ニテ覆ハレ、淡褐色ニ三條ノ黒褐色帯及ビ黒色ノ小斑點ヲ有シ、腹面ハ足部ニシテ淡黄色ヲ呈シ、肺孔ハ體ノ前右側ニ位セリ。體長六〇耗内外ニ達ス。草食性ニシテ雌雄同體ナリ。植物ノ大害蟲ナリ。各地ニ分布ス。

ナメクチ (蛞蝓)

ナメクチ科

第二七三三圖



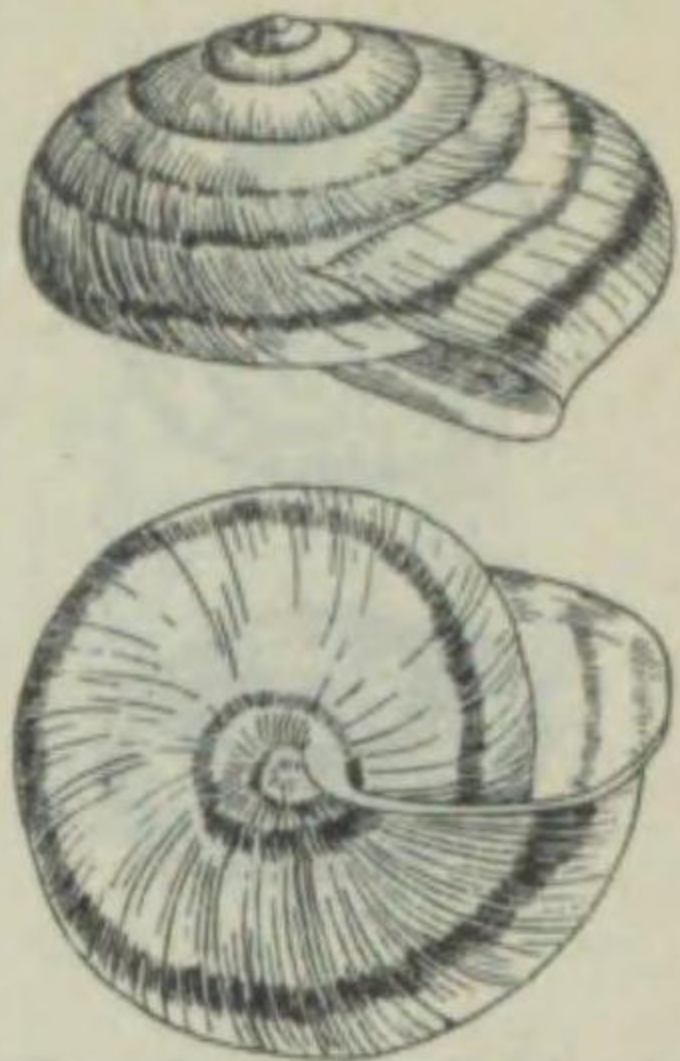
Eulota callizona amaliae.

殼ハ右旋シ、稍々圓味ヲ帯ビタル圓錐形ニシテ、螺塔稍々高シ。螺層ハ五階ヲ數ヘ、各層ハ稍々腹レ縫合線明瞭ナリ。殼表ハ淡黄色或ハ紫褐色ノ廣帯ヲ繞ラシ、體層ニテハ二條ナリ。稀ニ之ヲ缺ケルモノアリ。殼表ニハ稍々密ナル成長線及ビ之ニ交ハレル微細ナル多クノ螺線ヲ有ス。殼高二四耗、徑二七耗内外ナリ。殼口ハ圓ニ近ク、口縁ハ成體ニテハ稍々厚ク、外方ニ反曲シ、淡紅色ヲ呈セリ。關西地方ニ廣ク分布シ、植物ヲ害ス。

クチベニマヒマヒ (口紅蝸牛)

ハリックス科

第二七三四圖



*Eulota poliomphala*.

ミズチマヒマヒ (三條蝸牛)   
 (ヘリックス科)   
 殼ハ大形ニシテ、右旋シ、螺塔ハ稍々低ク、螺層ハ五・五階ヨリ成ル。殼表ハ白色或ハ淡黄色地ニ褐色帯三條ヲ有ス。殼高二八耗、徑二九耗内外ナリ。殼口ハ圓形ニ近ク、口縁ハ外方ニ肥厚反曲セリ。夜間活動シテ、桑葉、野菜等ヲ害ス。關東地方ニ普通ニ見出サレ。

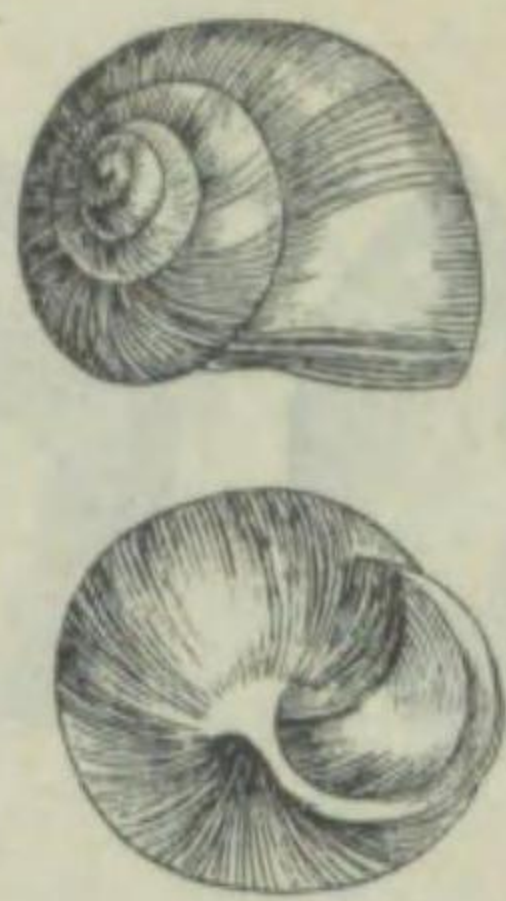
第二七三五圖



*Eulota luhuana*.

ヒトスチマヒマヒ (ヘリックス科)   
 殼ハ大形ニシテ右旋シ、螺塔ハ低ク、螺層ハ六階ヲ有シ、縫合ハ顯著ナリ。殼表ニハ粗キ刻線ヲ有シ、淡黄色或ハ淡褐色地ニ一條ノ稍々太キ帯ヲ有シ、時ニ二條若シクハソレ以上ヲ有スルコトアリ。殼高三〇耗、徑二五耗内外ニ達ス。殼口ハ丸ク、口縁ハ白色ニシテ厚ク、外方ニ反曲セリ。九州ニ最も普通ナル種類ナリ。

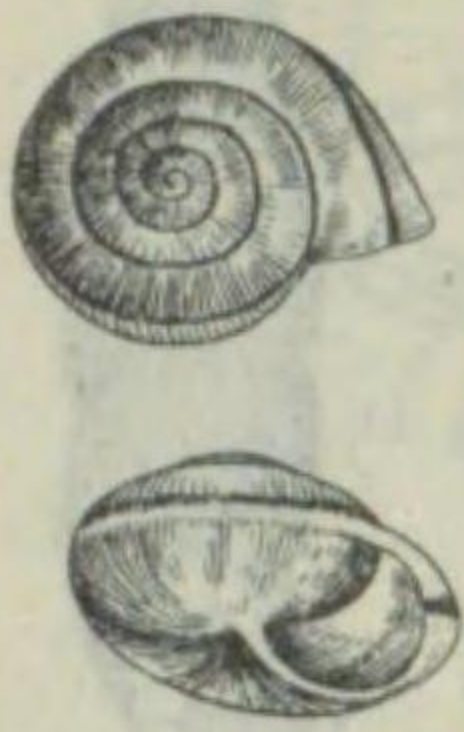
第二七三八圖



*Eulota sieboldiana*.

ウスカハマヒマヒ (薄皮蝸牛)   
 (ヘリックス科)   
 殼ハ頗ル薄クシテ破損シ易ク右旋シ、螺層ハ約五階ヲ數ヘ、各螺層ハ服レ、縫合明瞭ナリ。殼表ハ淡黄色或ハ帯黑色ヲ呈シ、光澤強シ。殼高一九耗、徑二〇耗内外ナリ。殼口ハ圓ク、口縁ハ肥厚反曲セズ。北海道ヲ除キ殆ド全土ニ分布シ、田圃或ハ叢間ニ群棲シ、農作物、桑等ニ害ヲナス。

第二七三九圖



*Eulota similaris stimpsoni*.

オナジマヒマヒ (同蝸牛)   
 (ヘリックス科)   
 殼ハ小形ニシテ右旋シ、約五階ノ螺層ヨリナリ、各螺層ハ急ニソノ大サヲ増加スル傾向ヲ表シ、體層ハ比較的大キク、ソノ周縁ニハ角ヲ具フ。殼表ハ銜色ヲ呈シ、時ニ一條ノ細キ褐色帯ヲ繞ラシ密ナル刻線ヲ有セリ。殼高九耗、徑一五耗内外ナリ。殼口ハ圓ク、口縁僅ニ反曲シ、臍孔大ナリ。世界ニ廣ク分布ス。

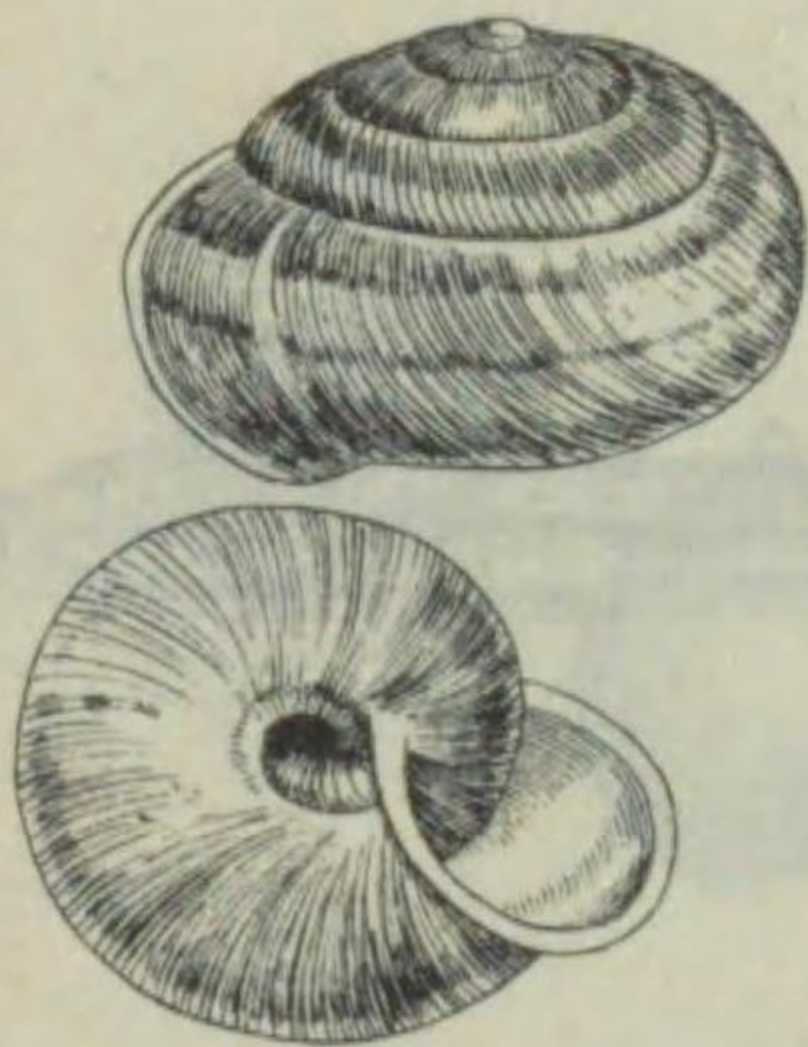
第二七三六圖



*Eulota quaesita*.

ヒタリマキマヒマヒ (左巻蝸牛)   
 (ヘリックス科)   
 殼ハ大形ニシテ左旋シ、螺塔ハ低ク、螺層ハ六階ヲ有ス。殼表ハ淡黄色或ハ淡褐色地ニ一條ノ色帯アリ。殼高二五耗、徑三〇耗内外ニ達ス。殼口ハ圓ク、内面ハ白色ナリ。關東及ビ中部地方ニ分布シ、五月下旬ヨリ七月下旬頃ニ出現シ、交尾後一〇日位ニシテ産卵ス。桑ノ害虫ナリ。

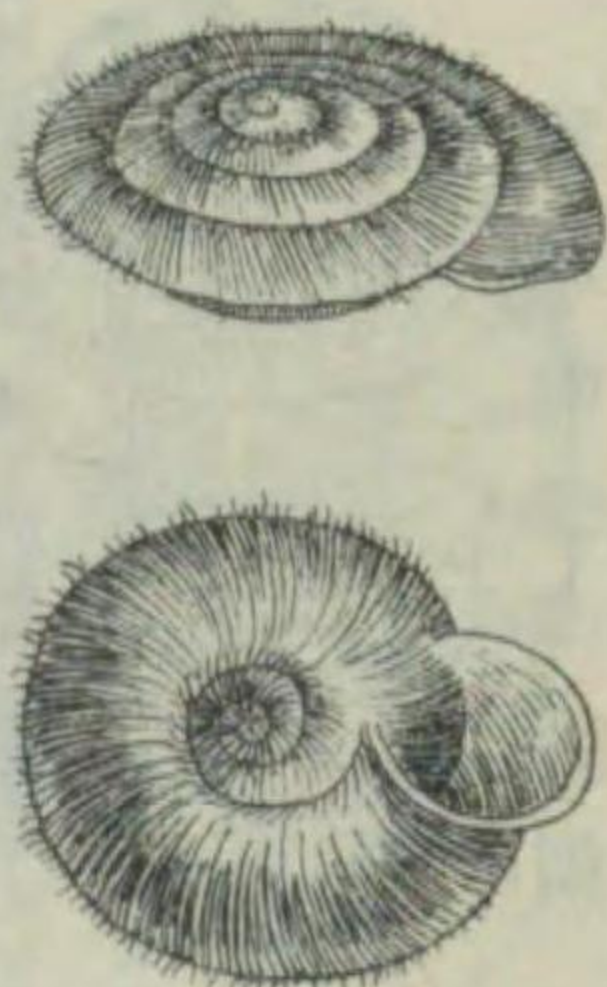
第二七三七圖



*Eulota senkenbergiana*.

クロイハマヒマヒ (黒岩蝸牛)   
 (ヘリックス科)   
 本邦産まひまひ中最大ナルモノニシテ、殼ハ右旋シ、形態みすぢまひまひニ酷似セリ。殼表ハ濃赤褐色ヲ呈シ、粗キ刻線ヲ布ケリ。殼高三〇耗、徑五〇耗内外ニ達ス。信濃、飛騨等ノ高地ニ採集セラル。

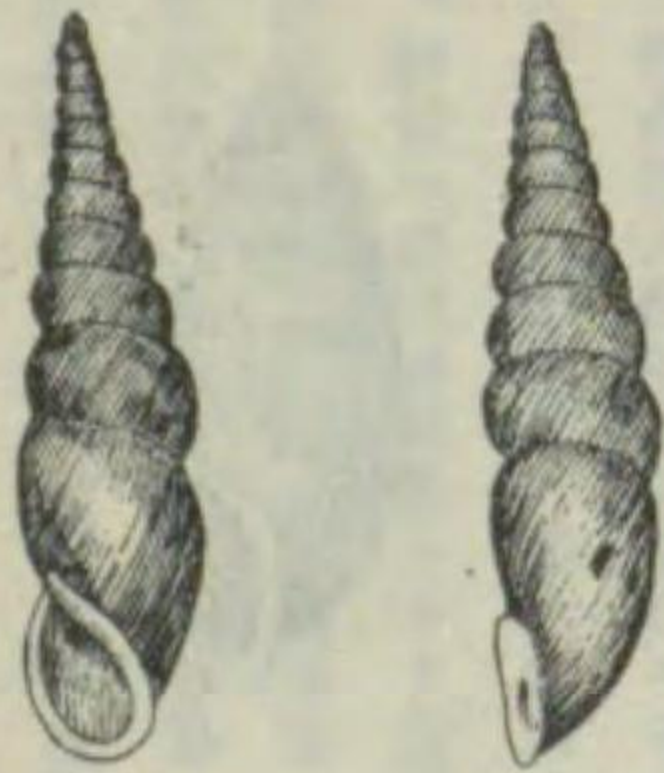
第二七四〇圖



*Pleetotropis vulgivaga*.

オホケマヒマヒ (ヘリックス科)   
 殼ハ扁平ニシテ右旋シ、碁石形ヲナセリ。殼層ハ約六階ヲ數ヘ、體層ニハ周縁ニ鋭キ角ヲ有シ、之ニ毛茸ヲ有セル表皮ヲ被レリ。殼表ハ淡黄褐色ノ地色ヲ有シ、光澤強カラズ。殼高五耗、徑二〇耗内外ナリ。殼口ハ重菱形ヲ呈シ、口縁ハ白ク光澤アリ、上縁ハ薄キモ下縁ハ厚ク反曲セリ。本州、四國等ニ普通ニ見出サレ、古來藥用ニ供セラル。

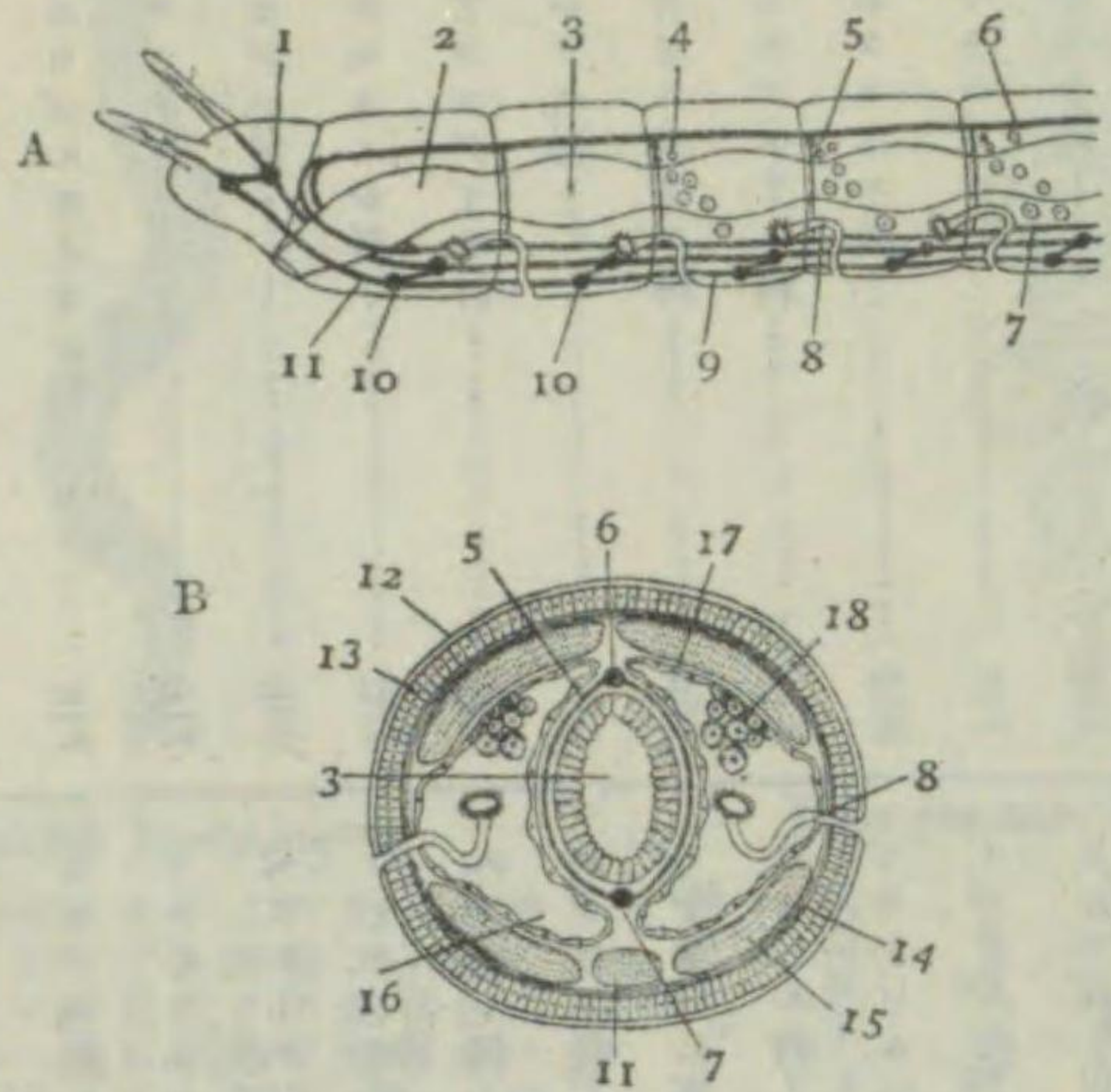
第二七四一圖



*Phaedusa japonica*.

ナミキセル (並煙管貝) キセルガヒ科   
 殼ハ小形ニシテ細長ク、煙管ノ如キ形ヲナシ、左旋ス。螺層ハ多ク一階ヲ數ヘ、各螺層ハ稍々服レ縫合線ハ明瞭ナリ。殼表ハ灰白色乃至赤褐色ヲ呈シ、刻線ハ比較的粗ニシテ、光澤少シ。殼高二五耗徑六耗内外ナリ。殼口ハ卵圓形ヲ呈シ、口縁ハ厚ク、反曲シテ白色ナリ。中國、四國ニ普通ニシテ、關東地方ニモ分布ス。桑ノ大害虫ナリ。

第二七四六圖



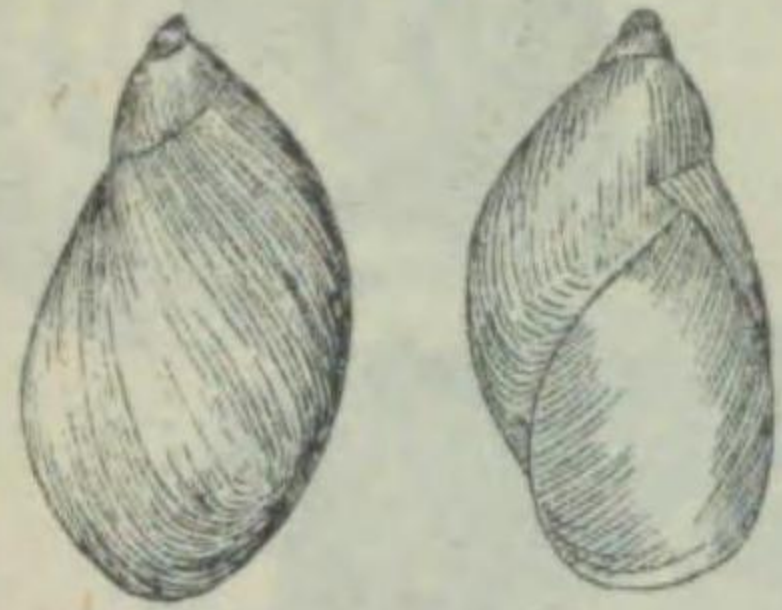
A 環形動物模型圖 B 同横斷模圖

- |       |           |       |
|-------|-----------|-------|
| 1 脳   | 7 腹血管     | 13 外皮 |
| 2 食道  | 8 腎管(環節器) | 14 筋走 |
| 3 腸   | 9 腹神経     | 15 筋走 |
| 4 卵   | 10 腹神経節   | 16 體腔 |
| 5 横血管 | 11 食道神経環  | 17 腹膜 |
| 6 背血管 | 12 クチクラ   | 18 卵  |

環形動物門概説

本門ノ動物ハ通常圓筒狀長形ニシテ一般ニ數多ノ體節、即チ環節ヨリ成リ、體腔ハ隔膜ニヨリテ體節ト略同數ニ分割セラレ、頭部、尾部ノ他ハ殆ド同形ナリ。體ノ表面ハヨク發達セル硝子膜ニヨリテ覆ハレ、其内面ニ外皮細胞ヲ有シ、更ニ内側ニ環狀筋及ビ縱走筋ノ二層アリテ以テ體腔壁ヲナス。排泄器ハ所謂腎管ニシテ體節毎ニ一對宛ヲ存スルガ故ニ一般ニ環節器ト呼バル。消化系ハ體ノ前端ニ存スル口ニ始マリ、咽頭、食道、腸之ニ次ギ體ノ末端ニ於テ肛門ニ開ケリ。此類ノ動物ハ閉鎖血管系ヲ具ヘ、其主要ナル血管ハ消化管ノ背側ヲ縱走スル背血管ト其腹側ヲ走レル腹血管ニシテ血液ハ背血管ノ後端ヨリ前端ニ進ミ、腹血管ハ前端ヨリ後端ニ向ヒテ流通ヲ行フ。此兩主要血管ハ腸ノ表面ニ沿フテ走レル數多ノ横血管ニヨリテ連絡ス。神經ハ梯狀神經系ニシテ食道ノ背側ニ一對ノ腦ヲ有シ、其腹側ニ食道下神經節ヲ具フ、而シテ此兩者ハ神經索ニヨリテ環狀ニ連結セラル。雌雄異體又ハ同體ニシテ生殖器ハ其構造複雑ナルモノ少ナカラズ。本門ヲ原環蟲類、毛足類、蛭類、蠶蟲類ノ四綱ニ分ツ。

第二七四三圖



Senecinea lauta.

體層ハ急ニ擴大シ、殼頂ハ薄シ。殼表ハ銜色ヲナシテ細絲様ノ生長線ヲ有シ、光澤顯著ナリ。殼高二五耗、徑七耗内外ニ達ス。殼口ハ大キク長橢圓形ヲ呈セリ。東北地方、北海道及ビ樺太等ニ分布セリ。

第二七四二圖



Phaedusa martensi.

殼ハ長ク、螺層ハ九階ヲ數ベ、各層ハ稍々脹ル。殼表ノ刻線ハ明瞭ニシテ、普通淡赤褐色ヲ呈シ、光澤強シ。殼高四五耗、徑一〇耗内外ニ達ス。殼口ハ比較的小サク、口縁ハ極メテ厚ク、外方ニ反曲シ白色ニシテ強キ光澤ヲ有ス。關東地方ヨリ四國ニ分布セリ。

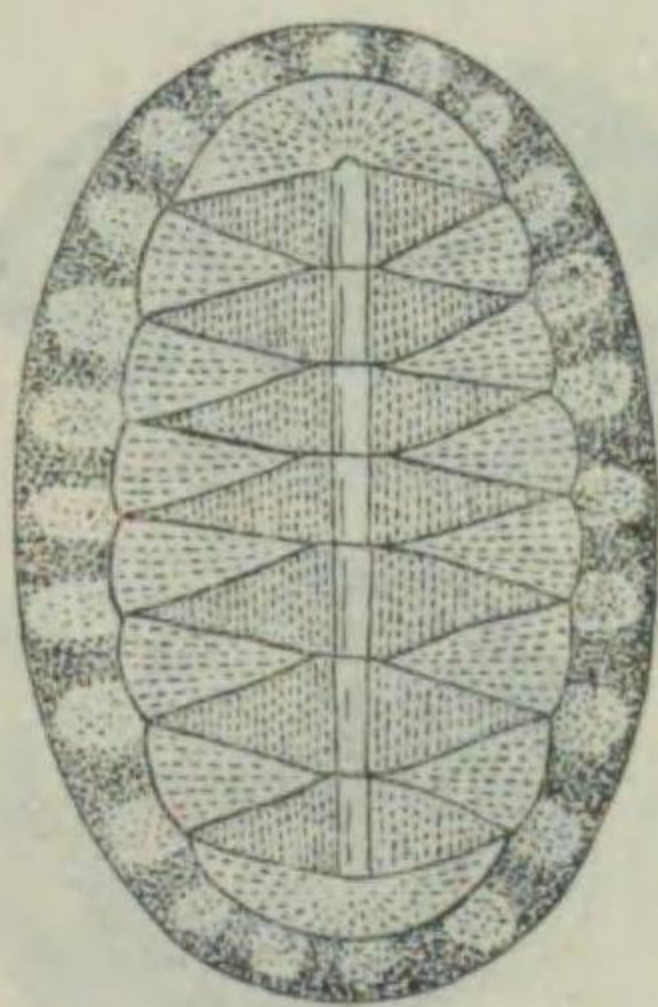
マカモノアラガヒ (陸物洗具)

マカモノアラガヒ科

マルテンキセル

キセルガヒ科

第二七四五圖



Ischinchiton coreanus.

體ハ長橢圓形ニシテ、板殼ハ黃褐色ヲナシ大キク、ソノ中央ニ鐘狀ノ一六乃至一七縱線ヲ有シ、兩側ハ粒狀ヲナセリ。肉帶ハ濃綠色ニシテ帶黃色ノ細鱗ヲ有ス。體長三〇耗幅二〇耗内外ナリ。岩礁ノ下面ニ寄生シ、南日本ニ分布ス。

第二七四四圖



Ena reticulata.

殼ハきせるガヒニ似タルモ、右旋シ、稍々太クシテ短ク、螺層ハ約七階ヲ數ヘ、殼塔ハ鈍シ。殼表ニハ強キ光澤アリテ灰白色ヲ呈シ、縫合ハ明瞭ナリ。殼高二〇耗、徑七耗内外ニ達ス。殼口ハ橢圓形ヲ呈シ、口縁ハ外方ニ反曲シテ白色ヲナセリ。大島、琉球等ニ分布ス。

ヤスリヒザラガヒ (蝸石蟹)

ウスヒザラガヒ科

キカイキセル (鬼貝管)

キセルモドキ科

環形動物科名目次

ポリゴルデイウス科	七二九
ゴカイ科	七二九
イソメ科	七三〇
ウロコムシ科	七三一
アフロディテ科	七三一
シリヌ科	七三二
フィロドローケ科	七三二
トモプテリス科	七三三
ネフテイス科	七三三
ウミケムシ科	七三三
チロリ科	七三三
スヒクテムシ科	七三四
ケートプテリス科	七三四
アレニコラ科	七三四
テレベラ科	七三五
ケヤリムシ科	七三五
セルプラ科	七三五
トウビフェツクス科	七三六
ベリケータ科	七三六
ウミミミズ科	七三六
エラビル科	七三七
ウヲビル科	七三七
カザリビル科	七三七
ウミビル科	七三八
ヒラタビル科	七三八
イシビル科	七三九
ヒルド科	七三〇
ユムシ科	七三一

第二七四七圖



Polygordius ijimai.

ポリゴルデイウス・イイジマイ  
ポリゴルデイウス科

體ハ細長ク圓紐狀ニシテ、纖毛ヲ欠キ、肛環節ニ三本ノ絲狀突起アリ。雌ハ鮮紅色ヲ呈シ、雄ハ帯紅乳白色ナリ。體長七〇—八〇耗内外ナリ。

第二七四八圖



Nereis japonica.

ゴカイ (沙蠶)  
ゴカイ科

體ハ稍々扁平ナルのみザ形ニシテ淡紅色又ハ帶黃紅色ヲ呈シ、前部ノ背面ハ黑褐色ニシテ、ソノ中央ヲ縱走セル血管鮮紅色ナルヲ以テ美ナリ。口前葉ニ二對ノ眼及ビ二對ノ感觸器ト有シ、外腹方ノソレハ頗ル太ク、先端ニ球狀部アリ。口ニハ突出シ得ル吻ヲ有ス。大ナル一對ノ大顎ヲ有シ、背腹兩面ニ小點狀ノ小顎ヲ具フ。第一體節ノ兩前隅ニ四觸鬚アリ。淡水ノ夜間ニ生殖群泳ス。釣魚ノ餌料。

第二七四九圖



Ceratocephale osawai.

イトメ (絲目)  
ゴカイ科

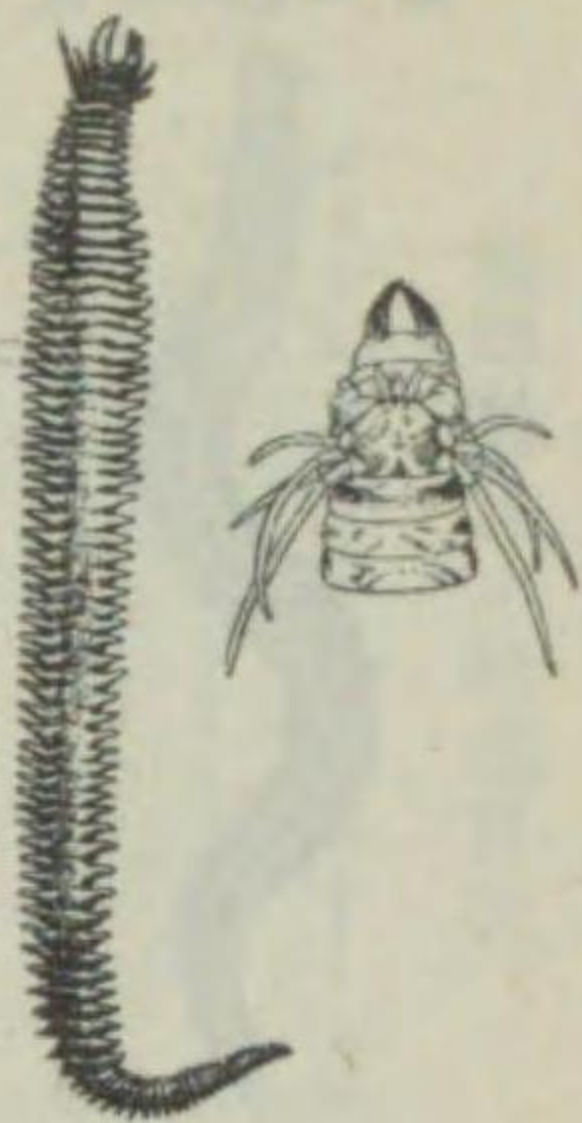
ばちノ未熟期ヲ云フヲ以テ、體長一定セザレドモ概ネ二〇—二五〇耗、幅三—四耗内外ナリ。大形ナルモノニテハ環節數三〇〇ヲ算ス。頭部小サク、前向セル一對ノ觸手及ビソノ下側ニ大ナル剛感觸器一對、上面ニ二對ノ眼ヲ有シ、第一環節ニハ四對ノ觸鬚ヲ有シ、口ニハ二箇ノ大顎アリ。第二環節以下ノ疣足ニハ長短二様ノ剛毛ヲ有シ、肛環節ハ二本ニシテ長シ。體ノ前部背面ハ綠褐色ヲ呈シ、漸次紅色トナリ、中部ヨリ後部ニカケ淡色トナル。背面中軸ニ血管ヲ透視シ得。腹面ハ肉色ヲ呈シ、成熟セバソノ前部約三分ノ一ハ環節次第ニ肥大シ、殘餘ノ部分ノ環節ハ之レニ反シテ次第ニ萎縮シ、遂ニ前部ハ成熟シテ泥沙中ヨリ抜け出シテ浮ビ出ヅ。之レヲばちト稱ス。

バチハ肥大シ、疣足太ク、長短ノ剛毛ハ脱落シテ擲狀ノ剛毛トナル。體環節數ハ七〇—八〇ヲ數ヘ頭胸部及ビ腹部ノ二部ニ分チ得。眼ニハ「レンズ」ヲ有セリ。雄ハ淡紅白色ヲ呈シ、雌ハ始メ帶黃色ニシテ後綠色ニ變ズ。釣魚ノ餌料ナリ。

第二七五〇圖



第二七五一圖



Nereis cultrifera.

ネレイス・クルトリフェラ ゴカイ科  
體ハ細長ク前種ニ似タレドモ、第一體節ノ環輪中頗ル長大ナルモノヲ有ス。體長五〇—七〇耗、幅三—四耗ニシテ、ソノ環節數ハ七〇—八〇ナリ。灰色又ハ灰綠色ニシテ、背面ニ暗色斑ヲ有ス。生殖體ニ於テハ、ソノ疣足ハ大ニ複雑化シ、雄ハ綠黄色ナレドモ、雌ハ稍々白色ナリ。釣魚ノ好餌料ナリ。

スゴカイ (巢沙蠶)

イソメ科

第二七五二圖



Diopatra sugokai.

内灣ノ靜穩ナル汀線附近ノ砂泥ニ棲管ヲ形成シ、ソノ中ニ棲息セリ。棲管ハ地上六〇耗内外突出シ、海藻、砂粒等ヲ附着シ集メ如キ觀ヲ呈セリ。體ハ稍々扁平ニシテ、頭部ノ前方ニ短小ナル二本ノ前觸器ト後方ニ五本ノ長大ナル後觸器ト有ス。體ハ約三〇環節ヨリ成リ、赤褐色ヲナシ、前部ハ暗青色ニシテ虹彩ヲ有ス。第四環節以下ニハ分岐多キ紅色ノ鰓ヲ有ス。體長四〇〇耗、幅一五耗内外。釣魚ノ好餌料ナリ。

イハムシ (岩蟲)

イソメ科

第二七五五圖



Marphysa iwamusi.

體ハ稍々扁平ナレドモ前部ハ圓筒形ヲ呈セリ。頭ハ大形ニシテ、ソノ前縁ノ中央ハ四—五本ノ後觸器及ビ小形ナル二箇ノ眼ヲ有ス。體ハ赤褐色ニシテ、前部ハ紫褐色ノ虹彩ヲ有ス。環節數ハ三四〇内外ニシテ、第三〇環節附近以後ノ疣足ノ背部ニハ鮮紅色ノ分岐セル鰓ヲ有ス。各地沿岸ノ泥砂中ニ埋セリ。釣魚ノ好餌料ナリ。

イソメ (磯蚯蚓)

イソメ科

第二七五六圖



Lumbriconereis japonica.

體ハ細長ニシテミムズニ似タリ。頭ハ鈍圓錐形ヲナシ、感觸器ヲ欠ク。第三環節以下ニ疣足ヲ有セルモ小形ニシテ、前後兩葉ニ分レ、長短兩様ノ剛毛ヲ有ス。體ハ美麗ナル帶黄赤色ニシテ、金屬性虹彩ヲ放チ、長サ一三〇耗内外ナリ。海底ニ産シ、釣魚ノ好餌料ナリ。

第二七五三圖



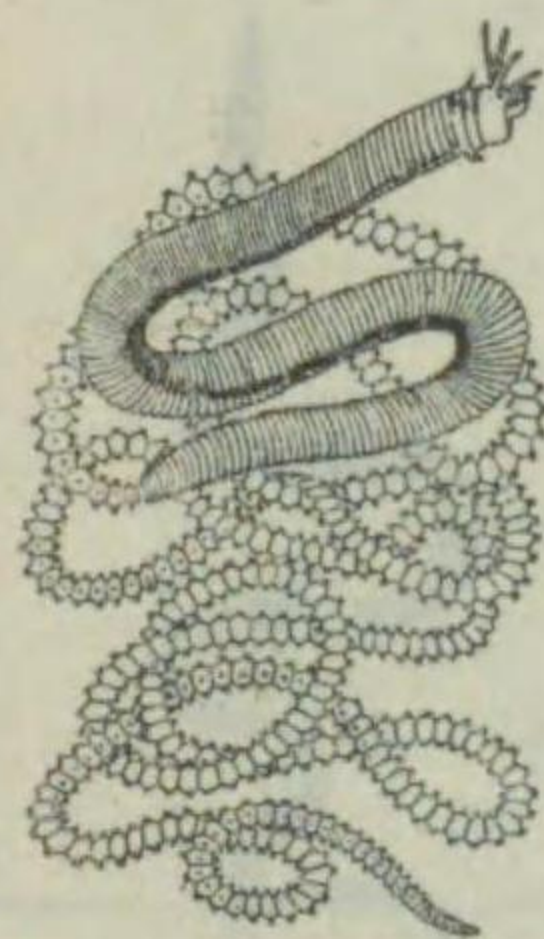
Eunice aphroditois.

オニイソメ (鬼磯蚯蚓) イソメ科  
頗ル大形ニシテ、幅二〇—三〇耗體長一米餘ニ達シ、體環節數四三〇内外ヲ算ス。頭部ニ五本ノ感觸器ヲ有シ、外側感觸器ノ基部ニ二箇ノ眼ヲ具フ。疣足ノ背觸鬚ハ細長ニシテ、腹觸鬚ハ短シ。背面兩側ニ櫛齒狀ノ顯著ナル鰓ヲ有ス。體ハ濃茶褐色ニシテ、金屬性ノ虹彩ヲ有ス。海岸ノ岩礁間ニ棲息セリ。不氣味ナル動物ノ種ナリ。

エウニケ・ヴェリディス

イソメ科

第二七五四圖



Eunice viridis.

南太平洋「サモア」島附近ニ大群ヲナシテ出現シ、土人ノ之ヲ美味スルヲ以テ著名ナリ。珊瑚礁中ニ棲息シ、體ハ細長ナレドモ前觸器ハ太ク、頭ハ大形ニシテ、口前部ハ二葉ニ分タレ、五本ノ感觸器及ビ二箇ノ眼ヲ具フ。第三環節以後ニ小疣足ヲ有ス。後體部ハ頗ル細ク、生殖實ヲ充滿シ、成熟スレバ前觸器ヲ離脱シ、生殖群泳ヲナスモノナリ。雄ハ紅褐色、雌ハ青綠色ヲ呈ス。

ウロコムシ (鱗蟲)

ウロコムシ科

第二七五七圖



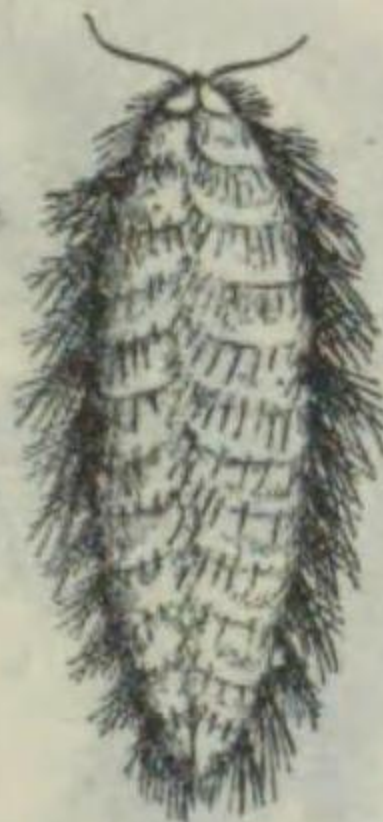
Polynoe squamata.

體ハ長橢圓體ニシテ、長サ二五耗幅五—一〇耗内外ナリ。背面ニ一二對ノ大形ノ鱗片、覆瓦狀ニ排列セリ。頭ハ卵圓形ニシテ、前觸器ニ三本ノ矛盾感觸器ヲ有シ、ソノ基部ニ幅廣ナル副感觸器ヲ有セリ。觸鬚モ亦矛盾ニシテ感觸器ニ似タリ。背剛毛ハ細長キモ腹剛毛ハ強大ナリ。各地ノ近海底ニ棲息ス。

ウミノズミ (海鼠)

アフロディテ科

第二七五八圖



Laetomatonico japonica.

體ハ長橢圓體ニシテ、背面ニハ細毛ヲ有シ、之ニ砂粒、介殼等ヲ混ゼル薄キ被囊ヲ有シ、ソノ下ニ一五對ノ大形ナル背鱗ヲ有ス。背剛毛ハ頗ル顯著ニシテ、虹彩ヲ伴ヘル暗褐色ヲ呈シ、副感觸器ハ長大ナリ。體長二五〇耗内外ナリ。深海底ニ棲息ス。

第二七五九圖



Myrianida fasciata.

世代ノ交番明瞭ナルモノニシテ、頭ニ三本ノ感器ト二對ノ眼アリテ、長キ葉狀ノ觸鬚ヲ有ス。生殖體ハ非生殖體ノ後端ヨリ芽出ニヨリテ生ズルモ、相連續シテ連鎖狀ヲ呈ス。同一ノ非生殖體ヨリ雌雄何レカ一ノ生殖體ヲ生ズ。

ミリアニダ・ファッシアータ シリス科

アウトリトリス・コルスツス

シリス科

第二七六〇圖

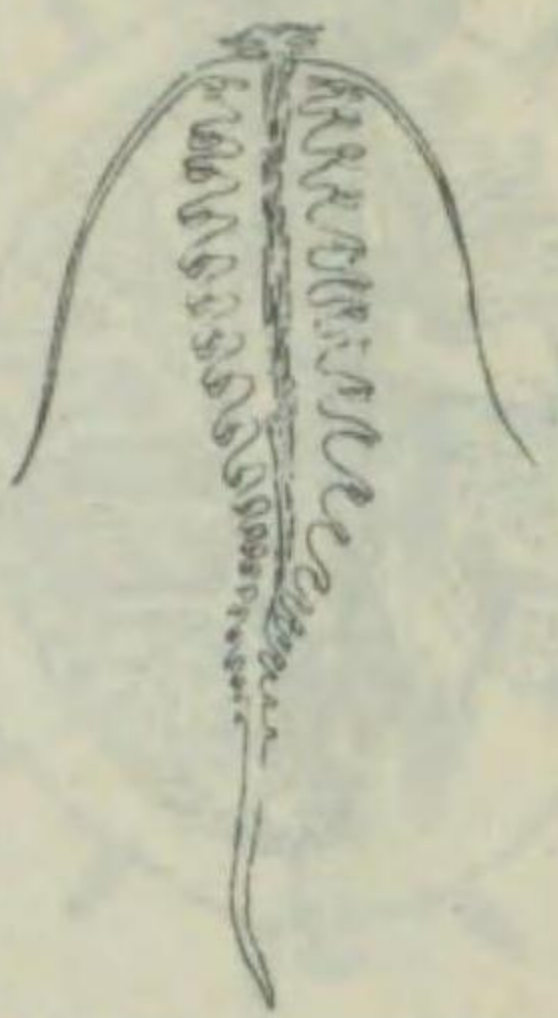


Autolytus cornutus.

小形ニシテ頭部ニ三個ノ感器ト二對ノ眼ト有ス。疣足ニハ背觸鬚ノミヲ有シ、腹觸鬚ヲ欠ク。世代ノ交番明瞭ニシテ、前種ノ如ク芽出ニヨリ非生殖體ノ後部ヨリ生殖體ヲ生ズ。生殖體ハ雌雄形ヲ異ニシ、雌ノ腹部ニ保育囊ヲ有ス。

トモプテリス・パキフーカ トモプテリス科

第二七六三圖



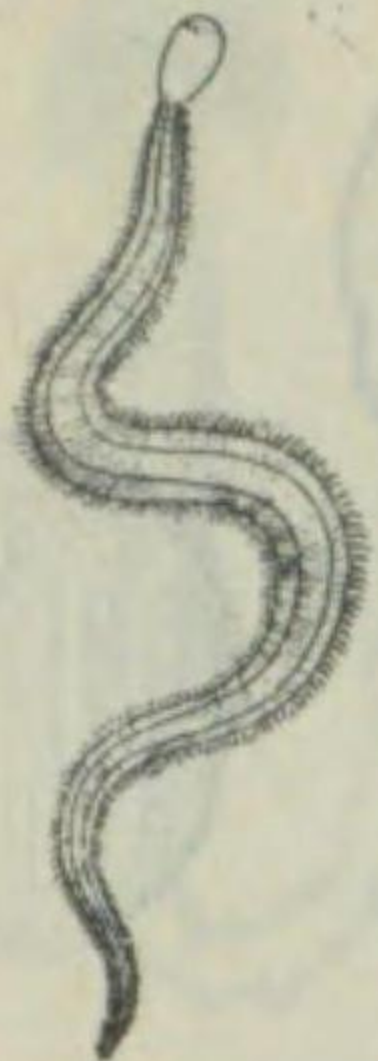
Tomopteris pacifica.

體ハ稍々扁平ニシテ尾部ハ細シ。前方ノ疣足ハ大形ニシテ顯著ナレドモ、後方ニ至ルニ及ビ小形トナル。第二觸鬚ハ著シク細長シ。體ハ殆ド無色透明ニシテ、體長一三耗内外ニ達ス。相模灣ニ浮游ス。

ネフテイス・ケイカ

ネフテイス科

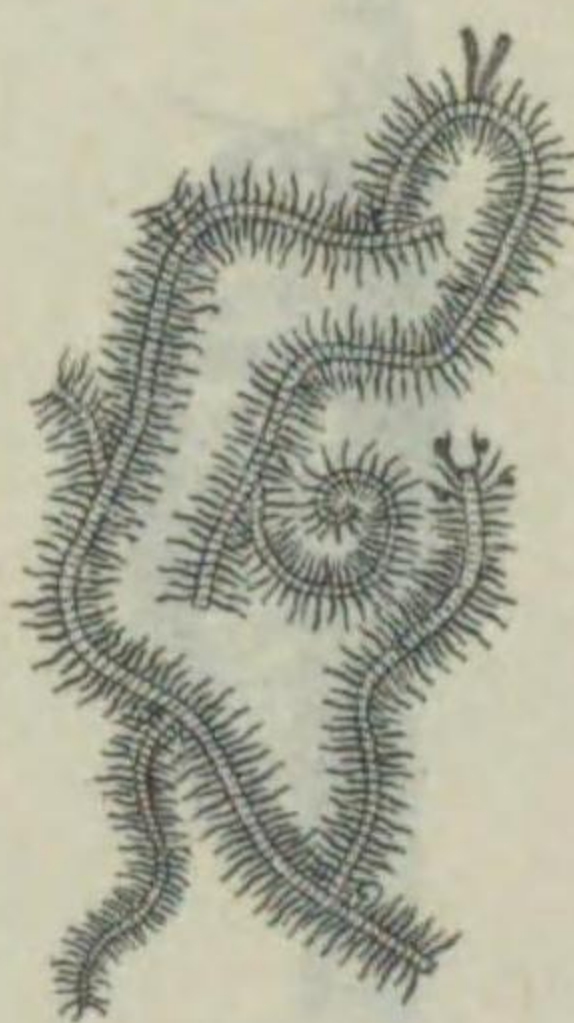
第二七六四圖



Nophtlys caeca.

體ハ細長ク兩端ニ細ク、疣足ノ背側ニ團扇狀ノ附屬物ヲ有シ、上枝ノ外端ニ彎曲セル鬚ヲ有ス。頭部ハ吻ヲ突出セルモノニテハ、略々橢圓形ニシテ、ソノ前部近クニ小突起ヲ有ス。環節數ハ一五〇内外ニシテ、灰白色ヲ呈シ、帯紅色ノ虹彩ヲ伴フ。體長二〇〇耗内外ナリ。(註)本種ニ似タルモノニ「ホルムベルギー」種及ビ「キリアータ」種等アリ。

第二七六一圖

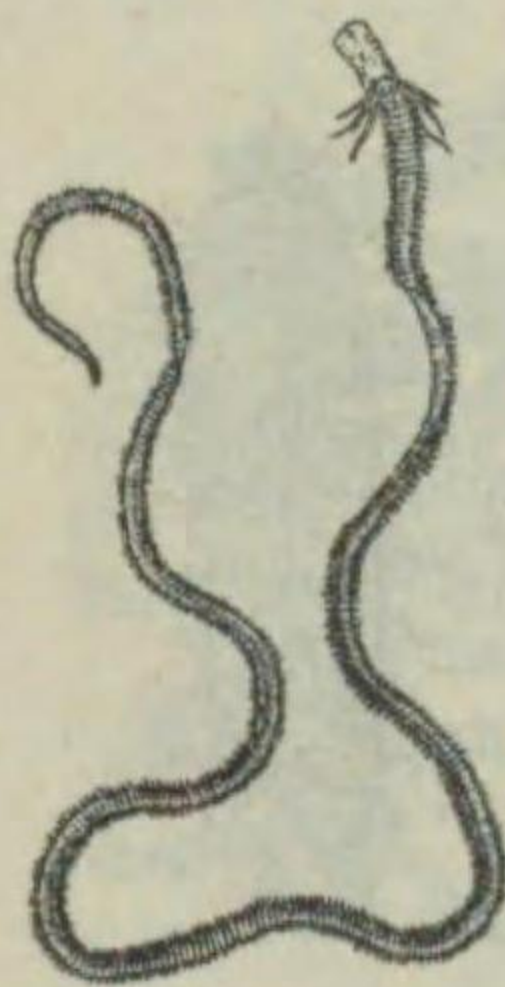


Syllis ramosa.

深海底ノ六放海綿ノ水管中ニ棲息シ、體ハ頗ル細長ク、芽出ニヨリ分岐シ、網狀ノ群體ヲ作り、時ニ海綿ノ體表ヲ被フニ至ル。疣足ハ長キ背觸鬚ト短キ腹觸鬚トヲ交互ニ着生シ、芽體ノ後端ニ長キ二本ノ肛觸鬚ヲ有ス。體ハ鮮紅色ヲナセリ。

シリス・ラモーサ シリス科

第二七六二圖



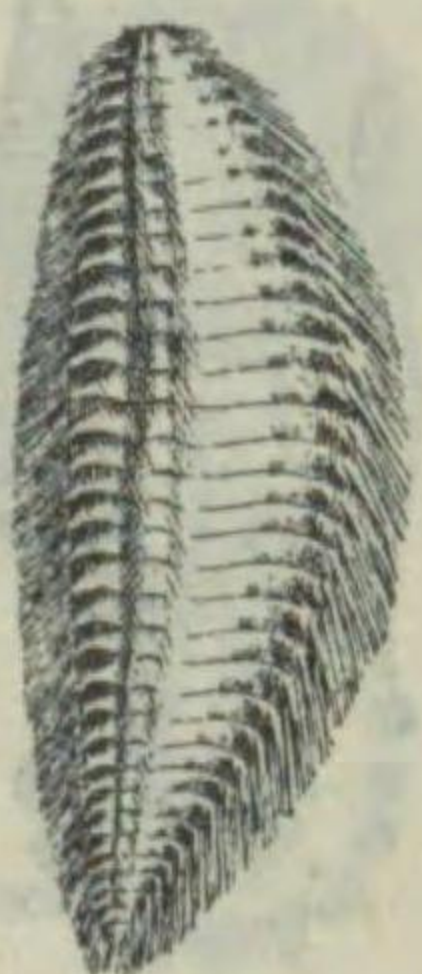
Phyllodoce lamelligera.

體ハ頗ル細長ク、背面ハ隆起シ、腹面ハ扁平ナリ。吻ハ頗ル大形ニシテ略々長方形ナリ。體ハ三五〇内外ノ環節ヨリ成リ、色ニハ變異多キモ概ネ黄綠色、橄欖色等ニシテ、金屬光澤ヲ有シ、疣足ハ綠褐色又ハ褐色ナリ。體長二〇〇—三〇〇耗ナルモ、時ニ六〇〇耗ニ達ス。干潮線附近ニ棲息ス。

フィロドデーケ・ラメリゲラ

フィロドデーケ科

第二七六五圖



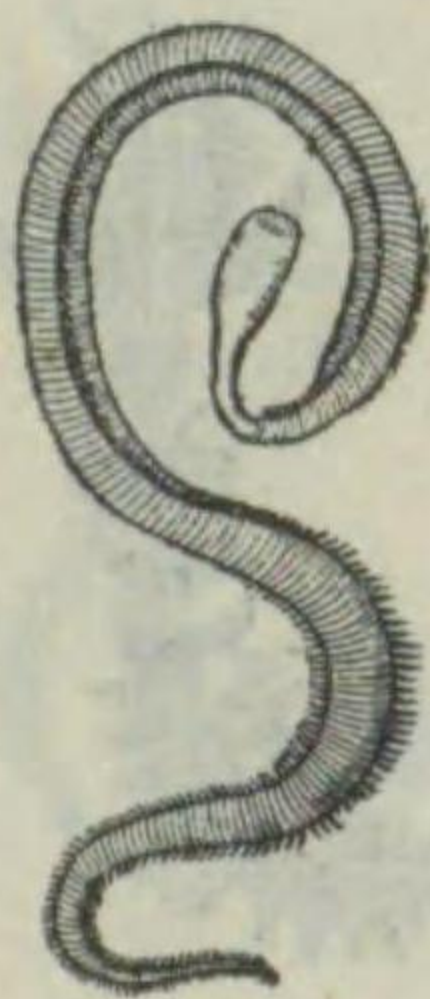
Chloocia flava.

ウミケムシ (海毛蟲) ウミケムシ科  
體ハ長紡錘形ヲ呈シ、體節數ハ三五ナリ。各部ノ側方ニハ長キ一對ノ總狀疣足上枝ヲ有シ、背面正中線ニハ褐紫色ノ斑紋列アリ、ソノ外側ニ各一箇ノ鬚叢ト更ニソノ外側ニ白色ノ剛毛棘ヲ有シ、コレガ基部ニハ大形ノ鉤アリ。前部ニハ大小各一對宛ノ眼ヲ有セリ。體長七五耗内外ニ達ス。各地ノ沿岸ニ普通ニ棲息セリ。

チロリ

チロリ科

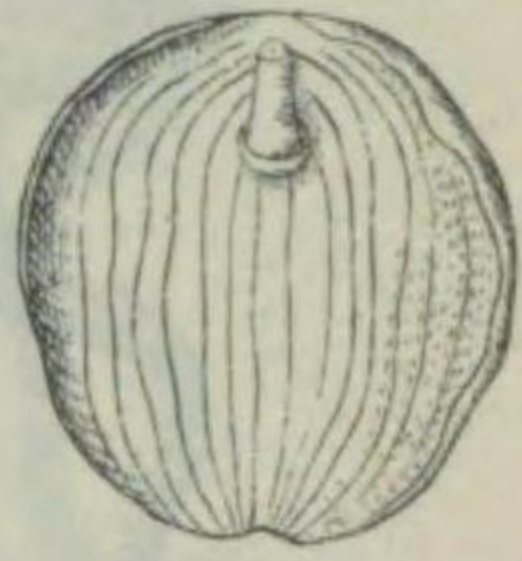
第二七六六圖



Glycera chirori.

體ハ太ク、後端ハ細クシテ尖レリ。疣足ノ前面ニ單絲狀ノ鬚着生シ、吻ハ棍棒狀ニシテ太ク、長サ一五—二〇耗内外ニシテ前部ニ四顎ヲ有ス。二體輪ニテ一環節ヲナシ、一八〇内外ノ環節ヲ有ス。色ハ帯紅暗灰色ニシテ、體長一二〇耗内外ナリ。釣魚ノ好料餌ナリ。  
本種ニ似テ更ニ大形ナルモノニ「ミサキチロリ」G. misakiensis. アリ。

第二七六七圖



Myzostoma ijimae.

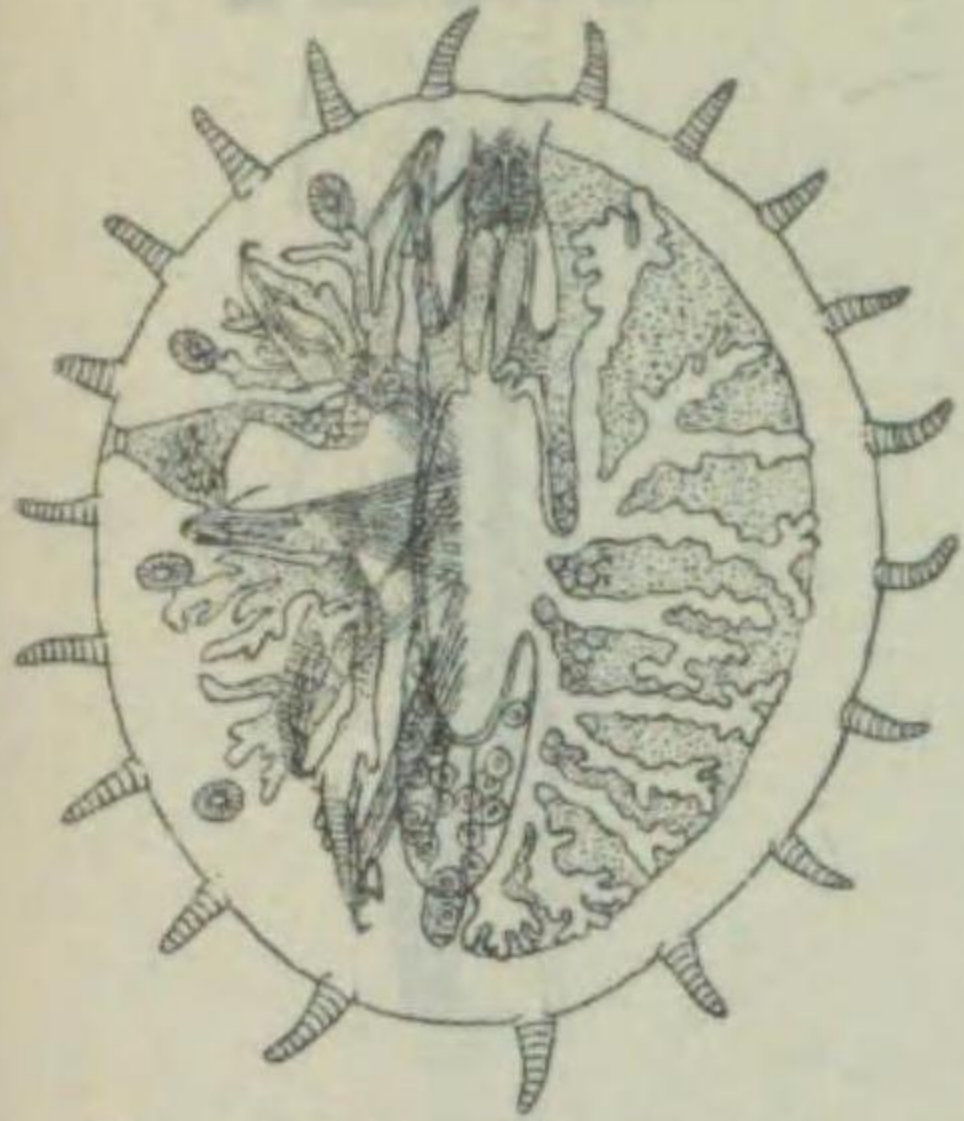
體ハ圓板狀ヲ呈シ、腹面ノ周縁ニハ隆起部ヲ有シ、基部稍々膨大セル五對ノ疣足及ビ三對ノ吸盤ヲ有ス。背面ノ中央ニハ明頭管ヲ有シソノ先端ニ口ヲ開キ、肛門ハ背面中央隆起ノ後方ニ開ケリ。雌雄同體ナリ。

イヒジマシクチュムシ (飯島吸口蟲) スクチュムシ科

ミツオストーマ・キリフェルム

スヒクチュムシ科

第二七六八圖



Myzostoma ciriferum.

體ハ圓盤狀ニシテ周縁ニ約一〇對ノ小乳頭狀ノ觸鬚アリテ、其内方ノ先端ニ小鈎ヲ有セル五對ノ疣足ヲ具フ。腹面ノ前端ニ近キ中央ヨリ明頭管突出セリ。暗紅紫色ニシテ、長徑四耗内外ナリ。

テレプス・ヤボニクス テレベラ科

第二七七一圖

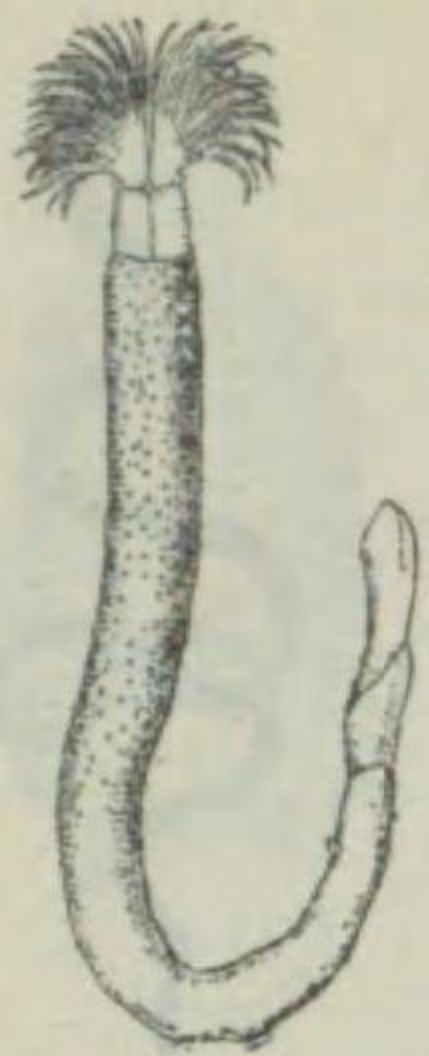


Thelepus japonicus.

海岸汀線ノ砂泥中ニ薄膜狀ノ棲管ヲ作りテ棲息ス。管面ニハ砂粒、介殼等ヲ附着セリ。體長一六〇耗内外ニシテ、前方ニ太ク、後方ニ漸次細マリ、前端ニ多數ノ絲狀觸手ヲ有シ、之ヲ伸長スルトキハ一二〇耗ニ達ス。鰓ハ三對ニシテ分岐セズ。各地ニ分布ス。

セラコ (鰓蠶) ケヤリムシ科

第二七七二圖



Potamilla myriops.

岩礁ニ團塊狀ヲナシテ附着シ、棲管ハ厚クシテ、砂泥ヲ附着セリ。體ハ長サ八〇耗内外ニシテ、黃褐色ヲ呈シ、前端部ハ深紫色ナリ。鰓ハ長サ二〇耗内外ニ達シ、紫褐色ニシテ、黄色斑ヲ有セリ。北日本ニ分布ス。釣魚ノ餌料又ハ食用ニ供セラル。

第二七六九圖



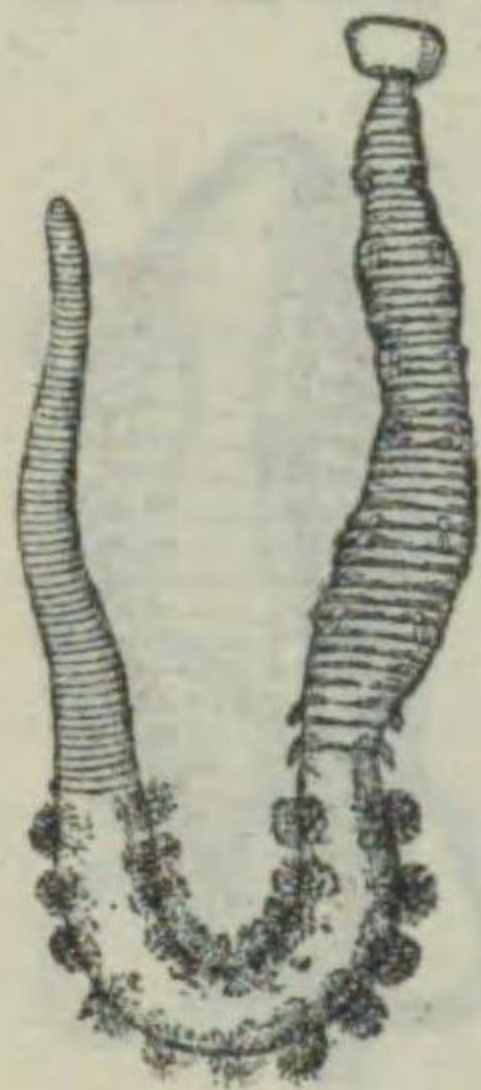
Chaetopterus variopedatus.

ケイトプテルス・ヴァリオペダートゥス 内海ノ砂泥中ニ長大ナルU字形ノ管ヲ作りテ棲息ス。棲管ハ徑二〇耗、長サ一米ニ達シ、吸盤ニシテ薄ク、外面ニ砂粒、介殼等ヲ附着ス。體ハ三部ニ區分セラレ、兩側ニ突起多ク、ソノ中ニ一對ノ羽翼狀ノ大突起ヲ有ス。體長二〇〇耗内外ニシテ、白色ヲ呈セルモ、暗所ニアリテハ燐光ヲ放ツ。東北地方以南ノ沿海ニ分布ス。

ケイトプテルス・ヴァリオペダートゥス ケイトプテルス科

アレニコラ・マリナ アレニコラ科

第二七七〇圖

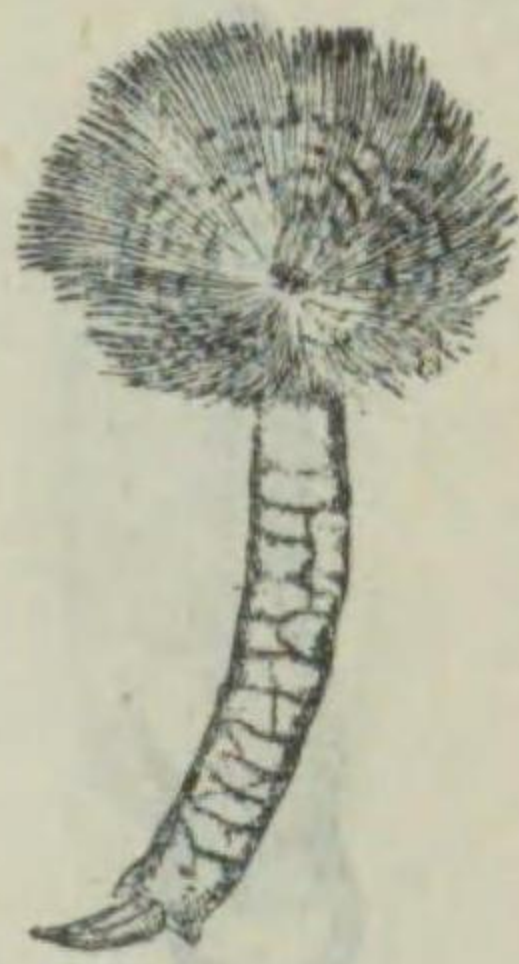


Arenicola marina.

海濱ノ砂泥中ニ埋没シテ棲息スルモノニシテ、圓柱形ヲ呈シ、體側ニ總狀又ハ羽狀ノ鰓ヲ有ス。體長二〇〇耗内外ニシテ、黒綠色ヲ呈シ、鰓ハ鮮紅色ナリ。分布ハ前種ニ準ズ。

ケヤリムシ (毛槍蟲) ケヤリムシ科

第二七七三圖



Laonome japonica.

干潮線附近ノ岩礁側面ノ罅裂等ニ形成セル棲管ヨリ體ノ前端ヲ抽出シ、生活セルモノニシテ、管ハ厚ク淡黃褐色ヲ呈シ、表面ニ砂泥等ヲ附着シ、徑一〇—二〇耗、長サ五〇—八〇耗内外ナリ。體ノ前端ニ存セル鰓ハ、二箇ノ半圓形ノ基部ニ、放射狀ニ着生シ、長サ六〇—九〇耗ニ達シ、黃褐色乃至暗紫色ヲ呈セリ。體ハ長サ一〇〇乃至一五〇耗内外ニシテ、暗紫色ヲ呈シ、多少黄色ヲ帯ビ多數ノ小斑ヲ有ス。各地ニ産シ、時ニ多數着生シ美觀ヲ呈ス。

スピロルピス・レイヴィス セルブラ科

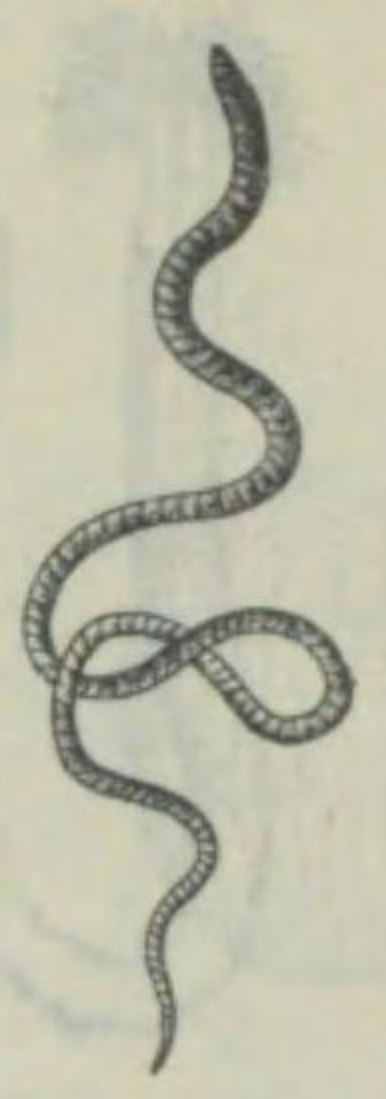
第二六七四圖



Spirorbis laevis.

棲管ハ石灰質ニシテ、徑三耗内外平面ニ螺旋狀ニ卷曲シ、海藻等ニ附着シ一見卷貝ニ似タリ。從ツテ體モ卷曲シ、前端ハ大キク、後端ハ細ク、前端ニ鰓及ビ唇ヲ有ス。

第二七五圖



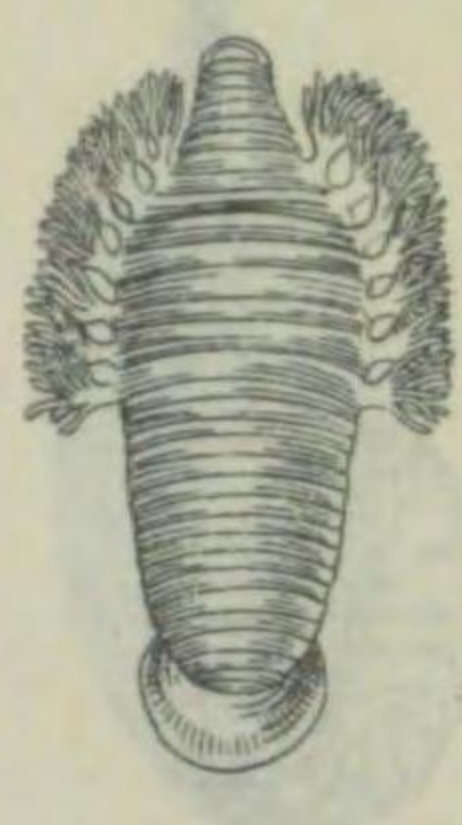
モ、ホホツキ(桃酸漿) トウビフエックス科  
體ハ細絲狀ニシテ、赤色ヲ呈シ、ソノ前方ニ泥ヲ附着セルヲ特徴トス。體長八〇耗内外ニシテ、一〇内外ノ體節ヲ有ス。夏季水溝底ニ極メテ普通ニ棲息シ、殊ニ南日本ニ多ク分布ス。金魚ノ好餌料トシテ著名ナリ。

第二七六圖



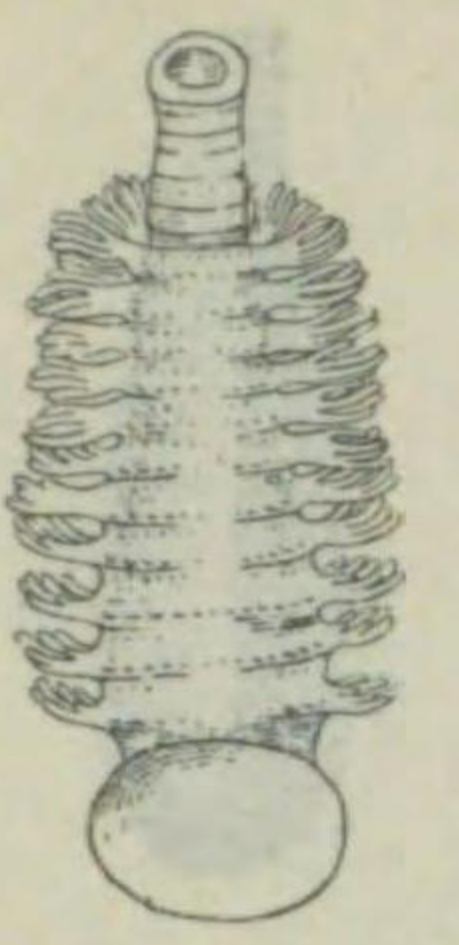
Branchiura sowerbyi? エラミリス (鰓蚯蚓) トウビフエックス科  
體ハ比較的大形ニシテ、淡紅色ヲ呈シ、血管ハ赤褐色ニシテ、明瞭ナリ。體長八〇耗内外ニ達シ、一〇内外ノ體節ヲ有シ、後半ノ各節兩側ニハ、背・腹對ヲナセル鰓突起ヲ有セルヲ以テ、他種ト容易ニ區別シ得。池溝底ニ棲息セリ。

第二七九圖



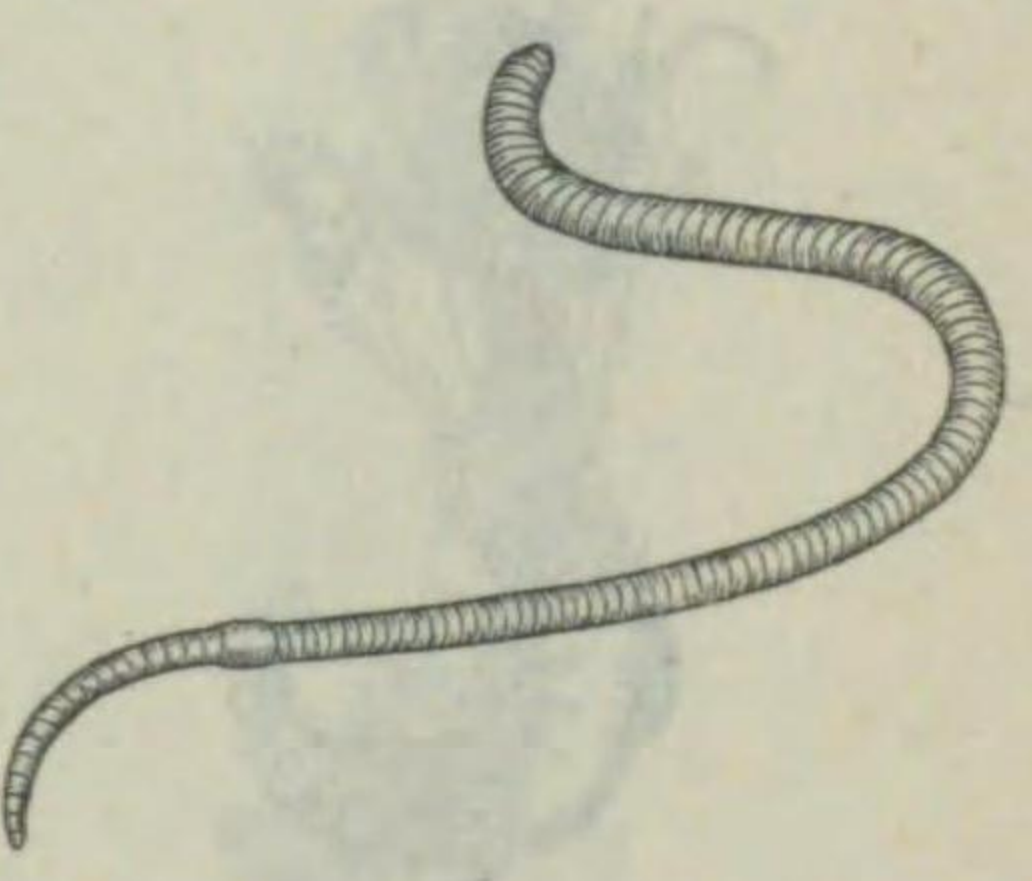
Ozobranchnus branchiatus. ウミエラビル (海鰓蚯蚓) エラビル科  
體ハ德利形ニシテ、頸部ト胴部トハ區分セラレ、胴ノ前半ヨリ七對ノ總狀ノ鰓ヲ有ス。大輪ト小輪各一箇ヲ以テ一體節ヲナシ、一對ノ眼ヲ有ス。體長一〇耗内外ニシテ、淡灰色ヲ呈シ、後吸盤ハ頗ル大形ナリ。正覺坊ノ外皮ニ寄生ス。

第二八〇圖



Ozobranchnus jantseanus. シナエラビル(支那鰓蚯蚓) エラビル科  
前種ニ似タレドモ、後方ニ至ルニ從ヒ太ク、頸部ト胴部トハ區分セシ、一〇對ノ總狀ヲナセル鰓ヲ有セルモ、後方ノモノ程小ナリ。體長一〇一五耗内外ニシテ灰色ヲ呈ス。本州ノ池沼ニ分布シ、いしがめノ體表ニ寄生セルヲ見ルコトアリ。

第二七七圖



Perichaeta communissima. ミミズ (蚯蚓) ベリケータ科  
體ハ細長ク、圓柱形ニシテ、一〇〇乃至一五〇ニ達スル體節ヲ有シ、體長ハ通常二〇〇耗、徑七乃至八耗内外ナレドモ、更ニ大形ナルモノアリ。各體節ニハ環列ヲナシテ剛毛存在シ、環帶ハ一四、一五、一六ノ三體節ヨリナリ淡赤色ヲ呈セリ。第一節、環帶及ビ肛門ヲ除ケル他ノ體節ニハ環狀ヲナシテ剛毛列生ス。背側ハ暗褐色ナレドモ腹面ハ淡赤色ヲ呈セリ。雌雄同體ナリ。再生力強シ。各地ニ普通ニ見出サル。

第二七八圖



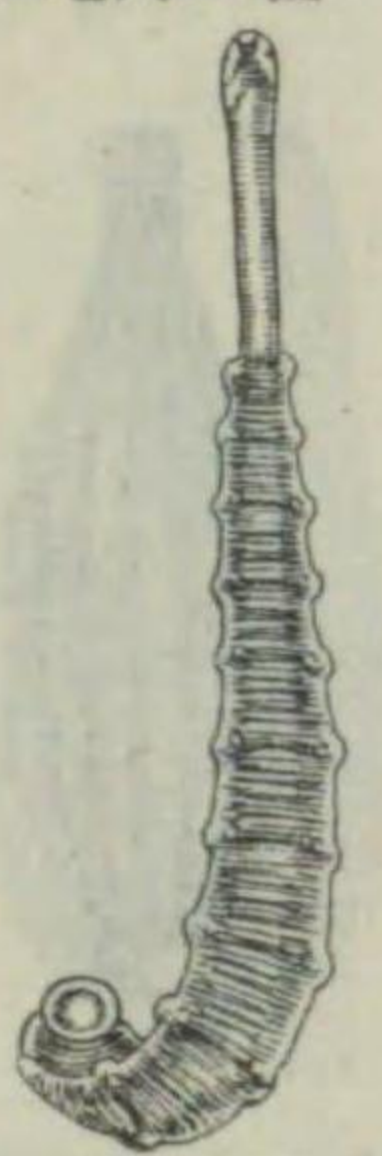
Pontodrilus matsushimensis. ウミミズ (海蚯蚓) ウミミズ科  
體長一〇〇耗内外ニ達ス。體色ハ白色乃至淡紅色ヲ呈シ、外部ヨリ背血管ヲ透視シ得。體節數ハ一〇〇内外ヲ數フ。海岸ノ汀線ノ砂中ニ棲息セリ。みみづ類中海産ノ著例ナリ。

第二八一圖



Ichthyobdella uobir. ウヲビル(魚蛭) ウヲビル科  
體ハ「ビール」瓶形ニシテ扁平、頸部ハ明瞭ナリ。體表ニハ横皺多ク六輪ニテ一體節ヲナシ、三對ノ眼ヲ有ス。全長四〇耗内外ナリ。北日本ニ分布シ、硬骨魚ノ外部ニ寄生ス。

第二八二圖



Collobdella livanovi. カザリビル (飾蛭) カザリビル科  
體ハ略々圓柱形ニシテ、頸部ハ明カニ胴部ト區分セラレ、胴部ノ兩側ニ一三箇ノ球狀突起アリ又横皺多シ。六輪ニテ一體節ヲナシ、暗綠色ヲ呈シ、兩側ノ突起ハ白色ナリ。全長三〇耗内外ナリ。北日本ニ分布シ、硬骨魚ノ外部ニ寄生ス。



第二七八三圖



Pontobdella bimaculata.

アカメウミビル(赤眼海蛭) ウミビル科  
體ハ扁平ナル「バット」形ニシテ後  
方ニ太ク、體表ニハ著シキ粟粒突  
起多シ。三輪ニテ一體節ヲナシ、  
眼ヲ欠ク。全長七〇—八〇耗内外  
ニシテ、黄褐色ヲ呈シ、頭部背面  
ニ近ク赤色斑點ヲ有シ、一見眼ニ  
似タリ。南日本ニ分布シ、鮫類ニ  
寄生ス。

メナシウミビル (眼無海蛭)

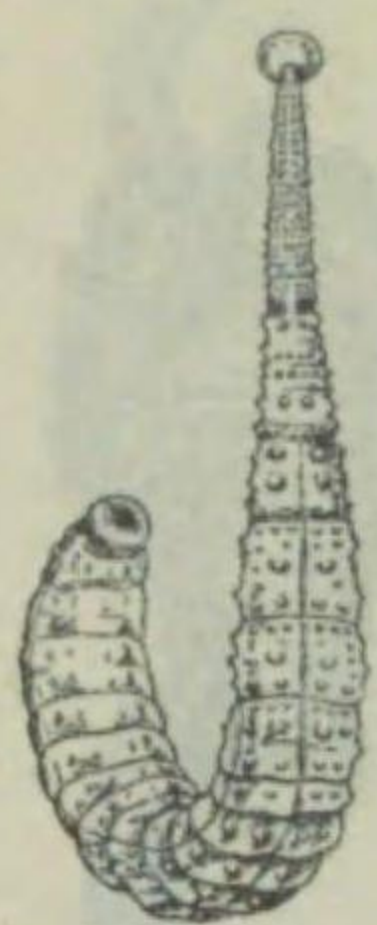
ウミビル科

(異名) ウミビル

Pontobdella moorei.

あかめらみびるニ類似スレドモ、  
大形ニシテ、體表ニ大小ノ疣起多  
ク、黄色ニシテ、眼狀斑ヲ缺ク。  
全長一二〇耗内外ナリ。南日本ニ  
分布シ、鮫類ニ寄生ス。

第二七八四圖



第二七八七圖



Glossiphonia lata.

ハバヒロビル(幅廣蛭) ヒラタビル科  
ぬまびるニ類似スレドモ、更ニ幅  
廣ク收縮時ニハ殆ド圓形ヲナス。  
三輪ニテ一體節ヲナシ、三對ノ眼  
ヲ有セルコト、口ニ長管狀ノ吻ヲ  
有セルコト等ぬまびるニ準ズ。體  
ハ長サ一〇耗内外ニシテ白色ナレ  
ドモ往々背面ニ細キ黒色縱條ヲ有  
ス。南日本ノ池沼ニ分布ス。

アタマビル(頭蛭)

ヒラタビル科

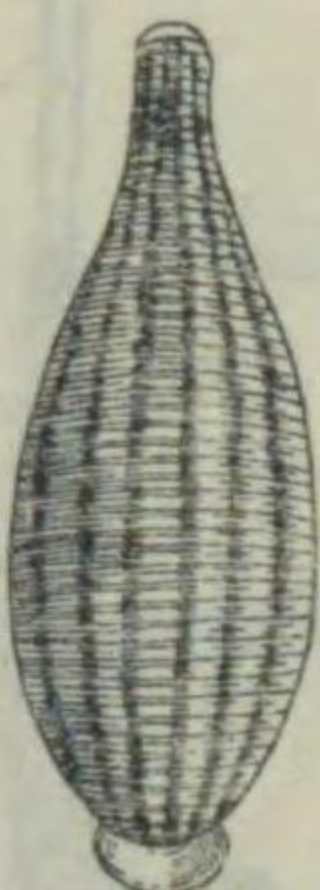
Hemiclepsis marginata.

體ハ德利狀ニシテ稍々扁平、頸部  
ハ緊澁シテ頭部ト區分セラル。三  
輪ニテ一體節ヲナシ、二對ノ眼ヲ  
有シ、口ニ長管狀ノ吻ヲ有ス。體  
ハ長サ一五耗内外ニシテ、背面ハ  
帶線暗褐色ヲ呈シ、腹面ハ稍々淡  
シ。南日本ノ池沼ニ分布ス。龜類、  
魚類等ニ寄生スルコトアリ。

第二七八八圖



第二七八五圖



Hemiclepsis kasmiana.

カヒビル(貝蛭) ヒラタビル科  
體ハ腹面ニ稍々扁平ナル棍棒狀ヲ  
呈シ、三輪ニテ一體節ヲナシ、二  
對ノ眼ヲ有ス。全長一〇耗内外ニ  
シテ、背面ハ淡褐色地ニ濃茶褐色  
ノ格子狀斑アリ、腹面ハ淡灰色ナ  
リ。南日本ノ池沼ニ多ク分布ス。  
概ネからすがひニ寄生ス。

ヌマビル(沼蛭)

ヒラタビル科

Helobdella stagnalis.

體ハ前端ノ尖レル短筒圓體ニシテ  
前吸盤ハ小形ナリ。三輪ニテ一體  
節ヲナシ、一對ノ眼ヲ有ス。全長  
一〇耗内外ニシテ、灰白色半透明  
ヲナシ、前部背面ノ中央ニ黄色ノ  
一小圓板ヲ有ス。南日本ノ池沼ニ  
分布ス。

第二七八六圖



第二七八九圖



Glossiphonia complanata.

ヒラタビル(扁蛭) ヒラタビル科  
體ハ前方ニ尖レル長筒圓形ニシテ  
扁平ナレドモ、背面ニ稍々膨滿セ  
リ。三輪ニテ一體節ヲ成シ、眼ハ三  
對ニシテ二縱列ヲナセリ。口ニハ  
顎ナク、長管狀ノ吻ヲ有ス。體ハ長  
サ二〇耗内外ニシテ、背面ハ淡褐  
色ヲ呈シ、褐色ノ二縱線列アリ腹  
面ハ白色ナリ。南日本ノ池沼ニ分  
布ス。貝類ノ外套腔内ニ寄生ス。  
本種ニ似テ綠色ヲ呈セルモノニ、  
みどりびる Gsmaragdina. アリ。

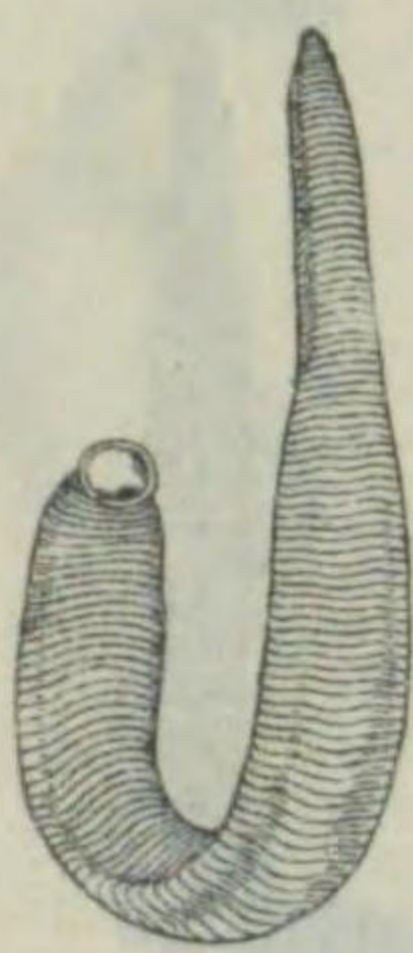
キハビル(牙蛭)

イシビル科

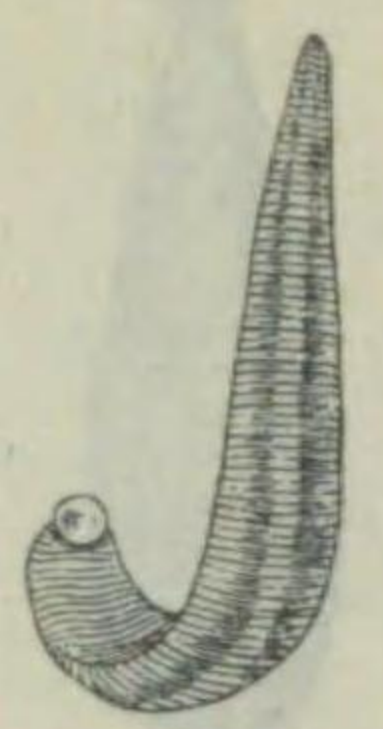
Odontobdella blanchardi.

あたまびるヨリ長大ニシテ、幅廣  
ク帶狀ヲ呈セリ。口ニハ顎ヲ缺ケ  
ドモ、三本ノ牙狀ノ顎牙ヲ有ス。  
三大輪ト四小輪ニテ一體節ヲナス  
コトあたまびるニ似タリ。體ハ長  
サ二〇〇耗内外ニシテ、暗褐色ヲ  
呈ス。  
南日本ノ池沼ニ分布シ、龜類、魚  
類等ニ寄生セルコトアリ。

第二七九〇圖

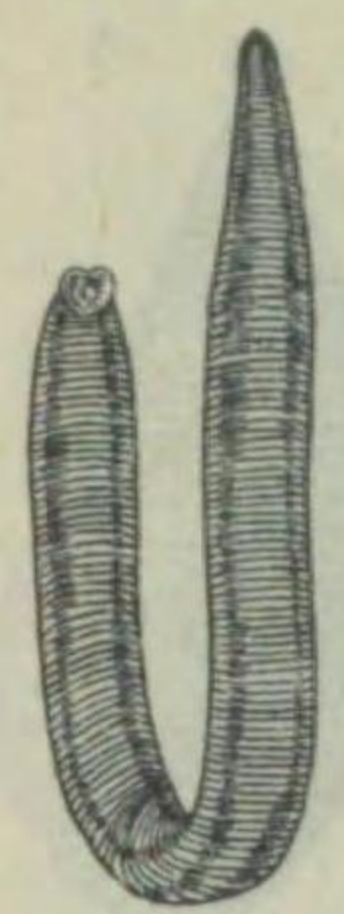


第二七九一圖



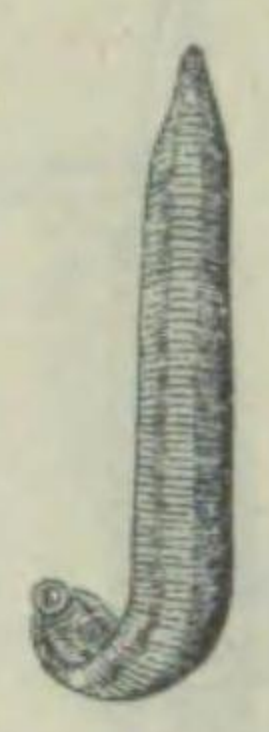
シマイシビル(縞石蛭) イシビル科  
(異名) ドブヒル  
體ハ前後兩端ニ向ヒテ細ク、稍々棍棒狀ニシテ扁平ナリ。前吸盤ハ小形ニシテ、口ニハ顎ヲ欠ク。眼ハ八個ニシテ四個ヅ、二輪ヲ隔テ、横列セルコトひらたびるニ似タリ。體長四〇耗内外ニシテ、背面ハ茶褐色乃至暗綠色ヲナシ、中央ニ淡色ノ縱帶アリ、腹面ハ淡シ。各地ノ池沼ニ廣ク分布ス。

第二七九二圖



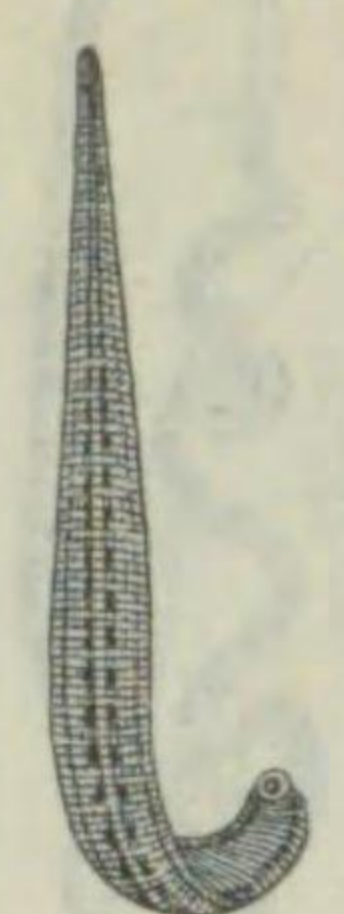
Mimobdella japonica. マネヒル(眞似蛭) イシビル科  
體ハ稍々扁平ナル圓柱形ニシテ、前方ハ稍々細シ。口ハ廣ク顎ヲ缺ク。三大輪ト四小輪ニテ一體節ヲ成ス。體ハ長サ一〇〇耗内外ニシテ、帶紫紅灰色ヲ呈シ、腹面ハ淡シ。南日本ノ池沼ニ分布ス。濕地ニ飼ヒ出デみみザヲ捕食ス。

第二七九五圖



セスチビル(背條蛭) ヒルド科  
體ハ稍々圓柱形ナレドモ、腹面ハ扁平、頭部ハ急ニ細マリ、前吸盤ハ頗ル小形ナリ。口ニハ顎ヲ有スレドモ、人ノ血ヲ吸ヒ得ズ。五對ノ眼ヲ有ス。背面ハ橄欖色ニシテ、中央ニ黄色ノ一縱帶ヲ有シ、腹面ハ灰色ニシテ、暗色斑點散在ス。南日本ノ池沼ニ分布ス。

第二七九六圖



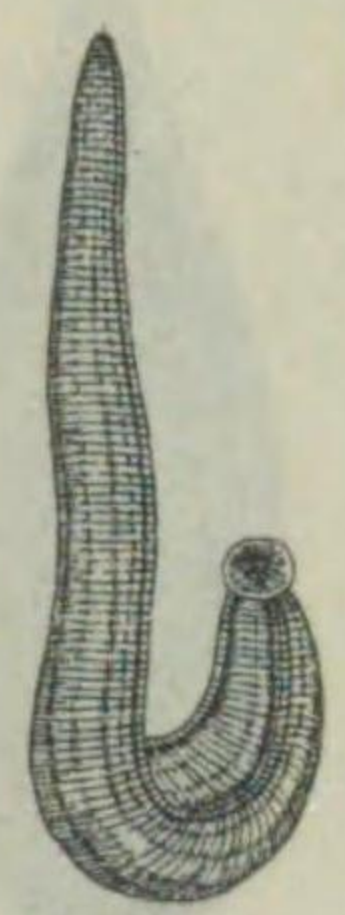
Whitmania acranulata. チイロヒル(茶色蛭) ヒルド科  
(異名) キビル  
體ハ長サ四五耗内外ニシテ、前方細マリ後方ニ太ク、稍々棍棒形ヲナセドモ扁平ナリ。前吸盤ハ小形ニシテ、顎板ヲ存スレドモ人ノ血ヲ吸フ能ハズ。五對ノ眼ヲ有ス。背面ハ茶褐色ニシテ、暗褐色ノ縦斑列ヲ有ス。本州ノ淡水ニ分布セルモ多カラズ。

第二七九三圖



ヒロウドイシビル(天鷲絨石蛭) イシビル科  
體ハ細長ニシテ圓柱形ヲナセドモ扁平ナリ。前吸盤ハ小形ニシテ、口ニハ顎ヲ欠ク。眼ハ八個ニシテ四個ヅ、横ニ二横列ヲナシテ排列ス。體長三五耗内外ニシテ、紅褐色ヲ呈シ、腹面ハ淡色ナリ。本州各地ノ池沼、小川等ニ分布スレドモ多カラズ。

第二七九四圖



チスヒビル(血吸蛭) ヒルド科  
(異名) ヒル、イヨウヒル  
體ハ前後兩端稍々細マレル圓柱形ニシテ、扁平ナリ。前吸盤ハ稍々大形ニシテ、口中ニ三箇ノ半圓形ノ顎板ヲ有ス。五輪ニテ一體節ヲナシ、五對ノ眼ハ二縱列ヲナシ排列セリ。體ハ長サ三五耗内外ニシテ、背面ニハ綠灰色ノ縱線ヲ有シ、腹面ハ暗灰色ナリ。本州各地ノ水田、池沼等ニ普通ニ棲息ス。吸血性ヲ利用シ醫療用ニ供スルハ周知ノコトナリ。

第二七九七圖



ウマビル(馬蛭) ヒルド科  
體ハ紡錘形、扁平ニシテ、大キク前吸盤ハ頗ル小形、口ニハ顎ヲ有スレドモ、人ノ血ヲ吸ヒ得ズ。五輪ヲ以テ一體節ヲナシ、五對ノ眼ヲ有ス。體長一〇〇耗内外ニシテ背面ハ橄欖色ヲ呈シ、五本ノ暗色縱條ヲ有シ、腹面ハ淡色ニシテ暗色斑點縱列セリ。本州以南ノ水田、池沼ニ普通ニ産ス。

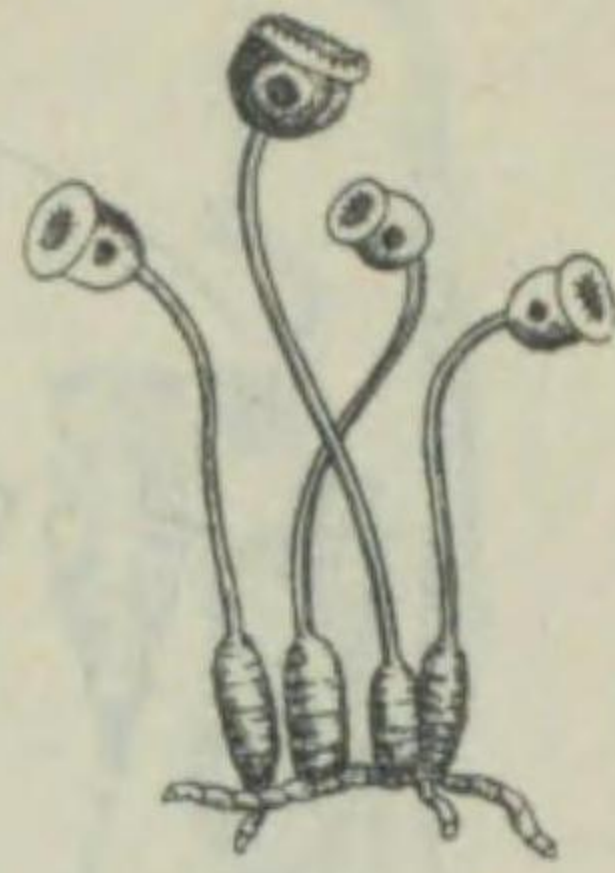
第二七九八圖



ホネリア・ミノール ユムシ科  
雌雄異型ノ好例ニシテ、雌ハ吻長ク先端二分シ、體長二〇耗、吻長五〇耗内外ニシテ、暗綠色ヲ呈シ吻ハ淡色ナレドモ、雄ハ僅カニ體長一耗内外ニシテ扁平、「ブアナリア」ニ似タル形ヲナシ、雌ノ吻管ニ寄生ス。(註)本種ニ似テ灰褐色ニ藍黒點ヲ有シ、更ニ大形ナルモノニおほぼねりむシアリ。



第二八〇三圖



Barentsia misakiensis.

海藻、岩石等ノ表面ニ固着セル根状匍匐部ヨリ直立シ、全長三・五耗内外ニシテ、淡黄灰色ヲ呈ス。觸手數ヲ六乃至二四内外ナリ。本種ノ特徴トシテ、柄部ノ下端樽形ニ膨大シ、コ、ニ多クノ筋肉ヲ含ミ、ソノ伸縮ニヨリテ柄ヲ運動セシム。盛ニ芽生シ、大ナル群體ヲ形成スレドモ、一群體内ノ個體ハ皆ソノ性ヲ同ジフス。本洲太平洋岸ノ淺海底ニ分布セリ。

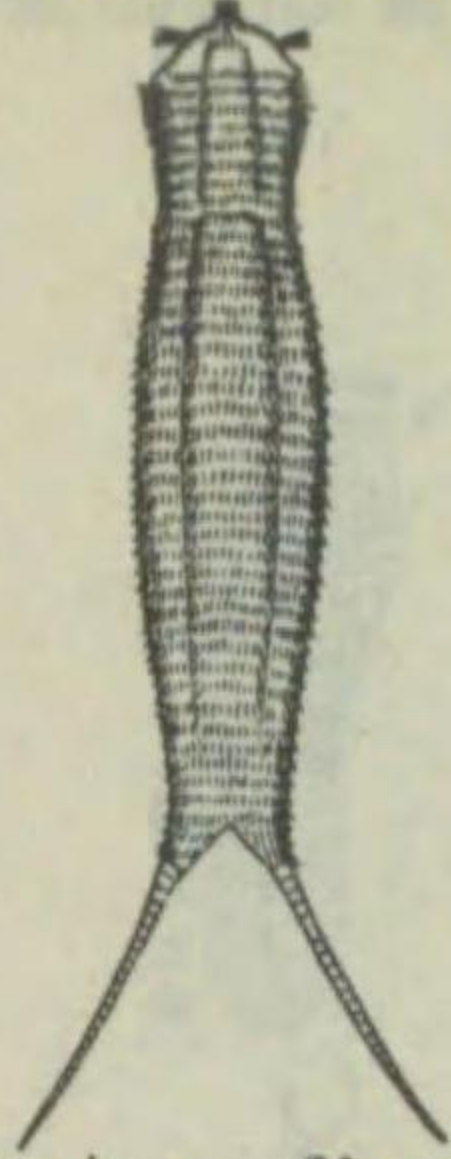
ススコケムシ (鈴苔蟲)

ベディケリナ科

イタテムシ (跳蟲)

イタテムシ科

第二八〇四圖



Chaetonotus nodicaudus.

體ハ同柱形ニシテ、腹部ハ少シク膨出シ、體表ニ細棘密布セリ。頭ニ口ヲ有シ、兩側ニ一對ノ剛毛棘ヲ具フ。尾端ハ二又シ、長キ尾棘ヲ有ス。體長(尾棘ヲ除ク)四〇〇ミ内外ナリ。池沼、雨水ノ溜水等ニ棲息ス。

フクロワムシ (囊輪蟲)

フクロワムシ科

第二八〇七圖



Asplanchna priodonta.

體ハ囊狀ヲナシ、透明ニシテ絨毛帶ノ中ニ二隆起アリ、ソノ各ニハ絨毛ヲ有セル觸角突起ヲ有ス。膈ハ大形ニシテ、赤色ノ顯著ナル一眼ヲ有セリ。卵巢ハ單一ニシテ胎生ナリ。體長雌五〇〇乃至一五〇〇ミ雄ハ〇二〇乃至五〇〇ミ内外ナリ。各地ノ池沼ニ普通ナリ。

ナガミツウテムシ (長三腕輪蟲)

ミツウテムシ科

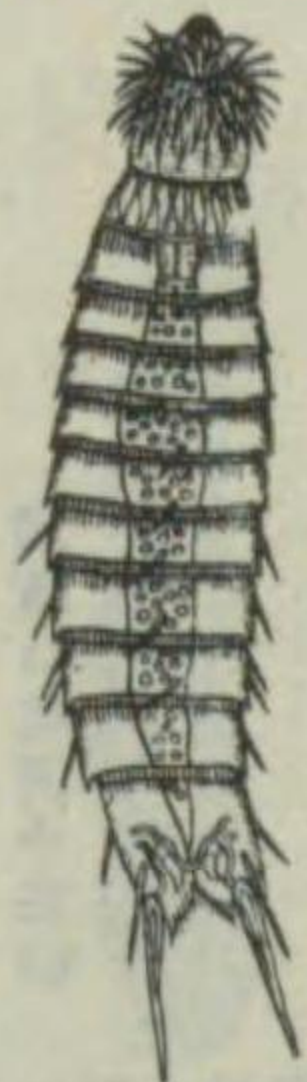
第二八〇八圖



Triarthra longiseta.

體ハ圓錐狀ヲ帯ベル卵形ニシテ、前端ハ截斷狀ヲナシ、透明ナリ。兩側ノ前方及ビ背後側ノ中央ヨリ棘齒ヲ有セル三本ノ長棘ヲ有ス。膈ハ卵形暗色ニシテ、二個ノ赤色ノ眼ヲ有ス。體長(棘ヲ除キ)一五〇ミ内外ナリ。各地ノ湖沼ニ普通ナリ。

第二八〇五圖



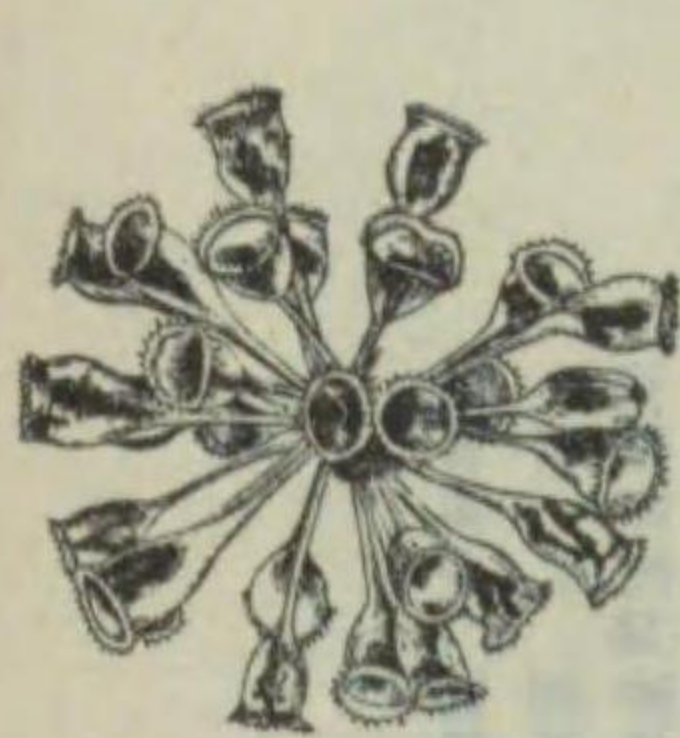
Echinoderes sp.

體ハ赤褐色ノ筒筒狀ニシテ、一二ノ緊縮ニヨリテ、環節狀ヲナシ、棘縱列ヲ有ス。口ノ周圍ニ強大ナル棘毛ノ環列アリ、二箇ノ赤色眼ヲ有ス。體長〇・五耗内外ナリ。海濱上又ハ海底ノ砂泥中ニ棲息スルモノニシテ、本州ノ太平洋岸ニ分布セリ。

キクヒチユウ (棘皮蟲)

キクヒチユウ科

第二八〇六圖



Conochilus volvox.

體ハ鈞鐘形ニシテ、後方ハ柄狀ヲ呈シ、後端ハ球形ノ共同胞質物中ニ埋在シ、球形ノ群體ヲ形成シ水中ヲ回轉シツ、浮游スルヲ以テコノ名アリ。個體ノ頭板ハ馬蹄形ニシテ一對ノ顯著ナル眼ヲ有ス。個體ノ長サ五〇〇乃至六〇〇ミ内外ナリ。各地ノ池沼、溝渠等ニ普通ニ發見セラル。

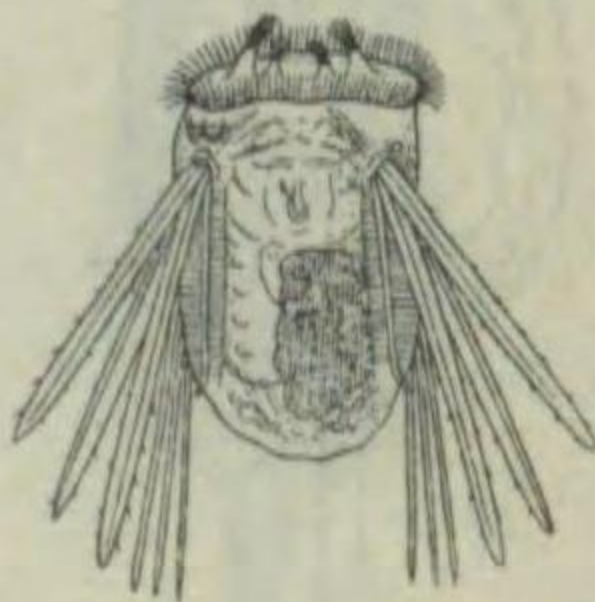
テマリワムシ (手摺輪蟲)

マルサヤワムシ科

ハネウテムシ (羽根腕輪蟲)

ミツウテムシ科

第二八〇九圖



Polyarthra platyptera.

體ハ短圓柱狀ニシテ頭板ノ中央兩側ニ一對ノ棒狀突起ヲ有シ、眼ハ單一ニシテ赤褐色ナリ。體ノ兩側上方背腹面ニ各三本、即チ一二本ノ細長葉狀ニシテ縁ノ鋸齒アル附屬器ヲ有ス。體長一二〇乃至一六〇ミ内外ナリ。霞ヶ浦ニ最も普通ナリ。

ミツワムシ (水輪蟲)

ミツワムシ科

第二八一〇圖



Hydatina senta.

體ハ圓錐形ニシテ、前端ハ截斷狀ヲナシ、頭板ノ周邊ニ内外二列ノ絨毛ヲ有シ、ソノ間ニ刺毛ヲ有セル瘤起アリ。雄ハ雌ノ幼體ニ似テ消化器ナク背面ニ交接器ヲ有セリ。體長雌四〇〇乃至五〇〇ミ、雄二〇〇乃至三〇〇ミ内外ナリ。池沼溝渠等ニ普通ニシテ實驗用ニ供セラル。

第二八一圖



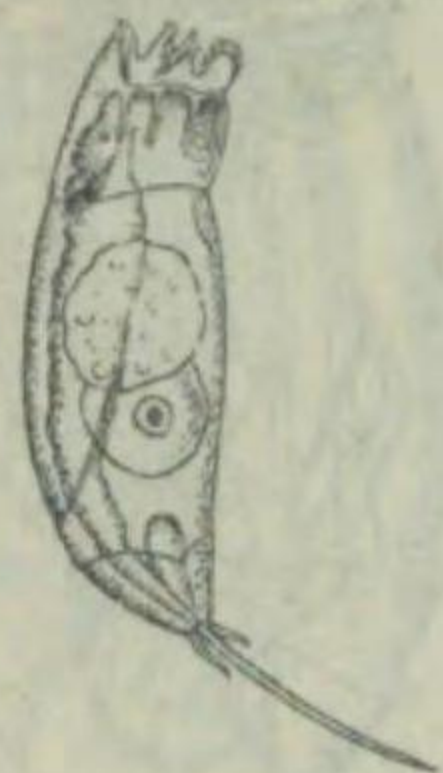
Diurella tigris.

體ハ圓柱形ニシテ、稍々著シク振レ、頭ハ緊縮ニヨリ胴部ト區分セラレ、頭甲ニハ九箇ノ縱皺ヲ有ス。足ノ爪ハ發達シ、二本共同長ニシテ、四箇ノ刺毛アリ。體長一七〇乃至二二五μ内外ナリ。體軸ニ螺旋狀ニ游泳ス。

フタワムシ (二尾輪蟲)

ネズミワムシ科

第二八二圖



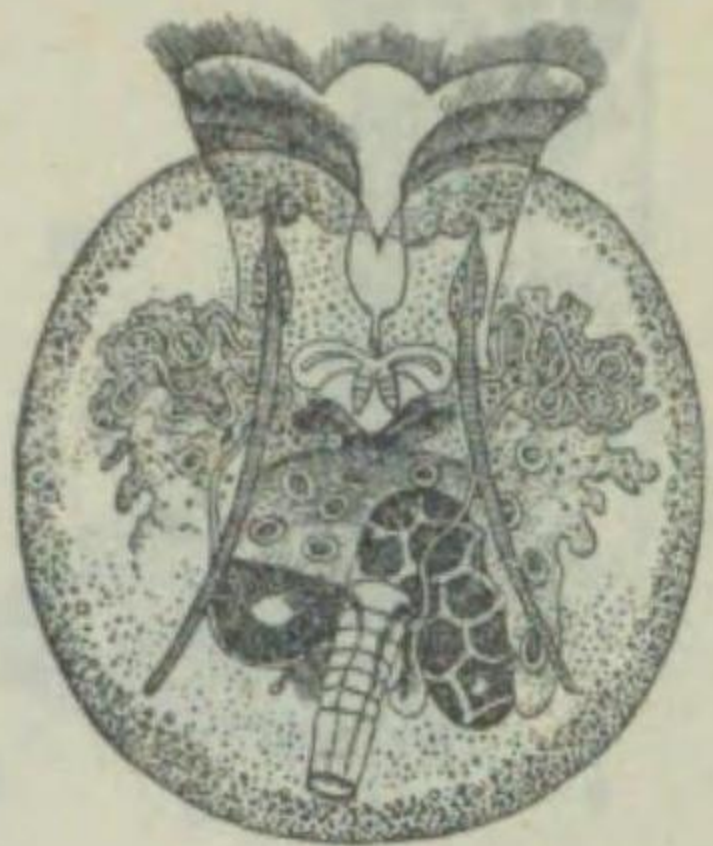
Rattulus capucinus.

體ハ圓柱形ニシテ稍々振レ、頭部ノ被甲ハ緊縮ニヨリ區分セラレ頭甲ニハ縱紋起著シク、ソノ背側ノ一片ハ特大形ニシテ僧帽狀ヲナス。足ハ短大ヲナシ左爪ハ右爪ノ三乃至四倍内外ニシテ一小刺毛アリ。體長二五〇乃至三〇〇μ内外ナリ。各地ノ池沼ニ普通ナリ。

ネズミワムシ (鼠輪蟲)

ネズミワムシ科

第二八五圖



Pterodina patina.

體ハ頗ル壓扁シ、背甲ノ中央稍々膨起セルニ過ギズ。背面ヨリノ形ハ橢圓形ニシテ、ソノ表面ニハ粒狀突起密布セリ。腹甲ノ中央ヨリ稍々後方ニ圓柱形ノ足ヲ有シ、ソノ末端ニハ爪ナク纖毛ノ環列ヲ有セリ。體長二〇〇μ内外ナリ。各地ノ淺キ池沼ニ分布ス。

ヒラタワムシ (平輪蟲)

ヒラタワムシ科

第二八六圖



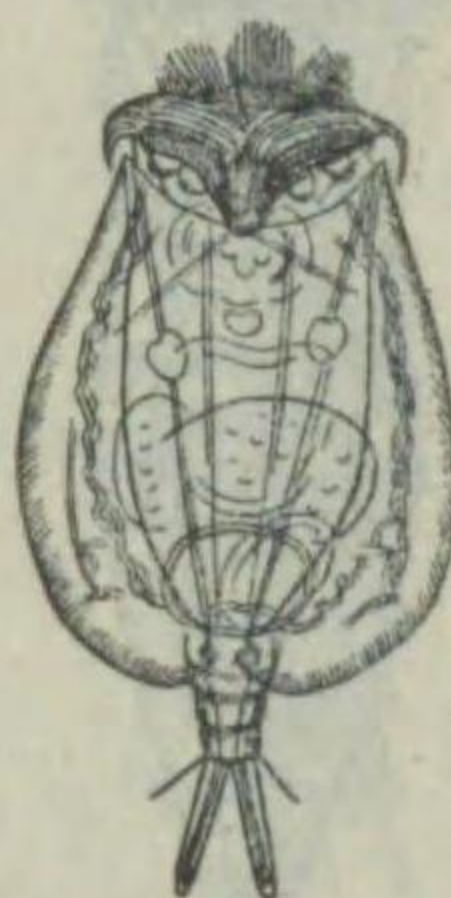
Brachionus bakeri.

體ハ絲卷形ニシテ、甲面ハ顆粒狀ヲ呈シ、背面ノ前端ニ三對ノ棘ヲ有シ、後縁ノ兩側ニモ棘ヲ有セリ。體形ニ變異多ク、體長一五〇乃至二五〇μ内外ナリ。淺キ泥質ノ池沼ニ極メテ普通ニ見出サル。

カドツボワムシ (角壺輪蟲)

ツボワムシ科

第二八三圖



Euchlanis dilatata.

被甲ハ卵圓形ニシテ、背甲ハ半球狀ニ膨レ、腹面ハ平坦ナリ。頭板ハ廣キ三角形ノ前面ヲ有ス。背甲ノ後縁ハ凹入シ、三節ノ足ヲ有シ、一對ノ長大ナル爪及ビ刺毛アリ。體長三〇〇乃至三五〇μ内外ナリ。各地ノ池沼ニ普通ナレドモ、雄ハ未ダ發見セラレズ。

ハオリワムシ (羽織輪蟲)

ハオリワムシ科

第二八四圖



Monostyla lunaris.

被甲ハ短橢圓形、扁平ニシテ、前後縁ハ四彎セリ。背面ハ著シク隆起セルモ腹面ハ平滑ナリ。足ハ短キモ爪ハ頗ル長ク體長ノ四分ノ三ニ達シ、ソノ末端ニ二分スルカ又ハ中央ニ溝ヲ有セリ。全長(爪トモ)一五〇乃至一七〇μ内外ナリ。池沼ノ水草間ニ棲息スルモノナレドモ稀ニ海ニモ産ス。

ツキガタエナガワムシ (月形柄長輪蟲)

ツキガタワムシ科

第二八七圖



Brachionus pala.

體ハ稍々長キ壺形ニシテ、腹側ハ稍々扁平ナリ。被甲ハ透明ニシテソノ背甲前縁ニ四本ノ棘狀突起アリ。後端ノ中央ヨリ、環節ヲナセル長大ナル足ヲ出シソノ先端ニ二爪ヲ有ス。被甲ノ長サ二五〇乃至四〇〇μ内外ナリ。各地ノ池沼ニ普通ニ在スルモノナレドモ、歐洲ニ於テハ汽水又ハ海ニ産セル報告アリ。本種ニ酷似シ、背甲前縁ニ三對ノ棘ヲ有セルモノニ、くるまむし P. rubens. アリ。

ツボワムシ (壺輪蟲)

ツボワムシ科

第二八八圖



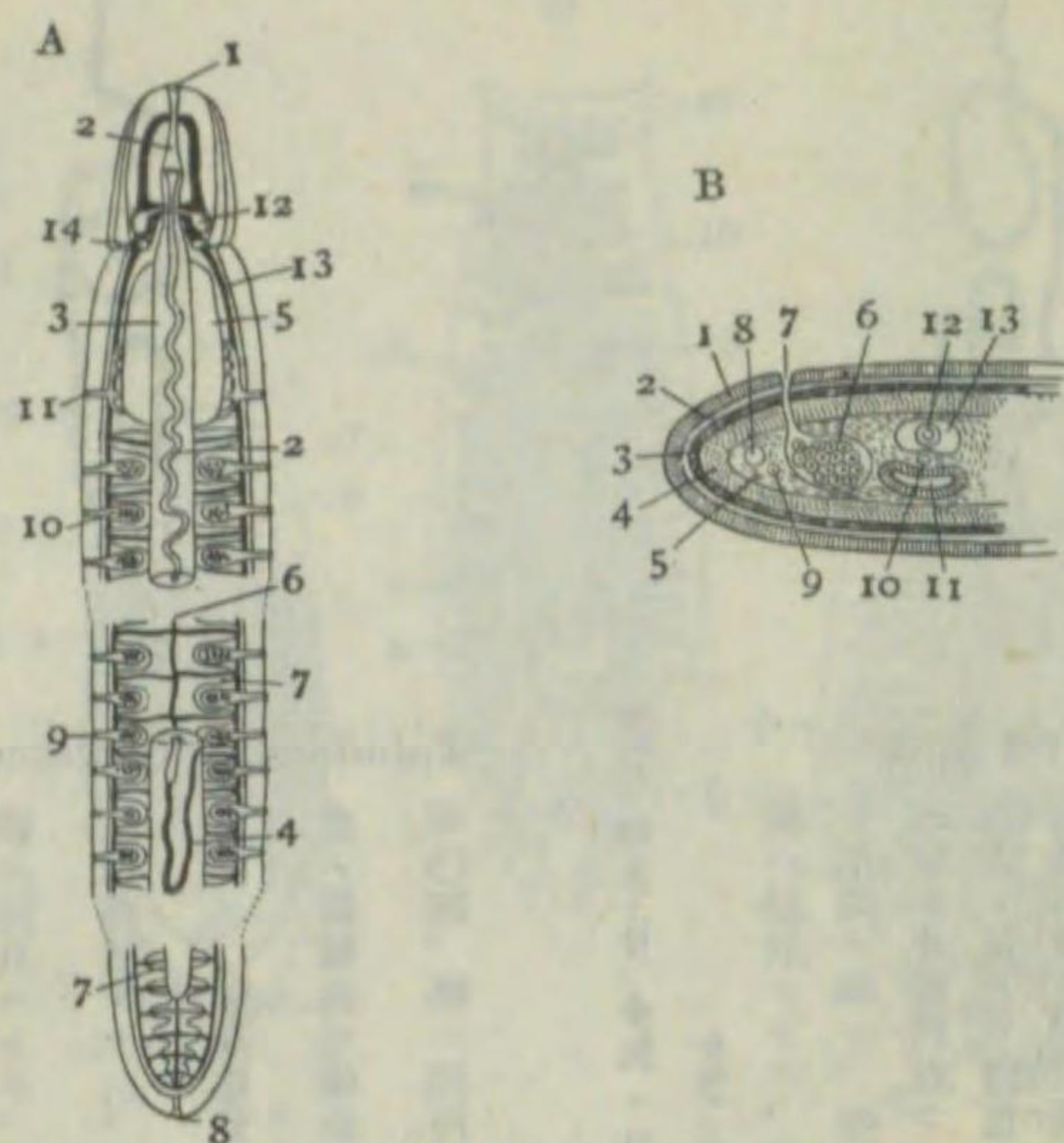
Notholca longispina.

體ハ後方ニ尖レル細圓錐形ニシテ腹面ハ扁平ナリ。被甲ハ全ク無色透明ニシテ、前端ニ六棘アリ、ソノ中ノ一本及ビ後縁ハ著シク延長シ、針狀ヲ呈セリ。背面ノ兩側近クニ縱走セル二稜線アリ。全長六〇乃至六五〇μ内外ナリ。湖水ノ池沼ニ普通ナレドモ時ニ汽水中ニモ産ス。但シ雄ハ未ダ發見セラレズ。

トケナガワムシ (棘長輪蟲)

カメノカワムシ科

第二八二三圖



A 紐形動物ノ模型圖

B 同横斷模型圖

1 吻孔	8 肛門	7 生殖門
2 吻	9 生殖腺	8 側神經
3 吻鞘	10 生殖門	9 側血管
4 吻牽引筋	11 排泄孔	10 正中血管
5 食道	12 腸	11 腸管
6 正中血管	13 側神經	12 吻
7 側盲囊	14 頭器	13 吻鞘

紐形動物門概説

本門ノ動物ハ一般ニ細長ク圓筒狀又ハ扁平ニシテ、環節又ハ附屬肢ヲ有スルコトナク、恰モ紐ノ如キ體形ヲ呈ス。此類ノ大部分ハ海産ナレドモ淡水又ハ濕地ニ棲ムモノアリ。頭端ハ稍幅廣ク二個若クハ數個ノ眼ヲ具フ「種類ニヨリテハ眼ヲ缺クモノアリ」。體ハ粘液腺細胞ニ富メル表皮ニ被ハレ、全面ニ絨毛ヲ有ス。其神經系及排泄系ノ構造ノ扁形動物ニ類似セルノ故ヲ以テ扁形動物ノ一綱トナスモノアリト雖ドモ、肛門ヲ有シ、血管系ノ分化セル等著シク異ナレル點アリ。本類ハ其特有ノ器官トシテ吻ヲ有ス。吻ハ筋肉質ノ中空管ニシテ消化管ノ背側ニ位シ、食餌動物ノ捕獲、攻撃防禦ノ器官タリ。腦ハ頭端ニ近ク吻ノ兩側ニ位スル二個ノ神經節ヨリ成リ、吻鞘ノ上下ニ於テ互ニ相連ル。腦上ニハ一對ノ平衡胞ヲ有スルアリ、頭感器ト頭溝トヲ有スルアリ。循環系ハ吻鞘ト消化管トノ間ヲ縱走スル一條ノ正中血管ト體側ヲ縱ニ走レル一對ノ側血管トヨリ成リ、前後兩端ニ於テ互ニ連絡スルノミナラズ、又横行血管ニヨリテ連結セラル。排泄器ハ原腎管ニシテ、一又ハ數個ノ小孔ニヨリテ外界ニ開ケリ。一般ニ雌雄同體ニシテ生殖集ハ小囊狀ヲナシ、腸ノ側盲囊間ニ環節的ニ排列シ、生殖ノ時期ニ至レバ各生殖集ハ小管ヲ體表ニ伸出シテ生殖物ヲ放出ス。

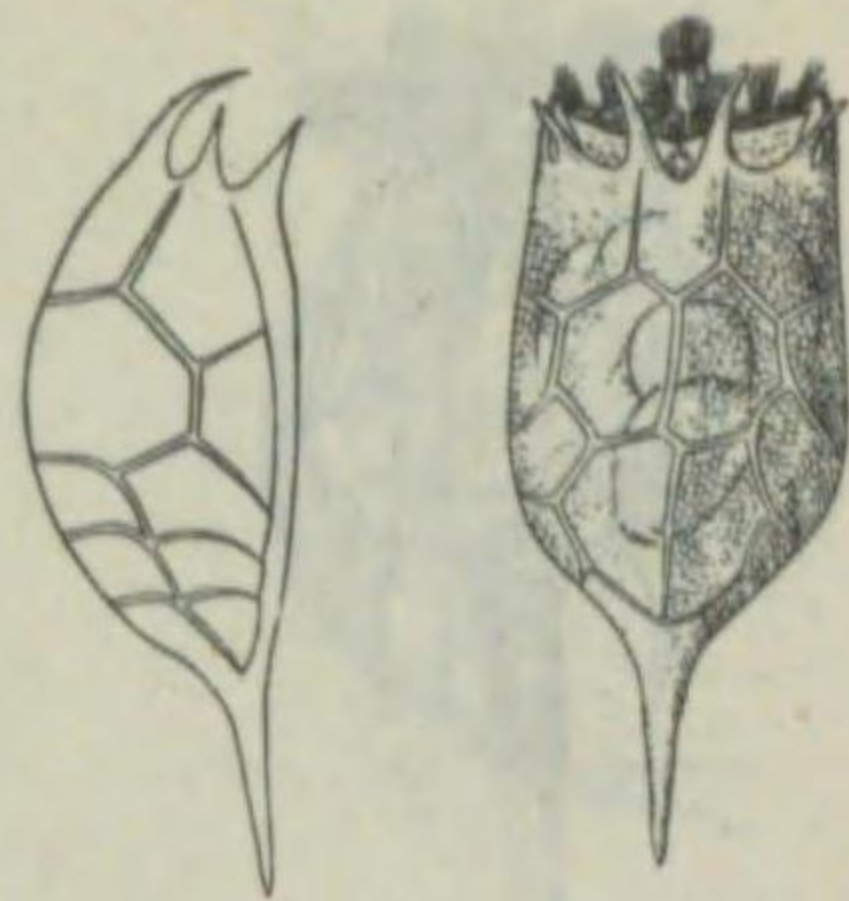
第二八二〇圖



Anuraea aculeata.

前種かめのかむむしニ酷似セルモ、背甲ノ後端兩側ニ一對ノ棘狀突起ヲ有セル點ハ最モ著シク異レリ。本種モ亦變異ニ富ム。雄ハ小形ニシテ球狀ヲナシ、棘ハ痕跡ヲ殘留スルノミ。體長雌一三〇μ、雄七〇μ内外ナリ。各地ノ湖沼ニ廣ク分布シ、普通ナル種類ナリ。

第二八一九圖



Anuraea cochlearis.

體ハソノ前部ヲ除キ他ハ全ク被甲ニテ被ハレ著シク隆起シ、全面ニ細網目ヲ刻シ、又大區劃ニ分タル、モ、腹面ハ平滑ニシテ細網目ノミナリ。背面ノ前縁ニ六棘、後端ニ一棘狀突起ヲ有スレドモ、區劃及ビ棘ノ狀態ニハ變異頗ル多シ。足ヲ缺ク。體長(棘ヲ除ク)一〇〇μ内外ナリ。各地ノ湖沼ニ廣ク分布セリ。

カメノカワムシ (角亀甲輪蟲)

カメノカワムシ科

ツノカメノカワムシ (角亀甲輪蟲)

カメノカワムシ科

第二八二二圖



Pedalion mirum.

體ハ圓錐形ニシテ、後端ハ鈍ク尖リ頭端ハ廣ク截斷狀ヲ呈シ、一對ノ眼ト、ソノ周縁ニ絨毛環ヲ具フ。被甲ヲ缺ク。先端ニ羽毛狀棘ヲ有セル六本ノ腕狀突起ヲ有シ、腹面ノ一突起ハ遙カニ體ノ後端ヲ超ユ。體長(附屬肢ヲ除ク)三五〇乃至四〇〇μ内外ナリ。雄ハ頗ル小形ニシテ三箇ノ剛毛束ヲ具フ。琵琶湖、霞ヶ浦等ニ分布セリ。

第二八二一圖



Ploesoma truncatum.

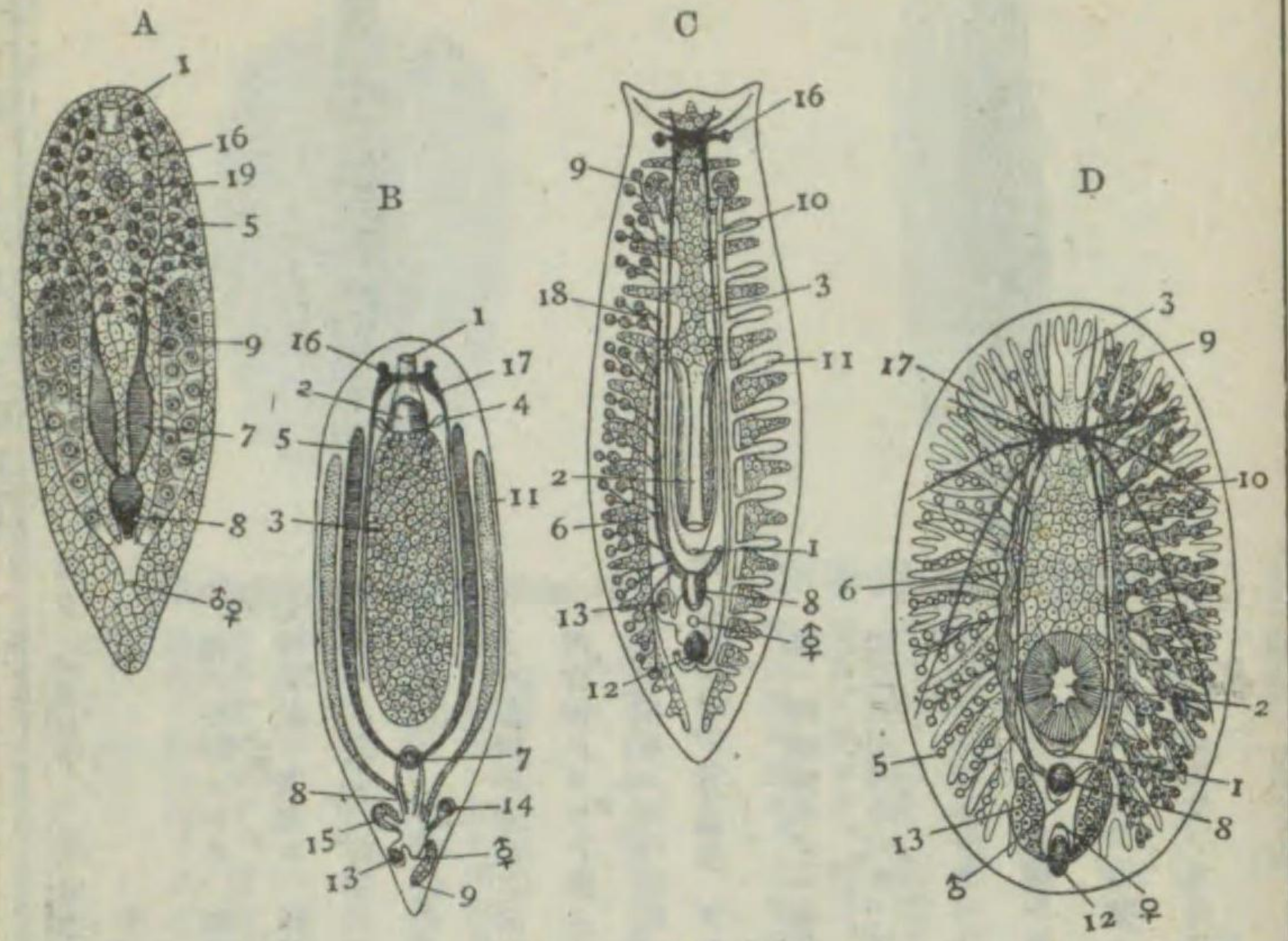
被甲ハ廣卵形ニシテ、顯著ナル多數ノ稜線ヲ有ス。頭板ハ四角形ニシテ、頭部ヲ引込ムル場合ニハ完全ニ之ヲ被ヒ得。一對ノ棒狀突起ト赤色ノ眼トヲ有ス。足ハ環筋狀ヲナシ、腹面ノ中央部ヨリ突出シ二箇ノ爪ヲ具フ。體長二〇〇乃至三〇〇μ内外ナリ。各地ノ池沼ニ極メテ普通ニ棲息セルモ、雄ハ未ダ發見セラレズ。

スチワムシ (條輪蟲) スチワムシ科

ミチンコワムシ (微塵子輪蟲)

ミチンコワムシ科

第二八二八圖



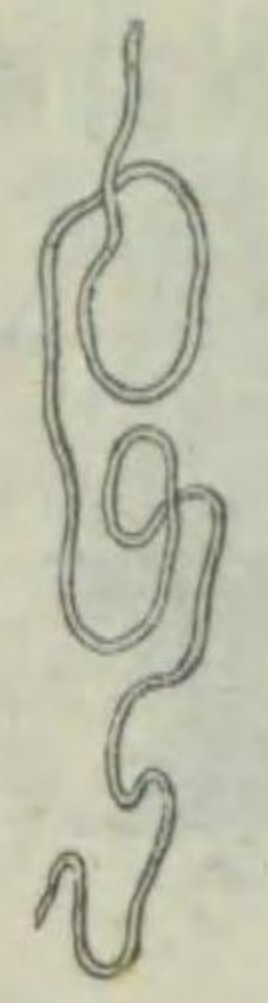
渦蟲類ノ體制模型圖

A 無腸類	1 口	8 陰莖	15 眼
B 單腸類	2 咽頭	9 卵管	16 腦
C 三岐腸類	3 腸	10 卵管	17 縱走神經
D 多岐腸類	4 唾腺	11 卵管	18 平衡器
	5 睪丸	12 子宮	19 ♂ 雄生殖孔
	6 精管	13 子宮	♀ 雌生殖孔
	7 貯精管	14 受精囊	♀ 雌生殖孔

扁形動物門概説

本門ニ屬スル動物ノ體ハ扁平ニシテ環節ナク、前後、左右、腹背ノ別アリ、所謂左右相稱ナリ。渦蟲類、吸蟲類、條蟲類ノ三綱ニ分タル。而シテ之等三綱ノ關係ヲ觀察スルニ其系統發生上最初ノ自由生活ヲ營ム祖先ヨリ起リ、其後寄生生活ヲ營ムニ至リ、其結果トシテ體ノ内外構造ニ次第ニ退化現象ヲ起シ、以テ其特徵ニ於テ著シク異ナル三綱ニ分ル、ニ至リシコト明ナリ。即チ其祖先ノ形質ヲ最も良ク具ヘタルハ渦蟲類ニシテ、一般ニ獨立自營ノ生活ヲ營ミ、體面ニ纖毛ヲ有シ、水中又ハ濕地ヲ運動スト雖モ、吸蟲類及ビ條蟲類ハ寄生生活ノ結果トシテ運動ニ與ル纖毛ハ消失シ、硝子膜ヨク發達シタリ。消化管ハ發達ノ程度低ク、渦蟲類ニ於テハ口ニ續テ筋肉性ノ咽頭アリ、之ニ次デ腸アリ一般ニ肛門ヲ欠ク。然ルニ吸蟲類ニ於テハ稍消化管ノ退化ヲ示シ、條蟲類ニ至リ其退化甚シク、全ク消失シテ痕跡ヲ止メザルニ至レリ。間充織豐富ニシテ體腔ハ發達ノ程度低ク、狭小且不明瞭、僅ニ生殖腺ニヨリテ代表セラル、ニ過ギズ。排泄器ハ原腎管ニシテ、體ノ左右ニ縱走セル管系ナリ。其簡單ナルモノハ一對ノ細管ニ過ギザレドモ、複雑ナルモノニアリテハ兩主管ノ間ニ連絡アリテ網狀ヲ呈セリ。一般ニ雌雄同體ニシテ生殖器ハ複雑ナリ。

第二八二五圖



**Cephalothrix linearis.**  
ケフアロトリックス・リネアリス  
ケフアロトリックス科  
體ハ絲狀ニシテ、頭端ハ鈍圓ナルモ尾端ハ細シ。吻孔ハ頭端ニ近キ腹面ニ小縱列狀ヲナシ、口ハ遙カ後方ニ位ス。體色ハ赭褐色ニシテ頭部ハ淡ク、頭端ハ濃色ナリ。體長一〇〇耗、幅〇・五耗内外ナルモ、收縮力強ク、長サ四分ノ一位ニ收縮シ得。淺海ノらみとらのを等ニ附着シテ棲息ス。太平洋沿岸。

第二八二四圖



**Tubulanus punctatus.**  
トゥブラーヌス・プンクタートゥス  
トゥブラーヌス科  
體ハ絲狀ニシテ、細長キモ、頭部ハ圓盤狀ヲナシ、軀幹トノ間ニ溝ヲ有ス。背面暗紫色ニシテ、肉紅色ノ横輪及ビ縱走線アリ。體長一五〇耗、幅一耗内外ナリ。

第二八二七圖



**Linus fuscoviridis.**  
ミドリヒモムシ (線紐蟲) リネウニ科  
(異名) アラヒモムシ  
體ハ大形ニシテ、眞田紐狀ヲ呈シ頭部モ扁平ニシテ、寬狀ヲナシ、頭部ト明瞭ニ區別シ得。前部ハ略々直線狀ヲナシ、ソノ兩側ハ鈍圓形ニシテ、吻孔ハ頭端腹面ニ位シ小縱裂狀ヲナセリ。口ハソノ後方ニ大縱裂狀ヲナス。側溝ハ深ク、ソノ後方ハ淡紅色ニシテ、體色ハ淡綠色乃至帶紫暗綠色ナリ。體長八〇〇耗、幅一〇耗内外。干滿潮線下ノ岩石下ニ棲息シ、本州中部太平洋沿岸ニ分布セリ。

第二八二六圖



**Malacobdella japonica.**  
ヒモビル (紐蛭) ヒモビル科  
體ノ後端ニ圓形ナル比較的大形ノ吸盤アリテ蛭ニ似ル。前部ハ圓形ニシテ、中央ハ凹陷シ、コノ部ニ口開キ吻孔ハ食道ノ背壁ニ開ケリ。吻ハ細長ク棘ハナク、眼ヲ缺ク。體色ハ暗黄色ニシテ半透明ナリ。體長三〇乃至四五耗、幅四耗内外ナリ。北日本産ノほつきがひノ外套腔内ニ寄生ス。

第二八二九圖



*Stummeria trigonocephala.*

太平洋岸ノ河口附近ニ棲息セリ。

内容物ニヨリテ種々ノ色ヲ呈ス。

エクトプラナリムリプロケロデス科

ストンメリア・トリゴノケファラ  
プロケロデス科

第二八三〇圖



*Ectoplana limuli.*

トシテ頭胸肢ノ基節及ビ鰓葉ニ附  
着ス。

ノ海岸ニ産ス。甲蟹ニ寄生シ、主  
ノ眼ヲ有ス。本種ハ備前呼松附近

レドモ淡褐色ナルコトアリ。一對  
ノ眼ヲ有ス。

體ハ兩端鈍尖ナル櫛葉狀ヲ呈シ、  
體長五耗内外ナリ。通常乳白色ナ

エクトプラナリムリプロケロデス科

第二八三一圖



*Bdellocephala brunnea.*

本邦各地ノ溪流ニ分布セリ。

五耗内外、幅三乃至四耗ヲ算ス。

フランナリア・ゴノケファラ

ブテロケファラ・ブルンネア  
テンドロキールム科

第二八三二圖



*Planaria gonocephala.*

地帯ニ於ケル清潔ナル溪流ニ分布  
セリ。

タルモノニシテ通常黒色又ハ淡緑  
褐色ヲ呈シ、本邦中部地方ノ高山

再生作用ノ實驗用動物トシテ重要  
ナリ。P. vividaハ本種ニ酷似シ

リ。各地河川、池沼等ニ普通ニシ  
テ、無性的ニ蕃殖スルヲ常トス。

一部ハ三角狀ニ突出シ、ソノ背面ニ  
一對ノ眼ヲ具フ。體色ハ一般ニ帶  
緑褐色ニシテ、眼ノ周圍ハ無色ナ

フランナリア・ゴノケファラ

本邦各地ノ溪流ニ分布セリ。

五耗内外、幅三乃至四耗ヲ算ス。

フランナリア・ゴノケファラ

本邦各地ノ溪流ニ分布セリ。

五耗内外、幅三乃至四耗ヲ算ス。

第二八三三圖



*Notoplana humilis.*

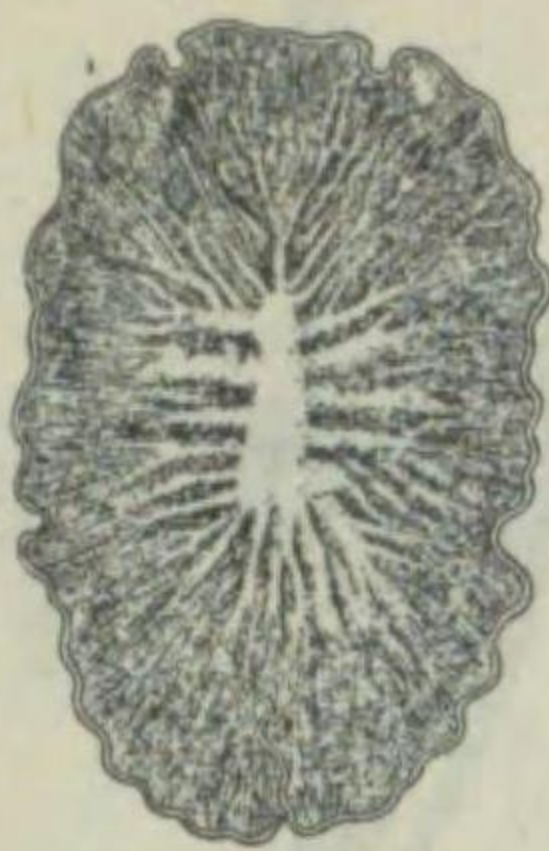
線附近ニ分布ス。

耗内外ニ達ス。太平洋岸各地ノ汀  
線附近ニ分布ス。

ノトプラナ・フミリス

レプトラナ科

第二八三四圖



*Planocera reticulata.*

ニ棲息シ、各地ノ沿岸ニ分布ス。

幅四〇耗内外ナリ。干潮兩潮線間

域ニ散在セリ。體色ハ暗色ニシテ  
黒色ノ網狀斑ヲ具フ。體長七〇耗

排列セルノミナラズ、ソノ内側腦  
域ニ散在セリ。體色ハ暗色ニシテ

前方背面ニ一對ノ圓錐形ノ觸角アリ。  
眼ハ觸角ノ基部ニ於テ環狀ニ

ブラノケラ・レティクラータ

ブラノケラ科

第二八三五圖



*Thysanozoon brocchii.*

内外。太平洋岸ニ分布セリ。

ヲ現ハセリ。體長三五耗、幅二五耗  
内外。太平洋岸ニ分布セリ。

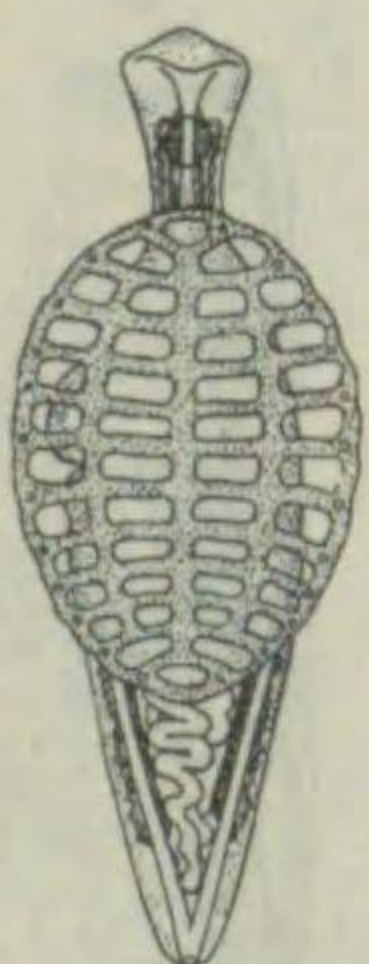
ミノヒラムシ (裴平蟲)

ブセウドケロス科

シュンブクテウ (楯腹蟲)

シュンブクテウ科

第二八三六圖



*Aspidogaster ijimai.*

互リテ屈曲ス。鯉ノ腸ニ寄生セル  
モノナリ。

略橢圓形ヲ呈セリ。子宮ハ全身ニ  
互リテ屈曲ス。鯉ノ腸ニ寄生セル

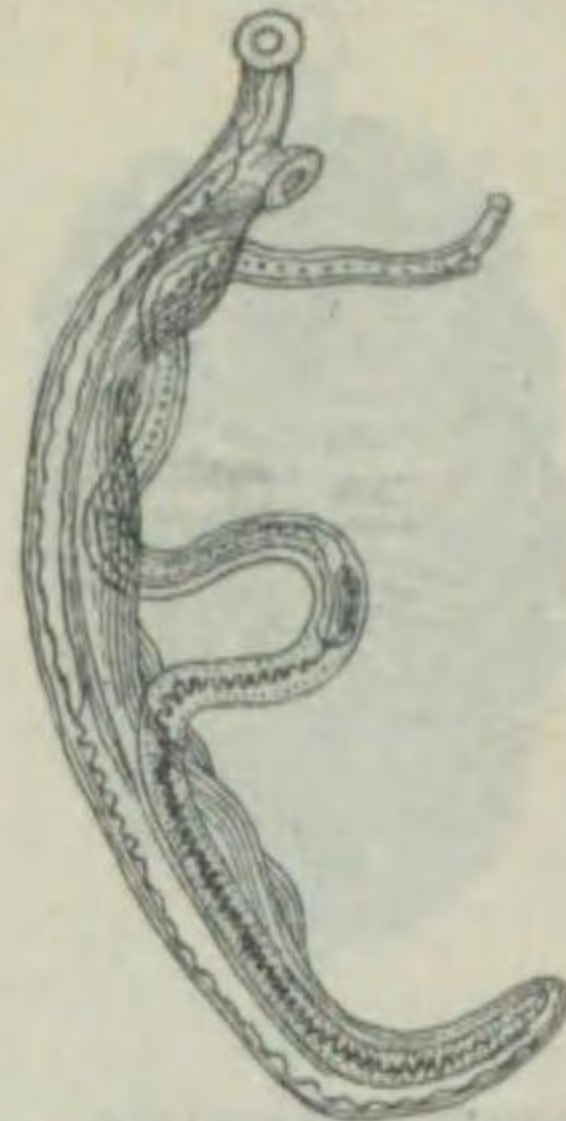
後部ヨリ四分ノ三附近ニアリテ、  
くちゆうノ名之ヨリ出ズ。卵丸ハ

體長二・五耗内外ナリ。しゅんぶ  
大吸盤アリ、ソノ長徑一耗ニ達ス

ハ四二ノ小室ニ分タレタル楯狀ノ  
體ハ扁平ナル筭狀ニシテ、腹面ニ



第二八三七圖

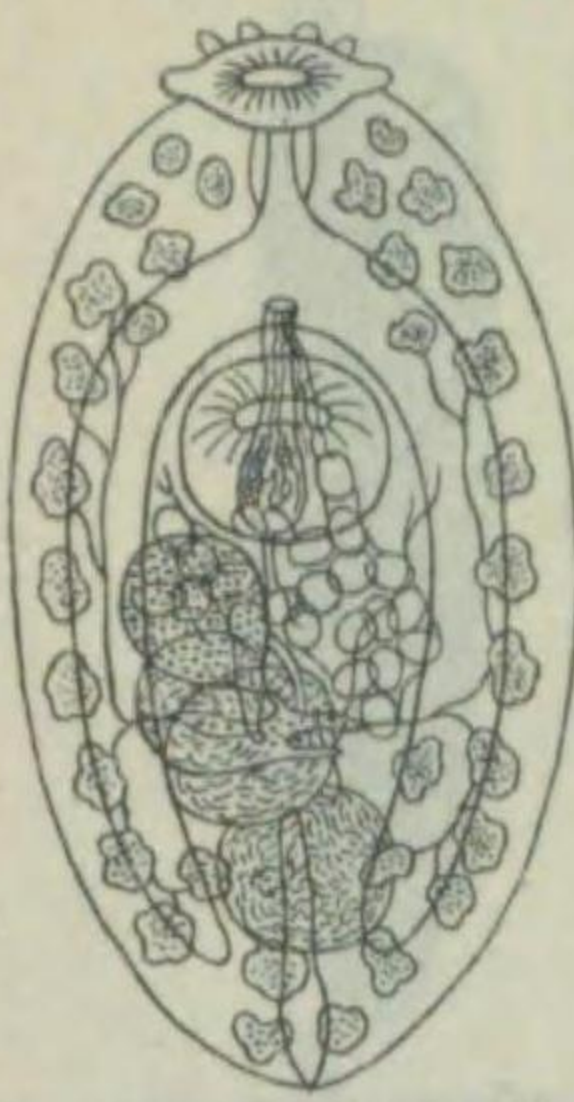


ニッポンジウケツキチュウ (日本住血吸蟲) レッタイチウ科 雌雄異體ニシテ、共ニソノ體長ニ著シキ相違アリ。雌ハ絲狀ヲ呈シ一三乃至二〇耗ニシテ、兩腸管ハ後方ニテ相合ス。ソノ前方ニ卵巢、後方ニ卵黃腺アリ。雄ハ體長七乃至二〇耗ニシテ、前體ハ細ク、後體ハ圓筒狀ヲナシ、内ニ管腔ヲ有シ、成體ニテハ之ニテ雌蟲ヲ抱擁ス。人及ビ牛ノ肝臓、腸管壁ニ寄生ス。中間宿主ハミヤイリガヒナリ。

クレビドストムム・サルモニス

アロクレアデイス科

第二八三八圖



Crepidostomum salmonis. 體ハ小形ニシテ、橢圓形ヲ呈シ、口吸盤ハ稍々圓形ニ近キ橢圓形ヲナシ、六箇ノ乳突起ヲ有ス。腹吸盤ハ大形ニシテ、亦橢圓形ヲナセリ。卵丸ハ體ノ後方ヨリ約三分の一ノ所ニ位シ、卵巢ハ前卵丸前方ニ、子宮ハ後卵丸ト腹吸盤ノ間ニアリ。體長一・四耗、幅〇・四耗ナリ。鮭ノ幼魚ノ消化管ニ寄生ス。

第二八三九圖



Azygia perryi. 體ハ細長クシテ、筒形ヲ呈シ、口吸盤ハ腹吸盤ニ比シ少シク大ナリ。卵黃腺ノ小胞ハ球狀ニシテ、兩體側ニ比較的廣ク分布セリ。卵巢ハ排泄囊ノ分岐部直前ニ位シ、卵丸ハ二箇アリ、卵巢ノ後方ニ稍々斜ニ相前後シテ列ブ。體長一〇耗、内外ナリ。鰻ノ胃ニ寄生ス。

アチギア・アングレ

アチギア科

第二八四〇圖

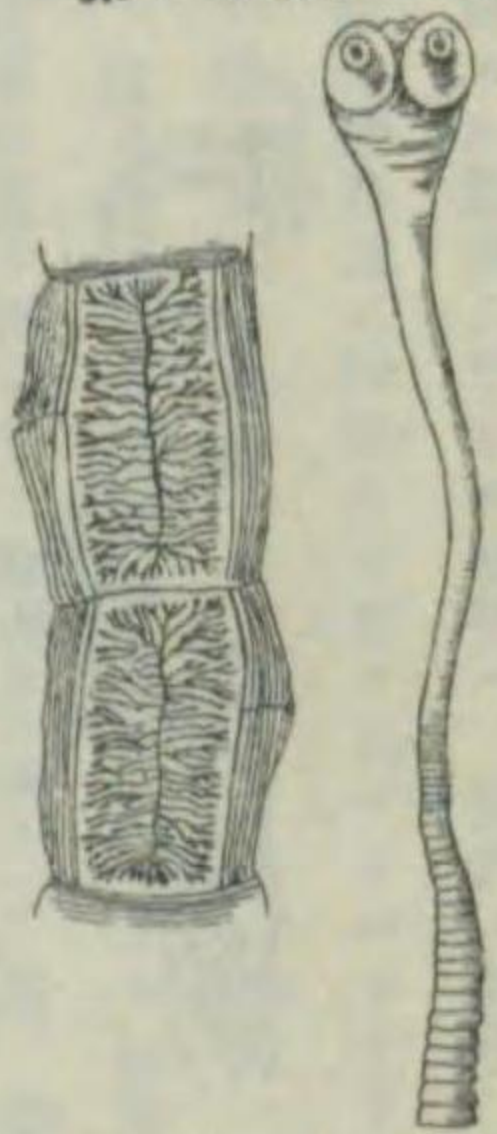


Azygia anguillae. 體ハ著シク長ク、體長四乃至一〇米内外ニ達シ、幅ハ僅ニ六乃至七耗ニ過ギズ。片節數ハ一三〇〇内外ヲ算ス。頭部ハ球狀ヲナシ、四吸盤ヲ有セルノミニシテ、額ナク無鉤ナリ。後方體節ノ側緣ニハ不規則ナル生殖器開口アリ。人ノ小腸内ニ寄生スルモノニシテ、コレガ中間宿主ハ牛、山羊、羊等ナリ。世界各地ニ産ス。

ムコウテウチュウ (無鉤條蟲)

テニア科

第二八四三圖

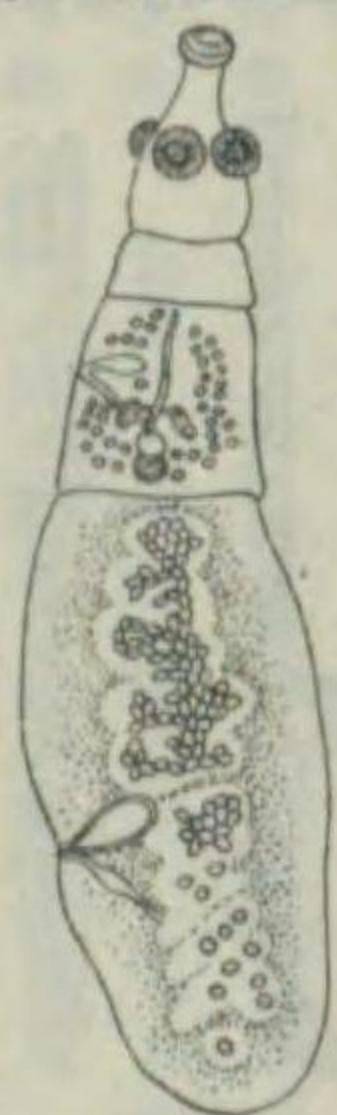


Taenia saginata. 體ハ著シク長ク、體長四乃至一〇米内外ニ達シ、幅ハ僅ニ六乃至七耗ニ過ギズ。片節數ハ一三〇〇内外ヲ算ス。頭部ハ球狀ヲナシ、四吸盤ヲ有セルノミニシテ、額ナク無鉤ナリ。後方體節ノ側緣ニハ不規則ナル生殖器開口アリ。人ノ小腸内ニ寄生スルモノニシテ、コレガ中間宿主ハ牛、山羊、羊等ナリ。世界各地ニ産ス。

クテウチュウ (狗條蟲)

テニア科

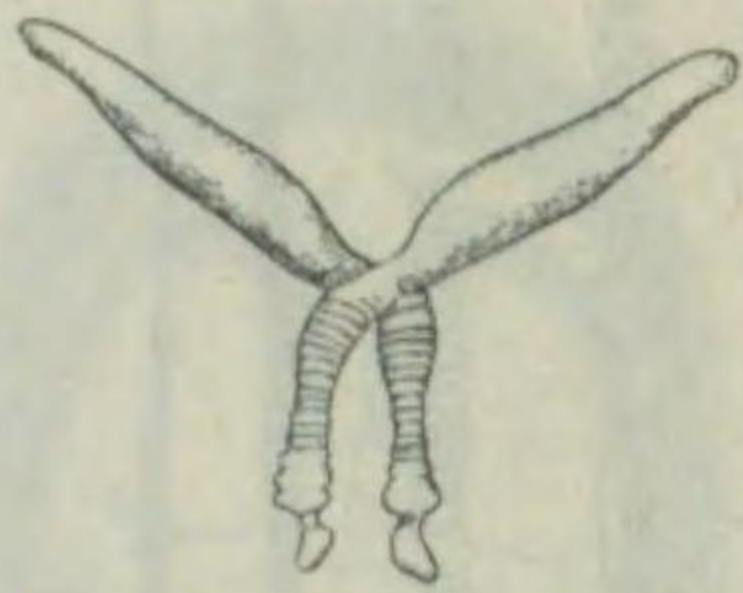
第二八四四圖



Taenia echinococcus. 體ハ小形ニシテ、體長ハ二乃至五耗ニ過ギズ。片節モ亦少ク、僅ニ三乃至四箇ヲ數ヘルニ過ギズ。頭部ハ球形ヲ呈シ、額上ニハ數多ノ小鉤二列ニ生ゼリ。生殖器ハ不規則ニ交互シテ生ズ。犬ニ寄生スルモノニシテ、中間宿主ハ牛、羊、豚、等稀ニ人體ノコトアリ。

七四五

第二八四一圖



Diplozoon nipponicum. 本動物ハ二筒體ガ腹部四入部ヲ以テ、他蟲ノ凸隆ヲ保持シ、互ヒニ連結交叉シ、X字形ヲナセルヲ以テ此ノ名アリ。各筒體ノ前端ハ圓柱形ヲナシ、口ハ先端ノ腹側ニ開キ、ソノ兩側ニ一對ノ吸盤ヲ有シ、體ノ後端ニ近キ腹面ニ四對ノ吸盤ヲ有ス。鰹及鮭ノ鰓ニ寄生セルモノナリ。

フタゴムシ (雙子蟲)

オクトコテイレ科

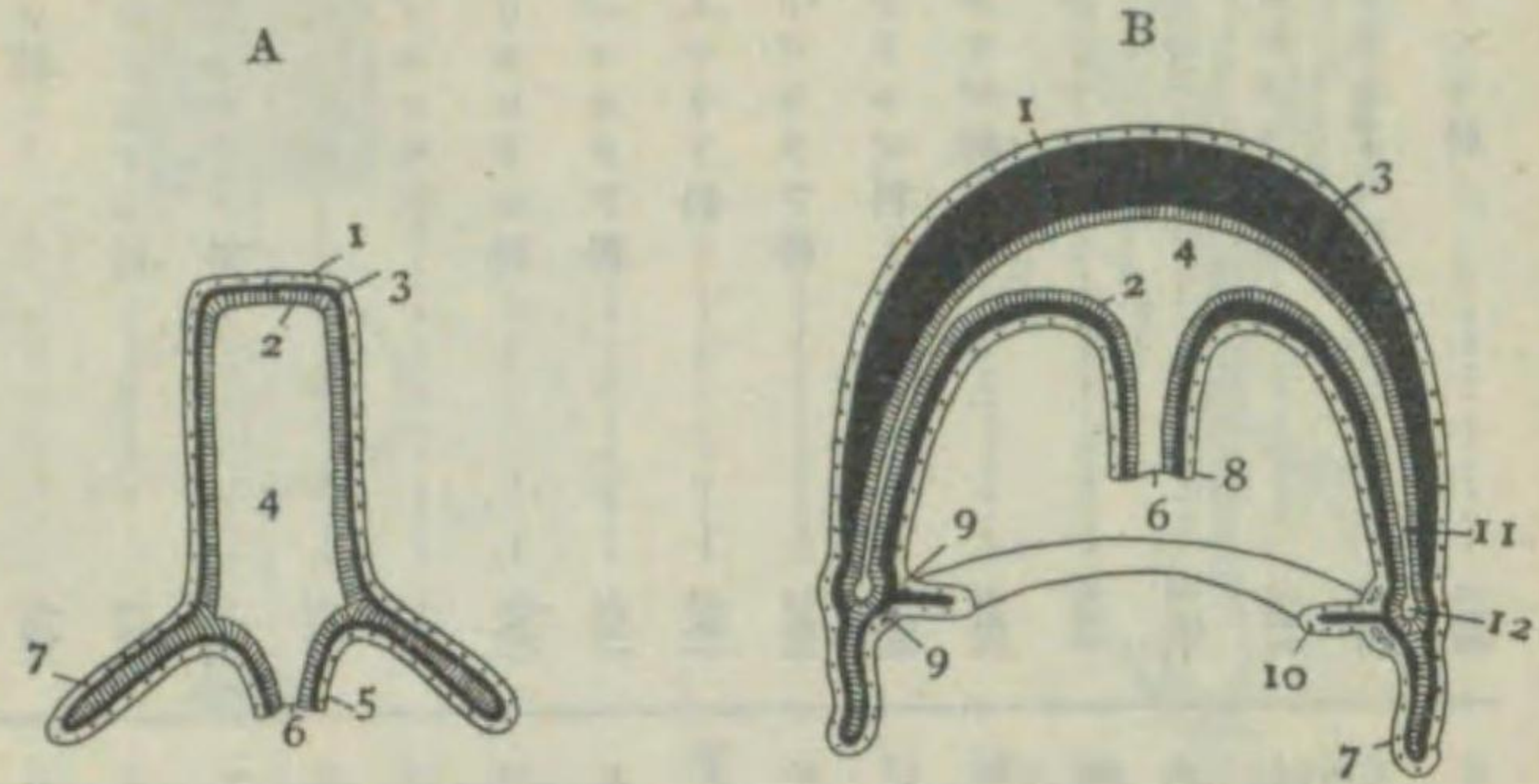
トゥリストムム・ロトウドムム

トゥリストムム科

Tristomum rotundum.

體ハ淡紅色ニシテ、卵圓形。前後兩端ハ稍々凹入シ、普通左右ニ廣キモ稀ニ前後ニ長キコトアリ。體ハ徑一二耗内外ニシテ、其ノ全緣ニ微小ナル「キチン」質體ヲ有ス。體ノ前端ニ一對ノ小吸盤ヲ具ヘ、後吸盤ハ一箇アリテ圓形ヲ呈シ大ナリ。其ノ吸面ハ隔壁ニヨリテ八部分ニ分タレ、其ノ中ノ七區劃ハ他ノ一區劃ノ周圍ニ車輻狀ニ排列シ、中心區ノ後部ニ一對ノ鉤ヲ具フ。めかじギノ鰓ニ寄生ス。

第二八四九圖



「ポリプ」形ト水母型トノ同一性ヲ示ス  
模型圖

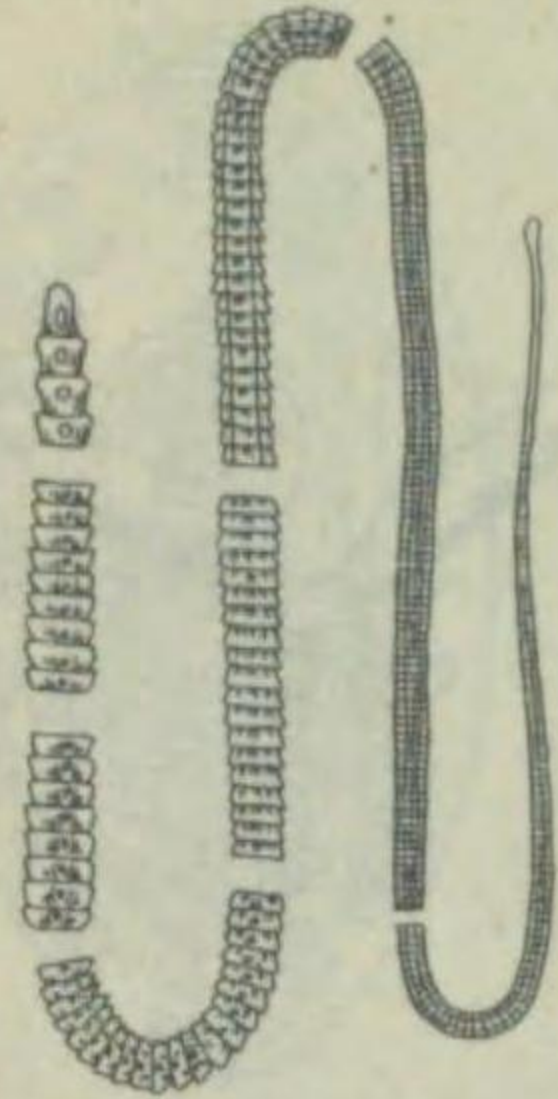
A 「ポリプ」形縦断面		B 水母型縦断面	
1 外	皮	10 縁	膜
2 内	皮	11 幅	水管
3 中	腸	12 環	水
4 腔	腸		
	5.8 口		
	6 口		
	7 觸		
	9 神		

本門ニ屬スル動物ノ著シキ特徴ハ、體內ノ腔所、即チ腔系ハ單一ニシテ他ノ後生動物ニ見ル如キ體腔及ビ腸腔ノ分化ヲ見ザルコトアリ。即チ其發生ノ際ニ於ケル囊胚ガ其儘一動物體ヲ形成セルモノト見做スベク、體壁ハ内外二層ノ上皮組織ヲ以テ構成主成分トス。斯ク體ノ基本的構造ハ同一ナレドモ固着及ビ游泳ノ二生活様式ニヨリテ各異ナレル適應形態ヲ現セリ。前者ヲ「ポリプ」型、後者ヲ水母型ト稱ス。水母型ハ要スルニ「ポリプ」型ノ壓扁セルモノト見做シ得ベク、世代交替ノ明瞭ナル類ニ於テハ一般ニ無性世代ニ於テ「ポリプ」型ヲ呈シ、有性世代ニ於テハ水母型ヲ呈セリ。又本門トシテ放射相稱ヲ呈スレドモ、高等ナルモノニ於テハ二放射相稱ヲ呈セリ。腔腸ハ、簡單ナルモノニアリテハ單一ナル内腔ニ過ギザレドモ、複雑ナルモノニ於テハ隔膜或ハ隔膜壁ヲ多數生ジテ、多クノ室即チ副房ニ分割セラル、ヲ見ル。神經系ハ本門動物ヨリ初メテ其發達ヲ見ルモノニシテ、一般ニ細胞體ハ散在シテ所謂散漫神經系ヲ形成スレドモ、水母型ノモノニアリテハ環狀神經系ヲナス。感覺器官トシテ觸手、眼點及ビ平衡器等ヲ具フ。繁殖ハ一般ニ芽出ニヨレドモ又有性生殖モ行ハル。雌雄異體又ハ同體ヲナシ、卵ハ體外ニ於テ發育スルヲ常トス。

本門動物ハ總テ水中生活ヲ營ミ、大部分ハ海水中ニ棲息シ、殊ニ熱帶地方ニ多キモ少數ノモノハ淡水中ニ生活ス。さんご類中ニハ其骨軸ハ貴重ナル裝飾品ニ供セラル、モノアレドモ又、珊瑚礁ヲ形成シ、船着ヲ不良ニスル等ノ害ヲ與フルモノモアリ。

腔腸動物門概説

第二八四六圖

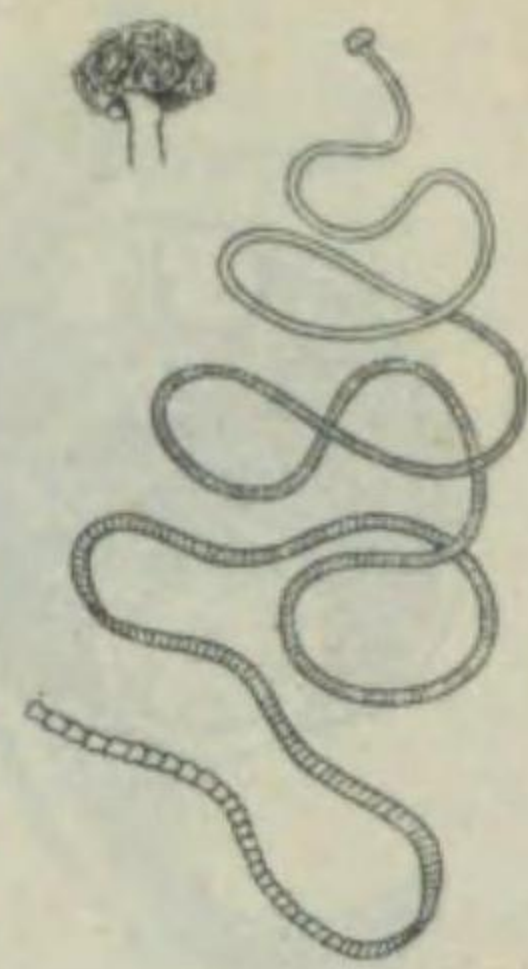


Dibothriocephalus latus.

條蟲類中最大ナルモノニシテ、ソノ長さ往々一〇米ヲ超ユルコトアリ。幅一〇乃至一五耗内外ナルモコレヲ超ユルコト稀ナラズ。片節數ハ三〇〇乃至四〇〇箇ノ多ク算ス。頭部ハ長橢圓形ヲ呈シ背腹ニハ吸溝縱走セリ。人、犬、猫等ニ寄生シ、本邦人ニ最も多シ。腸かたる、貧血等ヲ起ス。第一中間宿主ハみぢんこ類ニシテ、第二ハ鱈ナリ。

クックセツレットウテウテウ科  
(擴節裂頭條蟲)  
レットウテウテウ科

第二八四五圖



Phyllobothrium lactuca.

本動物ハ横分體條蟲類中四吸葉目ニ屬ス。片節ハ後方ニ至ルニ從ヒテ幅ヲ増シ、後端ハ稍々狭シ。頭部ノ吸葉ノ邊緣ハ著シク縮レ、大ナリ。體長七〇耗ニシテ、最大幅四耗内外ニ過ギズ。ほしぎめノ腸ニ寄生ス。

エフパンテウ (葉盤蟲)  
エフパンテウ科

第二八四八圖

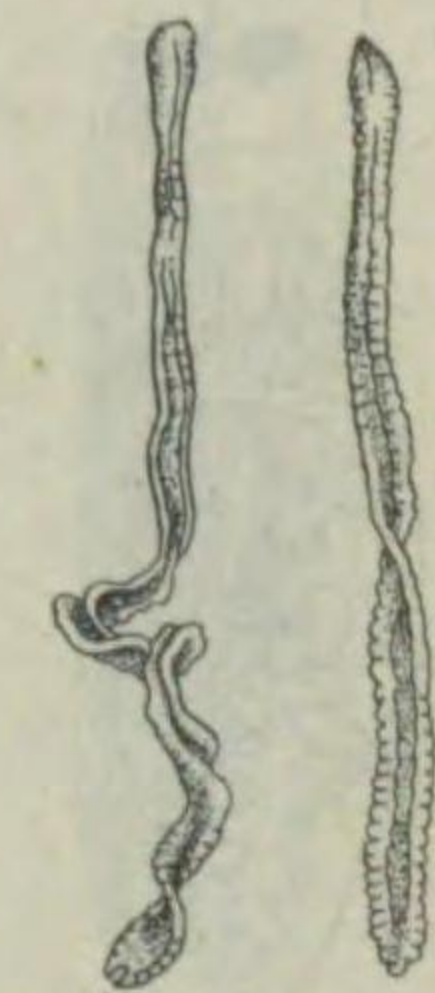


Caryophyllaeus mutabilis.

本動物ハ單體條蟲類中、丁字蟲目ニ屬ス。體ハ圓柱狀ニシテ、頭端ハ扇形ニ擴ガリ、伸縮自由ナルヲ以テ、ソノ形狀一定ナラズ。生殖器ハ體內部全體ニ分布セリ。體長二五耗、幅一耗内外ナリ。鯉科ニ屬スル魚類ノ腸ニ寄生ス。人ニ依リテ本動物ヲ横分體條蟲類ニ編入スルコトアリ。

チャウジテウ (丁字蟲)  
チャウジテウ科

第二八四七圖



Dibothriocephalus mansoni.

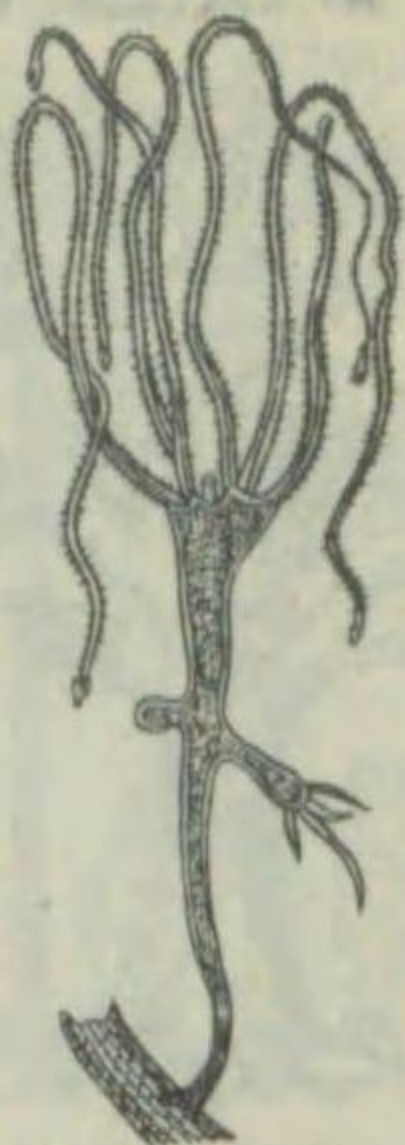
くわくせつれつとらでうちゆうニ酷似シタルモ、形小サク、卵ノ形著シク異レリ。形ハ變異ニ富ミ、體長三〇〇耗乃至二米、幅五乃至八耗内外ニ達ス。犬、猫ノ腸ニ寄生ス。第一中間宿主ハみぢんこニシテ、第二宿主ハ、人、猫、蛇、蛙等ナリ。

マンソンシレットウテウテウ科  
(—氏裂頭條蟲)  
レットウテウテウ科

腔腸動物科名目次

ヒドラ科	七四九
クダウミヒドラ科	七四九
ハネウミヒドラ科	七四九
ウミヒドラ科	七五〇
サンゴモドキ科	七五〇
タマウミヒドラ科	七五〇
カムバヌラリア科	七五一
ブルムラリア科	七五一
セルトウラリア科	七五二
エボシクラゲ科	七五二
カミクラゲ科	七五二
オワンクラゲ科	七五三
マミヅクラゲ科	七五三
ハナガサクラゲ科	七五三
トウラキネーマ科	七五四
アグラウラ科	七五四
カラカサクラゲ科	七五五
クニナ科	七五五
タマクラゲ科	七五五
フタツクラゲ科	七五五
ヤウラクラゲ科	七五五
バレンクラゲ科	七五五
パウズニラ科	七五五
カツラノエボシ科	七五五
カツラノカンムリ科	七五五
カヅラノカンムリ科	七五五
ギンクワクラゲ科	七五七
ジフモンジクラゲ科	七五七
アンドンクラゲ科	七五七
カムリクラゲ科	七五七
オキクラゲ科	七五七
イウレイクラゲ科	七五七
ミヅクラゲ科	七五七
イボクラゲ科	七五七
タコクラゲ科	七五七
ビゼンクラゲ科	七五七
オヨギンギンチャク科	七六〇
ナスビインギンチャク科	七六〇
ミニアス科	七六〇
ナトリデイウム科	七六〇
サガルテイア科	七六一
ウメボシインギンチャク科	七六一
スナギンチャク科	七六一
ハナギンチャク科	七六一
クサビライシ科	七六一
ビハガライシ科	七六三
ツボサンゴ科	七六三
ミドリイシ科	七六三
ハマサンゴ科	七六四
キクメイシ科	七六四
ツノサンゴ科	七六五
ハナゴケ科	七六五
クダサンゴ科	七六六
ウミアザミ科	七六六
アルキオニウム科	七六六
ウミトサカ科	七六七
サンゴ科	七六七
インバナ科	七六八
プリムノア科	七六八
ゴルゴニア科	七六八
ゴルゴネマ科	七六八
マキノハヤギ科	七六九
ウミヤナギ科	七六九
ウミエラ科	七六九
ホソウミエラ科	七七〇
ブレウロブラキヤ科	七七〇
カプトクラゲ科	七七〇
オビクラゲ科	七七〇

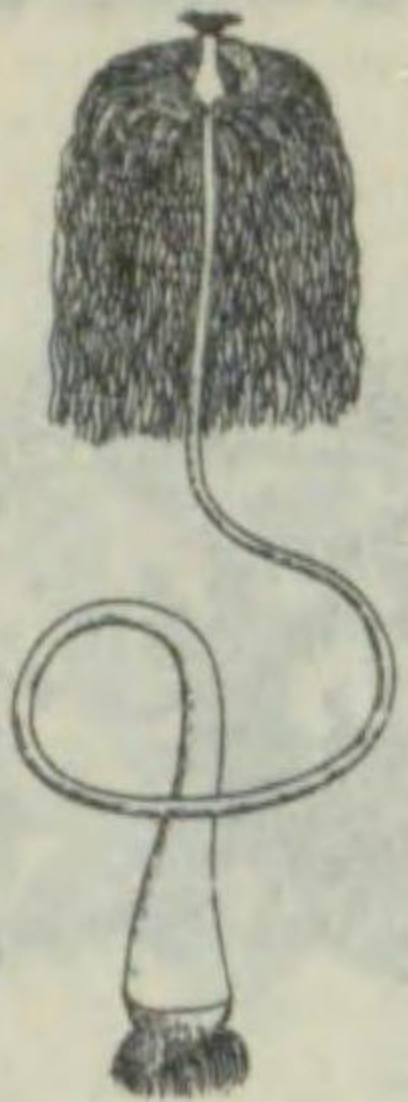
第二八五〇 圖



Hydra vulgaris.

ヒドラ (水蛭)  
池沼、田溝等ニ棲息セル小形ナルモノニシテ、圓筒形ヲナシテ、足盤トナリ、落葉、樹枝等ニ附着スレドモ、多少移行シ得ルモノナリ。觸手ハ普通六本ニシテ、絲狀ニ延長シ、體壁上ニ別個ニ成熟セル雌雄ノ生殖器ヲ生ズ。即チ雌雄同體ナリ。尙此種ハ水母型ヲ缺キ又ヒドロ群體ヲ形成セザル等、多クノ例外的性質ヲ有ス。卵、芽生、分體ニヨリテ増殖ス。體ハ淡褐色ナレドモ時ニ藻類ト共生シ綠色ヲ呈スルコトアリ。動物實驗ノ材料ニ供セラル。世界的ニ廣ク分布ス。

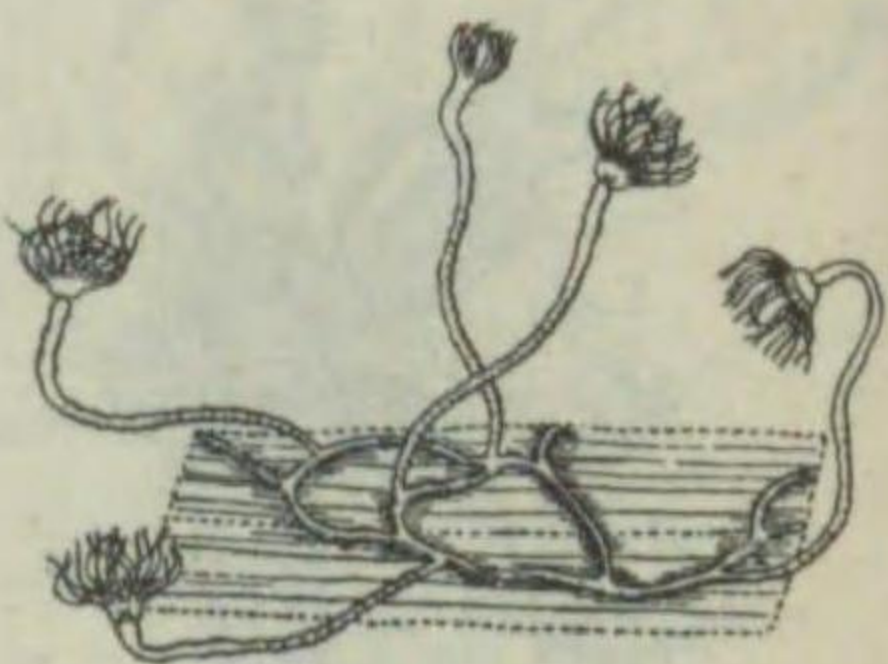
第二八五一 圖



Branchiocerianthus imperator.

オトヒメノハナガサ (乙姫花笠)  
クダウミヒドラ科  
ヒドロ蟲類中最大ナルモノニシテ單生ス。體ハ「ポリプ」ト柄部トヨリ成リ、長サ一・五米、徑二〇〇耗ニ達ス。口ノ周縁及ビ周口部ニ觸手環列シ、ソノ間ニ生殖體ヲ形成ス。體ハ帯紅色ニシテ、頗ル美麗ナリ。北太平洋ノ深海底ノ砂泥中ニ柄部ノ基端ノ膨大セル部分ヲ埋立直立ス。

第二八五二 圖



Tubularia mesembryanthemum.

ベニクダウミヒドラ (紅管水蛭)  
クダウミヒドラ科  
群體ハ、海藻ソノ他ニ匍匐セル「ヒドロ」根ヨリ屈曲セル莖ヲ直立シ、頂端ノ「ポリプ」ハ盃狀ニシテ、觸手ハ二重ニ環列シ、ソノ列間ニ芽胞體ヲ生ズ。「ポリプ」ハ帯紅色ヲ呈ス。各地ノ淺海ニ分布ス。

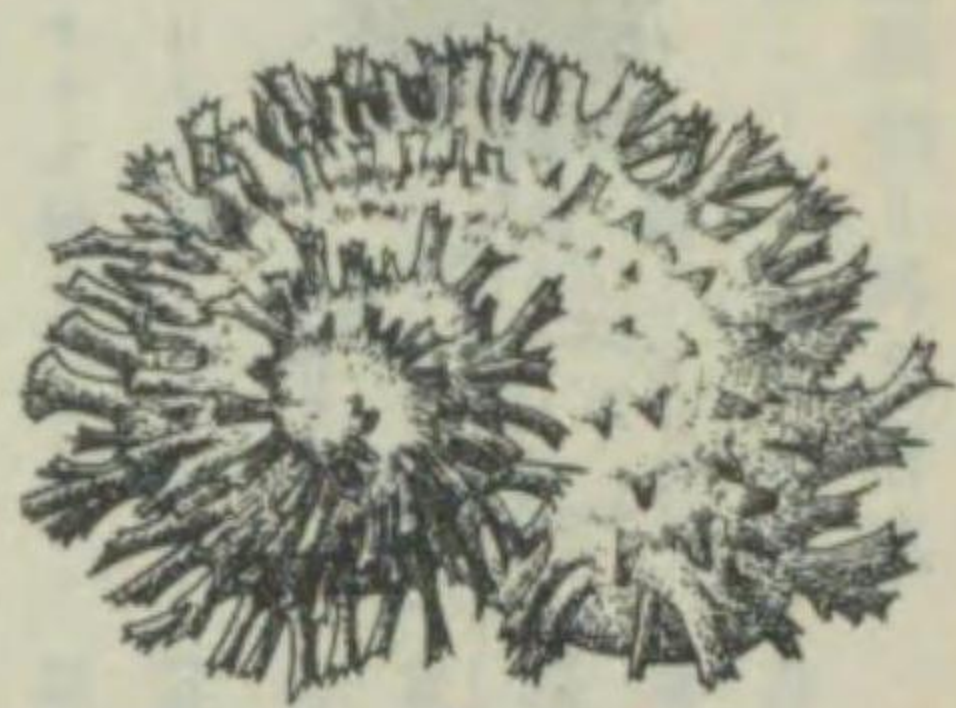
第二八五三 圖



Ponnaria cavolini.

ハネウミヒドラ (羽根水蛭)  
ハネウミヒドラ科  
群體ハ羽狀ニシテ、高サ一〇〇耗ニ及ブ。枝ノ上側ヨリ稍々等距離ニ有柄ノ「ポリプ」ヲ着生ス。「ポリプ」ハ紡錘形ニシテ、下端近クニ長大ナル絲狀觸手環列セリ。生殖體ハソノ内側ニ生ズ。「ポリプ」ハ淡紅色枝ハ褐色、莖ハ黑色ヲ呈セリ。本州中部太平洋岸ノ稍々深所ニ分布ス。

第二八五四圖



Hydractinia sodalis.

「キチン」質ノ殻皮ヲ以テ巻貝ヲ被  
ヒソノ中ニ寄居蟹ヲ宿ス。殻ハ黒  
褐色ニシテ、表面ニ分岐セル突起  
密生セリ。個體ニハ膨大セル營養  
個員ト長大ナル指狀個員ノ二型ヲ  
現セリ。北日本太平洋岸ノ稍々深  
所ニ棲息ス。

イガグリガヒ (種栗貝) ウミヒドラ科

第二八五五圖



Stylaster roseus.

群體ハ樹枝狀ニシテ、圍皮ニハ多  
量ノ石灰質沈着シ、堅硬ナリ。時  
ニ高サ一米ニモ達シ、朱紅色ヲ呈  
ス。營養個員ハ小形ナリ。相模灣  
ニ多産ス。

サンゴモドキ (擬珊瑚) サンゴモドキ科

第二八五六圖

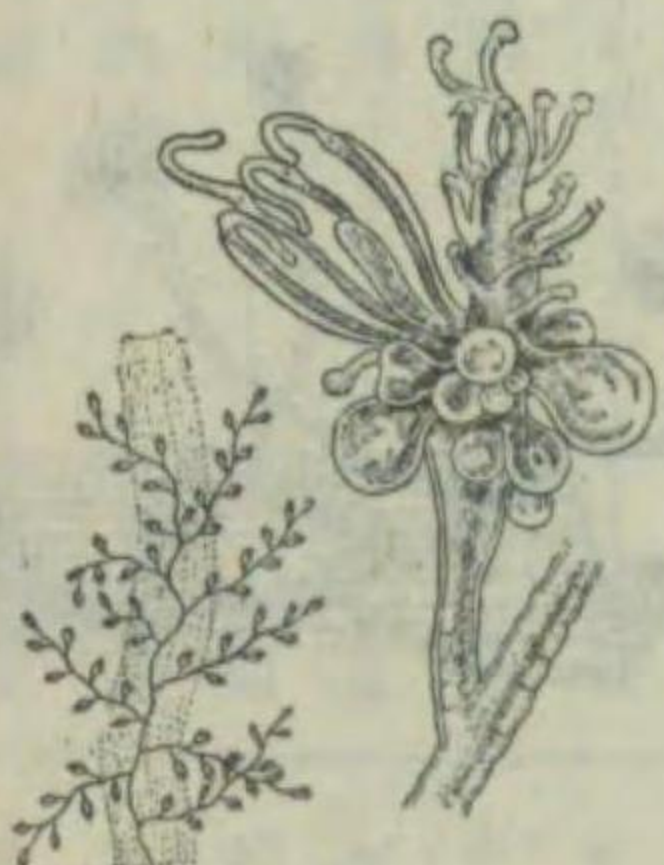


Millepora dichotoma.

群體ハ岩礁上ニ群生シ、長紡  
錐形ノ「ポリプ」ハ短柄ニヨリテ、  
共内部ニ連リ、共内部ハ輪節狀ヲ  
ナセリ。「ポリプ」ニハ先端球狀ヲ  
ナセル、觸手ヲ有シ、多數ノ芽胞  
囊着生ス。體ハ白色乃至淡紅色ニ  
シテ芽胞囊ハ橙赤色ヲ呈ス。各地  
ノ海岸ニ分布ス。

アナサンゴモドキ (擬珊瑚) タマウミヒドラ科

第二八五七圖

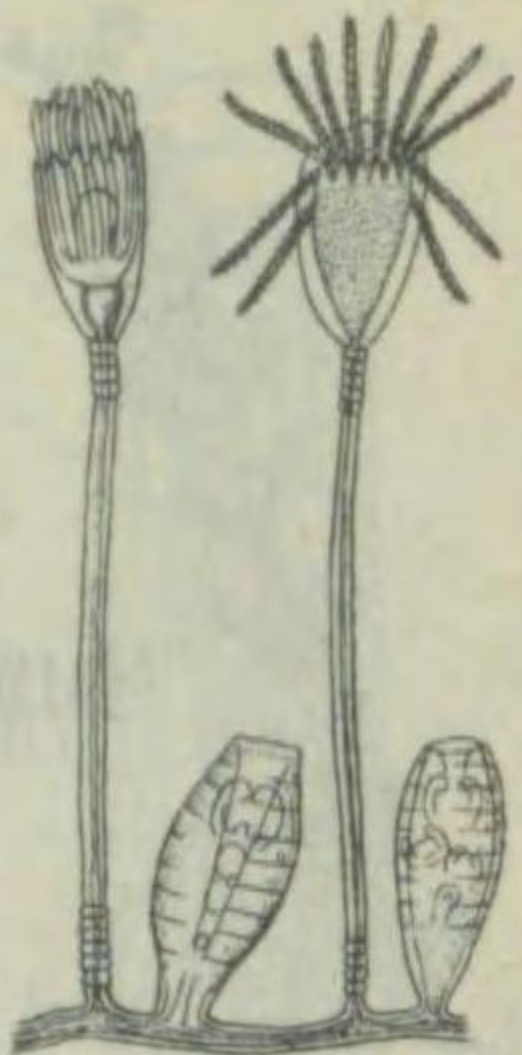


Coryne pusilla.

群體ハ海藻上ニ多數分岐シ、長紡  
錐形ノ「ポリプ」ハ短柄ニヨリテ、  
共内部ニ連リ、共内部ハ輪節狀ヲ  
ナセリ。「ポリプ」ニハ先端球狀ヲ  
ナセル、觸手ヲ有シ、多數ノ芽胞  
囊着生ス。體ハ白色乃至淡紅色ニ  
シテ芽胞囊ハ橙赤色ヲ呈ス。各地  
ノ海岸ニ分布ス。

タマウミヒドラ (玉海水綿) タマウミヒドラ科

第二八五八圖

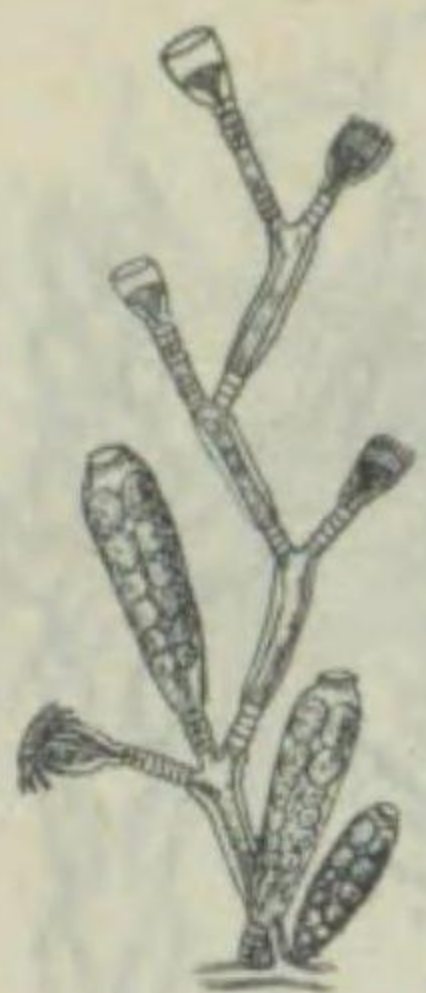


Clytia delicatula.

合體ハ海藻其他ノモノ、上ニ網狀  
ニ匍匐セル「ヒドロ」根ヨリ繊細ニ  
シテ、高サ五耗内外ノ莖ヲ直生シ、  
頂上ニ釣鐘形ノ「ヒドロ」莖ヲ有セ  
ル「ポリプ」ヲ着生ス。莖ハ輪節狀  
ヲ呈セリ。生殖體ヨリ生ズル水母  
ハ四觸手ヲ有ス。淺海ニ普通ナリ。

ヒメウミコブ (擬海洋至) カムバヌラリア科

第二八五九圖



Obelia geniculata

合體ハ匍匐セル「ヒドロ」根ヨリナ  
リ高サ一〇耗内外ニシテ、波形ヲ  
呈セル莖ヲ抽出シ、ソノ兩側ニ「ヒ  
ドロ」莖ヲ互生ス。「ヒドロ」莖ハ  
洋盃狀ヲナシ、短柄ニヨリテ莖ニ  
着生シ、數輪節ヲ有ス。生殖體ハ  
「ヒドロ」莖ノ基部ニ着生シ、倒長  
鐘形ヲ呈シ、上方ニ口ヲ有ス。多  
ク褐藻上ニ附着ス。水母ハ扁平ニ  
シテ、徑六耗内外ヲ有シ、約一〇  
〇箇ノ觸手傘線ヨリ放射狀ニ排列  
シ浮遊ス。

オベリア・ゲニクラータ カムバヌラリア科

第二八六〇圖

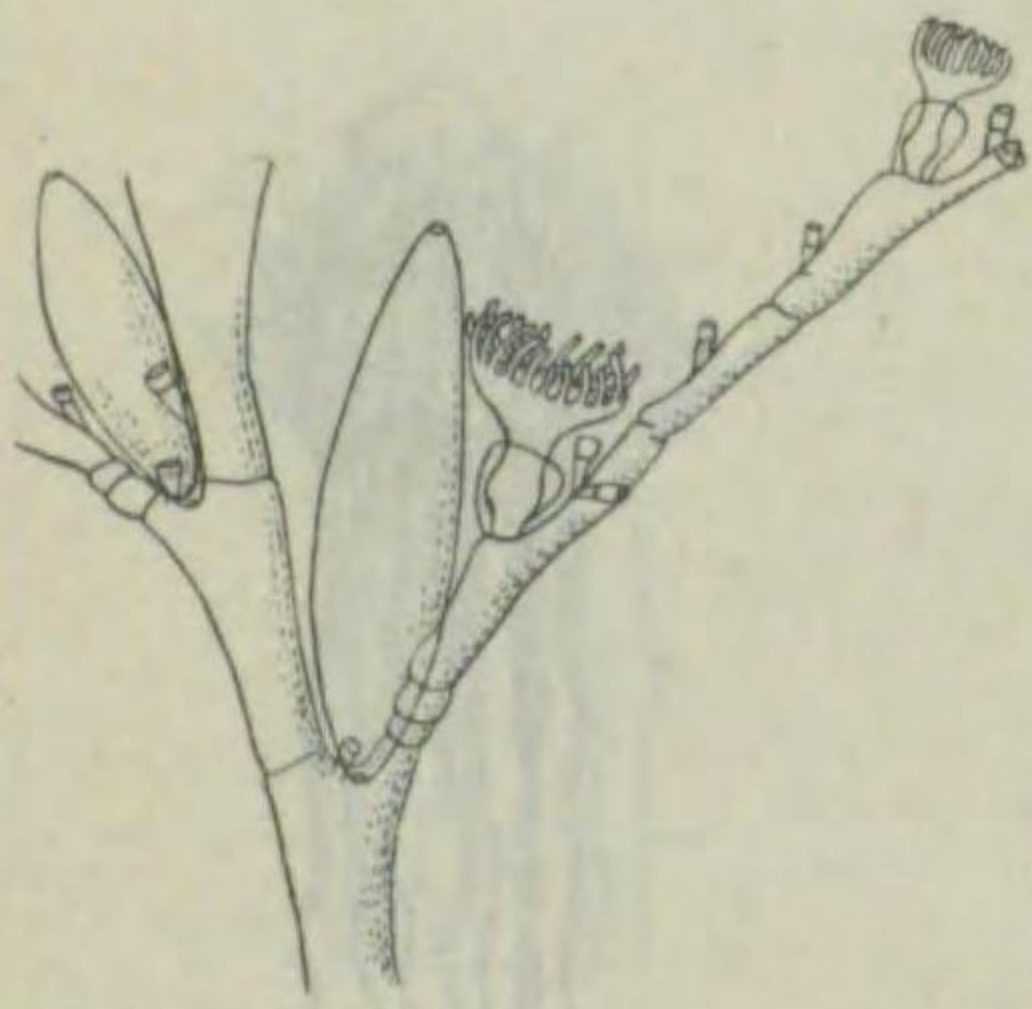


Campanularia integra.

合體ハ匍匐セル「ヒドロ」根トコレ  
ヨリ直生セル莖ヨリ成ル。莖ハ細  
小ニシテ高サ二乃至三耗内外ナリ  
莖頂ニ盃狀ヲナセル「ヒドロ」莖ヲ  
有シ、根部ノ所ニテ短柄ヲ有セル  
生殖體ヲ生ズ。「ポリプ」ハ時ニ淡  
紅色ヲ呈ス。海藻上ニ着生ス。

ウミサカヅキ (海至) カムバヌラリア科

第二八六一圖



Plumularia setacea.

ハネガヤ (羽根芽) プルムラリア科  
合體ハ莖高約四〇乃至五〇耗ニ達  
シ、多クノ節ヨリ小枝ヲ互生シ、  
細羽狀ヲ呈セリ。小枝ハ長短ノ節  
交互ニ連ナリ、長節ニハ「ヒドロ」  
莖及ビ三刺莖ヲ有ス。生殖體ハ小  
枝ノ基部ニ位シ、長紡錐形ニシテ、  
雌ニテハ截形ノ開孔ヲ有シ、雄ニ  
テハ先端細マリテ小孔ヲ穿テリ。  
雌雄異體ニシテ同一合體中ニ混在  
スルコトナシ。貝殻、海綿等ノ上  
ニ附着ス。